桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）

図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	特記仕様書（改修１）	A-61	２階建具配置図（改修前）	M-01	特記仕様書　建築機械設備１
A-02	特記仕様書（改修２）	A-62	２階建具配置図（改修後）	M-02	特記仕様書　建築機械設備２
A-03	特記仕様書（改修３）	A-63	３階建具配置図（改修前）	M-03	機械設備　給排水衛生設備　系統図（改修前）
A-04	特記仕様書（改修４）	A-64	３階建具配置図（改修後）	M-04	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟　配置図（改修前）
A-05	特記仕様書（改修５）	A-65	４階建具配置図（改修前）	M-05	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟：１階平面図（改修前）
A-06	特記仕様書（改修６）	A-66	４階建具配置図（改修後）	M-06	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟：２階平面図（改修前）
A-07	敷地案内図　配置図	A-67	建具表１	M-07	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟：３階平面図（改修前）
A-08	仕上表（改修前後１）	A-68	建具表２	M-08	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟：４階平面図（改修前）
A-09	仕上表（改修前後２）	A-69	建具表３	M-09	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟：Ｒ階平面図（改修前）
A-10	１階平面図（改修前）	A-70	建具表４	M-10	機械設備　給排水衛生設備　凡例・器具機器表（改修後）
A-11	１階平面図（改修後）	A-71	建具表５	M-11	機械設備　給排水衛生設備　系統図（改修後）
A-12	２階平面図（改修前）	A-72	建具表６	M-12	機械設備　消火設備　系統図（改修後）
A-13	２階平面図（改修後）	A-73	詳細図（１）	M-13	機械設備　給排水衛生設備　配置図（改修後）
A-14	３階平面図（改修前）	A-74	詳細図（２）	M-14	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟：１階平面図（改修後）
A-15	３階平面図（改修後）	A-75	詳細図（３）	M-15	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟：２階平面図（改修後）
A-16	４階平面図（改修前）	A-76	１階家具キープラン	M-16	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟：３階平面図（改修後）
A-17	４階平面図（改修後）	A-77	２階家具キープラン	M-17	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟：４階平面図（改修後）
A-18	Ｒ階平面図 断面図（改修前後）	A-78	３階家具キープラン	M-18	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟：Ｒ階平面図（改修後）
A-19	立面図（改修前１）	A-79	４階家具キープラン	M-19	機械設備 給排水衛生設備 普通教室棟 職員、生徒用便所：前室･平面詳細図（改修前）
A-20	立面図（改修後１）	A-80	家具詳細図（１）	M-20	機械設備 給排水衛生設備 普通教室棟 職員、生徒用便所：前室･平面詳細図（改修後）
A-21	立面図（改修前２）	A-81	家具詳細図（２）	M-21	機械設備 給排水衛生設備 普通教室棟 職員室･校長室平面詳細図（改修前･改修後）
A-22	立面図（改修後２）	A-82	家具詳細図（３）	M-22	機械設備 給排水衛生設備 普通教室棟 湯沸室･男女更衣室･保健室平面詳細図(改修前･改修後)
A-23	矩計図１（改修前）	A-83	家具詳細図（４）	M-23	機械設備 給排水衛生設備 普通教室棟 廊下手洗い･昇降口平面詳細図（改修前･改修後）
A-24	矩計図１（改修後）	A-84	家具詳細図（撤去）	M-24	機械設備 給排水衛生設備 受水槽・高架水槽：平面詳細図（改修前）
A-25	矩計図２（改修前）	A-85	黒板他詳細図（1）	M-25	機械設備 給排水衛生設備 受水槽・高架水槽：平面詳細図（改修後）
A-26	矩計図２（改修後）	A-86	黒板他詳細図（2）	M-26	機械設備 空調設備 普通教室棟：１階平面図（改修前）
A-27	職員玄関、職員用便所　平面詳細図　展開図（改修前）	A-87	仮設図	M-27	機械設備 空調設備 普通教室棟：１階平面図（改修後）
A-28	職員玄関、職員用便所　平面詳細図　展開図（改修後）	A-88	外構図（１）	M-28	機械設備 換気設備 凡例・機器表・計算書（改修後）
A-29	職員室・校長室平面詳細図（改修前）	A-89	防水4階平面図	M-29	機械設備 換気設備 普通教室棟：１階平面図（改修前）
A-30	職員室・校長室平面詳細図（改修後）	A-90	防水R階平面図	M-30	機械設備 換気設備 普通教室棟：２階平面図（改修前）
A-31	職員室・校長室展開図（改修前）	A-91	防水詳細図（１）	M-31	機械設備 換気設備 普通教室棟：３階平面図（改修前）
A-32	職員室・校長室展開図（改修後）	A-92	防水詳細図（２）	M-32	機械設備 換気設備 普通教室棟：４階平面図（改修前）
A-33	印刷室･スタジオ･前室･放送室平面詳細図　展開図（改修前）			M-33	機械設備 換気設備 普通教室棟：１階平面図（改修後）
A-34	印刷室･スタジオ･前室･放送室平面詳細図　展開図（改修後）			M-34	機械設備 換気設備 普通教室棟：２階平面図（改修後）
A-35	男子更衣室･女子更衣室･湯沸室 平面詳細図 展開図（改修前）			M-35	機械設備 換気設備 普通教室棟：３階平面図（改修後）
A-36	男子更衣室･女子更衣室･湯沸室 平面詳細図 展開図（改修後）	E-01	特記仕様書　建築電気設備１	M-36	機械設備 換気設備 普通教室棟：４階平面図（改修後）
A-37	男子更衣室　展開図　矩計図（改修前）	E-02	特記仕様書　建築電気設備２		
A-38	男子更衣室　展開図　矩計図（改修後）	E-03	配置図		
A-39	保健室　平面詳細図　展開図（改修前）	E-04	幹線設備図（改修後）		
A-40	保健室　平面詳細図　展開図（改修後）	E-05	幹線設備図（改修前）		
A-41	相談室1～3　かがやきルーム　平面詳細図　展開図（改修前）	E-06	電灯盤結線図１（改修前・改修後）		
A-42	相談室1～3　かがやきルーム　平面詳細図　展開図（改修後）	E-07	電灯盤結線図２（改修前・改修後）		
A-43	昇降口１　平面詳細図　展開図（改修前）	E-08	１階～４階　幹線設備平面図（改修後）		
A-44	昇降口１　平面詳細図　展開図（改修後）	E-09	１階～４階　幹線設備平面図（改修前）		
A-45	生徒用便所・前室　２　平面詳細図　展開図（改修前）	E-10	１階　電灯設備図（改修後）		
A-46	生徒用便所・前室　２　平面詳細図　展開図（改修後）	E-11	１階　電灯設備図（改修前）		
A-47	１階廊下　展開図１（改修前）	E-12	１階　コンセント設備図（改修前・改修後）		
A-48	１階廊下　展開図１（改修後）	E-13	弱電機器姿図（改修後）		
A-49	１階廊下　展開図２（改修前）	E-14	１階　弱電設備図１（改修後）		
A-50	１階廊下　展開図２（改修後）	E-15	１階　弱電設備図１（改修前）		
A-51	１階天井伏図（改修前）	E-16	１階　弱電設備図２（改修後）		
A-52	１階天井伏図（改修後）	E-17	１階　弱電設備図２（改修前）		
A-53	２階天井伏図（改修前）	E-18	４階　拡声・電気時計設備図（改修前・改修後）		
A-54	２階天井伏図（改修後）	E-19	１階　自動火災報知設備図（改修後）		
A-55	３階天井伏図（改修前）	E-20	１階　自動火災報知設備図（改修前）		
A-56	３階天井伏図（改修後）	E-21	東側便所　電灯コンセント設備平面図（改修前・改修後）		
A-57	４階天井伏図（改修前）	E-22	職員室・校長室・放送室　コンセント設備・弱電設備平面図（改修前・改修後）		
A-58	４階天井伏図（改修後）	E-23	職員室・校長室　防犯受信機設備、ＬＡＮ・警報設備図（改修前・改修後）		
A-59	１階建具配置図（改修前）	E-24	職員室・床モール詳細図（改修前・改修後）		
A-60	１階建具配置図（改修後）				

令和６年９月

藤川設計株式会社

桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）特記仕様書

総　　則

工事概要　　１．工事場所　　四日市市　桜町　地内

２．工事種目　　外壁改修工事、屋上防水改修工事、内部改修工事、外構工事

１．共通仕様

（１）図面及び特記仕様に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「改修標仕」という。)による。ただし、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(令和4年版)(以下「標仕」という。)による。

２．特記仕様

（１）項目は、〇印の付いたものを適用する。

（２）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。

⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

⊙印と※印の付いた場合は、共に適用する。

（３）特記事項に記載の［．．］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（４）特記事項に記載の（標．．）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

部分完成　⊙無　・有（　　）

部分引渡し　⊙無　・有（　　）

1)保険及び保証
⊙建設工事保険　（保険証の写しを提出）
⊙請負業者賠償責任保険　（保険証の写しを提出）
（⊙管理財物担保特約に加入のこと）
・任意にて加入

2)建設共済等　下記の制度について加入すること。
⊙法定外労災補償制度　（加入証明書の写しを提出）
⊙建設業退職金共済制度　当初の請負金額が500万円以上の場合は、掛金収納書を提出すること。また、増額の契約変更があった場合についても、その分を提出すること。　共済証紙購入額　請負金額の 1/1000以上
なお、他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は、理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする
・任意にて加入

※資材の購入及び下請け業者の選定に際しての留意事項
資材の購入及び工事の一部を下請け業者にて施工する場合、業者の選定に際しては、出来る限り市内業者を優先させること。

章	項目	特記事項
1章 一般共通事項	①適用基準等	⊙建築工事標準詳細図　（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成 28 年版） ※工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 （国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成 30 年版）
	②工事実績情報の登録	※請負金額が 500万円以上の場合は、登録を行う。　[1.1.4]
	③品質計画	※建築基準法に基づき定められる区分等の適用工事 ※風速（Vo）＝34 ｍ毎秒 地表面粗度　※Ⅲ(Zb=5 Zg=450 α=0.20)　・Ⅱ(Zb=5 Zg=350 α=0.15) 積雪区分　※30 cm　・40 cm
	④電気保安技術者	・適用する。　⊙適用しない。　[1.3.3] 事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする。 一般電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第一種又は第二種電気工事士の資格を有する者とする。
	⑤1 週休2日制工事	「四日市市週休2日制工事実施要領（営繕工事）」（令和6年7月19日改正適用）に基づく適用は下記による。 ・週休2日制工事対象 ⊙週休2日制工事(受注者希望型)対象 ・週休2日制対象外工事（・工事の実働日数が30日未満の工事　・現場閉所困難な工事） 完全週休2日制工事(受注者希望型含む)の現場閉所日については下記による。 ・土日閉所（　　） ⊙土日以外閉所（　　） ※土日以外閉所における現場閉所日は、着手前に監督職員と協議の上設定すること。 なお、現場閉所日については、原則として毎週連続する同一の曜日とすること。
	⑤2 施工条件	[1.3.5] ・週休2日制対象外工事の現場閉所日については下記による。 ※土日閉所　・土日以外閉所 ・土日閉所の現場にて土日に作業を行う場合、又は、祝日に作業を行う場合は、事前に「休日及び夜間工事承諾願」を提出し、監督職員の承諾を得ること。 ⊙工事用車両の駐車場及び資機材置場　※敷地内　・ ⊙工事着手前に周辺住民への工事説明会が開催される場合は資料作成等に協力すること。 ⊙現場工事は月～金とし、土、日、祝日に作業を行う場合は、監督職員の承諾を得ること。 ⊙施工作業時間は原則8:30～17:00とすること。清掃片付け等は18:00までとすること。 ⊙施工に際しては、工程及び施工内容について施設管理者と綿密な調整を行うこと。 ⊙工事に関わる法令手続きは受注者にて行うこと。手続きに係る手数料は受注者の負担（道路占用許可申請における占用料は除く）とする。 ⊙仮囲い等について施設利用者等の安全上、使用上支障がないように計画し、維持管理に努めること。

⊙工程計画については、関係者等と十分に調整を行った上で進めること。
⊙資機材の搬出入は第三者の安全に留意して、災害及び事故の防止に努めること。
⊙大型車両通行時には、誘導員等を配置し、安全確保に努めること。
⊙高さ10mを超える足場を60日以上設置する場合は、着手の30日前までに、設置届を所管官庁へ提出すること。
⊙道路の汚損がないように努めると共に、汚損した場合は直ちに清掃を行うこと。
⊙既設構造物を汚損した場合は、受注者負担にて補修等を行うこと。
⊙工事により発生する残土や廃材、汚泥等は適切処理を行うこと。また、必要に応じて釜場を設け、敷地外への泥水の流出を防止すること。
⊙学校敷地内はすべて禁煙とし、敷地周辺の路上等においても禁煙に努めること。
⊙振動、騒音、ほこりのでる作業やその他について、事前に施設管理者及び近隣施設等と調整を行うこと。
⊙現場における施工について、騒音により授業に影響が出る作業は、事前に学校と十分打合せを行うこと。原則は、休み時間等の授業時間外に行うこと。
⊙工事期間中は、近隣住民の安全確保に努めること。
⊙同一敷地内での別途工事について、協議に応じること。
⊙外壁改修(南面以外)の現場着手は契約日以降可とする。
⊙上記以外の工事の現場着手は、原則7月18日午後(内部解体は7月19日)以降着手可とする。
⊙現場作業については、足場解体、整理清掃片付けを含め、原則8月28日までに完了すること。
(8月29日事前使用開始)ただし、便所部分は9/30まで施工可能とする。(10月1日事前使用開始)
⊙高さ5mを超える箇所での作業を有する場合の墜落制止用器具はフルハーネス型を使用すること。

⑥発生材の処理
・引渡しを要するもの（　　）　[1.3.12]
・特別管理産業廃棄物　※無　・有（　　）　処理方法（　　）
・特定建設資材の搬出
再資源化等を行う（再資源化が困難な場合には縮減）
・特定建設資材以外の搬出　・構外搬出適正処理
※廃棄物管理票（マニフェスト）確認表を作成し、監督職員にＡ票及びＤ票もしくはＥ票の確認を受けるものとする。ただし、電子情報処理組織に登録（電子マニフェスト）により確認を行う場合は、この限りではない。
※建設発生土を搬出する場合は、事前に書面にて処分地の報告(位置図等)を行い、処分地での処理状況が分かる写真を提出すること。また、処分地が民有地の場合、土地所有者からの建設発生土受入承諾書の写しを提出すること。

⑦交通安全管理
交通誘導員　・配置する　名以上（大型車の出入は必ず）　⊙配置しない　[1.3.9]
・交通誘導警備員Ａ　※交通誘導警備員Ｂ

⑧建築材料等
※本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又は同等のものとする。
ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
・品質及び性能を試験により証明を求める材料は以下の物とする。　[1.4.5]
（　　）

⑨化学物質を発散する建築材料等
本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の 1）から 5）を満たすものとする。
1） 合板、木質系フローリング、構造用パネル，集成材、単板積層材、パーティクルボード、ＭＤＦ、その他木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗料は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
2） 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
3） 接着剤は、フタル酸ジ-ｎ-ブチル及びフタル酸ジ-２-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
4） 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
5） 1)及び 4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
規制対象外
①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品
③下記表示のあるＪＡＳ規格品
a.非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b.接着剤等不使用
c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
d.ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
第三種
①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第２０条の７第３項による国土交通大臣認定品
③旧ＪＩＳのＥo規格品
④旧ＪＡＳのＦco規格品

⑩特別な材料の工法　改修標仕、標仕に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

⑪石綿含有建材の調査　事前調査（有資格者）　※行う　・行わない　[1.5.1]
調査結果報告書等の貸与　⊙有　・無
分析調査　・行う（対象箇所：　　）　※行わない
※定性分析　・定量分析
※分析調査は「建材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。
※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。
調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。

⑫技能士　※適用する　・適用しない　[1.7.2]
・鉄筋施工　・型枠施工　・鉄工　・塗装　・左官
※防水施工　・建築大工　・サッシ施工　・内装仕上げ施工

⑬化学物質の濃度測定　施行完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン　[1.7.9]
エチルベンゼン、パラジクロロベンゼン、スチレンの濃度を測定し報告すること。
測定は、パッシブ型採集機器により行う。
着工前測定　⊙行う　・行わない
測定対象室　・図示　⊙　職員室、保健室
測定箇所数　・図示　⊙　2ヶ所
採取方法　⊙文部科学省の定めるところによる。　・
報告書の様式　濃度測定記録表の記載事項は、次のとおり
1.工事名　2.測定年月日　3.天候　4.測定前の換気及び閉鎖時間
5.測定時間　6.室名と測定時間　7.測定器具
8.化学物質採取方法　9.分析装置

⑭完成図　・提出する　※提出しない　[1.9.1～3]
種類　※改修標仕 表1.8.1による　・
・配置図及び案内図　・各階平面図
・各立面図　・断面図
・仕上表　・施工図
・施工計画書　・
※ＣＡＤデータの提出　※提出する　・提出しない
・保全に関する資料　提出部数　※１部　・
・製本図面　提出部数　※1部　・2部　・3部

⑮記　録　工事記録については以下による。(A4版)
※工事着手前写真　1 部
※工程写真　各工程毎　1 部
※竣工写真　※内部、外部　2 部
※工事の各記録写真については、デジタル画像にて整備編集を行うよう努めること。
※工事日報・納品伝票等の写しは、監督職員が提出を求めた場合は提出すること。

⑯設備工事との取合い　施工範囲　※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強

17 設計ＧＬ　※図示のベンチマーク（Ｂ.Ｍ）　mm　（現状地盤はＢ.Ｍ　mm）

⑱完成引渡し後の点検　かし期間は、別に定めた特約（責任施工による保証期間など）を除き、四日市市工事請負契約書に準拠する。
・工事完成引渡し後、必要に応じて一年又は二年を超えない範囲の適当な時期に、双方立ち会いで工事目的物のかし点検を実施する。

⑲随時検査　予定価格(税込)3000万円以上の工事は、四日市市検査規程第8条第6項の規定により、発注者が随時検査を求めた場合、監督職員の指示に従い受検すること

⑳施工体制台帳の提出　公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の定めにより、施工体制台帳の写しを提出すること。なお、警備事業者についても記載すべき下請負の範囲に含むものとする。

㉑資源有効利用促進　※本工事が資源の有効な利用の促進に関する法律（平成三年法律第四十八号）の規定により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合（下記内容該当工事）は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。
・建設副産物を搬出する際の計画
1.土砂500m3以上
2.コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材の合計が200t以上
・再生資材を利用する際の計画
1.土砂500m3以上　3.加熱アスファルト200t以上
2.砕石500t以上

※産業廃棄物税
本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、請負者が本工事により生じた産業廃棄物が、課税対象となった場合には、翌年度に産業廃棄物税納税証明書等を添付して、本工事により生じた産業廃棄物税相当分を請求することができる。

四日市市都市整備部営繕工務課
一級建築士　登録　第　　号
四日市市諏訪町１番５号

工事名			
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）			
日付	図面名	縮尺	図面番号
年　月	特記仕様書（改修１） 令和６年版	—	A-01 ／

2章 仮設工事

①足場その他
内部足場　種別　※きゃたつ、足場板等　・　[2.2.1]
外部足場　種別　※くさび緊結式（手すり先行工法）・　[2.2.1]
防護シートによる養生　・行わない
⊙行う　※１類　（・帆布製　※網地製）
騒音・粉じん等の対策　⊙行わない　・行う（・防音パネル　・防音シート）[2.1.3]
材料、搬去材等の運搬　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種　[2.2.1][表2.2.1]

②養生その他
既存部分の養生　※ビニルシート、合板等　・　[2.3.1]
固定家具等の移動　※行わない　・行う(図示)

③仮設間仕切り
（ａ）設置箇所　※図示　・　[2.3.2][表2.3.1]

種別	下　地	仕上材（厚さ mm）	充てん材	塗　装
・Ａ種	※軽量鉄骨	・合板（※9.0　・　）		※無し
⊙Ｂ種	・木下地	※せっこうボード（※9.5　・　）厚さ　mm		・片面
・Ｃ種	単管下地	防炎シート		
仮設扉	※木製扉	・合板張り程度		※無し
	・鋼製扉	・片面フラシュ程度		・有り

④監督職員事務所
・設ける　規模等は以下による　・既存施設の一部を使用する　※設けない　[2.4.1]
（・規模　㎡程度　・仕上げ：床　、壁　、天井　程度）

⑤工事用水
構内既存の施設　※利用できる（・有償 ※無償）　・利用できない

⑥工事用電力
構内既存の施設　※利用できる（・有償 ※無償）　・利用できない

3章 防水改修工事

1 既存下地の補修及び処置
※図示による　[3.2.6]
既存露出防水層表面の仕上塗装の除去　・する　・しない

2 アスファルト防水
[3.3.2～3][表3.1.1][表3.3.3～10]

防水改修工法の種類	施　工　箇　所	新規防水層の種別

アスファルトの種類　※3種　・　押え金物 ※アルミニウム製(L-30x15x2.0程度)
脱気装置　・製造所の指定する製品　・ステンレス製　設置数量（　）箇所
改修用ドレン　※設ける（　箇所）※銅製　・鉛製　・設けない　[3.2.5]
屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材
材質　※押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA（スキン層付き）
厚さ（mm）　※35
屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材
材質　※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号
厚さ（mm）　※35
乾式保護材　製造所の仕様による・
防水保護のれんがの種類　※市販品のレンガ又は市販品のレンガ形コンクリートブロック
保護コンクリート仕上り平たんさ種別　・ａ種　・ｂ種　・ｃ種　[3.3.5][8.1.4][表8.1.5]
仕上塗装（P2A,M3D,POD,PODI,M3DI,M4DI,工法）　※種類および使用量は製造所の仕様による
施工標識　※設ける　・設けない

③改質アスファルトシート防水
[表3.1.1][3.4.2～3][表3.4.1～3]

防水改修工法の種類	施　工　箇　所	新規防水層の種別(厚さmm)	仕上げ塗料等
図示	屋上	ﾄｯﾌﾟｺｰﾄのみ	有(日射反射率50%以上)

仕上げ塗料の使用量　※製造所の仕様による　・
脱気装置　・製造所の指定する製品　・ステンレス製　設置数量（　）箇所
屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材　・製造所の指定する製品
※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号
施工標識　・設ける　⊙設けない

4 合成高分子系ルーフィングシート防水
[表3.1.1][3.5.2～3][表3.5.1～2]

防水改修工法の種類	施　工　箇　所	新規防水層の種別(厚さmm)	仕上げ塗料等

仕上げ塗料の使用量　※製造所の仕様による　・
絶縁用シートの材質　※発泡ポリエチレンシート　・　[3.5.2]
可塑剤移行防止用シートの材質　※発泡ポリエチレンシート　・　[3.5.2]
脱気装置　・製造所の指定する製品　・ステンレス製　設置数量（　）箇所
機械固定工法に用いる断熱材　※次のいずれかによる　・
※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材の1種b、2種b又は3種b
接着工法に用いる断熱材
※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
・ポリエチレンフォーム断熱材
改修用ドレン　※設ける（　箇所）　・設けない
※製造所の指定する製品　・銅製　・鉛製
施工標識　※設ける　・設けない

⑤塗膜防水
[表3.1.1][3.6.2～3][表3.6.1]

防水改修工法の種類	施　工　箇　所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等
図示	庇	X-2	有

仕上げ塗料の使用量　※製造所の仕様による　・
既存塗膜防水層表面の仕上塗料の除去(L4X工法)　・除去する　[3.2.6]
脱気装置　⊙設けない　・設ける
施工標識　・設ける　⊙設けない

⑥保証期間
防水の保証期間は原則、表面仕上材塗替なしで10年とする。ただし、既存の劣化等の状況により保証ができない場合は、保証できない理由を明確にし、監督職員と協議を行うこと。

⑦シーリング
・シーリング充填工法　⊙シーリング再充填工法　[3.1.4][表3.1.2]
・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所　[3.7.2][表3.7.1]
※下表以外は、改修標仕表 3.7.1を標準とする

施　工　箇　所	シーリング材の種類（記号）
外壁伸縮目地、打継目地・建具廻り	PU-2・MS-2
水廻り	SR-1(防ｶﾋﾞ仕様)

シーリングの試験　※行わない　・行う（※簡易接着性試験　・引張接着性試験）

⑧とい
材質　・配管用鋼管　・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)　⊙硬質ﾎﾟﾘ塩化ｶﾗｰﾋﾞﾆﾙ管(VP)　[3.8.2(1)]
とい受け金物　※SUS製　・亜鉛メッキ製
ルーフドレン　※JCW301(日本鋳鉄ふた・排水器具工業会規格)　⊙図示による　[3.8.2(1)]

9 アルミニウム製笠木
表面処理　・AB-1種　※BB-1種　[3.9.2]

4章 外壁改修工事

1 施工数量調査
調査範囲　⊙既存モルタル面　⊙躯体コンクリート面　⊙ALC面　[1.5.2]
調査内容　ひび割れ（0.2mm以上）の長さを表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタルの浮き部分を表示する。また、モルタルの欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。
調査報告書の部数　※１部

②改修工法の種類
[4.1.4～5]

外壁の種類	種　類	改　修　工　法
⊙コンクリート打放し仕上げ	・ひび割れ部	・樹脂注入工法・Ｕカットシール材充填工法・シール工法
	⊙欠損部	⊙充填工法　・
⊙モルタル塗り仕上げ	⊙ひび割れ部	⊙樹脂注入工法・Ｕカットシール材充填工法・シール工法
	・欠損部	・充填工法　・モルタル塗替工法
	⊙浮き部	⊙アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・
・タイル張り仕上げ	・ひび割れ部	・樹脂注入工法　・Ｕカットシール材充填工法
	・欠損部	・タイル部分張替え工法　・タイル張替え工法
	・浮き部	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
	・目地	・目地ひび割れ部改修工法　・伸縮調整目地改修工法
⊙塗り仕上げ	⊙薄付け仕上塗材塗り　・可とう形改修用仕上塗材塗り ・厚付け仕上塗材塗り　・各種塗料塗り ・複層仕上塗材塗り　・マスチック塗材塗り	

③ひび割れ部改修工法
⊙樹脂注入工法　(⊙)モルタル面　⊙躯体コンクリート面)　[4.1.4][4.2.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(cc/m)	備　考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
		・	・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40　・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70　・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130　・	
		・	・	

注入材料　[4.2.4]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査（コア抜取り）　・行わない
※行う（抜取り部の補修方法：　）
⊙Ｕカットシール材充填工法　[4.1.4][4.2.4][4.2.6]
充填材料　※１成分形又は２成分形ポリウレタン系シーリング材
・可とう性エポキシ樹脂
ポリマーセメントモルタルの充填　※行う　・行わない
・シール工法　[4.1.4][4.2.4][4.2.7]
シール材料　・パテ状エポキシ樹脂　・可とう性エポキシ樹脂

④欠損部改修工法
※充填工法　[4.1.4][4.2.4][4.2.8]
充填材料　・ポリマーセメントモルタル（・モルタル面　・コンクリート面　・ＣＢ面）
⊙エポキシ樹脂モルタル（　）
・モルタル塗替え工法（改修標仕4.3.5(5)による）

⑤浮き部改修工法
[4.1.4][4.3.10～16][表4.4.3～4]

改修工法の種類(モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数(本/m²) 一般部	アンカーピンの本数(本/m²) 指定部	注入口の箇所数(箇所/m²) 一般部	注入口の箇所数(箇所/m²) 指定部	充てん量 注入量
⊙アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 16 ・	※ 25 ・			※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	※25ml
・アンカーピンニング全面ﾎﾟﾘﾏｰセメントスラリー注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	・25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ﾎﾟﾘﾏｰセメントスラリー注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	※50ml

※狭幅部におけるアンカーピン本数は、幅中央に5本/mとする
アンカーピン　[4.2.4]
材質　※ステンレス SUS304、呼び径４mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの　・
注入口付アンカーピン　[4.2.4]
材質　※ステンレス SUS304、呼び径外径６mm

⑥既存塗膜等の除去及び下地処理
既存塗膜劣化部の除去及び下地処理の工法　[4.5.4][表4.5.4～7]

工　法	処　理　範　囲	下地面の補修
・サンダー工法	※既存仕上面全体　・	⊙ひび割れ部改修工法 ⊙浮き部改修工法 ⊙欠損部改修工法
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体　・	
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体　・	
⊙水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

下地調整材　[4.2.4][4.6.3]
※下地調整塗材　・ポリマーセメントモルタル　・防水形仕上げ塗材主材を使用

⑦仕上塗材仕上げ
種類、仕上げの形状、工法　[4.5.1][4.5.2][表4.5.1～2]

種　類	呼　び　名	仕　上　の　形　状
⊙薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・可とう形外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・ゆず肌状　・
	⊙防水形外装薄塗材Ｅ	⊙ゆず肌状　・凹凸状
・複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状
	・可とう形複層塗材ＣＥ	上塗材　・水系アクリル
	・複層塗材Ｅ	・水系アクリルシリコン
	・複層塗材ＲＥ	外観　※つやあり　・つやなし
	・防水形複層塗材ＣＥ	・メタリック
	・防水形複層塗材Ｅ	防水形の増塗材　・行う
・可とう形改修用仕上塗材	※可とう形改修塗材Ｅ	・平たん状　・さざ波状　※ゆず肌状
	・可とう形改修塗材ＲＥ	上塗材　・アクリル　・ウレタン ※シリコン　・ふっ素
		外観　・吹付　※ローラー
		仕上　※薄付け　・厚付け

⑧設計数量

外壁部位	種　類	工　法	数　量	備　考
⊙コンクリート打放し面	・ひび割れ	※Ｕカットシール材充填工法 ・	m	
	⊙欠損部	※エポキシ樹脂モルタル充填工法 ・	30 箇所	100x100x30程度
⊙モルタル塗り仕上げ面	⊙ひび割れ	・Ｕカットシール材充填工法 ⊙自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	m 23 m	
	・欠損部	※充填工法 ・	m	
	⊙浮き部	※アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・	23 ㎡	

※上記数量については、現場調査を行い報告書を作成し、提出する。
尚、数量の10%を越える増減が生じた場合は協議の上、契約変更を行う事ができる。

5章 建具改修工事

①改修工法
⊙かぶせ工法　⊙撤去工法（・引き抜き工法　⊙はつり工法）　[5.1.3]

2 見本の製作等
・建具見本の製作　・特殊な建具の仮組　[5.1.5]

四日市市都市整備部営繕工務課
一級建築士　登録　第　号
四日市市諏訪町１番５号

工事名
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）

日付	図面名	縮尺	図面番号
年　月	特記仕様書（改修２） 令和６年版	—	A-02 /

5章 建具改修工事

③アルミニウム製建具

外部に面する建具（フロントサッシは除く） [5.2.2][表5.2.1]

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	Ａ－３	Ｗ－４	※ 70	※図示
⊙Ｂ種	Ｓ－５			・100	
・Ｃ種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	・70　・100　・	

表面処理　※BB-1種　・BB-2種（※ﾌﾞﾛﾝｽﾞ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ） [5.2.4][表5.2.2]

内部建具 [5.2.4][表5.2.2]

表面処理　※AC-1又はBB-1種　・AC-2又はBB-2種（※ﾌﾞﾛﾝｽﾞ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）

4 網戸

防虫網 [5.2.3]

網の種別　※ステンレス(SUS316)製　・合成樹脂製　・ガラス繊維入り合成樹脂製

形　式　※可動式　・固定式

5 樹脂製建具

外部に面する建具（ﾌﾛﾝﾄｻｯｼは製造所の仕様による） [5.3.2][表5.3.1]

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	Ａ－４	Ｗ－４	・ 70	※図示
・Ｂ種	Ｓ－５		Ｗ－５	・100	
・Ｃ種	Ｓ－６			・	

・防音ドアセット及び防音サッシの適用　種別　・T-A種　・T-B種 [5.3.2][表5.3.2]

・断熱ドアセット及び断熱サッシの適用　種別　・H-A種　・H-B種　・H-C種 [5.3.2][表5.3.3]

⑥鋼製建具

簡易気密型ドア　・使用する　※使用しない [5.4.2]

⑦鋼製軽量建具

品質規格　※改修標仕表5.5.1による [5.5.2][5.5.4]

・製造所標準仕様による

簡易気密型ドア　・使用する　※使用しない

8 ステンレス製建具

表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ [5.6.2][5.6.4]

曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

簡易気密型ドア　・使用する　※使用しない

⑨木製建具

材料の含水率 [5.7.2]表[5.7.1]

種　別	加工及び組み立て時の含水率
※Ａ種	１５％以下
・Ｂ種	１８％以下

⑩ 建具用金物

マスターキー　⊙製作する　・製作しない（既存マスターキーに合わせる） [5.8.4]

モノロック　ゴール（　　）　美和ロック（　　）

シリンダー箱錠　ゴール（　　）　美和ロック（　　）

シリンダー本締り錠　ゴール（　　）　美和ロック（　　）

ドアクローザー　ダイハツディーゼル機器(大島機工、ニッカナ)

日本ドアチェック製造、美和ロック、リョービ

フロアヒンジ　大島機工(ニッカナ、美和ロック)、日本ドアチェック製造、リョービ

ヒンジクローザー　大島機工(ニッカナ、美和ロック)、日本ドアチェック製造

リョービ、デンセイオートテック

押板、取手　樹建工業、ユニオン

11 自動ドア開閉装置

開閉方法　※引き戸　・多機能トイレ用引き戸 [5.9.2～3][表5.9.1～6]

センサーの種類　・光線センサー　・熱線センサー　・

12 自閉式上吊り引戸装置

品質規格　※改修標仕5.10.3による [5.10.3][表5.10.1]

・製造所標準仕様による

13 重量シャッター

種類　・管理用シャッター　・外壁用防火シャッター [5.11.2][表5.11.1]

・屋内用防火シャッター　・屋内用防煙シャッター

開閉機能　※上部電動式(手動併用)　・上部手動式 [5.11.2]

スラット　材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板　・溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3]

形状 ※インターロッキング形　・オーバーラッピング形 [5.11.2]

シャッターケース(防火・防煙以外のもの)　・設ける　・設けない

危害防止機構　・障害物感知装置（自動閉鎖型）

・「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に適合するもの

耐風圧性能（　　）N/㎡（一般重量・外壁用防火のもの）

14 軽量シャッター

開閉形式　※手動式　・上部電動式(手動併用) [5.12.2][表5.12.1]

スラット　材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板　・ [5.12.3]

形状 ・インターロッキング形　・オーバーラッピング形 [5.12.4]

耐風圧性能（　　）N/㎡

15 その他のシャッター

・オーバーヘッドドア

・リンググリルシャッター

⑯ ガラス

種類・厚さ ※ 建具表による [5.14.2]

⑰ ガラスの留め材

種別(区分は図示による) [5.14.2]

※シーリング材(SR-1, ｼﾘｺｰﾝ系、9030G)　・ガスケット

18 ガラス用フィルム

品質は、JIS A5759による

※ガラス飛散防止フィルム　種類（・第２種　・　）張り面（※内張　・外張）

性能値　※層間変位試験に適合するもの（B法）

6章 内装改修工事

1 改修範囲

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁,床の改修範囲 [6.1.3]

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　⊙図示による範囲

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　⊙図示による範囲

天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修範囲

※既存のまま　⊙図示による範囲

②既存床の撤去並びに下地補修

ビニル床シート等の撤去　⊙仕上げ材のみ(接着剤とも) [6.2.2]

⊙下地モルタルとも(※図示の範囲　・除去範囲全て)

改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の室内　・図示

合成樹脂塗り床の除去　・機械的除去工法　⊙目荒工法

③既存壁の撤去並びに下地補修

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修 [4.3.10][6.3.2]

※図示　・モルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の補強　・行う　・行わない)

④木下地等

表面仕上げ　仕上げの程度　・ﾌﾟﾚｰﾅｰ仕上げ　※ｻﾝﾀﾞｰ仕上げ　・超かんな仕上げ [6.5.1]

加工の種類　※機械加工　・手加工

・ﾌﾟﾚｰﾅｰ加工　※ｻﾝﾀﾞｰ加工　・かんな加工

木材の含水率　※Ａ種　・Ｂ種 [6.5.2][表6.5.3]

木材の品質　※改修標仕6.5.2による　・市販品 [6.5.2][表6.5.4]

樹種　構造材　※杉　・松　・ひのき

造作材　※杉　・松　・ひのき

防腐防蟻処理　※行わない　・行う(箇所ー　　)

木材保存(木材の防腐・防蟻処理)剤は、監督職員の承諾するものとする。

※9.0mm未満の合板上張り留め付けはタッカー留めとする。

5 集成材等

集成材又は単板積層材の材質 [6.5.2]

ホルムアルデヒト放散量　※規制対象外　・第三種

品　名	規格・品質	芯材の種類	施 工 箇 所
・造作用集成材	※１等　・２等	・たも　・なら　・しおじ	
・化粧ばり造作用集成材	※１等　・２等	・単一針葉樹	
・化粧ばり構造用集成材			
・造作用単板積層材			
・直交集成材			

⑥接着剤

※木工事に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種 [6.5.3]

※壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤の [6.8.2][6.14.2]

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

7 床板張り

フローリング及び縁甲板張り床 [表6.5.10]

下張り用床板	※無し	
	・有り　※合板張り　ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・	
床　板	※単層フローリング(標仕19.5.2による)	
	ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種	
	・縁甲板	※ひのき

⑧軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　屋内（※19形　・25形）　屋外（※25形　・19形） [6.6.2][表6.6.1]

既存の埋込みインサート　⊙使用する　・使用しない [6.6.4]

あと施工アンカーの引抜き試験　・行う　⊙行わない

耐震補強　・行う（図示）

屋外軒天井及びピロティ天井補強　※図示

⑨軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合　※図示

⑩ ビニル床シート

工法　※熱溶接工法　・突付け(施工箇所　　) [6.8.2～3]

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ(mm)	備　考
⊙発泡層のないもの	※ＦＳ	・無地 ※マーブル柄	・2.5 ※2.0	
⊙防汚防滑性	※ＦＳ	※柄物　・無地	・2.5 ※2.0	廊下一部、便所
・				

接着材　※改修標仕表6.8.1による　・エポキシ樹脂系

11 ビニル床タイル [6.8.2]

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	備　考
※単層ビニル床タイル	ＴＴ	※2.0	
・複層ビニル床タイル	ＦＴ	・	
・コンポジションビニル床タイル	ＫＴ	・	

接着材　※改修標仕表6.8.1による　・エポキシ樹脂系

12 帯電防止ビニル床タイル [6.8.2]

種　類	厚さ(mm)	性　能
※単層ビニル床タイル	※2.0	体積抵抗値　1.0x10⁹ Ω以下又は
・複層ビニル床タイル	・	漏えい抵抗値　1.0x10¹⁰ Ω以下
・コンポジションビニル床タイル	・	

13 誘導用及び注意喚起用床材

視覚障害者用床タイル [6.8.2]

種　類	寸法(mm)	施工箇所
・塩化ビニル製	※300×300	
・レジンコンクリート製	・	
・磁器又はせっ器質タイル		

⑭ ビニル幅木

高さ（mm）　・60　・75　⊙100

15 カーペット敷き

・織じゅうたん [6.9.2～3][表6.9.1～2]

種　別	パイル形状	色柄　等	備　考
・Ａ種	・カットパイル	※無地	
・Ｂ種	・ループパイル	・柄物(標準品)	
・Ｃ種	・カット、ループパイル併用	・	

耐電性　※人体帯電圧3kV以下　・

・タフテッドカーペット [6.9.2～3][表6.9.2]

パイル形状	パイル長（mm）	工　法	帯電性
・カットパイル	※５～７	※全面接着工法	人体帯電圧
・ループパイル	※４～６	・グリッパー工法	※３kv以下
・カット、ループパイル併用	・		

耐電性　※人体帯電圧3kV以下　・

・タイルカーペット [6.9.2～3][表6.9.2]

パイル形状	種類	寸法（mm）	総厚さ（mm）	施工箇所
・ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種	・		
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

・下敷き材　種類　※第二種二号　厚さ　8.0mm

⑯ 合成樹脂塗床 [6.10.3][表6.10.4～8]

⊙弾性ウレタン塗床材　・平滑仕上げ　⊙防滑仕上げ　・つや消し仕上げ

・エポキシ樹脂塗床材　※薄膜流しのべ仕上げ（※平滑　・防滑）

・厚膜流しのべ仕上げ（※平滑　・防滑）

・樹脂モルタル仕上げ（※平滑　・防滑）

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

⑰ フローリング張り [6.11.2～7][表6.11.1～4]

種　別	樹　種	工　法	塗　装	
・天然木化粧複合フローリング	・なら	・釘止め工法	※塗装品	
・単層フローリング	・ひのき	(・A種・B種・C種)		
⊙フローリングブロック	⊙ぶな	⊙接着剤	・無塗装品	
・モザイクパーケット張り				

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

⑱ 畳敷き

種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　※Ｄ種（ＫＴ－Ⅲ） [6.12.2][表6.12.1]

⑲ せっこうボード その他ボード張り

[6.13.2][表6.13.1]

種　類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板	HW	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板	NW	・15　・20　・25　・
・けい酸カルシウム板	0.8FK	無石綿　※6　・8　・
⊙ロックウール化粧吸音板	DR	※ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ（※9（不燃）　・12　・　）
		・凹凸ﾀｲﾌﾟ（※12(不燃)・15　・19　・　）
⊙せっこうボード	GB-R	※12.5(不燃)　・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5(不燃)　化粧無（下地張り用）
		化粧有（ﾄﾗﾊﾟｰﾁﾝ模様）
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5(不燃)　・15.0(不燃)
⊙シージング石こうボード	GB-S	⊙12.5(不燃)
⊙化粧せっこうボード	GB-D	・12.5(不燃)　・9.5（準不燃）
・せっこうラスボード	GB-L	・9.5
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による　厚さ1.2
・パーティクルボード		
⊙化粧けい酸カルシウム板	0.8FK	※6

合板類、繊維板、パーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材　※適用する　・適用しない

四日市市都市整備部営繕工務課

一級建築士　登録　第　　号

四日市市諏訪町１番５号

工事名

桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）

日付	図面名	縮尺	図面番号
年　月	特記仕様書（改修３） 令和６年版	—	A-03 ／

⑳ せっこうボードの目地処理

目地処理の種類等 [6.13.3][表6.13.5]
⊙継目処理工法 施工場所（ 塗装仕上面、壁紙仕上面 ）
⊙突付け工法 施工場所（ 壁捨張り面、天井面、面台下地面 ）
・目透し工法 施工場所（ ）

㉑ 壁紙張り

[6.14.3]

施工箇所	壁紙の種類	防火性能	備考
	※量産ｸﾛｽ ・	・不燃 ⊙準不燃 ・難燃	掲示板
		・不燃 ・準不燃 ・難燃	

モルタル及びプラスター面の下地調整 ・ＲＡ種 ※ＲＢ種 ・ＲＣ種 [表7.3.4]
石こうボード及びその他ボード面の下地調整 ・ＲＡ種 ※ＲＢ種 ・ＲＣ種 [表7.3.7]
ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

22 ｾﾗﾐｯｸﾀｲﾙ張り

タイルの種類 [6.16.3]

施工箇所	形状寸法(mm)	用途による区分		耐凍害性		色調		うわぐすり		役物	
				無	有	標準	特注	無釉	施釉	無	有
		・屋内 ・屋外	・床 ・壁	※	・	※	・	・	・	・	・
		・屋内 ・屋外	・床 ・壁	※	・	※	・	・	・	・	・
		・屋内 ・屋外	・床 ・壁	※	・	※	・	・	・	・	・
		・屋内 ・屋外	・床 ・壁	※	・	※	・	・	・	・	・

タイルの見本焼き ※行わない ・行う（※外装タイル ・ ）
内装タイル ・改良積上げ張り [6.16.3][表6.16.4]
※壁タイル接着剤張り [6.16.4][表6.16.6]

23 セルフレベリング

セルフレベリング材の種類 ・せっこう系 ※セメント系 [6.17.2][表6.17.1]
※厚み（ mm程度）

24 断熱材

(標19.9.2～3)

種類		施工箇所	厚さ（mm）	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※２種b	※一般部	※25	※ノンフロンのもの ・特定フロンを使用しないもの
	※３種b	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分		ノンフロンタイプ
		・一般部	※15	・HFCタイプ 難燃性・3級 ・2級 ・難燃材料相当品

ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材の
ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

25 フリーアクセスフロア

(標20.2.2)

施工箇所	仕上り高	耐震性能	耐荷重性能	表面仕上げ材
			・3000N	・帯電防止床タイル
			・5000N	・タイルカーペット

スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・図示

26 可動間仕切

(標20.2.3)

構造形式	ﾊﾟﾈﾙ部の総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ
※パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式		※鋼板 (※0.6 ・0.8) ・	※メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け ・

遮音性 ・あり（ ） ・なし

27 移動間仕切り

操作方法 ・手動式 ・電動式 ・部分電動式 (標20.2.4)
パネル表面材（・ ） 遮音性（・ ）
パネル及び圧着装置の操作方法 （・ ）

㉘ トイレブース

パネル表面材 ※高圧メラミン樹脂系化粧板（アルミ製コナーエッジ付き） (標20.2.5)
・ポリエステル樹脂系化粧板(アルミ製コナーエッジ付き)
脚 部 (ｽﾃﾝﾚｽ製) ※幅木タイプ ・脚金物タイプ

㉙ 階段滑り止め

材種 ※ステンレス製ビニルタイヤ入り ・ (標20.2.6)
寸法 ※幅 35mm ・ 取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法

㉚ 黒板及びホワイトボード

(標20.2.8)

種類		寸法(mm)	色彩	備考
⊙黒板	※ホーロー		※緑 ・黒	※平面 ・曲面 ・
	※焼付け		※緑 ・黒	
⊙ホワイトボード	※ホーロー		※白	

㉛ ブラインド

・既存再使用する（養生方法 ） [2.3.1][5.1.6]
・新設する (標20.2.12)

形式	種類	スラットの材種・幅(mm)	施工箇所
※横型	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金 ※25 ・	
・縦型	・１本操作コード ※２本操作コード	・アルミスラット ・80 ・クロススラット ・100	

32 ロールスクリーン

材種・品質（ ）(標20.2.13)
操作方法（ ）

㉝ カーテン

・既存再使用する（養生方法 ） [2.3.1][5.1.6]
・新設する 図示 (標20.2.14)

施工箇所	名称・品質	ひだの種別	形式
図示	㈱ｻﾝｹﾞﾂ ｼﾞｬﾏｲｶⅡ	・箱ひだ等 ・片ひだ	・片引 ・引分
	㈱川島織物ｾﾙｺﾝ ｼﾞｰﾃﾞｨｰﾏｲﾙﾄﾞⅡ		
	㈱ｽｽﾞﾐｴ ｶﾍﾞﾗⅢ	・箱ひだ等 ・片ひだ	・片引 ・引分

防炎加工 消防庁認定の ㋑ とする
カーテンレール ・アルミニウム製 ※ステンレス製 ※Ｃ型又はＤ型
カーテンきれ地のはぎれ ※半幅未満は使用しない ・一幅未満は使用しない
暗幕用カーテンの重なりは300mm以上とする。なお、重ねか所は下記による。
・両端 ・上部 ※召合わせ

㉞ 点検口

天井点検口 ※アルミニウム製 （※額縁タイプ ・目地タイプ ）
床点検口 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 受け枠(・)

㉟ 流し台ユニット

種類	寸法	適用内容	規格・品質等
流し台	※1200 ・1500 ・	トラップ付	※優良住宅部品
コンロ台	※600 ・700 ・	バックガード付	

7章 塗装改修工事

①材料一般

・屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする。 [7.1.3]
・次の箇所を除き防火材料とする。（ ）
建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

②下地調整

RB種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1]
下地調整 [表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別
木部	・RA種 ※RB種 ・RC種
鉄鋼面	・RA種 ※RB種 ・RC種
亜鉛めっき面	・RA種 ※RB種 ・RC種
モルタル、せっこうプラスター面	・RA種 ※RB種 ・RC種
ｺﾝｸﾘｰﾄ及びALCパネル面	・RA種 ※RB種 ・RC種
せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種 ・RC種

既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修 [表7.2.4～6]
⊙行わない ・行う(補修範囲及び補修方法は図示)

③素地ごしらえ

素地ごしらえ [7.3.1～7] [表7.3.1～7]

素地面の種類	種別	備考
木部	⊙A種 ⊙B種	不透明塗料塗りの場合はA種 透明塗料塗りの場合はB種
鉄鋼面	・A種 ・B種 ※C種	8節[耐候性塗料塗り(DP)]の場合は、B種とする
亜鉛めっき面	⊙A種 ・B種	
ﾓﾙﾀﾙ、せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面	・A種 ※B種	
ｺﾝｸﾘｰﾄ及びALCパネル面	・A種 ※B種	8節[耐候性塗料塗り(DP)]の場合は、ｺﾝｸﾘｰﾄ及び押出形成ｾﾒﾝﾄ版面による
ｺﾝｸﾘｰﾄ及び押出形成ｾﾒﾝﾄ版面	・A種 ・B種	
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面	⊙A種 ⊙B種	せっこうﾎﾞｰﾄﾞの目地工法が継目処理工法の場合はA種、その他の場合はB種とする

④錆止め塗料塗り

塗料種別 [7.4.2]
鉄鋼面 ※Ａ種（ ） ・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 ・Ｅ種 [表7.4.1]
仕上げＥＰ－Ｇの場合 ・Ａ種（ ） ※Ｂ種
亜鉛めっき鋼面 ※Ａ種 ・Ｂ種 [表7.4.2]
仕上げＥＰ－Ｇの場合 ・Ａ種（ ） ※Ｃ種

錆止め塗料塗り [表7.4.3～4]
鉄鋼面塗り替えの場合の種別 ・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種
亜鉛めっき面の塗りの種別 ・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種
亜鉛めっき面ＥＰ－Ｇ塗り替えの場合の種別 ・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種
新規鉄鋼面、亜鉛めっき面の塗りの種別 ※標仕18.3.3による

⑤合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)

塗り工法 [7.5.1～4][表7.5.1～3]

下地の種類	塗料種類	塗り工法
木部	※1種 ・2種	新規(屋外 ※Ａ種・Ｂ種 屋内 Ａ種※Ｂ種) 塗替え(※Ｂ種 ・)
鉄鋼面	※1種 ・2種	・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種
亜鉛めっき面	※1種 ・2種	※改修標仕7.4.5よる ・

⑥アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD)

塗替えの場合の下地調整 ・RA種 ※RB種 ・RC種 [7.2.5～6]
塗り工法の種別 ・Ａ種 ※Ｂ種 [7.7.2][表7.7.1]

⑦耐候性塗料塗り（DP）

塗替えの場合の下地調整 ・RA種 ※RB種 ・RC種 [7.2.2][表7.2.1] ～ [7.2.7][表7.2.7]
⊙鉄鋼面 工法は、表7.8.1 [7.8.2][表7.8.1]
⊙亜鉛めっき面 工法は、表7.8.2 [7.8.3][表7.8.2]
上塗種別
・ JISK5659（１級） ふっ素系樹脂塗料
・ JISK5659（２級） シリコン系樹脂塗料
⊙ JISK5659（３級） ポリウレタン系樹脂塗料
・コンクリート面、押出成型セメント板面 [7.8.4][表7.8.3]
工法は、表7.8.3 種別は(・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2 ・C-1種 ・C-2種)
上塗種別
・ JISK5658 主要原料 ふっ素樹脂(1級)
・ JISK5658 主要原料 シリコーン樹脂(2級)
・ JISK5658 主要原料 ポリウレタン樹脂(3級)

⑧つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)

[7.9.2～5][表7.9.1～4]

下地の種類	塗り工法
ｺﾝｸﾘｰﾄ、ﾓﾙﾀﾙ、せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面	新規(・Ａ種 ・Ｂ種) 塗替え(※Ｂ種 ・)
木部	新規(※Ａ種 ・) 塗替え(※Ｂ種 ・)
鉄鋼面	新規(・Ａ種 ・Ｂ種) 塗替え(※Ｂ種 ・)
亜鉛めっき鋼面	新規(※Ａ種 ・) 塗替え(※Ｂ種 ・)

塗替えの場合のシーラー ※改修標仕 7.9.2による ・行わない

⑨合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)

塗り工法の種別 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種 [7.10.2][表7.10.1]

⑩ ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)

塗り工法の種別 ・Ａ種 ※Ｂ種 [7.11.2][表7.11.1]
塗料の種別 ※１液形 ・２液形
着色剤の種別 ・油性顔料着色剤 ・溶剤形顔料着色剤

11 オイルステイン塗り(OS)

木部 工法は改修標仕表7.12.1による [7.12.2][表7.12.1]

12 木材保護塗料塗り(WP)

工法 ・Ａ種 ※Ｂ種 [7.13.2][表7.13.1]

8章 耐震改修工事

①鉄筋の種類

[8.2.1][表8.2.1]

種類の記号	径
⊙ ＳＤ295	※ Ｄ16以下
・ ＳＤ345	※ Ｄ19以上

②溶接金網

網目の形状 （※ 150x150 ・ 100x100 ・50×50 ） [8.2.2]
鉄線の径 (mm)（※ 6.0 ・3.2 ）

③鉄筋の材料試験

※JIS規格品については径の異なるごとに１ｔ未満の場合は規格証明書の提出を省略することができる。 [8.2.3]

4 継手及び定着

鉄筋の継手方法 [8.3.4][表8.3.3]
・径Ｄ19mm以上の柱、梁の主筋はガス圧接、その他は重ね継手
・重ね継手
継手位置 ※標仕各部配筋参考図による ・図示 [8.3.4]
定着長さ ※改標仕[表8.3.4]による ・図示 [8.3.4][表8.3.4]

5 帯筋組立の形

※各部配筋参考図図1.1による ・図示 [8.3.4]

四日市市都市整備部営繕工務課
一級建築士 登録 第 号
四日市市諏訪町１番５号

工事名 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）

日付	図面名	縮尺	図面番号
年 月	特記仕様書（改修４） 令和６年版	—	A-04 ／

8章 耐震改修工事

6 壁の配筋及び補強　※標仕各部配筋参考図４節による　・図示　[8.3.7]

7 ガス圧接　圧接部の確認試験　[8.3.8]
※超音波探傷試験　・引張試験

⑧コンクリートの種類及び強度
コンクリートの種類　※普通コンクリート　・軽量コンクリート　[8.1.3]
普通コンクリートの類別　※I類　・II類　[8.1.3][表8.1.1]
仕上りの平たんさ種別　・ａ種　・ｂ種　・ｃ種　[8.1.4][表8.1.5]
普通コンクリートの設計基準強度　[8.1.4]

設計基準強度Ｆo	施 工 箇 所
※ 21 (N/mm^2)	2～4階　和便器撤去跡
・	

軽量コンクリートの設計基準強度　[8.1.3～4][8.9.1～2][表8.9.1]

設計基準強度Ｆo (N/mm^2)	気乾単位容積質量 (t/m^3)	種　別	施 工 箇 所
※ 21 (N/mm)	※1.9程度	※１種	2～4階便所床
・			

⑨コンクリートの材料　※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種　[8.2.5][表8.2.3]
・高炉セメントＢ種　適用箇所（　）
・フライアッシュセメントＢ種　適用箇所（　）
・アルカリシリカ反応による区分　※Ａ
・フェロニッケルスラグ細骨材は使用しない

10 モルタル及びグラウト材　[8.2.6][8.2.12]
グラウト材　※無収縮グラウト材　（圧縮強度　45Ｎ/mm^{2}以上）
太平洋プレユーロックス(太平洋マテリアル)　マスターフロー540グラウト(BASFポゾリス)
ノンシュリンクライトグラウト(ＡＢＣ商会)　デンカ　プレタスコン TYPE-1(電気化学工業)
社団法人 公共建築協会の評価を受けているもの

柱底等の均しモルタル　※無収縮モルタル　・モルタル
太平洋プレユーロックス(太平洋マテリアル)　マスターフロー870グラウト(BASFポゾリス)
ノンシュリンクライトグラウト(ＡＢＣ商会)　デンカ　プレタスコン TYPE-1(電気化学工業)
社団法人 公共建築協会の評価を受けているもの

⑪ 無筋コンクリート　[8.11.1～3]

種　類	設計基準強度Ｆo (N/mm^2)	スランプ (cm)	粗骨材の最大寸法	適用箇所
※普通コンクリート	※18	※15又は18	※25	1階便所床

⑫ 調合管理強度　構造体強度補正値（Ｓ）　[8.2.5][表8.2.4]
（普通ポルトランドセメント）

打　設　期　間	補正値(N/mm^2)	備　考
2/25～7/ 7　9/ 7～11/22	3.0	
11/23～2/24	6.0	
7/ 8～9/ 6	6.0	暑中コンクリート

⑬ コンクリートの試験　※コンクリートの強度試験の試験回数は、下記による。　[8.8.2～3]
20m^{3}以下の場合の試験については、監督職員の指示による。
20～50m^{3}の場合は任意の一車より試料を採取し、各３個供試体を作成する。
50m^{3}以上は 改修標仕8.8.3による。

⑭ 型枠　打ち放し仕上げの種別　[8.1.4]

種　別	施　工　箇　所	
・Ａ 種		
※Ｂ 種		
・Ｃ 種		

外部に面するコンクリート打ち放し仕上げの打増し　・20　※図示　[8.7.8]

15 鉄骨製作工場　・監督職員の承諾する工場　[8.1.5]
・(社)全国鉄構工業協会、(株)日本鉄骨評価センター認定工場（下記認定グレード以上）
（・Ｓ　・Ｈ　・Ｍ　・Ｒ　・Ｊ）
施工管理技術者　・配置する　・配置しない　[8.1.6]

16 鉄骨工作図　※高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等は、国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による。　[8.13.2]

17 溶接管理技術者　・配置する　・配置しない　[8.15.2]

18 鋼材　鋼材の材質、規格は下表による。　[8.2.8]

材　質	品名又は使用箇所	規　格
		※JISの規格品
		※JISの規格品
		※JISの規格品

19 高力ボルト　※トルシア形高力ボルト　・JIS形高力ボルト　・溶融亜鉛めっき高力ボルト　[8.2.9]
径（　）
すべり係数試験　・実施する　※実施しない　[8.14.2]
試験方法（　）、試験片の摩擦面の状態（　）

20 鋼材の材料試験　※JIS規格品については種類の異なるごとに１ｔ未満の場合は規格証明書の提出を省略することができる。　[8.2.13]

21 溶接施工　エンドタブの種類　※鋼製タブ　[8.15.7]
代替タブを使用する場合は、セラミックスタブとし、以下の書類を提出し、監督職員の承諾を得ること。
・セラミックスタブの使用実績
・AW検定協議会の代替エンドタブ技量認定資格者または日本エンドタブ協会によるエンドタブ施工講習（溶接技能者・固形タブ・A級）修了者の資格証
・鉄骨製作工場における施工実績
エンドタブの切断　・行う（　）　・行わない
スカラップ　※改良型スカラップ

22 溶接部の試験　完全溶込み溶接部の超音波探傷試験　※行う(9mm以上)　・行わない　[8.15.12]
試験箇所数　耐震ブレース　※改修標仕8.15.12による　・
その他　※標仕7.6.12(ｲ)による　・

23 錆止め塗料　・鉄骨造の鉄部錆止め塗料の種別は、下記とする。　[8.17.3]
・JIS K 5625　・JIS K 5674
・DP塗装の場合　JIS K 5552 + JIS K 5551(2回)
耐火被覆材の接着する面の塗装　・行う　※行わない

24 耐火被覆材　[8.18.2～7]

種　別		所要性能及び適用構造部位
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
・耐火板張り		
・ラス張りモルタル塗り		
・耐火塗料		

25 既存コンクリート面の目荒し　適用範囲　[8.21.3][8.22.3]
※既存コンクリートとの打継ぎ面
※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材充填部の接合面
・
目荒らしの範囲
※柱、梁面　打継ぎ面又は接合面全体の３/４以上
※壁面　打継ぎ面又は接合面全面の１/３程度
・
目荒らしの程度
※平均深さ５～１０mmで最大深さ１５mm程度の凹部を施す

㉖ あと施工アンカーの材料　※金属拡張アンカー　[8.2.4]
・接着系アンカー
接着剤の材質及びカプセルの種類　（ガラス管タイプ）
日本デコラックス（株）　ケミカルアンカーＲ、ＲＳタイプ
旭化成ジオテック（株）　ＡＲケミカルセッターＳＵＰＥＲ　ＬＬ　ＡＰ
日本ヒルティ(株)　ＨＶＵ-Ｇ／ＥＡ　もしくは同等品以上
接合筋の種類　※鉄筋コンクリート用棒鋼（Ｄ１６以上ＳＤ３４５）
・全ねじボルト

㉗ あと施工アンカーの施工　施工管理技術者　・置く　※置かない　[8.12.2]

㉘ あと施工アンカーの穿孔　穿孔前の埋込み配管等の探査　[8.12.4]
範囲　⊙あと施工アンカー施工部分全て　・図示
方法　・探査機により探査し、配管等の位置の墨出しを行う。
・はつり出しによる
穿孔方法　・低騒音、低振動工法とする（工法については、監督員の承諾を得ること）

㉙ あと施工アンカーの確認試験　施工確認試験　[8.12.5][8.12.7]
※全数打音試験を行う.
・引張試験は増設壁又は鉄骨ブレス1箇所あたり1本とし、引張荷重は設計強度の2/3以上とする.場所については監督職員の指示による.

30 既存構造体との取り合い　グラウト材の品質管理　[8.21.9][8.22.7]
※圧縮強度試験を行う（3日,28日、封かん養生）
※コンシステンシー試験を行う.

9章 環境配慮改修工事

①一般事項
労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の指針（建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する記述上の指針）を遵守すること。
・アスベスト除去に伴う官公署等への届出申請を行うこと。

石綿障害予防規則及び大気汚染防止法の各規定に基づく官公署等への届出等を行うこと。
⊙石綿含有事前調査結果の都道府県知事及び労働基準監督署への報告を行うこと。
⊙事前調査結果及び特定粉塵排出等作業の掲示を行うこと。
⊙アスベスト除去に伴う作業計画の作成を行うこと。
⊙アスベスト除去完了に伴う発注者への報告を書面にて行うこと。

②アスベスト含有建材の処理工事　アスベスト含有吹付け材の封じ込め処理　・行う　⊙行わない　[9.1.1]
アスベスト含有吹付け材の囲い込み処理　・行う　⊙行わない
アスベスト含有建材除去後の仕上げ　・行う　⊙行わない
施工箇所及び工法　※図示

③アスベストの含有調査　分析による確認　・行う（下表による）　⊙行わない

材　料　名	調査方法	1材料あたりの試料数
	※定性分析(3　・　)	※定量分析(※3　・　)
	※定性分析(3　・　)	※定量分析(※3　・　)
	※定性分析(3　・　)	※定量分析(※3　・　)

④アスベスト含有吹付け材の除去　アスベスト含有吹付け材の有無　・有　⊙無　[9.1.3]
除去吹付材（　）含有場所（　）
吹付けアスベストの施工数量調査　※行う
アスベスト粉じん濃度測定　※行う

表9.1.1　アスベスト粉じん濃度測定

測定時期	測定名称	測　定　場　所	測　定　点　（各施工箇所ごと）	備考
処理作業前	測定１	処理作業室内	各２点又は３点	(注)１
	測定２	施行区画周辺 又は、敷地境界	計２点	大気
処理作業中	測定３	処理作業室内	各２点又は３点	(注)１
	測定４	ｾｷｭﾘﾃｨｿﾞｰﾝ入口	1点	空気の流れを確認
	測定５	集じん・排気装置の排出口 （処理作業室外の場合）	1点	(注)２
	測定６	施行区画周辺 又は、敷地境界	４方向各１点	―
処理作業後（隔離ｼｰﾄ撤去前）	測定７	処理作業室内	各２点又は３点	(注)１
	測定８	施行区画周辺 又は、敷地境界	４方向各１点	大気

（注）１．各施工箇所ごとの室面積が50㎡以下までは２点、300㎡以下までは３点とする。
300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。
（注）２．集じん・排気装置の性能確認

表9.1.2　アスベスト粉じん濃度測定方法

	測　定　3	測定1，2，4，6，7，8	測　定　5
計数機器	位相差顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	25mm		47mm
試料の吸引流量	1l/min	5l/min	10l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	210 min
試料の透明化	アセトンートリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数　200本又は視野数50視野		
計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比３：１以上		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

作業場の負圧隔離養生　※行う
除去工法
※除去工法については、工法に関する資料を監督職員に提出し、承諾を得ること。

処分方法
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。

四日市市都市整備部営繕工務課
一級建築士　登録　第　号
四日市市諏訪町１番５号

工事名　桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）

日付	図面名	縮尺	図面番号
年　月	特記仕様書（改修５） 令和６年版	―	A-05 /

9章　環境配慮改修工事

⑤アスベスト含有仕上塗材の除去

アスベスト含有仕上塗材の除去（除去工法、養生、粉じん飛散防止措置、呼吸用保護具・保護衣等）ついては、「建築物の改修、解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による。
アスベスト含有仕上塗材の有無　⊙有　・無
除去仕上塗材（外装薄塗材E、弾性吹付ﾀｲﾙ）含有場所（校舎外壁、男子更衣室外壁）
撤去の範囲　　・全面撤去　⊙図示による
除去工法（原則湿潤化し、下記工法とする）
　⊙水洗い工法　・手工具ケレン工法
　・集じん装置付高圧水洗工法　・集じん装置付超高圧水洗工法　・超音波ケレン工法
　・剥離材併用高圧水洗工法　・剥離材併用超高圧水洗工法　・剥離材併用手工具ケレン工法
　・剥離材併用超音波ケレン工法　・集塵装置付ディスクグラインダーケレン工法
　　上記工法によらない場合は監督職員と協議の上、承諾を得ること。
除去工法の試験施工　・行う　※行わない
作業場の隔離及び養生
「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」による。
　・隔離養生不要　・隔離養生必要(負圧不要)・その他（　　）
処分方法
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う

⑥アスベスト含有保温材等の除去

アスベスト含有保温材の有無　⊙有　・無　　[9.1.4]
除去保温材（　　）含有場所（　　）
作業場の隔離　※行う
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う

⑦アスベスト含有成形板の除去

アスベスト含有成形板の有無　⊙有　・無　　[9.1.5]
除去成形板（　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ、ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ、岩綿吸音板、ｹｲｶﾙ板　）
含有場所（　図示　）
作業場の養生　・行う　⊙行わない
※石綿含有ケイカル板第一種の除去は、隔離養生（負圧不要）を行う
※その他成形板については、切断・穿孔・研磨等の作業を伴う場合は、隔離養生（負圧不要）を行う

処分方法
石綿含有石膏ボード
　※管理型最終処分場で埋立処分する。
石綿含有石膏ボード以外
　・埋立処分の場合は、石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
　・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。

⑧ 特記事項

※本工事に配置管理させる者（有資格者）
　※特定化学物質等作業主任者（H18.3.31以前の講習修了者）
　　又は石綿作業主任者（H18.4.1以降の講習修了者）

個人情報取扱注意事項

個人情報の取り扱いに関する事項

（基本事項）
第１　この契約による工事の施工者（以下「乙」という。）は、この契約による工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱う際には、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。
（施工者の義務）
第２　乙及びこの契約による工事に従事している者又は従事していた者（以下「乙の従事者」という。）は、当該工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱うときは、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号。以下「法」という。）67条に規定する義務を負う。
２　乙は、この契約による工事において個人情報が適正に取り扱われるよう乙の従事者を指揮監督しなければならない。
（秘密の保持）
第３　乙及び乙の従事者は、この契約による工事を施工するに当たって知り得た個人情報を当該工事を施工するために必要な範囲を超えて使用し、又は他人に知らせてはならない。
２　乙は、乙の従事者が在職中及び退職後においても、前項の規定を遵守するように必要な措置を講じなければならない。
３　前２項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。
（適正な管理）
第４　乙は、この契約による工事に係る個人情報の漏えい、滅失又は改ざんの防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。
２　乙は、個人情報の適正な管理のため、管理責任者を置くものとする。
３　管理責任者は、個人情報を取り扱う工事の従事者を必要な者に限定し、これらの従事者に対して、個人情報の管理方法等について適正な指導管理を行わなければならない。
４　四日市市（以下「甲」という。）は、必要があると認めたときは、個人情報の管理状況等に関し、乙に対して報告を求め、又は乙の作業場所を実地に調査することができるものとする。この場合において、甲は乙に必要な改善を指示することができるものとし、乙は、その指示に従わなければならない。
（収集の制限）
第５　乙及び乙の従事者は、この契約による工事を施工するために、個人情報を収集するときは、当該工事を施工するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。
（再提供の禁止）
第６　乙は、あらかじめ甲の承諾があった場合を除き、この契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供してはならない。
２　乙は、前項の承諾により再提供する場合は、再提供先における個人情報の適正な取り扱いのために必要な措置を講じなければならない。
３　前項の場合において、乙は、再提供先と本注意事項に準じた個人情報の取り扱いに関する契約を交わすものとする。
（複写、複製の禁止）
第７　乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等（以下「資料等」という）を複写し、又は複製してはならない。
（持ち出しの禁止）
第８　乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、資料等（複写又は複製したものを含む。第9において同じ。）を契約書に指定された作業場所から持ち出してはならない。
２　甲及び乙は、乙が前項の指示又は承諾により資料等を持ち出す場合、その内容、期間、持ち出し先、輸送方法等を書面により確認するものとする。
３　前項の場合において、乙は、資料等に施錠又は暗号化等を施して関係者以外の者がアクセスできないようにするとともに、資料等を善良なる管理者の注意をもって保管又は管理し、漏えい、滅失及びき損の防止その他適切な管理を行わなければならない。
（資料等の返還）
第９　乙は、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等を、当該工事の終了後速やかに甲に返還、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により廃棄、又は消去する場合を除く。
２　前項の廃棄又は消去は、次の各号に定めるほか、他に漏えいしないよう適切な方法により行うものとする。
(1)　紙媒体　　シュレッダーによる裁断
(2)　電子媒体　データ完全消去ツールによる無意味なデータの上書き、もしくは媒体の破砕
３　乙は、第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供したときは、当該工事の終了後速やかに当該第三者から資料等を回収のうえ甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により、乙又は第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合を除く。
４　前項ただし書の規定により、第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合においては、乙は、当該資料等が廃棄、又は消去されたことを直接確認しなければならない。
（研修・教育の実施）
第10　乙は、乙の従事者に対し、個人情報の重要性についての認識を深めるとともに、この契約による工事における個人情報の適正な取り扱いに資するための研修・教育を行うものとする。
（苦情の処理）
第11　乙は、この契約による工事の施工に当たって、個人情報の取り扱いに関して苦情があったときは、適切かつ迅速な処理に努めるものとする。
（定期報告及び事故発生時における報告）
第12　乙は、甲から個人情報の取扱の状況について報告を求められた場合は、直ちに報告しなければならない。
２　乙は、この個人情報取扱注意事項に違反する事故が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。
（監査及び検査）
第13　甲は、この契約による業務に係る個人情報の取り扱いについて、この契約の規定に基づき必要な措置が講じられていることを検証および確認するため、乙及び第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による業務を受託し、又は請け負った第三者に対して、監査又は検査を行うことができる。
２　甲は、前項の目的を達するため、乙に対して必要な情報を求め、又はこの契約による業務の処理に関して必要な指示をすることができる。
（契約解除及び損害賠償）
第14　甲は、乙又は乙の従事者がこの個人情報取扱注意事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。

暴力団等不当介入に関する事項

１．契約の解除
　四日市市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱（平成20年四日市市告示第28号）第３条又は第４条の規定により、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止措置を受けたときは、契約を解除することがある。
２．暴力団等による不当介入を受けたときの義務
（１）不当介入には、断固拒否するとともに、速やかに警察へ通報並びに業務発注所属へ報告し、警察への捜査協力を行うこと。
（２）契約の履行において、不当介入を受けたことにより、業務遂行に支障が生じたり、納期等に遅れが生じるおそれがあるときには、業務発注所属と協議を行うこと。
（３）(1)(2)の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止等の措置を講ずる。

障害者差別解消に関する事項

１．対応要領に沿った対応
（１）この契約による事務・事業の実施（以下「本業務」という。）の請負（委託）を受けた者（以下「受注者（受託者）」という。）は、本業務を履行するに当たり、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成２５年法律第６５号。以下「法」という。）に定めるもののほか、障害を理由とする差別の解消の推進に関する四日市市職員対応要領（平成２９年２月２８日策定。以下「対応要領」という。）に準じて、「障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止」及び「社会的障壁の除去のための合理的な配慮の提供」等、障害者に対する適切な対応を行うものとする。
（２）（１）に規定する適切な対応を行うに当たっては、対応要領に示されている障害種別の特性について十分に留意するものとする。
２．対応指針に沿った対応
　上記１に定めるもののほか、受注者（受託者）は、本業務を履行するに当たり、本業務に係る対応指針（法第１１条の規定により主務大臣が定める指針をいう。）に則り、障害者に対して適切な対応を行うよう努めなければならない。

四日市市都市整備部営繕工務課

一級建築士　登録　第　　号

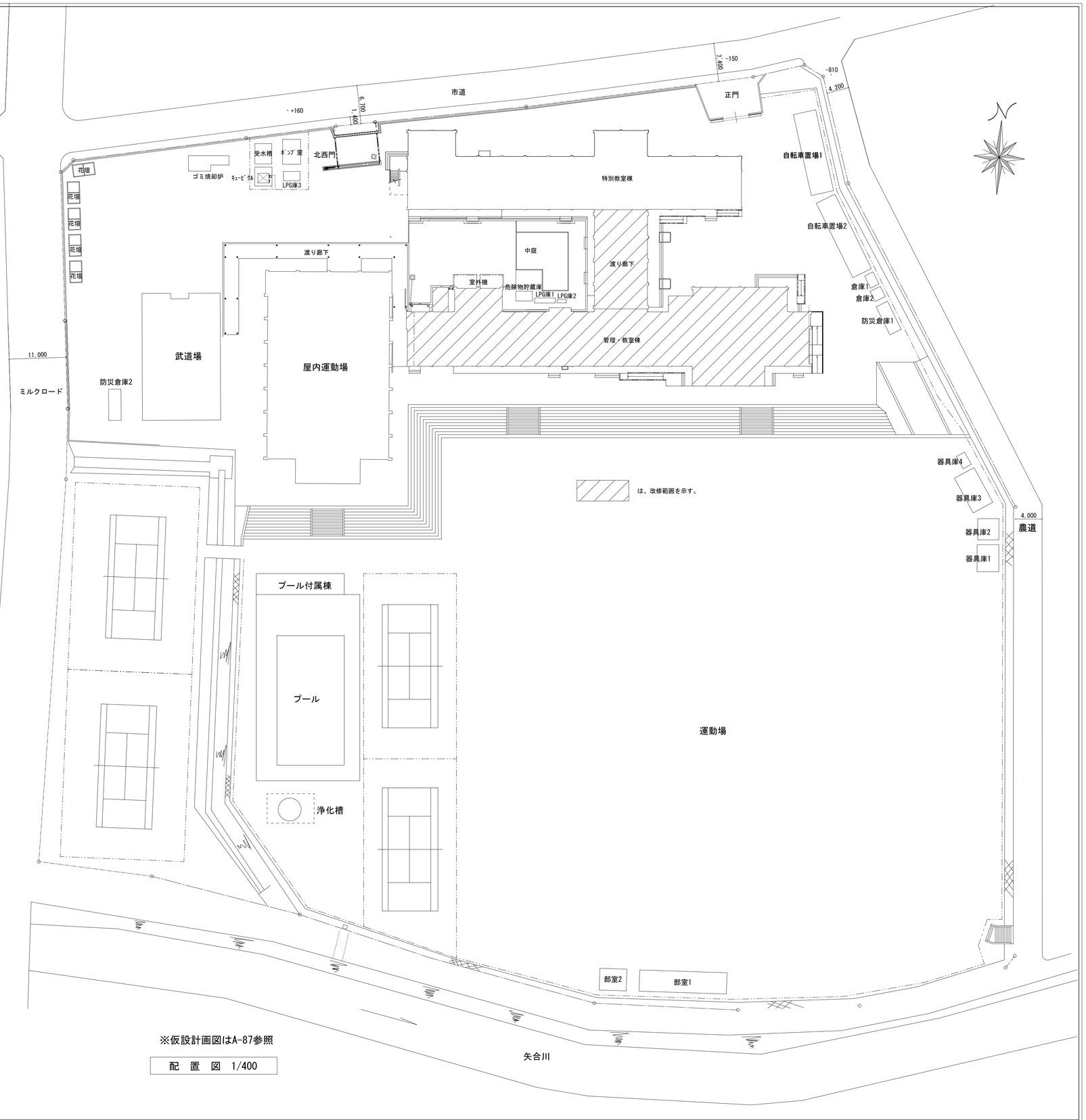
四日市市諏訪町１番５号

工事名　桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）

日付	図面名	縮尺	図面番号
年　月	特記仕様書（改修６） 令和６年版	—	A-06 ／

工事場所　四日市市桜町　桜中学校

敷　地　案　内　図



※仮設計画図はA-87参照

配　置　図　1/400

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	敷地案内図　配置図	A1：1:400 A3：1:800	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

A－０７

外部仕上表

※「★～」はアスベスト含有材を示す。

管理・教室棟	校舎	屋根	改修前	平場、立上：改質アスファルトシート防水　笠木：ウレタンゴム系塗膜防水(X-2)
			改修後	平場、立上：既設の上、仕上げ塗料塗り　笠木：既設の上、仕上塗料塗り
			改修前	パラペット見付：コンクリート打放+★外装薄塗材E
			改修後	パラペット見付：水洗い+防水形外装薄塗材E(ローラー塗）塗替え
		軒天	改修前	コンクリート打放+★外装薄塗材E
			改修後	水洗い+下地調整+NAD塗替え
		庇（昇降口2・3）	改修前	平場、立上：防水モルタル塗　軒天：コンクリート打放+★外装薄塗材E
			改修後	平場、立上：水洗い+ウレタンゴム系塗膜防水(X-2)※昇降口3のみ　軒天：水洗い+下地調整（RC種とし、研磨紙ずりに代えて清掃を行う）+NAD塗替え
	E∨棟	屋根	改修前	ﾌｯｿ塗装ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.8折板葺 山高85程度　笠木：アルミ笠木
			改修後	［既設のまま］
		軒天	改修前	ﾌｯｿ塗装ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.8折板葺現し
			改修後	［既設のまま］
	職員室	屋根	改修前	平場、立上：改質アスファルト防水　見付：ALCﾊﾟﾈﾙt=100+防水型複層塗材E　目地:シーリング［撤去］　笠木：アルミ笠木
			改修後	平場、立上：［既設のまま］　見付：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え　目地シーリング(PU-2)［打替え］　笠木：[既設のまま]
		軒天	改修前	★ケイカル板t=6.0　AEP塗（一部★有孔ケイカル板t=6.0）
			改修後	水洗い+下地調整（RC種とし、研磨紙ずりに代えて清掃を行う）+NAD塗替え
	男子更衣室	屋根	改修前	カラー鋼板葺 フッ素樹脂
			改修後	水洗い+下地調整+DP塗替え
		軒天	改修前	★ケイカル板t=6.0（一部★有孔ボード）AEP塗
			改修後	水洗い+下地調整（RC種とし、研磨紙ずりに代えて清掃を行う）+NAD塗替え
		鼻隠・破風	改修前	化粧幕板W210VP塗
			改修後	水洗い+下地調整+NAD塗替え
	軒樋・竪樋	校舎、EV棟	改修前	竪樋：VP100φ VP塗［撤去］（掴み金物共）（EV棟は工事範囲外）
			改修後	竪樋：カラーVP100φ（SUS製掴み金物共）［新設］（EV棟は工事範囲外）
		職員室	改修前	軒樋：大型角樋（前高130）落しロステンレス網付［撤去］　竪樋：VP70φ VP塗［撤去］（掴み金物共）
		男子更衣室	改修後	軒樋：大型角樋（前高130）塩ビ落しロ付［新設］（SUS製掴み金物共）　竪樋：カラーVP70φ［新設］（SUS製掴み金物共）
管理・教室棟	校舎	外壁	改修前	コンクリート打放+★外装薄塗材E　（柱型）モルタル刷毛引+★外装薄塗材E
			改修後	水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え（柱型共）
	職員室	外壁	改修前	腰壁：モルタル金コテ下地+防水型複層塗材E　壁：ALCパネルt=100縦張+防水型複層塗材E
			改修後	腰壁、壁：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え
	E∨棟	外壁	改修前	ALCパネルt=125縦張+複層塗材E
			改修後	［既設のまま］
	男子更衣室	外壁	改修前	ALCパネルt=50横張+★弾性吹付タイル
			改修後	水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え
	校舎	外部建具	改修前	ガラス、アルミパネル[一部撤去]　建具廻り、水切り下：シーリング［撤去］　ガラス押え[撤去]
			改修後	ガラス、アルミパネル[一部新設]　建具廻り、水切り下：シーリング[打替え]　ガラス押え[打替え]
		巾木	改修前	モルタル金コテ仕上
			改修後	水洗い
昇降口棟		屋根	改修前	平場、立上：改質アスファルトシート防水　笠木：ウレタンゴム系塗膜防水(X-2)　パラペット見付：コンクリート打放+外装薄塗材E
			改修後	平場、立上：既設の上、仕上げ塗料塗り　笠木：既設の上、仕上塗料塗り　パラペット見付：水洗い+防水形外装薄塗材E(ローラー塗）塗替え
		軒天	改修前	コンクリート打放
			改修後	水洗い+下地調整+NAD塗替え
		庇	改修前	平場、立上、笠木：ウレタンゴム系塗膜防水(X-2)　パラペット見付：コンクリート打放+★外装薄塗材E　軒天：コンクリート打放+★外装薄塗材E
			改修後	平場、立上、笠木：［既設のまま］　パラペット見付：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え　軒天：水洗い+下地調整（RC種とし、研磨紙ずりに代えて清掃を行う）+NAD塗替え
		外壁	改修前	コンクリート打放+★外装薄塗材E　（柱型）モルタル刷毛引+★外装薄塗材E
			改修後	水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え（柱型共）

特記事項

：工事対象外を示す

※特記なき限り外壁目地はシーリング打替えとする。
※既設モルタルを撤去する場合、カッター入れを行うこと。
※室外機裏面については、手が届く範囲で施工を行うこと。
※外壁の塗装は2色分け程度とする。

：改修対象外を示す

※ 外壁面に付属する配管及びＢＯＸについて
・設備ＢＯＸ・換気フード等については、ステンレス・アルミ製は水洗い、樹脂製は　清掃の上ＤＰ塗装(下塗無し)とし、
鋼板製はＤＰ塗装(亜鉛ﾒｯｷ面程度)とする。
・φ２０より小さい付属配管については、外壁同様に塗装とする。　φ２０より大きい付属配管については、
樹脂製は清掃の上ＤＰ塗装(下塗無し)とし、鉄部はＤＰ塗装(亜鉛ﾒｯｷ面程度)とする。
・ステンレス、アルミ配管、監視カメラ等については、養生を行うこと。（支持金物も上記に準ずる）
・外壁を貫通している配管周囲及び設備機器周囲は、全てシーリング打替（ＭＳ－２ Ｗ１５）を行うこと。

内部仕上表

※［撤去］において、（下地共）の特記なき限り　仕上のみの撤去とする。　※「★～」はアスベスト含有材を示す。

棟名	階	室名		床 下地	床 仕上	巾木 下地	巾木	腰壁 下地	腰壁	壁	天井 下地	天井	天井高	廻縁	備考
管理・教室棟	1	職員玄関	改修前	M	弾性ウレタン樹脂塗床t=2.0［目荒らし］ 一部 ★ビニル床シートt=2.0 カーペット敷［撤去］	M	木製H=100 SOP塗 EP-G塗 H=150	M	AEP塗（柱、梁型共）	同左	LGS	化粧PBt=9.0張(910x455)	H=2800	木製廻縁 SOP塗	下足入［撤去］ 入口両引分戸［撤去］
			改修後	M	樹脂塗床t=2.0ノンスリップタイプ［新設］ 一部 ビニル床シートt=2.0［新設］	M	［SOP塗替え］ ［EP-G塗替え］	M	［EP-G塗替え］	同左	LGS	［EP塗替え］	H=2800	［SOP塗替え］	下足入［新設］ 入口両引分戸［新設］
		校長室	改修前	M	フローリングブロックt=15張 PU塗［一部撤去］（下地共）	M	チーク練付巾木 H=60 PU塗	W	銘木合板張PU塗 一部 ﾒﾗﾐﾝ化粧板張 H=1200［撤去］	銘木合板張 PU塗	LGS	PBt=9.0+★岩綿吸音板t=9.0張 ［撤去］（下地共）	H=2800	木製廻縁 PU塗	掲示板掲示クロス張［撤去］行事用黒板 戸棚 ブラインド［撤去］
			改修後	M	既設床[PU塗替え］一部 フローリングブロックt=15(塗装品）[新設］（下地共）	M	［UC塗替え］	W	［UC塗替え］一部 化粧ケイカル板張 H=1200[新設］	［UC塗替え］	LGS	PBt=9.5+下地岩綿吸音板t=9.0張 ［新設］（下地共）	H=2800	［UC塗替え］	掲示板［掲示クロス張替］ブラインド［新設］ ブラインドボックス［UC塗替え］
		職員室	改修前	M	フローリングブロックt=15張 PU塗［一部撤去］（下地共）	M	木製H=100 SOP塗	W M	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗 メラミン化粧板張 H=1200［撤去］（面台） AEP塗（柱、梁型共）	同左 同左	LGS	化粧PBt=9.0張 (910x910) ［一部撤去］	H=3050	木製廻縁 SOP塗 塩ビ製廻縁	掲示板 行事用黒板 黒板 戸棚一部［撤去］掃除具入［撤去］ブラインド［撤去］ カーテン、レール［撤去］
			改修後	M	既設床[PU塗替え］一部 フローリングブロックt=15(塗装品）[新設］（下地共）	M	［SOP塗替え］	W	［SOP塗替え］ 化粧ケイカル板張 H=1200［新設］(面台） ［EP-G塗替え］（柱、梁型共）	同左 同左	LGS	既設部［EP塗替え］ 化粧PBt=9.5張 (910x910) ［一部新設］	H=3050	［SOP塗替え］ ［既設のまま］	行事用黒板 黒板ホワイボード増張［新設］ブラインド［新設］ 戸棚一部［新設］ ブラインドボックス カーテンボックス［SOP塗替え］
		スタジオ	改修前	M	じゅうたん敷［撤去］	M	木製H=100 SOP塗	W	有孔ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	同左	LGS	PBt=9.0+★岩綿吸音板t=9.0張[一部撤去]	H=2800	木製廻縁 SOP塗	
			改修後	M	既設の上、モルタル下地調整+ビニル床シートt=2.0［新設］	M	［既設のまま］	W	［既設のまま］	［既設のまま］	LGS	PBt=9.5+岩綿吸音板t=9.0張[一部新設]	H=2800	［既設のまま］	
		放送室	改修前	M	フローリングブロックt=15張 OSW塗	M	木製H=100 SOP塗	W	有孔ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	同左	LGS	PBt=9.0+★岩綿吸音板t=9.0張	H=2800	木製廻縁 SOP塗	ブラインド［撤去］放送ランプ［撤去］（設備工事）
			改修後	M	［既設のまま］	M	［既設のまま］	W	［既設のまま］	［既設のまま］	LGS	［既設のまま］	H=2800	［既設のまま］	ブラインド［新設］放送ランプ［新設］（設備工事）
		スタジオ前室	改修前	M	フローリングブロックt=15張 PU塗［一部撤去］（下地共）	M	木製H=100 SOP塗	W	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	同左	LGS	PBt=9.0+★岩綿吸音板t=9.0張[一部撤去]	H=2800	木製廻縁 SOP塗	
			改修後	M	フローリングブロックt=15張（塗装品）［一部新設］（下地共）	M	［既設のまま］	W	［既設のまま］	［既設のまま］	LGS	PBt=9.5+岩綿吸音板t=9.0張[一部新設]	H=2800	［既設のまま］	
		印刷室	改修前	M	★ビニル床タイルt=2.0［一部撤去］（下地共）	M	木製H=100 SOP塗	W/M	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗 / AEP塗（柱、梁型共）	同左	LGS	化粧PBt=9.0張 (910x910)［一部撤去］	H=2800	木製廻縁 SOP塗	ブラインド［撤去］
			改修後	M	★ビニル床タイルt=2.0［一部新設］（下地共）	M	［既設のまま］	W/M	［既設のまま］	［既設のまま］	LGS	化粧PBt=9.5張 (910x910)［一部新設］	H=2800	［既設のまま］	ブラインド［新設］
		職員男女子便所	改修前	C+M M	磁器質25角モザイクタイル張［撤去］（土間コンクリートt=120、モルタル下地共） スロープ(刷毛引き仕上）［撤去］			M LGS100	陶器質100角タイル張 H=1200 間仕切壁(ラスモルタル+陶器質100角タイル張 H=1200)［撤去］（下地共）	AEP塗（柱、梁型共） 間仕切壁(ラスモルタル仕上 AEP塗）［撤去］（下地共）	LGS	化粧PBt=9.0張 (910x910) ［撤去］ （下地共）	H=2550 H=2500	木製廻縁 SOP塗 塩ビ製廻縁［撤去］	
			改修後	C	防汚・防滑性ビニル床シートt=2.0[新設］一部 汚垂タイルt=5.0以上[新設](小便器部） （※土間コンクリート、モルタル下地共）		ビニル巾木H=100［新設］	M LGS65	既設ﾀｲﾙ面：化粧ｹｲｶﾙ板t=6(接着貼)[新設](ﾌﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ共） ※遮音壁＋化粧ケイカル板t=6.0［新設］(下地共）	［EP-G塗替え］(柱、梁型共） ※遮音壁＋化粧ケイカル板t=6.0［新設］(下地共）	LGS	化粧PBt=9.5張 (910x910) ［新設］ （下地共）	H=2500	［SOP塗替え］ 塩ビ製廻縁［新設］	
		職員便所	改修前	C+M	職員男女子便所と同じ			M	陶器質100角タイル張 H=1200	AEP塗（柱、梁型共）	LGS	★ケイカル板t=6.0張 ★複層塗材E ［撤去］（下地共）	H=2500	木製廻縁 SOP塗[撤去]	出入口三方枠亜鉛鋼板SOP塗［撤去］
		前室	改修後	C	職員男女子便所と同じ		ビニル巾木H=100［新設］	M	職員男女子便所と同じ	職員男女子便所と同じ	LGS	職員男女子便所と同じ	H=2500	塩ビ製廻縁［新設］	
		湯沸室	改修前	M	★ビニル床タイルt=2.0［撤去］（一部下地共）			M	陶器質100角タイル張	AEP塗（柱、梁型共）	LGS	★ケイカル板t=6.0張 ★複層塗材E ［撤去］（下地共）	H=2800	木製廻縁 SOP塗	流し台 吊戸棚 水切り棚 ガス台 棚［撤去］
			改修後	M	ビニル床シートt=2.0［新設］（一部下地共）			M	［既設のまま］	［既設のまま］	LGS	ケイカル板t=6.0張 NAD塗装 ［新設］（下地共）	H=2800	［既設のまま］	流し台 吊戸棚 水切り棚 ガス台 棚［新設］
		職員女子更衣室	改修前	M	★ビニル床タイルt=2.0［撤去］（一部下地共）	M	木製H=100 SOP塗[一部撤去] 一部 33角タイル張	M LGS100	AEP塗 一部 陶器質100角タイル張 耐水PBt=12.5 AEP塗［一部撤去］(下地共）	AEP塗（柱、梁型共） 同左	LGS	化粧PBt=9.0張 (910x910)［一部撤去］ （下地共）	H=2800	木製廻縁 SOP塗 ［一部撤去］	吊カーテン・レール［撤去］
			改修後	M	ビニル床シートt=2.0［新設］（一部下地共）	M	木製H=100 SOP塗[一部新設] ［既設のまま］	 LGS100	既設壁［既設のまま］ 耐水PBt=12.5 EP-G塗装［一部新設］(下地共）	同左 同左	LGS	既設部［既設のまま］ 化粧PBt=9.5張 (910x910)［一部新設］	H=2800	［既設のまま］ 木製廻縁 SOP塗 ［一部新設］	吊カーテン・レール［新設］
		職員男子更衣室	改修前	M	★ビニル床タイルt=2.0［撤去］一部 天然麻床材t=7.0［撤去］（一部下地共）	M	ビニル巾木H=60［一部撤去］	LGS100 LGS65 C	PBt=9.5二重張(廊下間仕切壁）［撤去］(下地共） 耐水PBt=12.5 AEP塗［一部撤去］一部 PBt=12.5 AEP塗 ★複層塗材E吹付（柱、梁型共）	同左 同左 同左	LGS LGS	PBt=9.5張 AEP塗［一部撤去］(下地共） ★ケイカル板t=6.0張 ★複層塗材E	H=2800	塩ビ製廻縁一部［撤去］	吊カーテン・レール［撤去］
			改修後	M	ビニル床シートt=2.0［新設］（一部下地共）	M	ビニル巾木H=60［一部新設］	 LGS65	スチールパーテーション（廊下間仕切壁）［新設］ 耐水PBt=12.5 EP-G塗装［一部新設］ 既設壁［既設のまま］	同左 同左 同左	LGS LGS	既設部［既設のまま］ PBt=9.5張 EP塗［一部新設］(下地共）	H=2800	［既設のまま］ 塩ビ製廻縁［一部新設］	吊カーテン・レール［新設］
		第１相談室	改修前	M	★ビニル床シートt=2.0［撤去］	M	木製H=100 SOP塗	M	AEP塗（柱、梁型共）	同左	LGS	化粧PBt=9.0張 (910x910)［一部撤去］	H=2800	木製廻縁 SOP塗	カーテン・レール［撤去］
			改修後	M	ビニル床シートt=2.0［新設］	M	［既設のまま］	M	［既設のまま］	［既設のまま］	LGS	化粧PBt=9.5張 (910x910)［一部新設］		［既設のまま］	ブラインド［新設］
		第２相談室	改修前	M	タイルカーペットt=6.5［撤去］ 一部 ★ビニル床タイルt=2.0［撤去］（一部下地共）	M	木製H=100 SOP塗	W/M	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗 / AEP塗（柱、梁型共）	同左	LGS	化粧PBt=9.0張 (910x910)	H=2800	木製廻縁 SOP塗	ブラインド［撤去］
			改修後	M	ビニル床シートt=2.0［新設］（一部下地共）	M	［既設のまま］	W/M	［既設のまま］	［既設のまま］	LGS	化粧PBt=9.5張 (910x910)［一部新設］		［既設のまま］	ブラインド［新設］
		保健室	改修前	C+M	フローリングブロックt=15張 PU塗［一部撤去］（土間コンクリートt=120、モルタル下地共） 磁器質25角モザイクタイル張［撤去］（土間コンクリートt=120、モルタル下地共）	M	木製H=100 SOP塗[一部撤去]	W M	ラワン合板t=5.5目透張SOP塗［一部撤去］(下地共） メラミン化粧板張 H=1200［撤去］(面台） AEP塗（柱、梁型共）	ラワン合板t=5.5目透張SOP塗 同左	LGS	化粧PBt=9.0張 (910x910)	H=2800	木製廻縁 SOP塗	ブラインドボックスSOP塗［撤去］姿見鏡取外し　掲示板［掲示クロス張撤去］ 行事用黒板 人研ぎ流台 押入 掃除用具入［撤去］間仕切カーテン、レール［撤去］
			改修後	C+M	既設床[PU塗替え］一部 フローリングブロックt=15(塗装品）[新設］(下地共） （※土間コンクリート、モルタル下地共） 一部 モザイクタイル張［新設］（土間コンクリートt=120、モルタル下地共）	M	［SOP塗替え］ 木製H=100 SOP塗[一部新設]	W M	既設合板面［SOP塗替え］ 化粧ケイカル板張 H=1200［新設］(面台） ［EP-G塗替え］（柱、梁型共）	既設合板面［SOP塗替え］ 同左	LGS	［EP塗替え］	H=2800	［SOP塗替え］	ブラインドボックスSOP塗　ブラインド［新設］一部掲示板［掲示クロス張替］ ホワイトボード SUS製流台 押入 掃除用具入［新設］間仕切カーテン、レール［新設］
		第３相談室	改修前	M･W	★ビニル床タイルt=2.0［撤去］一部 畳敷t=60［撤去］	M	木製H=100 SOP塗	W/M	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗 / AEP塗（柱、梁型共）	同左	LGS	化粧PBt=9.0張 (910x910)	H=2800	木製廻縁 SOP塗	畳　ブラインド［撤去］
			改修後	M･W	ビニル床シートt=2.0［新設］一部 畳敷t=60［新設］	M	［既設のまま］	W/M	［既設のまま］	同左	LGS	化粧PBt=9.5張 (910x910)［一部新設］	H=2800	［既設のまま］	畳　ブラインド［新設］
		かがやきルーム	改修前	M	★ビニル床タイルt=2.0［撤去］（一部下地共）	M	木製H=100 SOP塗	W/M	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗 / AEP塗（柱、梁型共）	同左	LGS	化粧PBt=9.0張 (910x910)［一部撤去］	H=2800	木製廻縁 SOP塗	カーテン、レール［撤去］ブラインドボックスSOP塗
			改修後	M	ビニル床シートt=2.0［新設］（一部下地共）	M	［SOP塗替え］	W/M	［SOP塗替え］/ ［EP-G塗替え］（柱、梁型共）	同左	LGS	既設部［EP塗替え］ 化粧PBt=9.5張 (910x910)［一部新設］	H=2800	［SOP塗替え］	ブラインドボックス［SOP塗替え］　ブラインド［新設］

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

内部仕上表

棟名	階	室名		床		巾木		腰壁		壁	天井		天井高	廻縁	備考
管理・教室棟	2～4	生徒用便所	改修前	M 磁器質25角モザイクタイル張 M 小便器床小上り部：磁器質25角モザイクタイル張［撤去］（下地共） M スロープ(刷毛引き仕上）［撤去］			M	陶器質100角タイル張 H=1200	AEP塗（柱、梁型共）	LGS ★ケイカル板t=6.0張 AEP塗 ［撤去］（下地共）	H=2500	木製廻縁 SOP塗	
			改修後	防汚･防滑性ビニル床シートt=2.0[新設]一部 汚垂タイルt=5.0以上[新設](小便器部) （※軽量モルタル下地共）		ビニル巾木H=100［新設］		既設ﾀｲﾙ面:化粧ｹｲｶﾙ板t=6(接着貼)[新設](ｱﾙｼﾞｮｲﾅｰ共) ※袖壁＋化粧ケイカル板t=6.0［新設］(下地共)	［EP-G塗替え］（柱、梁型共） ※袖壁 EP-G塗［新設］(下地共)	LGS 化粧PBt=9.5張（910x910） ［新設］（下地共）	H=2450	［SOP塗替え］ 塩ビ製廻縁新設	
		生徒用便所前室	改修前	M 磁器質25角モザイクタイル張［撤去］(下地共)			M	陶器質100角タイル張 H=1200	AEP塗（柱、梁型共）	LGS ★ケイカル板t=6.0張 AEP塗 ［撤去］（下地共）	H=2500	木製廻縁 SOP塗	SUS製手洗い流し［撤去］
			改修後	M 防汚･防滑性ビニル床シートt=2.0[新設]（下地共）※便所床と色分け		ビニル巾木H=100［新設］		既設ﾀｲﾙ面:化粧ｹｲｶﾙ板t=6(接着貼)[新設](ｱﾙｼﾞｮｲﾅｰ共)	［EP-G塗替え］（柱、梁型共）	LGS 化粧PBt=9.5張（910x910） ［新設］（下地共）	H=2500	［SOP塗替え］ 塩ビ製廻縁［新設］	SUS製手洗い流し［新設］
	各階共通	廊下	改修前	M ★ビニル床シートt=2.0［撤去］（一部下地共） M 手洗い場：磁器質25角タイル張［撤去］（下地共）	M	木製H=100 SOP塗	W ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗［一部撤去］（下地共） M AEP塗（柱、梁型共） LGS100 PBt=9.5二重張(男子更衣室間仕切壁）［撤去］（下地共）		同左 同左 同左	LGS 化粧PBt=9.0張（910x455） ［一部撤去］（下地共）	H=2800	木製廻縁 SOP塗	
			改修後	M 既設下地面：ポリマーセメント下地処理+ビニル床シートt=2.0［新設］ M ビニル床シートt=2.0［新設］（下地共） M 手洗い場：防滑性ビニル床シートt=2.0［新設］（下地共）	M	［SOP塗替え］	W 既設合板面［SOP塗替え］ ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗［一部新設］（下地共） M ［EP-G塗替え］（柱、梁型共）		同左 同左 同左	LGS 化粧PBt=9.5張（910x455）EP塗 ［一部新設］（下地共） 既設ﾎﾞｰﾄﾞ面[EP塗替え]	H=2800	［SOP塗替え］	
昇降口棟	1	昇降口１	改修前	M 磁器質180角タイル張［一部撤去］（下地共） M スロープ(刷毛引き仕上）［撤去］ M 出入口部：モルタル金コテ仕上［一部撤去］	M M M	木製H=100 SOP塗 金コテ仕上AEP塗 テラゾー框［一部撤去］	M	AEP塗（柱、梁型共）	同左	化粧PBt=9.0張（910x455）	H=2920	木製廻縁 SOP塗	下足入［撤去］
			改修後	C+M ビニル床シートt=2.0［一部新設］（※土間コンクリート、モルタル下地共） C スロープ：防滑性ビニル床シートt=2.0［新設］（※土間コンクリート共） M 出入口部：モルタル金コテ仕上［一部新設］	M ［SOP塗替え］ M ［EP-G塗替え］ M テラゾー框[既設のまま]		M	［EP-G塗替え］	同左	［EP塗替え］	H=2920	［SOP塗替え］	下足入［新設］

特記事項

※ 新設する土間コンクリートについては、下記仕様とする。
- 職員便所：砕石(RC-40)t=100＋ポリエチレンフィルムｔ=0.15(※壁際250mm埋込不要)＋土間コンクリートt=120(溶接金網φ6ｘ150ｘ150 端部差筋アンカーφ10@300 L=400)
（職員便所前室、保健室共）
- 昇降口 ：土間コンクリートt=180（溶接金網φ6ｘ150ｘ150 端部差筋アンカーφ10@300 L=400）
- 昇降口（スロープ部）：土間コンクリートt=60～180（溶接金網φ6ｘ150ｘ150 端部差筋アンカーφ10@300 L=400）

※ 新設する軽量モルタルについては、下記仕様とする。
- 軽量モルタルt=48上ふかし（溶接金網φ6ｘ150ｘ150）

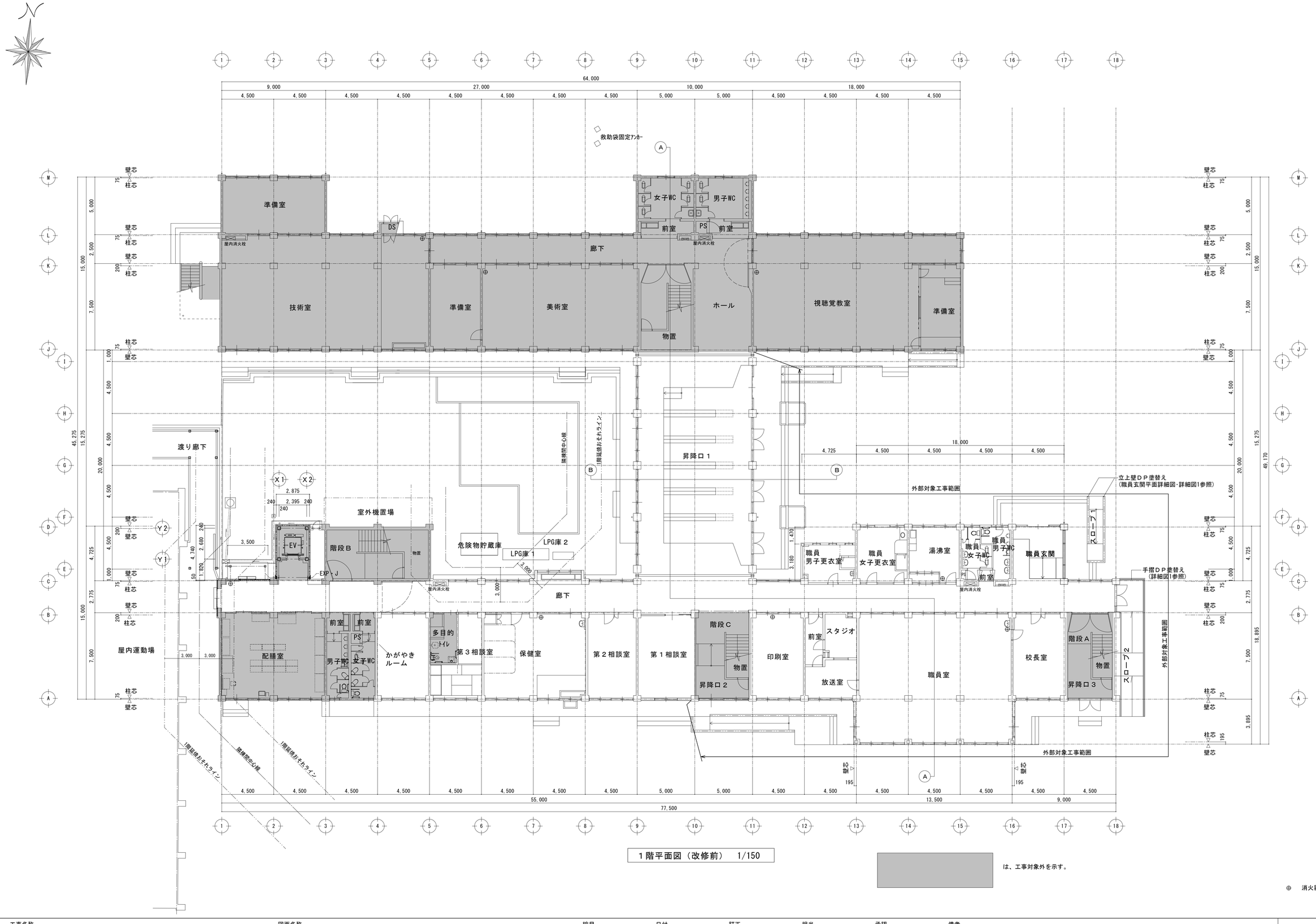
※ 新設する遮音壁及び袖壁については、下記仕様とする。
- LGS65＋GW24Kt=50＋耐水石こうボードt=12.5＋9.5（両面）

※ フローリングブロックの塗装及び塗替えの仕様については下記に示す仕様とする。
- 塗料：湿気硬化型ポリウレタン樹脂塗料　下記同等品以上
  - 和信化学㈱　ﾜｼﾝｴﾑMﾌﾛｱ(WT)
  - 三精塗料工業㈱　ｾﾌﾃｨｰｶﾞｰﾄﾞ　ﾌﾛｱｰ
  - 玄々化学工業㈱　ﾕｰﾄﾝMﾋﾞｭｱﾀｲﾌﾟ
- 工程
  1. 素地調整：研磨機（ポリッシャー）で1回研磨する。
     ※研磨機はﾄﾞﾗﾑｻﾝﾀﾞｰ機(室内中央部)、ﾃﾞｨｽｸｻﾝﾀﾞｰ機(壁際)を用いる。機械の当たらない隅等は手作業とする。
  2. 下 塗 り：塗料製造者仕様により刷毛類で塗布し乾燥養生する。
  3. 上 塗 り：塗料製造者仕様により刷毛類で塗布し乾燥養生する。

※ ステンレスは特記なき限りSUS304とする。
※ ラワン合板及びシナ合板については、Ⅱ級とする。但し、クロス下地部については、Ⅰ級とする。
※ 建具廻りの木枠については、下地調整＋SOP塗替えとする
※ 塗床の撤去については、ポリッシャーやグラインダー等の研磨機で塗床を除去し、欠損部の補修やひび割れ等は樹脂モルタル等で補修を行う。
※ 廊下及び階段室のビニル床シート張については、２色色分けとすること。
※ 職員便所・前室及び生徒用便所・前室の防汚防滑性ビニル床シート張については、２色色分けとすること。
※ 建具、間仕切壁及び床の撤去についてはカッター切りを行うこと。
※ 建具撤去取合部の補修については、既設同様に復旧すること。
※ 天井ボードの塗替えについて、空調機裏部分は手が届く範囲で塗替えを行うこと

下地材料略語		塗料略語	
C	コンクリート	SOP	合成樹脂調合ペイント塗
M	モルタル	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗
W	木下地	DP	耐候性塗料塗
LGS	軽量鉄骨下地	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗
材料略語		EP	合成樹脂エマルションペイント塗
ALC	軽量気泡コンクリート	UC	ウレタン樹脂ワニス塗
SUS	ステンレス	PU	湿気硬化型ポリウレタン樹脂塗料塗

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	★ 仕上表（改修前後２）	★ A1: 1:100 A3: 1:200	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録 222551 田中 富士夫	A－０９

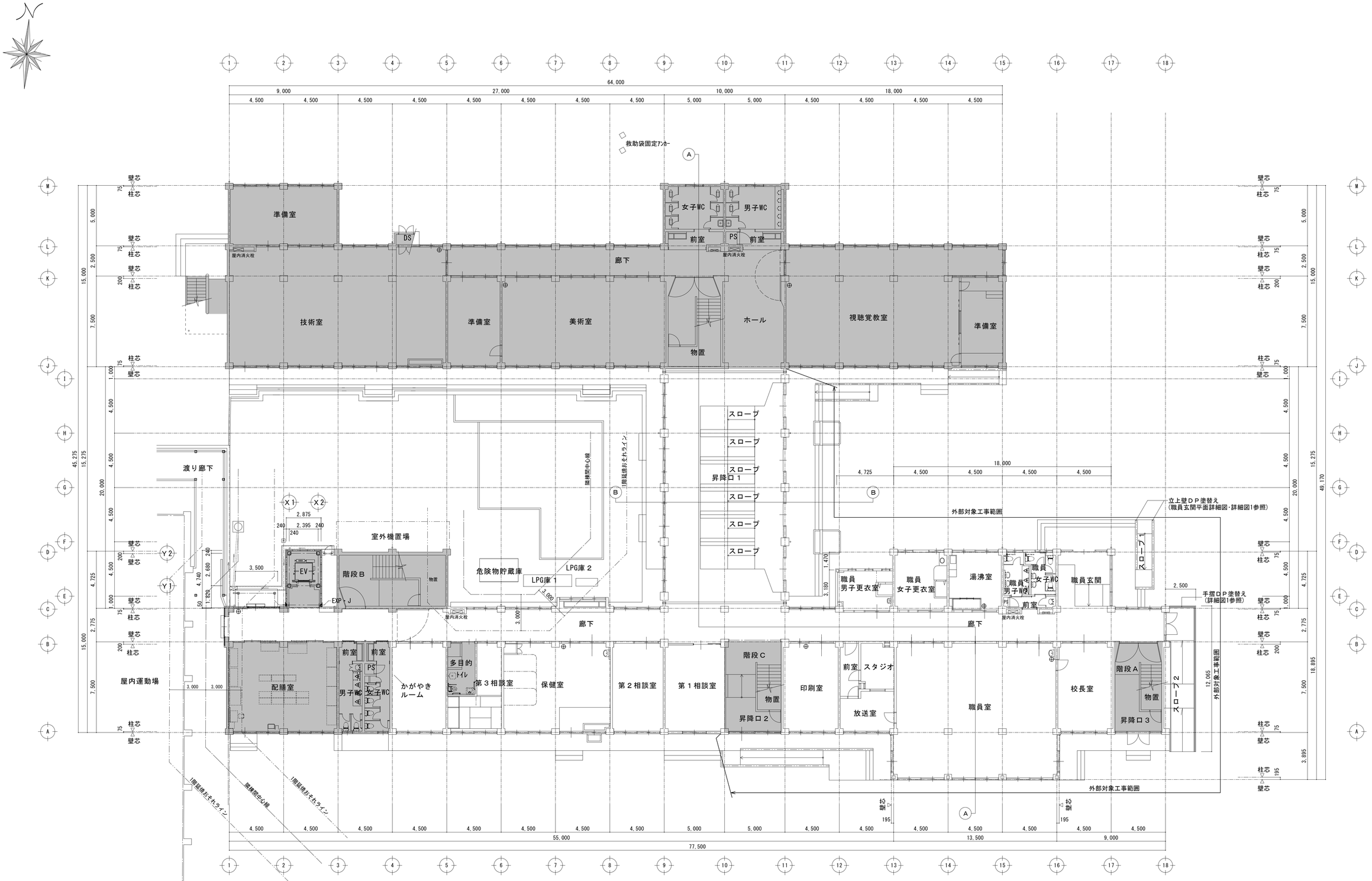


１階平面図（改修前）　1/150

は、工事対象外を示す。

⊕　消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	１階平面図（改修前）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－１０



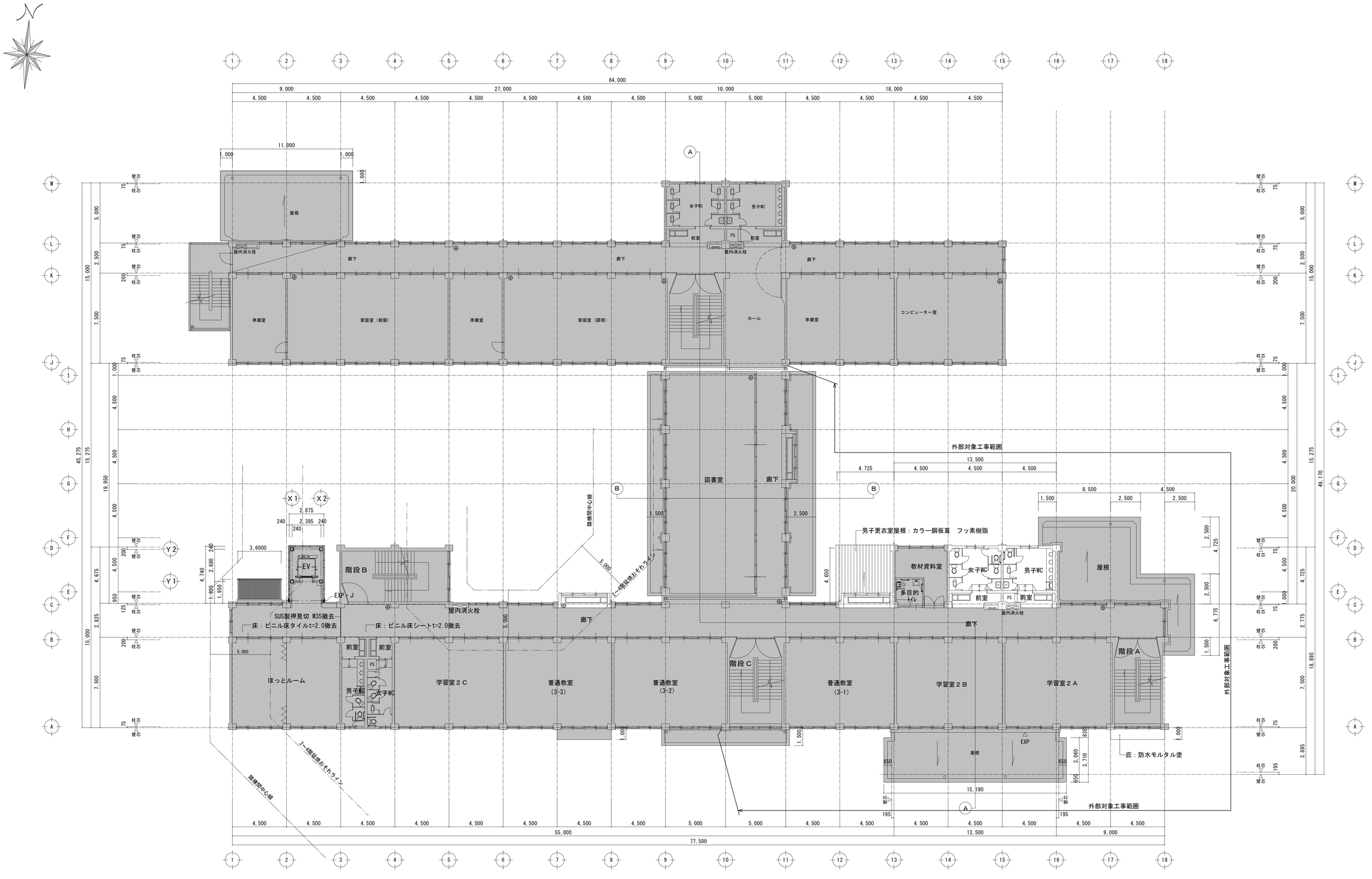
１階平面図（改修後）　1/150

は、工事対象外を示す。

⊕　消火器ABC10型

※　消火器表示板は、養生の上塗装のこと。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	１階平面図（改修後）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－１１

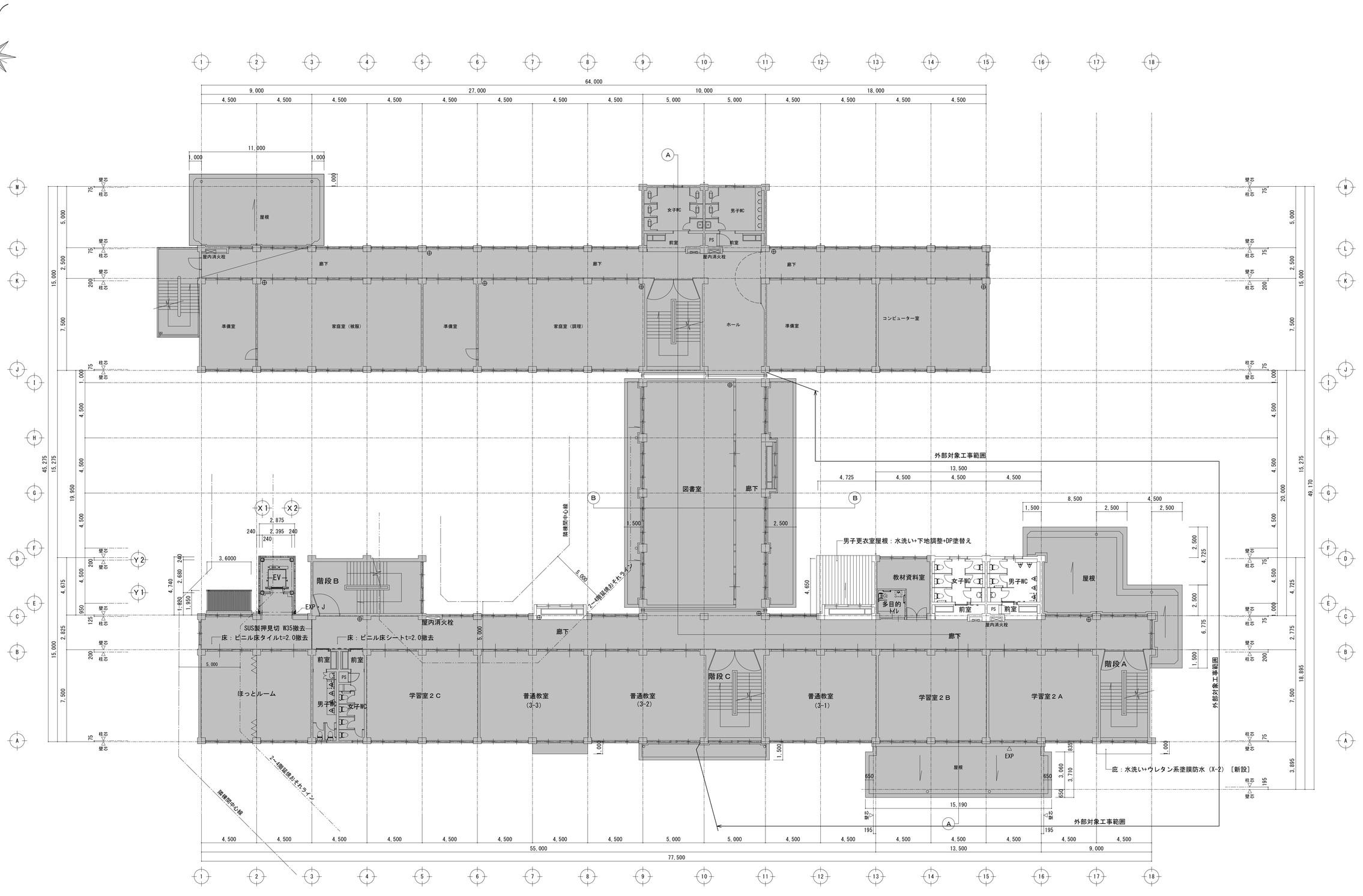


２階平面図（改修前）　1／150

は、工事対象外を示す。

⊕　消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	２階平面図（改修前）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－１２



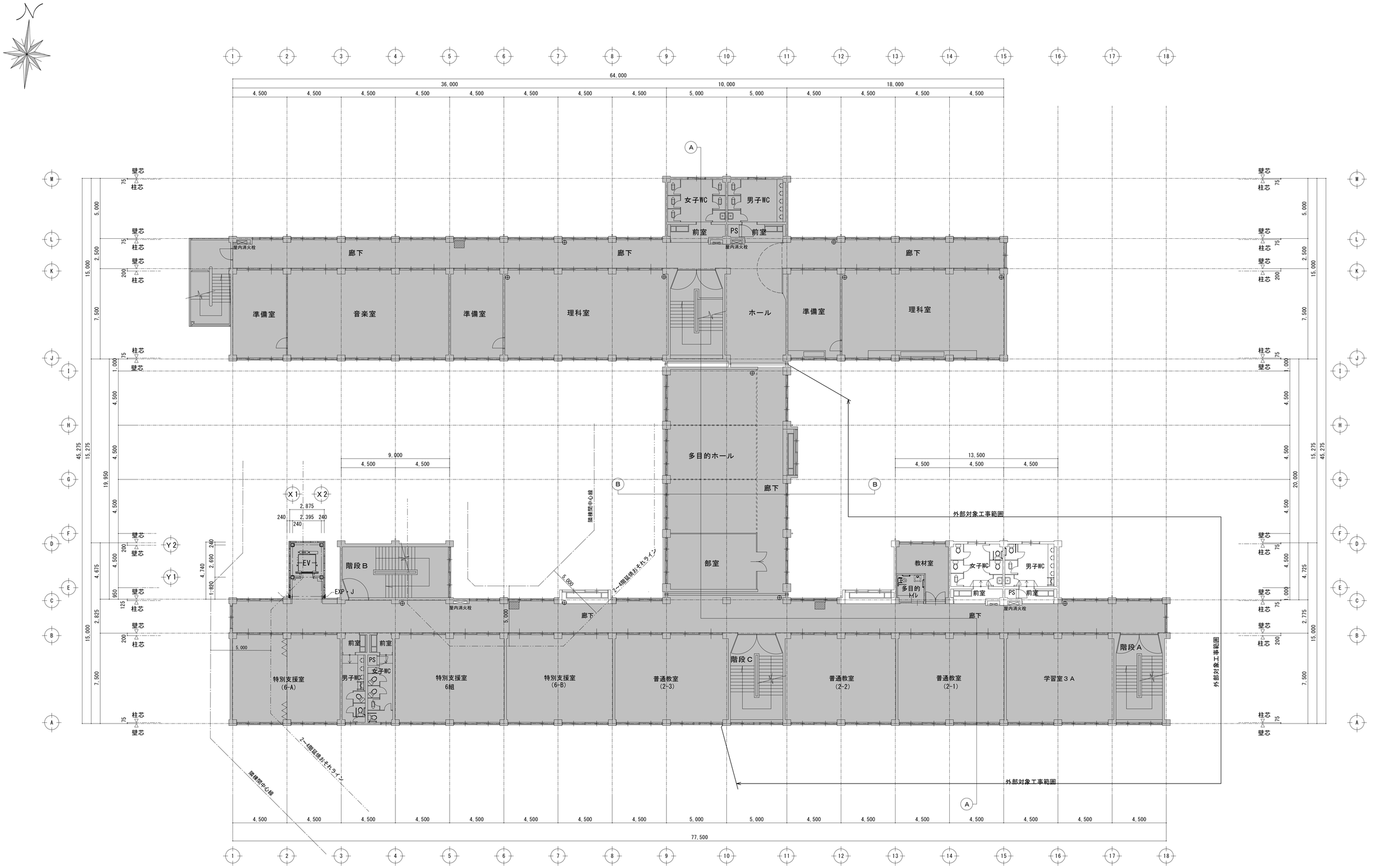
２階平面図（改修後）　1／150

は、工事対象外を示す。

⊕　消火器ABC10型

※　消火器表示板は、養生の上塗装のこと。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	２階平面図（改修後）	A1: 1:150 A3: 1:300						藤川設計株式会社	A－１３
★	★	★	★	★	★	★	★	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	



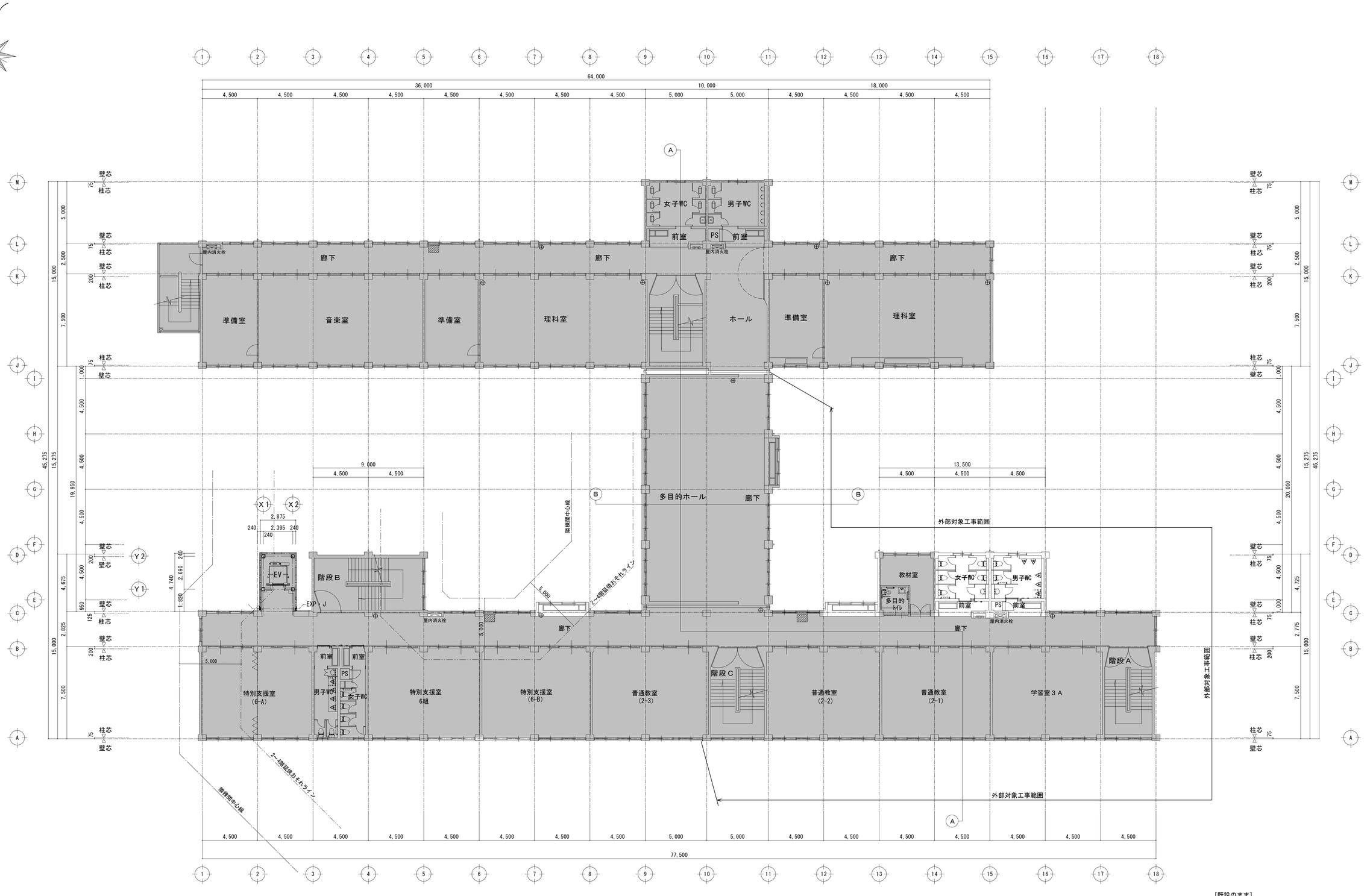
３階平面図（改修前）　1/150

は、工事対象外を示す。

［既設のまま］
救助袋　斜降式　（アンカー及び地上用固定アンカー共）
※　取外し、再取付
⊕　消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	３階平面図（改修前）	A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	A－１４

一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫



３階平面図（改修後）　1/150

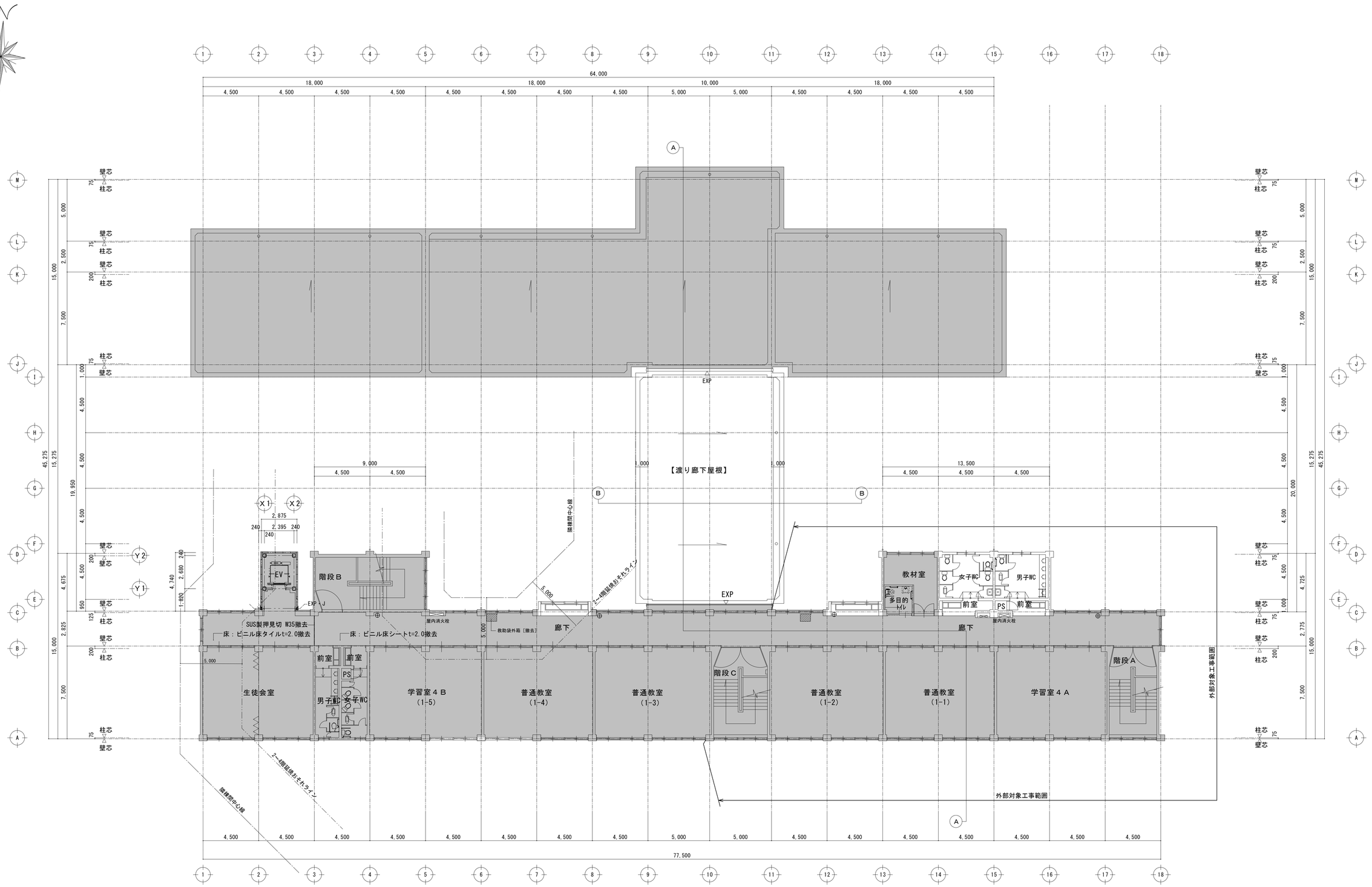
は、工事対象外を示す。

[既設のまま]
救助袋　斜降式　（アンカー及び地上用固定アンカー共）
※　取外し、再取付
⊕　消火器ABC10型
※　消火器表示板は、養生の上塗装のこと。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	３階平面図（改修後）	A1: 1:150 A3: 1:300					

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

A－１５

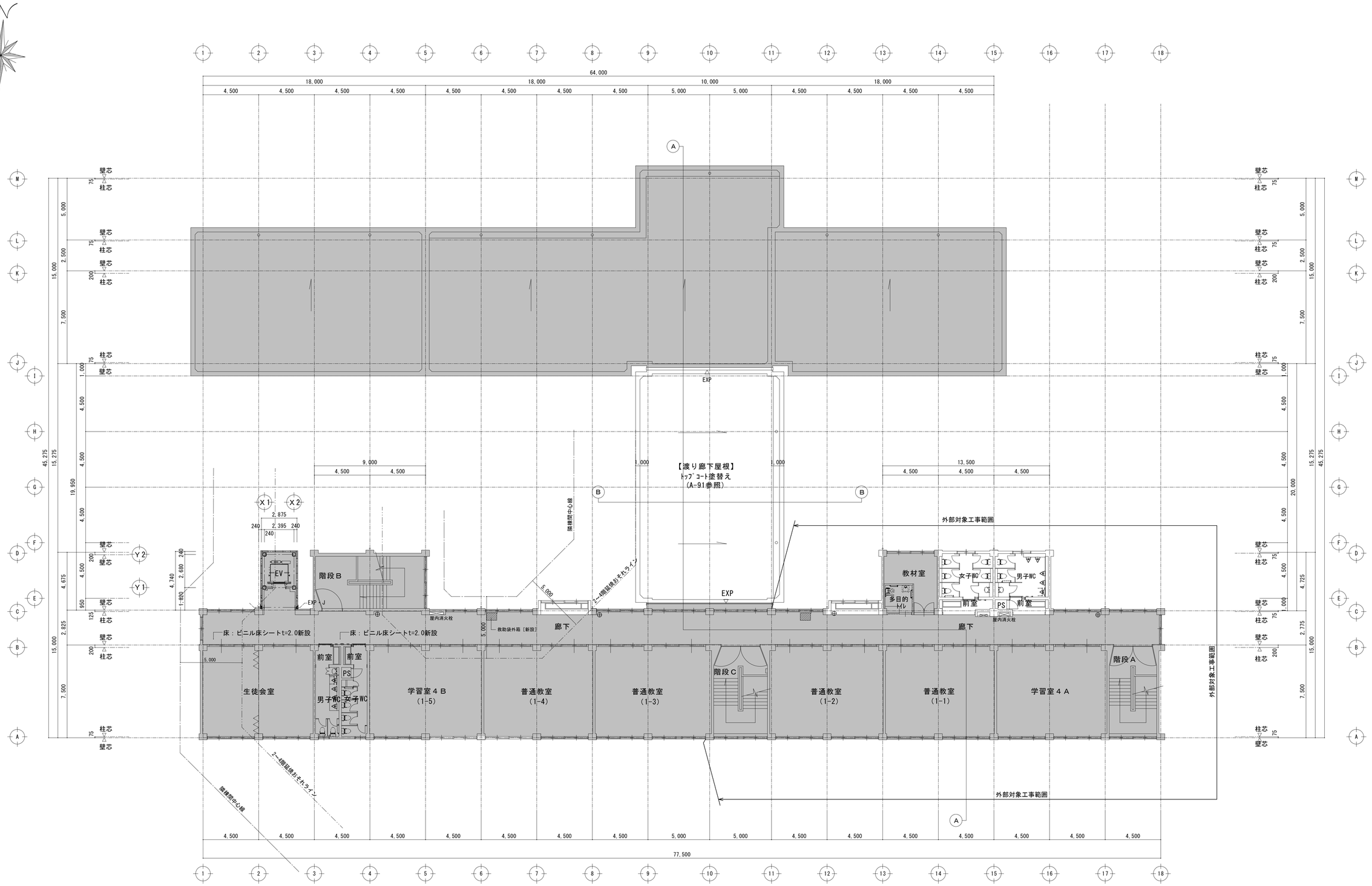


４階平面図（改修前） 1/150

は、工事対象外を示す。

［既設のまま］
救助袋 斜降式 （アンカー及び地上用固定アンカー共）
※ 取外し、再取付
消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事） ★	４階平面図（改修前） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録 222551 田中 富士夫	A－１６

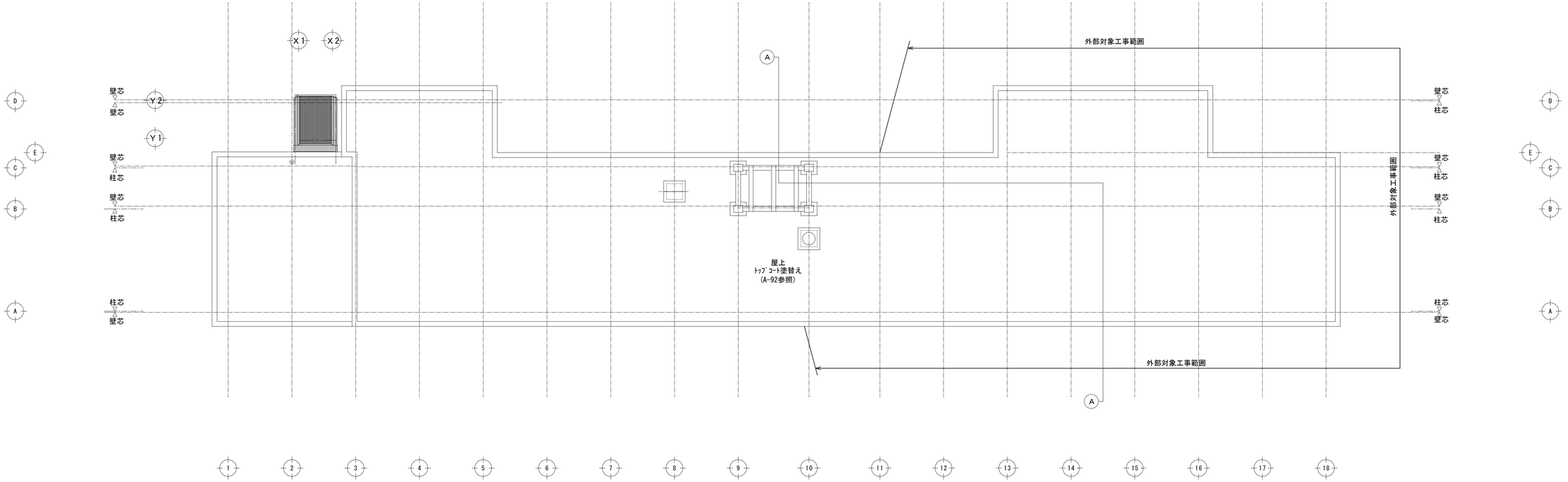


４階平面図（改修後）　1/150

は、工事対象外を示す。

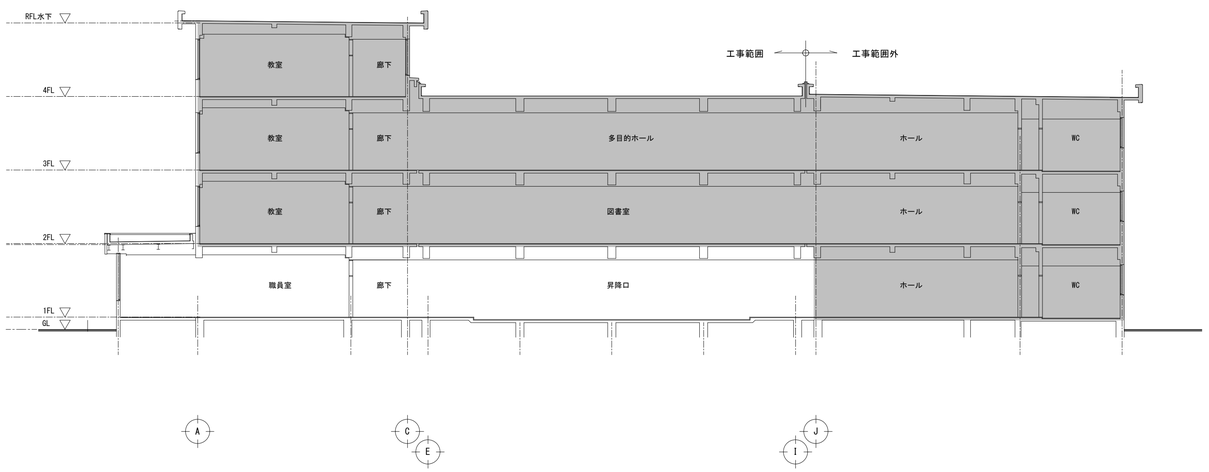
［既設のまま］
救助袋　斜降式　（アンカー及び地上用固定アンカー共）
※　取外し、再取付
消火器ABC10型
※　消火器表示板は、養生の上塗装のこと。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	４階平面図（改修後）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－１７

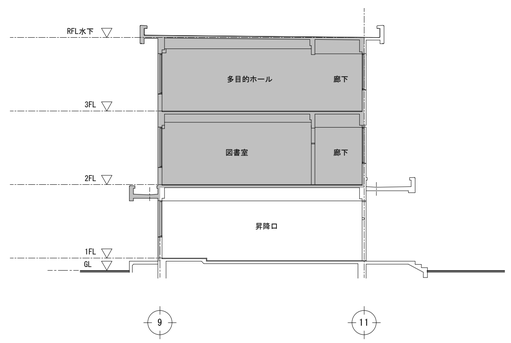


R階平面図（改修前後）　1/150

は、工事対象外を示す。



A断面図（改修前後）　1/150



B断面図（改修前後）　1/150

は、工事対象外を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事） ★	Ｒ階平面図 断面図（改修前後） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－１８

南立面図（改修前） 1/150

凡例

記号	屋外設置機器 寸法
①	室外機 W950xD400xH1520
②	室外機 W950xD350xH870
③	ウォーターサーバー W350xD320xH1000
④	給湯機 W350xD180xH900
⑤	室外機 W950xD400xH1950 フェンスW1770xD1300xH2050
⑥	ウォータークーラー W350xD280xH900
⑦	室外機 W780xD300xH600
⑧	室外機 W1400xD900xH2300 フェンスW2000xD2000xH2600
⑨	屋根 W2700xD5350xH2850
⑩	室外機 W800xD330xH750
⑪	物置 W1800xD650xH2180
⑫	AEDボックス W530xD300xH580
⑬	郵便受 W450xD280xH370
⑭	給湯機 W350xD200xH1150
⑮	室外機 W1400xD900xH2300 フェンスW2850xD3600xH3050
⑯	室外機 W xD xH フェンスW xD xH
⑰	ウォータークーラー W340xD320xH1000

西立面図（改修前） 1/150

西立面図（改修前） 1/150

西立面図Ｂ階段（改修前） 1/150

西立面図男子更衣室（改修前） 1/150

※ ★印はアスベスト含有材

凡例

記号	仕上
Ⓐ	校舎外壁：コンクリート打放★外装薄塗材E
Ⓑ	校舎柱型：モルタル刷毛引★外装薄塗材E
Ⓒ	巾木：モルタル金コテ仕上
Ⓓ	竪樋：VP100φ VP塗［撤去］（掴み金物、飾り桝共） ※職員室部は飾り桝無し
Ⓔ	屋根・庇パラペット見付：コンクリート打放★外装薄塗材E
Ⓕ	ＥＶ棟外壁：ALCパネルt=125縦張複層塗材E
Ⓖ	男子更衣室外壁：ALCパネルt=50横張弾性吹付タイル 縦横目地シーリング PU-2 W20打替え
Ⓗ	職員室外壁：ALCパネルt=100縦張防水型複層塗材E 縦横目地シーリング PU-2 W20打替え
Ⓘ	職員室腰壁：モルタル金コテ下地防水型複層塗材E
Ⓙ	男子更衣室竪樋：VP70φ［撤去］（掴み金物共）
◀	打継目地シーリング PU-2 W10打替え
▽	伸縮目地シーリング PU-2 W10打替え
▨	アルミパネルt=3.0［既設のまま］を示す。 ▩ アルミパネルt=3.0［撤去］を示す。
▨	ハッチング部分は、撤去範囲を示す。

特記事項

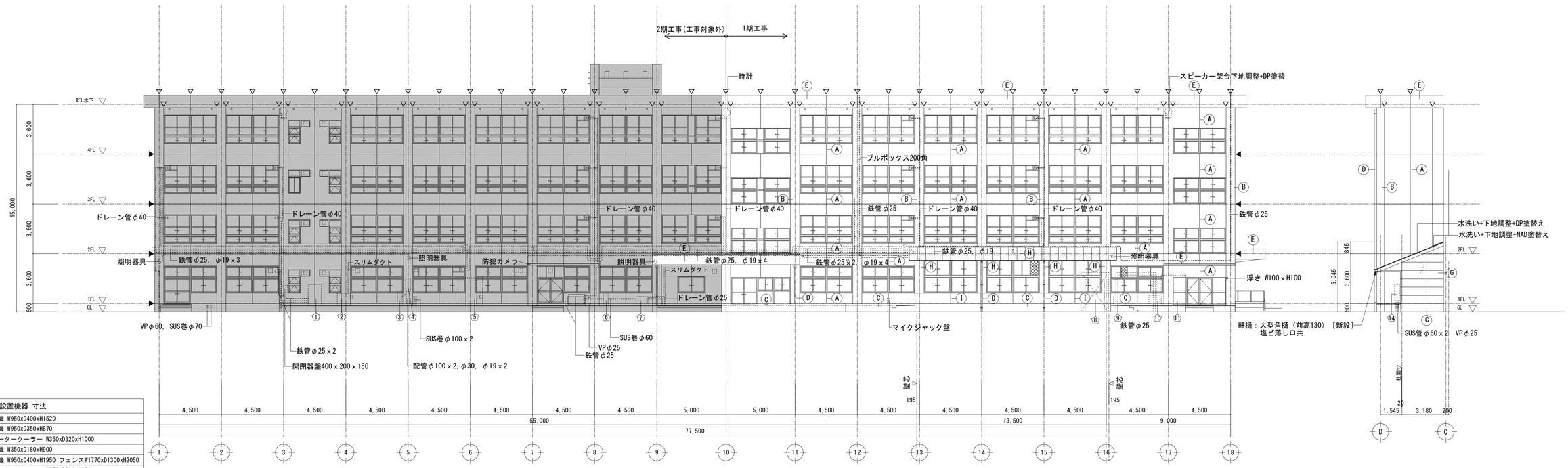
※ 外壁面に付属する配管及びＢＯＸについて
- 設備ＢＯＸ・換気フード等については、ステンレス・アルミ製は水洗い、樹脂製は 清掃の上ＤＰ塗装（下塗無し）とし、鋼板製はＤＰ塗装(亜鉛ﾒｯｷ面程度)とする。
- φ２０より小さい付属配管については、外壁同様に塗装とする。 φ２０より大きい付属配管については、樹脂製は清掃の上ＤＰ塗装(下塗無し)とし、鉄部はＤＰ塗装(亜鉛ﾒｯｷ面程度)とする。
- ステンレス、アルミ配管、監視カメラ等については、養生を行うこと。（支持金物も上記に準ずる）
- 外壁を貫通している配管周囲及び設備機器周囲は、全てシーリング打替(ＭＳ-２ Ｗ１５)を行うこと。

※ 室外機裏面については、手が届く範囲で施工を行うこと。

※ 建具改修範囲については、建具配置図及び建具表を参照とする。

工事対象外を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事） ★	立面図（改修前１） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録 ２２２５５１ 田中 富士夫	A－１９

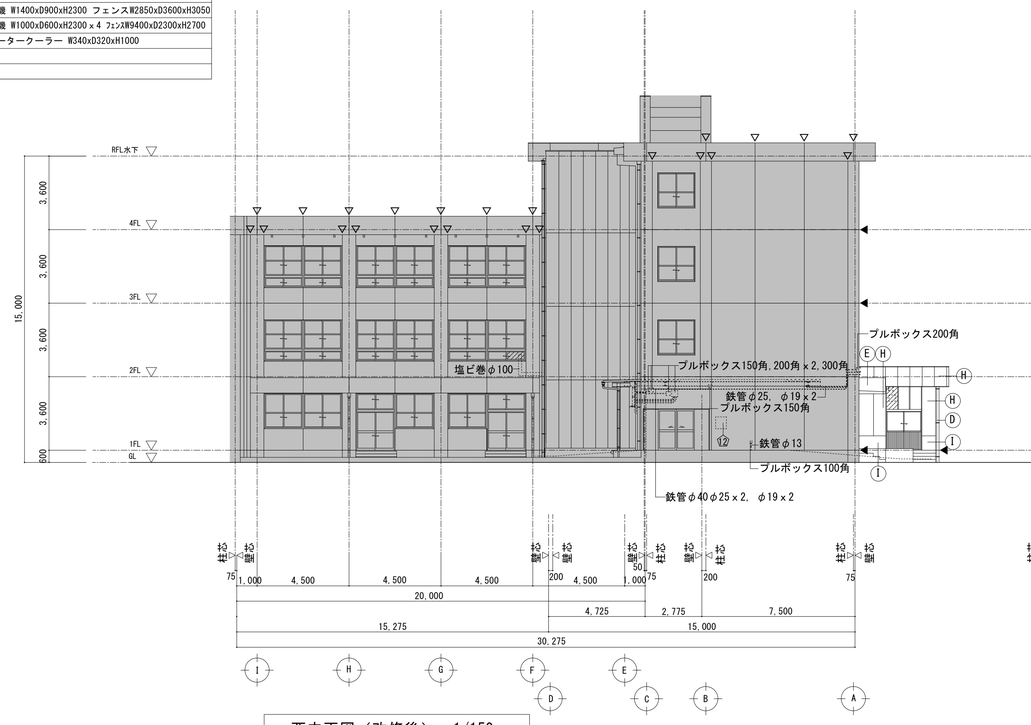


南立面図（改修後） 1/150

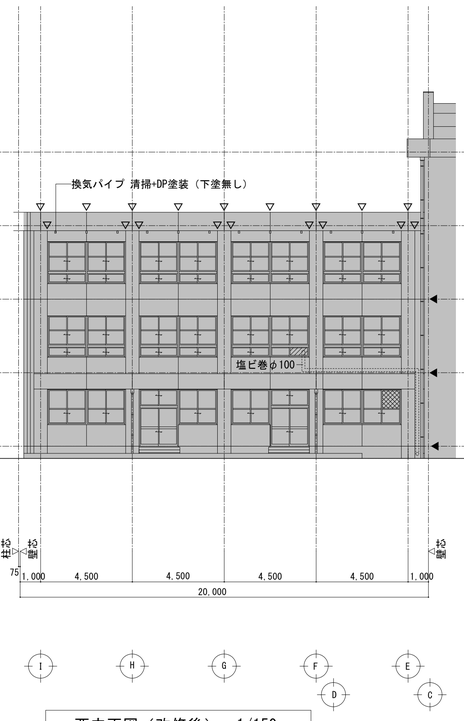
西立面図男子更衣室（改修後） 1/150

凡例

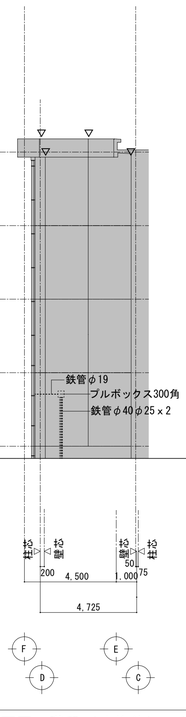
記号	屋外設置機器 寸法
①	室外機 W950xD400xH1520
②	室外機 W950xD350xH870
③	ウォータークーラー W350xD320xH1000
④	給湯機 W350xD180xH900
⑤	室外機 W950xD400xH1950 フェンスW1770xD1300xH2050
⑥	ウォータークーラー W350xD280xH900
⑦	室外機 W780xD300xH600
⑧	室外機 W1400xD900xH2300 フェンスW2000xD2000xH2600
⑨	屋根 W2700xD5350xH2850
⑩	室外機 W800xD330xH750
⑪	物置 W1800xD650xH2180
⑫	AEDボックス W530xD300xH580
⑬	郵便受 W450xD280xH370
⑭	給湯機 W350xD200xH1150
⑮	室外機 W1400xD900xH2300 フェンスW2850xD3600xH3050
⑯	室外機 W1000xD600xH2300×4 フェンスW9400xD2300xH2700
⑰	ウォータークーラー W340xD320xH1000



西立面図（改修後） 1/150



西立面図（改修後） 1/150



西立面図Ｂ階段（改修後） 1/150

凡例

記号	仕上
Ⓐ	校舎外壁：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え
Ⓑ	校舎柱型：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え
Ⓒ	巾木：水洗い
Ⓓ	竪樋：カラーVP100φ［新設］(SUS製掴み金物@1200内外、飾り桝共)（EV棟は工事対象外） ※職員室部は飾り桝無し
Ⓔ	屋根・庇パラペット見付：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え
Ⓕ	ＥＶ棟外壁：［既設のまま］
Ⓖ	男子更衣室外壁：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え 縦横目地シーリング PU-2 W20打替え
Ⓗ	職員室外壁：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え 縦横目地シーリング PU-2 W20打替え
Ⓘ	職員室腰壁：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え 目地シーリング PU-2 W20打替え
Ⓙ	竪樋：カラーVP70φ［新設］SUS製掴み金物@1200内外共
◀	打継目地シーリング PU-2 W10打替え
▽	伸縮目地シーリング PU-2 W10打替え
	アルミパネルt=3.0［既設のまま］を示す。
	アルミパネルt=3.0［新設］を示す。
	ハッチング部分は、新設範囲を示す。

特記事項

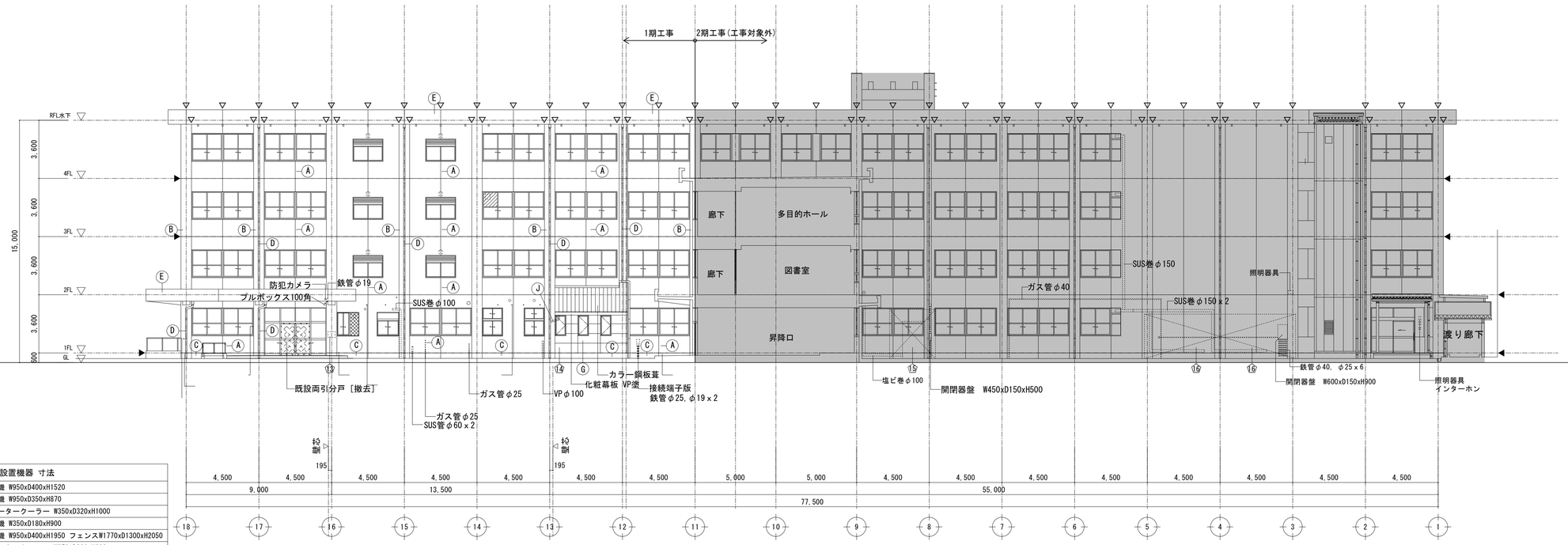
※ 外壁面に付属する配管及びＢＯＸについて
- 設備ＢＯＸ・換気フード等については、ステンレス・アルミ製は水洗い、樹脂製は　清掃の上ＤＰ塗装（下塗無し）とし、鋼板製はＤＰ塗装(亜鉛ﾒｯｷ面程度)とする。
- φ２０より小さい付属配管については、外壁同様に塗装とする。　φ２０より大きい付属配管については、樹脂製は清掃の上ＤＰ塗装(下塗無し)とし、鉄部はＤＰ塗装(亜鉛ﾒｯｷ面程度)とする。
- ステンレス、アルミ配管、監視カメラ等については、養生を行うこと。（支持金物も上記に準ずる）
- 外壁を貫通している配管周囲及び設備機器周囲は、全てシーリング打替(ＭＳ－２ Ｗ１５)を行うこと。

※ 室外機裏面については、手が届く範囲で施工を行うこと。

※ 建具改修範囲については、建具配置図及び建具表を参照とする。

工事対象外を示す。

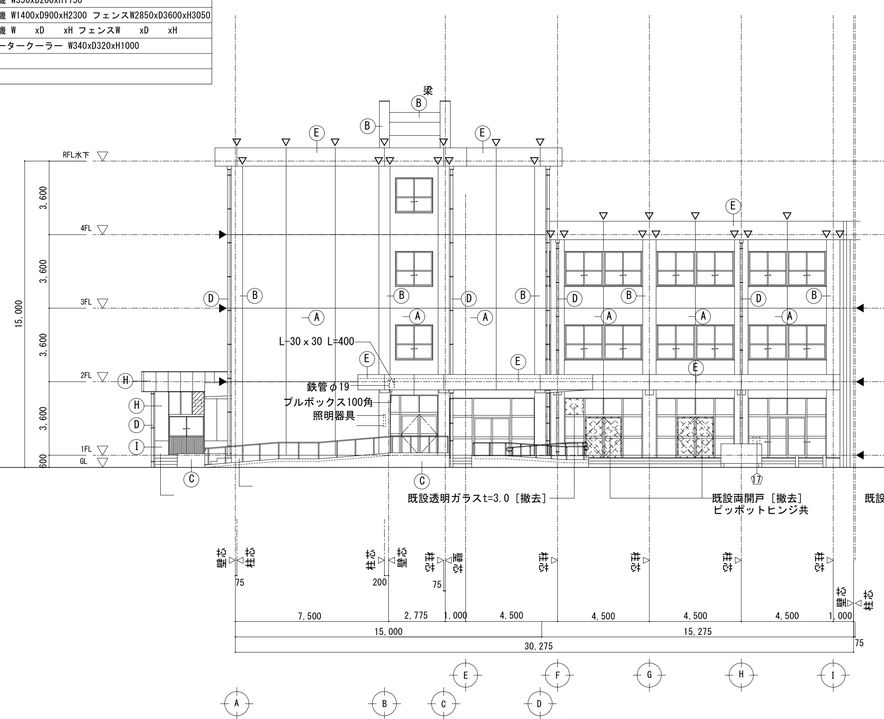
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事） ★	立面図（改修後１） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録 ２２２５５１ 田中 富士夫	A－２０



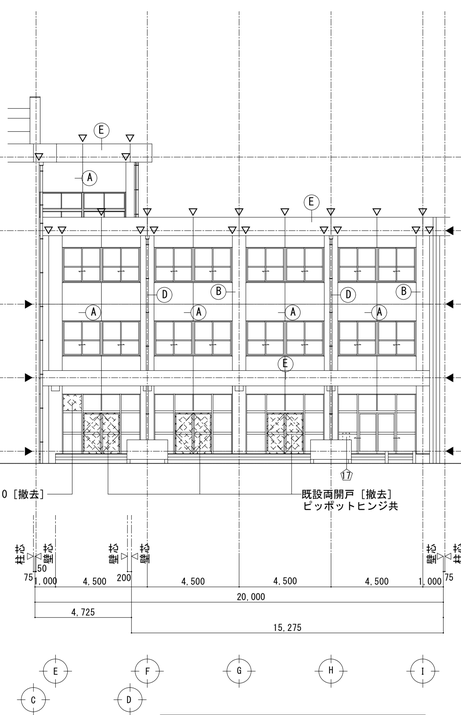
北立面図（改修前） 1/150

凡例

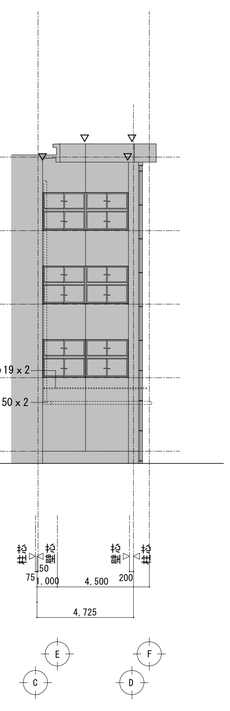
記号	屋外設置機器 寸法
①	室外機 W950xD400xH1520
②	室外機 W950xD350xH870
③	ウォータークーラー W350xD320xH1000
④	給湯機 W350xD180xH900
⑤	室外機 W950xD400xH1950 フェンスW1770xD1300xH2050
⑥	ウォータークーラー W350xD280xH900
⑦	室外機 W780xD300xH600
⑧	室外機 W1400xD900xH2300 フェンスW2000xD2000xH2600
⑨	屋根 W2700xD5350xH2850
⑩	室外機 W800xD330xH750
⑪	物置 W1800xD650xH2180
⑫	AEDボックス W530xD300xH580
⑬	郵便受 W450xD280xH370
⑭	給湯機 W350xD200xH1150
⑮	室外機 W1400xD900xH2300 フェンスW2850xD3600xH3050
⑯	室外機 W xD xH フェンスW xD xH
⑰	ウォータークーラー W340xD320xH1000



東立面図（改修前） 1/150



東立面図（改修前） 1/150



東立面図Ｂ階段（改修前） 1/150

※ ★印はアスベスト含有材

凡例

記号	仕上
Ⓐ	校舎外壁：コンクリート打放★外装薄塗材E
Ⓑ	校舎柱型：モルタル刷毛引★外装薄塗材E
Ⓒ	巾木：モルタル金コテ仕上
Ⓓ	竪樋：VP100φ VP塗［撤去］（掴み金物、飾り桝共） ※職員室部は飾り桝無し
Ⓔ	屋根・庇パラペット見付：コンクリート打放★外装薄塗材E
Ⓕ	ＥＶ棟外壁：ALCパネルt=125縦張複層塗材E
Ⓖ	男子更衣室外壁：ALCパネルt=50横張弾性吹付タイル 縦横目地シーリング PU-2 W20打替え
Ⓗ	職員室外壁：ALCパネルt=100縦張防水型複層塗材E 縦横目地シーリング PU-2 W20打替え
Ⓘ	職員室腰壁：モルタル金コテ下地防水型複層塗材E
Ⓙ	男子更衣室竪樋：VP70φ［撤去］（掴み金物共）
◀	打継目地シーリング PU-2 W10打替え
▽	伸縮目地シーリング PU-2 W10打替え
	アルミパネルt=3.0［既設のまま］を示す。 / アルミパネルt=3.0［撤去］を示す。
	ハッチング部分は、撤去範囲を示す。

特記事項

※ 外壁面に付属する配管及びＢＯＸについて
- 設備ＢＯＸ・換気フード等については、ステンレス・アルミ製は水洗い、樹脂製は 清掃の上ＤＰ塗装（下塗無し）とし、鋼板製はＤＰ塗装(亜鉛ﾒｯｷ面程度)とする。
- φ２０より小さい付属配管については、外壁同様に塗装とする。 φ２０より大きい付属配管については、樹脂製は清掃の上ＤＰ塗装(下塗無し)とし、鉄部はＤＰ塗装(亜鉛ﾒｯｷ面程度)とする。
- ステンレス、アルミ配管、監視カメラ等については、養生を行うこと。（支持金物も上記に準ずる）
- 外壁を貫通している配管周囲及び設備機器周囲は、全てシーリング打替(ＭＳ-２ Ｗ１５)を行うこと。

※ 室外機裏面については、手が届く範囲で施工を行うこと。

※ 建具改修範囲については、建具配置図及び建具表を参照とする。

工事対象外を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	立面図（改修前２）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤 川 設 計 株 式 会 社

一級建築士登録 １１７４７１ 田中 保雄

A－２１

凡例

記号	屋外設置機器 寸法
①	室外機 W950xD400xH1520
②	室外機 W950xD350xH870
③	ウォータークーラー W350xD320xH1000
④	給湯機 W350xD180xH900
⑤	室外機 W950xD400xH1950 フェンスW1770xD1300xH2050
⑥	ウォータークーラー W350xD280xH900
⑦	室外機 W780xD300xH600
⑧	室外機 W1400xD900xH2300 フェンスW2000xD2000xH2600
⑨	屋根 W2700xD5350xH2850
⑩	室外機 W800xD330xH750
⑪	物置 W1800xD650xH2180
⑫	AEDボックス W530xD300xH580
⑬	郵便受 W450xD280xH370
⑭	給湯機 W350xD200xH1150
⑮	室外機 W1400xD900xH2300 フェンスW2850xD3600xH3050
⑯	室外機 W1000xD600xH2300×4 ﾌｪﾝｽW9400xD2300xH2700
⑰	ウォータークーラー W340xD320xH1000

北立面図（改修後） 1/150

東立面図（改修後） 1/150

東立面図（改修後） 1/150

東立面図Ｂ階段（改修後） 1/150

凡例

記号	仕上
Ⓐ	校舎外壁：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え
Ⓑ	校舎柱型：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え
Ⓒ	巾木：水洗い
Ⓓ	竪樋：カラーVP100φ［新設］（SUS製掴み金物@1200内外、飾り桝共）（EV棟は工事対象外） ※職員室部は飾り桝無し
Ⓔ	屋根・庇パラペット見付：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え
Ⓕ	ＥＶ棟外壁：［既設のまま］
Ⓖ	男子更衣室外壁：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え 縦横目地シーリング PU-2 W20打替え
Ⓗ	職員室外壁：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え 縦横目地シーリング PU-2 W20打替え
Ⓘ	職員室腰壁：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え 目地シーリング PU-2 W20打替え
Ⓙ	竪樋：カラーVP100φ［新設］SUS製掴み金物@1200内外共
◀	打継目地シーリング PU-2 W10打替え
▽	伸縮目地シーリング PU-2 W10打替え
	アルミパネルt=3.0［既設のまま］を示す。 / アルミパネルt=3.0［新設］を示す。
	ハッチング部分は、新設範囲を示す。

特記事項

※ 外壁面に付属する配管及びＢＯＸについて
- 設備ＢＯＸ・換気フード等については、ステンレス・アルミ製は水洗い、樹脂製は　清掃の上ＤＰ塗装（下塗無し）とし、鋼板製はＤＰ塗装（亜鉛ﾒｯｷ面程度）とする。
- φ２０より小さい付属配管については、外壁同様に塗装とする。　φ２０より大きい付属配管については、樹脂製は清掃の上ＤＰ塗装（下塗無し）とし、鉄部はＤＰ塗装（亜鉛ﾒｯｷ面程度）とする。
- ステンレス、アルミ配管、監視カメラ等については、養生を行うこと。（支持金物も上記に準ずる）
- 外壁を貫通している配管周囲及び設備機器周囲は、全てシーリング打替（ＭＳ－２ Ｗ１５）を行うこと。

※ 室外機裏面については、手が届く範囲で施工を行うこと。

※ 建具改修範囲については、建具配置図及び建具表を参照とする。

工事対象外を示す。

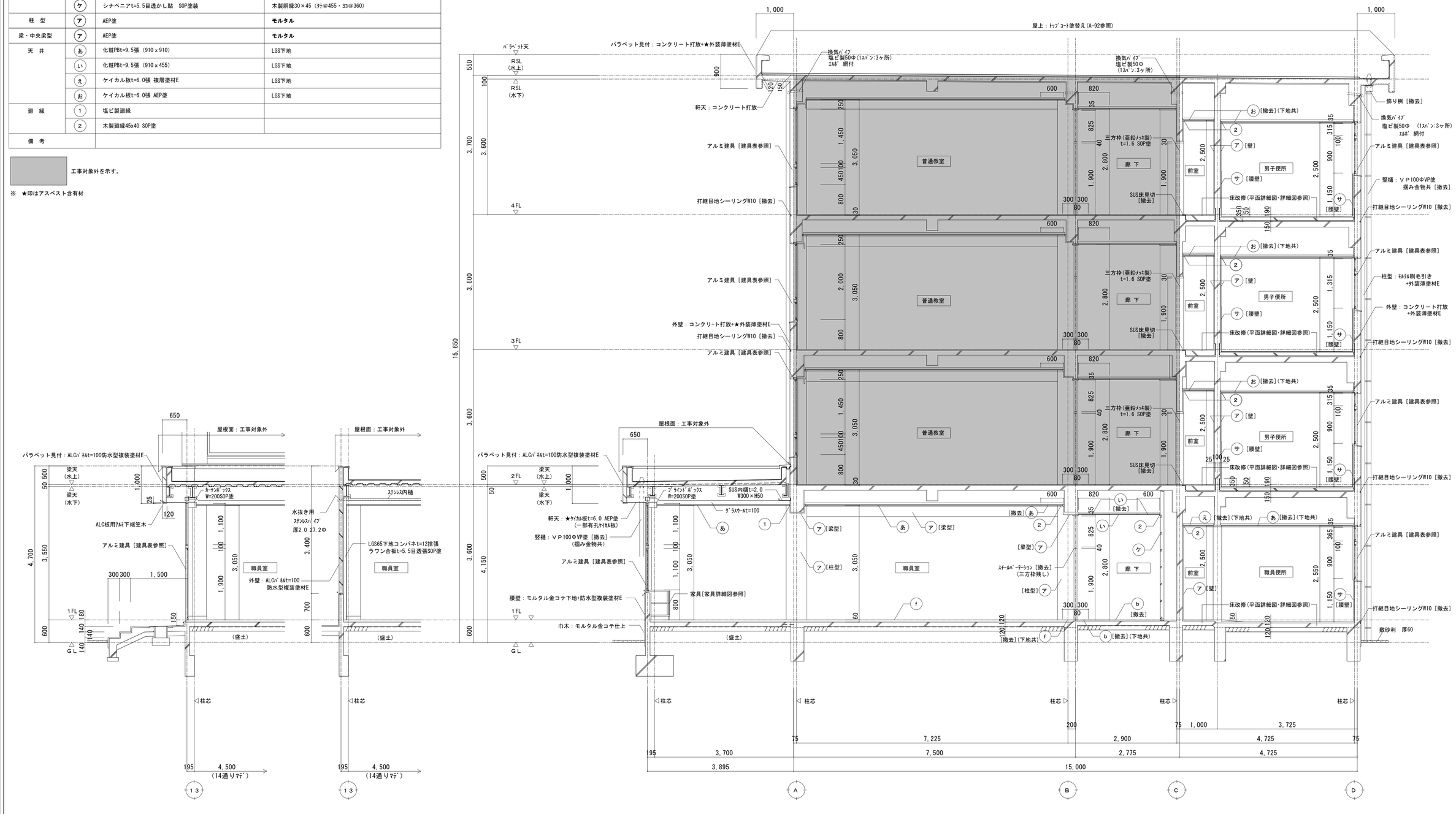
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	立面図（改修後２）	A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録 １１７４７１ 田中 保雄	A－２２

仕上表（改修前）

	記号	仕上	下地
床	ｂ	★ビニル床シートt=2.0	モルタル
	ｆ	フローリングブロックt=15張 PU塗	モルタル
	ｍ	磁器質25角タイル張	モルタル
巾　木	ｃ	木製巾木H=100　SOP塗	
壁	ア	AEP塗	モルタル
	サ	陶器質100角タイル張	モルタル
	ケ	シナベニアt=5.5目透かし貼　SOP塗装	木製胴縁30×45（ﾀﾃ@455・ﾖｺ@360）
柱　型	ア	AEP塗	**モルタル**
梁・中央梁型	ア	AEP塗	**モルタル**
天　井	あ	化粧PBt=9.5張（910×910）	LGS下地
	い	化粧PBt=9.5張（910×455）	LGS下地
	え	ケイカル板t=6.0張 複層塗材E	LGS下地
	お	ケイカル板t=6.0張 AEP塗	LGS下地
廻　縁	1	塩ビ製廻縁	
	2	木製廻縁45x40 SOP塗	
備　考			

工事対象外を示す。

※　★印はアスベスト含有材

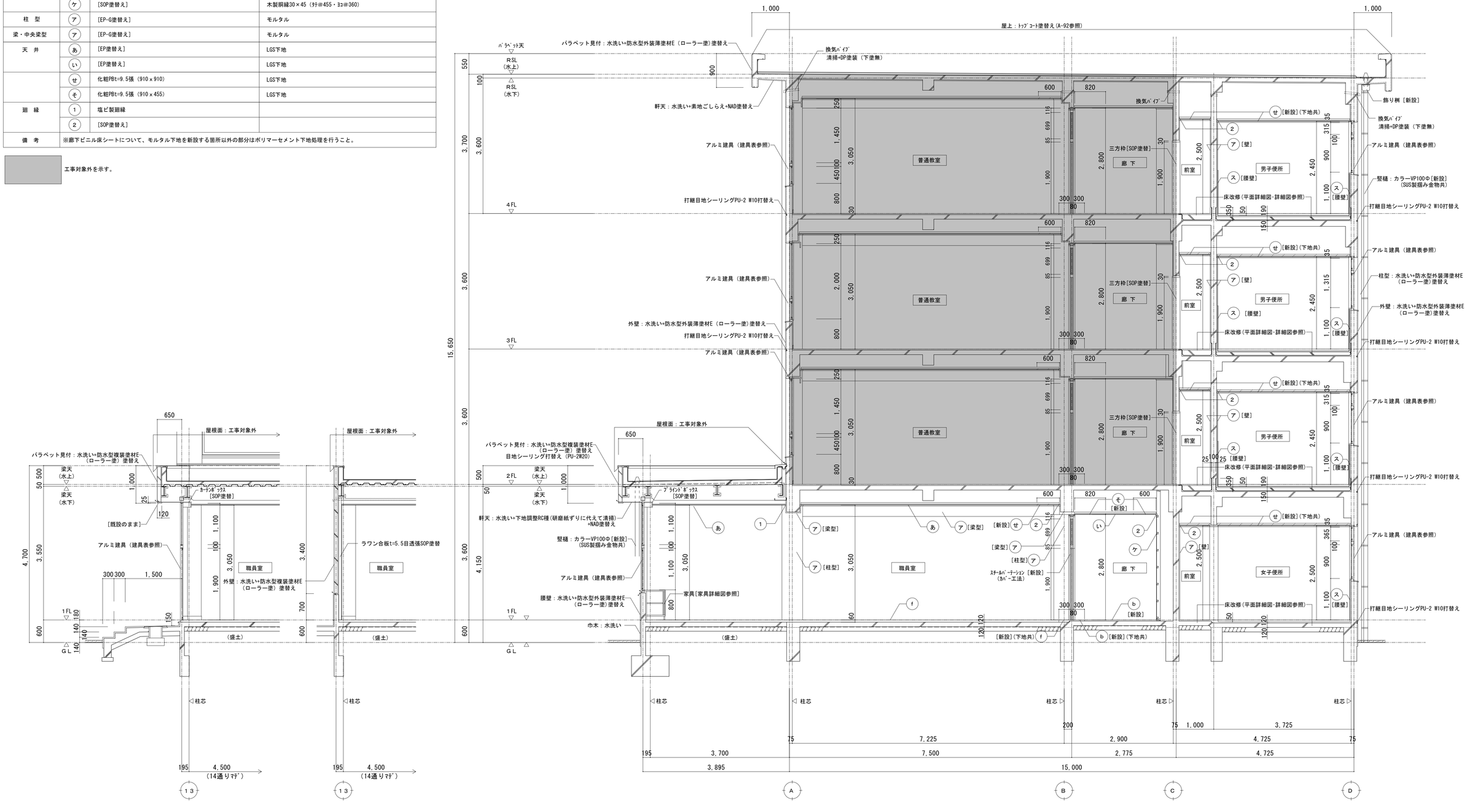


工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	矩計図１（改修前）	A1: 1:50 A3: 1:100						藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫
★	★	★	★	★	★	★	★		A－２３

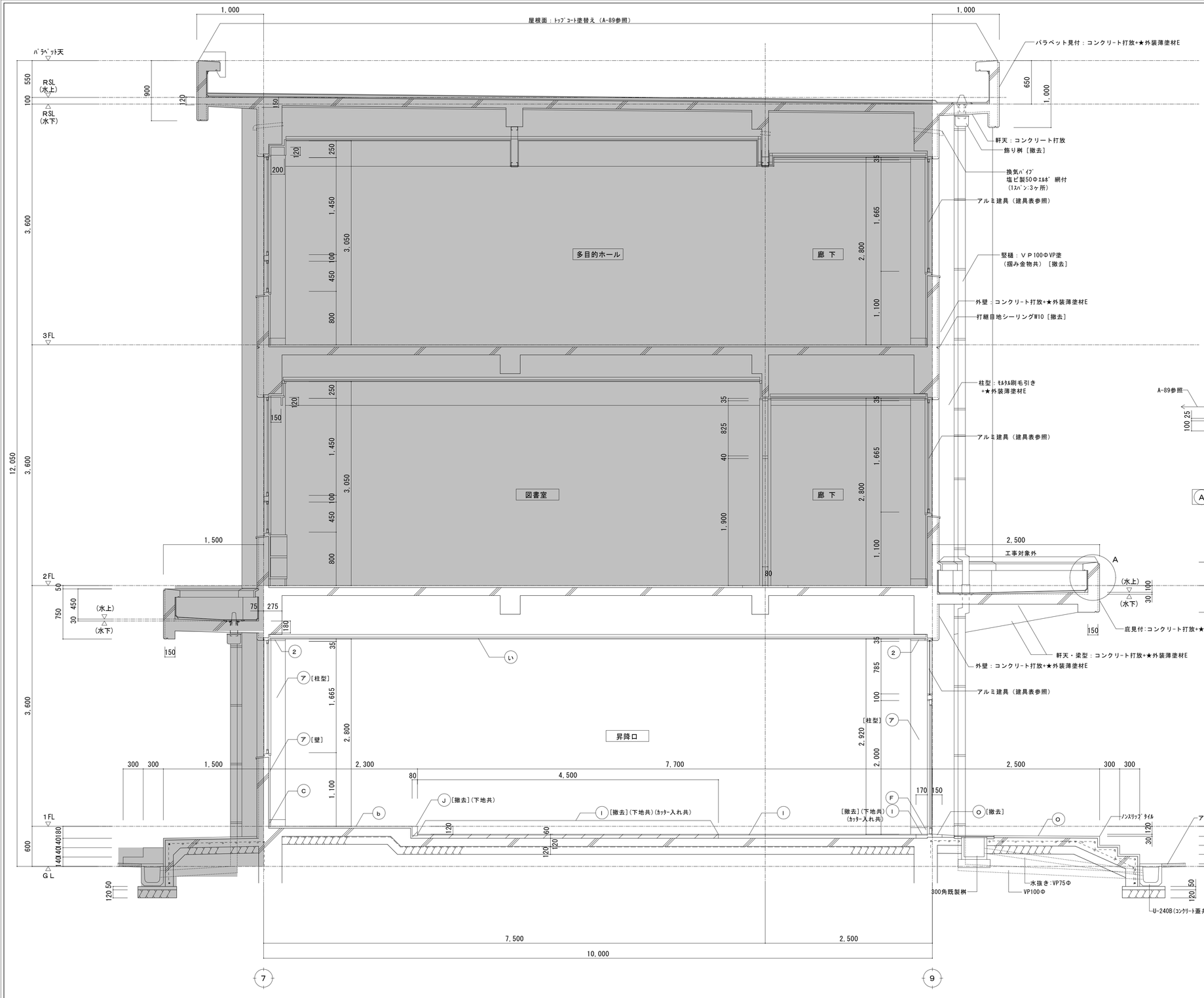
仕上表（改修後）

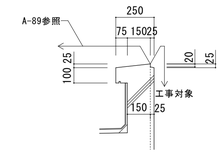
	記号	仕上	下地
床	b	ビニル床シートt=2.0	モルタル
	d	防汚・防滑長尺ビニル床シートt=2.0	モルタル
	f	既設床[PU塗替え] 新設床:フローリングブロックt=15（塗装品）	モルタル
巾　木	C	[SOP塗替え]	
壁	ア	[EP-G塗替え]	モルタル
	ス	既設ﾀｲﾙ面:化粧ｹｲｶﾙ板t=6(接着貼)[新設](ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ共)	タイル
	ケ	[SOP塗替え]	木製胴縁30×45（ﾀﾃ@455・ﾖｺ@360）
柱　型	ア	[EP-G塗替え]	モルタル
梁・中央梁型	ア	[EP-G塗替え]	モルタル
天　井	あ	[EP塗替え]	LGS下地
	い	[EP塗替え]	LGS下地
	せ	化粧PBt=9.5張（910×910）	LGS下地
	そ	化粧PBt=9.5張（910×455）	LGS下地
廻　縁	1	塩ビ製廻縁	
	2	[SOP塗替え]	
備　考	※廊下ビニル床シートについて、モルタル下地を新設する箇所以外の部分はポリマーセメント下地処理を行うこと。		

工事対象外を示す。



工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事） ★	矩計図１（改修後） ★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－２４





Ⓐ 部分詳細(共通)

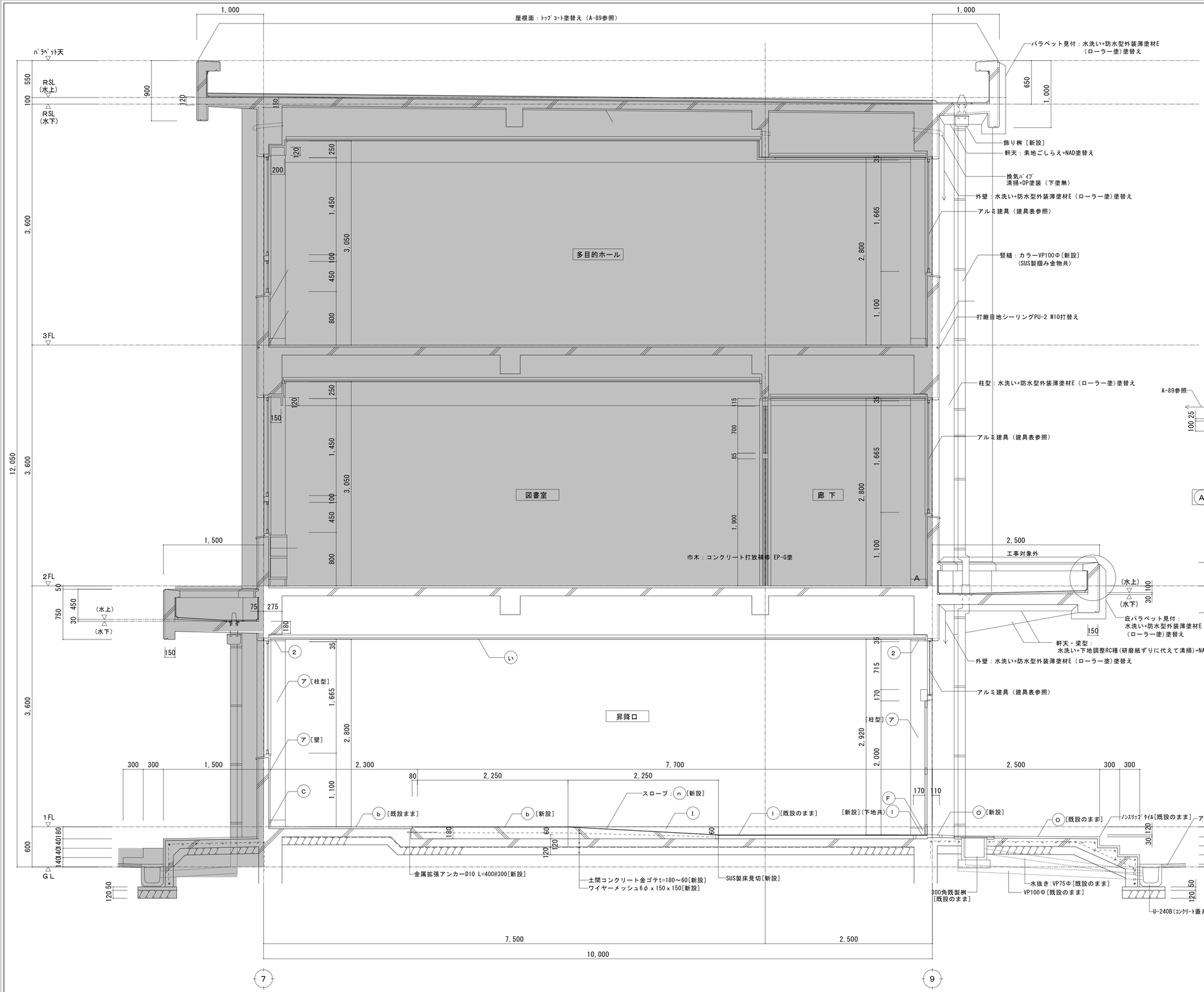
仕上表（改修前）

	記号	仕上	下地
床	b	ビニル床シートt=2.0	モルタル
	l	磁器質180角タイル張	モルタル
	o	モルタル金ゴテ仕上	モルタル
巾 木	c	木製巾木H=100 SOP塗	
	f	モルタル金コテ AEP塗	
	j	テラゾ框80×120	
壁	ア	AEP塗	モルタル
			モルタル
柱 型	ア	AEP塗	モルタル
梁・中央梁型	ア	AEP塗	モルタル
天 井	あ	化粧PBt=9.5張（910×910）	LGS下地
	い	化粧PBt=9.5張（910×455）	LGS下地
廻 縁	2	木製廻縁45x40 SOP塗	
備 考			

※ ★印はアスベスト含有材

工事対象外を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	矩計図２（改修前）	A1: 1:30 A3: 1:60						藤川設計株式会社	A－２５
★	★	★	★	★	★	★	★	一級建築士登録 ２２２５５１ 田中 富士夫	



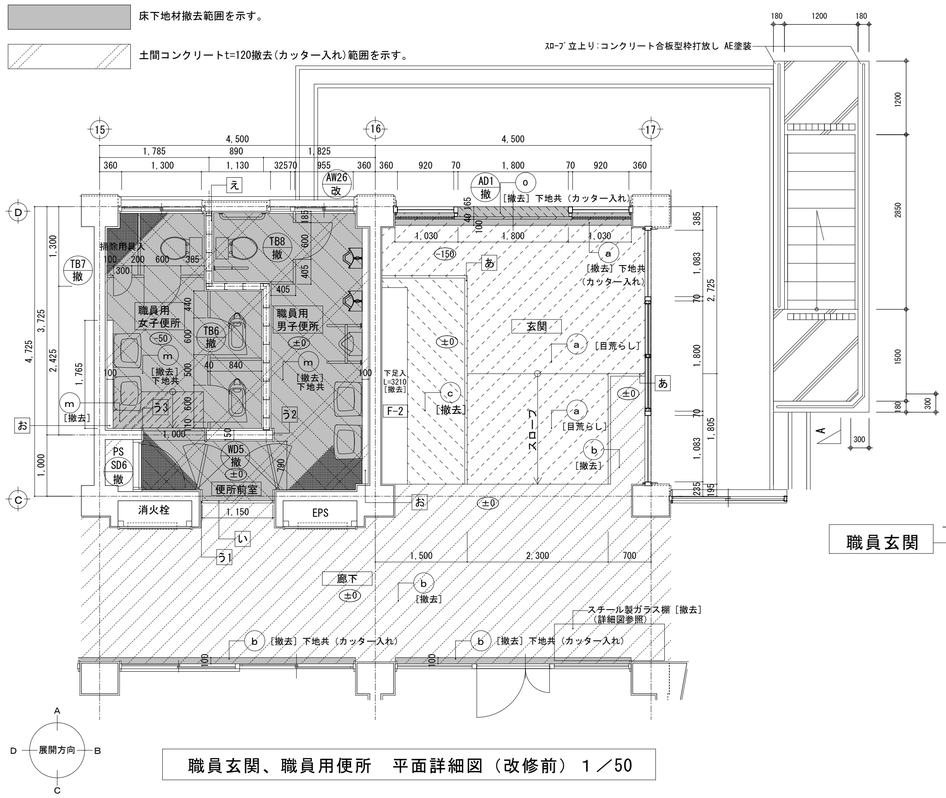
仕上表（改修前）

	記号	仕上	下地
床	ｂ	ビニル床シートt=2.0	モルタル
	ｎ	防汚防滑性ビニル床シートt=2.0	コンクリート直均し
	ｌ	磁器質180角タイル張	モルタル
	ｏ	モルタル金ゴテ仕上	モルタル
巾 木	ｃ	[SOP塗替え]	
	Ｆ	[EP-G塗替え]	
	ｌ	コンクリート打放補修 EP-G塗	
壁	ｱ	[EP-G塗替え]	モルタル
柱 型	ｱ	[EP-G塗替え]	モルタル
梁・中央梁型	ｱ	[EP-G塗替え]	モルタル
天 井	ｲ	[EP塗替え]	LGS下地
廻 縁	2	[SOP塗替え]	
備 考			

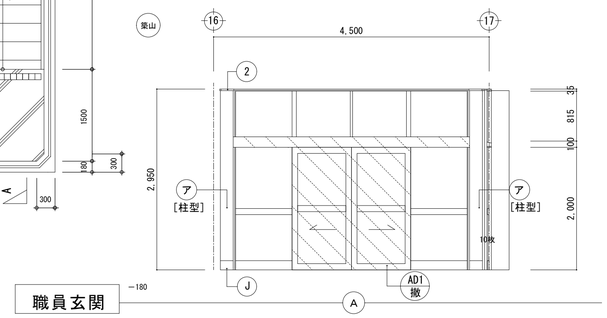
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	矩計図２（改修後）	A1: 1:30 A3: 1:60	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録 222551 田中 富士夫	A－２６

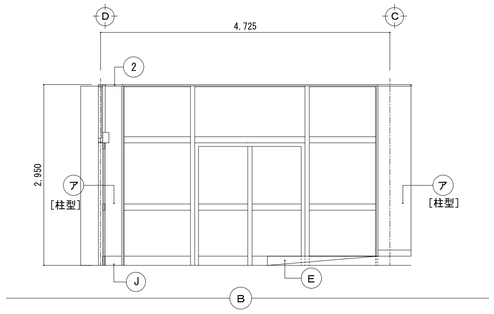
床下地材撤去範囲を示す。

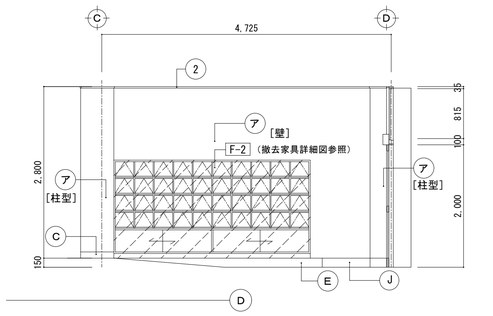
土間コンクリートt=120撤去(カッター入れ)範囲を示す。



職員玄関、職員用便所　平面詳細図（改修前）１／50

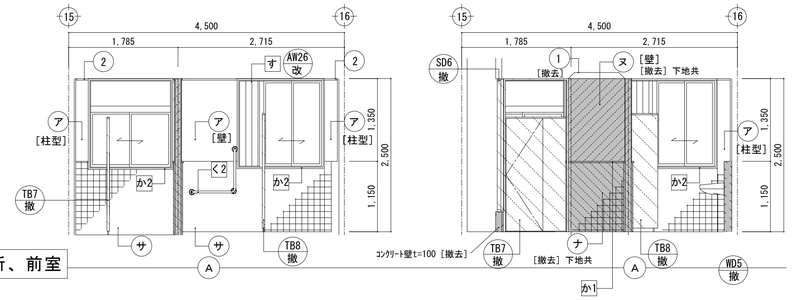


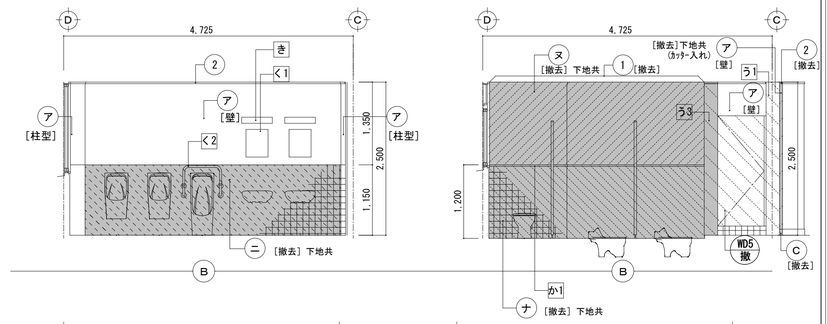


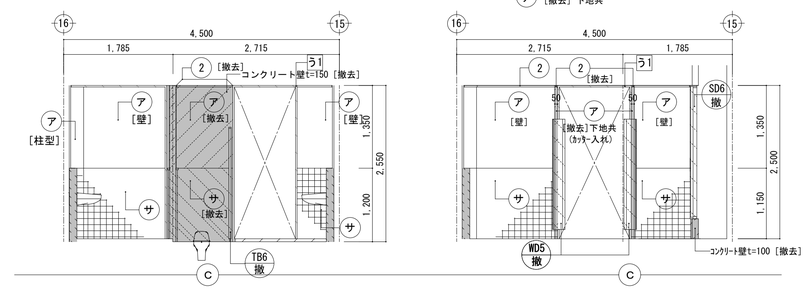


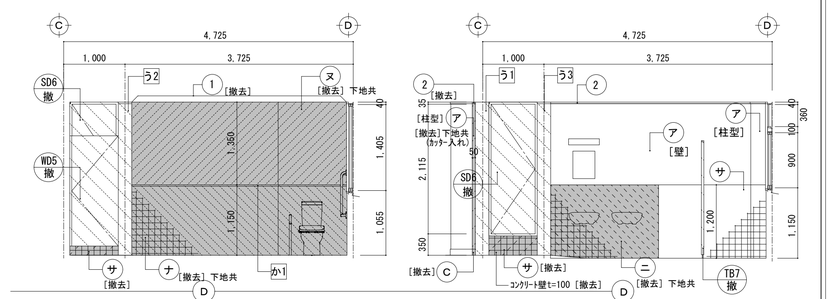
壁下地材撤去範囲を示す。

建具撤去範囲を示す。









※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。

※　★印はアスベスト含有材

職員玄関、便所		仕上表（改修前）		
	記号	仕上	下地	撤去範囲を示す
床	a	弾性ウレタン樹脂塗床t=2.0	モルタル	
	b	★ビニル床シートt=2.0	モルタル	
	c	カーペット敷	モルタル	
	m	磁器質25角タイル張	モルタル	
	o	モルタル金コテ仕上	モルタル	
	h	スロープ：モルタル刷毛引き	モルタル	
巾木	C	木製巾木H=100　SOP塗		
	E	EP-G塗H=150	モルタル	
	J	テラゾ巾木 H=150		
壁	ア	AEP塗	モルタル	
	サ	陶器質100角タイル張 H=1200	モルタル	
	ナ	陶器質100角タイル張 H=1200	LGS100下地ラスモルタル	
	ニ	陶器質100角タイル張 H=1200	モルタル CB積t=100	
	ヌ	AEP塗	LGS100下地+ケイカル板t=6.0	
廻縁	1	塩ビ廻縁		
	2	木製45×40　SOP塗		
天井高		職員玄関2,950　廊下2,800　職員便所前室2,500　男子職員便所2,500　女子職員便所2,550		
備　考		下足入L3210×H1600×D415［撤去］　アルミ建具：両引戸［撤去］（上吊金物共）		

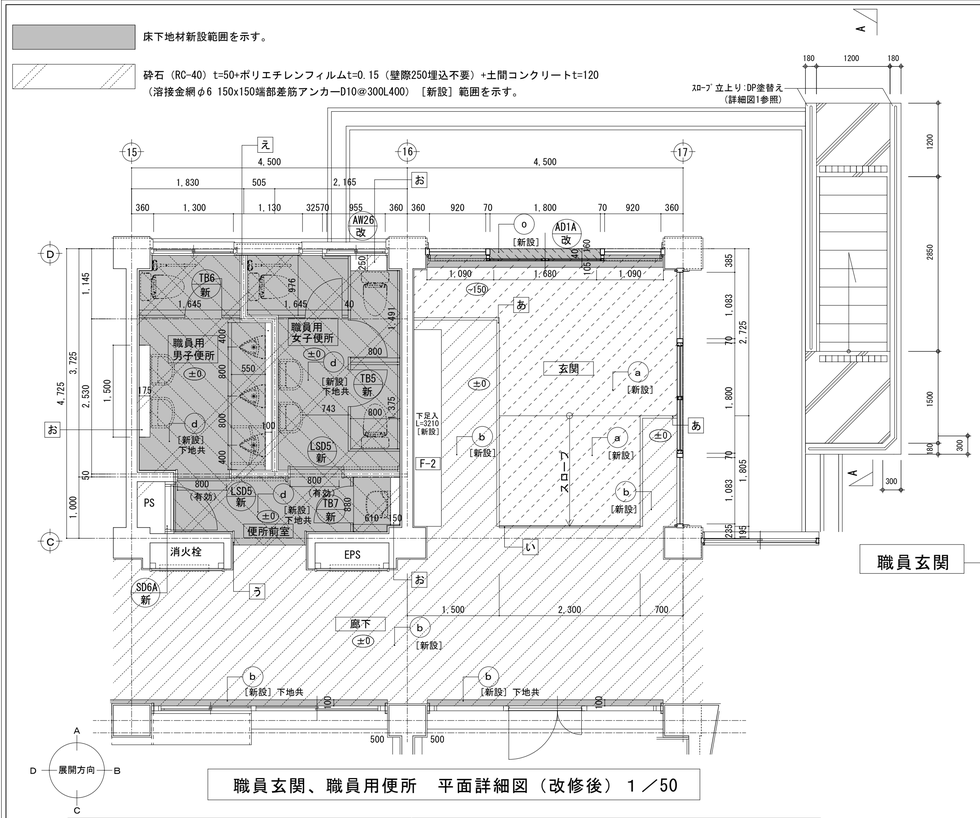
凡例（平面詳細図・展開図）（その他）			
あ	SUS製ノンスリップ［撤去］	か1	木製見切 W40xH25 SOP塗［撤去］
い	床見切SUS製40x20t=1.2［撤去］	か2	木製額縁 W40xH25 SOP塗
う1	三方枠亜鉛鋼板W=220t=1.6 SOP塗［撤去］	き	照明器具［移設］（設備工事）
う2	二方枠亜鉛鋼板W=220t=1.6 SOP塗［撤去］	く1	鏡［撤去］（設備工事）
う3	三方枠亜鉛鋼板W=220t=1.6 SOP塗［撤去］	く2	手摺［撤去］（設備工事）
え	間仕切壁：LGS100+ケイカル板t=6.0 AEP塗（両面）［撤去］（LGS下地共） 腰壁部：ラスモルタル+100角タイル張（両面）［撤去］（LGS下地共）	す	アルミパネルt=3.0［撤去］
お	面台：モルタル CB積t=100 陶器質100角タイル張［撤去］		

（****撤）撤去建具を示す（枠共）　（****改）改修建具を示す

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	職員玄関、職員用便所　平面詳細図　展開図（改修前）★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－２７

床下地材新設範囲を示す。

砕石（RC-40）t=50+ポリエチレンフィルムt=0.15（壁際250埋込不要）+土間コンクリートt=120
（溶接金網φ6 150x150端部差筋アンカーD10@300L400）［新設］範囲を示す。



職員玄関、職員用便所　平面詳細図（改修後）１／50

職員玄関、便所		仕上表（改修後）	
	記号	仕上	下地	新設範囲を示す
床	a	弾性ウレタン樹脂塗床t=2.0（ノンスリップ）	モルタル	
	b	ビニル床シートt=2.0	モルタル	
	d	防汚・防滑ビニル床シートt=2.0	コンクリート金ゴテ押え	
	o	モルタル金コテ仕上	モルタル	
巾木	A	ビニル巾木H=100［新設］		
	C	既設部:SOP塗替え 木製巾木H=100　SOP塗[一部新設]		
	E	EP-G塗替えH=150	モルタル	
	J	テラゾ巾木 H=150 既設のまま		
壁	ア	EP-G塗替え	モルタル	
	ア1	EP-G塗り	モルタル補修	
	セ	化粧ケイカル板t=6.0（接着貼） アルミジョイナー共 H1150新設	陶器質100角タイル	
	ソ	化粧ケイカル板t=6.0（接着貼）	遮音壁：LGS65+GW24Kt=50+耐水PBt=12.5+9.5	
	ネ	EP-G塗装(天井まで)	耐火壁：LGS65+GB-Ft21+21(片面)(四周耐火ｼｰﾙ共) (認定番号:FP060NP-0497)スラブ下まで	
	ノ	化粧ケイカル板t=6.0（接着貼）	LGS65+構造用合板（厚み等は詳細図3による）	
廻縁	1	塩ビ廻縁［新設］		
	2	SOP塗替え		
天井高		職員玄関2,950　廊下2,800　職員便所前室2,500　男子職員便所2,500　女子職員便所2,500		
備考		※ＳＫ内 SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所　※モルタル補修について、既設取合部はｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2 W10)を行うこと。 ※廊下ビニル床シートについて、モルタル下地を新設する箇所以外の部分はポリマーセメント下地処理を行うこと。		

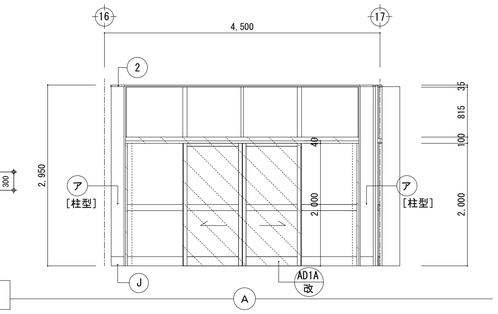
(新) 新設建具を示す（枠共）　(改) 改修建具を示す　※　SUS面台は、詳細図による。　※耐火壁(LGS65+GB-Ft21+21(片面))ni

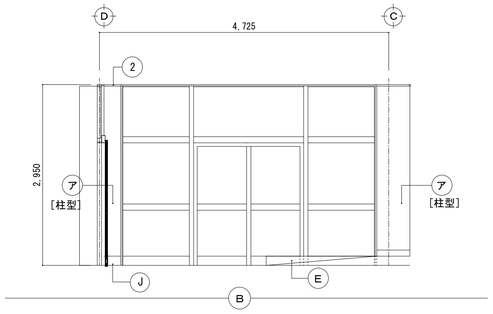
凡例（平面詳細図・展開図）（その他）	
あ	SUS製ノンスリップ［新設］
い	SUS製への字押金物W35t=1.5［新設］
う	SUS製三方枠W=230 t=1.5［新設］(周囲ｼｰﾘﾝｸﾞSR-1W10共)
え	遮音壁：LGS65+GW24Kt=50+耐水PBt=12.5+9.5(両面)+ 化粧ケイカル板t=6.0(アルミジョイナー共)［新設］
お	SUS製面台［新設］(詳細図3参照)
か	木製額縁 W40xH25［SOP塗替え］
き	照明器具［再取付］（設備工事）
く1	鏡［新設］（設備工事）
く2	手摺［新設］（設備工事）
す	アルミパネルt=3.0［新設］

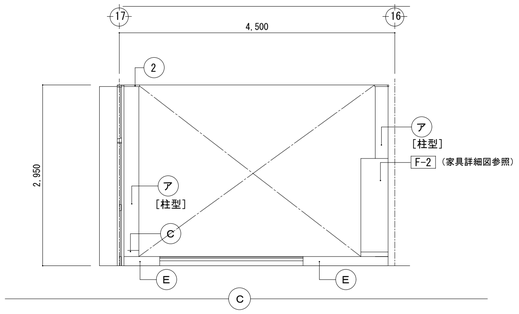
壁下地材新設範囲を示す。

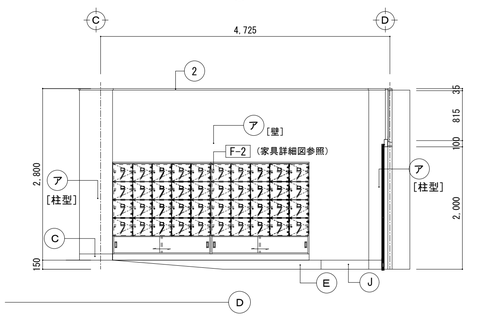
建具新設範囲を示す。

職員玄関

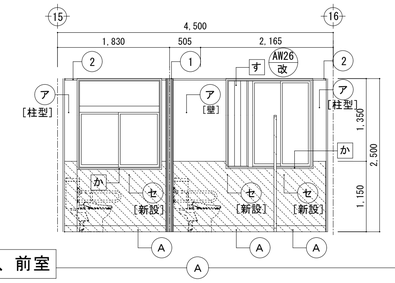


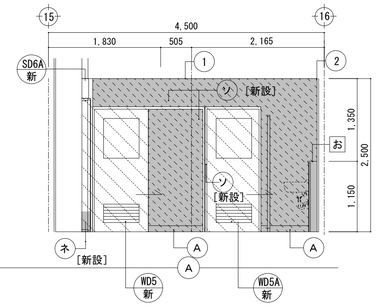


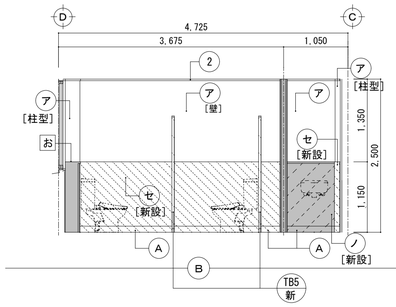


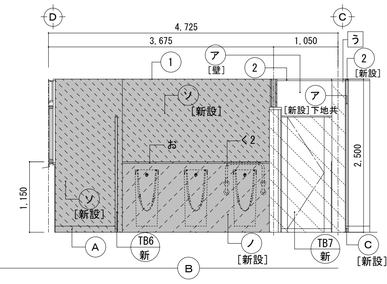


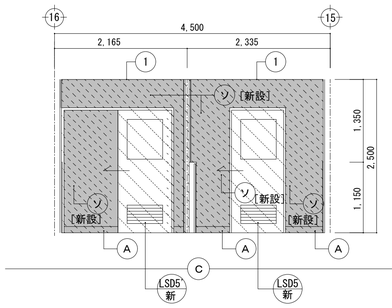
職員用男女便所、前室

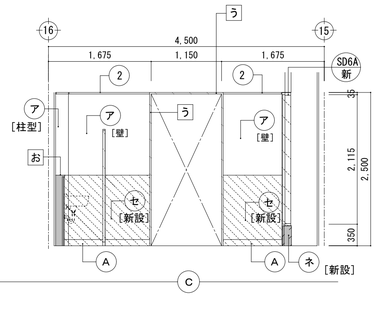


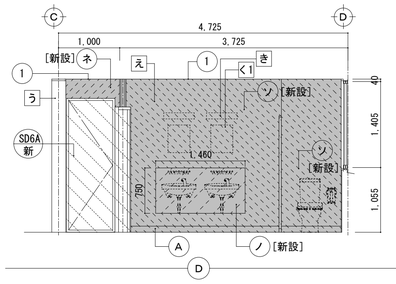


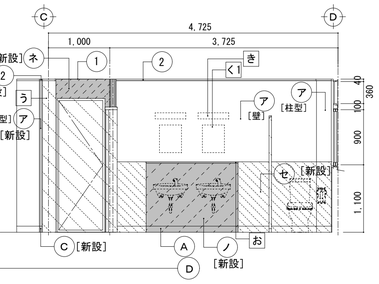












工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	職員玄関、職員用便所　平面詳細図　展開図（改修後）★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－２８

※[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。　　※　★印はアスベスト含有材

１階職員室・廊下　凡例（平面詳細図・展開図）〈床･巾木･壁･廻縁〉				
	記号	仕上	下地	撤去範囲を示す
床	ⓑ	★ビニル床シートt=2.0	モルタル	
	ⓕ	フローリングブロックt=15張 PU塗	モルタル	
巾　木	Ⓒ	木製巾木H=100　SOP塗		
壁	㋓	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	木製	
	㋕	メラミン化粧板張 H=1200	木製	
柱　型	㋐	AEP塗	モルタル	
梁　型	㋐	AEP塗	モルタル	
中央梁型	㋐	AEP塗	モルタル	
廻　縁	①	塩ビ製廻縁		
	②	木製廻縁45x40 SOP塗		
天井高		3,050		
備　考				

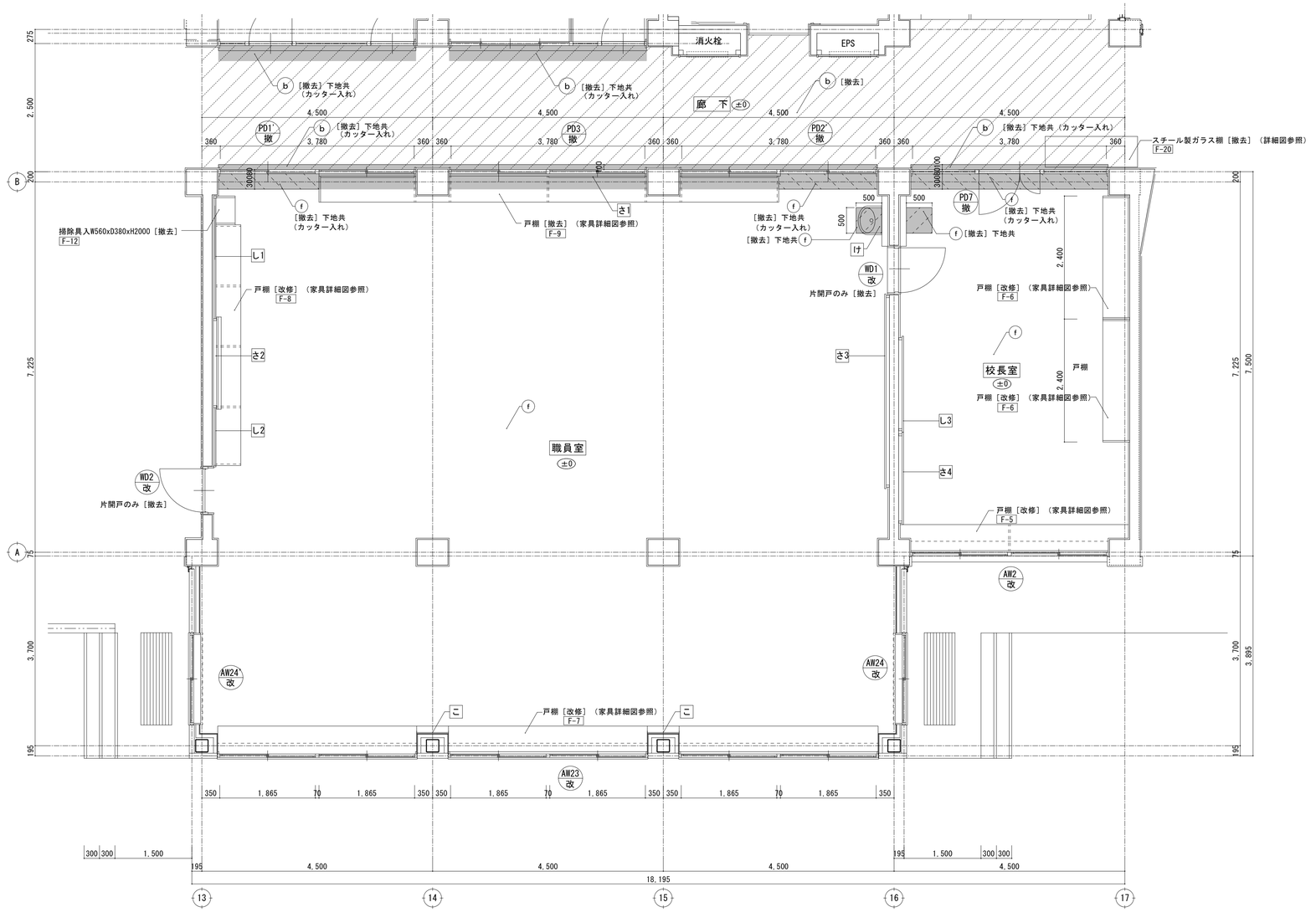
※[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。　　※　★印はアスベスト含有材

１階校長室　凡例（平面詳細図・展開図）〈床･巾木･壁･廻縁〉				
	記号	仕上	下地	撤去範囲を示す
床	ⓕ	フローリングブロックt=15張 PU塗	モルタル	
巾　木	Ⓓ	チーク練付巾木 H=60 PU塗		
壁	㋕	メラミン化粧板張 H=1200	木製	
	㋖	銘木合板張PU塗	木製	
柱　型	－			
梁　型	－			
中央梁型	－			
廻　縁	③	チーク練付巾木 PU塗		
天井高		2,800		
備　考				

撤 ★★★★　撤去建具を示す（枠共）　　改 ★★★★　改修建具を示す　　F-**　改修家具を示す（家具詳細図参照）

凡例（平面詳細図・展開図）〈その他〉			
け	洗面台W500[撤去]（設備工事）	す	アルミパネルt=3.0［撤去］
こ	木枠40ｘ10［撤去］	せ1	ビニルクロス張［撤去］
さ1	ホワイトボード3800ｘ900［撤去］	せ2	［梁型］ビニルクロス張［撤去］
さ2	黒板1,800×950［撤去］	そ1	カーテンボックス 木製 SOP塗 W150 カーテン、SUSレール［撤去］
さ3	行事ホワイトボード3,000×1,500 ［既設増張り撤去］	そ2	ブラインドボックス 木製 SOP塗 W150 ブラインド［撤去］
さ4	ホワイトボード1,800×900 ［既設のまま］	そ3	ブラインドボックス 木製 PU塗 W150 ブラインド［撤去］
し1	掲示板1,900×950［撤去］		
し2	掲示板1,000×950［撤去］		
し3	掲示板1,875×900 ［掲示クロス撤去］		

床仕上材撤去（カッター入れ共）範囲を示す。



職員室・校長室平面詳細図（改修前）１／50

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	職員室・校長室平面詳細図（改修前）★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－２９

１階職員室・廊下　凡例（平面詳細図・展開図）〈床・巾木・壁・廻縁〉

	記号	仕上	下地	新設範囲を示す
床	b	ビニル床シートt=2.0	モルタル	
	f	既設床［PU塗替え］ 一部 フローリングブロックt=15（塗装品）［新設］	モルタル	
巾　木	C	SOP塗替え		
壁	エ	SOP塗替え	木胴縁24×45@360タテヨコ	
	カ	化粧ケイカル板t=6.0張 H=1200	木製	
	ハ	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	木胴縁24×45@360タテヨコ	
柱　型	ア	EP-G塗替え	モルタル	
梁・中央梁型	ア	EP-G塗替え	モルタル	
廻　縁	1	既設のまま		
	2	SOP塗替え		
天井高		3,050		
備　考		※廊下ビニル床シートについて、モルタル下地を新設する箇所以外の部分はポリマーセメント下地処理を行うこと。		

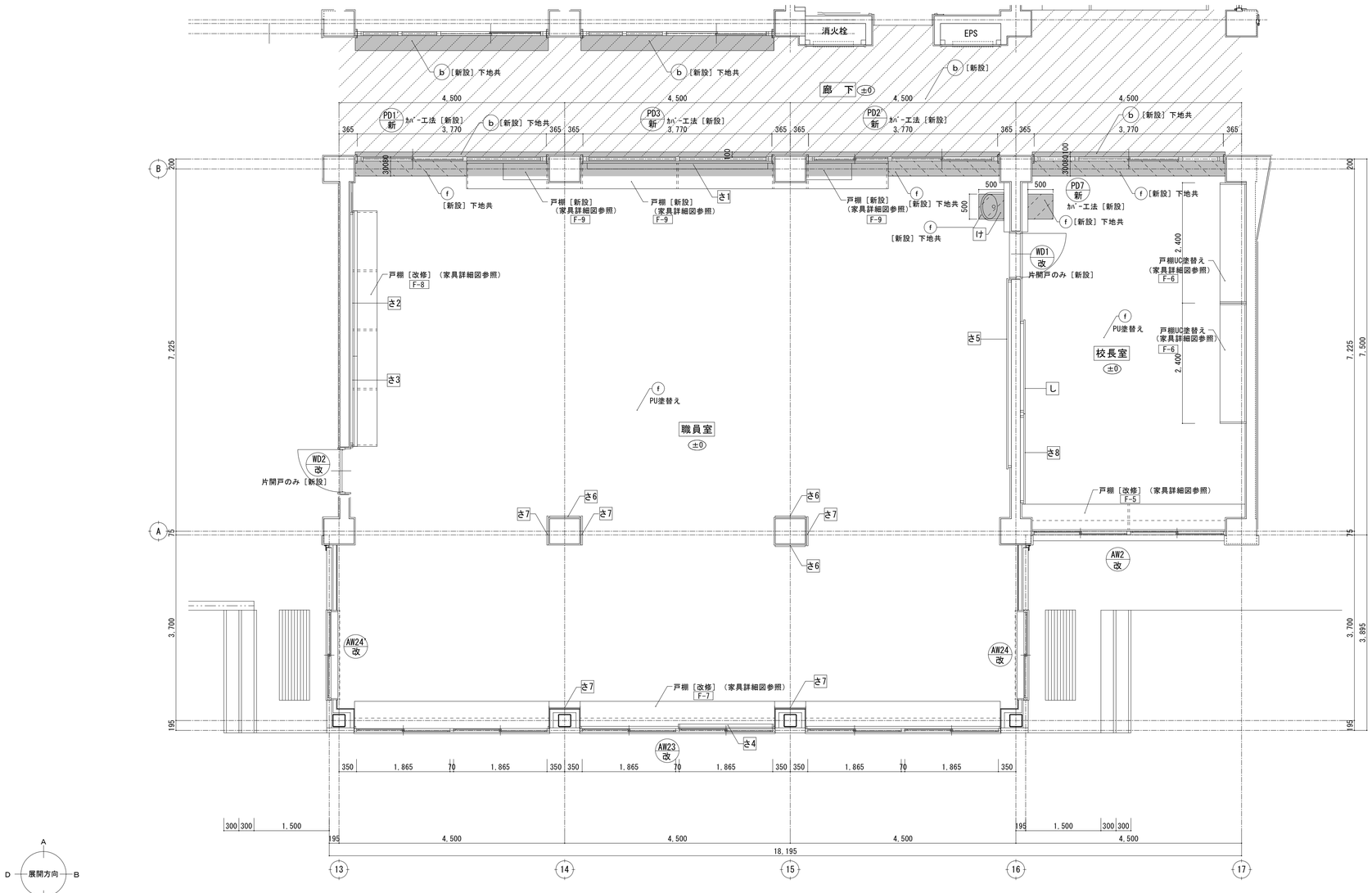
床下地材新設範囲を示す。

１階校長室　凡例（平面詳細図・展開図）〈床・巾木・壁・廻縁〉

	記号	仕上	下地	新設範囲を示す
床	f	既設床［PU塗替え］ 一部 フローリングブロックt=15（塗装品）［新設］	モルタル	
巾　木	D	UC塗替え		
壁	カ	化粧ケイカル板t=6.0張 H=1200	木製	
	キ	UC塗替え	木製	
柱　型	ー			
梁・中央梁型	ー			
廻　縁	3	UC塗替え		
天井高		2,800		
備　考				

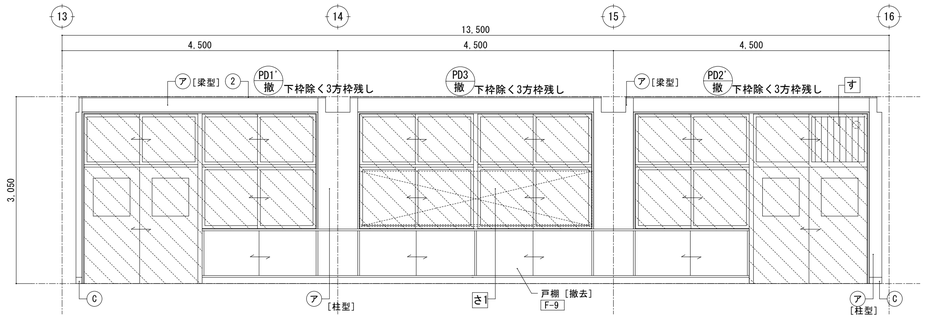
新 新設建具を示す（枠共）　改 改修建具を示す　F-** 改修家具を示す（家具詳細図参照）

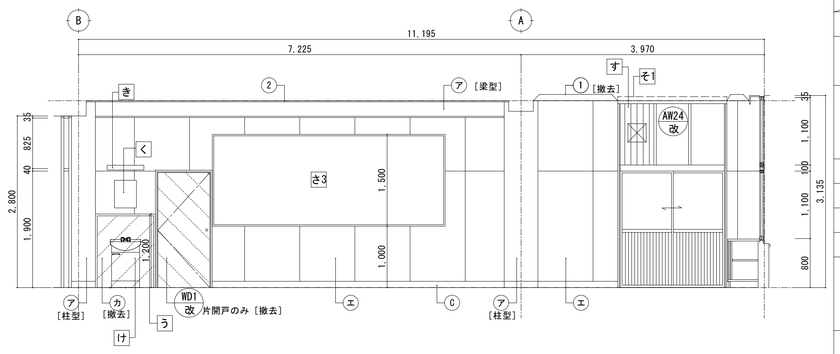
凡例（平面詳細図・展開図）〈その他〉			
け	洗面台W500［新設］（設備工事）	す	アルミパネルt=3.0［新設］
さ1	ホワイトボードW3600×H1100［新設］罫線入	せ1	ビニルクロス張［新設］
さ2	ホワイトボードW2,900×H950［新設］	せ2	［梁型］ビニルクロス張［新設］
さ3	ホワイトボードW1,800×H950［新設］罫線入	そ1	カーテンボックス 木製 SOP塗替え W150 ブラインド［新設］
さ4	ホワイトボードW1900xH1200［新設］	そ2	ブラインドボックス 木製 SOP塗替え W150 ブラインド［新設］
さ5	行事ホワイトボードW3,900×H1,500 ［増張］	そ3	ブラインドボックス 木製 PU塗替え W150 ブラインド［新設］
さ6	ホワイトボードW600xH900［新設］		
さ7	ホワイトボードW580xH900［新設］		
さ8	ホワイトボードH1,800×900 ［既設のまま］		
し	掲示板H1,875×900 掲示クロス張替え		



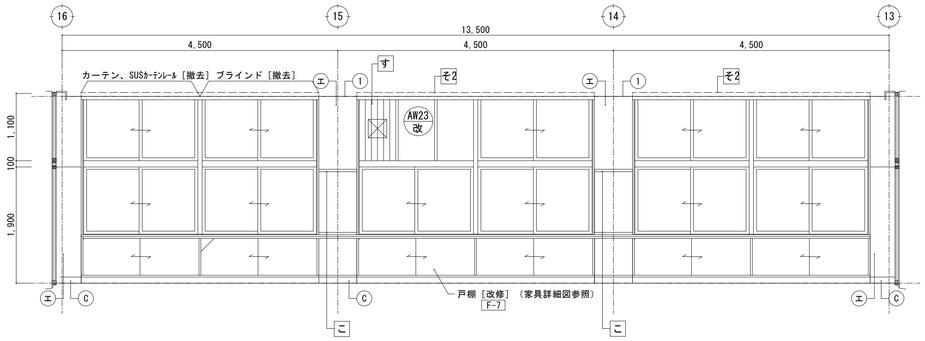
職員室・校長室平面詳細図（改修後）１／50

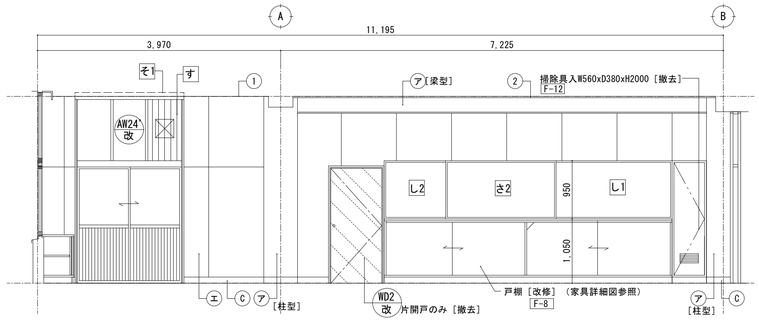
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	職員室・校長室平面詳細図（改修後）★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－３０



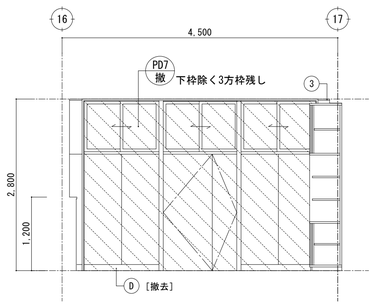


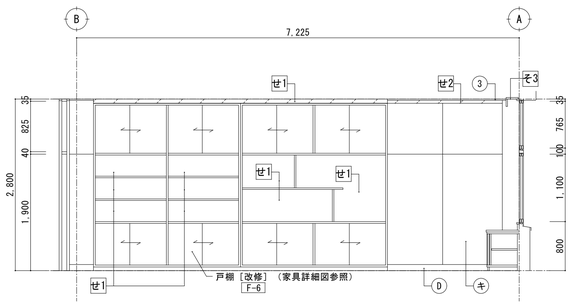
職員室 A B

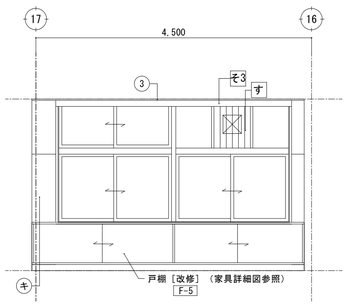


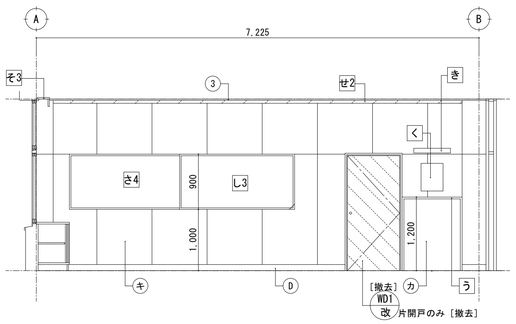


職員室 C D









校長室 A B C D

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。　※　★印はアスベスト含有材

1階職員室・校長室　　仕上表（改修前）

	記号	仕上	下地	撤去範囲を示す
床	f	フローリングブロックt=15張 PU塗	モルタル	
巾木	C	木製巾木H=100 SOP塗		
	D	チーク練付巾木 H=60 PU塗		
壁	エ	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	木製	
	カ	メラミン化粧板張 H=1200	木製	
	キ	銘木合板張PU塗	木製	
柱 型	ア	AEP塗	モルタル	
梁 型	ア	AEP塗	モルタル	
中央梁型	ア	AEP塗	モルタル	
廻 縁	1	塩ビ製廻縁		
	2	木製廻縁45x40 SOP塗		
	3	チーク練付巾木 PU塗		
天井高		職員室 3,050　校長室 2,800		
備 考				

****撤 撤去建具を示す（枠共）　****改 改修建具を示す

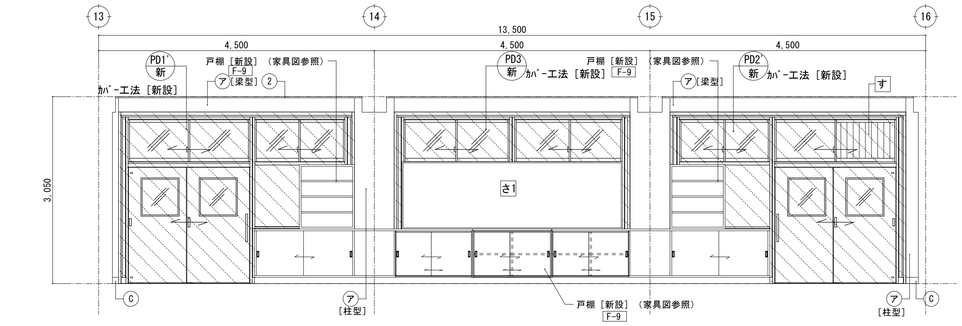
凡例（平面詳細図・展開図）〈その他〉

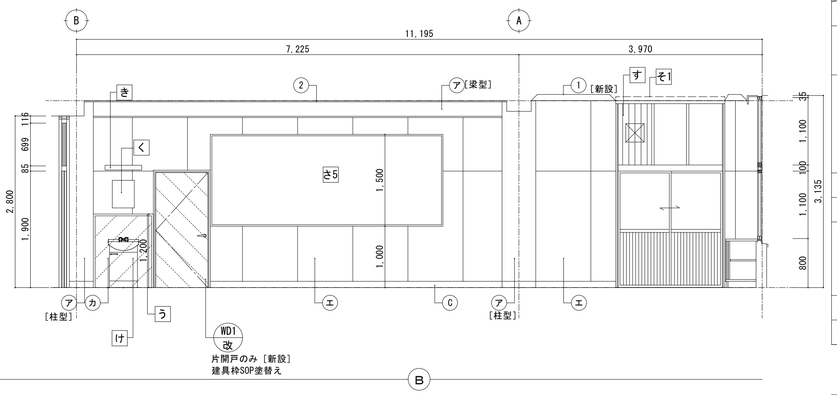
う	三方枠 SUS製t=1.0
き	照明器具［移設］（設備工事）
く	鏡［撤去］（設備工事）
け	洗面台W500［撤去］（設備工事）
こ	木枠40×10［撤去］
さ1	ホワイトボード3800×900［撤去］
さ2	黒板1,800×950［撤去］
さ3	行事ホワイトボード3,000×1,500 ［既設増張り撤去］
さ4	ホワイトボード1,800×900 ［既設のまま］
し1	掲示板1,900×950［撤去］
し2	掲示板1,000×950［撤去］
し3	掲示板1,875×900 ［掲示クロス撤去］
す	アルミパネルt=3.0［撤去］
せ1	ビニルクロス張［撤去］
せ2	［梁型］ビニルクロス張［撤去］
そ1	カーテンボックス 木製 SOP塗 W150 カーテン、SUSレール［撤去］
そ2	ブラインドボックス 木製 SOP塗 W150 ブラインド［撤去］
そ3	ブラインドボックス 木製 PU塗 W150 ブラインド［撤去］

壁下地材撤去範囲を示す。

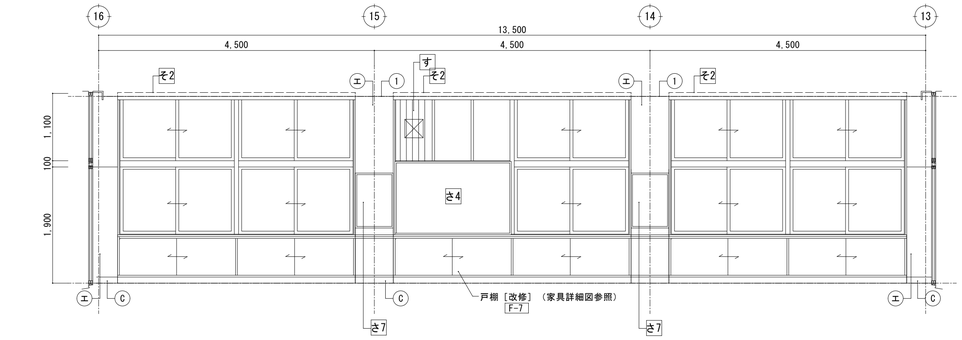
建具撤去範囲を示す。

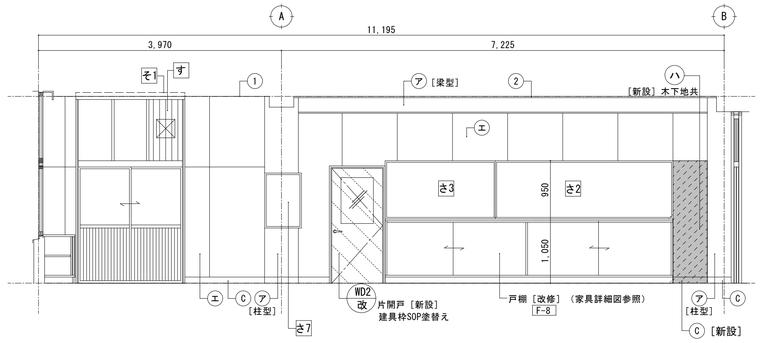
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事） ★	職員室・校長室展開図（改修前） ★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録 222551 田中 富士夫	A-31



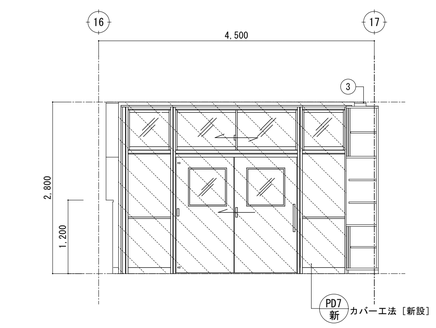


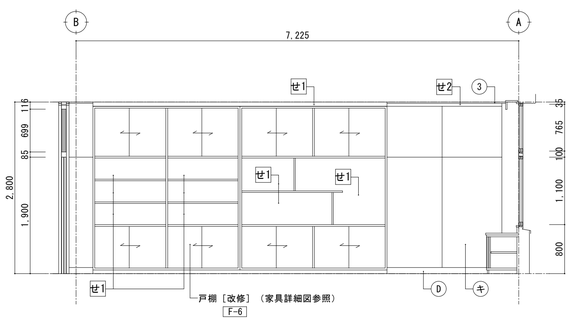
職員室 A B

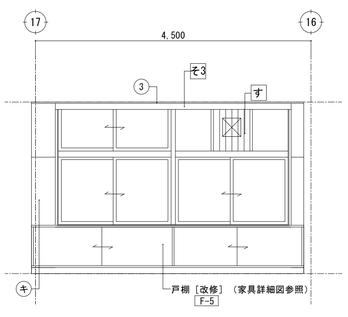


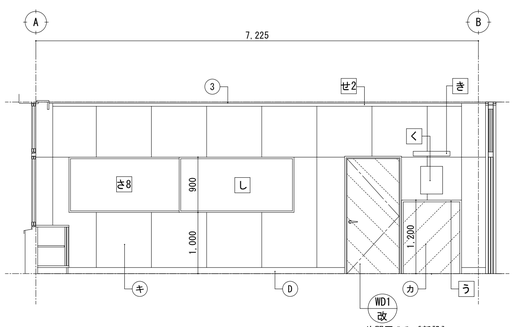


職員室 C D









校長室 A B C D

1階職員室・校長室		仕上表（改修後）		
	記号	仕上	下地	新設範囲を示す
床	f	既設床［PU塗替え］ 一部 フローリングブロックt=15（塗装品）［新設］	モルタル	
巾木	C	SOP塗替え		
壁	エ	SOP塗替え	木製	
	カ	化粧ケイカル板t=6.0張 H=1200[新設]	木製	
	キ	UC塗替え		
	ハ	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	木胴縁24×45@360 タテヨコ	
柱型	ア	EP-G塗替え	モルタル	
梁・中央梁型	ア	EP-G塗替え	モルタル	
廻縁	1	既設のまま	モルタル	
	2	SOP塗替え		
	3	UC塗替え		
天井高		職員室 3,050　校長室 2,800		
備考				

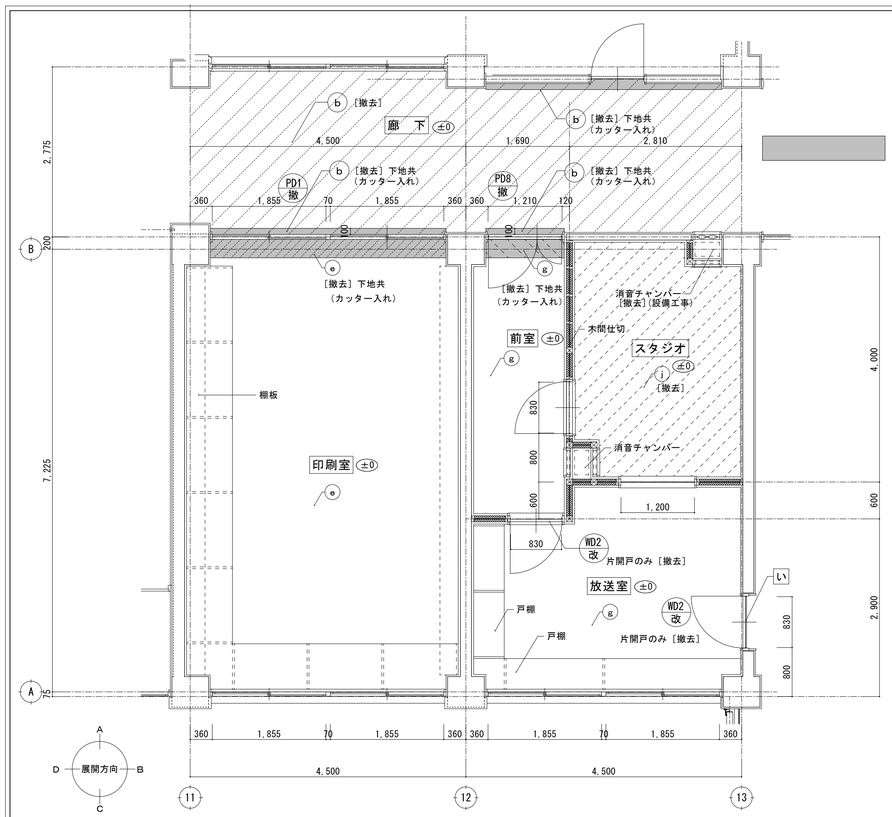
新 新設建具を示す（枠共）　改 改修建具を示す

凡例（平面詳細図・展開図）〈その他〉	
う	三方枠 SUS製t=1.0既設のまま
き	照明器具［再取付］（設備工事）
く	鏡［新設］（設備工事）
け	洗面台W500［新設］（設備工事）
さ1	ホワイトボードW3600×1100［新設］罫線入
さ2	ホワイトボードW2,900×H950［新設］
さ3	ホワイトボードW1,800×H950［新設］罫線入
さ4	ホワイトボードW1900xH1200［新設］
さ5	行事ホワイトボード3,900×1,500［増張］
さ6	ホワイトボードW600xH900［新設］
さ7	ホワイトボードW600xH900［新設］
さ8	ホワイトボード1,800×900［既設のまま］
し	掲示板1,875×900［掲示クロス張替え］
す	アルミパネルt=3.0［新設］
せ1	ビニルクロス張［新設］
せ2	［梁型］ビニルクロス張［新設］
そ1	カーテンボックス 木製［SOP塗替え］ ブラインド［新設］
そ2	ブラインドボックス 木製［SOP塗替え］ ブラインド［新設］
そ3	ブラインドボックス 木製［UC塗替え］ ブラインド［新設］

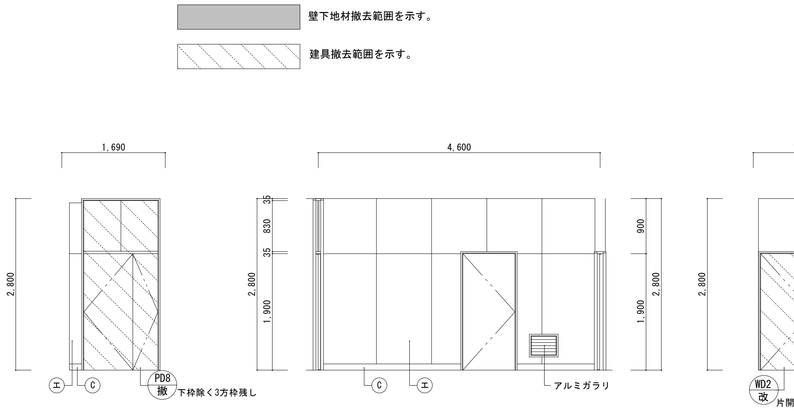
壁下地材新設範囲を示す。

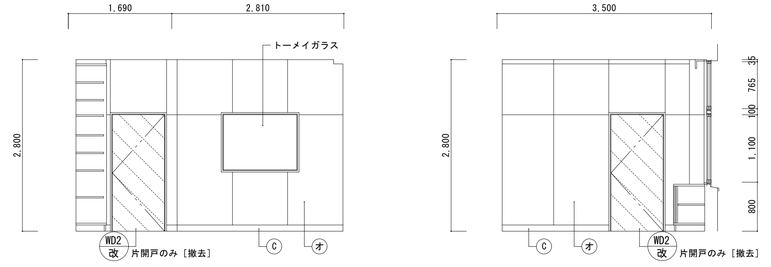
建具新設範囲を示す。

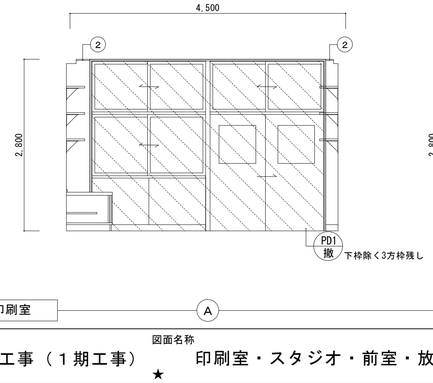
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	職員室・校長室展開図（改修後）	A1: 1:50 A3: 1:100						藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫
★	★	★	★	★	★	★	★		A－３２

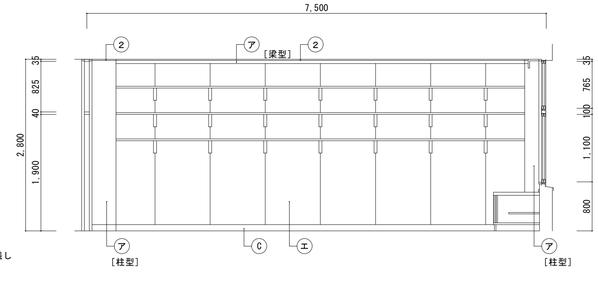


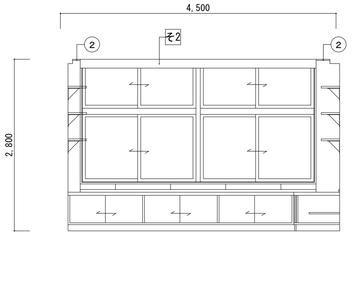
印刷室・スタジオ・前室・放送室平面詳細図（改修前） 1／50

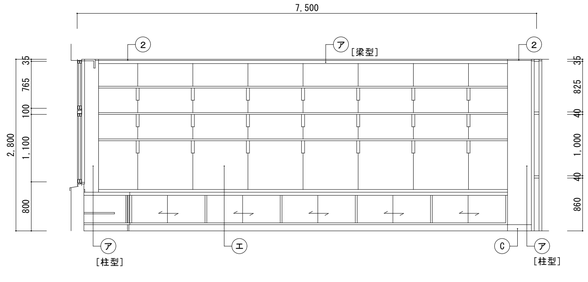












※改修部分［撤去］に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。

1階印刷室・スタジオ・前室・放送室　仕上表（改修前）

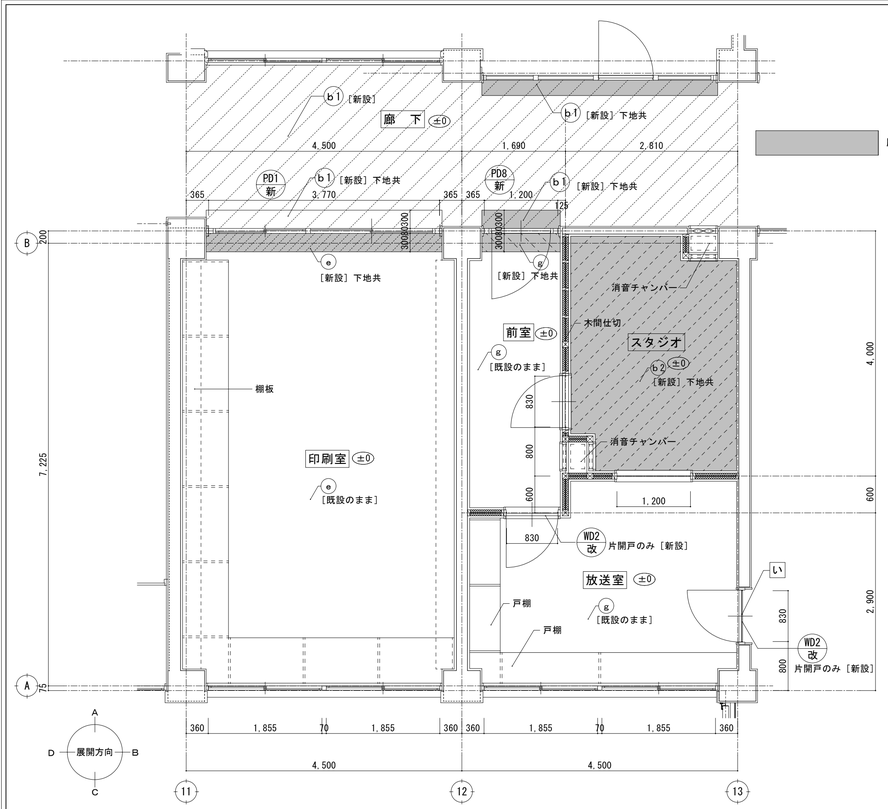
	記号	仕上	下地	撤去範囲を示す
床	ⓑ	★ビニル床シートt=2.0	モルタル	
	ⓔ	★ビニル床タイルt=2.0	モルタル	
	ⓙ	じゅうたん敷	モルタル	
	ⓖ	フローリングブロックt=15張 OSW塗	モルタル	
巾木	Ⓒ	木製巾木H=100　SOP塗		
壁	㋐	有孔ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	木製	
	㋓	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗		
柱　型	㋐	AEP塗	モルタル	
梁　型	㋐	AEP塗	モルタル	
中央梁型	ー			
廻　縁	②	木製廻縁45x40 SOP塗		
天井高		2,800		
備　考				

****撤 撤去建具を示す（枠共）　****改 改修建具を示す

凡例（平面詳細図・展開図）〈その他〉	
い	床見切SUS製40x20t=1.2
そ1	ブラインドボックス 木製 SOP塗 W150 カーテン［撤去］（SUSカーテンレール共）
そ2	ブラインドボックス 木製 SOP塗 W150 ブラインド［撤去］

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	印刷室・スタジオ・前室・放送室平面詳細図　展開図（改修前）	A1: 1:50 A3: 1:100	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫

A－３３



床下地材新設範囲を示す。

壁下地材新設範囲を示す。

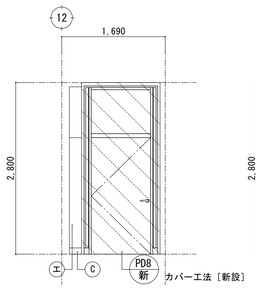
建具新設範囲を示す。

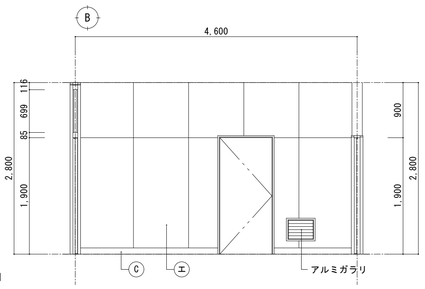
印刷室・スタジオ・前室・放送室平面詳細図（改修後） 1／50

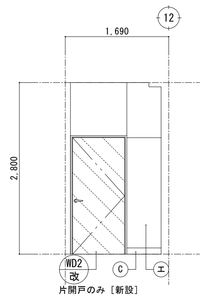
1階印刷室・スタジオ・前室・放送室		仕上表（改修後）		
	記号	仕上	下地	新設範囲を示す
床	b1	ビニル床シートt=2.0	モルタル	
	b2	ビニル床シートt=2.0	下地調整 モルタル	
	e	既設のまま 一部 ビニル床タイルt=2.0［新設］	モルタル	
	g1	既設のまま 一部 フローリングブロックt=15張（塗装品）［新設］	モルタル	
巾木	c	既設のまま		
壁	オ	既設のまま	木製	
	エ	既設のまま		
柱型	ア	既設のまま	モルタル	
梁型	ア	既設のまま	モルタル	
中央梁型	ー			
廻縁	2	既設のまま		
天井高		2,800		
備考		※廊下ビニル床シートについて、モルタル下地を新設する箇所以外の部分は ポリマーセメント下地処理を行うこと。		

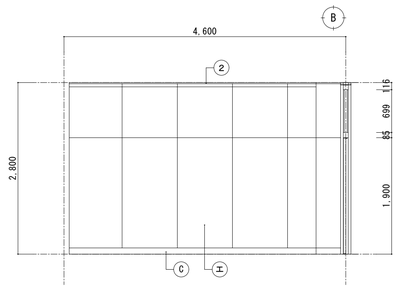
(****新) 新設建具を示す（枠共）　(****改) 改修建具を示す

凡例（平面詳細図・展開図）〈その他〉	
い	床見切SUS製40x20t=1.2［既設のまま］
そ1	ブラインドボックス 木製［SOP塗替え］ ブラインド［新設］
そ2	ブラインドボックス 木製［既設のまま］ ブラインド［新設］

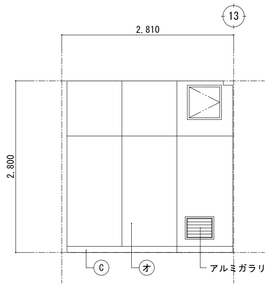


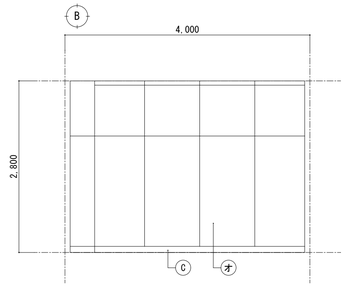


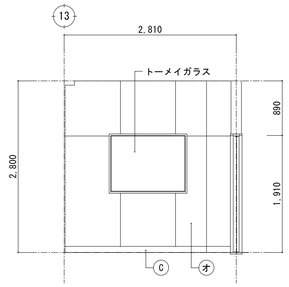


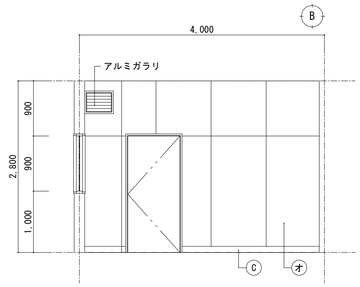


前室

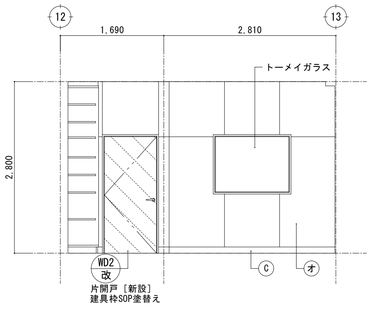


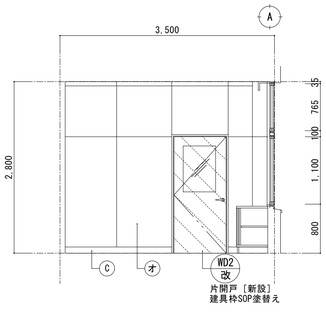


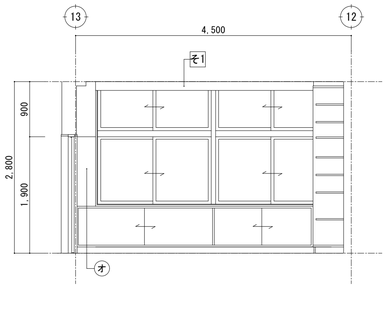


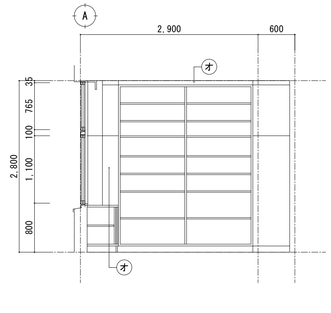


スタジオ

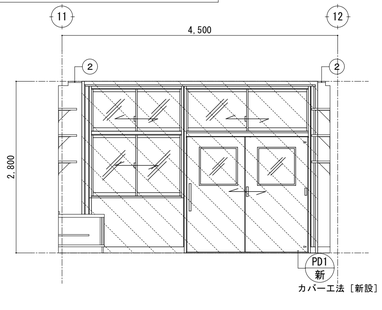


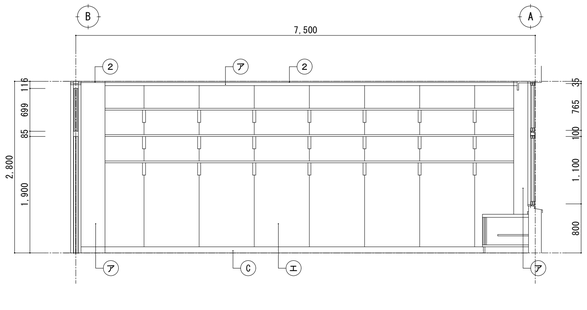


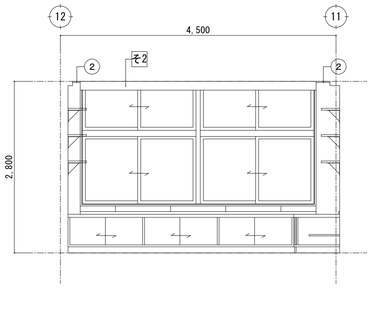


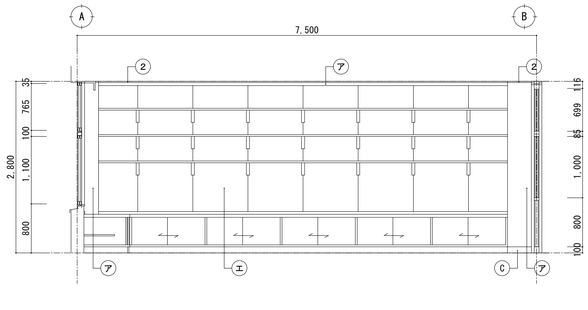


放送室







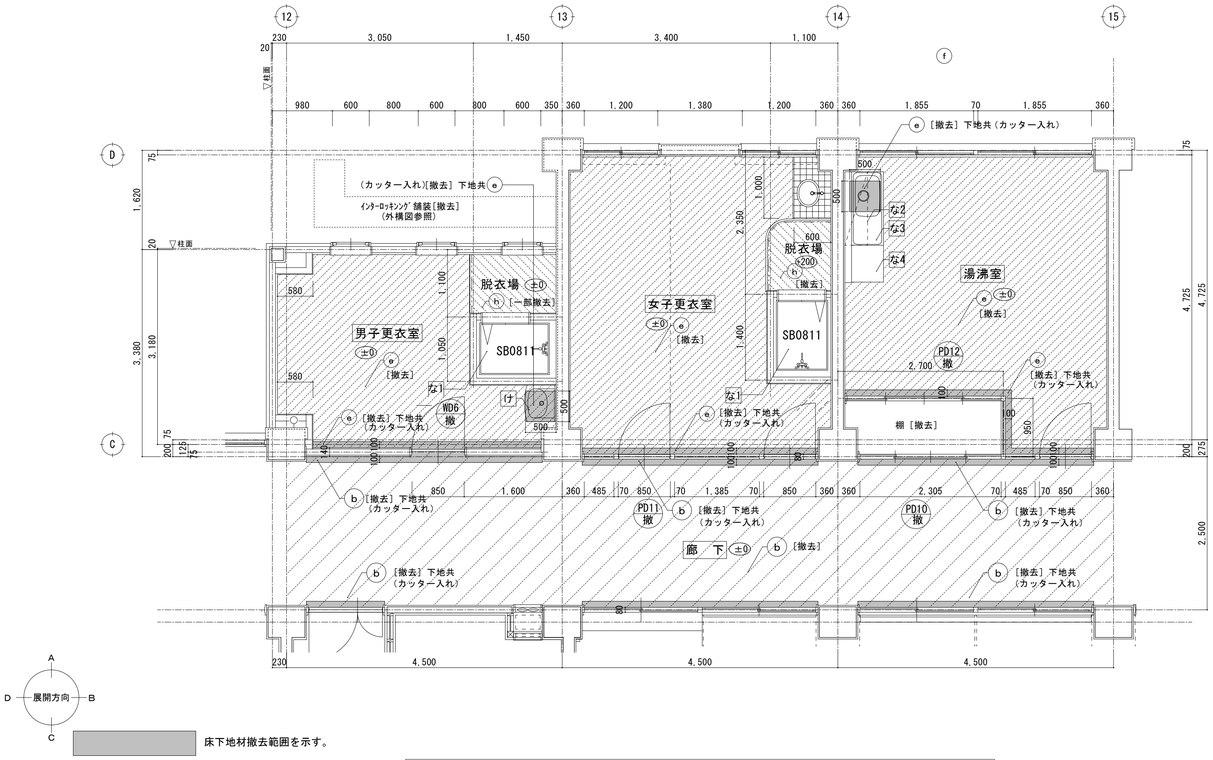


印刷室

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事） ★	印刷室・スタジオ・前室・放送室平面詳細図　展開図（改修後） ★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★

藤 川 設 計 株 式 会 社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

A－３４



A
D 展開方向 B
C

床下地材撤去範囲を示す。

男子更衣室・女子更衣室・湯沸室　平面詳細図（改修前）１／50

撤 撤去建具を示す（枠共）　改 改修建具を示す

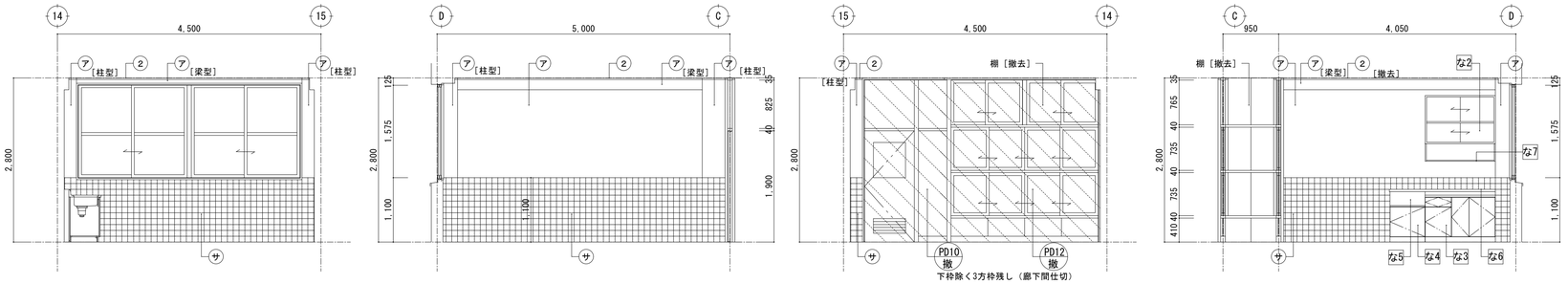
凡例（平面詳細図・展開図）（その他）	
き	照明器具［取外し］（設備工事）
く	鏡［撤去］（設備工事）
け	洗面台W600［撤去］（設備工事）
そ5	木製カーテンボックス W120 SOP塗
そ6	カーテンレール
な1	ユニットシャワー［撤去］
な2	吊戸棚 KTタイプ W1,200［撤去］
な3	流し台 KT4型 L=1,100［撤去］
な4	ガス台 L=700［撤去］
な5	ステンレスバックガード［撤去］
な6	水切 ステンレス［撤去］
な7	水切棚 L=1,200［撤去］

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。　※　★印はアスベスト含有材

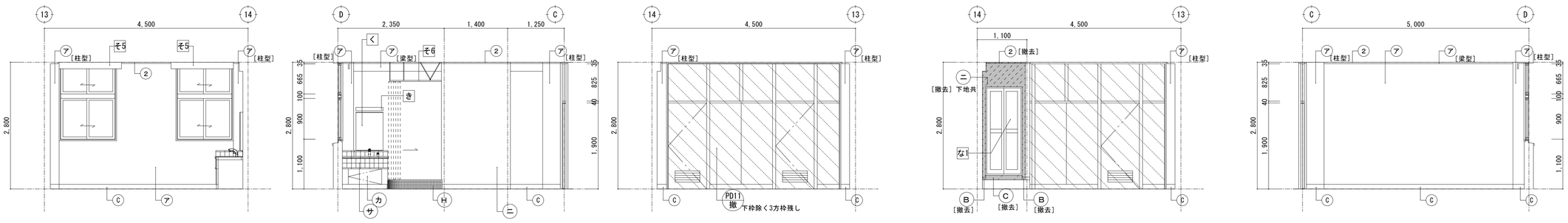
１階湯沸室・女子更衣室・男子更衣室・廊下		仕上表（改修前）		
	記号	仕上	下地	撤去範囲を示す
床	b	★ビニル床シートt=2.0	モルタル	
	e	★ビニル床タイルt=2.0	モルタル	
	h	天然麻床材t=7.0	モルタル	
巾木	B	ビニル巾木H=60		
	C	木製巾木H=100　SOP塗		
	H	33角タイル貼り		
壁	ア	AEP塗	モルタル	
	イ	AEP塗	LGS100下地PBt=9.5二重張（廊下間仕切）	
	カ	メラミン化粧板		
	サ	陶器質100角タイル張	モルタル	
	ス	AEP塗	LGS100+PBt=12.5	
	ニ	AEP塗	LGS100+耐水PBt=12.5	
	ヒ	★複層塗材E吹付	コンクリート	
柱型	ア	AEP塗	モルタル	
梁・中央梁型	ア	AEP塗	モルタル	
廻縁	1	塩ビ製廻縁		
	2	木製廻縁45x40 SOP塗		
天井高	男子更衣室 2,650～3,500 女子更衣室・湯沸室 2,800			
備考				

壁下地材撤去範囲を示す。

建具撤去範囲を示す。

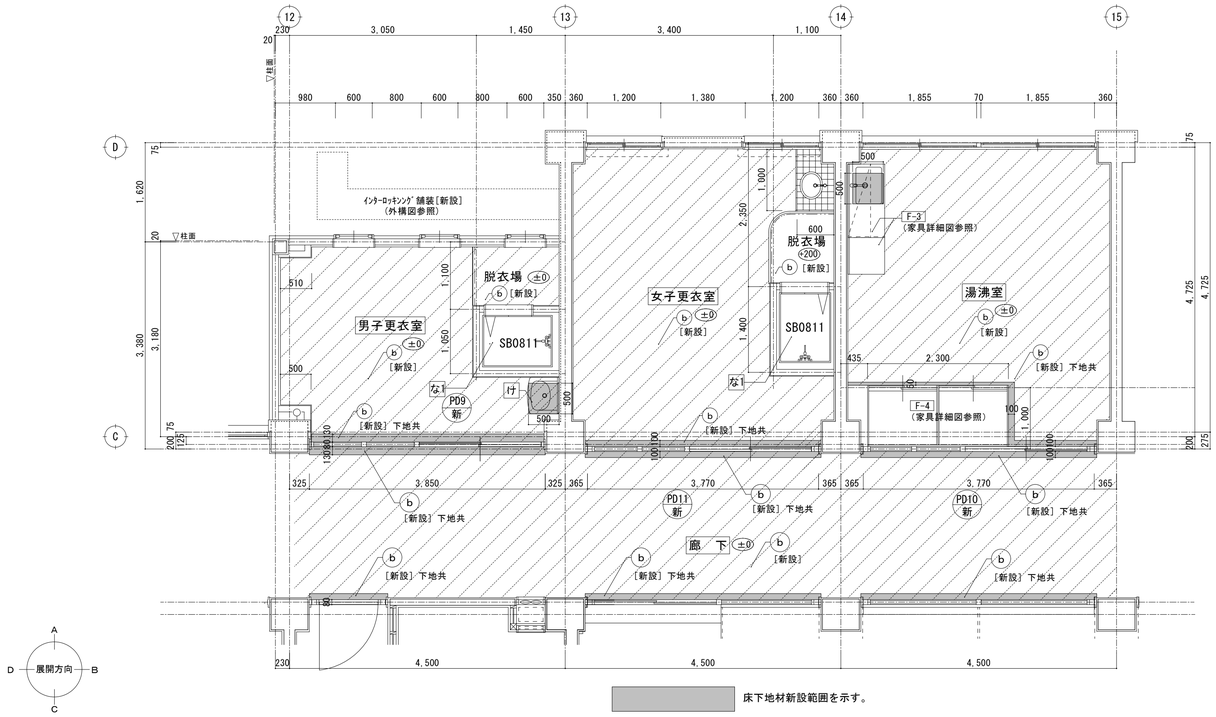


湯沸室



女子更衣室

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	男子更衣室・女子更衣室・湯沸室　平面詳細図　展開図（改修前）★	A1: 1:50 A3: 1:100	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－３５



床下地材新設範囲を示す。

男子更衣室・女子更衣室・湯沸室　平面詳細図（改修後）１／50

新 新設建具を示す（枠共）　改 改修建具を示す

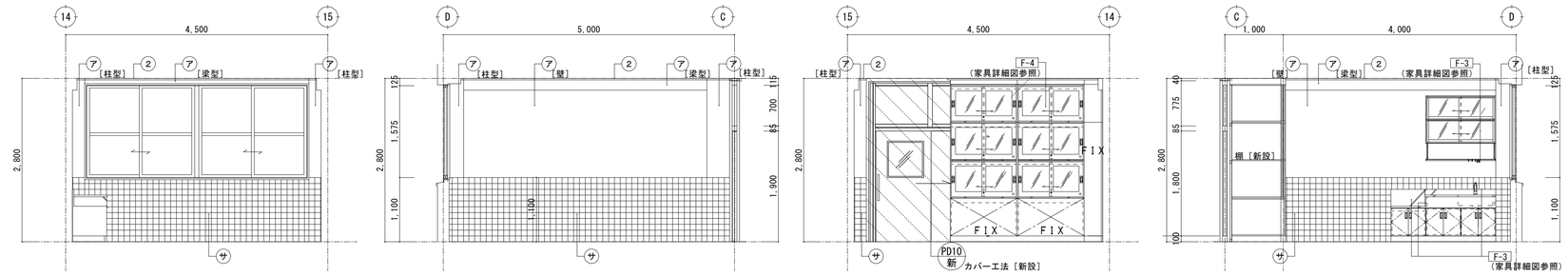
凡例（平面詳細図・展開図）（その他）	
き	照明器具［再取付］（設備工事）
く	鏡［新設］（設備工事）
け	洗面台W600［新設］（設備工事）
そ5	木製カーテンボックス［既設のまま］
そ6	カーテンレール［既設のまま］(カーテン共)
な1	ユニットシャワー［新設］

男女更衣室ユニットシャワー（0812）：下記同等品以上とする。
ＴＯＴＯ：シャワーユニットＪＳＶ0812ＵＬＷ４ＡＫ
リクシル：シャワーユニットＳＰＢ－0812ＬＢＬ－Ｃ＋ＨＸＸ３

付属品：折戸、水栓2ハンドル、シャワーヘッド、シャワーフック2個、タオル掛け、天井換気扇、照明器具

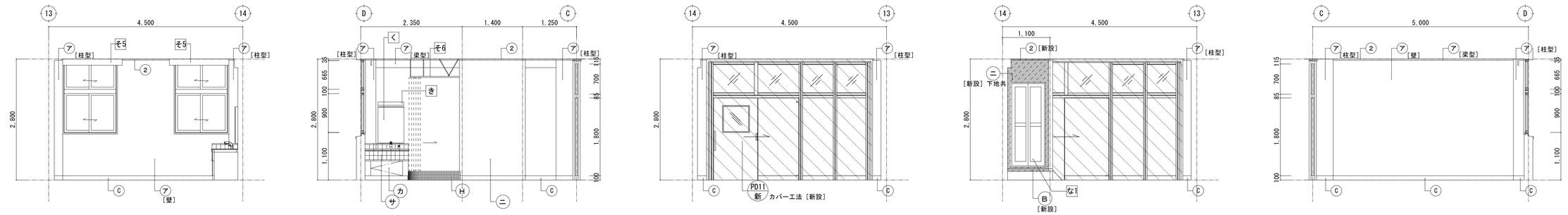
１階湯沸室・女子更衣室・男子更衣室・廊下　仕上表（改修後）

	記号	仕上	下地	新設範囲を示す
床	b	ビニル床シートt=2.0	モルタル	
巾木	B	ビニル巾木H=60		
	C	既設のまま		
	H	既設のまま		
壁	カ	既設のまま		
	サ	既設のまま	モルタル	
	ス	EP-G塗	LGS100+PBt=12.5	
	ニ	EP-G塗	LGS100+耐水PBt=12.5	
	ヒ	既設のまま	コンクリート	
柱型	ア	既設のまま	モルタル	
	ア2	EP-G塗	モルタル補修	
梁・中央梁型	ア	AEP塗	モルタル	
廻縁	1	塩ビ製廻縁		
	2	木製廻縁45x40 SOP塗		
天井高	男子更衣室 2,650～3,500 女子更衣室・湯沸室 2,800			
備考	廊下ビニル床シートについて、モルタル下地を新設する箇所以外の部分はポリマーセメント下地処理を行うこと。			



壁下地材新設範囲を示す。

建具新設範囲を示す。



工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	男子更衣室・女子更衣室・湯沸室　平面詳細図　展開図（改修後）★	A1: 1:50 A3: 1:100	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－３６

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。　　※　★印はアスベスト含有材

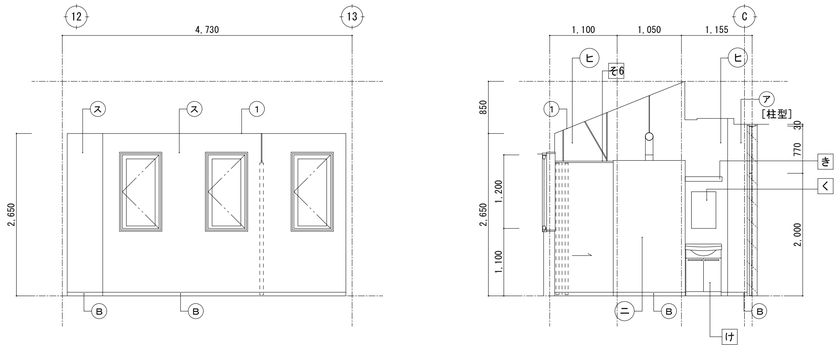
男子更衣室・廊下		仕上表（改修前）		
	記号	仕上	下地	撤去範囲を示す
床	ⓑ	★ビニル床シートt=2.0	モルタル	
	ⓔ	★ビニル床タイルt=2.0	モルタル	
	ⓗ	天然麻床材t=7.0	モルタル	
巾　木	Ⓑ	ビニル巾木H=60		
壁	イ	AEP塗	LGS100下地PBt=9.5二重張（廊下間仕切）	
	ス	AEP塗	LGS100下地PBt=12.5	
	ニ	AEP塗	LGS100下地耐水PBt=12.5	
	ヒ	★複層塗材E吹付	コンクリート	
柱　型	ア	AEP塗	モルタル	
梁・中央梁型	ア	AEP塗	モルタル	
廻　縁	1	塩ビ製廻縁		
	2	木製廻縁45x40 SOP塗		
天井高		男子更衣室 2,650～3,500 女子更衣室・湯沸室 2,800		
備　考				

撤 ****　撤去建具を示す（枠共）　　改 **** 改修建具を示す

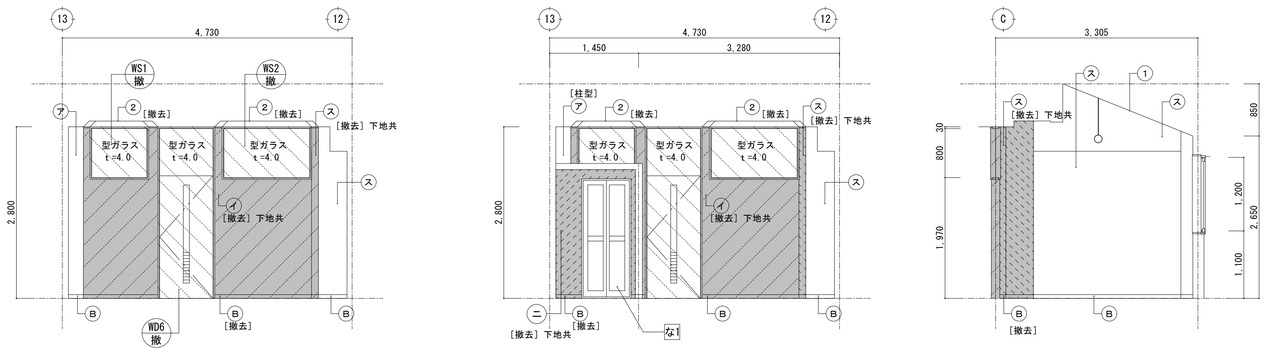
凡例（平面詳細図・展開図）〈その他〉	
き	照明器具［取外し］（設備工事）
く	鏡［撤去］（設備工事）
け	洗面台W600［撤去］（設備工事）
そ5	木製カーテンボックス W120 SOP塗
そ6	カーテンレール
な	ユニットシャワー［撤去］

壁下地材撤去範囲を示す。

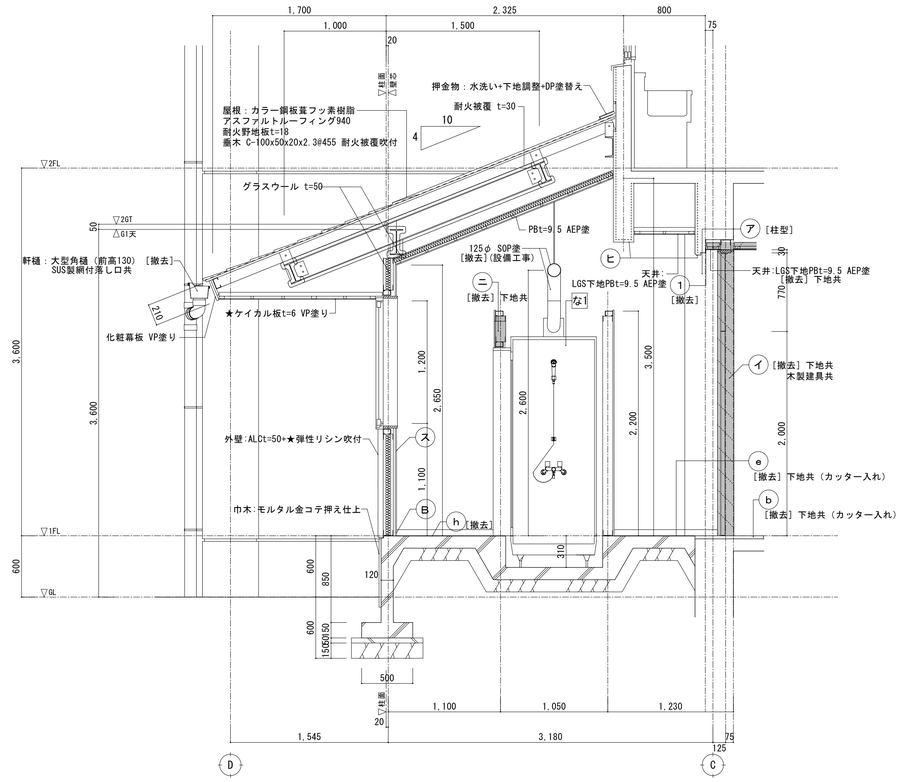
建具撤去範囲を示す。



男子更衣室　A　B



男子更衣室　C　C　D



矩計図（改修前）　1／30

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事） ★	男子更衣室　展開図　矩計図（改修前） ★	A1: 1:50 1:30 A3: 1:100 1:60 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－３７

男子更衣室・廊下		仕上表（改修後）		
	記号	仕上	下地	新設範囲を示す
床	ⓑ	ビニル床シートt=2.0	モルタル	
巾　木	Ⓑ	既設のまま　一部　ビニル巾木H=60[新設]		
壁	ㇲ	EP-G塗	LGS100下地PBt=12.5	
	ㇻ	EP-G塗	LGS100下地耐水PBt=12.5	
	ヒ	既設のまま	コンクリート	
柱　型	ア1	既設のまま	モルタル	
	ア2	EP-G塗	モルタル補修	
梁・中央梁型	ア	既設のまま	モルタル	
廻　縁	1	既設のまま　一部　塩ビ製廻縁[新設]		
	2	既設のまま		
天井高		男子更衣室 2,650～3,500 女子更衣室・湯沸室 2,800		
備　考		モルタル補修について、既設取合部にｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2 W10)を行うこと		

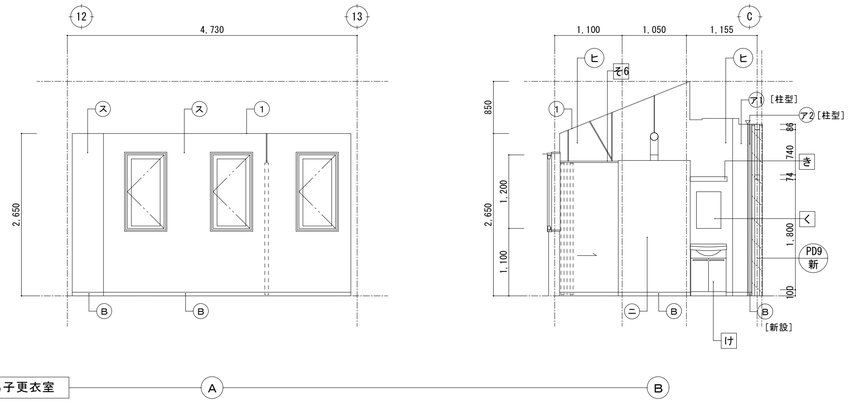
新 新設建具を示す（枠共）　改 改修建具を示す

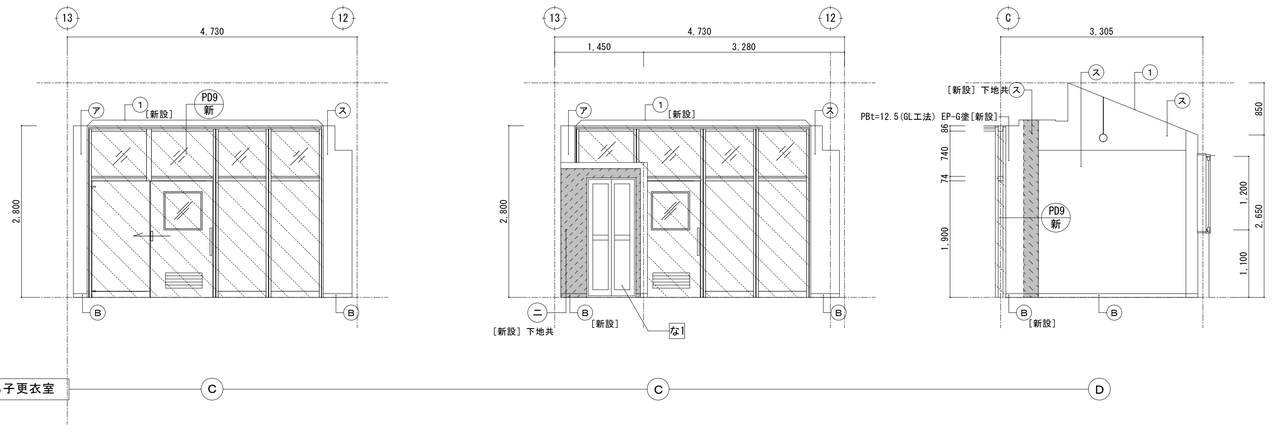
凡例（平面詳細図・展開図）〈その他〉	
き	照明器具［再取付］（設備工事）
く	鏡［新設］（設備工事）
け	洗面台W600［新設］（設備工事）
そ5	木製カーテンボックス[既設のまま]
そ6	カーテンレール[既設のまま](カーテン共)
な	ユニットシャワー［新設］

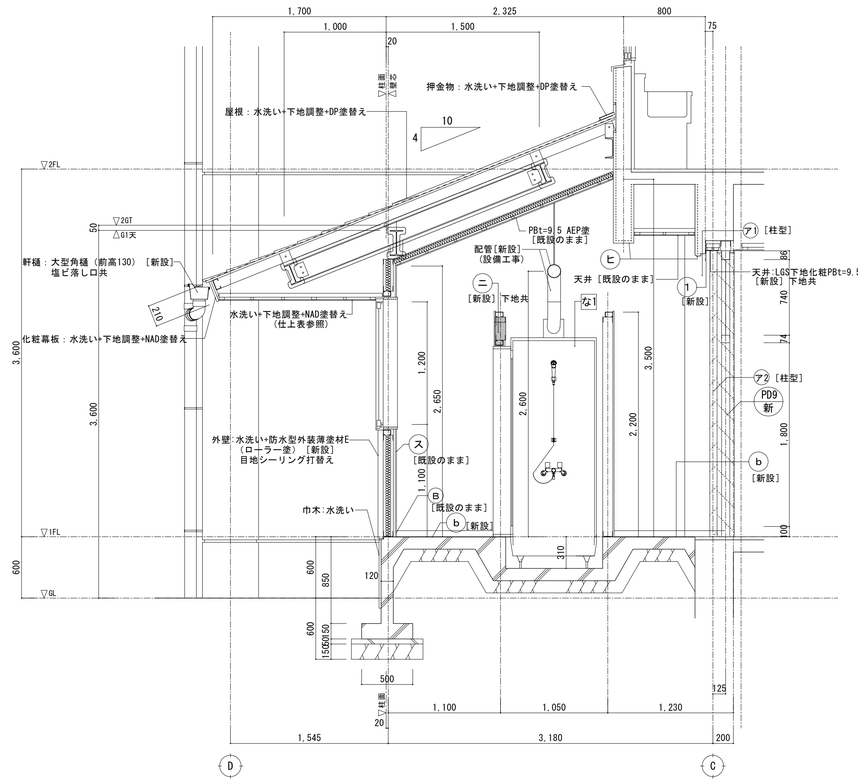
壁下地材新設範囲を示す。

建具新設範囲を示す。

その他新設範囲を示す。

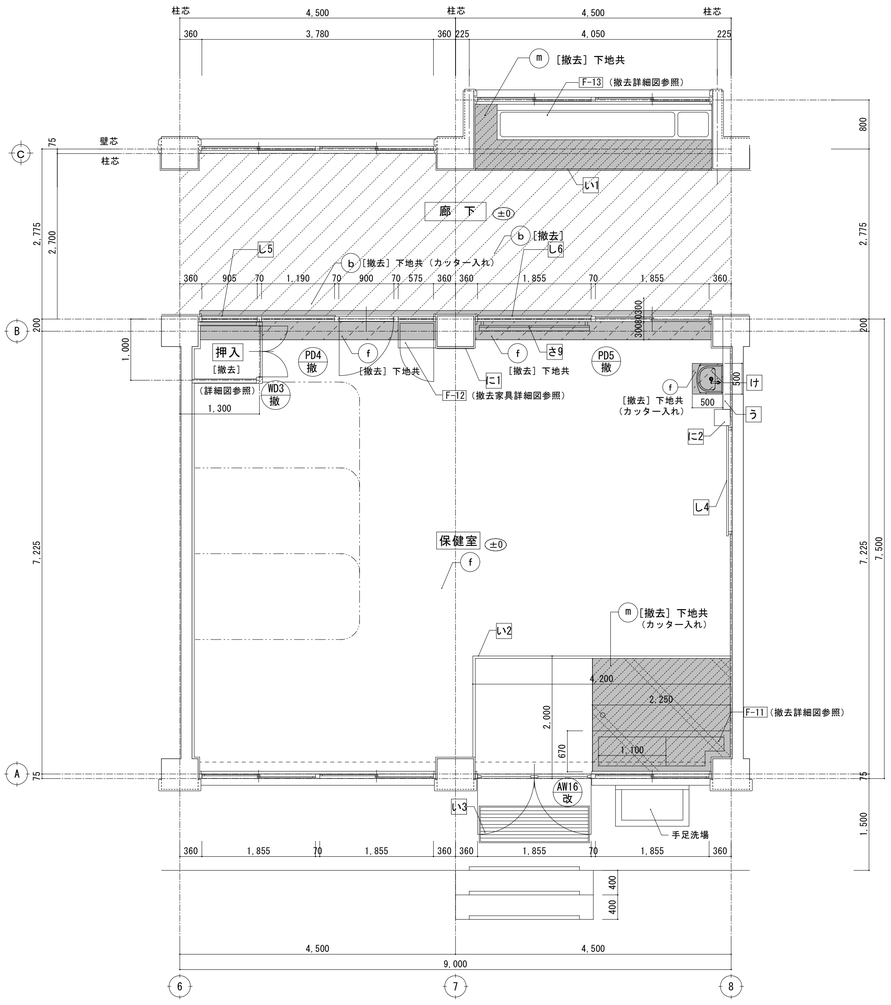






矩計図（改修後）　1／30

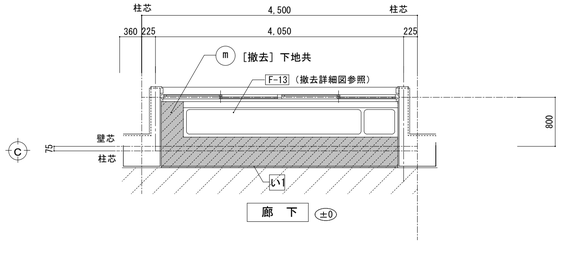
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	男子更衣室　展開図　矩計図（改修後）	A1: 1:50 1:30 A3: 1:100 1:60	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－３８



床下地材撤去範囲を示す。

土間コンクリートt=120撤去(ｶｯﾀｰ入れ共)範囲を示す。

保健室平面詳細図（改修前） １／50



2～4F手洗い台詳細図（改修前） １／50

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。

※　★印はアスベスト含有材

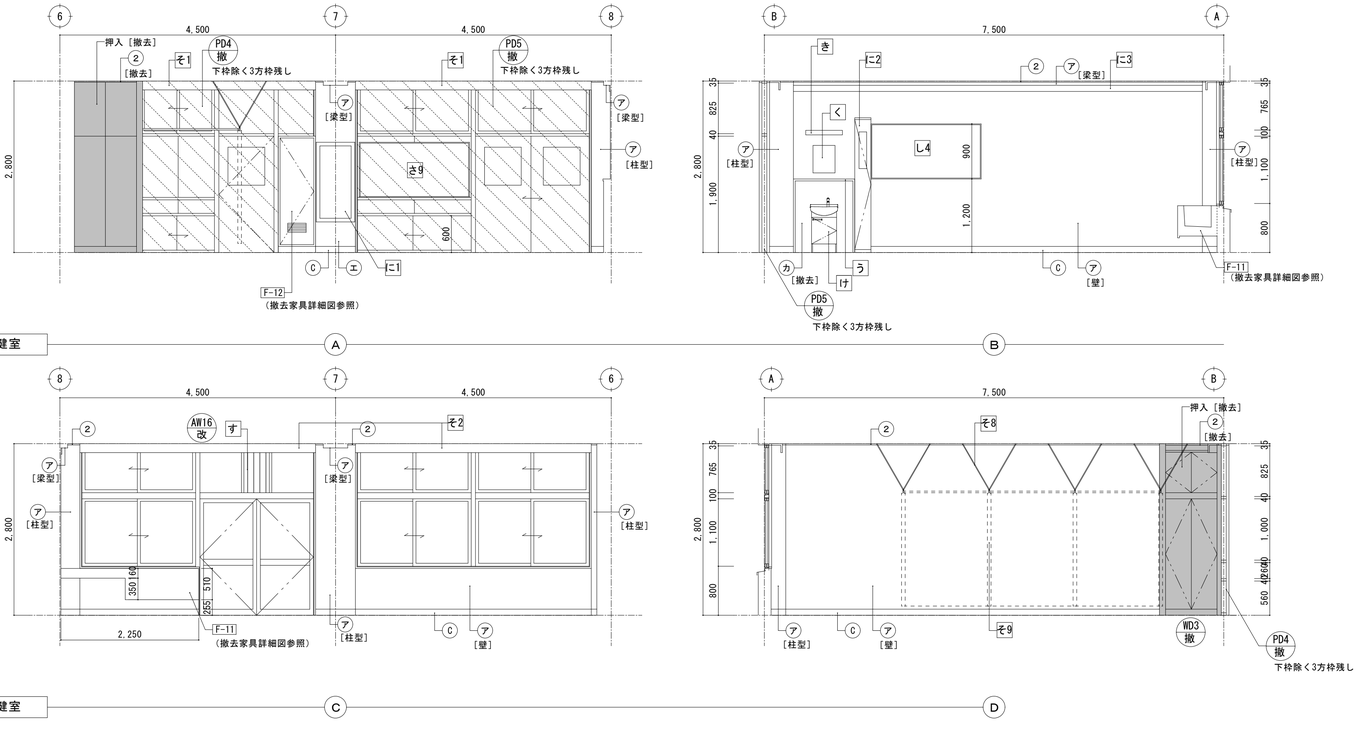
1階保健室　廊下		仕上表（改修前）		
	記号	仕上	下地	撤去範囲を示す
床	b	★ビニル床シートt=2.0	モルタル	
	f	フローリングブロックt=15張 PU塗	モルタル	
	m	磁器質25角タイル張	モルタル	
	o	モルタル金コテ目地切仕上	モルタル	
巾　木	C	木製巾木H=100　SOP塗		
壁	ア	AEP塗	モルタル	
	エ	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	木製	
	カ	メラミン化粧板張 H=1200	木製	
柱　型	ア	AEP塗	モルタル	
梁・中央梁型	ア	AEP塗	モルタル	
廻　縁	2	木製廻縁45x40 SOP塗		
天井高		2,800		
備　考				

(****撤) 撤去建具を示す（枠共）　(****改) 改修建具を示す

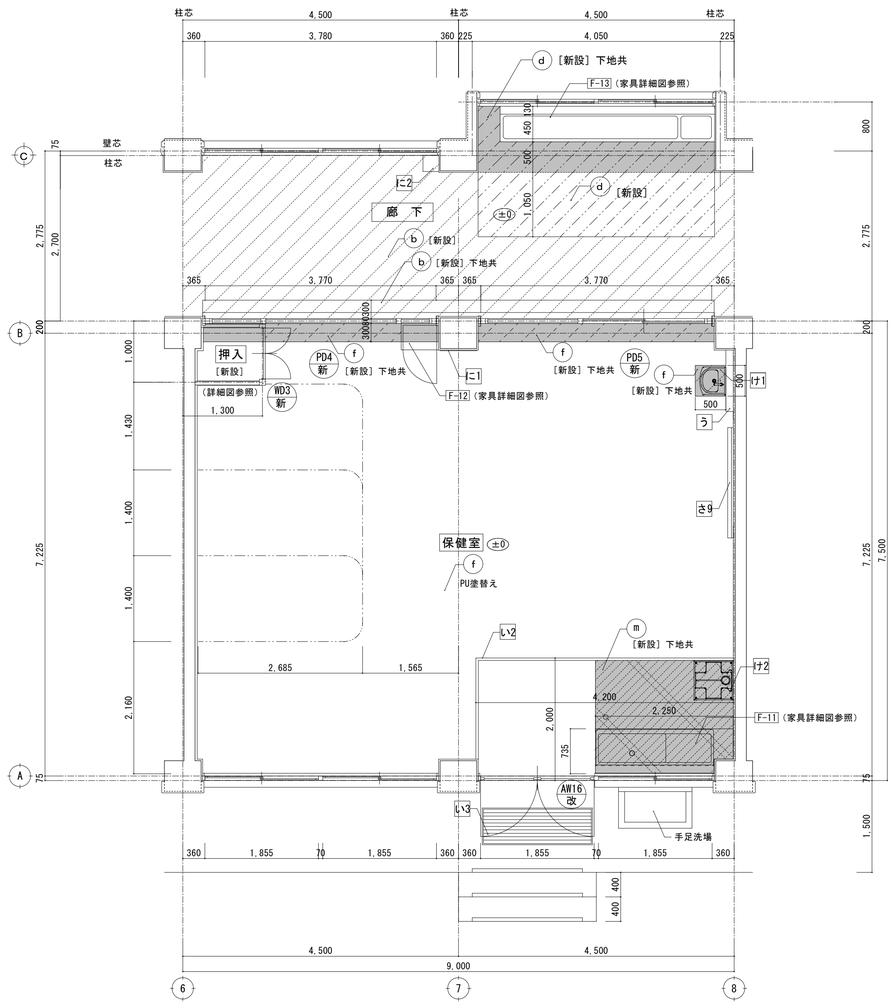
凡例（平面詳細図・展開図）（その他）			
い1	床見切SUS製40x20t=1.2［撤去］	し6	掲示板 W1,875×900［撤去］
い2	床見切SUS製40x20t=1.2	す	アルミパネルt=3.0
い3	クツゾリマット ステンレス枠 600×1,800	そ1	カーテンボックス 木製 SOP塗 W150［撤去］ カーテン、SUSレール［撤去］
う	三方枠 SUS製t=1.0	そ2	ブラインドボックス 木製 SOP塗 W150 ブラインド［撤去］
き	照明器具［取外し］（設備工事）	そ8	吊カーテンレール［撤去］ 吊ボルト 900#内外［既設のまま］
く	鏡［撤去］（設備工事）	そ9	防炎カーテン H=1,800［撤去］
け	洗面台W450［撤去］（設備工事）	に1	鏡W630xH1300取外し
さ9	行事用ホワイトボード 1,800×900［取外し］	に2	担架収納庫 W265×H2200×D260［移設］
し4	掲示板 アルミ枠 1,800×900［撤去］	に3	図掛 木製 SOP塗 105×30
し5	掲示板 W2,190×900［撤去］		

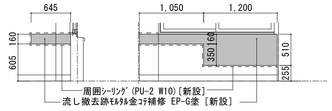
壁下地材撤去範囲を示す。

建具撤去範囲を示す。



工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事） ★	保健室　平面詳細図　展開図（改修前） ★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－３９



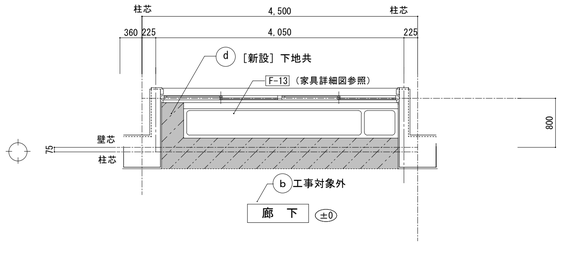


既設流し撤去跡詳細図 1/50

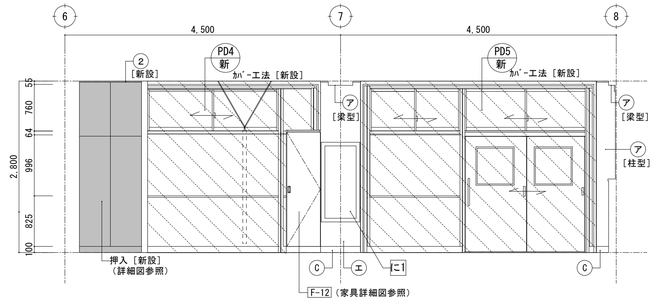
床下地材新設範囲を示す。

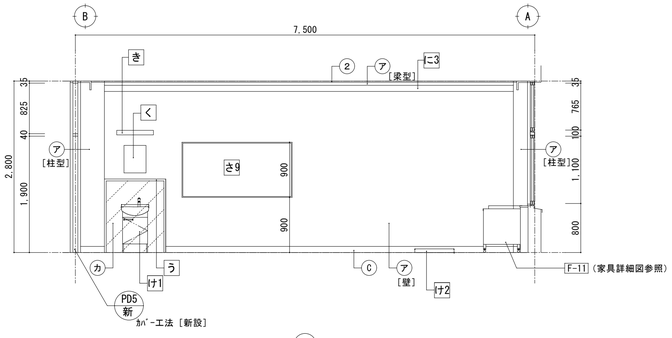
砕石（RC-40）t=50+ポリエチレンフィルムt=0.15（壁際250埋込不要）+土間コンクリートt=120
（溶接金網φ6 150x150端部差筋アンカーD10@300L400）［新設］範囲を示す。

保健室平面詳細図（改修後） 1／50

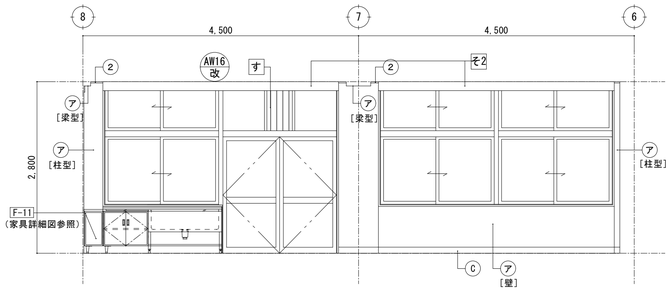


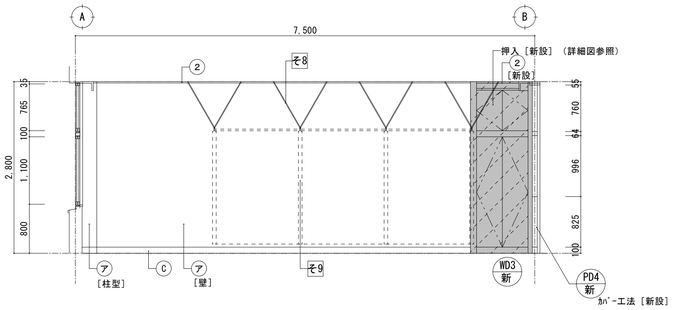
2～4F手洗い台詳細図（改修後） 1／50





保健室 A B





保健室 C D

1階保健室 廊下		仕上表（改修後）		
	記号	仕上	下地	新設範囲を示す
床	b	ビニル床シートt=2.0	モルタル	
	d	防滑性ビニル床シートt=2.0	モルタル	
	f	既設床[PU塗替え] 一部 フローリングブロックt=15（塗装品）［新設］	モルタル	
	m	磁器質25角タイル張	モルタル	
巾 木	C	SOP塗替え		
壁	ア	EP-G塗替え	モルタル	
	エ	SOP塗替え	木製	
	カ	化粧ケイカル板張t=6.0 H=1200	木製	
柱 型	ア	EP-G塗替え	モルタル	
梁・中央梁型	ア	EP-G塗替え	モルタル	
廻 縁	2	木製廻縁45x40 SOP塗替		
天井高		2,800		
備 考		※廊下ビニル床シートについて、モルタル下地を新設する箇所以外の部分はポリマーセメント下地処理を行うこと。		

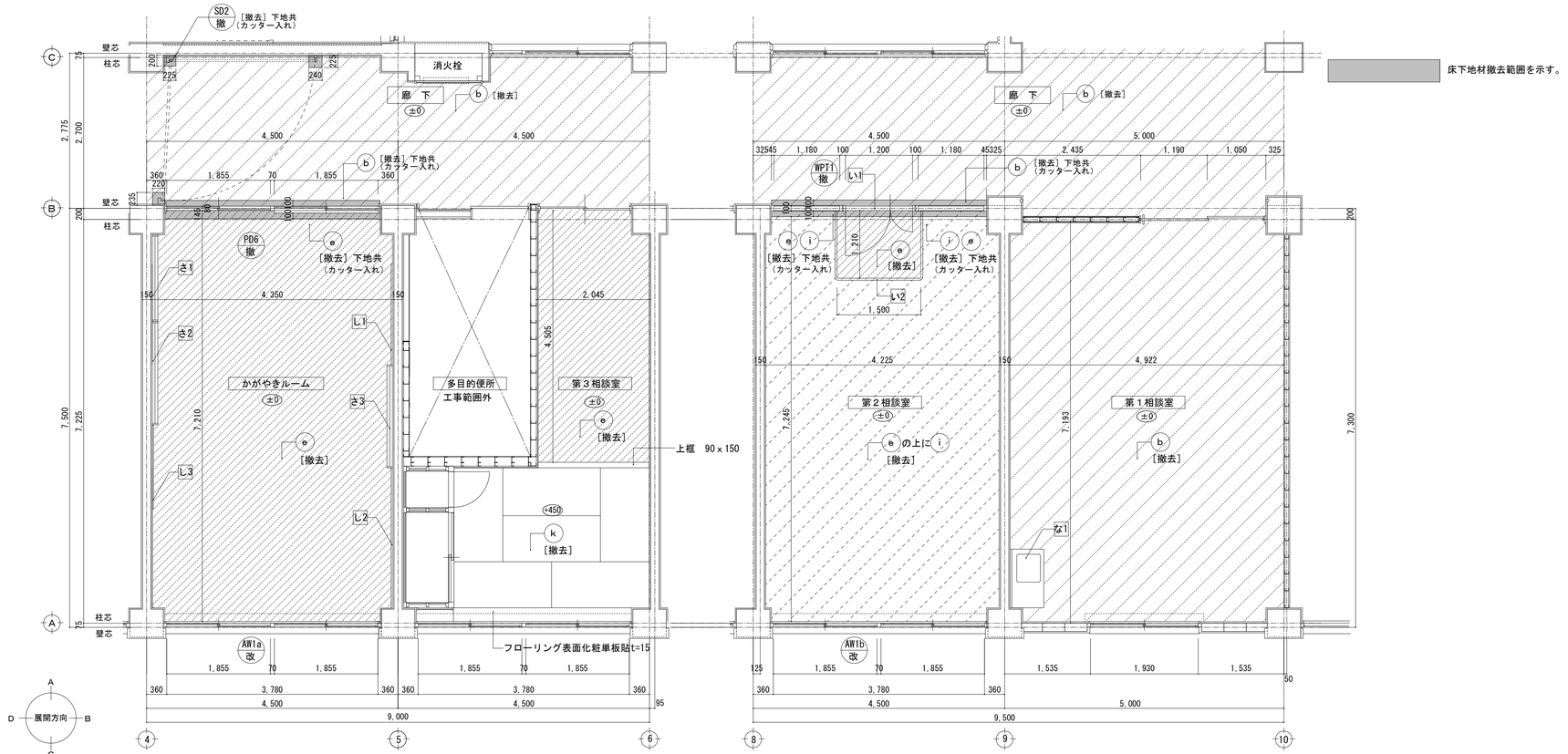
(****新) 新設建具を示す（枠共） (****改) 改修建具を示す

凡例（平面詳細図・展開図）〈その他〉			
い2	既設のまま	そ1	SOP塗替え カーテン、SUSレール［新設］
い3	既設のまま	そ2	ブラインドボックス 木製［SOP塗替え］ ブラインド［新設］
う	既設のまま	そ8	吊カーテンレール［新設］ 吊ボルト 900@内外［既設のまま］
き	照明器具［再取付］（設備工事）	そ9	カーテン H=1,800［新設］
く	鏡［新設］（設備工事）	に1	鏡W630xH1300［再取付］
け1	洗面台W450［新設］（設備工事）	に2	担架収納庫 W265×H2200×D260［移設］
け2	洗濯パン［新設］（設備工事）	に3	図掛 木製 SOP塗替 105×30
さ9	行事用ホワイトボード［増張の上、再取付］		
す	既設のまま		

壁下地材新設範囲を示す。

建具新設範囲を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事） ★	保健室 平面詳細図 展開図（改修後） ★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録 222551 田中 富士夫	A-40



床下地材撤去範囲を示す。

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。　※　★印はアスベスト含有材

相談室1～3　かがやきルーム　廊下		仕上表（改修前）		
	記号	仕上	下地	撤去範囲を示す
床	b	★ビニル床シートt=2.0	モルタル	
	e	★ビニル床タイルt=2.0	モルタル	
	i	タイルカーペットt=6.5	モルタル	
	k	畳敷t=60	木床	
巾　木	C	木製H=100 SOP塗		
壁	ア	AEP塗	モルタル	
	エ	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	木製	
柱型	ア	AEP塗	モルタル	
梁型	ア	AEP塗	モルタル	
廻　縁	2	木製45×40　SOP塗		
天井高		相談室1～3 2,800　かがやきルーム2,800		
備　考				

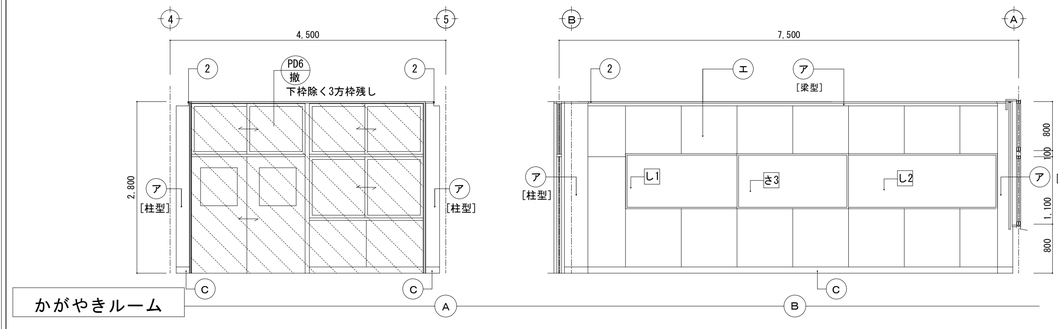
****撤 撤去建具を示す（枠共）　****改 改修建具を示す

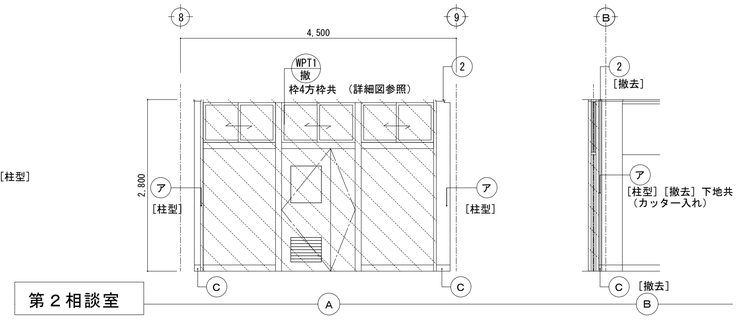
凡例（平面詳細図・展開図）（その他）			
い1	SUS製沓摺W80［撤去］	す1	アルミパネルt=3.0［撤去］
い2	SUS製床押W35［撤去］	す2	アルミパネルt=3.0
さ1	行事黒板W1,500×H1,200	そ1	カーテンボックス 木製 SOP塗 W150 カーテン、SUSレール［撤去］
さ2	ホワイボードW2,700×H1,200	そ2	ブラインドボックス 木製 SOP塗 W150 ブラインド［撤去］
さ3	黒板W1,800×H900	そ3	ブラインドボックス 木製 SOP塗 W150 ブラインド［撤去］
し1	掲示板W1,800×H900		
し2	掲示板W2,500×H900		
し3	掲示板W1,500×H1,200		
な1	ミニキッチンW1050xD550xH800		

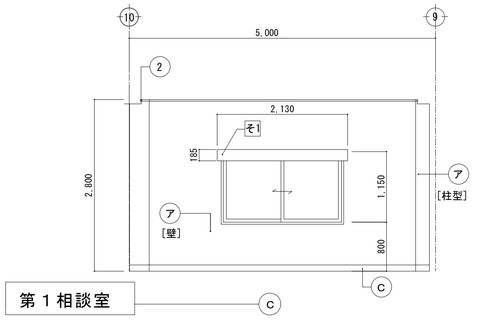
壁下地材撤去範囲を示す。

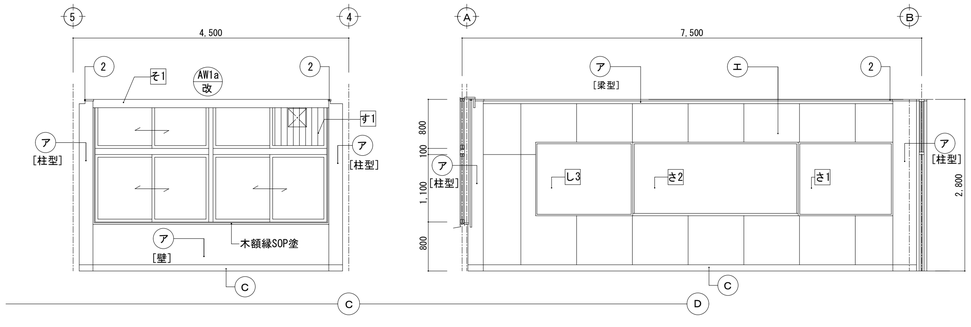
建具撤去範囲を示す。

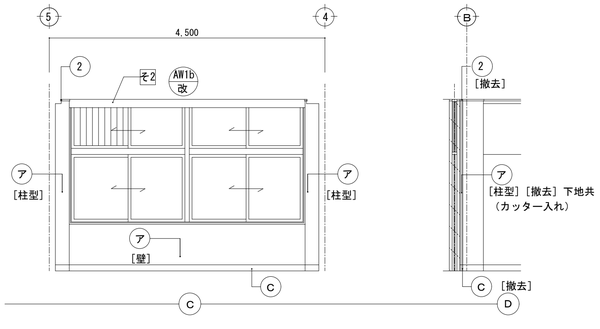
相談室１～３階　かがやきルーム　平面詳細図（改修前）1/50

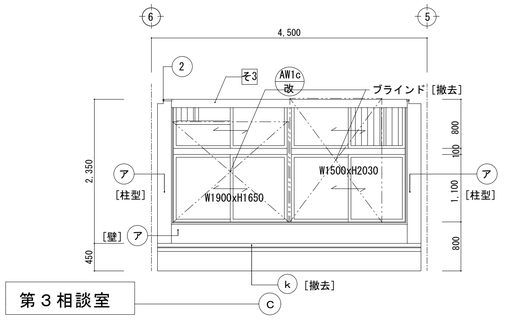




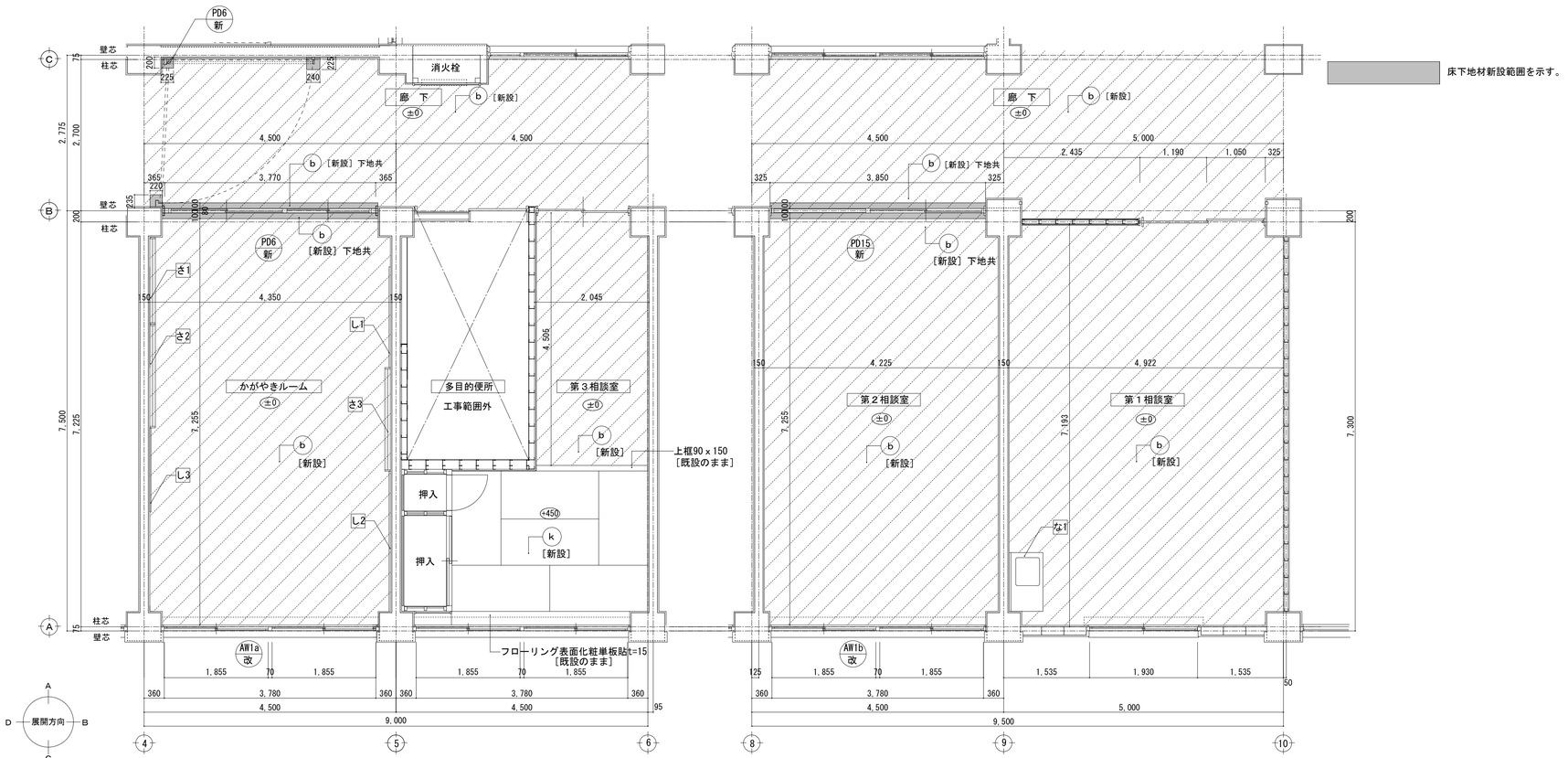








工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	相談室1～3　かがやきルーム　平面詳細図　展開図（改修前）★	A1: 1:50 A3: 1:100	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－４１



床下地材新設範囲を示す。

相談室1～3　かがやきルーム　廊下			仕上表（改修後）	
	記号	仕上	下地	新設範囲を示す
床	b	ビニル床シートt=2.0	モルタル	
	k	畳敷t=60	木床	
巾　木	C	既設のまま かがやきルーム:SOP塗替え		
壁	ア	既設のまま かがやきルーム:EP-G塗替え	モルタル	
	エ	既設のまま かがやきルーム:SOP塗替え	木製	
柱型	ア	既設のまま　一部　ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ EP-G塗[新設] かがやきルーム:EP-G塗替え	モルタル	
梁型	ア	既設のまま かがやきルーム:EP-G塗替え	モルタル	
廻　縁	2	既設のまま かがやきルーム:SOP塗替え		
天井高	相談室1～3 2,800　かがやきルーム2,800			
備　考	ブラインド新設 ※塩下ビニル床シートについて、モルタル下地を新設する箇所以外の部分はポリマーセメント下地処理を行うこと。			

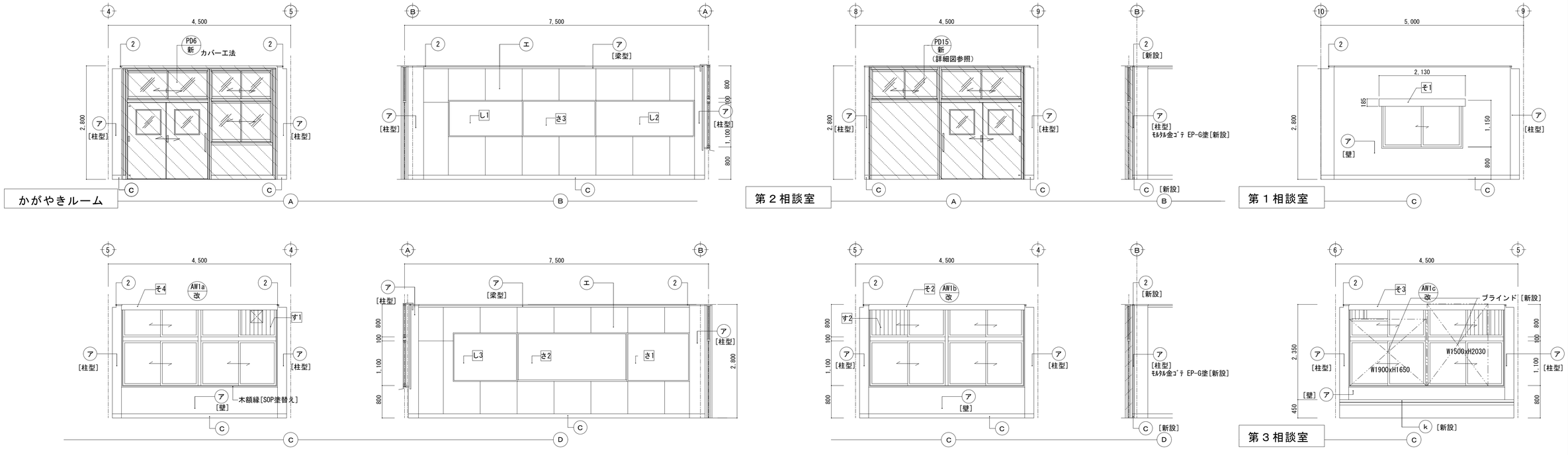
(****新) 新設建具を示す（枠共）　(****改) 改修建具を示す

凡例（平面詳細図・展開図）（その他）			
さ1	行事黒板W1, 500×H1, 200 既設のまま	そ1	カーテンボックス 既設のまま ブラインド［新設］
さ2	ホワイトボードW2, 700×H1, 200 既設のまま	そ2	ブラインドボックス 既設のまま ブラインド［新設］
さ3	黒板W1, 800×H900 既設のまま	そ3	ブラインドボックス 既設のまま ブラインド［新設］
し1	掲示板W1, 800×H900 既設のまま	そ4	ブラインドボックス SOP塗替え ブラインド［新設］
し2	掲示板W2, 500×H900 既設のまま		
し3	掲示板W1, 500×H1, 200 既設のまま		
な1	ミニキッチンW1050xD550xH800 既設のまま		
す1	アルミパネルt=3.0［新設］		
す2	アルミパネルt=3.0 既設のまま		

壁下地材新設範囲を示す。

建具新設範囲を示す。

相談室１～３階　かがやきルーム　平面詳細図（改修後）1/50



工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事） ★	相談室1～3　かがやきルーム　平面詳細図　展開図（改修後） ★	A1: 1:50 A3: 1:100	★	★	★	★	★	藤 川 設 計 株 式 会 社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－４２

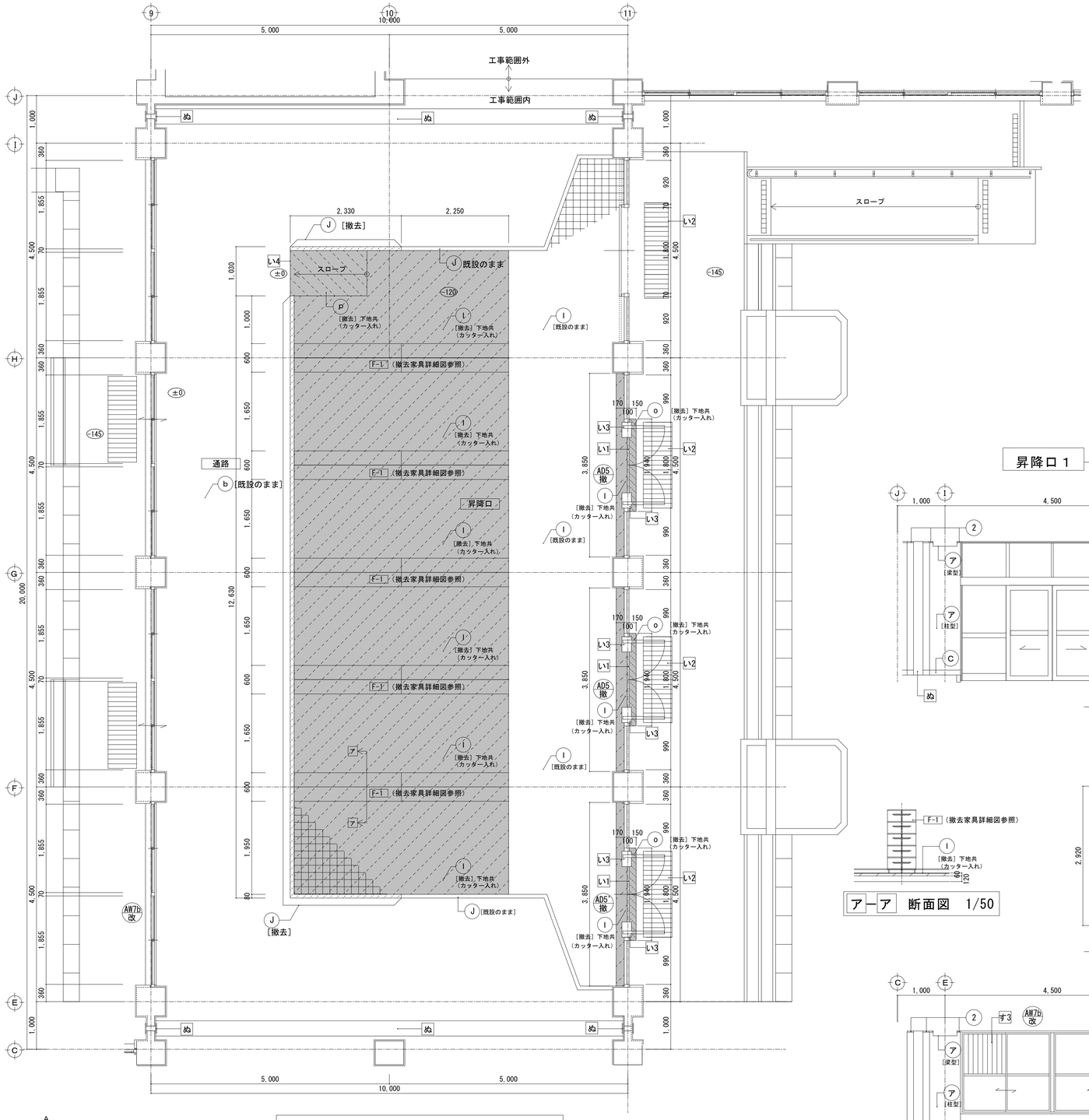
※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。

※　★印はアスベスト含有材

昇降口１　通路		仕上表（改修前）		
	記号	仕上	下地	撤去範囲を示す
床	b	ビニル床シートt=2.0	モルタル	
	I	磁器質180角タイル張	モルタル	
	o	モルタル金コテ仕上	モルタル	
	P	モルタル刷毛引	モルタル	
巾　木	C	木製巾木H=100　SOP塗		
	F	モルタル金コテ目地分AEP塗		
	J	テラゾ框80×120		
壁	ア	AEP塗	モルタル	
梁　型	ア	AEP塗	モルタル	
廻　縁	2	木製45×40　SOP塗		
天井高		昇降口2,920　通路2,800		
備　考				

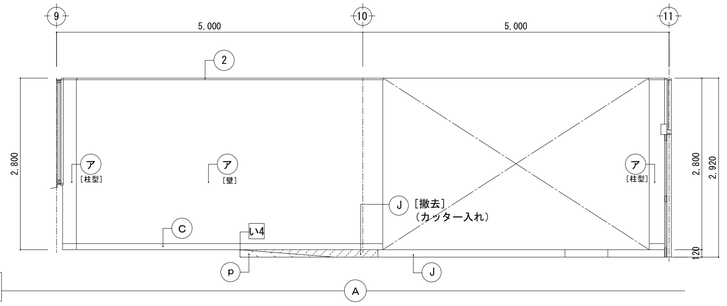
撤去建具を示す（枠共）　改修建具を示す

凡例（平面詳細図・展開図）〈その他〉	
い1	床見切SUS製40x20t=1.2［撤去］
い2	吸込みマット2000×500 SUS枠枠共既設のまま
い3	アルミ両開戸ドアのみ［撤去］ ピッポットヒンジ共
い4	SUS製目地 5×12［撤去］
す2	透明ガラスt=5.0［撤去］
す3	透明ガラスt=3.0［撤去］
ぬ	EXP.J金物既設のまま



昇降口１　平面詳細図（改修前）１／50

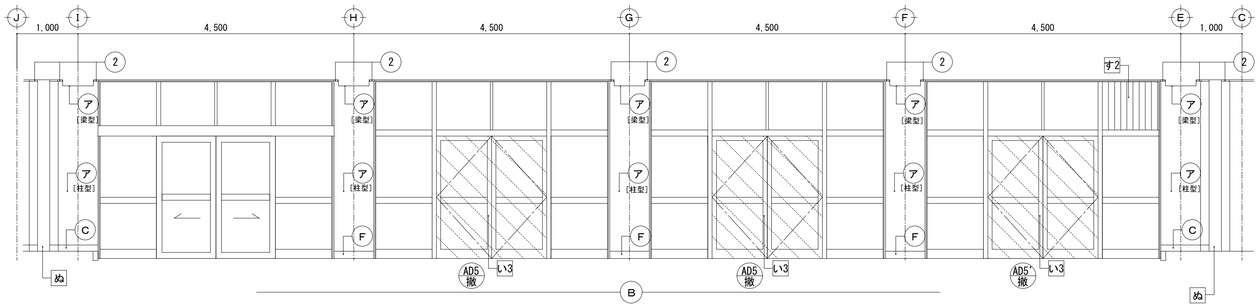
床下地材撤去範囲を示す。

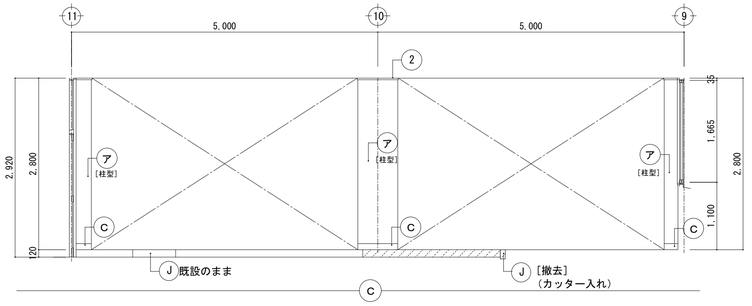


壁下地材撤去範囲を示す。

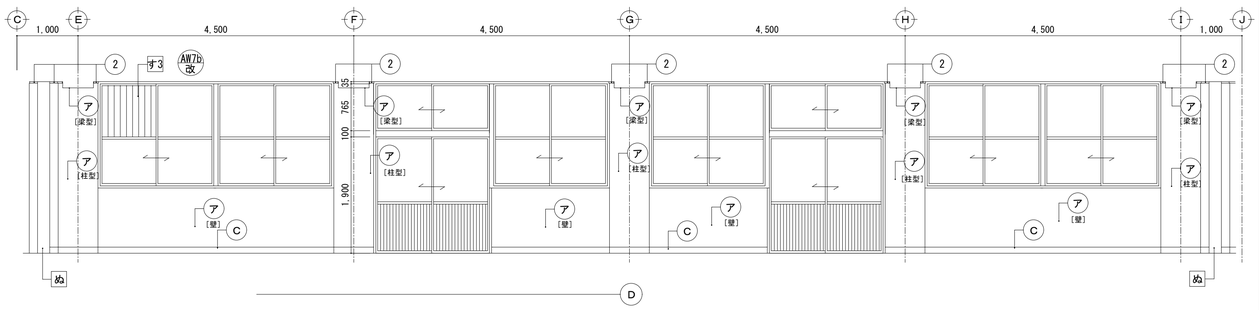
建具撤去範囲を示す。

その他撤去範囲を示す。

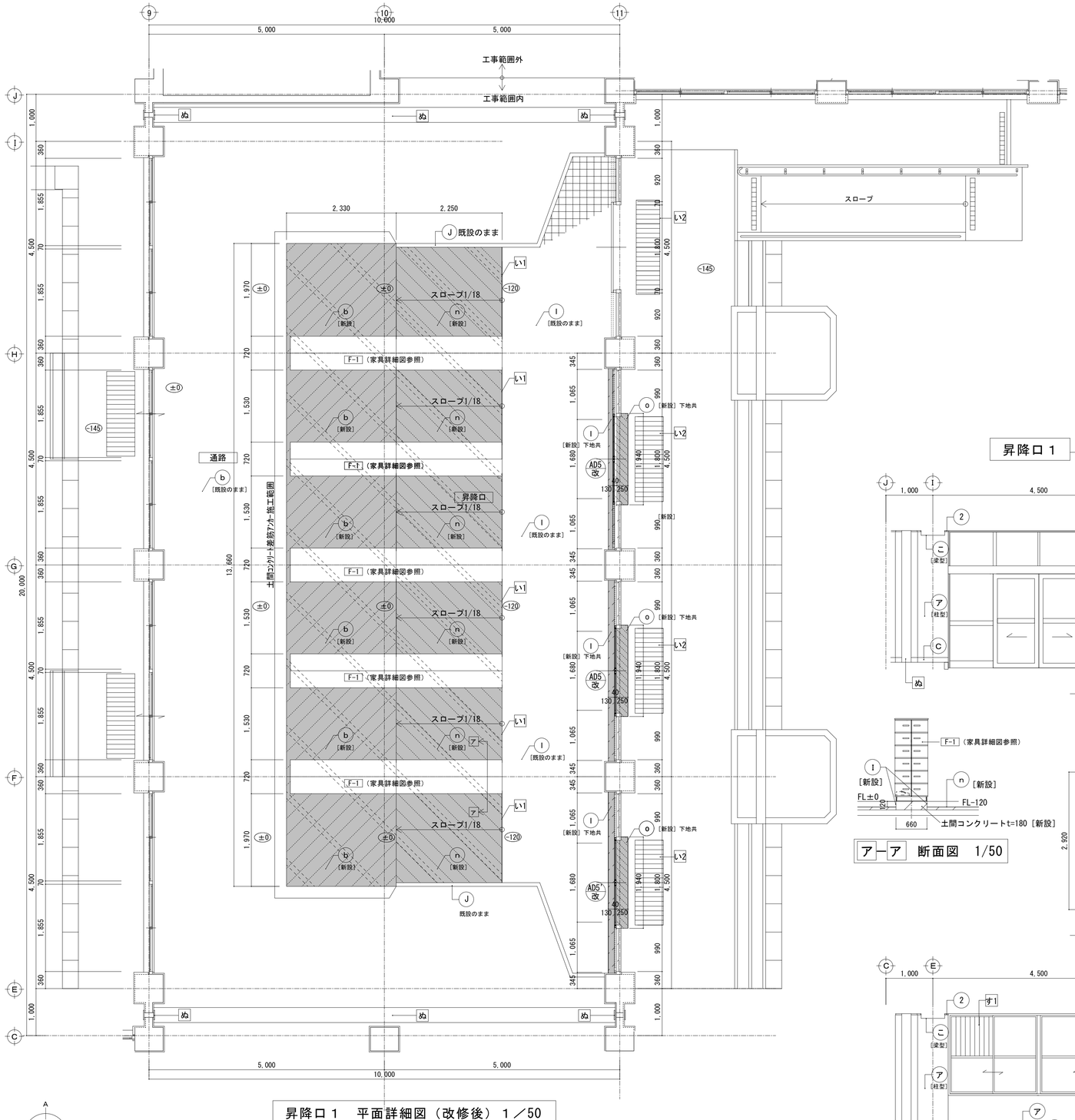




アーア　断面図　1/50



工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	昇降口１　平面詳細図　展開図（改修前）★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－４３



昇降口１　平面詳細図（改修後）　１／50

床下地材新設範囲を示す。

土間コンクリート t=60～180 下足入部t=180
（溶接金網φ6 150x150端部差筋アンカーD10@300L400）［新設］範囲を示す。

昇降口１　通路　　仕上表（改修後）

	記号	仕上	下地	新設範囲を示す
床	b	ビニル床シートt=2.0	コンクリート直均し	
	l	磁器質180角タイル張	モルタル	
	n	防滑性ビニル床シートt=2.0	コンクリート直均し	
	o	モルタル金コテ仕上	モルタル	
巾　木	C	SOP塗替え		
	F	EP-G塗替え		
	l	コンクリート打放補修 EP-G塗		
	J	テラゾ框80×120		
壁	ア	EP-G塗替	モルタル	
梁　型	こ	EP-G塗替	モルタル	
廻　縁	2	木製45×40　SOP塗替		
天井高		昇降口2,920　通路2,800		
備　考				

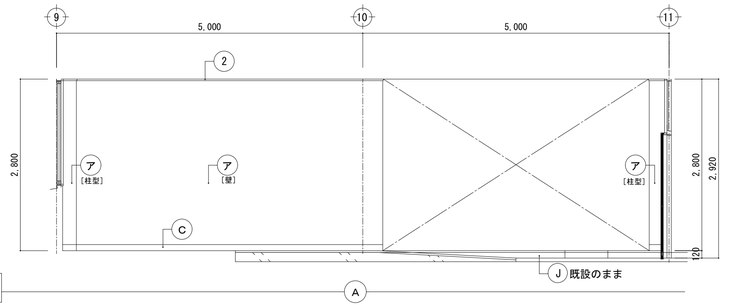
新 新設建具を示す（枠共）　改 改修建具を示す

凡例（平面詳細図・展開図）〈その他〉

い1	SUS製目地 5x12［新設］
い2	音拭きマット2000×500 SUS枠枠共既設のまま
す1	アルミパネルt=3.0［新設］
ぬ	EXP.J金物既設のまま

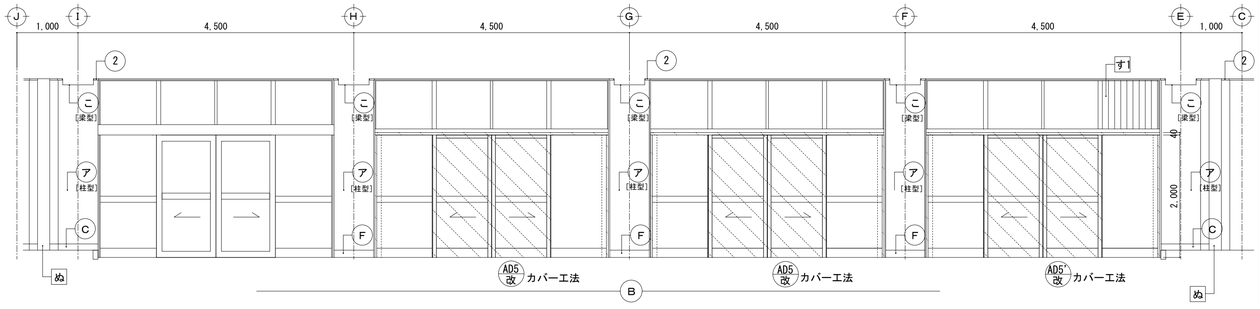
壁下地材新設範囲を示す。

建具新設範囲を示す。

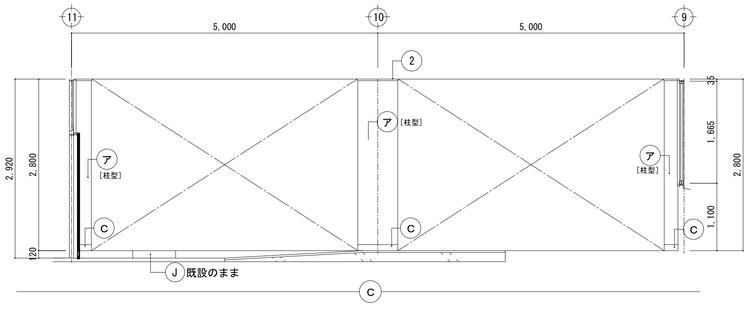


昇降口１

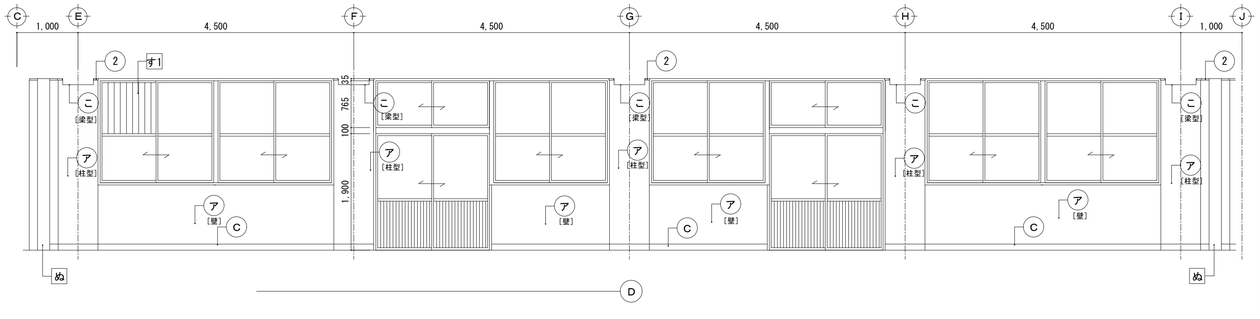
A



アーア　断面図　1/50



C



工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	昇降口１　平面詳細図　展開図（改修後）★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－４４

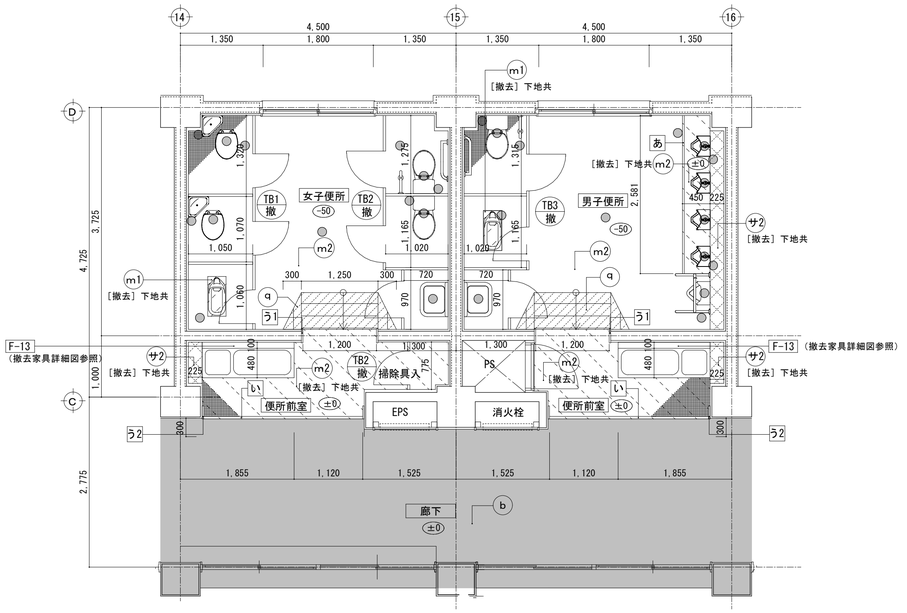
※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。

※　★印はアスベスト含有材

生徒用便所、前室　2　廊下		仕上表（改修前）		
	記号	仕上	下地	撤去範囲を示す
床	b	★ビニル床シートt=2.0	モルタル	
	m1	磁器質25角タイル張	モルタル+仕上押えコンt=140 +スラブコンクリートt=150［撤去］ （詳細図参照）	
	m2	磁器質25角タイル張	モルタル	
	q	スロープ：モルタル刷毛引き	モルタル	
巾　木				
壁	ア	AEP塗	モルタル	
	サ1	陶器質100角タイル張 H=1200	モルタル	
	サ2	陶器質100角タイル張 H=1200	面台：CB積t=100モルタル下地	
柱型	ア	AEP塗	モルタル	
廻　縁	2	木製45×40　SOP塗		
天井高		便所前室2,500　便所2,500		
備　考				

(撤) 撤去建具を示す（枠共）　(改) 改修建具を示す

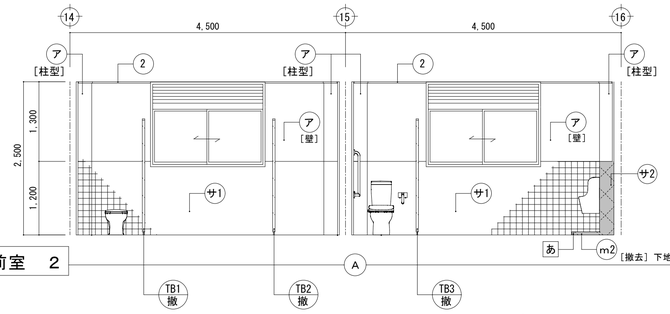
凡例（平面詳細図・展開図）（その他）	
あ	TB框30×60［撤去］
い	床見切SUS製40x20t=1.2［撤去］
う1	三方枠亜鉛鋼板W=230t=1.6 SOP塗［撤去］
う2	三方枠亜鉛鋼板W=200t=1.6 SOP塗
く1	鏡［撤去］（設備工事）
く2	手摺［撤去］（設備工事）

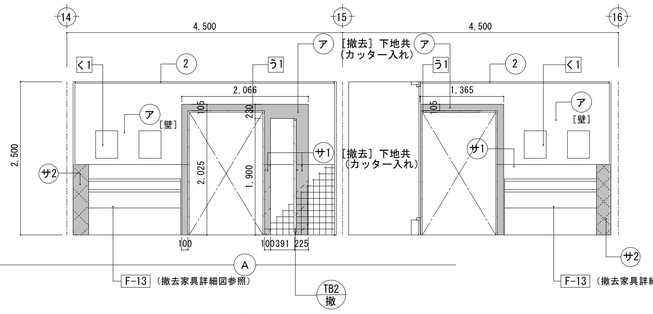


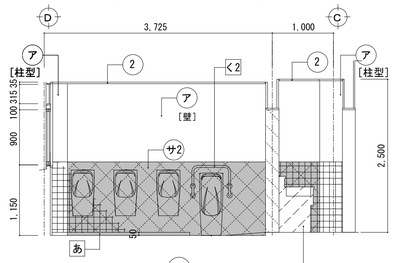
● 配管撤去穴φ150コンクリート穴埋め場所を示す。各階26カ所

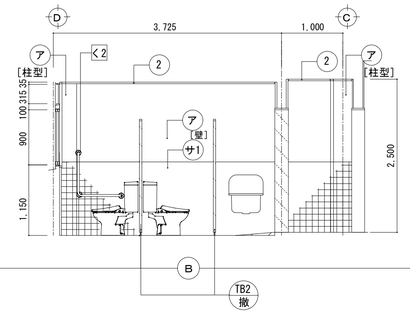
２～４階

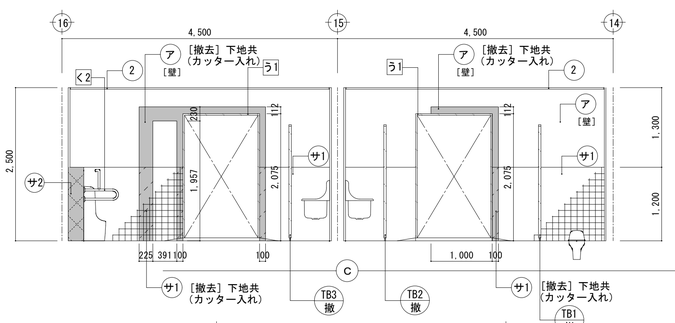
生徒用便所、前室　2

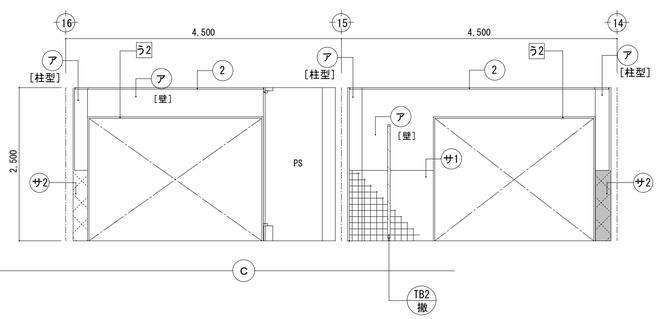


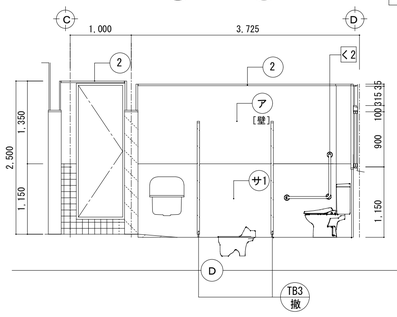


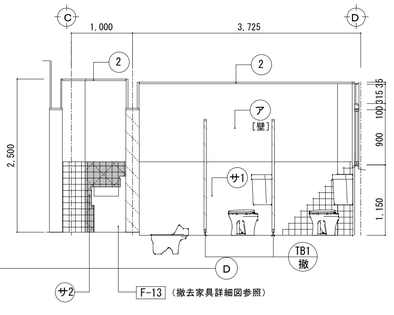












壁下地材新設範囲を示す。

建具新設範囲を示す。

工事対象外を示す。

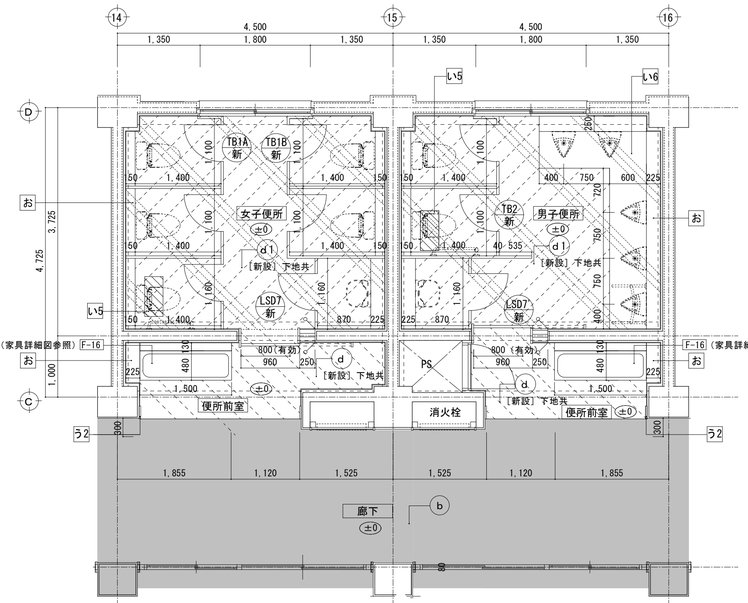
生徒用便所・前室２　平面詳細図（改修前）１／50

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	生徒用便所・前室　2　平面詳細図　展開図（改修前）★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－４５

生徒用便所、前室　2　廊下			仕上表（改修後）
	記号	仕上	下地	新設範囲を示す
床	b	★ビニル床シートt=2.0	モルタル	
	d	防汚・防滑ビニル床シートt=2.0	モルタル	
	d1	防汚・防滑ビニル床シートt=2.0	木床組：木材24x45程度@450程度+構造用合板t=24	
巾　木	A	ビニル巾木H=100		
壁	ア1	EP-G塗替え	モルタル	
	ア2	EP-G塗	モルタル	
	ア3	化粧ケイカル板t=6.0接着張（アルミジョイナー共）	遮音壁：LGS65+65+GW24Kt=50+耐水PBt=12.5+9.5（両面）	
	セ1	化粧ケイカル板t=6.0接着張（アルミジョイナー共）	陶器質100角タイル	
	セ2	化粧ケイカル板t=6.0接着張（アルミジョイナー共）	モルタル	
	セ3	化粧ケイカル板t=6.0接着張（アルミジョイナー共）	遮音壁：LGS65+65+GW24Kt=50+耐水PBt=12.5+9.5（両面）	
	ソ	化粧ケイカル板t=6.0	SUS製面台［新設］（詳細図参照）	
柱型	ア	EP-G塗替え	モルタル	
廻　縁	2	木製45×40　SOP塗替え		
天井高	便所前室2,500　便所2,450			
備　考	※ＳＫ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所　　※壁ﾓﾙﾀﾙ新設について、既設取合部はｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2 W10)を行うこと。 ※廊下ビニル床シートについて、モルタル下地を新設する箇所以外の部分はポリマーセメント下地処理を行うこと。			

新　新設建具を示す（枠共）　　改　改修建具を示す

凡例（平面詳細図・展開図）〈その他〉	
い5	和便器部分 コンクリートt=290［新設］（詳細図参照）
い6	汚垂タイルt=5.0以上
お	SUS製面台［新設］（詳細図参照）
う2	三方枠亜鉛鋼板W=200t=1.6 SOP塗替え
く1	鏡［新設］（設備工事）
く2	手摺［新設］（設備工事）



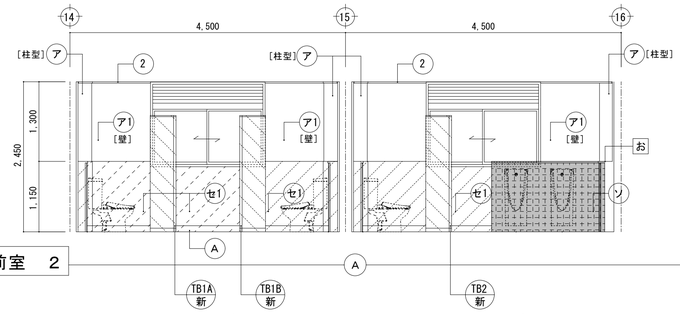
工事対象外を示す。

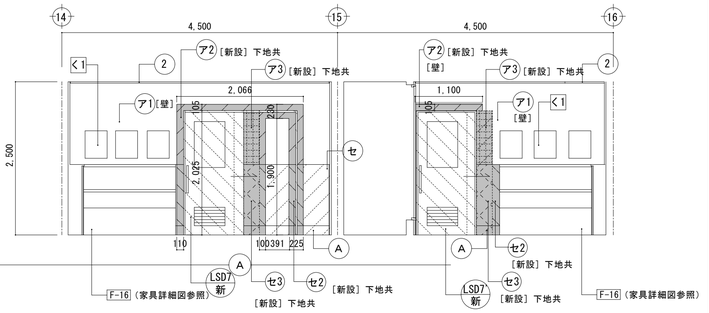
転ばし床組（防腐防蟻処理）新設範囲を示す。

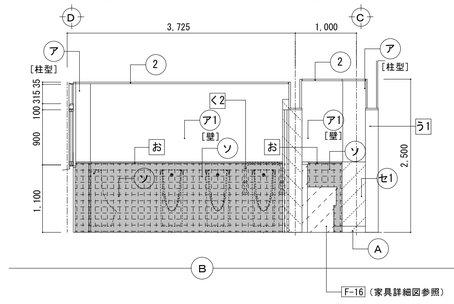
シーリング(PU-2)W=10を示す

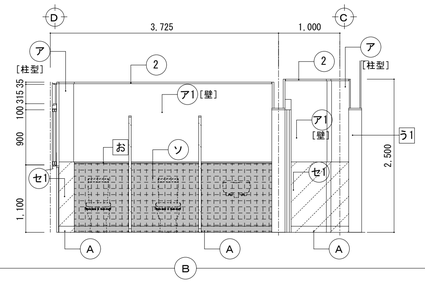
２～４階

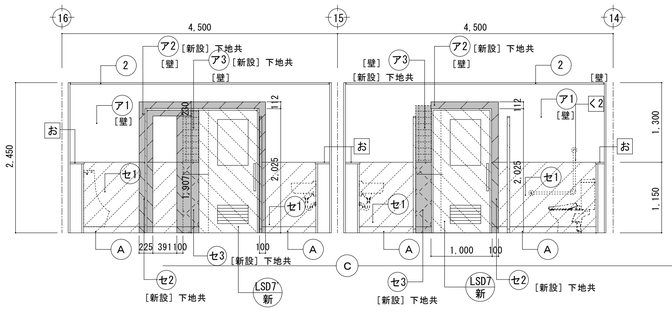
生徒用便所、前室　２

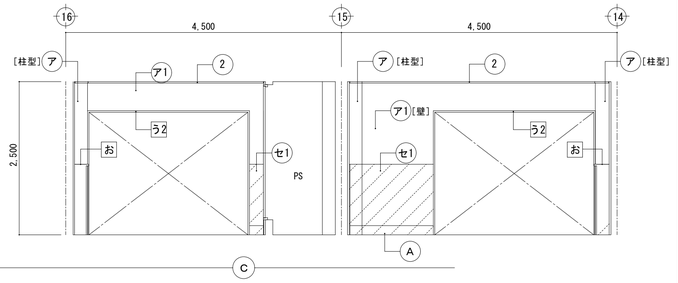


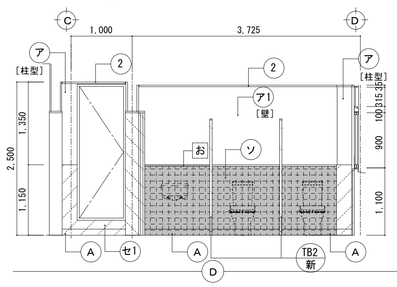


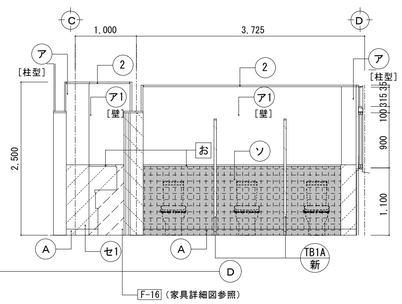










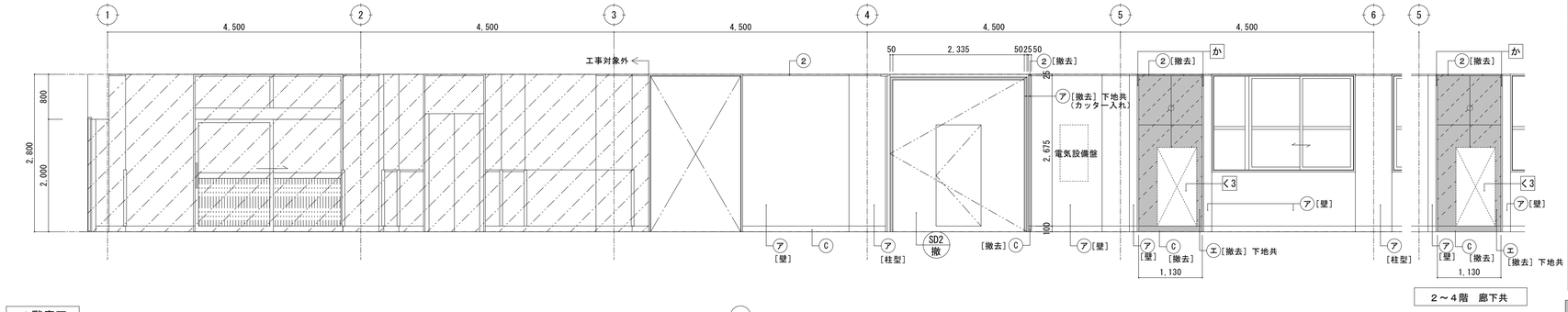


壁下地材新設範囲を示す。

建具新設範囲を示す。

生徒用便所・前室２　平面詳細図（改修後）１／50

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	生徒用便所・前室　２　平面詳細図　展開図（改修後）★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－４６



※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り 仕上げのみ とする。

※ ★印はアスベスト含有材

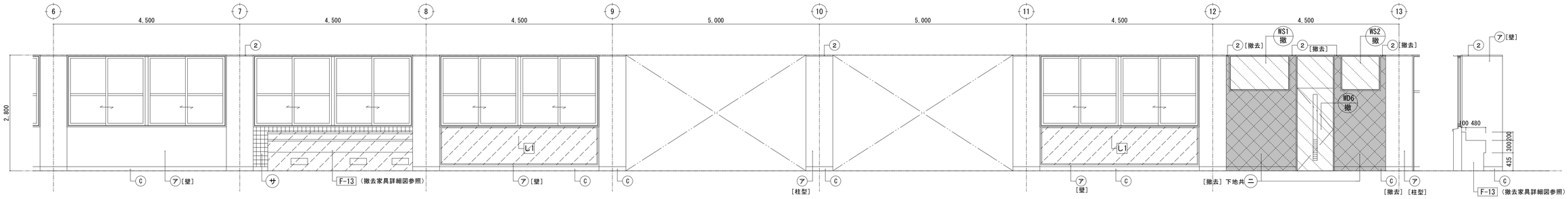
1階廊下		仕上表（改修前）		
	記号	仕上	下地	撤去範囲を示す
床	b	★ビニル床シートt=2.0	モルタル	
巾 木	C	木製巾木H=100 SOP塗		
壁	ア	AEP塗	モルタル	
	エ	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	木製：間柱45×90@450 胴縁45×45@450	
	サ	陶器質100角タイル張	モルタル	
	ニ	EP-G塗	LGS100下地PBt=9.5二重張 （扉下間仕切）	
	ヌ	EP-G塗	LGS+強化石膏ボードt=12.5 +硬質石膏ボードt=9.5	
柱 型	ア	AEP塗	モルタル	
梁・中央梁型	ア	AEP塗	モルタル	
廻 縁	2	木製廻縁45x40 SOP塗		
天井高		2,800		
備 考				

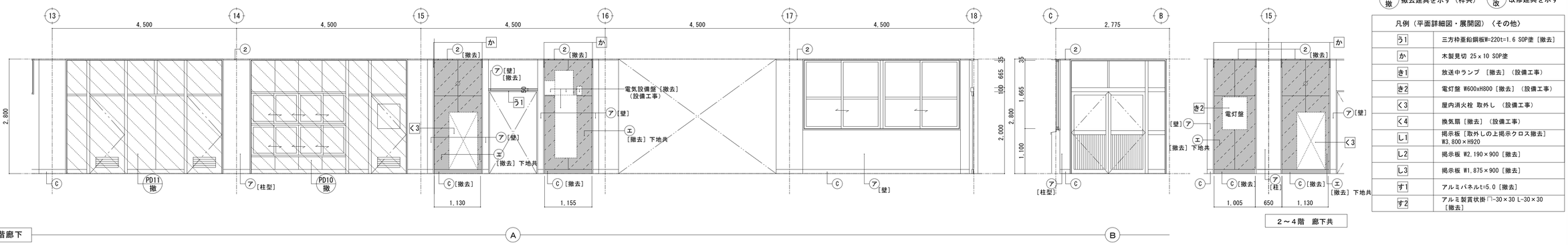
壁下地材撤去範囲を示す。

工事対象外を示す。

建具撤去範囲を示す。

その他撤去範囲を示す。

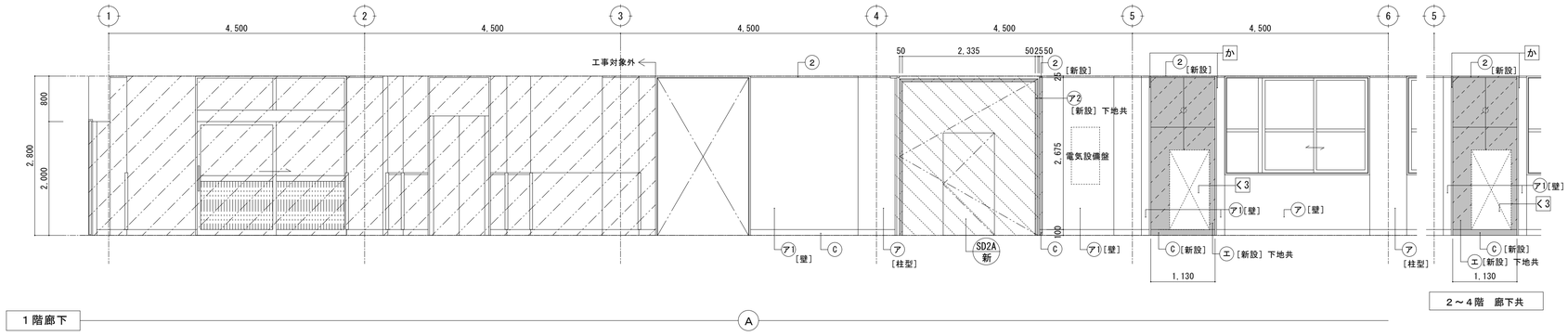




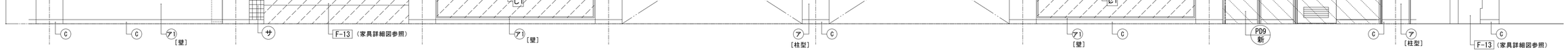
撤 撤去建具を示す（枠共） 改 改修建具を示す

凡例（平面詳細図・展開図）〈その他〉	
う1	三方枠亜鉛鋼板W=220t=1.6 SOP塗［撤去］
か	木製見切 25×10 SOP塗
き1	放送中ランプ ［撤去］（設備工事）
き2	電灯盤 W600xH800［撤去］（設備工事）
く3	屋内消火栓 取外し （設備工事）
く4	換気扇［撤去］（設備工事）
し1	掲示板［取外しの上掲示クロス撤去］ W3,800×H920
し2	掲示板 W2,190×900［撤去］
し3	掲示板 W1,875×900［撤去］
す1	アルミパネルt=5.0［撤去］
す2	アルミ製置状掛 ┌┐-30×30 L-30×30 ［撤去］

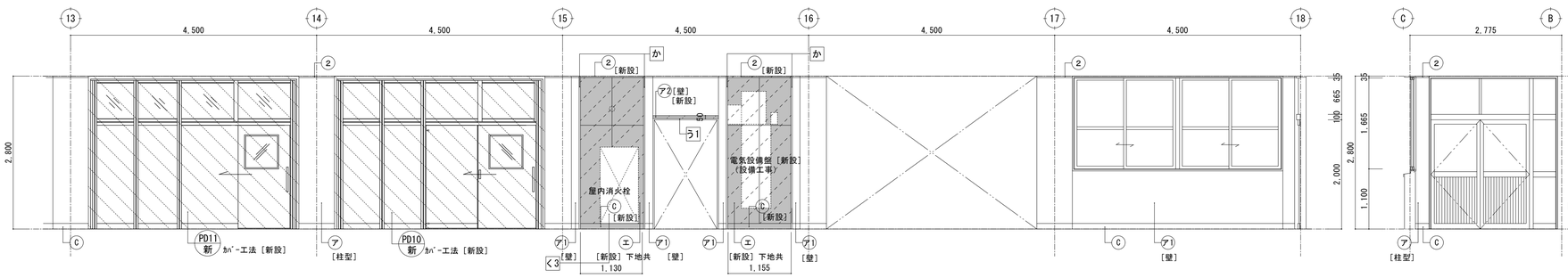
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事） ★	１階廊下 展開図１（改修前） ★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録 ２２２５５１ 田中 富士夫	A－４７



1階廊下 — A



1階廊下 — A



1階廊下 — A — B

1階廊下　仕上表（改修後）

	記号	仕上	下地	新設範囲を示す
床	b	ビニル床シートt=2.0	モルタル	
巾木	C	木製巾木H=100 SOP塗替え		
壁	ア1	EP-G塗替え	モルタル	
	ア2	EP-G塗	モルタル	
	エ	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	木製：間柱45×90@450 胴縁45×45@450	
	サ	既設のまま	モルタル	
	ナ	EP-G塗替え	LGS	
	ヌ	EP-G塗替え	LGS+強化石膏ボードt=12.5 +硬質石膏ボードt=9.5	
柱 型	ア	EP-G塗替え	モルタル	
梁・中央梁型	ア	EP-G塗替え	モルタル	
廻 縁	2	木製廻縁45x40 SOP塗替え		
天井高		2,800		
備 考		－		

壁下地材新設範囲を示す。

建具新設範囲を示す。

その他新設範囲を示す。

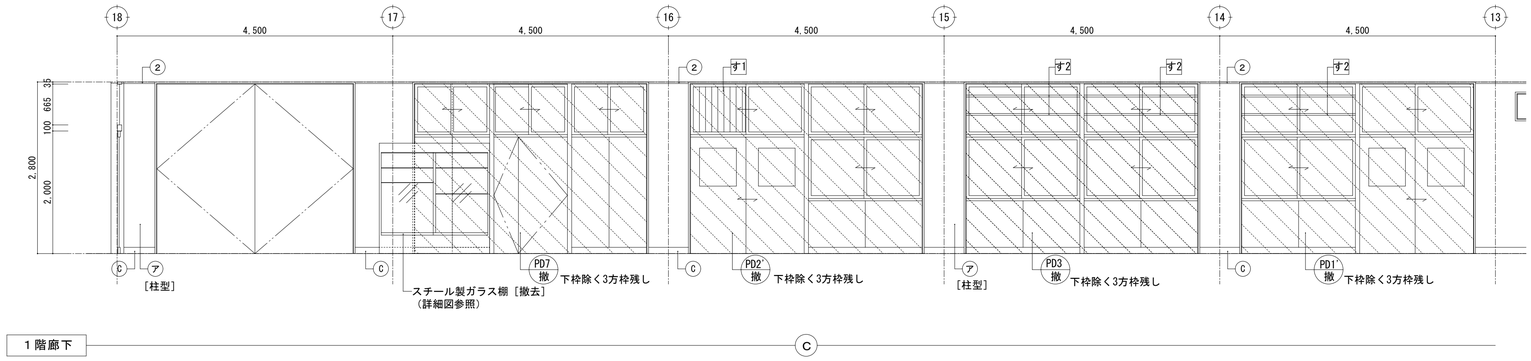
工事対象外を示す。

新設建具を示す（枠共）　改修建具を示す

凡例（平面詳細図・展開図）〈その他〉

う1	SUS製三方枠W=230t=1.5［新設］
か	木製見切 25×10 SOP塗替え
き1	放送中ランプ ［新設］（設備工事）
き2	電灯盤 W600xH800［新設］（設備工事）
く3	屋内消火栓 再取付 （設備工事）
く4	PL-550×550×1.6ビス留 SOP塗［新設］
し1	掲示板 W3,800×H920 ［掲示ｳﾗｽ張替え+ｱﾙﾐ押縁新設の上再取付］
し2	掲示板 W3,540xH1,000［新設］
す1	アルミパネルt=5.0［新設］
に2	担架収納庫 W265×H2200×D260［再取付］

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	１階廊下　展開図１（改修後）	A1: 1:50 A3: 1:100	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－４８



1階廊下 C

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。

※　★印はアスベスト含有材

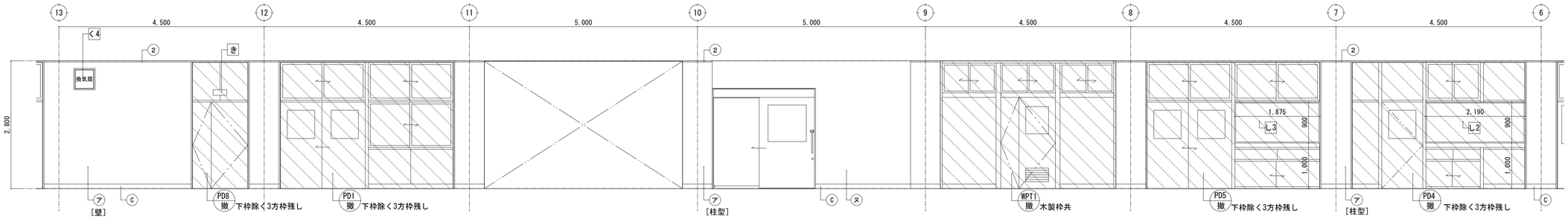
1階廊下		仕上表（改修前）		
	記号	仕上	下地	撤去範囲を示す
床	b	★ビニル床シートt=2.0	モルタル	
巾木	C	木製巾木H=100　SOP塗		
壁	ア	AEP塗	モルタル	
	エ	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	木製：間柱45×90@450 胴縁45×45@450	
	サ	陶器質100角タイル張	モルタル	
	ニ	EP-G塗	LGS100下地PBt=9.5二重張 （廊下間仕切）	
	ヌ	EP-G塗	LGS+強化石膏ボードt=12.5 +硬質石膏ボードt=9.5	
柱　型	ア	AEP塗	モルタル	
梁・中央梁型	ア	AEP塗	モルタル	
廻　縁	2	木製廻縁45x40 SOP塗		
天井高		2,800		
備　考				

壁下地材撤去範囲を示す。

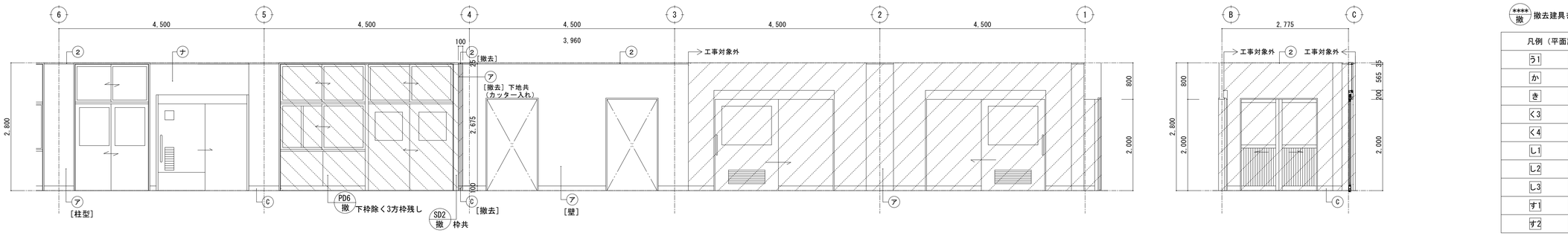
工事対象外を示す。

建具撤去範囲を示す。

その他撤去範囲を示す。



1階廊下 C

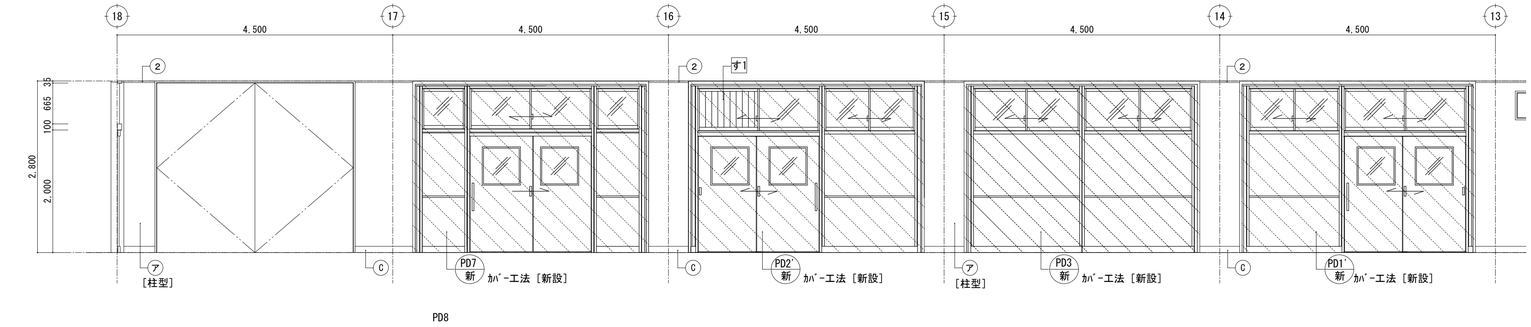


1階廊下 C D

撤去建具を示す（枠共）　改修建具を示す

凡例（平面詳細図・展開図）（その他）	
う1	三方枠亜鉛鋼板W=220t=1.6 SOP塗［撤去］
か	木製見切 25×10 SOP塗
き	放送中ランプ［撤去］（設備工事）
く3	屋内消火栓 取外し（設備工事）
く4	換気扇［撤去］（設備工事）
L1	掲示板［取外しの上掲示クロス撤去］ W3,800×H920
L2	掲示板 W2,190×900［撤去］
L3	掲示板 W1,875×900［撤去］
す1	アルミパネルt=5.0［撤去］
す2	アルミ製賞状掛 コ-30×30 L-30×30 ［撤去］

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事） ★	１階廊下　展開図２（改修前） ★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－４９



PD8

1階廊下 C

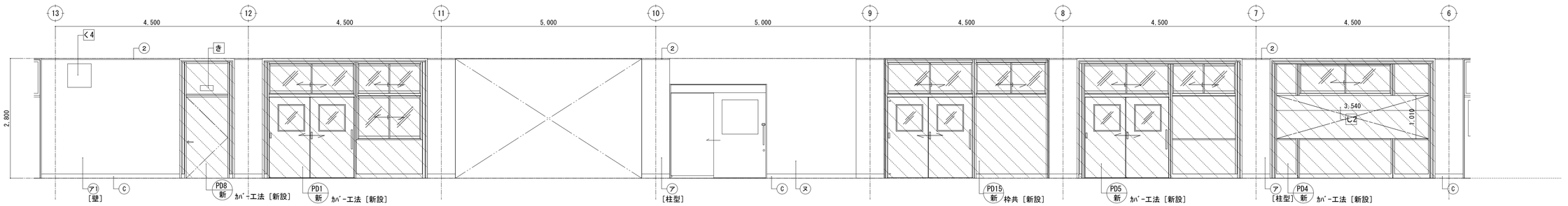
1階廊下			仕上表（改修後）	
	記号	仕上	下地	新設範囲を示す
床	b	ビニル床シートt=2.0	モルタル	
巾木	C	木製巾木H=100 SOP塗替え		
壁	ｱ1	EP-G塗替え	モルタル	
	ｱ2	EP-G塗	モルタル	
	エ	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	木製：間柱45×90@450 胴縁45×45@450	
	サ	既設のまま	モルタル	
	ナ	EP-G塗替え	LGS	
	ヌ	EP-G塗替え	LGS+強化石膏ボードt=12.5 +硬質石膏ボードt=9.5	
柱 型	ｱ	EP-G塗替え	モルタル	
梁・中央梁型	ｱ	EP-G塗替え	モルタル	
廻 縁	2	木製廻縁45x40 SOP塗替え		
天井高		2,800		
備 考		－		

壁下地材新設範囲を示す。

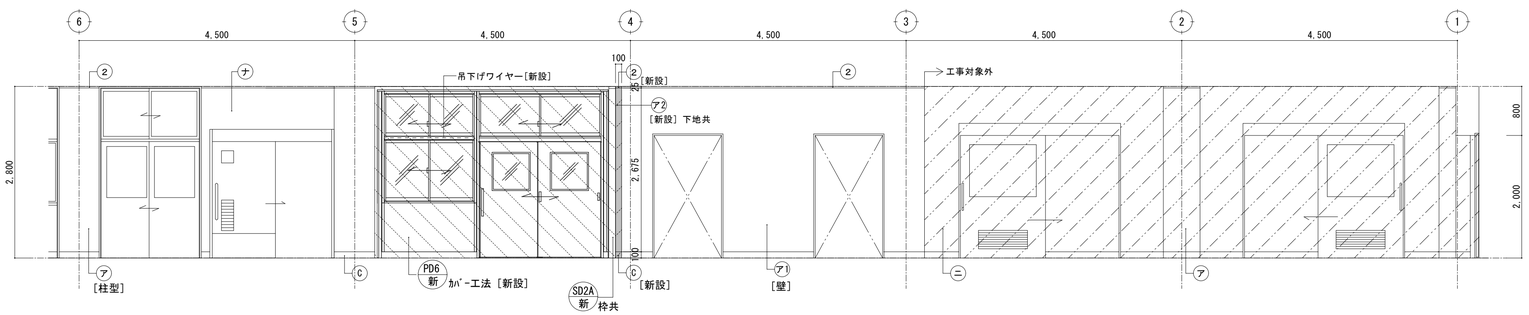
建具新設範囲を示す。

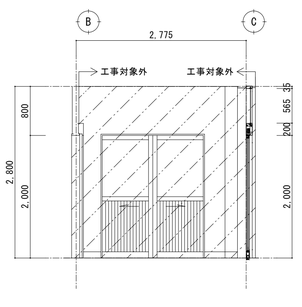
その他新設範囲を示す。

工事対象外を示す。



1階廊下 C





1階廊下 C D

新設建具を示す（枠共） 改修建具を示す

凡例（平面詳細図・展開図）〈その他〉	
5 1	三方枠亜鉛鋼板W=230t=1.6 SOP塗［新設］
か	木製見切 25×10 SOP塗替え
き	放送中ランプ ［新設］（設備工事）
く3	屋内消火栓 再取付 （設備工事）
く4	SUS PL-550×550×1.5 ビス留［新設］
L1	掲示板 W3,800×H920 ［掲示ｸﾛｽ張替え+ﾌﾙｽ押縁新設の上再取付］
L2	掲示板 W3,540xH1,000［新設］
す1	アルミパネルt=5.0［新設］
ﾆ2	担架収納庫 W265×H2200×D260［再取付］

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	１階廊下　展開図２（改修後）	A1: 1:50 A3: 1:100	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－５０

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。　※　★印はアスベスト含有材

天井仕上表（改修前）

	記号	仕上	下地
天　井	あ	化粧PBt=9.0張(910x910)	LGS
	い	化粧PBt=9.0張(910x455)	LGS
	う	★PBt=9.0+岩綿吸音板t=9.0張	LGS
	え	★ケイカル板t=6.0張 複層塗材E	LGS
	お	★ケイカル板t=6.0張 AEP塗	LGS
	か	PBt=9.5張 AEP塗	LGS
	こ	梁型 AEP塗	モルタル
	し	★外装薄塗材E吹付	コンクリート
	な	★ケイカル板t=6.0張 VP塗	LGS
	に	★複層塗材E吹付	コンクリート
	ぬ	PBt=12.5張 AEP塗	LGS
	ね	化粧PBt=9.0張(910x910)	LGS
	CB	カーテンBOX、ブラインドBOX、暗幕BOX　木製 SOP塗(校長室のみﾁｰｸ同等練付 PU塗)	

木製廻縁 SOP塗［撤去］

塩ﾋﾞ製廻縁［撤去］

天井点検口（450x450）

天井点検口（600x600）

※　仕上撤去及び仕上（下地共）撤去範囲内にある点検口は、撤去とする。

特記なき限り、天井廻縁は木製 SOP塗とする。（一部塩ﾋﾞ製廻縁あり）

ブ　ブラインド撤去

ア　暗幕カーテン撤去

カ　カーテン撤去

レ　カーテンレール撤去

仕上撤去（下地共）を示す。

仕上撤去を示す。

工事対象外を示す。

１階天井伏図（改修前）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事） ★	１階天井伏図（改修前） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－５１

カーテン、ブラインド新設一覧表（改修後）

室　名	品　名	W　x　H	数量	室　名	品　名	W　x　H	数量
校長室	ブラインド	1735 x 1970	2	保健室	ブラインド	1890 x 1970	4
職員室	ブラインド	1900 x 2300	6		吊カーテン	2685 x 1800	3
	ブラインド	1700 x 2300	2		吊カーテン	1560 x 1800	1
放送室	ブラインド	1890 x 1970	2		吊カーテン	1400 x 1800	3
印刷室	ブラインド	1890 x 1970	2	第3相談室	ブラインド	1500 x 2030	1
第1相談室	ブラインド	2130 x 1150	1		ブラインド	1900 x 1650	1
第2相談室	ブラインド	1890 x 2100	2	かがやきﾙｰﾑ	ブラインド	1890 x 1970	2

天井仕上表（改修後）

	記号	仕上	下地
天　井	あ	EP塗替え	LGS
	い	EP塗替え	LGS
	う	既設のまま	LGS
	お	ケイカル板t=6.0張EP塗替え	LGS
	か	既設のまま	LGS
	こ	梁型 下地調整+EP-G塗替え	モルタル
	す	水洗い+下地調整※+NAD塗替え ※下地調整はRC躯とし、研磨紙ずりに代えて清掃を行う	
	せ	化粧PBt=9.5張(910x910)	LGS
	そ	化粧PBt=9.5張(910x455)	LGS
	た	PBt=9.5+岩綿吸音板t=9.0	LGS
	ち	ケイカル板t=6.0 NAD塗	LGS
	に	既設のまま	
	ぬ	既設のまま	LGS
	ね	既設のまま	LGS
	CB	SOP塗替え（校長室のみUC塗替え）	
	㊂	既設のまま	

木製廻縁 SOP塗［新設］
塩ビ製廻縁［新設］
天井点検口（450x450）［新設］
天井点検口（600x600）［新設］
既設天井点検口（450x450）
既設天井点検口（600x600）
天井廻縁の塗替えは各展開図による。

ブ　横型ブラインド新設
ア　暗幕カーテン新設
カ　カーテン新設
レ　SUS製カーテンレール新設

仕上新設（下地共）を示す。
仕上新設を示す。
工事対象外を示す。

１階天井伏図（改修後）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事） ★	１階天井伏図（改修後） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－５２

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。　※　★印はアスベスト含有材

天井仕上表（改修前）

	記号	仕上	下地
天　井	い	化粧PBt=9.0張(910x455)	LGS
	お	★ケイカル板t=6.0張AEP塗	LGS

木製廻縁 SOP塗 ［撤去］

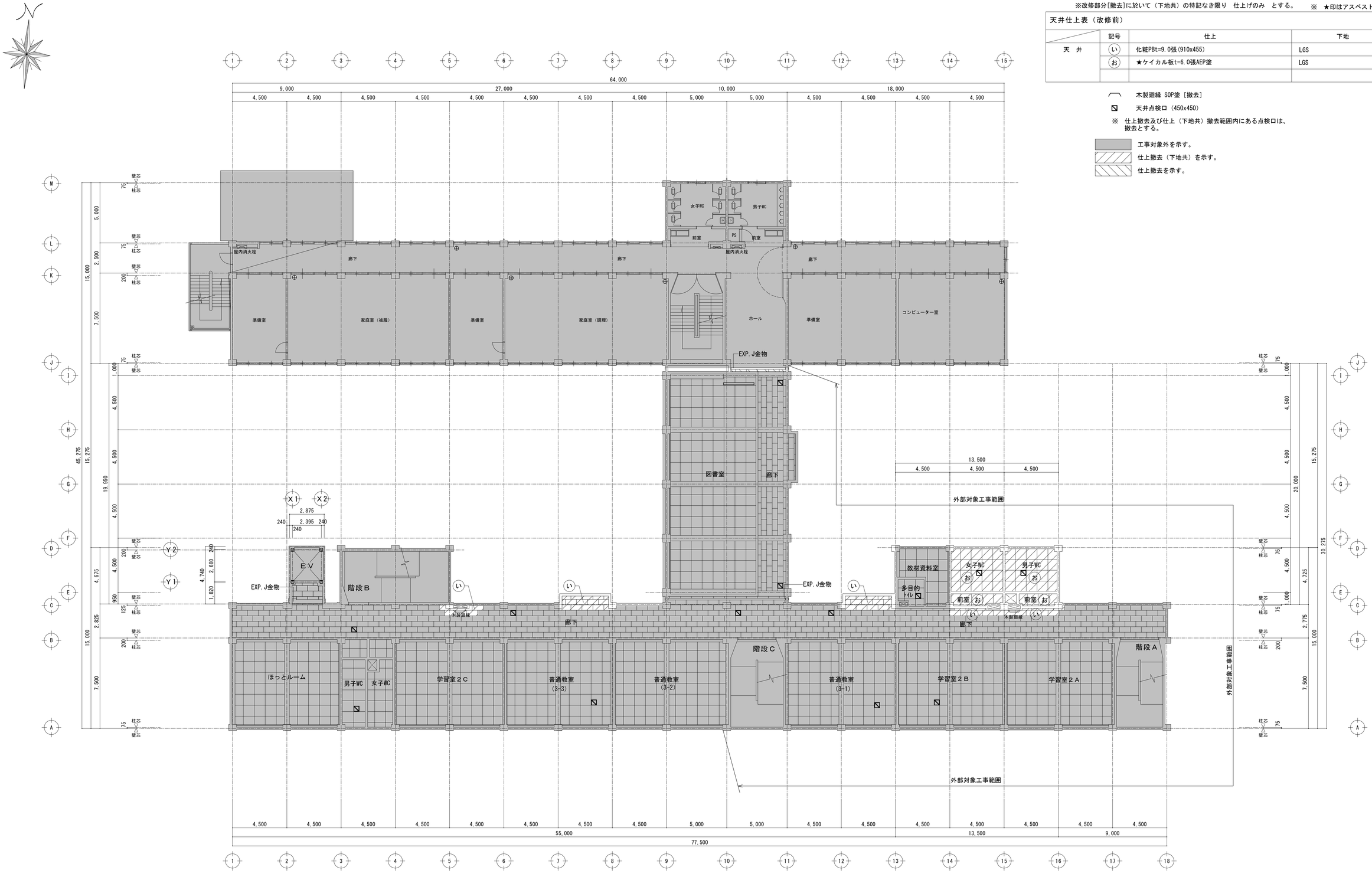
天井点検口 (450x450)

※　仕上撤去及び仕上（下地共）撤去範囲内にある点検口は、撤去とする。

工事対象外を示す。

仕上撤去（下地共）を示す。

仕上撤去を示す。



２階天井伏図（改修前）　1／150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	計算で階天井伏図（改修前）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

A－５３

天井仕上表（改修後）

	記号	仕上	下地
天　井	せ	化粧PBt=9.5張（910x910）	LGS
	そ	化粧PBt=9.5張（910x455）	LGS

- 木製廻縁 SOP塗［新設］
- 天井点検口（450x450）［新設］
- 天井点検口（600x600）［新設］
- 既設天井点検口（450x450）

- 仕上新設（下地共）を示す。
- 仕上新設を示す。
- 工事対象外を示す。

２階天井伏図（改修後）　1／150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	２階天井伏図（改修後）	A1: 1:150 A3: 1:300						藤川設計株式会社	A－５４
★	★	★	★	★	★	★	★	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。　※　★印はアスベスト含有材

天井仕上表（改修前）

	記号	仕上	下地
天　井	い	化粧PBt=9.0張(910x455)	LGS
	お	★ケイカル板t=6.0張AEP塗	LGS
	け	コンクリート打放	

木製廻縁 SOP塗 [撤去]

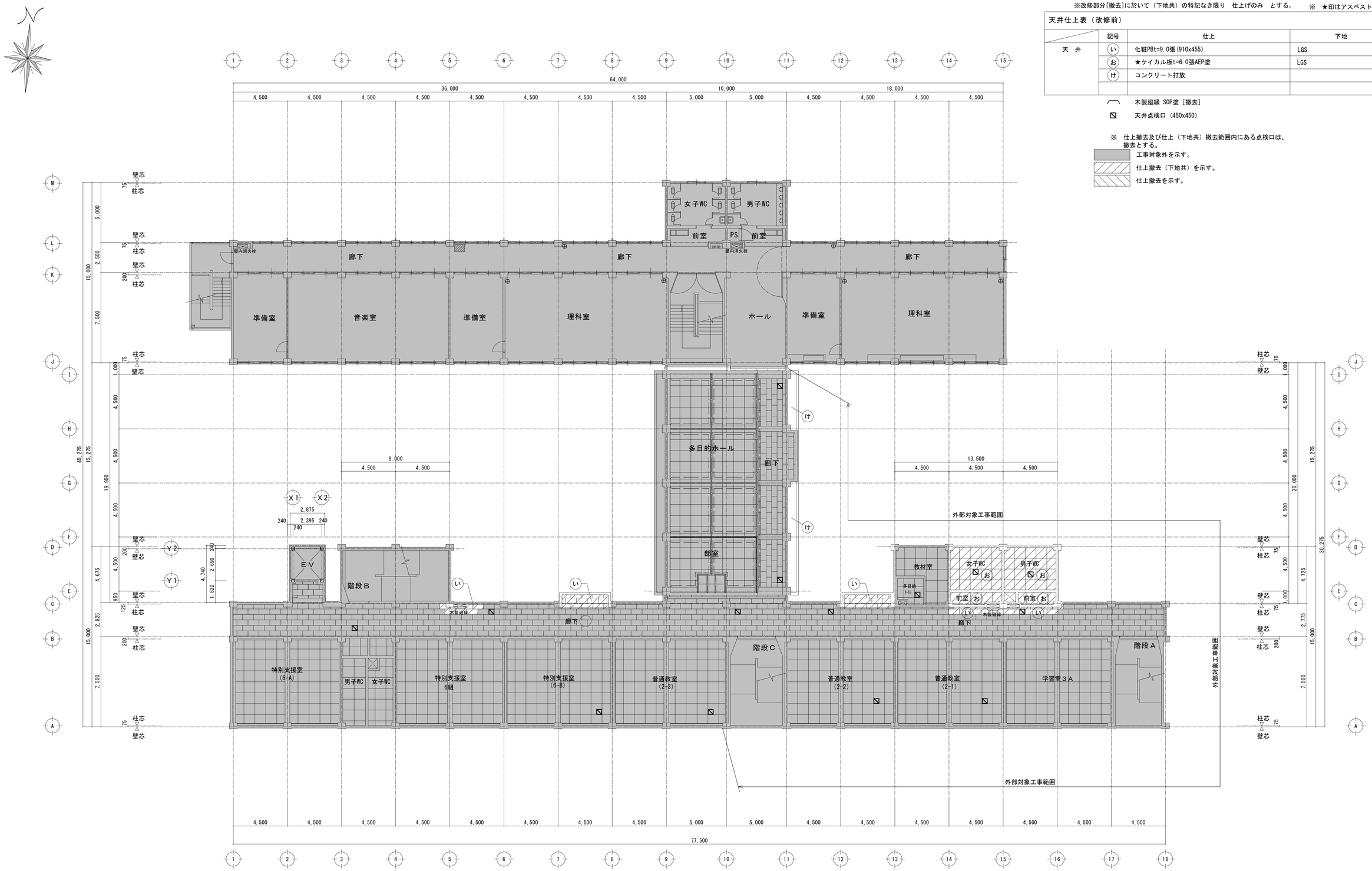
天井点検口 (450x450)

※ 仕上撤去及び仕上（下地共）撤去範囲内にある点検口は、撤去とする。

工事対象外を示す。

仕上撤去（下地共）を示す。

仕上撤去を示す。



３階天井伏図（改修前）　1/150

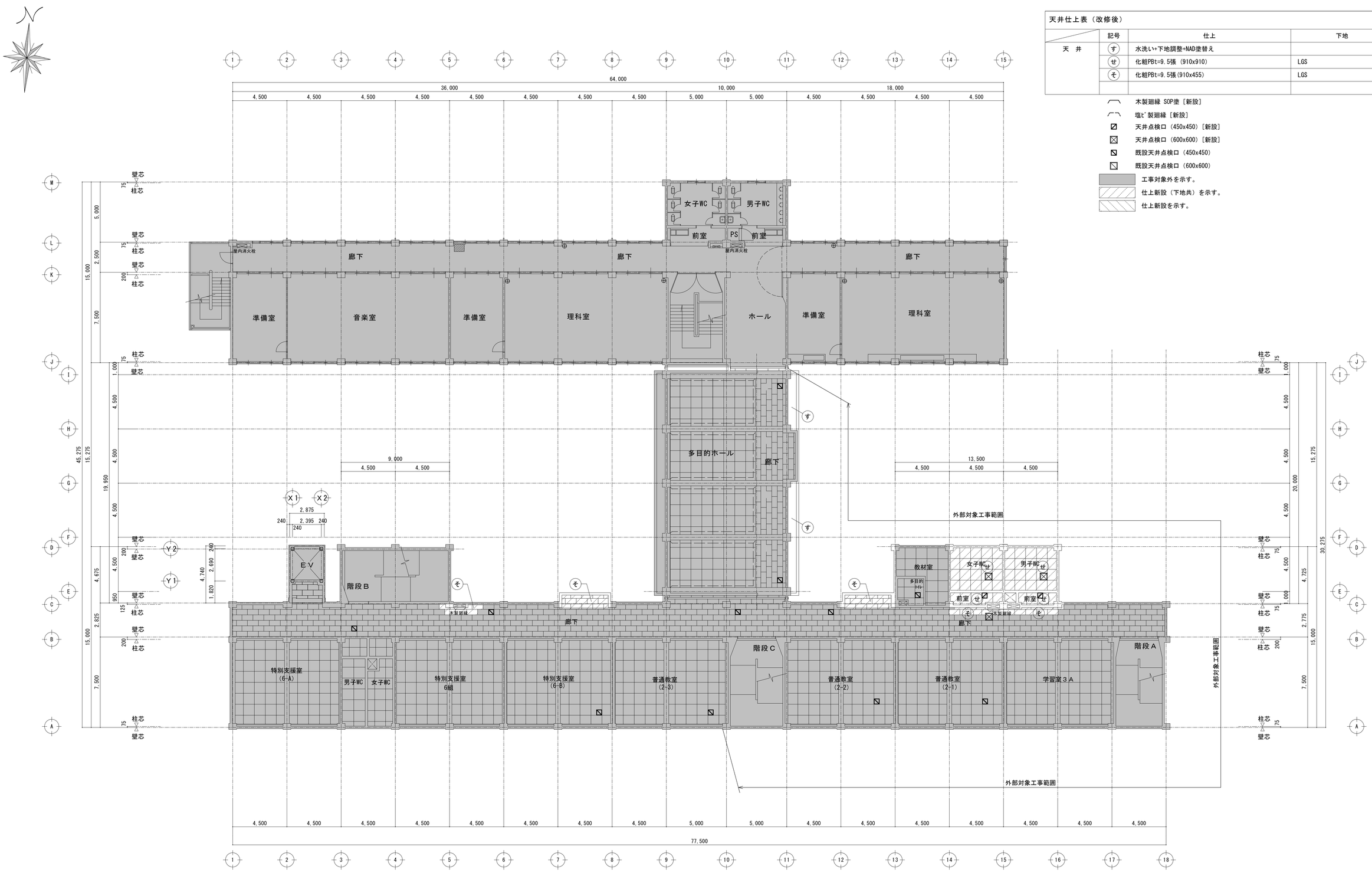
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	３階天井伏図（改修前）	A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

A－５５

天井仕上表（改修後）			
	記号	仕上	下地
天　井	す	水洗い+下地調整+NAD塗替え	
	せ	化粧PBt=9.5張（910x910）	LGS
	そ	化粧PBt=9.5張(910x455)	LGS

- 木製廻縁 SOP塗［新設］
- 塩ビ製廻縁［新設］
- 天井点検口（450x450）［新設］
- 天井点検口（600x600）［新設］
- 既設天井点検口（450x450）
- 既設天井点検口（600x600）
- 工事対象外を示す。
- 仕上新設（下地共）を示す。
- 仕上新設を示す。



３階天井伏図（改修後）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	３階天井伏図（改修後）	A1: 1:150 A3: 1:300						藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫

A－５６

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。　※　★印はアスベスト含有材

天井仕上表（改修前）

	記号	仕上	下地
天　井	い	化粧PBt=9.0張(910x455)	LGS
	お	★ケイカル板t=6.0張AEP塗	LGS
	け	コンクリート打放	

木製廻縁 SOP塗［撤去］

天井点検口（450x450）

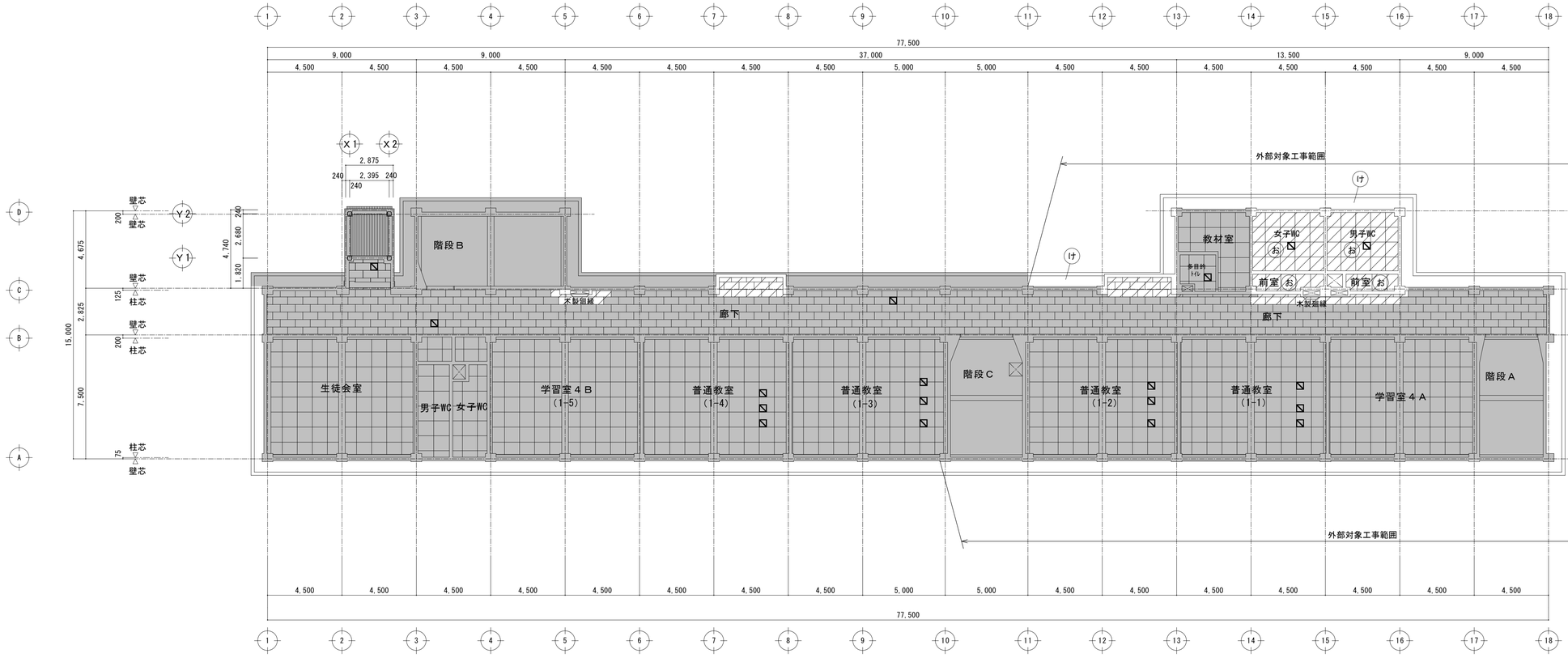
天井点検口（600x600）

※　仕上撤去及び仕上（下地共）撤去範囲内にある点検口は、撤去とする。

工事対象外を示す。

仕上撤去（下地共）を示す。

仕上撤去を示す。



４階平面図（改修前）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	４階天井伏図（改修前）	A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－５７

天井仕上表（改修後）

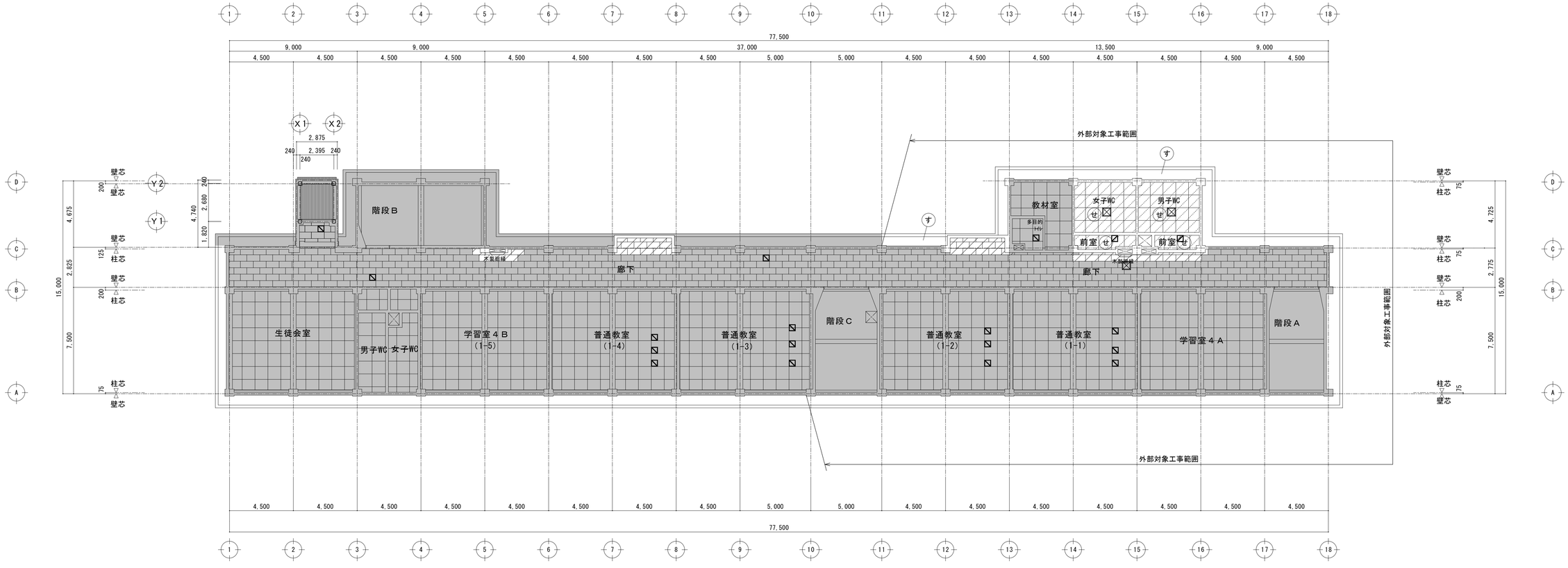
	記号	仕上	下地
天　井	す	水洗い+下地調整+NAD塗替え	
	せ	化粧PBt=9.5張（910x910）	LGS
	そ	化粧PBt=9.5張(910x455)	LGS

- 木製廻縁 SOP塗［新設］
- 天井点検口（450x450）［新設］
- 天井点検口（600x600）［新設］
- 既設天井点検口（450x450）
- 既設天井点検口（600x600）

工事対象外を示す。

仕上新設（下地共）を示す。

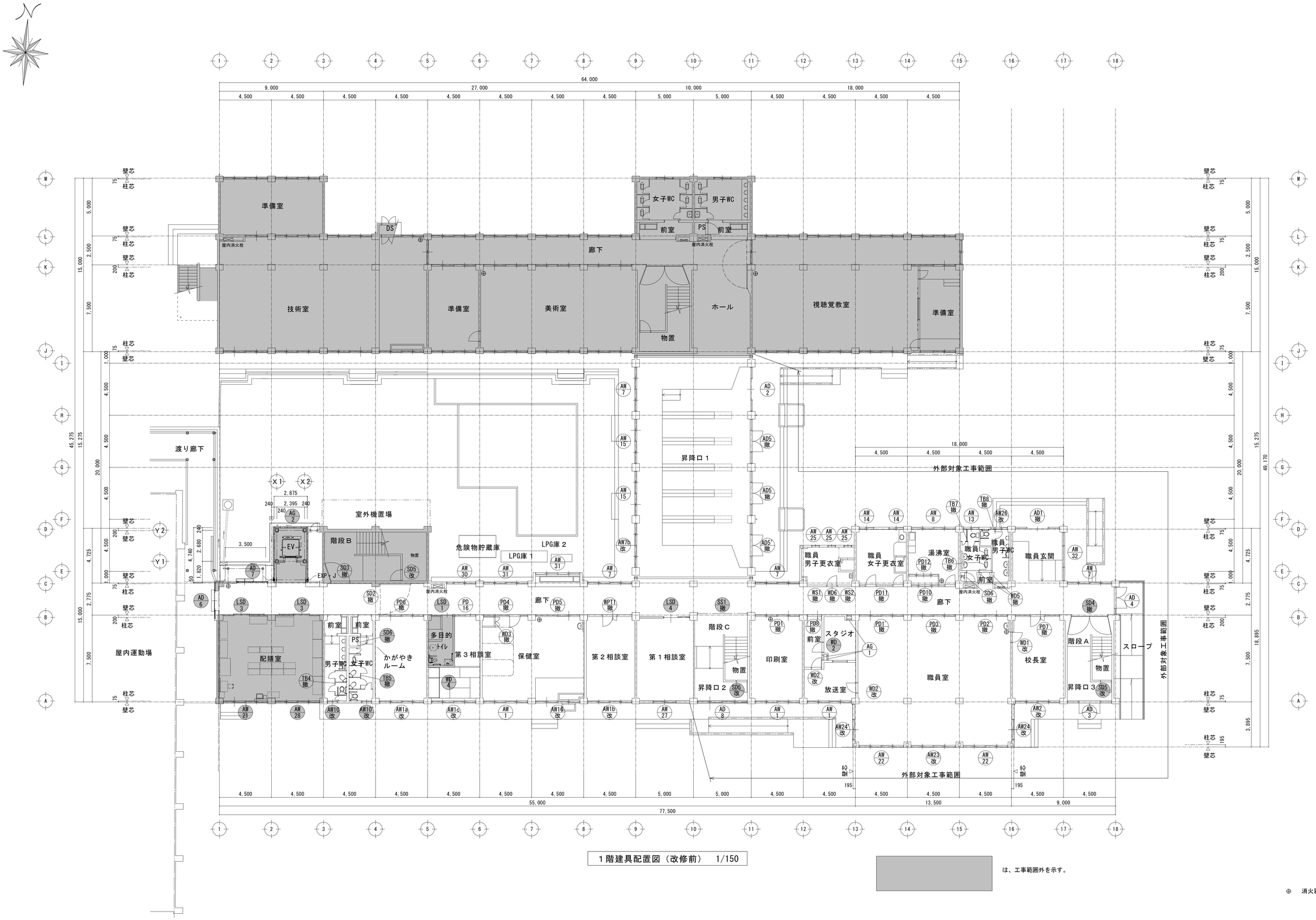
仕上新設を示す。



4階平面図（改修後）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	４階天井伏図（改修後）	A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫

A－５８

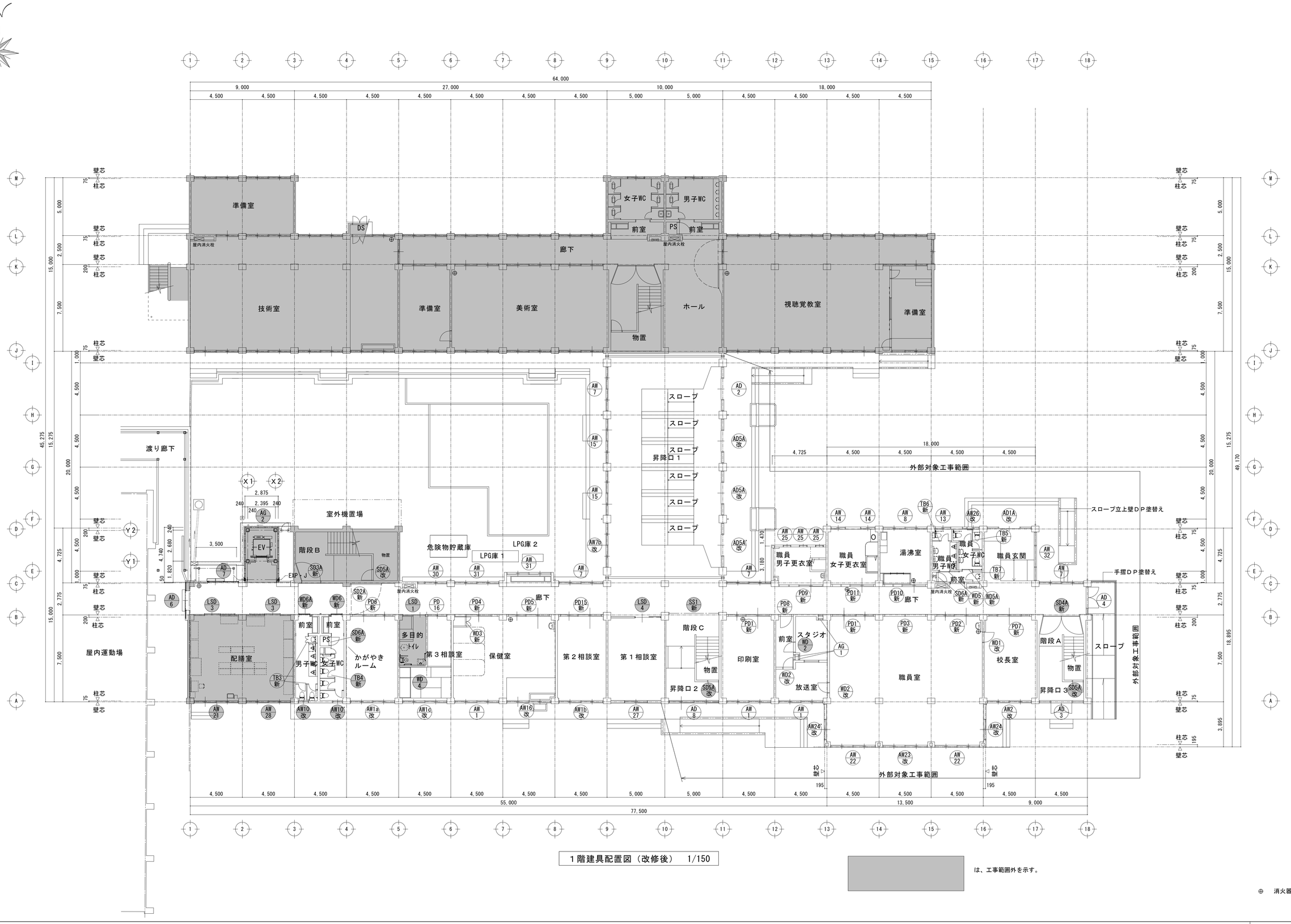


１階建具配置図（改修前）　1/150

は、工事範囲外を示す。

⊕　消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	１階建具配置図（改修前）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－５９

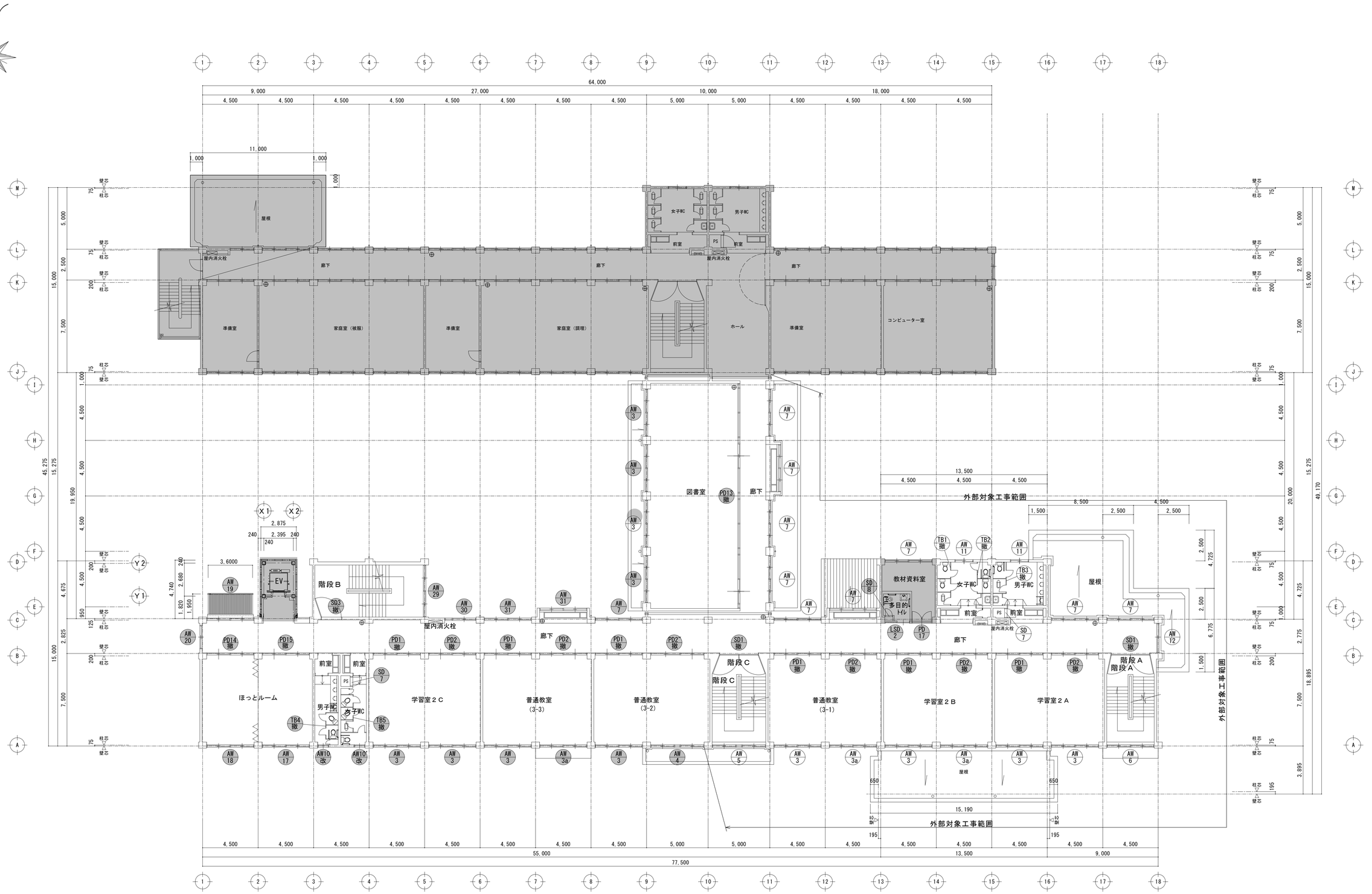


１階建具配置図（改修後）　1/150

は、工事範囲外を示す。

⊕　消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事） ★	１階建具配置図（改修後） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－６０

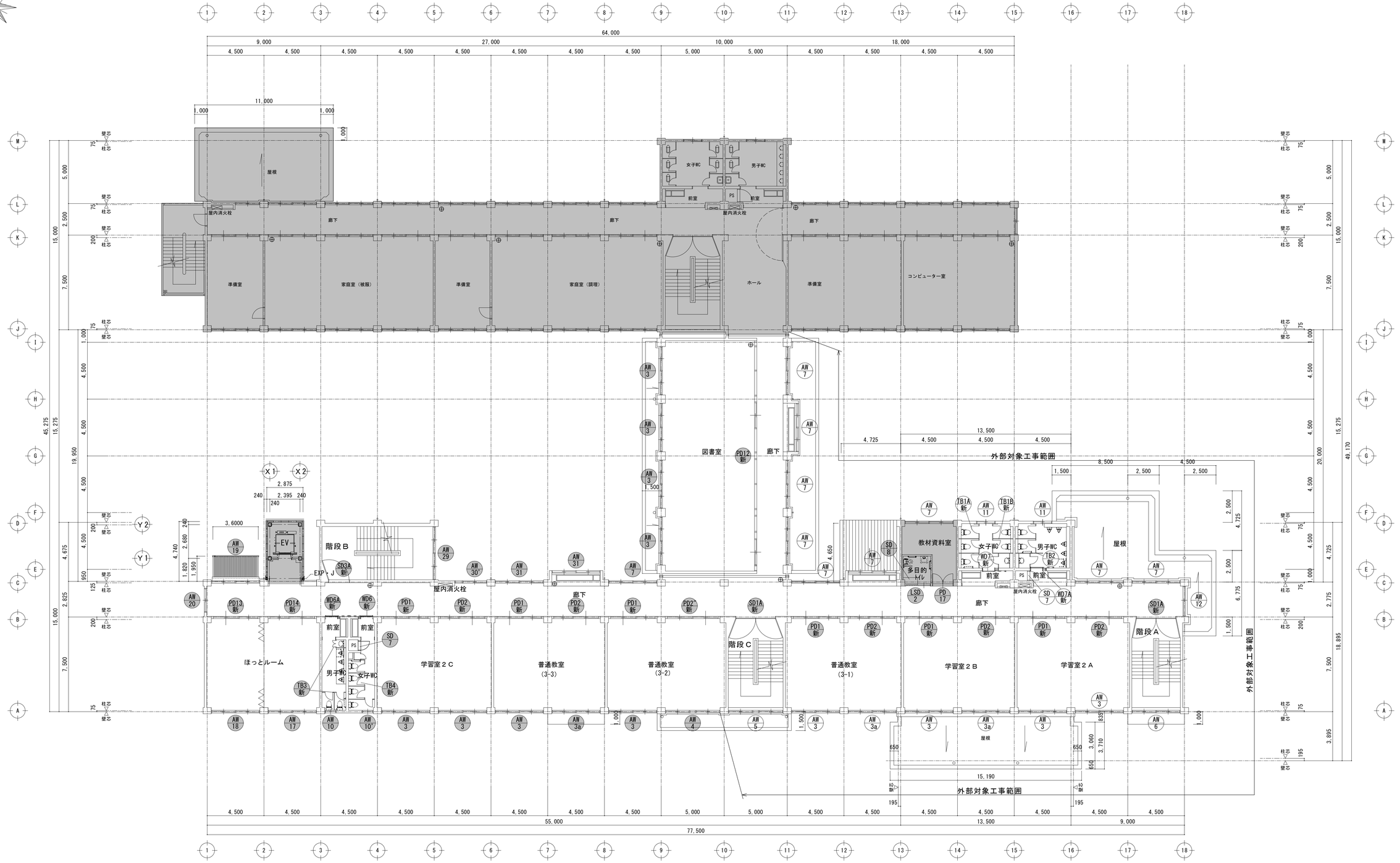


２階建具配置図（改修前）　1/150

は、工事範囲外を示す。

⊕　消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	２階建具配置図（改修前）	A1: 1:150 A3: 1:300						藤川設計株式会社	A－６１
★	★	★	★	★	★	★	★	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	

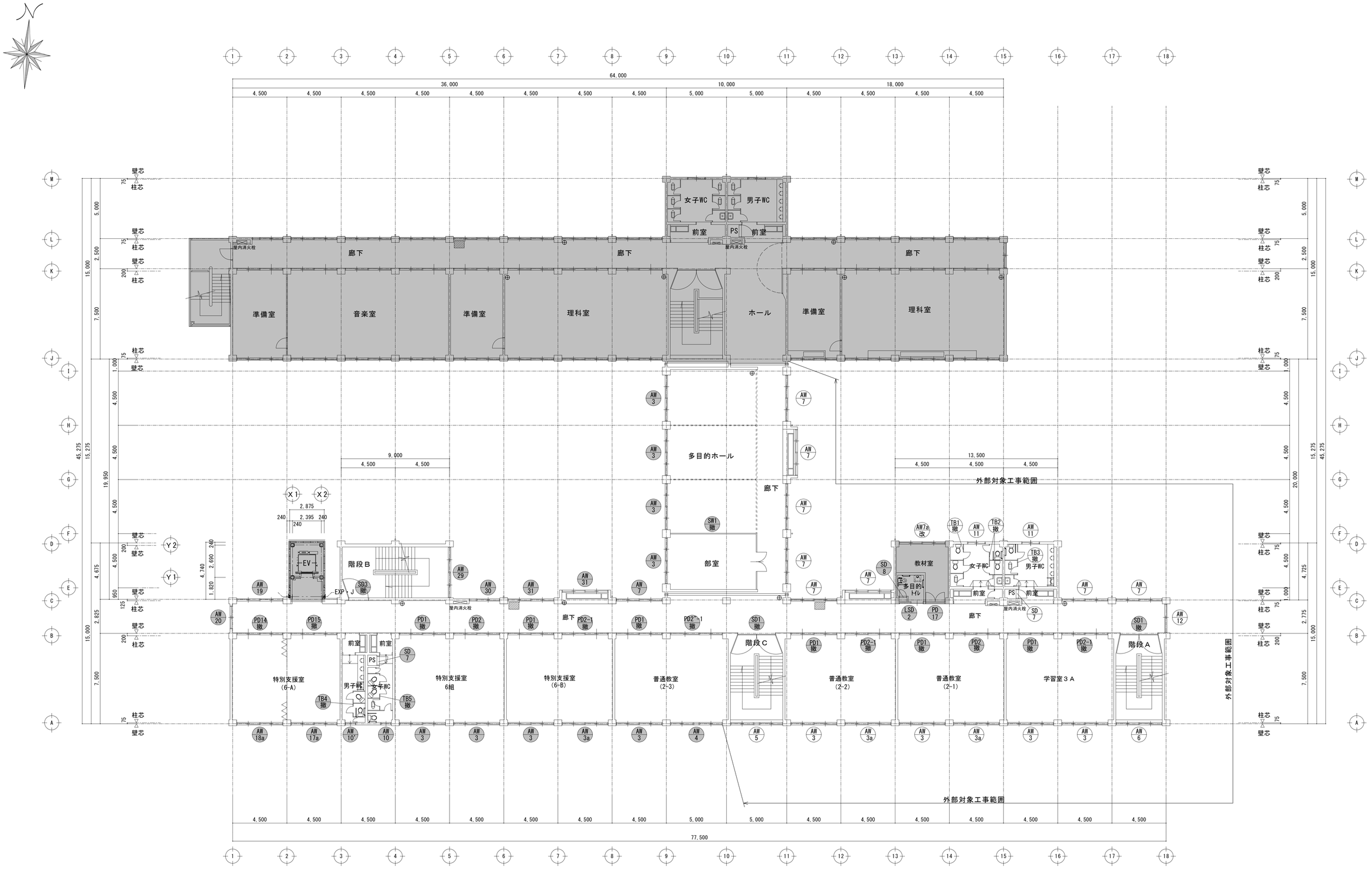


２階建具配置図（改修後）　1／150

は、工事範囲外を示す。

⊕　消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事） ★	２階建具配置図（改修後） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－６２

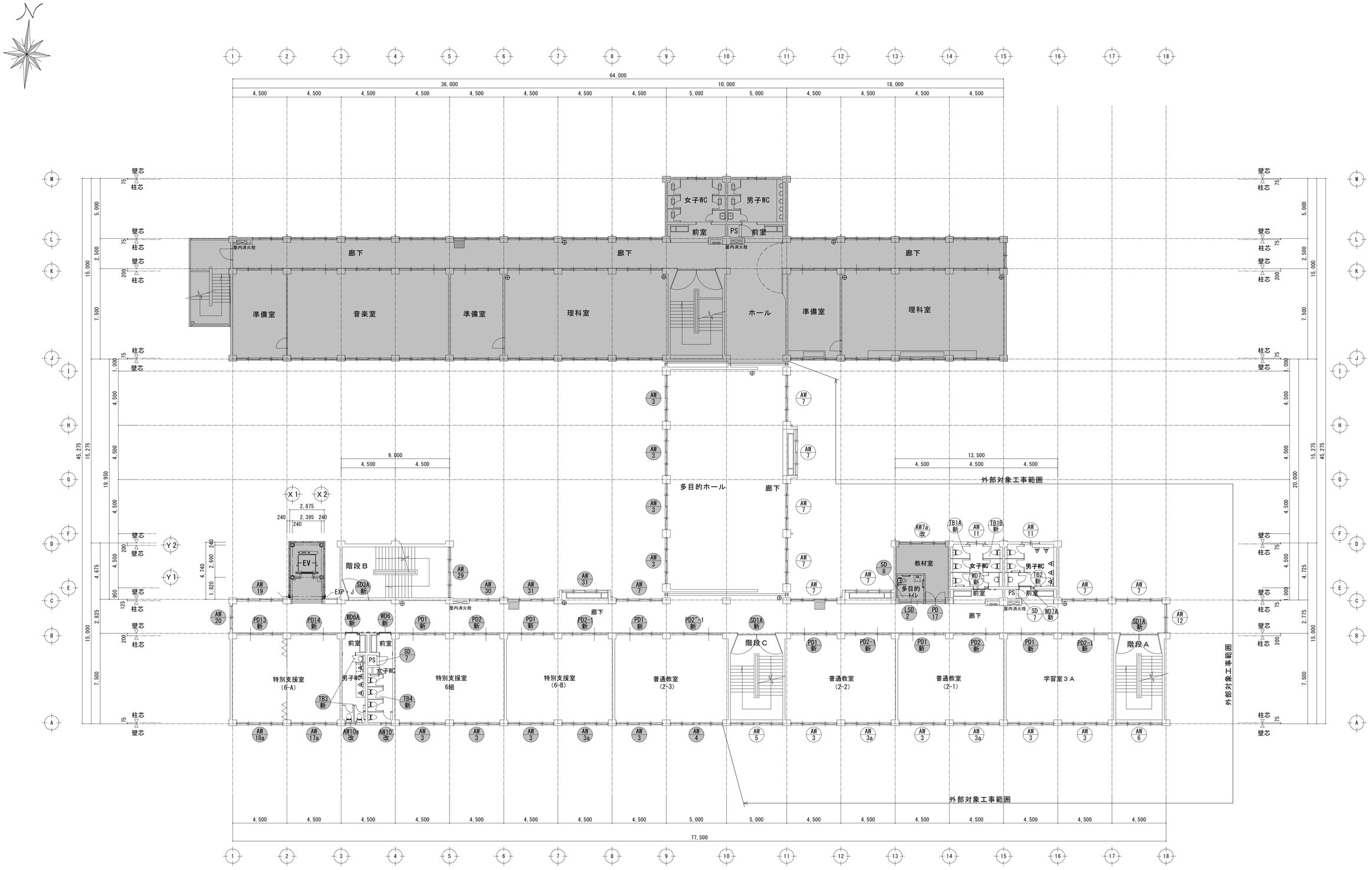


３階建具配置図（改修前）　1/150

[既設のまま]
救助袋　斜降式　（アンカー及び地上用固定アンカー共）
⊕　消火器ABC10型

は、工事範囲外を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事） ★	３階建具配置図（改修前） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－６３

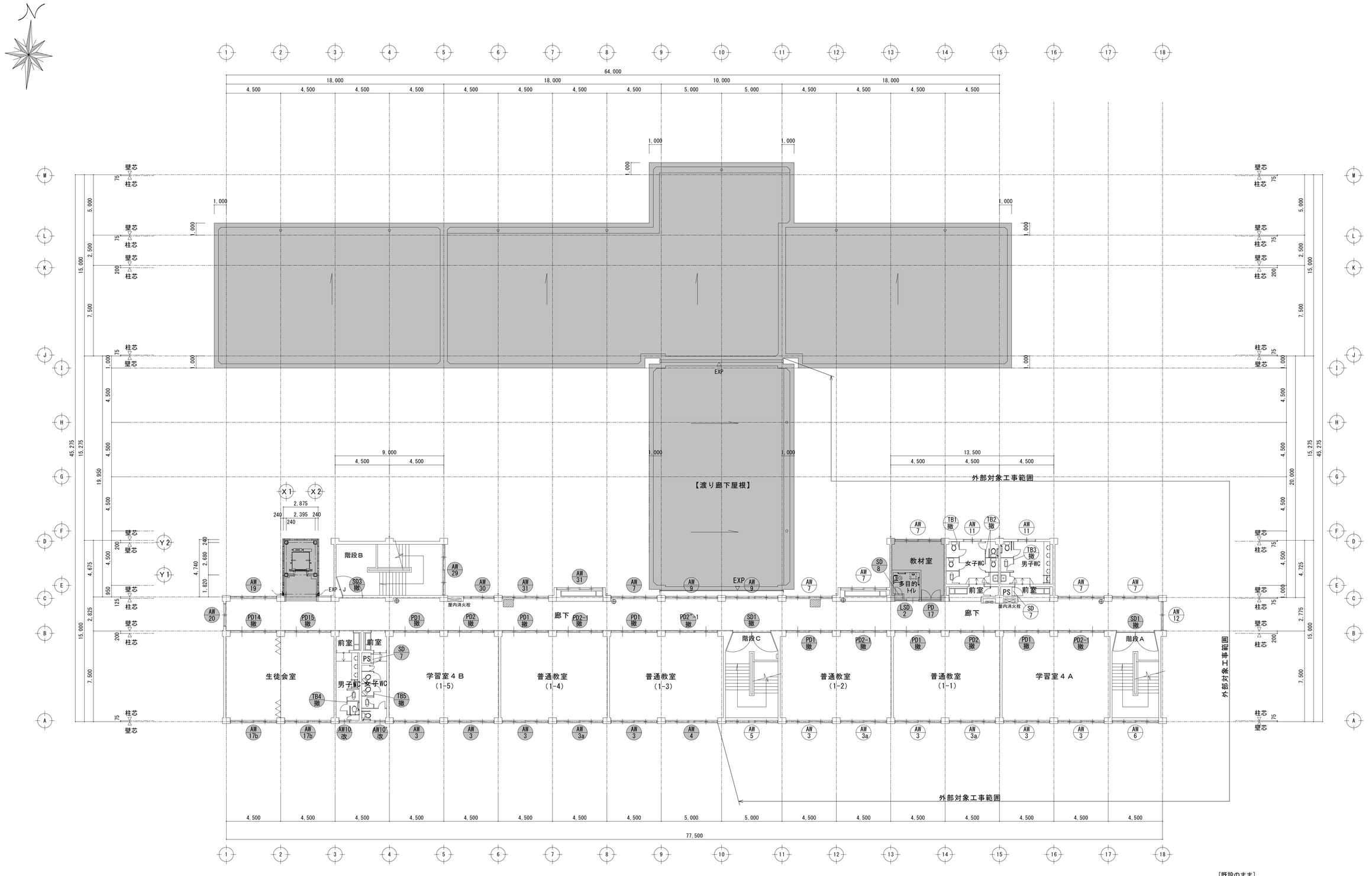


３階建具配置図（改修後）　1/150

は、工事範囲外を示す。

［既設のまま］
救助袋　斜降式　（アンカー及び地上用固定アンカー共）
※　取外し、再取付
⊕　消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事） ★	３階建具配置図（改修後） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－６４

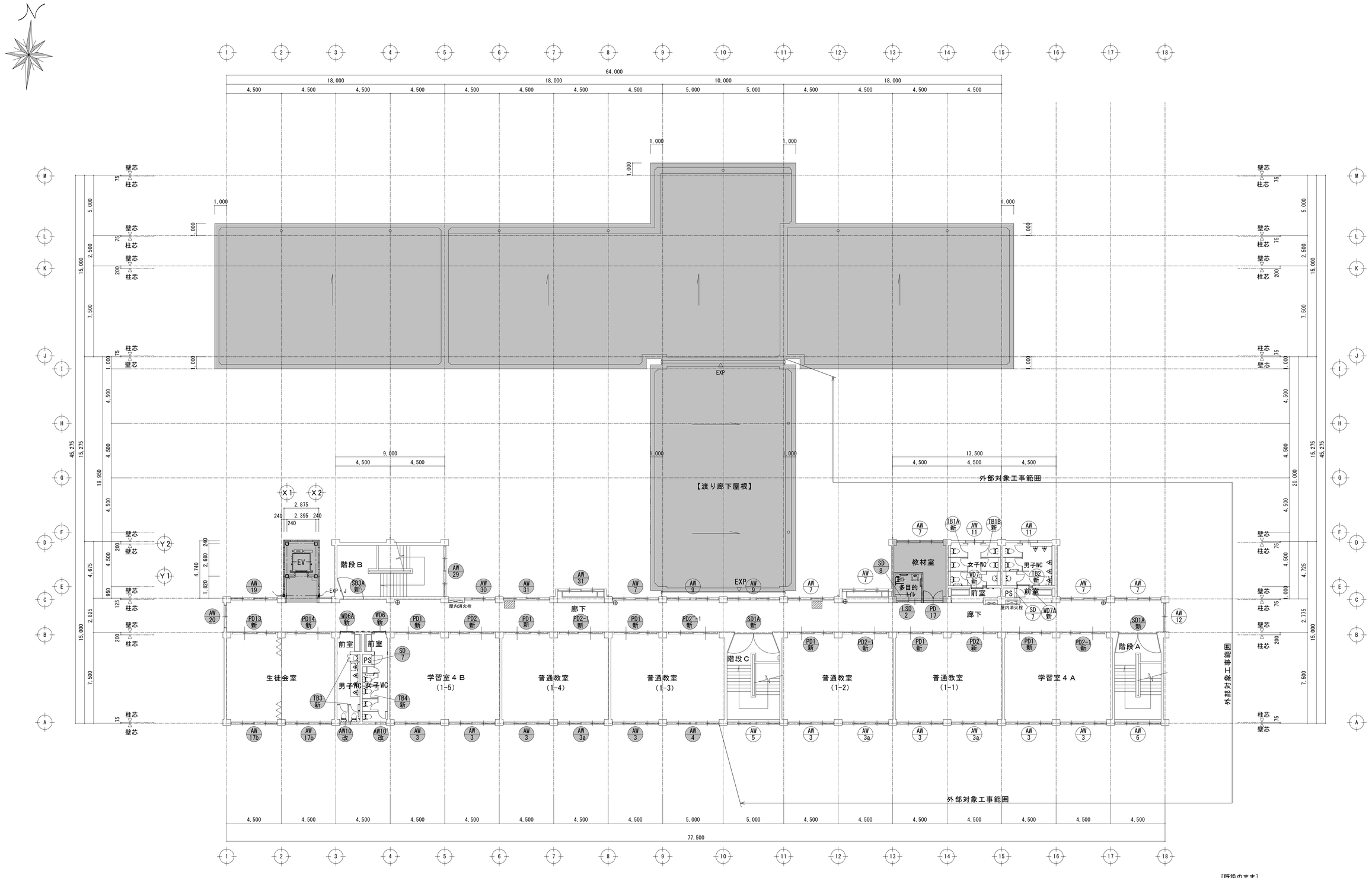


４階建具配置図（改修前）　1/150

は、工事範囲外を示す。

［既設のまま］
救助袋　斜降式　（アンカー及び地上用固定アンカー共）
消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	４階建具配置図（改修前）	A1: 1:150 A3: 1:300						藤川設計株式会社	A-65
★	★	★	★	★	★	★	★	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	



４階建具配置図（改修後）　1/150

は、工事範囲外を示す。

［既設のまま］
救助袋　斜降式　（アンカー及び地上用固定アンカー共）
※　取外し、再取付
⊕　消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	４階建具配置図（改修後）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－６６

符号	名称	AW 1 アルミ製横間付引違い窓		AW1a 改 アルミ製横間付引違い窓		AW1b 改 アルミ製横間付引違い窓		AW 1c アルミ製横間付引違い窓		AW2 改 アルミ製横間付引違い窓		AW 3 アルミ製横間付引違い窓		AW 3a アルミ製横間付引違い窓	
工事内容		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		同左		同左		同左		同左		同左		同左	
姿図		1,855 70 1,855 800 1,100 100		1,855 70 1,855 アルミﾊﾟﾈﾙt=3.0 800 1,100 100		1,855 70 1,855 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0 800 1,100 100		1,855 70 1,855 250 5060 300 6050 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0 300 40 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0 800 1,100 100		1,855 70 680 415 680 40 40 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0 撤去新設 FIX FIX 800 1,100 100		1,855 70 1,855 ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0 透明ｶﾞﾗｽt=3.0 透明ｶﾞﾗｽt=3.0 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0 図書室のみ 800 450 100 1,450		1,855 70 1,855 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0 5060 300 ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0 透明ｶﾞﾗｽt=3.0 300 40 800 450 100 1,450	
位置	数量	保健室、印刷室、放送室	3	かがやきルーム	1	第２相談室	1	第３相談室	1	校長室	1	学習室、普通教室、特別支援室(6組、6-B) 図書室、多目的ホール、都室	12	2階学習室B，普通教室3-1，3-3 普通教室2-1，2-2，特別支援室6-B 普通教室1-1，1-2，1-4	6
硝子	見込	上：スリガラスt=3.0、下：透明ガラスt=3.0	70	上：スリガラスt=3.0、下：透明ガラスt=3.0	70	上：スリガラスt=3.0、下：透明ガラスt=3.0	70	上：スリガラスt=3.0、下：透明ガラスt=3.0	70	上：スリガラスt=3.0、下：透明ガラスt=3.0	70	上：スリガラスt=3.0、下：透明ガラスt=3.0	70	姿図による	70
塗装・仕上		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ	
金物															
備考															

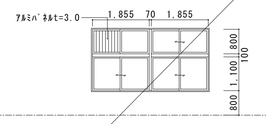
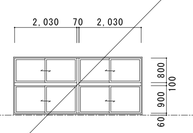
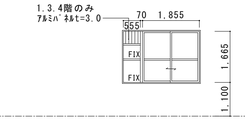
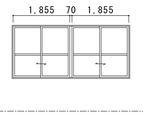
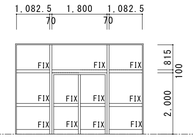
符号	名称	AW 4 アルミ製横間付引違い窓		AW 5 アルミ製横間付片引き窓		AW 6 アルミ製横間付片引き窓		AW 7 アルミ製引違い窓		AW7a 改 アルミ製引違い窓		AW7b 改 アルミ製引違い窓		AW 8 アルミ製引違い窓	
工事内容		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		同左		同左		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		同左		同左		同左	
姿図		ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0 1,855 430 1,855 5060 300 70 70 ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0 透明ｶﾞﾗｽt=3.0 透明ｶﾞﾗｽt=3.0 FIX FIX FIX 800 450 100 1,450		1,855 430 1,855 70 70 FIX FIX 60 900 100 800		1,855 70 1,855 60 900 100 800		1,855 70 1,855 1,100 1,665		1,855 70 1,855 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0 W850 x H860撤去新設 1,100 1,665		1,855 70 1,855 903 ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0撤去 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0 新設 945 1,100 1,665		1,855 70 1,855 1,100 1,575	
位置	数量	普通教室(3-2、2-3、1-3)	3	階段Ｃ	3	階段Ａ	3	廊下、昇降口、教材資料室、教材室(2.4F)	24	教材室(3F)	1	昇降口	1	湯沸室	1
硝子	見込	姿図による	70	網入磨ガラスt=6.8	70	網入磨ガラスt=6.8	70	透明ガラスt=3.0	70	透明ガラスt=3.0	70	透明ガラスt=3.0	70	型ガラスt=4.0	70
塗装・仕上		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ	
金物															
備考															

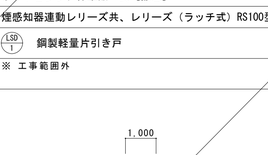
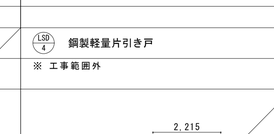
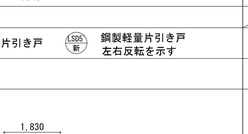
符号	名称	AW 9 アルミ製引違い窓		AW10 改 アルミ製ﾆｺﾘ出し窓 AW10' 改 アルミ製ﾆｺﾘ出し窓 左右反転を示す		AW10a 改 アルミ製引違窓		AW 11 アルミ製ガラリ付引違い窓		AW 12 アルミ製引違い窓		AW 13 アルミ製ガラリ付引違い窓		AW 14 アルミ製横間付引違い窓	
工事内容		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		同左		同左		同左		同左		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		同左	
姿図		1,855 570 1,855 FIX FIX 1,100 1,665		800 800 70 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0 撤去新設 FIX 850 500 415 100 100		800 800 70 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0 撤去新設 FIX アルミ製面格子付 850 1,100 100 800 アルミ製面格子 850 1,100		1,800 ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ (ｽﾃﾝﾚｽﾒｯｼｭ付) 1,150 900 315 100		2,280 1,100 1,655		1,300 1,150 900 365 100		1,200 1,100 900 665 100	
位置	数量	廊下(4F)	2	男子WC(西側)、女子WC(西側)	3，4	男子WC(西側3F)	1	男子WC(東側)、女子WC(東側)	6	廊下	3	職員女子WC	1	職員女子更衣室	2
硝子	見込	透明ガラスt=3.0	70	型ガラスt=4.0	70	型ガラスt=4.0	70	型ガラスt=4.0	70	透明ガラスt=3.0	70	上：スリガラスt=3.0、下：型ガラスt=4.0	70	型ガラスt=4.0	70
塗装・仕上		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ	
金物										クレセント、アルミ水切り、アルミ額縁		クレセント、アルミ水切り、アルミ額縁			
備考															

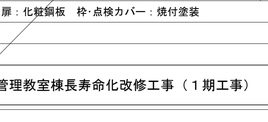
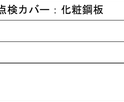
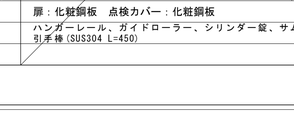
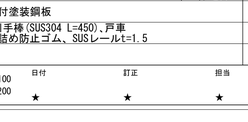
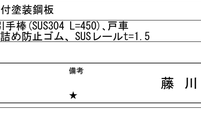
符号	名称	AW 15 アルミ製横間付引違い窓 AW 15' 左右反転を示す		AW16 改 アルミ製横間付引違い窓		AW 17 アルミ製横間付引違い窓 AW 18 アルミ製横間付引違い窓 左右反転を示す		AW 17a アルミ製横間付引違い窓 AW 18a アルミ製横間付引違い窓 左右反転を示す		AW 17b アルミ製横間付引違い窓		AW 19 アルミ製引違い窓		AW 20 アルミ製引違い窓	
工事内容		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		同左 ※レバーハンドルシリンダー錠マスターキー対応に取替		同左		同左				同左		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）	
姿図		1,855 70 1,855 透明ｶﾞﾗｽt=3.0 透明ｶﾞﾗｽt=3.0 765 100 1,900 1,665 1,100 透明ｶﾞﾗｽt=5.0 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0		1,855 680 415 680 70 40 40 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0 透明ｶﾞﾗｽt=3.0 FIX FIX 800 1,100 100 800 透明ｶﾞﾗｽt=5.0 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0		1,855 70 1,855 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0 透明ｶﾞﾗｽt=3.0 透明ｶﾞﾗｽt=3.0 800 450 100 1,450		1,855 70 1,855 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0 5060 300 ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0 300 40 透明ｶﾞﾗｽt=3.0 透明ｶﾞﾗｽt=3.0 800 450 100 1,450		1,855 70 1,855 ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0 透明ｶﾞﾗｽt=3.0 透明ｶﾞﾗｽt=3.0 800 450 100 1,450		1,855 70 1,855 1,100 1,665		1,800 1,100 1,665	
位置	数量	昇降口	1，1	保健室	1	ほっとルーム	1，1	特別支援室(6-A)	1，1	生徒会室	2	廊下	3	廊下	3
硝子	見込	姿図による	70	上：スリガラスt=3.0、下：姿図による	70	姿図による	70	姿図による	70	姿図による	70	網入磨ガラスt=6.8	70	網入磨ガラスt=6.8	70
塗装・仕上		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ	
金物				握玉シリンダー錠撤去								クレセント、アルミ水切り、アルミ額縁			
備考															

符号	名称	AW 21 アルミ製横間付引違い窓		AW 22 アルミ製横間付引違い窓		AW23 改 アルミ製横間付引違い窓		AW24 改 アルミ製横間付引違い窓 AW24' 改 アルミ製横間付引違い窓 左右反転を示す		AW 25 アルミ製片開き窓		AW26 改 アルミ製袖付引違い窓		AW 27 アルミ製引違い窓	
工事内容		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		同左		同左		同左		同左		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		同左	
工事内容 姿図		1,855 70 1,855 800 1,100 100 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0		1,865 70 1,865 1,100 1,100 100 800		595 595 595 1,865 40 40 70 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0 撤去新設 FIX FIX 1,100 1,100 100 800		540 540 540 40 40 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0 撤去新設 FIX FIX 1,100 100 1,900 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0		600 1,100 1,200		325 955 70 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0 撤去新設 1,055 1,390		1,930 800 1,150	
位置	数量	配膳室	1	職員室	2	職員室	1	職員室	2	職員男子更衣室	3	職員男子WC	1	第１相談室	1
硝子	見込	上：網入型ガラスt=6.8、下：網入磨ガラスt=6.8	70	上：スリガラスt=3.0、下：透明ガラスt=3.0	70	上：スリガラスt=3.0、下：透明ガラスt=3.0	70	上：スリガラスt=3.0、下：透明ガラスt=3.0	70	網入型ガラスt=6.8	70	強化型ガラスt=4.0	70	強化透明ガラスt=4.0	70
塗装・仕上		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ クレセント、アルミ水切り、アルミ額縁、アルミアングル ステンレス溶摺		アルマイト仕上げ オペレーターハンドル、アルミアングル		アルマイト仕上げ クレセント、アルミ水切り、アルミ額縁		アルマイト仕上げ クレセント、アルミ水切り、アルミ額縁	
金物															
備考															

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	建具表１	A1：1/100 A3：1/200	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録 222551 田中 富士夫	A－67

符号	名称	AR 28 アルミ製欄間付引違い窓		AR 29 アルミ製欄間付引違い窓		AR 30 アルミ製袖付引違い窓		AR 31 アルミ製引違い窓		AR 32 アルミ製ＦＩＸ窓			
工事内容		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		同左		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		同左		※ ガラス周囲両面シーリング打替（SR-1）			
姿図													
位置	数量	配膳室	1	階段Ｂ	3	廊下	1，3	廊下	8	職員玄関	1		
硝子	見込	上：スリガラスt=3.0、下：透明ガラスt=3.0	70	網入磨ガラスt=6.8	70	網入磨ガラスt=6.8	70	網入磨ガラスt=6.8	70	強化透明ガラスt=4.0	70		
塗装・仕上		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ			
金物		クレセント、アルミ水切り、アルミ額縁		クレセント、アルミ水切り、アルミ額縁		クレセント、アルミ水切り、アルミ額縁		クレセント、アルミ水切り、アルミ額縁		アルミ額縁			
備考													

符号	名称	AD1 腰 アルミ製欄間･袖付両引分け戸		AD 2 アルミ製欄間･袖付引分け戸		AD 3 アルミ製袖付両開き戸		AD 4 アルミ製欄間･袖付両開き戸		ADS 腰 ADS' アルミ製欄間･袖付両開き戸		AD 6 アルミ製引分け戸		AD 7 アルミ製欄間付片引き戸	
工事内容		※ ハッチング部両引分戸撤去 ガイドレールボックス共 ※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1） ※ 自動ドア用錠及び二重錠マスターキー対応に取替		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1） ※ 本締錠・シリンダー錠マスターキー対応に取替		同左		※ 両開戸撤去(フロアーヒンジ共) ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		※ 工事範囲外		※ 工事範囲外	
姿図															
位置	数量	職員玄関	1	昇降口１	1	昇降口３	1	廊下	1	昇降口１	2，1	廊下	1	廊下	1
硝子	見込	姿図による	100	姿図による	100	網入磨ガラスt=6.8	100	上：透明ガラスt=5.0、下：網入磨ガラスt=6.8	100	上：透明ガラスt=5.0、下：網入磨ガラスt=6.8	100	網入磨ガラスt=6.8	70	強化透明ガラスt=4.0	100
塗装・仕上		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ	
金物		ハンガーレール、ガイドレール、引戸ドアクローザー、棒引き手 自動ドア用錠及び二重錠 ［撤去］													
備考															

符号	名称	AD 8 アルミ製袖引違い窓付引違い戸		AG 1 アルミ製ガラリ		AG 2 アルミ製ガラリ		SS1 腰 鋼製防火シャッター（煙感知器連動）		SD1 腰 鋼製潜戸付防火戸		SD2 腰 鋼製潜戸付防火戸		SD3 腰 鋼製潜戸付防火戸	
工事内容		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1） ※ シリンダー錠マスターキー対応に取替		※ 既設のまま		※ 工事範囲外		※ 防火シャッター撤去（単相100対応品）		※ 鋼製潜戸付防火戸［撤去枠共］		※ 鋼製潜戸付防火戸［撤去枠共］		※ 鋼製潜戸付防火戸［撤去枠共］	
姿図															
位置	数量	昇降口２	1	スタジオ、前室	3	ＥＶシャフト	1	階段Ｃ	1	階段Ａ、Ｃ	6	廊下	1	階段Ｂ	4
硝子	見込	強化透明ガラスt=4.0	70		70		70				40		60		40
塗装・仕上		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		焼付塗装		SOP塗装		SOP塗		SOP塗	
金物								マグサ、座板、ガイドレール、手動開閉器［撤去］		オートヒンジ、標準品一式［撤去］		オートヒンジ、標準品一式［撤去］		オートヒンジ、標準品一式［撤去］	
備考										煙感知器連動レリーズ共、レリーズ（ラッチ式）RS100型［撤去］		煙感知器連動レリーズ共、レリーズ（ラッチ式）RS100型［撤去］		煙感知器連動レリーズ共、レリーズ（ラッチ式）RS100型［撤去］	

符号	名称	SD4 腰 鋼製防火戸		SD5 改 SD5A 改 鋼製片開きフラッシュ戸（防火設備、遮煙性能付）		SD6 腰 鋼製片開きフラッシュ戸		SD 7 鋼製片開きフラッシュ戸		SD 8 鋼製片開きフラッシュ戸		SW1 腰 スライディングウォール	
工事内容		※ 鋼製潜戸付防火戸［撤去枠共］		※ 扉枠共SOP塗替		※ SD-6建具［撤去枠共］		※ SD-7建具、枠共SOP塗替		※ 工事範囲外		※ 建具、ガイドレール共撤去	
姿図													
位置	数量	階段Ａ	1	物置	3	職員女子WC、~~女子WC(西側)~~	1	男子WC(東側)、~~女子WC(西側)~~	3	多目的トイレ	3	部室	1
硝子	見込		40		40		40		40			強化透明ガラスt=4.0	
塗装・仕上		SOP塗		SOP塗		SOP塗		SOP塗		EP-G塗		化粧鋼板、一部ビニールクロス貼	
金物		オートヒンジ、標準品一式［撤去］		握玉シリンダー錠［撤去］ レバーハンドルシリンダー錠マスターキー対応［新設］		蝶番、シリンダー本締錠、鋼製額縁 ［撤去］				蝶番、平面ハンドル錠錠		ハンガーレール、ケースハンドル、蝶番、丸落し	
備考		煙感知器連動レリーズ共、レリーズ（ラッチ式）RS100型［撤去］											

符号	名称	LSD 1 鋼製軽量片引き戸		LSD 2 鋼製軽量片引き戸		LSD 3 鋼製軽量片引き戸		LSD 4 鋼製軽量片引き戸		LSD5 新 鋼製軽量片引き戸 LSD6 新 鋼製軽量片引き戸 左右反転を示す		LSD7 新 鋼製軽量片引き戸 LSD7' 新 鋼製軽量片引き戸 左右反転を示す		
工事内容		※ 工事範囲外		※ 工事範囲外		※ 工事範囲外		※ 工事範囲外							
姿図														
位置	数量	多目的トイレ	1	多目的トイレ	3	配膳室	2	第１相談室	1	職員便所	1，1	生徒用便所	3、3		
硝子	見込	強化型ガラスt=4.0	40(扉)	強化型ガラスt=4.0	40(扉)	強化型ガラスt=4.0	80 40(扉)	強化型ガラスt=4.0	130	強化型ガラスt=4.0	扉:40 枠:200	強化型ガラスt=4.0	扉:40 枠:315		
塗装・仕上		扉：化粧鋼板　枠･点検カバー：焼付塗装		扉：化粧鋼板　枠･点検カバー：焼付塗装		扉：化粧鋼板　点検カバー：化粧鋼板		扉：化粧鋼板　点検カバー：化粧鋼板		化粧鋼板又は焼付塗装鋼板		化粧鋼板又は焼付塗装鋼板			
金物								ハンガーレール、ガイドローラー、シリンダー錠、サムターン 引手棒(SUS304 L=450)		付属金物1式、引手棒(SUS304 L=450)、戸車 戸当りゴム、指詰め防止ゴム、SUSレールt=1.5		付属金物1式、引手棒(SUS304 L=450)、戸車 戸当りゴム、指詰め防止ゴム、SUSレールt=1.5			
備考						姿図は左右反転したものが1つずつ									

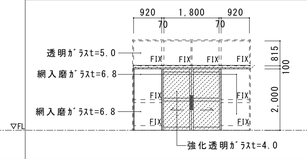
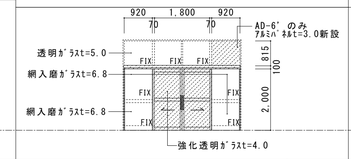
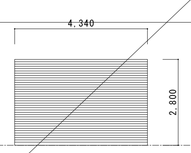
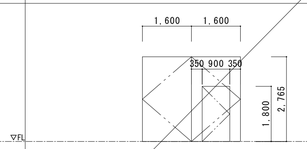
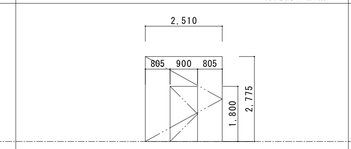
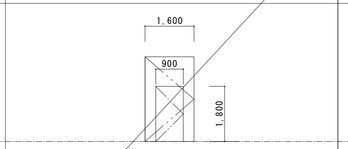
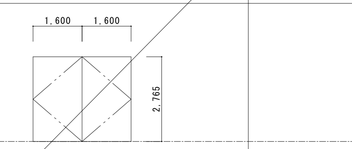
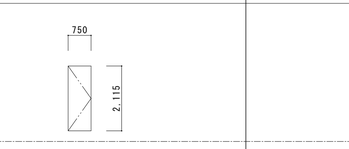
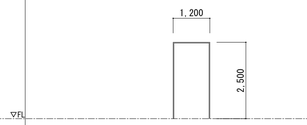
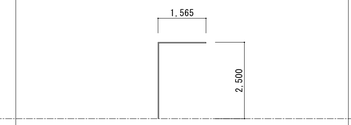
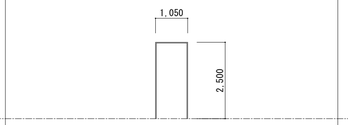
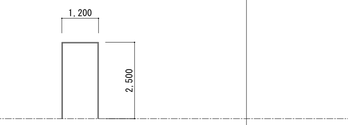
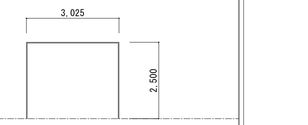
工事名称
★
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）

図面名称
★
建具表２

縮尺 ★ A1：1/100 A3：1/200　日付 ★　訂正 ★　担当 ★　承認 ★　備考 ★

藤 川 設 計 株 式 会 社　一級建築士登録 222551 田中 富士夫

A－６８

符号	名称	AD1A 改 アルミ製欄間･袖付両引分け戸		ADSA ADSA 改 アルミ製欄間･袖付両引分け戸			SS1 新 電動式防火防煙シャッター（特定防火設備 ※遮煙機能付）			
工事内容		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1） ※ 両引分戸［新設］		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1） ※ 両引分戸［新設］			※ 新設（単相100対応品）			
姿 図										
位置	数量	職員玄関	1	昇降口１	2, 1		階段Ｃ	1		
硝子	見込	姿図による	40	姿図による	40					
塗装・仕上		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ			スラットスチールt=1.6 焼付塗装			
金 物		標準品一式、SUSﾚｰﾙ、戸車、SUS棒引手（L=450）、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠		標準品一式、SUSﾚｰﾙ、戸車、SUS棒引手（L=450）、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠			標準金物1式、電動開閉装置、SUS座板、SUSレール、SUSまぐさ			
備 考		カバー工法にて既設建具に外付		カバー工法にて既設建具に外付			煙感知器連動			
符号	名称	SD1A 新 鋼製潜戸付防火戸（特定防火設備 ※遮煙機能付）		SD2A 新 鋼製潜戸付防火戸（特定防火設備）		SD3A 新 鋼製潜戸付防火戸（特定防火設備 ※遮煙機能付）	SD4A 新 鋼製防火戸（特定防火設備 ※遮煙機能付）		SD6A 新 鋼製片開きフラッシュ戸（防火設備、遮煙性能付）	
工事内容		※ 鋼製潜戸付防火戸［新設枠共］（常時開放式・煙感連動）		※ 鋼製潜戸付防火戸［新設枠共］（常時開放式・煙感連動） 特定防火設備		※ 鋼製潜戸付防火戸［新設枠共］（常時開放式・煙感連動）	※ 鋼製潜戸付防火戸［新設枠共］（常時開放式・煙感連動）		※ SD-6A建具［新設枠共］	
姿 図										
位置	数量	階段Ａ、Ｃ	6	廊下	1	階段Ｂ	4	階段Ａ	1	職員女子WC、女子WC前室(西側)	1
硝子	見込		40		60		40		40		40
塗装・仕上		溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 SOP塗装		溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 SOP塗装		溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 SOP塗装	溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 SOP塗装		溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 SOP塗装	
金 物		標準金物一式・自動閉鎖装置・ケースハンドル		標準金物一式・自動閉鎖装置・ケースハンドル		標準金物一式・自動閉鎖装置・ケースハンドル	標準金物一式・自動閉鎖装置・ケースハンドル		標準金物一式・丁番・ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ・ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ	
備 考		潜り戸（下枠なし）		潜り戸（下枠なし）		潜り戸（下枠なし）	潜り戸（下枠なし）		SUS沓摺	
符号	名称	三方枠		二方枠		三方枠	三方枠		三方枠	三方枠
工事内容		［撤去］		［撤去］		［撤去］	［撤去］		［新設］	SOP塗替え
姿 図										
位置	数量	職員便所	1	職員便所	1	職員便所	1	生徒用便所	6			職員便所	1	生徒用便所	6
硝子	見込		220		220		220		230				220		200
塗装・仕上		溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 SOP塗装		溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 SOP塗装		溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 SOP塗装		溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 SOP塗装				SUS製 t=1.5 HL		溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 SOP塗装	
金 物															
備 考															
符号	名称														
工事内容															
姿 図															
位置	数量														
硝子	見込														
塗装・仕上															
金 物															
備 考															
符号	名称														
工事内容															
姿 図															
位置	数量														
硝子	見込														
塗装・仕上															
金 物															
備 考															

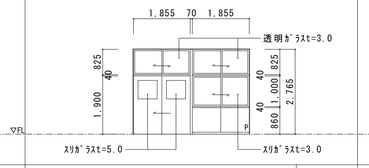
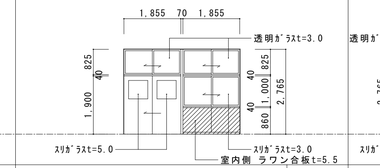
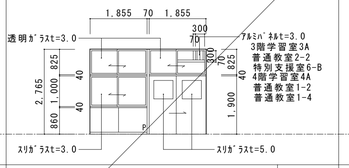
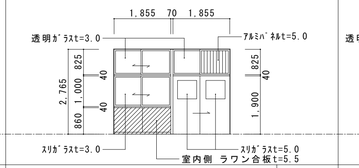
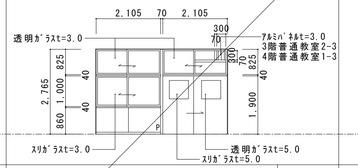
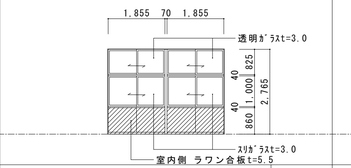
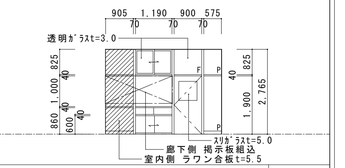
工事名称 ★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）

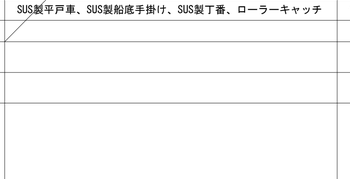
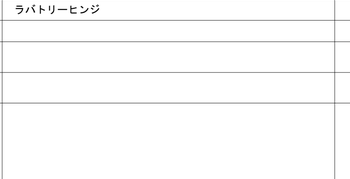
図面名称 ★ 建具表３

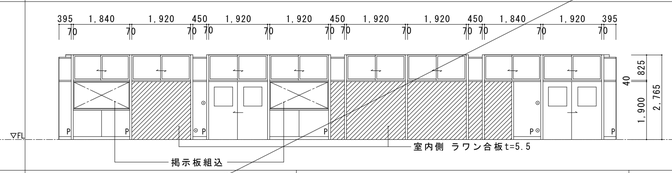
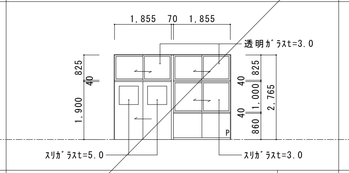
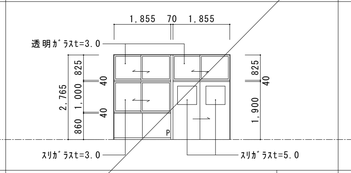
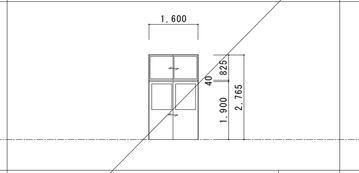
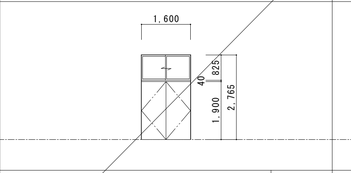
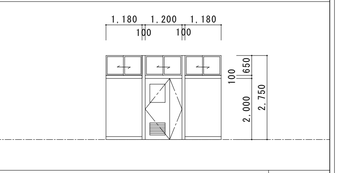
縮尺 ★ A1：1/100 A3：1/200　日付 ★　訂正 ★　担当 ★　承認 ★　備考 ★

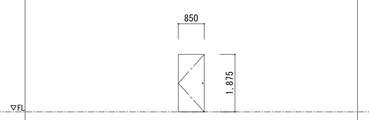
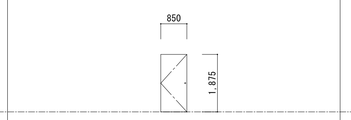
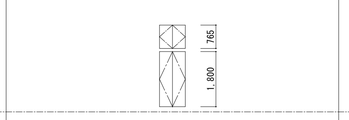
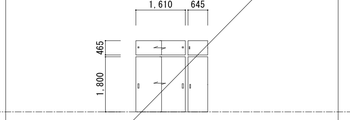
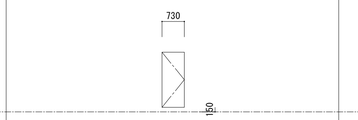
藤 川 設 計 株 式 会 社　一級建築士登録 222551 田中 富士夫

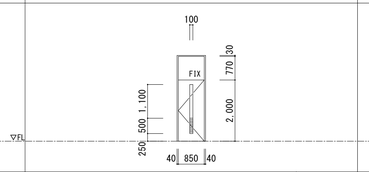
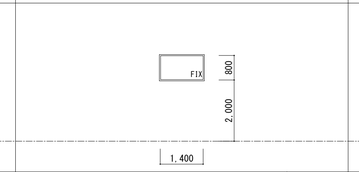
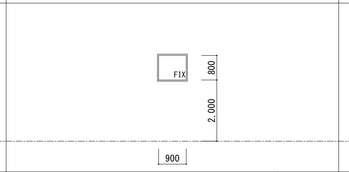
A－６９

符号	名称	PD1 撤 スチールパーテーション		PD1 撤 スチールパーテーション		PD2 撤 PD2-1 撤 スチールパーテーション		PD2 撤 スチールパーテーション		PD2 撤 PD2'-1 撤 スチールパーテーション		PD3 撤 スチールパーテーション		PD4 撤 スチールパーテーション	
工事内容		※ スチールパーテーション撤去（下枠除く3方枠残し）		同左		同左		同左		同左		同左		同左	
姿　図															
位置	数量	印刷室、普通教室、学習室、特別支援室	1	職員室	1	普通教室、学習室、特別支援室	9，6	職員室	1	普通教室	1，2	職員室	1	保健室	1
硝子	見込	姿図による	80	姿図による	80	姿図による	80	姿図による	80	姿図による	80	姿図による	80	姿図による	80
塗装・仕上		スチール		スチール		スチール		スチール		スチール		スチール		スチール	
金　物		シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居		シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居		シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居		シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居		シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居		引手、クレセント、戸車		ドアチェック、シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居、ステンレス沓摺	
備　考						教室後部出入口のみ額1枚透明ｶﾞﾗｽt=5.0 建具記号PT-2-1は、アルミパネルを示す。		建具記号SPT-72は、アルミパネルを示す。		建具記号PT-2'-1は、アルミパネルを示す。					

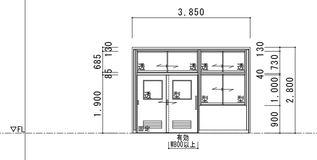
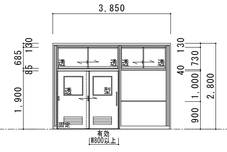
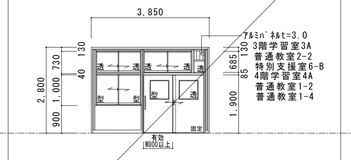
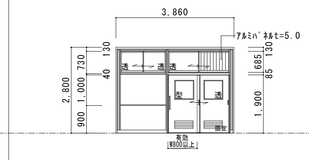
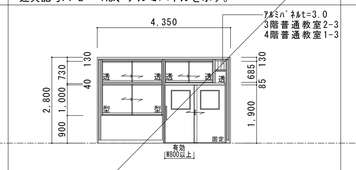
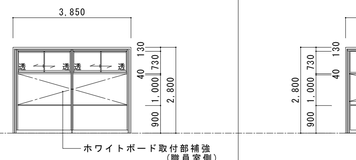
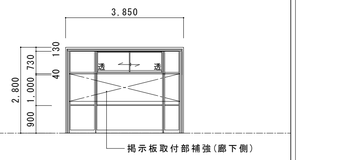
符号	名称	PD5 撤 スチールパーテーション		PD6 撤 スチールパーテーション		PD7 撤 スチールパーテーション		PD8 撤 スチールパーテーション		PD10 撤 スチールパーテーション		PD11 撤 スチールパーテーション		PD12 撤 スチールパーテーション	
工事内容		※ スチールパーテーション撤去（下枠除く3方枠残し）		同左		同左		同左		同左		同左		同左	
姿　図															
位置	数量	保健室	1	かがやきルーム	1	校長室	1	スタジオ前室	1	湯沸室	1	職員女子更衣室	1	湯沸室	1
硝子	見込	姿図による	80	姿図による	80	透明ｶﾞﾗｽt=3.0	80	ー	80	姿図による	80	ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0	80	透明ｶﾞﾗｽt=3.0	80
塗装・仕上		スチール		スチール		スチール		スチール		スチール		スチール		スチール	
金　物		シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居		シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居		ドアチェック、握玉シリンダー錠、フランス落し、引手、クレセント、戸車、アームストッパー		ドアチェック、握玉シリンダー錠、フランス落し、アームストッパー		ドアチェック、握玉シリンダー錠、ステンレス沓摺、引手、クレセント、戸車		ドアチェック、握玉シリンダー錠、ステンレス沓摺		引手、クレセント、戸車	
備　考						室内側パネルはチークOS塗装				アルミガラリ300×600		アルミガラリ300×600			

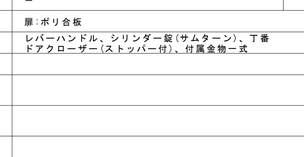
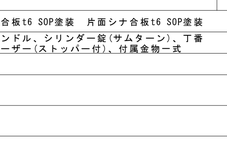
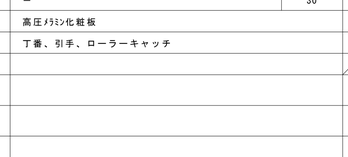
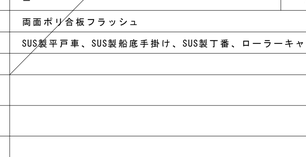
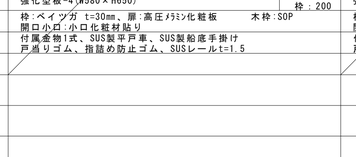
符号	名称	PD13 撤 スチールパーテーション		PD14 撤 スチールパーテーション		PD15 撤 スチールパーテーション		PD 16 スチールパーテーション		PD 17 スチールパーテーション		WPT1 撤 木製パーテーション	
工事内容		※ スチールパーテーション撤去（下枠除く3方枠残し）		同左		同左		※ 工事範囲外		同左		※ 木製パーテーション撤去(枠共)	
姿　図													
位置	数量	図書室	1	ほっとルーム、特別支援室(6-A)、生徒会室	3	ほっとルーム、特別支援室(6-A)、生徒会室	3	第３相談室	1	教材資料室、教材室	3	第２相談室	1
硝子	見込	棚間：透明ｶﾞﾗｽt=3.0　額：ｽﾘｶﾞﾗｽt=5.0	80	姿図による	80	姿図による	80	強化型ｶﾞﾗｽt=4.0	80	強化型ｶﾞﾗｽt=4.0	80	強化型ｶﾞﾗｽt=4.0	100
塗装・仕上		スチール		化粧鋼板		化粧鋼板		化粧鋼板		化粧鋼板		木製	
金　物		シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居		シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居		シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居		両面スチール額縁、シリンダー錠、ステンレスレール 手つめ防止パッキン、戸車、クレセント、他附属金物一式		両面スチール額縁、握玉シリンダー錠、フランス落、ドアチェック 蝶番、ステンレス沓摺、戸車、クレセント、戸当り、他附属金物一式		握玉シリンダー錠、フランス落、ドアチェック、ガラリ 蝶番、ステンレス沓摺、戸車、クレセント、戸当り、他附属金物一式	
備　考		◎印位置＝コンセント取付(4ヶ所)											

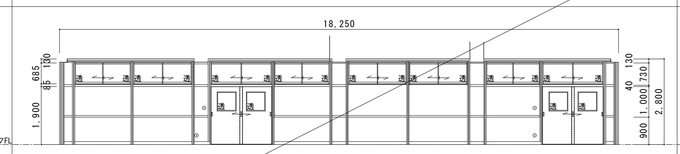
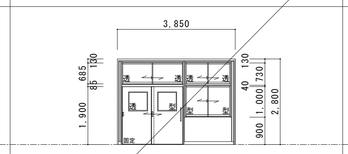
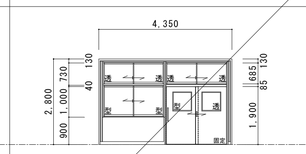
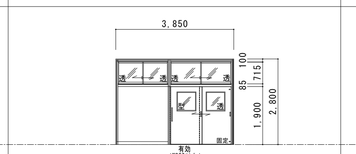
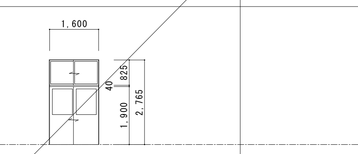
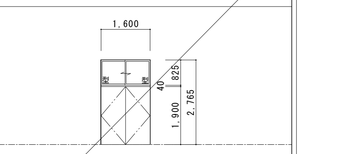
符号	名称	WD1 改 木製フラッシュ片開き戸		WD2 改 木製フラッシュ片開き戸		WD3 撤 木製フラッシュ両開き戸		WD 4 木製フラッシュ片開き戸、引違戸		WD5 撤 木製フラッシュ片開き戸					
工事内容		※ 枠以外撤去		※ 枠以外撤去		同左		※ 工事範囲外		※ 扉、枠共撤去					
姿　図															
位置	数量	校長室	1	スタジオ、放送室	2	保健室	1	第３相談室	1	職員男子WC、職員女子WC	2				
硝子	見込	ー	40	ー	40	ー	30	ー	36	ー	40				
塗装・仕上		無垢練付PU程度　片面シナ合板t6 SOP塗装		有孔シナ合板t6 SOP塗装　片面シナ合板t6 SOP塗装		シナ合板t6 SOP塗装		両面ポリ合板フラッシュ		シナ合板フラッシュ SOP塗装					
金　物		ドアチェック、ピボットヒンジ、握玉シリンダー錠		ドアチェック、ピボットヒンジ、握玉シリンダー錠、木製沓摺、ステンレス沓摺		蝶番、引手、ローラーキャッチ		SUS製平戸車、SUS製船底手掛け、SUS製丁番、ローラーキャッチ		ラバトリーヒンジ					
備　考															

符号	名称	WD6 撤 欄間FIX付き木製フラッシュ片開き戸		WS1 撤 木製FIX窓		WS2 撤 木製FIX窓									
工事内容		※ 建具、枠共撤去		同左		同左									
姿　図															
位置	数量	職員男子更衣室	1	職員男子更衣室	1	職員男子更衣室	1								
硝子	見込	型ガラスt=4.0	40	型ガラスt=4.0	145	型ガラスt=4.0	145								
塗装・仕上		ポリ合板　戸口：米椙SOP塗装		米椙SOP塗装		米椙SOP塗装									
金　物		蝶番、握玉サムターン、本締錠、D.Cストッパー													
備　考		木製ガラリSOP塗装													

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	建具表４	A1：1/100 A3：1/200						藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫
★	★	★	★	★	★	★	★		A－７０

符号	名称	PD1 新 スチールパーテーション	PD1 新 スチールパーテーション	PD2 新 PD2-1 新 スチールパーテーション	PD2 新 スチールパーテーション	PD2 新 PD2'-1 新 スチールパーテーション	PD3 新 スチールパーテーション	PD4 転 スチールパーテーション
工事内容		新設（カバー工法）	同左	同左 建具記号PT-2-1は、アルミパネルを示す。	同左	同左 建具記号PT-2''-1は、アルミパネルを示す。	同左	同左
姿図								
位置	数量	印刷室、普通教室、学習室、特別支援室 1	職員室 1	普通教室、学習室、特別支援室 9、6	職員室 1	普通教室 1、2	職員室 1	保健室 1
硝子	見込	強化透明-4　強化型板-4 80	強化透明-4　強化型板-4 80	強化透明-4　強化型板-4 80	強化透明-4　強化型板-4 80	強化透明-4　強化型板-4 80	強化透明-4 80	強化透明-4 80
塗装・仕上		化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はアルミ製(焼付き塗装)	化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はアルミ製(焼付き塗装)	化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はアルミ製(焼付き塗装)	化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はアルミ製(焼付き塗装)	化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はアルミ製(焼付き塗装)	化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はアルミ製(焼付き塗装)	化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はアルミ製(焼付き塗装)
金物		標準品一式、引棒(SUS L450)、掘込引手、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車、戸当りｺﾞﾑ、指詰め防止ｺﾞﾑ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUSﾚｰﾙt=1.5	標準品一式、引棒(SUS L450)、掘込引手、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車、戸当りｺﾞﾑ、指詰め防止ｺﾞﾑ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUSﾚｰﾙt=1.5	標準品一式、引棒(SUS L450)、掘込引手、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車、戸当りｺﾞﾑ、指詰め防止ｺﾞﾑ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUSﾚｰﾙt=1.5	標準品一式、引棒(SUS L450)、掘込引手、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車、戸当りｺﾞﾑ、指詰め防止ｺﾞﾑ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUSﾚｰﾙt=1.5	標準品一式、引棒(SUS L450)、掘込引手、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車、戸当りｺﾞﾑ、指詰め防止ｺﾞﾑ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUSﾚｰﾙt=1.5	標準品一式、掘込引手、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車	標準品一式、掘込引手、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車
備考		姿図の固定については、簡易固定とする。 アルミガラリ300×600、出入口扉窓600角	姿図の固定については、簡易固定とする。 アルミガラリ300×600、出入口扉窓600角	姿図の固定については、簡易固定とする。	姿図の固定については、簡易固定とする。 アルミガラリ300×600、出入口扉窓600角	姿図の固定については、簡易固定とする。		

符号	名称	PD5 新 スチールパーテーション	PD6 新 スチールパーテーション	PD7 転 スチールパーテーション	PD8 新 スチールパーテーション	PD9 新 スチールパーテーション新設	PD10 新 スチールパーテーション新設（カバー工法）	PD11 転 スチールパーテーション
工事内容		※ スチールパーテーション新設（カバー工法）	同左	同左	同左	※ スチールパーテーション新設	※ スチールパーテーション新設（カバー工法）	同左
姿図								
位置	数量	保健室 1	かがやきルーム 1	校長室 1	スタジオ前室 1	職員男子更衣室 1	湯沸室 1	職員女子更衣室 1
硝子	見込	強化透明-4　強化型板-4 80	強化透明-4　強化型板-4 80	強化透明-4　強化型板-4 80	ー 80	強化透明-4　強化型板-4 80	強化型板-4 80	強化透明-4　強化型板-4 80
塗装・仕上		化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はアルミ製(焼付き塗装)	化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はアルミ製(焼付き塗装)	化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はアルミ製(焼付き塗装)	化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はアルミ製(焼付き塗装)	化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はアルミ製(焼付き塗装)	化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はアルミ製(焼付き塗装)	化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はアルミ製(焼付き塗装)
金物		標準品一式、引棒(SUS L450)、掘込引手、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車、戸当りｺﾞﾑ、指詰め防止ｺﾞﾑ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUSﾚｰﾙt=1.5	標準品一式、引棒(SUS L450)、掘込引手、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車、戸当りｺﾞﾑ、指詰め防止ｺﾞﾑ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUSﾚｰﾙt=1.5	標準品一式、引棒(SUS L450)、掘込引手、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車、戸当りｺﾞﾑ、指詰め防止ｺﾞﾑ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUSﾚｰﾙt=1.5	ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ(ｽﾄｯﾊﾟｰ付)、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠	標準品一式、引棒(SUS L450)、掘込引手、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車、戸当りｺﾞﾑ、指詰め防止ｺﾞﾑ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUSﾚｰﾙt=1.5	標準品一式、引棒(SUS L450)、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車、戸当りｺﾞﾑ、指詰め防止ｺﾞﾑ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUSﾚｰﾙt=1.5	標準品一式、引棒(SUS L450)、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車、戸当りｺﾞﾑ、指詰め防止ｺﾞﾑ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUSﾚｰﾙt=1.5
備考		姿図の固定については、簡易固定とする。 アルミガラリ300×600、出入口扉窓600角	姿図の固定については、簡易固定とする。 アルミガラリ300×600、出入口扉窓600角	姿図の固定については、簡易固定とする。 アルミガラリ300×600、出入口扉窓600角		アルミガラリ300×600、出入口扉窓600角	アルミガラリ300×600、出入口扉窓600角	アルミガラリ300×600、出入口扉窓600角

符号	名称	PD12 新 スチールパーテーション	PD13 新 スチールパーテーション	PD14 新 スチールパーテーション	PD15 新 スチールパーテーション	PD 16 スチールパーテーション	PD 17 スチールパーテーション
工事内容		※ スチールパーテーション新設（カバー工法）	同左	同左	※ スチールパーテーション新設	※ 工事範囲外	同左
姿図							
位置	数量	図書室 1	ほっとルーム、特別支援室(6-A)、生徒会室 3	ほっとルーム、特別支援室(6-A)、生徒会室 3	第２相談室 1	第３相談室 1	教材資料室、教材室 3
硝子	見込	強化透明-4　強化型板-4 80	強化透明-4　強化型板-4 80	強化透明-4　強化型板-4 80	強化透明-4　強化型板-4 80	80	強化型板-4 80
塗装・仕上		化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6　※窓障子は鋼板製又はアルミ製(焼付き塗装)	化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はアルミ製(焼付き塗装)	化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はアルミ製(焼付き塗装)	化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はアルミ製(焼付き塗装)		
金物		標準品一式、引棒(SUS L450)、掘込引手、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車、戸当りｺﾞﾑ、指詰め防止ｺﾞﾑ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUSﾚｰﾙt=1.5	標準品一式、引棒(SUS L450)、掘込引手、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車、戸当りｺﾞﾑ、指詰め防止ｺﾞﾑ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUSﾚｰﾙt=1.5	標準品一式、引棒(SUS L450)、掘込引手、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車、戸当りｺﾞﾑ、指詰め防止ｺﾞﾑ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUSﾚｰﾙt=1.5	標準品一式、引棒(SUS L450)、掘込引手、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車、戸当りｺﾞﾑ、指詰め防止ｺﾞﾑ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUSﾚｰﾙt=1.5 姿図の固定については、簡易固定とする。 出入口扉窓600角		
備考		◎印位置＝コンセント、スイッチ取付(4ヶ所)　　姿図の固定については、簡易固定とする。	姿図の固定については、簡易固定とする。	姿図の固定については、簡易固定とする。			

符号	名称	WD1 改 木製フラッシュ片開き戸	WD2 改 木製フラッシュ片開き戸	WD3 新 木製フラッシュ両開き戸	WD 4 木製フラッシュ片開き戸、引違戸	WD5 新 木製フラッシュ片引き戸　WD5A 新 木製フラッシュ片引き戸 左右反転を示す	WD6 新 木製フラッシュ片引き戸　WD6A 新 木製フラッシュ片引き戸 左右反転を示す	WD7 新 木製フラッシュ片引き戸　WD7A 新 木製フラッシュ片引き戸 左右反転を示す
工事内容		※ 枠以外新設 ※ 枠:SOP塗替え	同左	同左	※ 工事範囲外	※ 扉、枠共新設	※ 扉、枠共新設	※ 扉、枠共新設
姿図								
位置	数量	校長室 1	放送室 2	保健室 1	第３相談室 1	職員男子WC、職員女子WC 各1	男子WC、女子WC（西側） 各4	男子WC、女子WC（東側） 各3
硝子	見込	ー 40	ー 40	ー 30	ー 36	強化型板-4(W580×H650) 扉：40 枠：200	強化型板-4（W500xH750） 扉：40 枠：315	強化型板-4（W500xH750） 扉：40 枠：315
塗装・仕上		扉:ポリ合板	有孔シナ合板t6 SOP塗装　片面シナ合板t6 SOP塗装	高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板	両面ポリ合板フラッシュ	枠:ペイツガ t=30mm、扉:高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板　木枠:SOP 開口小口:小口化粧材貼り	枠:ペイツガ t=30mm、扉:高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板　木枠:SOP 開口小口:小口化粧材貼り	枠:ペイツガ t=30mm、扉:高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板　木枠:SOP 開口小口:小口化粧材貼り
金物		レバーハンドル、シリンダー錠(サムターン)、丁番 ドアクローザー(ストッパー付)、付属金物一式	レバーハンドル、シリンダー錠(サムターン)、丁番 ドアクローザー(ストッパー付)、付属金物一式	丁番、引手、ローラーキャッチ	SUS製平戸車、SUS製船底手掛け、SUS製丁番、ローラーキャッチ	付属金物1式、SUS製平戸車、SUS製船底手掛け 戸当りゴム、指詰め防止ゴム、SUSレールt=1.5	付属金物1式、引棒(SUS L450)、戸車 戸当りゴム、指詰め防止ゴム、SUSレールt=1.5	付属金物1式、引棒(SUS L450)、戸車 戸当りゴム、指詰め防止ゴム、SUSレールt=1.5
備考								

符号	名称							
工事内容								
姿図								
位置	数量							
硝子	見込							
塗装・仕上								
金物								
備考								

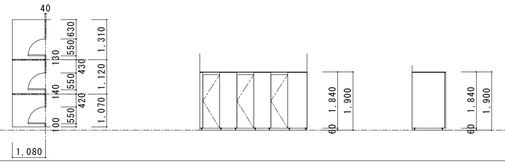
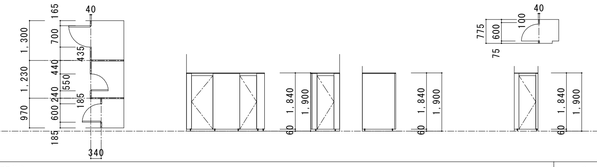
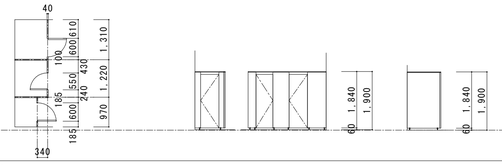
工事名称
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）
★

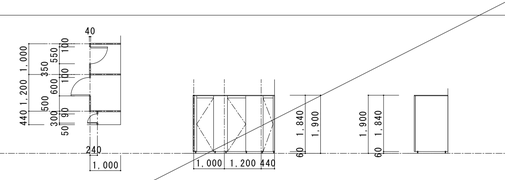
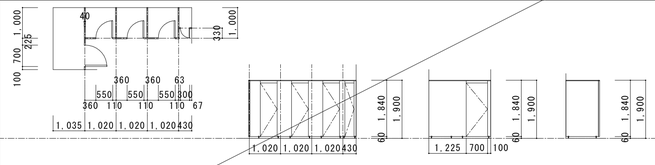
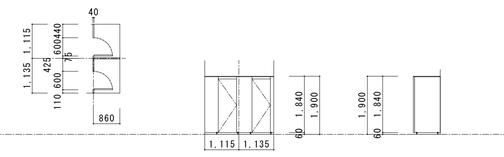
図面名称
建具表５
★

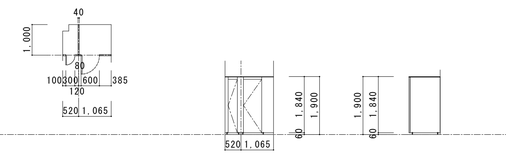
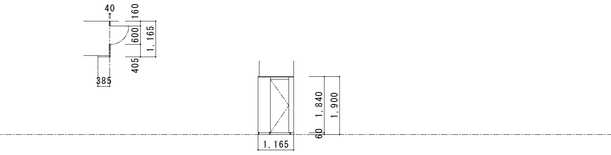
縮尺 A1：1/100 A3：1/200 ★　日付 ★　訂正 ★　担当 ★　承認 ★　備考 ★

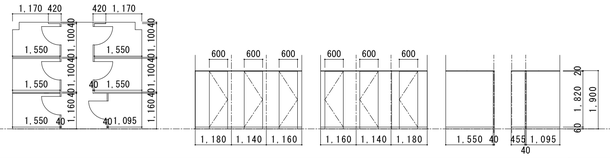
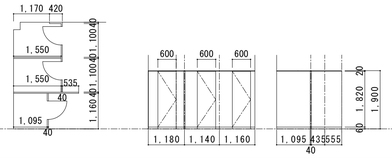
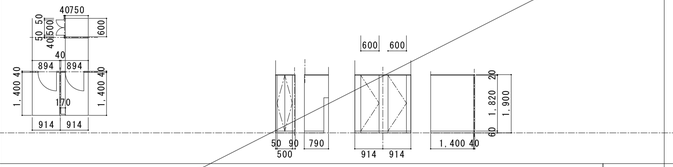
藤川設計株式会社　一級建築士登録　222551　田中　富士夫

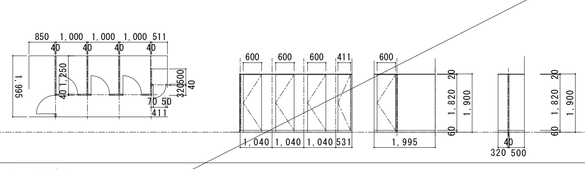
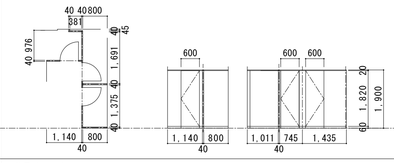
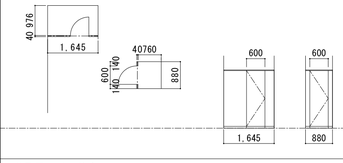
A－７１

符号	名称	TB1 厠 トイレブース		TB2 厠 トイレブース		TB3 厠 トイレブース	
工事内容		※ トイレブース撤去		同左		同左	
姿　図							
位置	数量	女子WC(東側)	3	女子WC(東側)	3	男子WC(東側)	3
硝子	見込	姿図による	40	姿図による	40	姿図による	40
塗装・仕上		高圧メラミン化粧板		高圧メラミン化粧板		高圧メラミン化粧板	
金　物		ステンレス頭ツナギ　SUS304　天端蓋共、ステンレス足金物　SUS304、グレビティーヒンジ　中心吊り、表示付スライドボルト（非常開放装置付）、戸当たり、壁取り合い部壁レールにて取り付け　コの字型　アルミ又はSUS製、ブース下端小口エッジアルミ（水抜き穴付）を取付		ステンレス頭ツナギ　SUS304　天端蓋共、ステンレス足金物　SUS304、グレビティーヒンジ　中心吊り、表示付スライドボルト（非常開放装置付）、戸当たり、壁取り合い部壁レールにて取り付け　コの字型　アルミ又はSUS製、ブース下端小口エッジアルミ（水抜き穴付）を取付		ステンレス頭ツナギ　SUS304　天端蓋共、ステンレス足金物　SUS304、グレビティーヒンジ　中心吊り、表示付スライドボルト（非常開放装置付）、戸当たり、壁取り合い部壁レールにて取り付け　コの字型　アルミ又はSUS製、ブース下端小口エッジアルミ（水抜き穴付）を取付	
備　考				掃除用具入れ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所		掃除用具入れ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所	

符号	名称	TB4 厠 トイレブース		TB5 厠 トイレブース		TB6 厠 トイレブース	
工事内容		※ トイレブース撤去		同左		※ トイレブース撤去	
姿　図							
位置	数量	男子WC(西側)	4	女子WC(西側)	4	職員女子WC	1
硝子	見込	姿図による	40	姿図による	40	姿図による	40
塗装・仕上		高圧メラミン化粧板		高圧メラミン化粧板		高圧メラミン化粧板	
金　物		ステンレス頭ツナギ　SUS304　天端蓋共、ステンレス足金物　SUS304、グレビティーヒンジ　中心吊り、表示付スライドボルト（非常開放装置付）、戸当たり、壁取り合い部壁レールにて取り付け　コの字型　アルミ又はSUS製、ブース下端小口エッジアルミ（水抜き穴付）を取付		ステンレス頭ツナギ　SUS304　天端蓋共、ステンレス足金物　SUS304、グレビティーヒンジ　中心吊り、表示付スライドボルト（非常開放装置付）、戸当たり、壁取り合い部壁レールにて取り付け　コの字型　アルミ又はSUS製、ブース下端小口エッジアルミ（水抜き穴付）を取付		ステンレス頭ツナギ　SUS304　天端蓋共、ステンレス足金物　SUS304、グレビティーヒンジ　中心吊り、表示付スライドボルト（非常開放装置付）、戸当たり、壁取り合い部壁レールにて取り付け　コの字型　アルミ又はSUS製、ブース下端小口エッジアルミ（水抜き穴付）を取付	
備　考		掃除用具入れ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所		掃除用具入れ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所			

符号	名称	TB7 厠 トイレブース		TB8 厠 トイレブース			
工事内容		※ トイレブース撤去		同左			
姿　図							
位置	数量	職員女子WC	1	職員男子WC	1		
硝子	見込	姿図による	40	姿図による	40		
塗装・仕上		高圧メラミン化粧板		高圧メラミン化粧板			
金　物		ステンレス頭ツナギ　SUS304　天端蓋共、ステンレス足金物　SUS304、グレビティーヒンジ　中心吊り、表示付スライドボルト（非常開放装置付）、戸当たり、壁取り合い部壁レールにて取り付け　コの字型　アルミ又はSUS製、ブース下端小口エッジアルミ（水抜き穴付）を取付		ステンレス頭ツナギ　SUS304　天端蓋共、ステンレス足金物　SUS304、グレビティーヒンジ　中心吊り、表示付スライドボルト（非常開放装置付）、戸当たり、壁取り合い部壁レールにて取り付け　コの字型　アルミ又はSUS製、ブース下端小口エッジアルミ（水抜き穴付）を取付			
備　考		掃除用具入れ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所		掃除用具入れ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所			

符号	名称	TB1A 新 TB1B 新 トイレブース		TB2 新 トイレブース		TB3 新 トイレブース	
工事内容		※ トイレブース新設		※ トイレブース新設		※ トイレブース新設	
姿　図							
位置	数量	女子WC(東側)	各3	男子WC(東側)	3	男子WC(西側)	4
硝子	見込		40		40		40
塗装・仕上		高圧メラミン化粧板		高圧メラミン化粧板		高圧メラミン化粧板	
金　物		付属金物一式、SUS巾木、表示付ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ、中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、戸当り帽子掛け ﾌﾞｰｽ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工、ﾄﾞｱ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工		付属金物一式、SUS巾木、表示付ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ、中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、戸当り帽子掛け ﾌﾞｰｽ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工、ﾄﾞｱ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工		付属金物一式、SUS巾木、表示付ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ、中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、戸当り帽子掛け ﾌﾞｰｽ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工、ﾄﾞｱ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工	
備　考		ＳＫ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所　　非常開放装置付		ＳＫ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所　　非常開放装置付		掃除用具入れ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所　非常開放装置付	

符号	名称	TB4 新 トイレブース		TB5 新 トイレブース		TB6 新 TB7 新 トイレブース	
工事内容		※ トイレブース新設		※ トイレブース新設		※ トイレブース新設	
姿　図							
位置	数量	女子WC(西側)	4	職員女子WC	1	職員男子WC　前室	各1
硝子	見込		40	姿図による	40	姿図による	40
塗装・仕上		高圧メラミン化粧板		高圧メラミン化粧板		高圧メラミン化粧板	
金　物		付属金物一式、SUS巾木、表示付ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ、中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、戸当り帽子掛け ﾌﾞｰｽ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工、ﾄﾞｱ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工		付属金物一式、SUS巾木、表示付ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ、中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、戸当り帽子掛け ﾌﾞｰｽ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工、ﾄﾞｱ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工		付属金物一式、SUS巾木、表示付ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ、中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、戸当り帽子掛け ﾌﾞｰｽ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工、ﾄﾞｱ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工	
備　考		掃除用具入れ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所　非常開放装置付		ＳＫ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所　　非常開放装置付		ＳＫ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所　非常開放装置付	

工事名称
★
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）

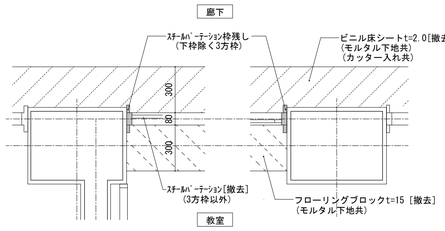
図面名称
★
建具表６

縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
A1：1/100 A3：1/200	★	★	★	★	★

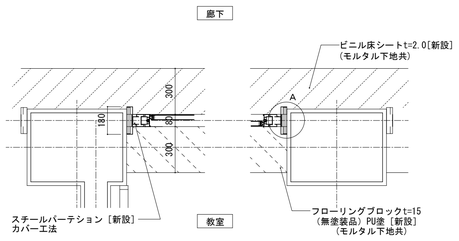
藤川設計株式会社　一級建築士登録　222551　田中　富士夫

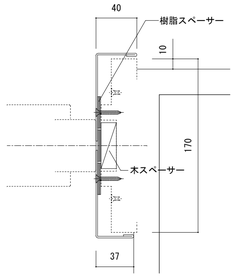
スチールパーテション（カバー工法）詳細図　S=1/20

改修前



改修後

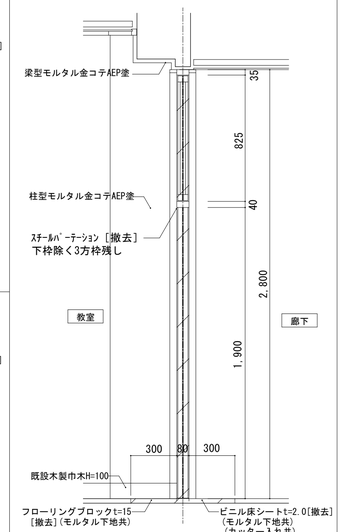




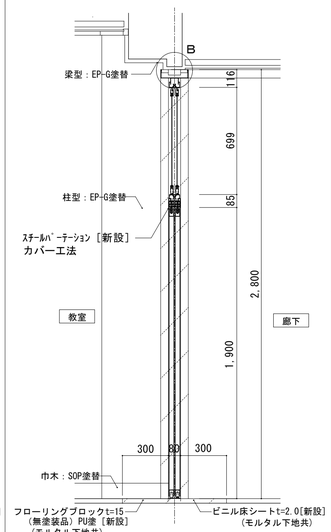
A：壁取合詳細図　S=1/3

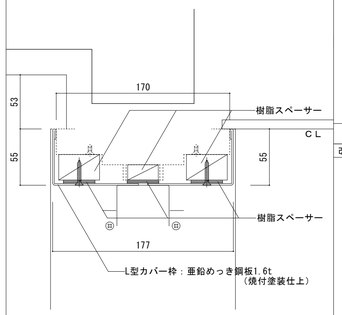
（端部立上り手摺付）

改修前



改修後

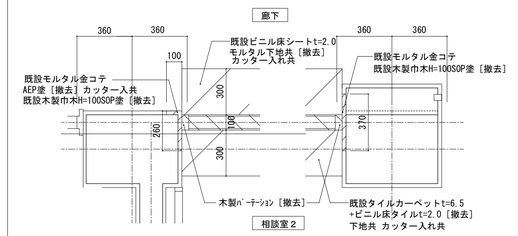




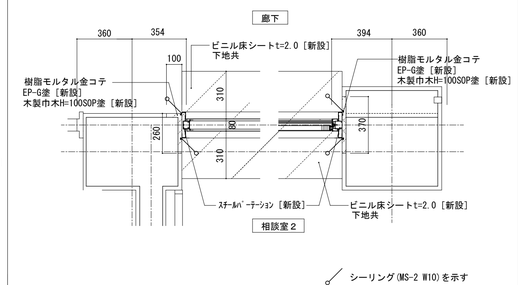
B：梁取合詳細図　S=1/3

スチールパーテション詳細図　S=1/20

改修前

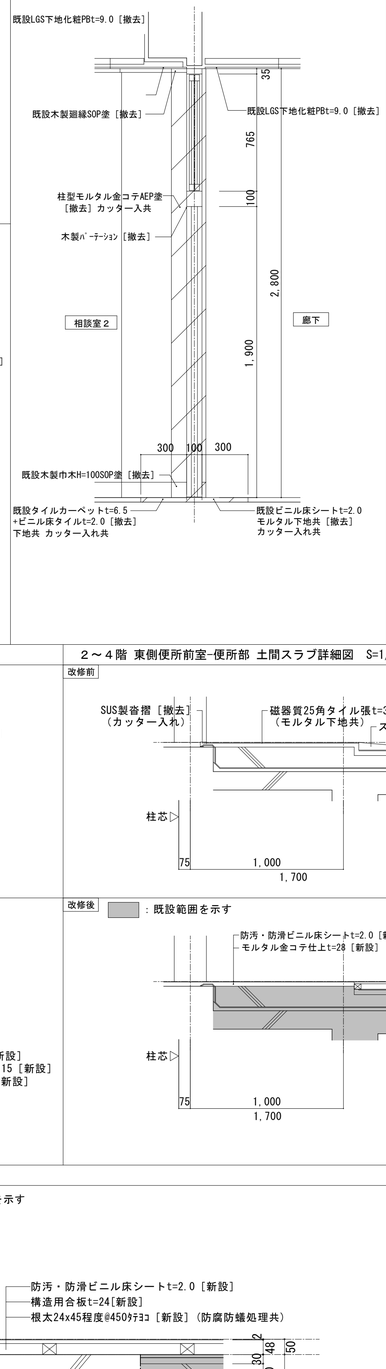


改修後

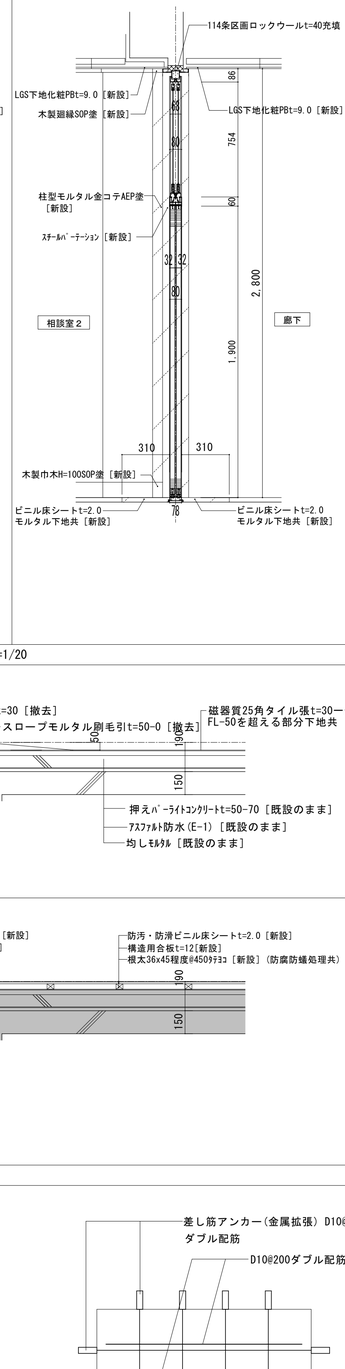


シーリング(MS-2 W10)を示す

改修前

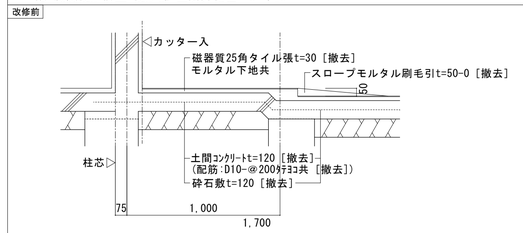


改修後

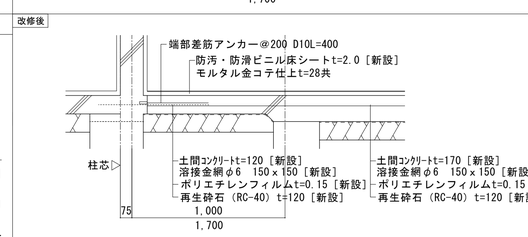


１階 職員便所前室-便所部 土間詳細図　S=1/20

改修前

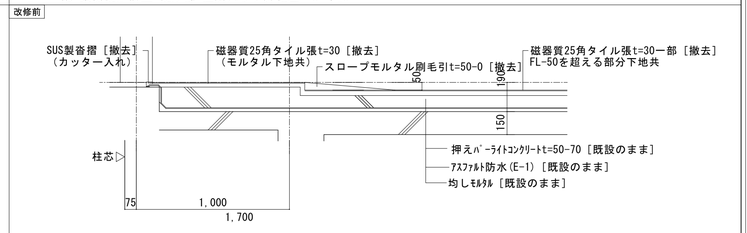


改修後



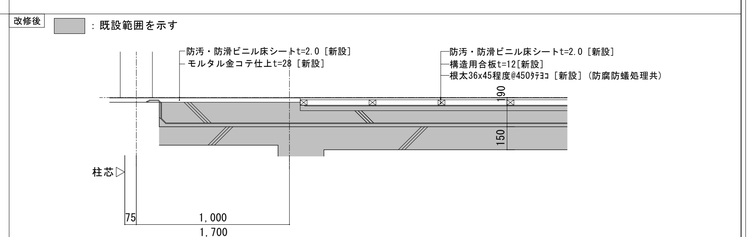
２～４階 東側便所前室-便所部 土間スラブ詳細図　S=1/20

改修前

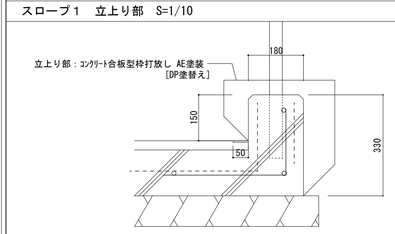


改修後

：既設範囲を示す

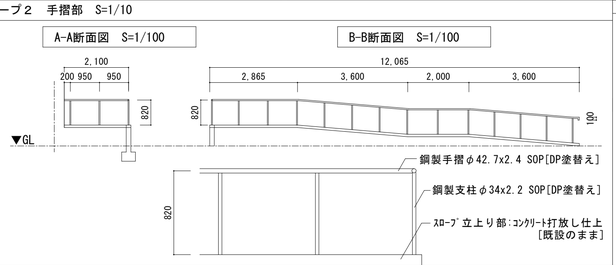


スロープ１　立上り部　S=1/10



スロープ２　手摺部　S=1/10

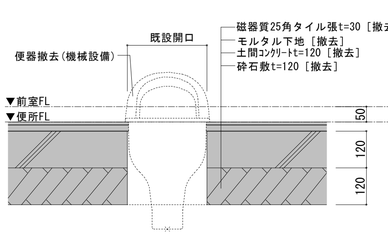
A-A断面図　S=1/100



B-B断面図　S=1/100

便所 和便器撤去部（１階）　S=1/10

改修前



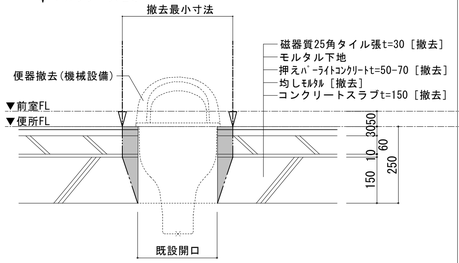
改修後

便所 和便器撤去部（２・３階）　S=1/10

改修前

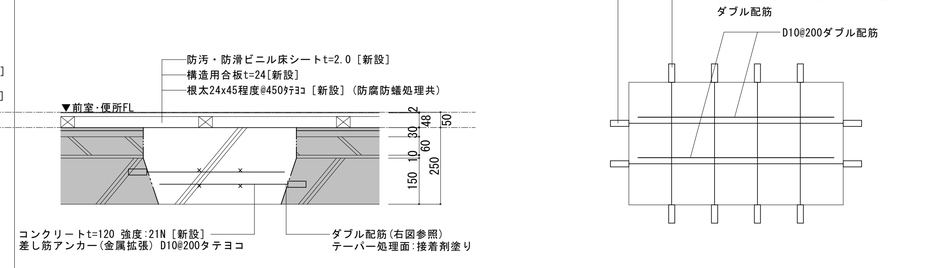
：撤去範囲を示す

：カッター入を示す



改修後

：既設範囲を示す



※汚垂れタイル下、面台下はビニル床シート(防汚防滑性)無しとする

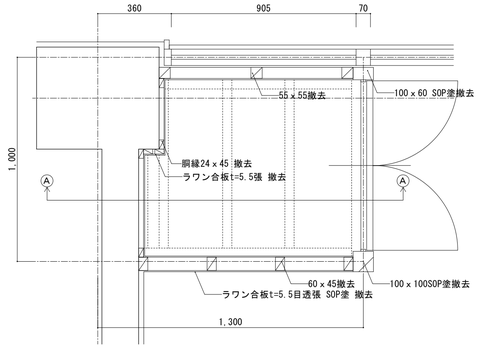
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	詳細図（１）	A1: 1:20 1:5 A3: 1:40 1:10	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

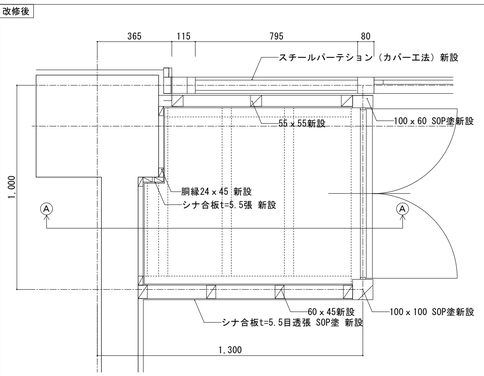
A－７３

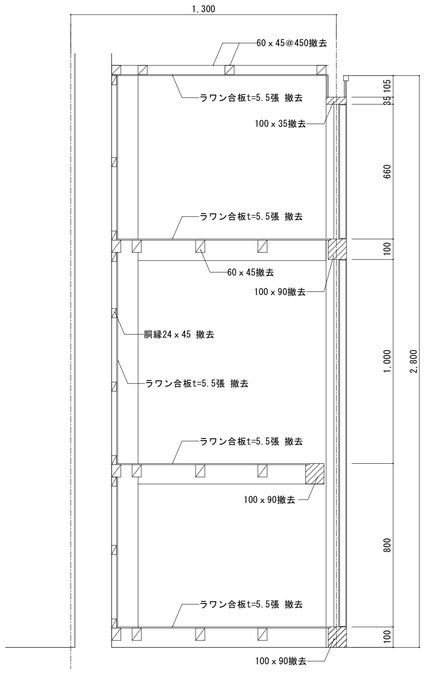
保健室物入詳細図　S=1/5

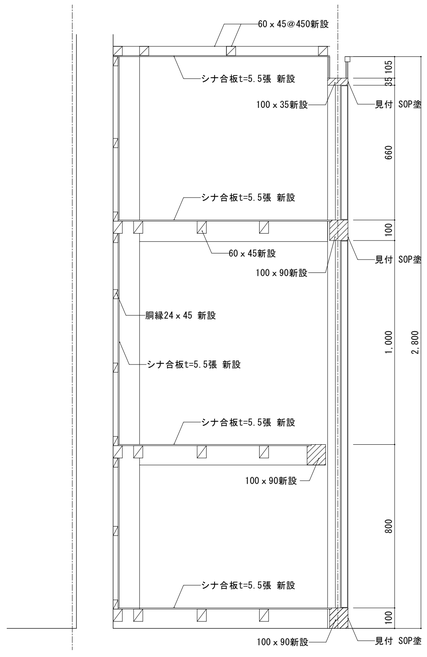
改修前



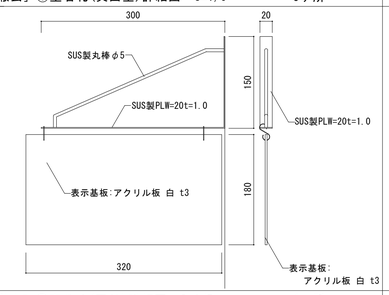
改修後



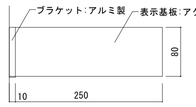




［撤去］①室名札(突出型)詳細図　S=1/5　　6ヶ所

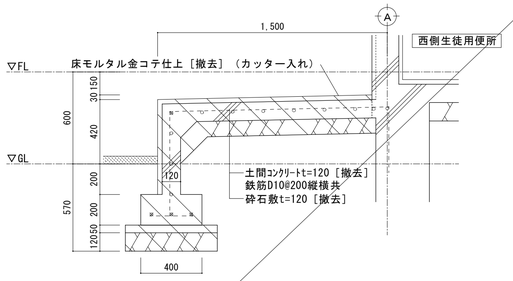


［撤去］②室名札(突出型)詳細図　S=1/5　　3ヶ所

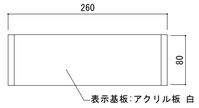


西側生徒用便所前犬走　詳細図　S=1/10

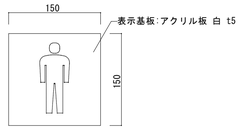
改修前



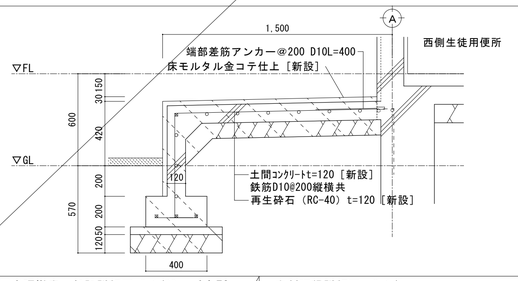
［撤去］③室名札(平付)詳細図　S=1/5　　4ヶ所



［撤去］④ピクトサイン(平付)詳細図　S=1/5　　8ヶ所

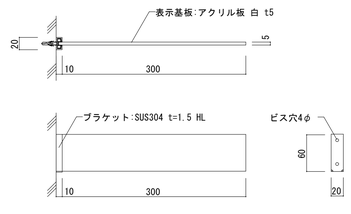


改修後



室名札(突出型)詳細図　S=1/5　　14ヶ所

改修後

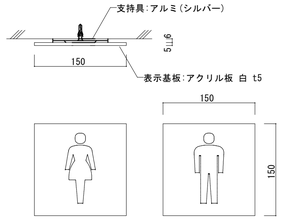


仕様	材質	仕上
突出型	表示基板:アクリル板 白 t5 ブラケット:SUS304 t=1.5 HL	シート貼り

※施工図にて監督職員の承諾を得ること。

ピクトサイン(平付型)詳細図　S=1/5　　8ヶ所

改修後

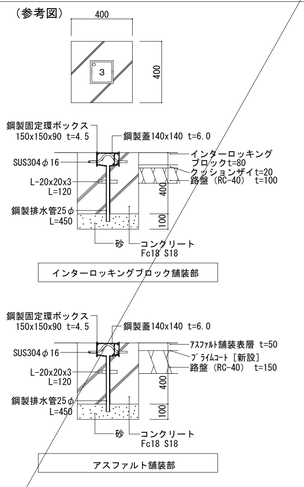


仕様	材質	仕上
平付型	表示基板 :アクリル板 白 t5 支持具 :アルミ(シルバー)	UV印刷

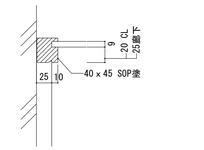
※施工図にて監督職員の承諾を得ること。

救助袋固定環撤去、新設詳細図 S=1/20　8カ所

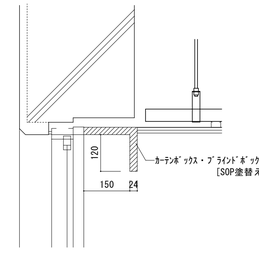
（参考図）



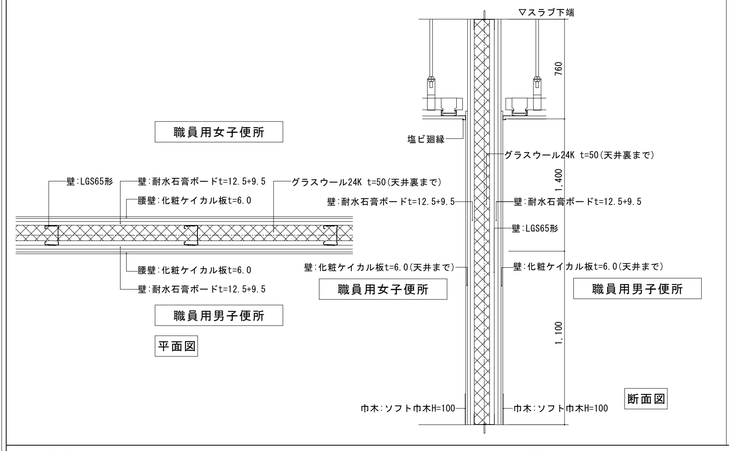
木製廻縁詳細図　S=1/5



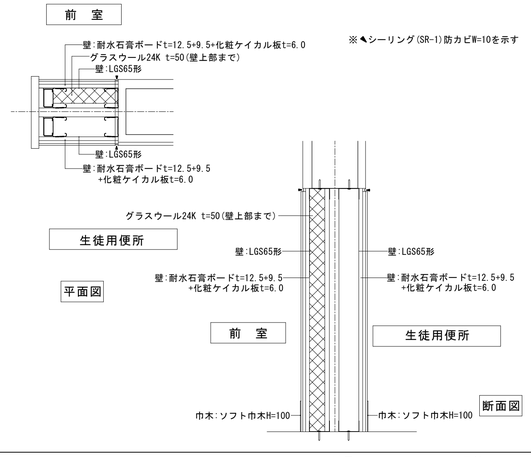
ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ･ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ詳細図　S=1/10



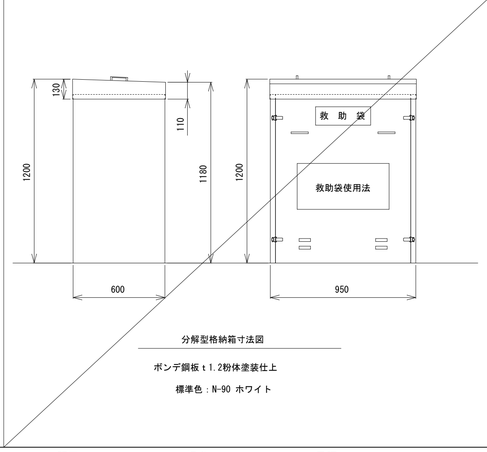
職員用便所　遮音壁詳細図　S=1/10



生徒用便所　遮音壁詳細図　S=1/10

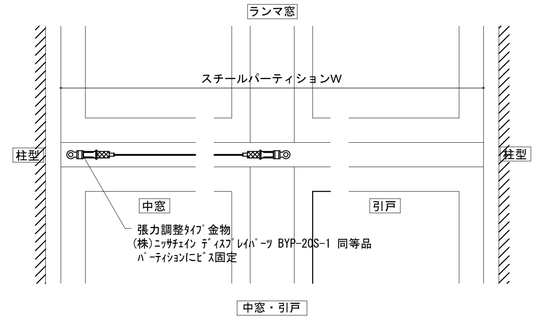


救助袋外箱撤去、新設詳細図 S=1/20　（参考図）　　1カ所



掲示物つり下げ用ワイヤー金物 S=1/5　　1カ所

かがやきルーム（廊下側）



※スクールパーティション取付部に補強板を設置のこと

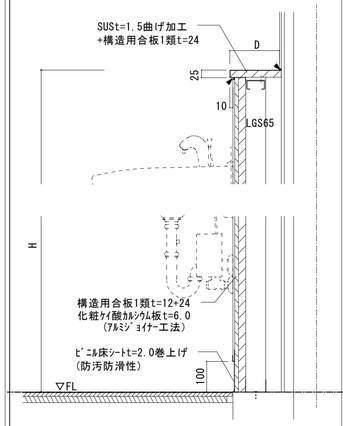
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事） ★	詳細図（２） ★	A1: 1:15 1:5 A3: 1:30 1:10 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

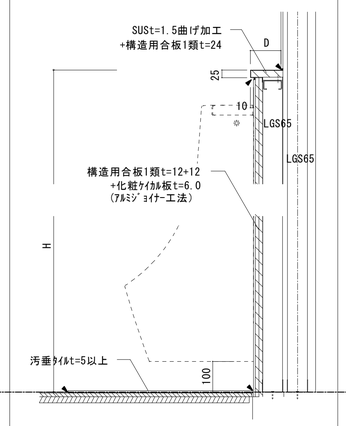
A－７４

新設面台詳細図　1/10　　※面台側面小口部分は、同材にて蓋すること　　※D・H：寸法は各平面詳細図、展開図による　　※◥シーリング(SR-1)防カビW=10を示す

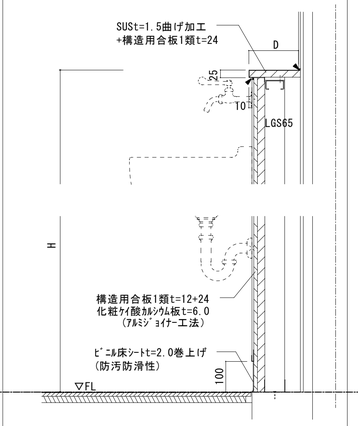
〈職員便所：手洗い台〉



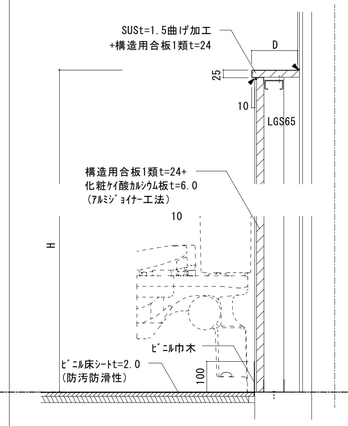
〈職員便所：小便器面台〉



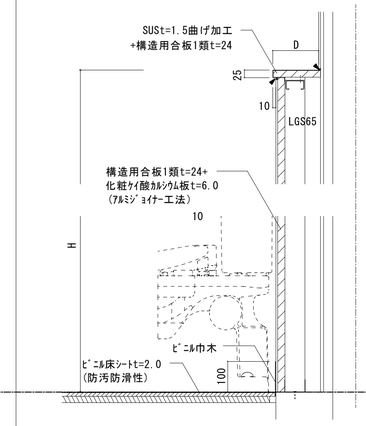
〈職員便所：SK面台〉



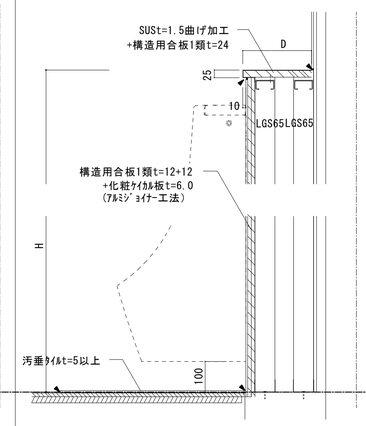
〈職員便所：洋便器面台〉



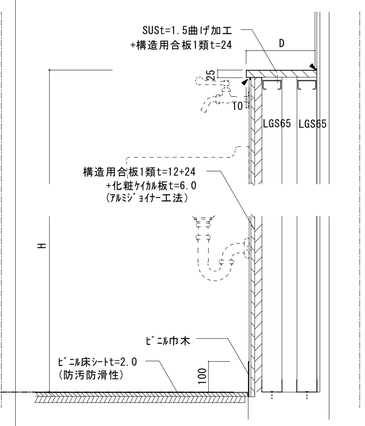
〈2、3、4階便所：洋便器面台〉



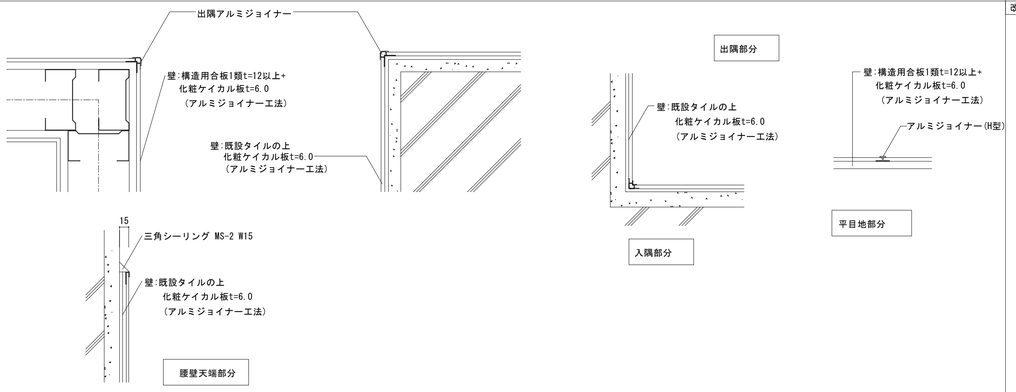
〈2、3、4階便所：小便器面台〉



〈2、3、4階便所：SK面台〉

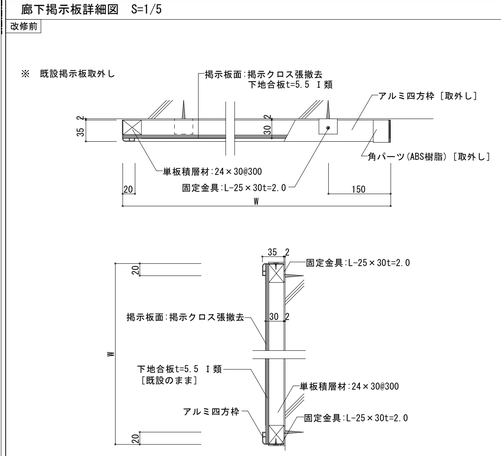


便所 化粧ケイカル板 目地詳細図　S=1/5

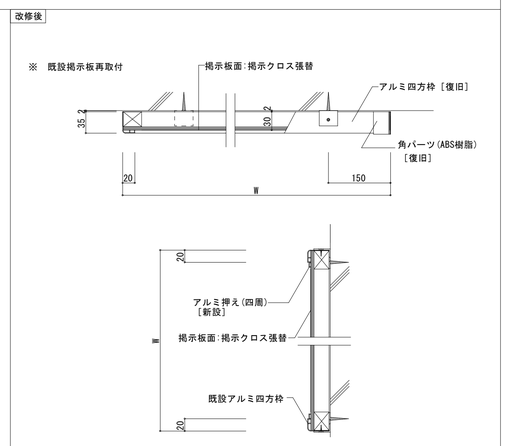


廊下掲示板詳細図　S=1/5

改修前

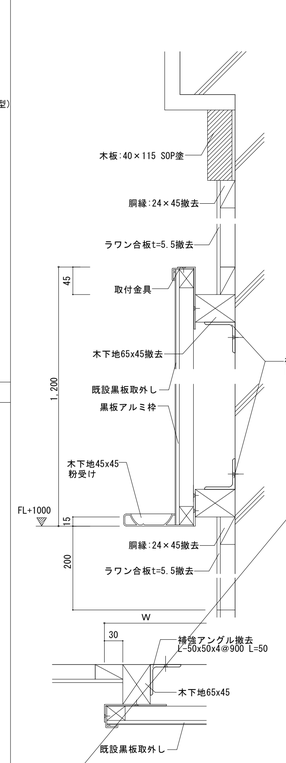


改修後

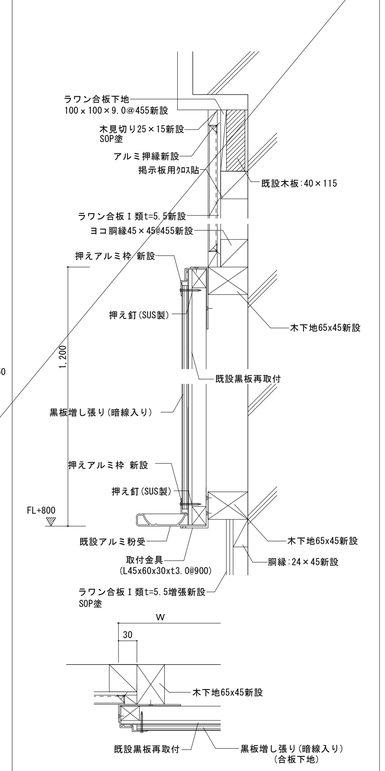


黒板詳細図　S=1/20

改修前

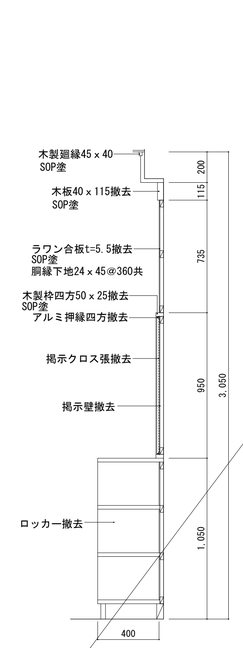


改修後

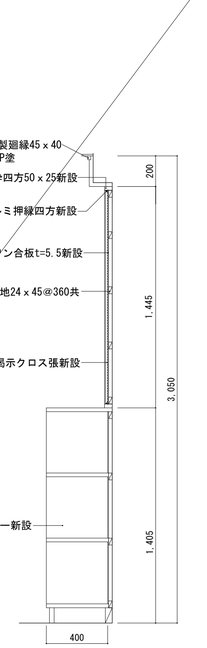


生徒用ロッカー・掲示壁詳細図　S=1/20

改修前



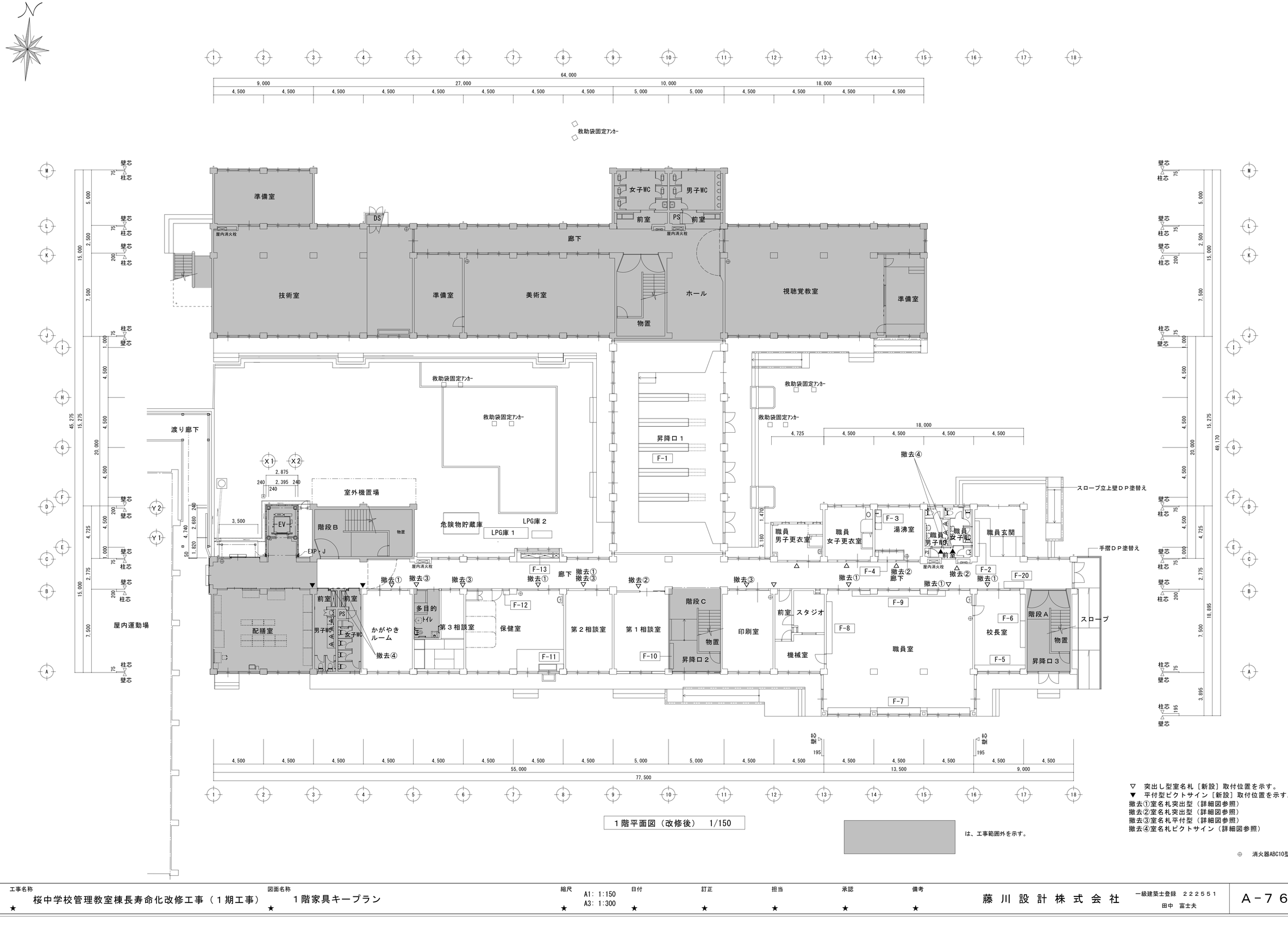
改修後



工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	詳細図（３）★	A1: 1:20 1:5 A3: 1:40 1:10 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

A－７５



1階平面図（改修後）　1/150

▽　突出し型室名札［新設］取付位置を示す。
▼　平付型ピクトサイン［新設］取付位置を示す。
撤去①室名札突出型（詳細図参照）
撤去②室名札突出型（詳細図参照）
撤去③室名札平付型（詳細図参照）
撤去④室名札ピクトサイン（詳細図参照）

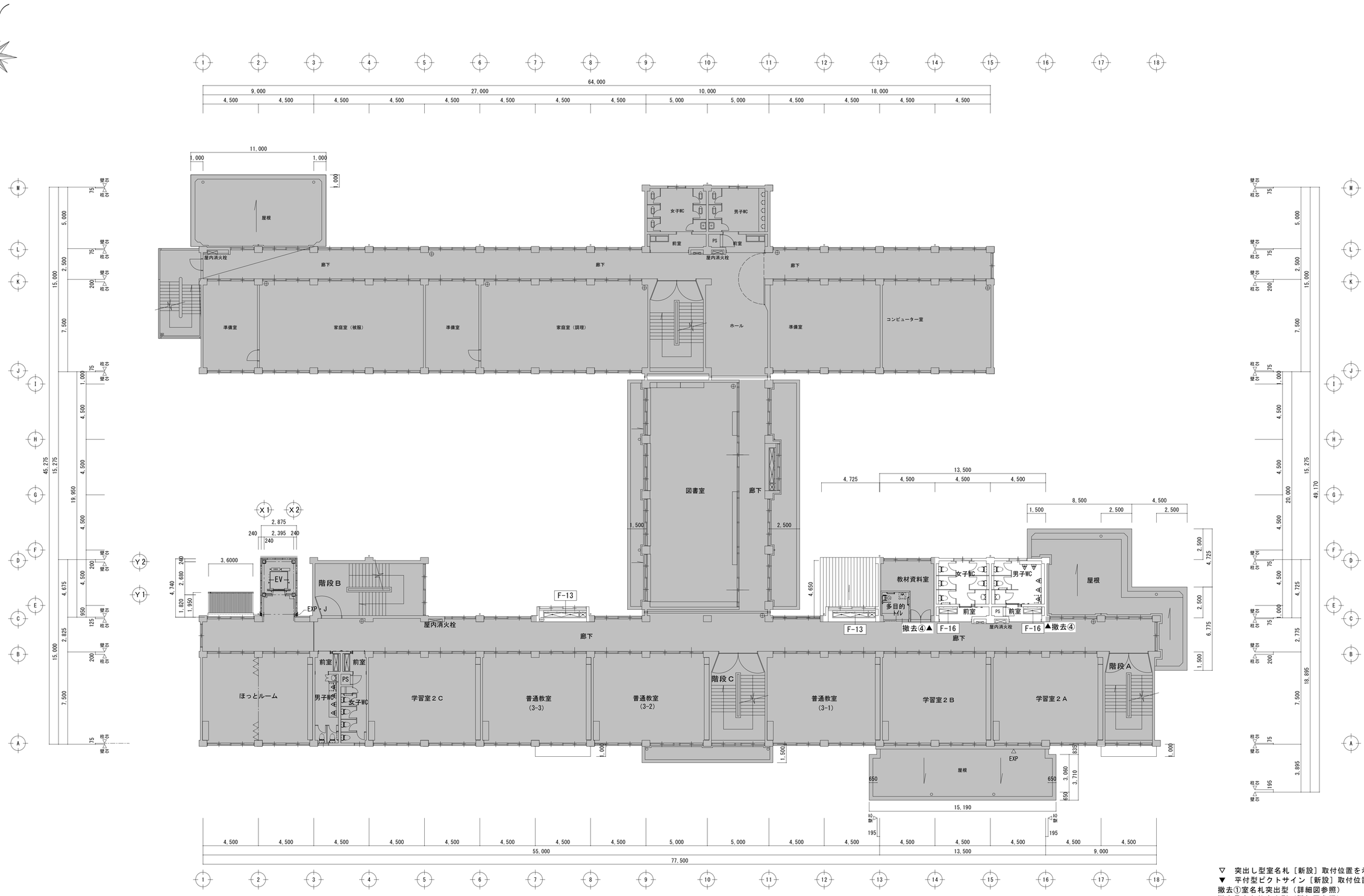
は、工事範囲外を示す。

⊕　消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	１階家具キープラン★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

A－７６



２階平面図（改修後）　1／150

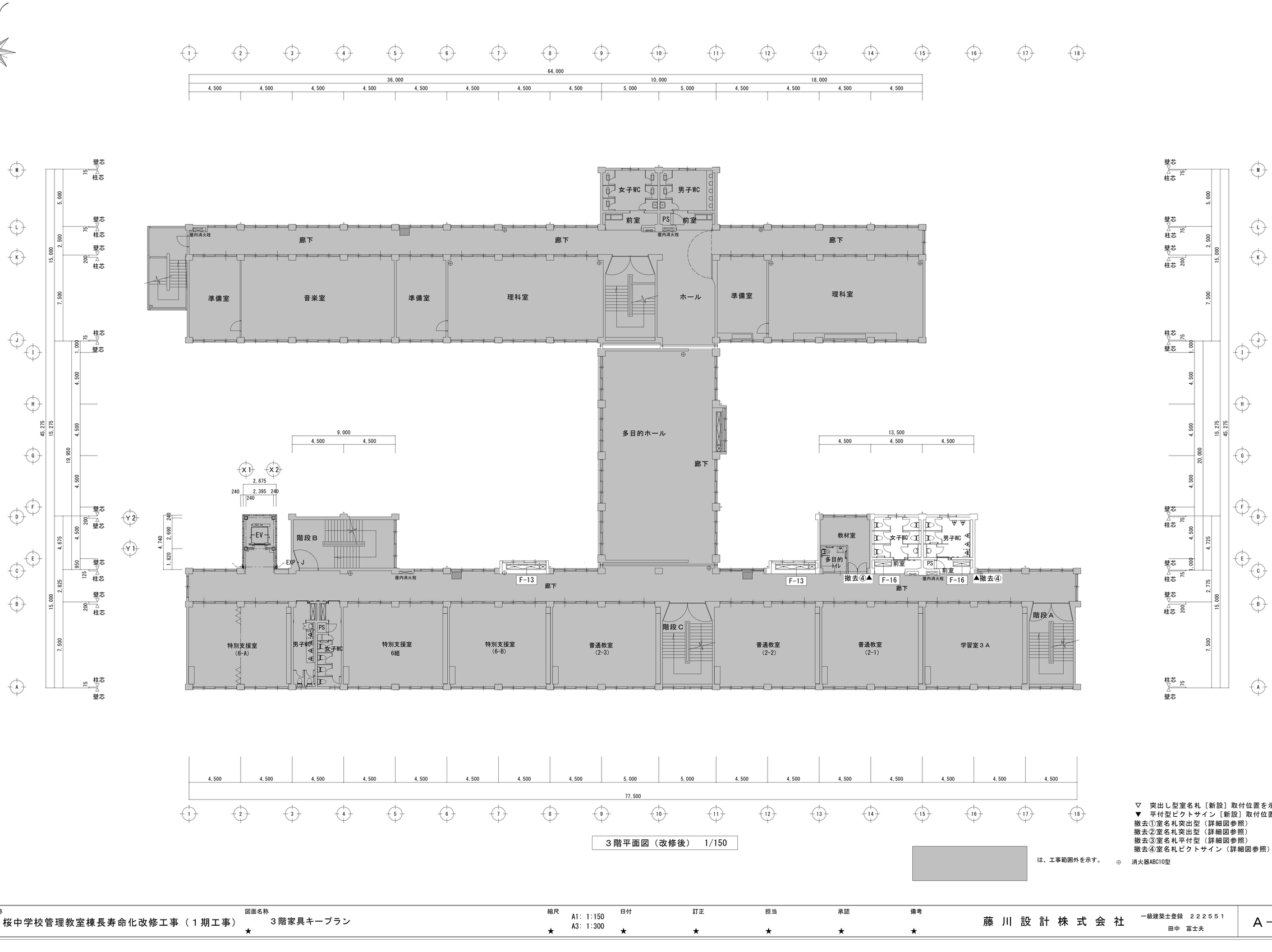
▽　突出し型室名札［新設］取付位置を示す。
▼　平付型ピクトサイン［新設］取付位置を示す。
撤去①室名札突出型（詳細図参照）
撤去②室名札突出型（詳細図参照）
撤去③室名札平付型（詳細図参照）
撤去④室名札ピクトサイン（詳細図参照）
は、工事範囲外を示す。

⊕　消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	２階家具キープラン★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

A－７７



３階平面図（改修後）　1/150

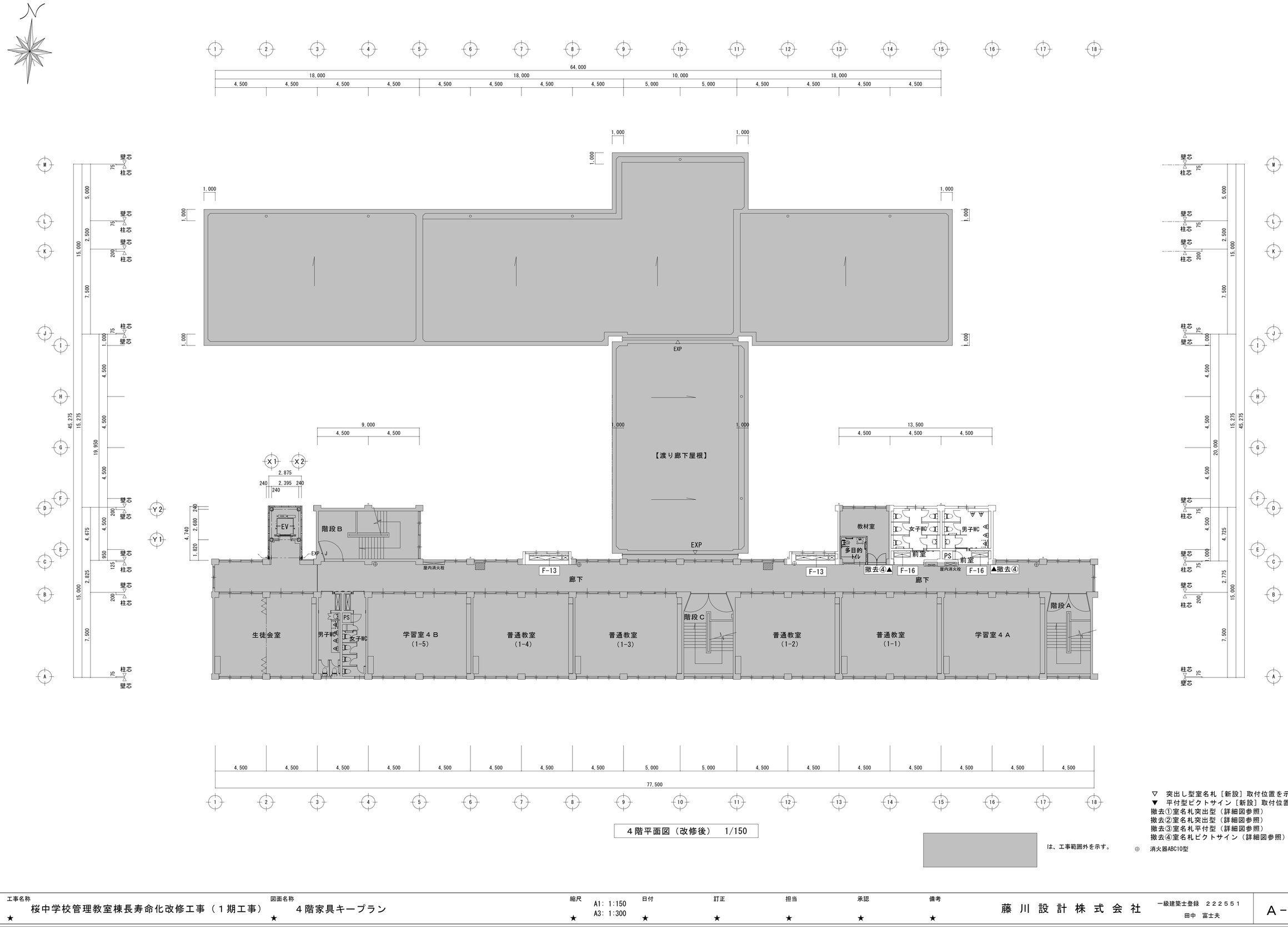
▽　突出し型室名札［新設］取付位置を示す。
▼　平付型ピクトサイン［新設］取付位置を示す。
撤去①室名札突出型（詳細図参照）
撤去②室名札突出型（詳細図参照）
撤去③室名札平付型（詳細図参照）
撤去④室名札ピクトサイン（詳細図参照）

は、工事範囲外を示す。　⊕ 消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	３階家具キープラン★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

A－７８



４階平面図（改修後）　1/150

▽　突出し型室名札［新設］取付位置を示す。
▼　平付型ピクトサイン［新設］取付位置を示す。
撤去①室名札突出型（詳細図参照）
撤去②室名札突出型（詳細図参照）
撤去③室名札平付型（詳細図参照）
撤去④室名札ピクトサイン（詳細図参照）
⊕　消火器ABC10型

は、工事範囲外を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）★	４階家具キープラン★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

A－７９

家具共通仕様　　「 図面中に特記なき所は下記の仕様とする。」

1 本体・棚板　　両面メラミン化粧パーティクルボード厚さ２０mm、F☆☆☆☆を使用する。

2 木口処理　　躯体からの水分浸入を防ぐために、本体は背面も含めてフラットエッジ（ 樹脂製　ホットメルト縁付 ）加工程度とする。
開き扉・抽斗前板・天板はセフティーエッジ（ 樹脂製　ホットメルト縁付 ）加工程度とする。

3 裏板　　ポリエステル化粧合板　F☆☆☆☆　厚さ４mmを使用し、
片面フラッシュ（ ４５０mm　ピッチ以内に格子状桟組構造 ）とする。

4 巾木・台輪　　ポリエステル化粧合板仕上げ　F☆☆☆☆（ 塗装不要 ）とする。

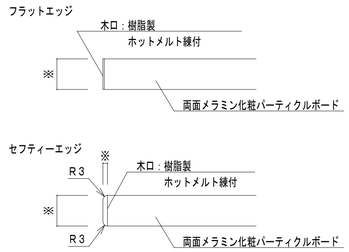
5 把手・蝶番　　樹脂成型品（ ＡＢＳ製 ）の把手・引手を使用する。
蝶番は、メンテナンスが容易なキャッチ機構付１１０°開きぜンシスヒンジ（ ソフトクローズ機構付 ）を使用する。

6 鴨居・敷居　　メンテナンス性が容易な樹脂成型レール（ ＡＢＳ製 ）を埋め込んだ鴨居と面付けの敷居（ ＡＢＳ製 ）程度とする。

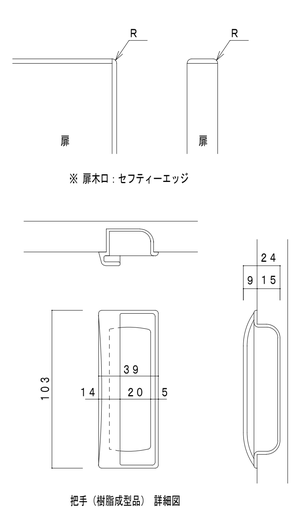
7 棚板受け　　安全で外れにくいネジ込み式で、錆びにくいステンレス製ダボ又はステンレス製レールを使用する。
棚板に外れ止めシャクリ加工を施すか、滑り止めの金物を使用する。

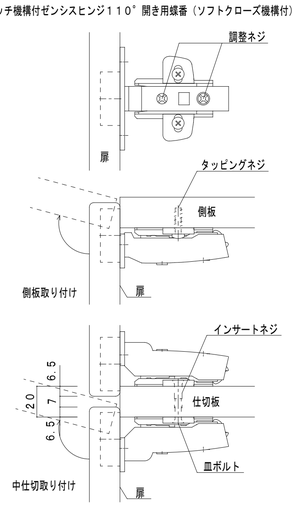
8 特記事項　　その他詳細については、施工図を提出の上、監督職員の承諾を得ること。

［ 木口詳細 ］

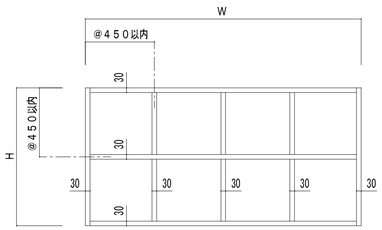


［ 開き扉詳細 ］

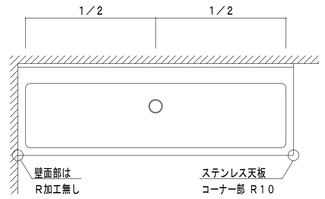




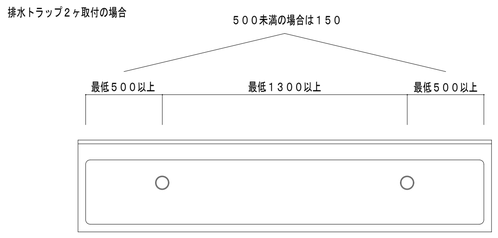
［ 裏板枠詳細 ］



［ ステンレス納まり詳細 ］

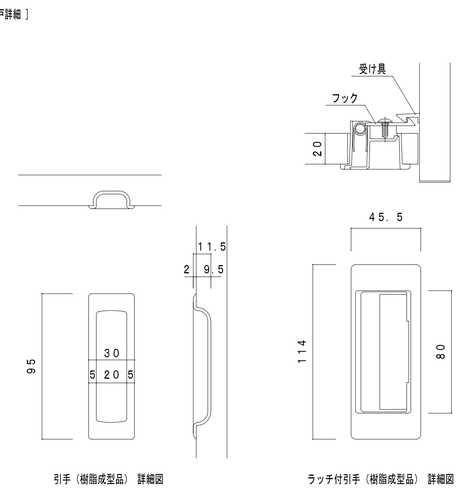


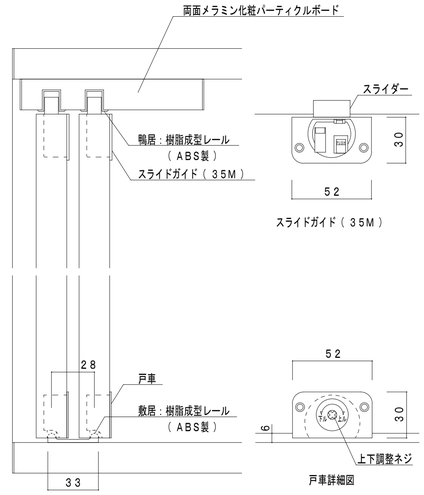
※ ステンレスシンクには結露防止処理を施す事とする。

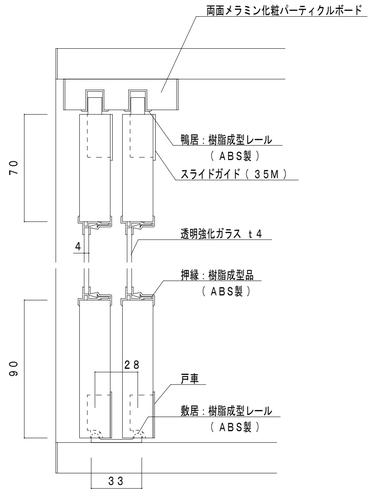


F－１	生徒用下足入れ	計５ヶ所	１階　昇降口１

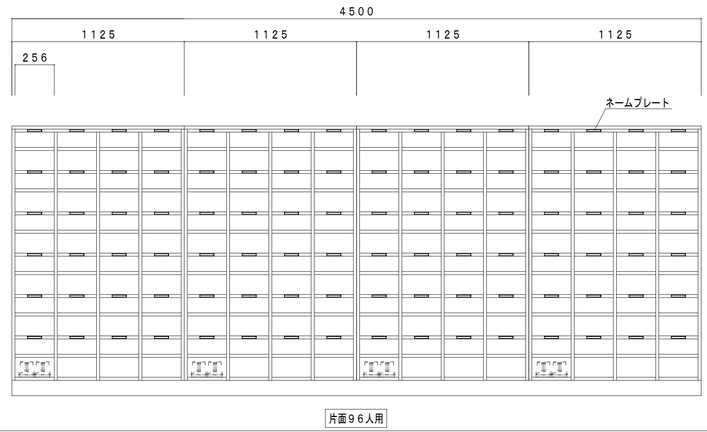
［ 引違戸詳細 ］

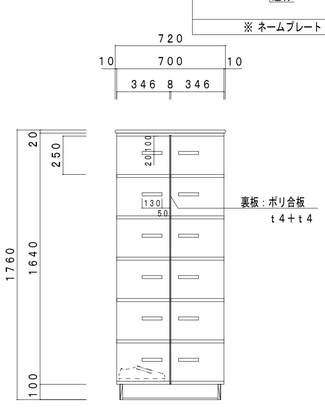


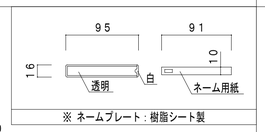


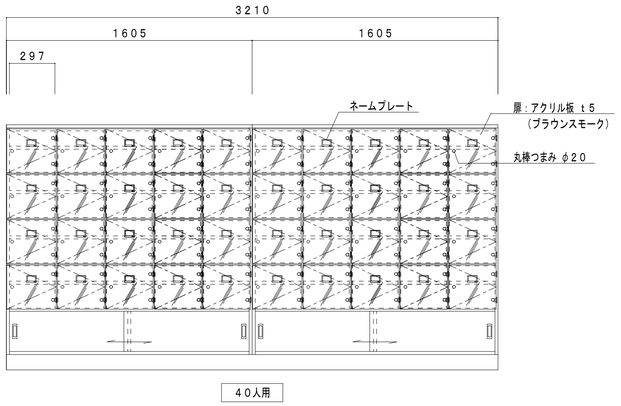


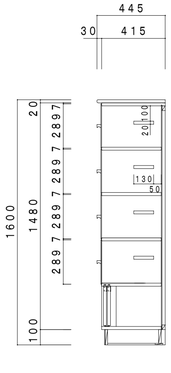
F－２	職員用下足入れ	１ヶ所	１階　職員玄関

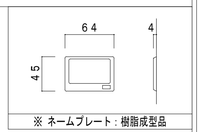










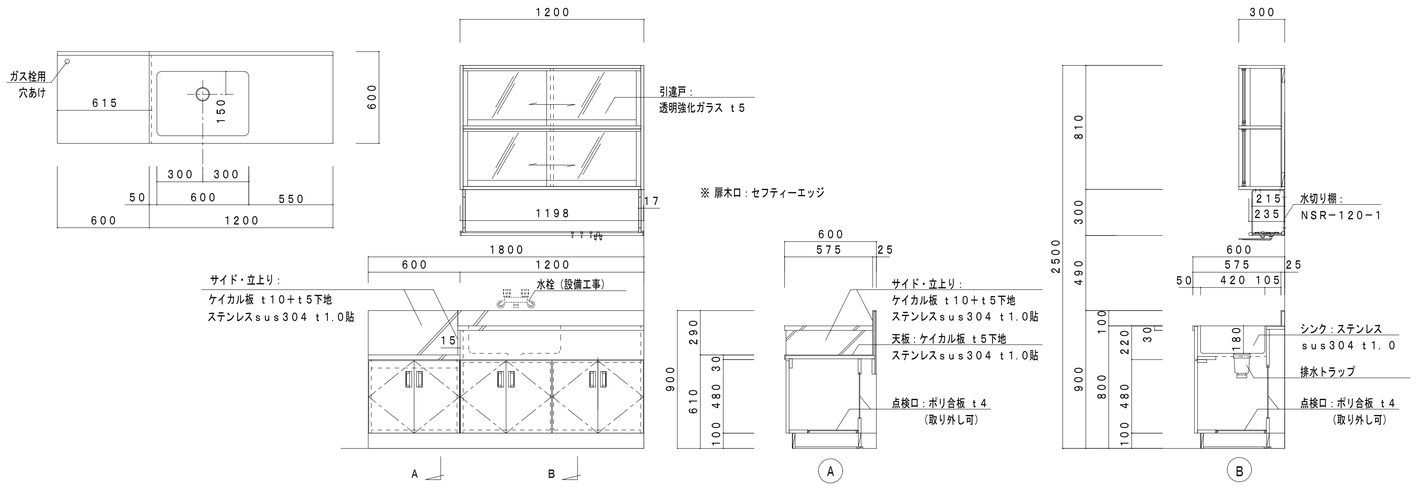


工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）★	家具詳細図（１）★	A1: 1:20 A3: 1:40 ★	★	★	★	★	★

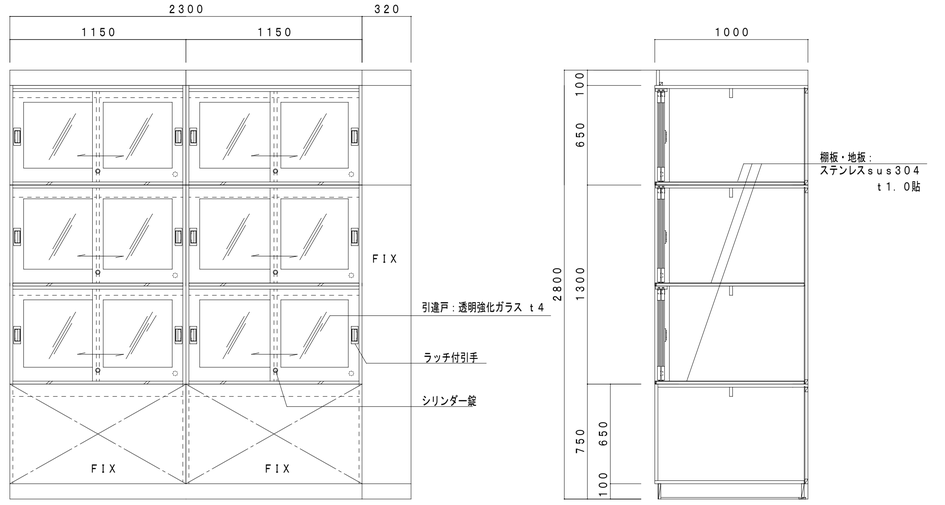
藤 川 設 計 株 式 会 社　　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

A－８０

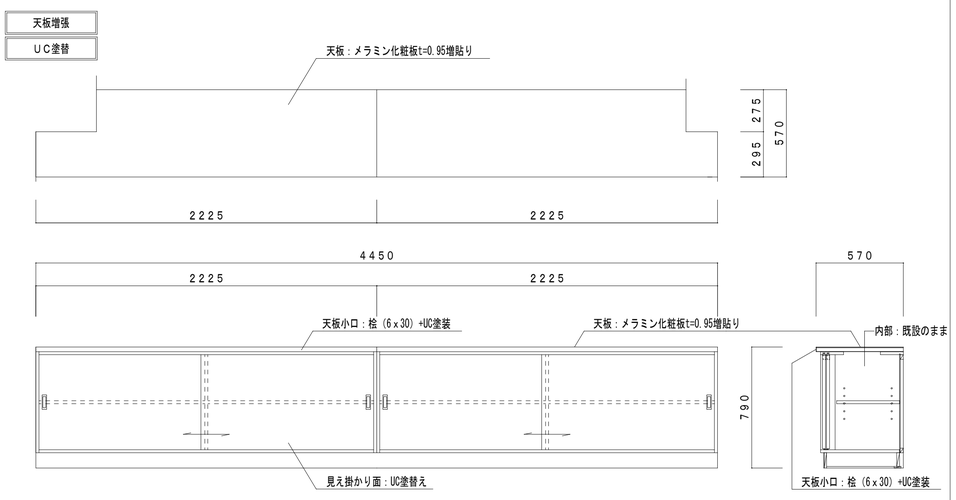
F－3　流し台・ガス台・吊戸棚・水切り棚　1ヶ所　1階　給湯室　【同程度既存家具、撤去あり】



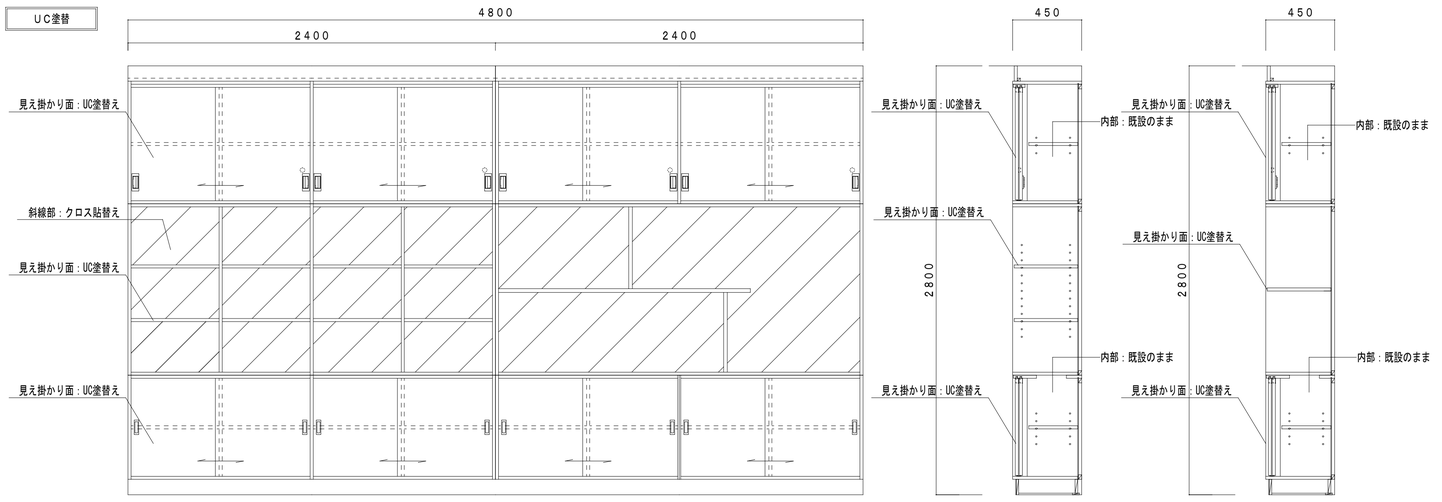
F－4　収納戸棚　1ヶ所　1階　給湯室　【既存家具、撤去あり】



F－5　窓下戸棚　1ヶ所　1階　校長室



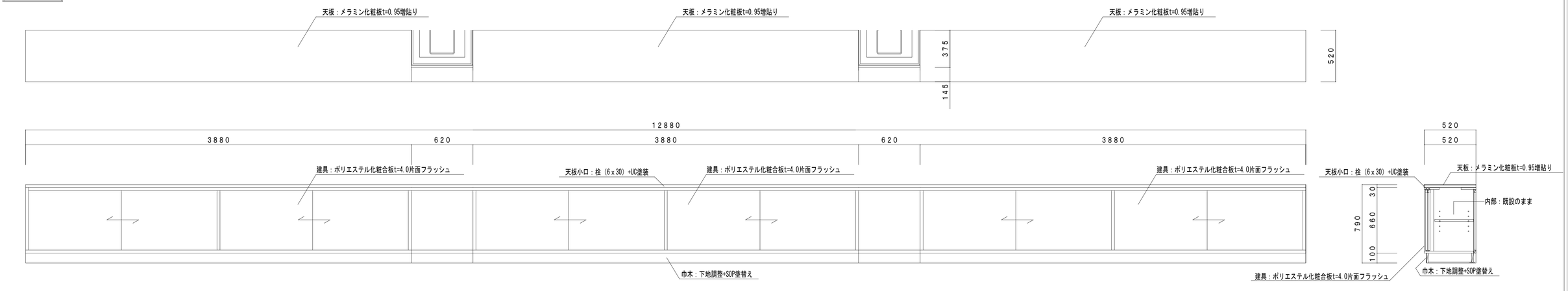
F－6　収納戸棚　1ヶ所　1階　校長室



F－7　腰下戸棚　1ヶ所　1階　職員室

天板増張　※寸法は現地確認の上、作成すること。

建具新設　ポリエステル化粧合板t=4.0片面フラッシュ



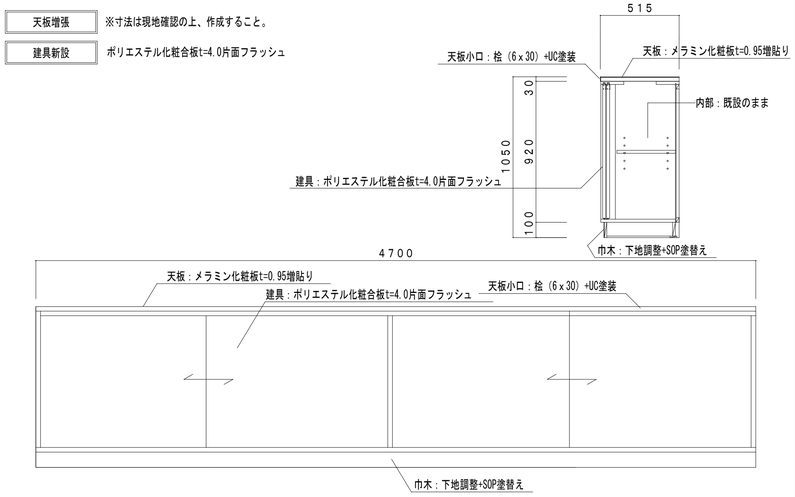
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	★ 家具詳細図（２）	★ A1：1:20 A3：1:40	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　222551　田中　富士夫

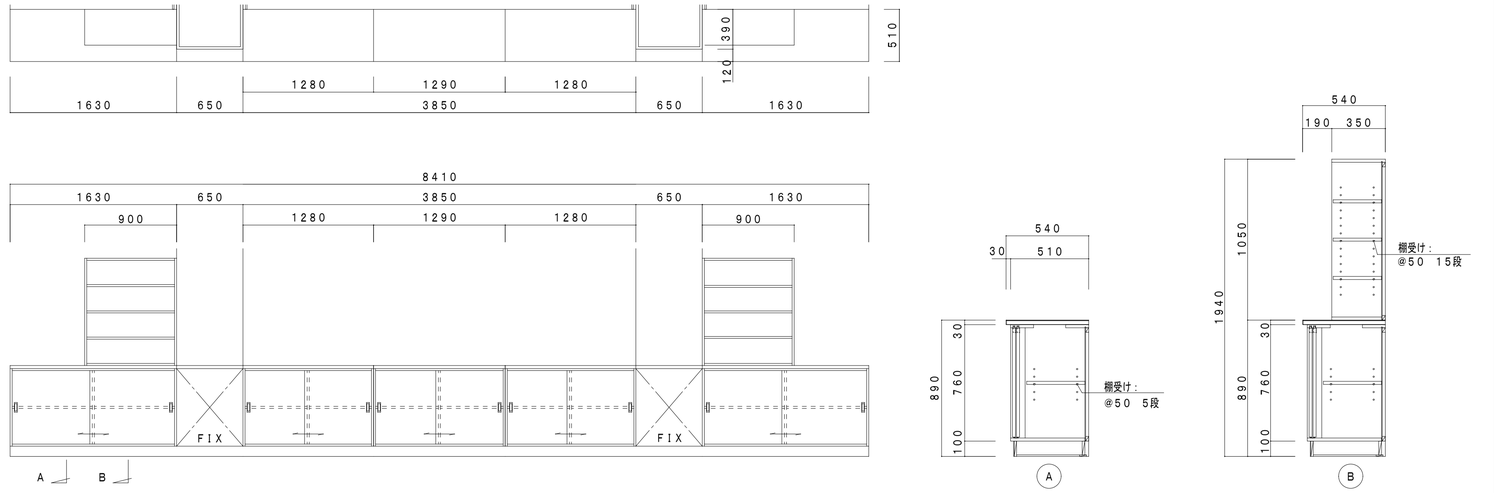
A－81

F－8　腰下戸棚　1ヶ所　1階　職員室

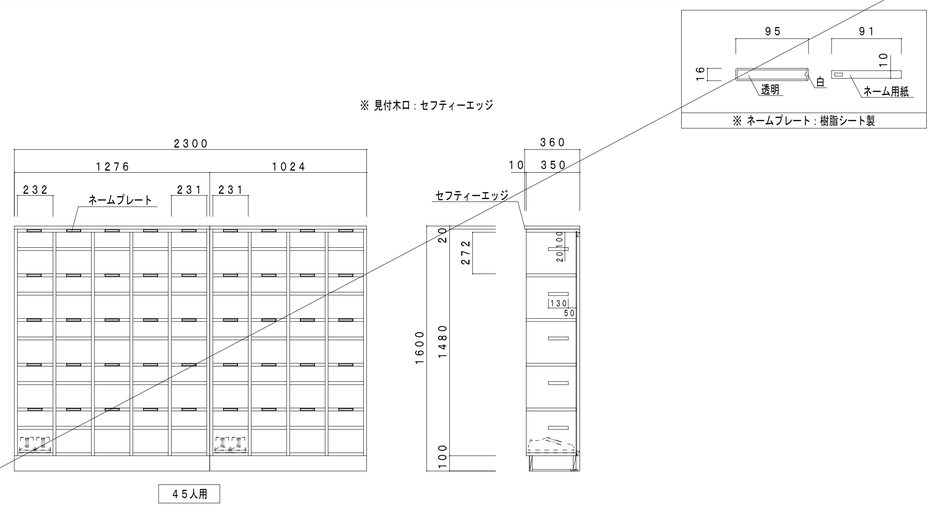
天板増張　※寸法は現地確認の上、作成すること。
建具新設　ポリエステル化粧合板t=4.0片面フラッシュ



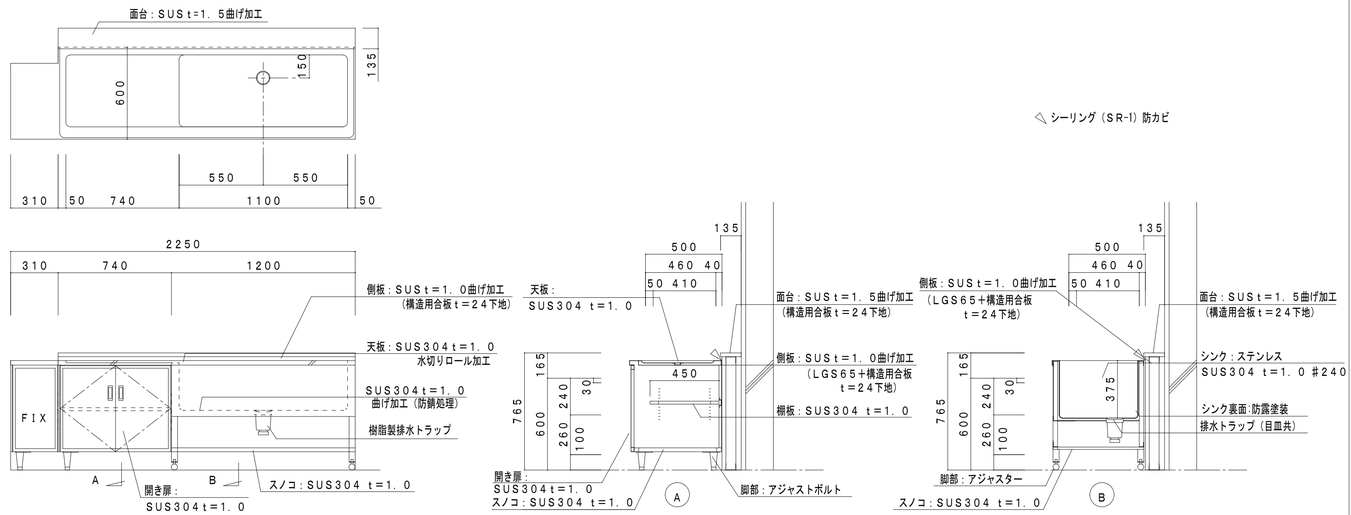
F－9　窓下戸棚　1ヶ所　1階　職員室　【同程度既存家具、撤去あり】



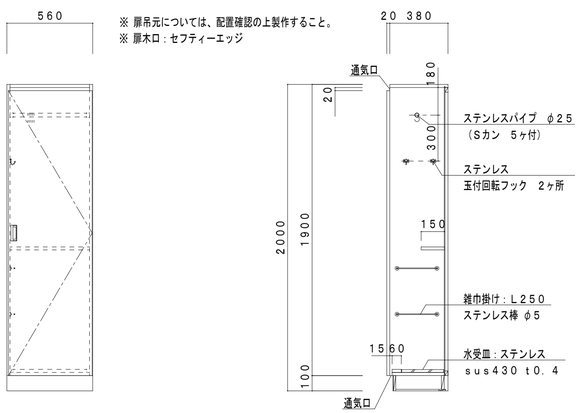
F－10　生徒用下足入れ　1ヶ所　1階　昇降口2　【同程度既存家具、撤去あり】



F－11　オールステンレス窓下戸棚・流し台　1ヶ所　1階　保健室　【人研ぎ・既存流し、撤去あり】



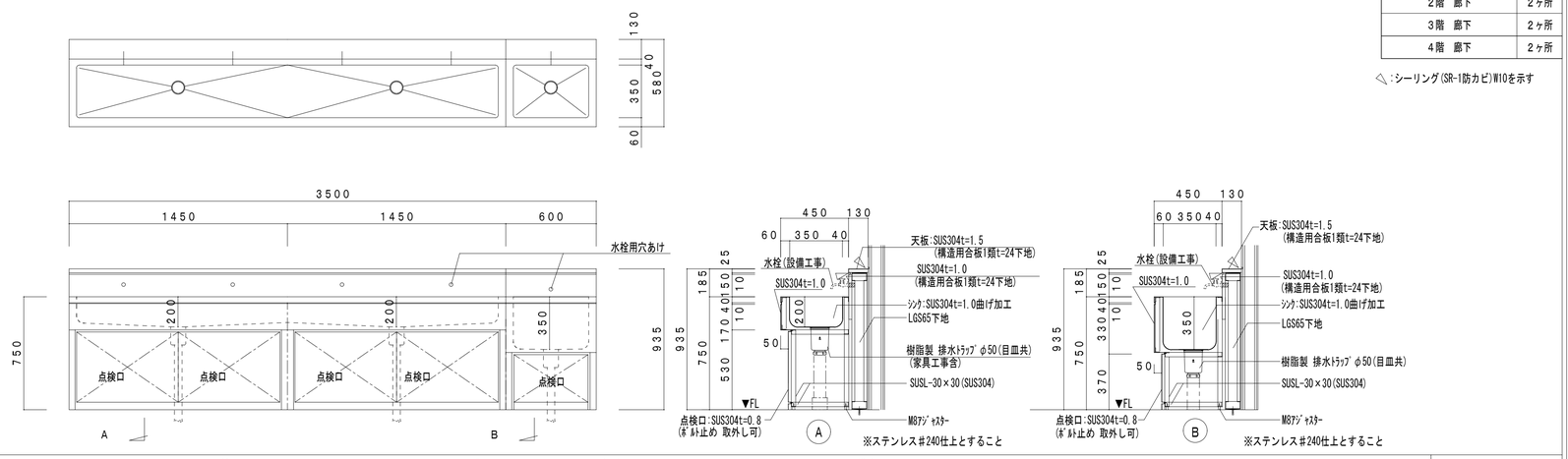
F－12　掃除用具入れ　1ヶ所　1階　保健室



F－13　流し台・深流し台　計7ヶ所　各廊下

室　名	ヶ所
1階　廊下	1ヶ所
2階　廊下	2ヶ所
3階　廊下	2ヶ所
4階　廊下	2ヶ所

◺：シーリング(SR-1防カビ)W10を示す



工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）★	家具詳細図（3）★	A1：1:20 A3：1:40 ★	★	★	★	★	★

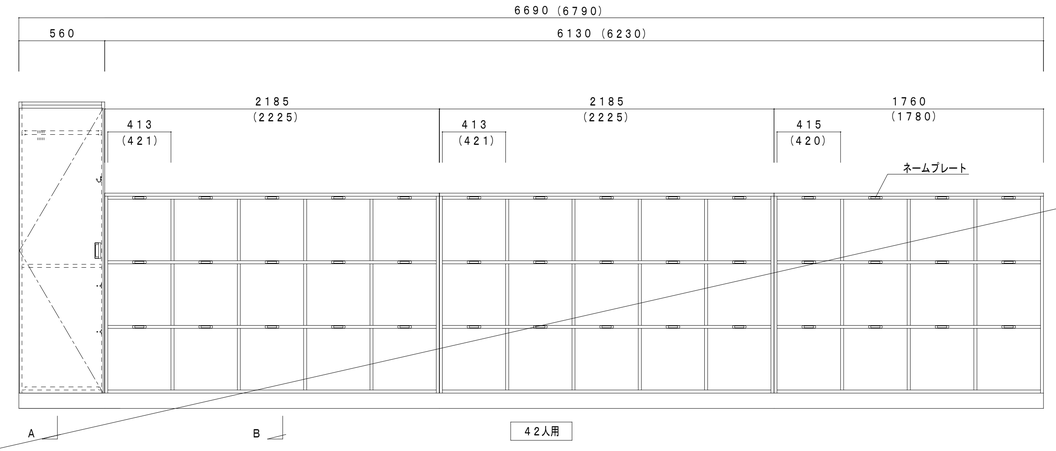
藤川設計株式会社
一級建築士登録　222551
田中　富士夫

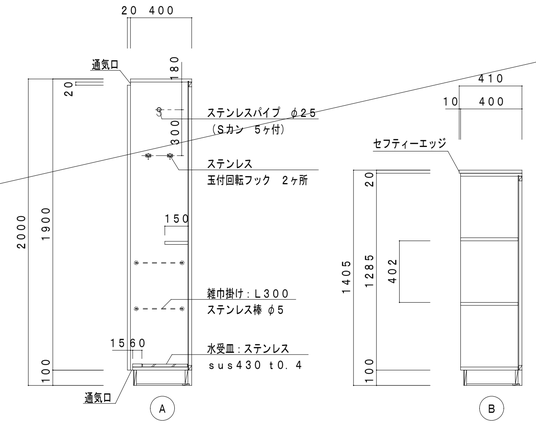
A－82

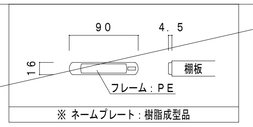
F－１４　掃除用具入れ・個人ロッカー　計２１ヶ所　各　室

【既存家具撤去あり、下図参照】

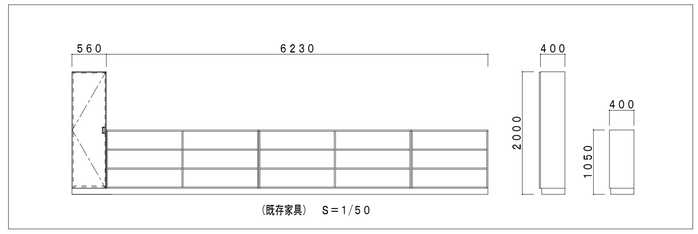
※ 扉吊元については、配置確認の上製作すること。
※ 扉木口：セフティーエッジ



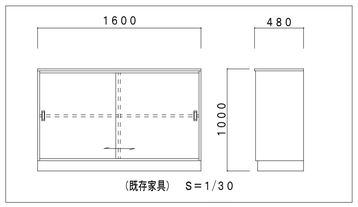




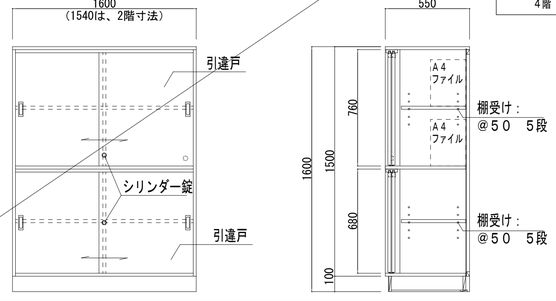
室　名	W	ヶ所
2階　学習室2A・2B・2C	6690	3ヶ所
2階　普通教室	6690	3ヶ所
2階　ほっとルーム	6690	1ヶ所
3階　学習室3A	6790	1ヶ所
3階　普通教室	6790	3ヶ所
3階　特別支援室	6790	3ヶ所
4階　学習室4A・4B	6790	2ヶ所
4階　普通教室	6790	4ヶ所
4階　生徒会室	6790	1ヶ所



F－１５　教師用戸棚　計２１ヶ所　各　室　【既存家具撤去あり、下図参照】



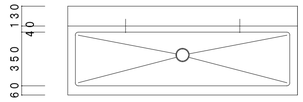
室　名	ヶ所
2階　学習室2A・2B・2C	3ヶ所
2階　普通教室	3ヶ所
2階　ほっとルーム	1ヶ所
3階　学習室3A	1ヶ所
3階　普通教室	3ヶ所
3階　特別支援室	3ヶ所
4階　学習室4A・4B	2ヶ所
4階　普通教室	4ヶ所
4階　生徒会室	1ヶ所

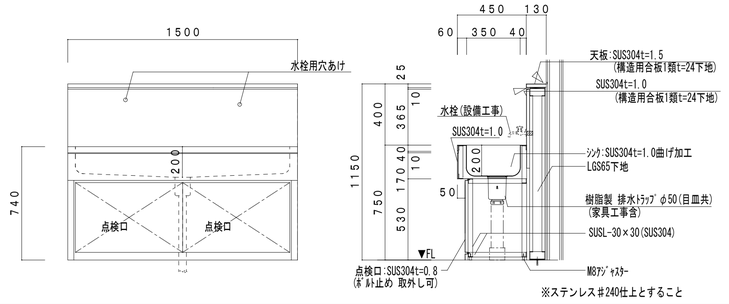


F－１６　流し台　計６ヶ所　各　室

室　名	ヶ所
2～4階　男子WC前室	3ヶ所
2～4階　女子WC前室	3ヶ所

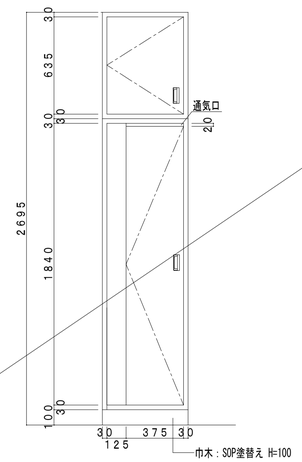
◺：シーリング(SR-1防カビ)W10を示す





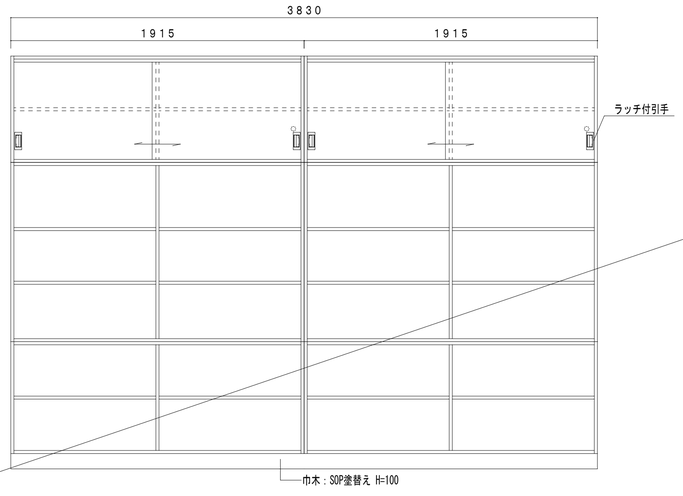
F－１７　掃除用具入れ　１ヶ所　２階　図書室

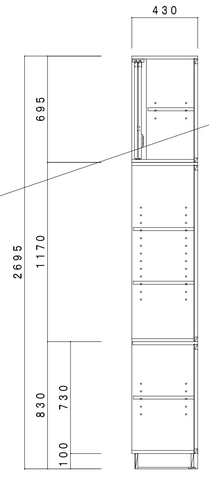
建具新設



F－１８　書架　１ヶ所　２階　図書室

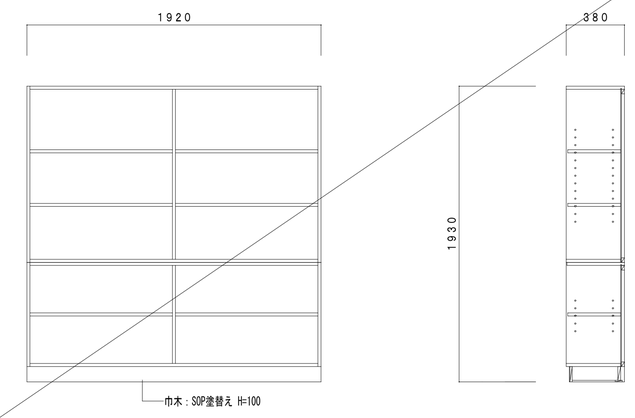
建具新設
UC塗替





F－１９　書架　１ヶ所　２階　図書室

UC塗替



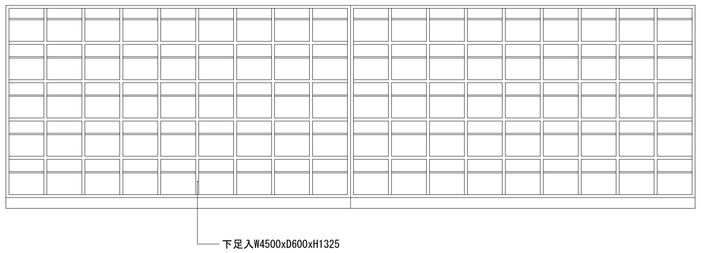
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	家具詳細図（４）	A1：1:20 A3：1:40					
★	★	★	★	★	★	★	★

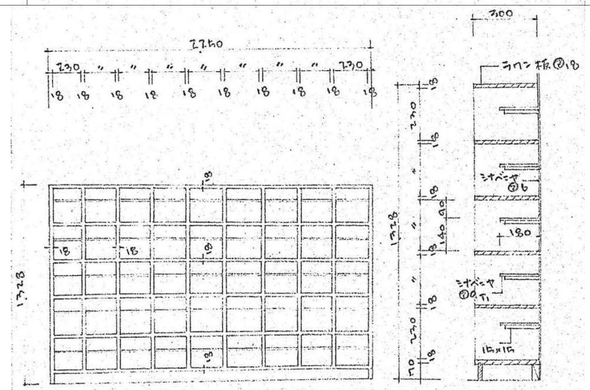
藤 川 設 計 株 式 会 社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

A－８３

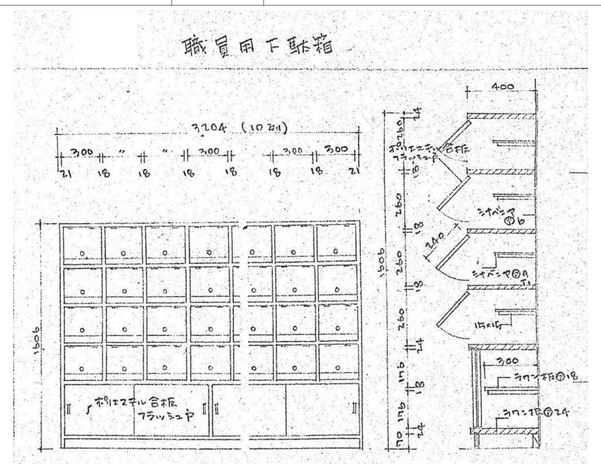
下駄箱

F－1	生徒用下足入れ	1階　昇降口１ W4500xD600xH1325	計５ヶ所	F－10	1階　昇降口２ W2250xH1410xD300	計１ヶ所

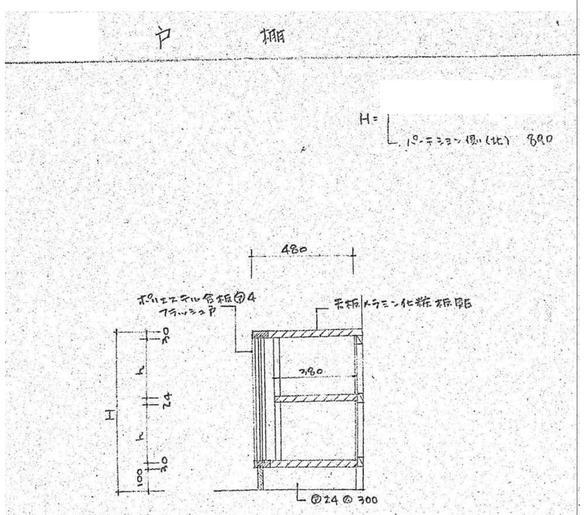




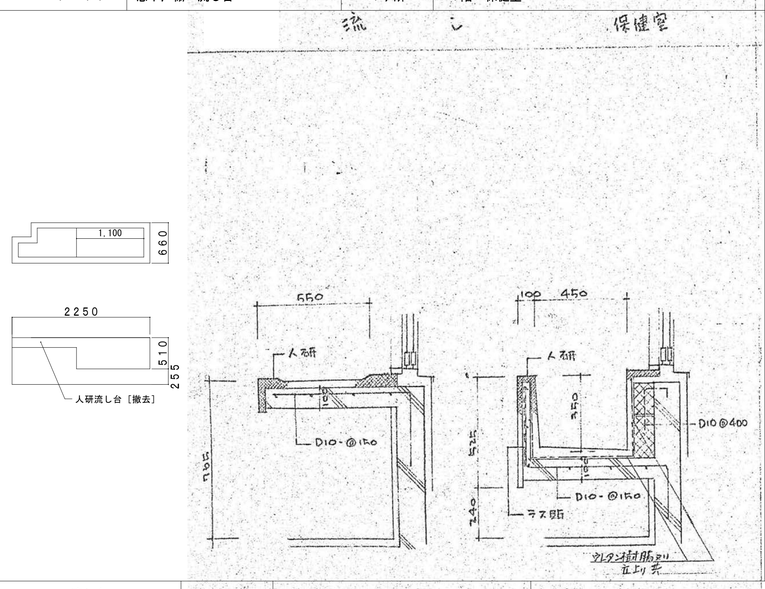
F－2	職員用下足入れ	1ヶ所	1階　職員玄関



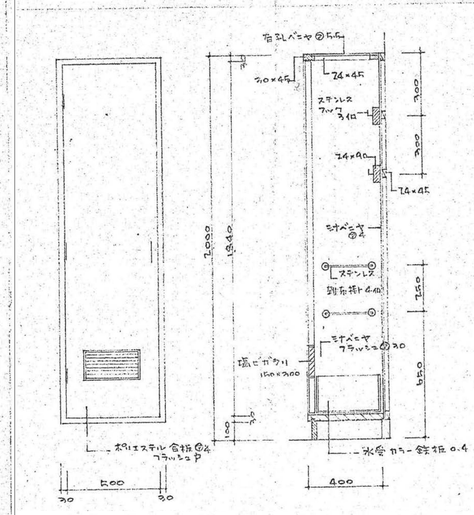
F－9	窓下戸棚	1ヶ所	1階　職員室



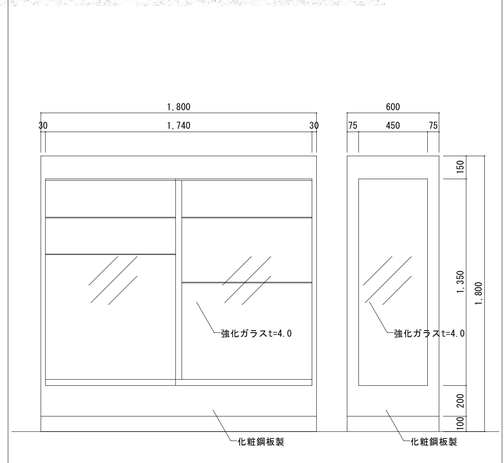
F－11	窓下戸棚・流し台	1ヶ所	1階　保健室



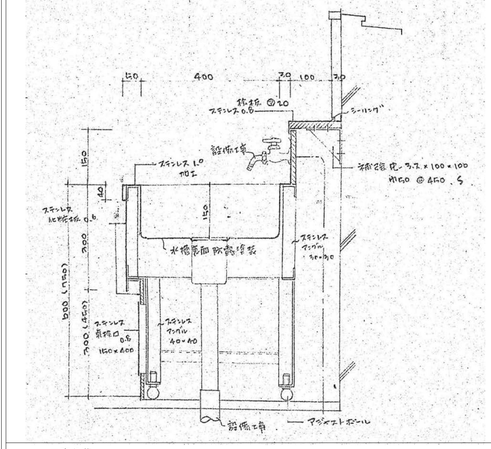
F－12	掃除用具入れ	2ヶ所	1階　保健室　職員室



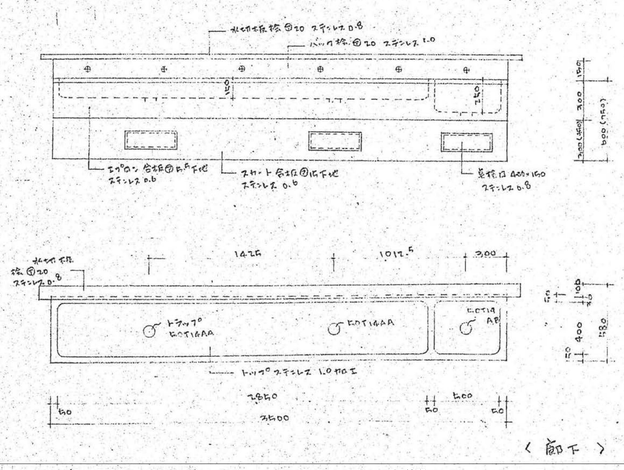
F－20	スチール製ガラス棚	1ヶ所	1階　校長室前廊下

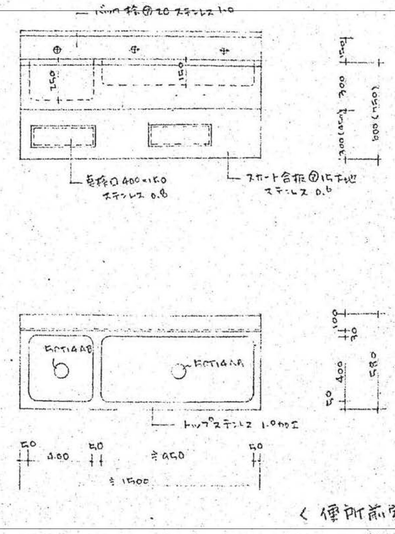


F－13	流し台・深流し台	計7ヶ所	各　室



F－16	流し台	計6ヶ所	各　室
F－23	流し台・深流し台	8ヶ所	1～4階　男子・女子WC前室



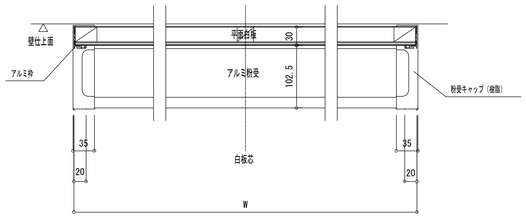


※高サオ法で（450）は中学校、600は小学校 但し小学校！
※下地ステンレスアングル等はSUS430でも可

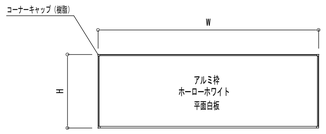
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	家具詳細図（撤去） ★	A1: 1:20 A3: 1:40 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録 222551 田中　富士夫	A－84

新設　アルミ枠 ホーローホワイト 平面白板

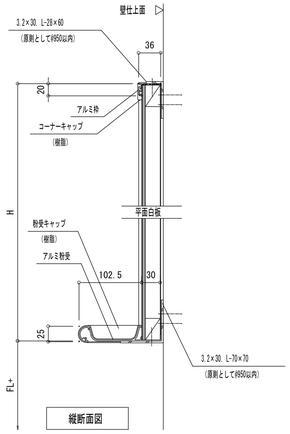
階	室 名	寸 法（W×H）	数 量	備 考
	職員室	3600×1100	1	幕線入
		1900×1200	1	
		1800×950	1	幕線入
		2900×950	1	
		600×900	3	
		580×900	5	
	C階段	2100×1000	1	幕線入
	図書室	2700×900	1	



横断面図



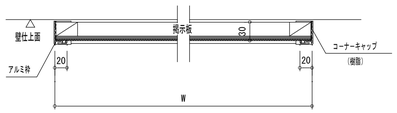
展開図 s=1／50



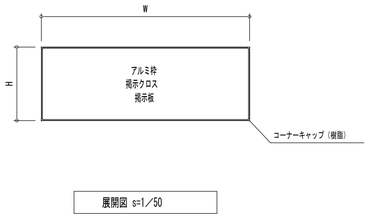
縦断面図

新設　アルミ枠　掲示板

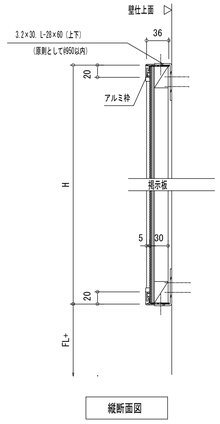
階	室 名	寸 法（W×H）	数 量	備 考
1	廊下	3540×1000	1	
2	図書室	1800×900	1	
	C階段	1800×900	2	



横断面図



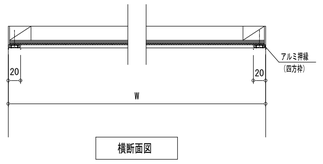
展開図 s=1／50



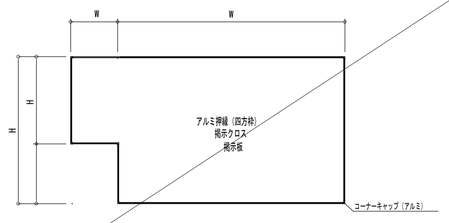
縦断面図

新設　アルミ押縁　掲示板（全面）

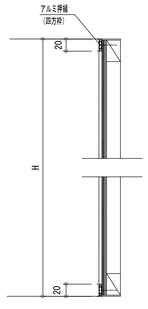
階	室 名	寸 法（W×H）	数 量	備 考
	ほっとルーム	6075×1220+560×700	1	背面
		5145×700+1490×1100	1	正面
2	普通教室	6075×1220+560×700	3	背面
		5145×700+1490×1100	3	正面
	学習室	6075×1220+560×700	3	背面
		5145×700+1490×1100	3	正面
3	特支	6175×1345+560×750	2	背面
		5195×800+1550×1150	2	正面
	特支 6-A	6175×1345+560×750	1	背面
		5195×800+1550×1150	1	正面
3,4	普通教室	6175×1345+560×750	7	背面
		5195×800+1550×1150	7	正面
	学習室	6175×1345+560×750	3	背面
		5195×800+1550×1150	3	正面
4	生徒会	6175×1345+560×750	1	背面
		5195×800+1550×1150	1	正面



横断面図



展開図 s=1／50



縦断面図

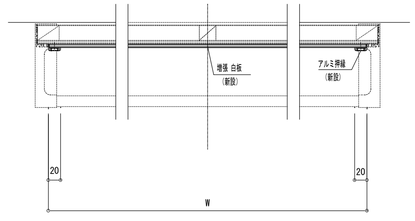
増張　ホワイトボード　増張り（アルミ押縁共）

ホーローホワイト

階	室 名	寸 法（W×H）	数 量	備 考
	職員室	3900×1500	1	行事入
	保健室	1800×900	1	

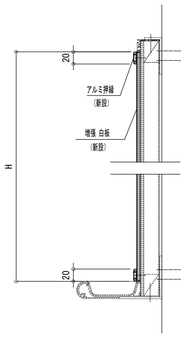
ナノホワイト（低反射）

階	室 名	寸 法（W×H）	数 量	備 考
4	生徒会	3600×1200	1	暗線入
		1585×1200	1	行事入



横断面図

展開図 s=1／50



縦断面図

：既存（再利用）

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	黒板他詳細図（1）	A1：1:5 A3：1:10	★	★	★	★	★

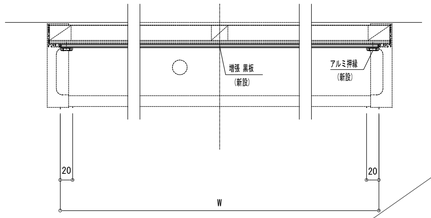
藤川設計株式会社

一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

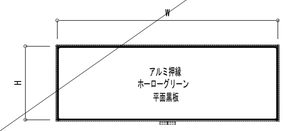
A－８５

増張　アルミ押縁 ホーローグリーン 平面黒板

階	室 名	寸 法 (W×H)	数 量	備 考
	ほっとルーム	3600×1200	1	暗線入
		1540×1200	1	行事入
2	普通教室	3600×1200	3	暗線入
		1540×1200	3	行事入
	学習室	3600×1200	3	暗線入
		1540×1200	3	行事入
3	特支	3600×1200	2	暗線入
		1580×1200	2	行事入
	特支 6-A	3600×1200	1	暗線入
		1580×1200	1	行事入
3,4	普通教室	3600×1200	7	暗線入
		1580×1200	7	行事入
	学習室	3600×1200	3	暗線入
		1580×1200	3	行事入

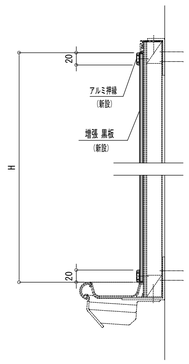


横断面図



展開図 s=1／50

：既存（再利用）

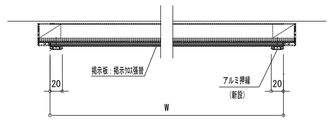


縦断面図

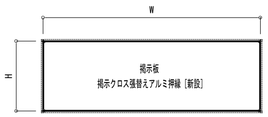
階	室 名	寸 法 (W×H)	数 量	備 考

貼替　アルミ押縁　掲示板

階	室 名	寸 法 (W×H)	数 量	備 考
	校長室	1875×900	1	
1	廊下	3800×920	2	
2	廊下	1800×900	1	
		1800×1200	1	
		3600×1200	1	
		3600×900	2	
3	廊下	1800×900	2	
		3600×900	1	
4	廊下	1800×900	1	
		3600×900	1	

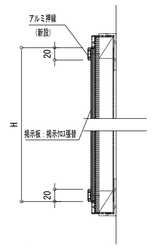


横断面図



展開図 s=1／50

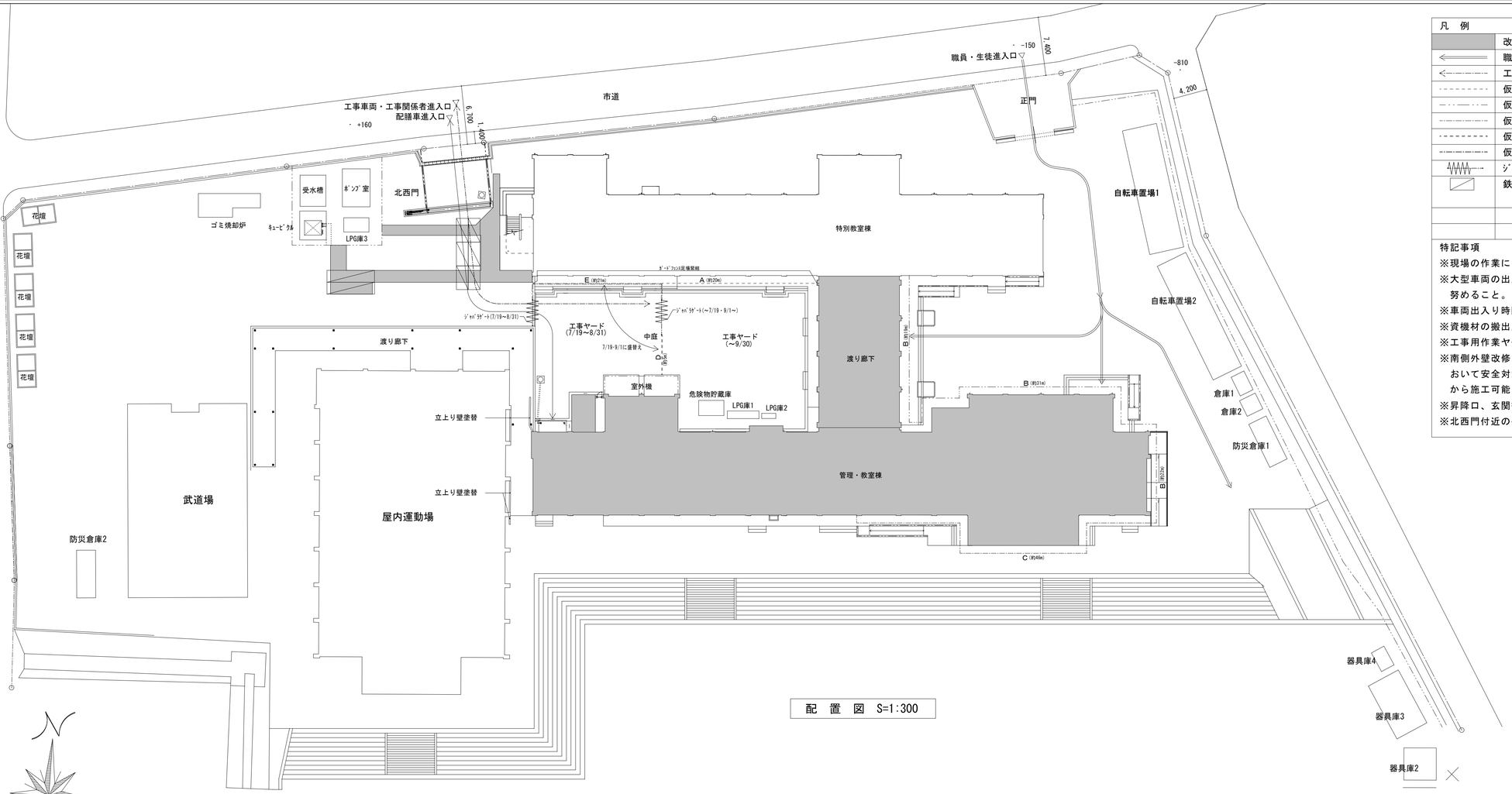
：既存（再利用）



縦断面図

階	室 名	寸 法 (W×H)	数 量	備 考

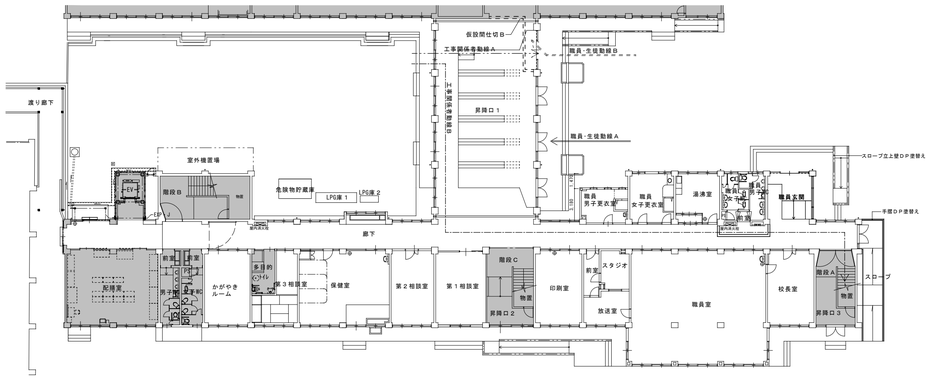
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	★ 黒板他詳細図（2）	★ A1：1:5 A3：1:10	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－８６



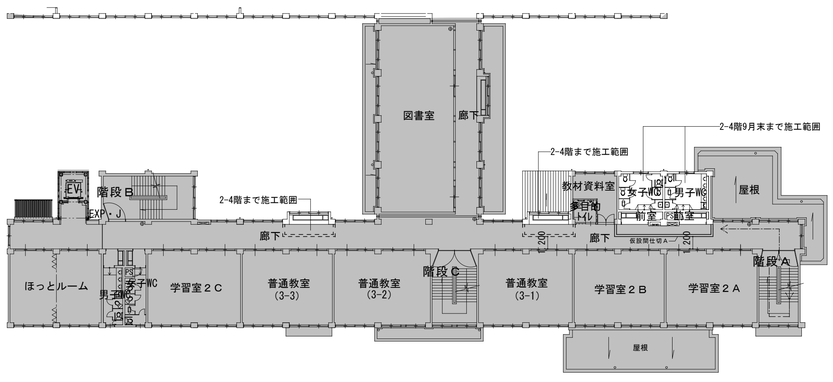
配　置　図　S=1:300

凡　例	
	改修範囲を示す。
⟸	職員・生徒進入口・配膳車進入経路を示す。
⟸	工事車両・工事関係者進入経路を示す。
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽH=1800 巾木付	仮囲いＡ（～9/30）※足場に緊結
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽH=1800 巾木付	仮囲いＢ（～7/19）※足場に緊結
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽH=1800 巾木付	仮囲いＣ（7/19～8/31）※足場に緊結
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽH=1800 巾木付	仮囲いＤ（～9/30）※位置替有
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽH=1800 巾木付	仮囲いＥ（～8/29）※一部位置替有
ｼﾞｬﾊﾞﾗｹﾞｰﾄ W3000 H1800	※盛替えを行う。
	鉄板敷(1500x3000・6000)t=22を示す。

特記事項
※現場の作業については、施設利用者等の安全に留意すること。
※大型車両の出入り時は、必要に応じて誘導員等を配置し、歩行者等の安全確保に努めること。
※車両出入り時間については、学校関係者及び監督職員と協議を行うこと。
※資機材の搬出入は第三者の安全に留意して、災害及び事故の防止に努めること。
※工事用作業ヤード及び搬入経路については、工事完了後に整地を行うこと。
※南側外壁改修については夏休み中の施工ですが、協議の上、受注者の責任において安全対策を行い、学校運営に支障のない作業内容に限定すれば、１学期から施工可能となる場合があります。
※昇降口、玄関等の出入口に足場を設置する場合、開口養生を行うこと。
※北西門付近の外構工事について、通行に支障がないよう安全対策を行うこと。



１階　平面図　S=1:300



２～４階　平面図　S=1:300

凡　例	
	工事範囲外を示す。
⟸	職員・生徒動線Ａ（～7/19・9/1～）
⟸	職員・生徒動線Ｂ（7/19～8/28）
⟸	工事関係者動線Ａ（～7/19）
⟸	工事関係者動線Ｂ（～9/30）
═══	仮設間仕切Ａ（7/19～9/30）
═══	仮設間仕切Ｂ（7/19～8/28）

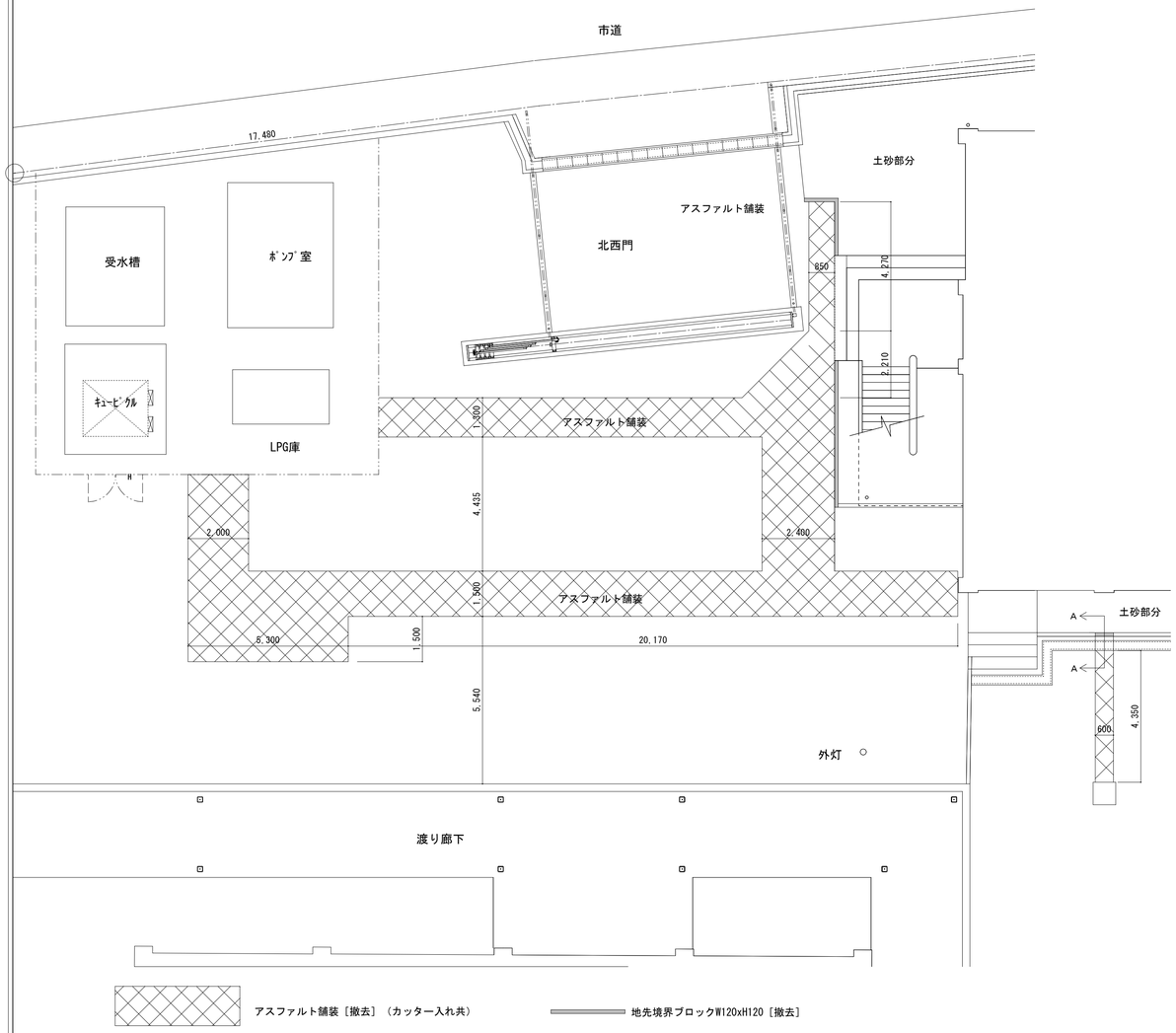
特記事項
※現場の作業については、施設利用者等の安全に留意すること。
※7/19までの期間及び9/1以降の期間について、工事関係者が通行する部分は床養生(ﾌﾞﾙｰｼｰﾄ等)を行うこと。
※車両出入り時間については、学校関係者及び監督職員と協議を行うこと。
※資機材の搬出入は第三者の安全に留意して、災害及び事故の防止に努めること。
※出入口については、開口養生を行うこと。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	仮設図	A1: 1:300 A3: 1:600					
★	★	★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

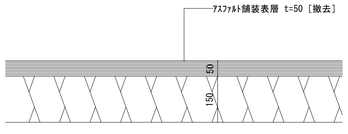
A－８７

改修前外構図 （北西門　地中埋設配管部分舗装）

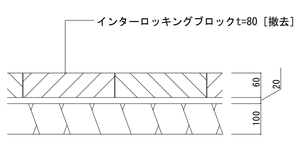


アスファルト舗装［撤去］（カッター入れ共）　　地先境界ブロックW120xH120［撤去］

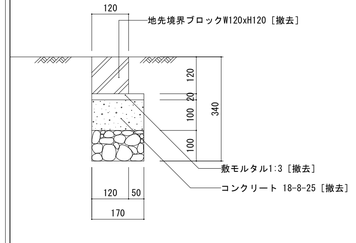
アスファルト舗装　詳細図　S=1/10



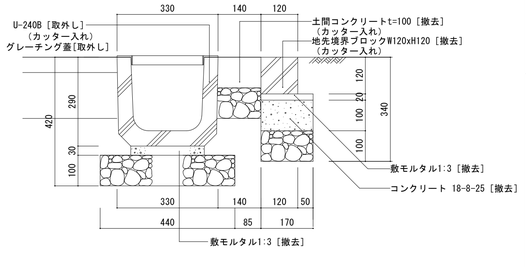
インターロッキングブロック舗装　撤去詳細図　S=1/10

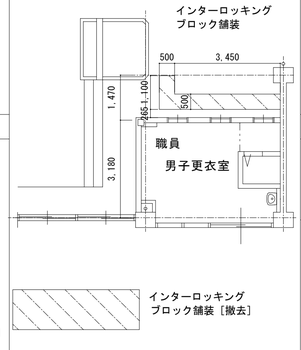


地先境界ブロック　詳細図　S=1/10

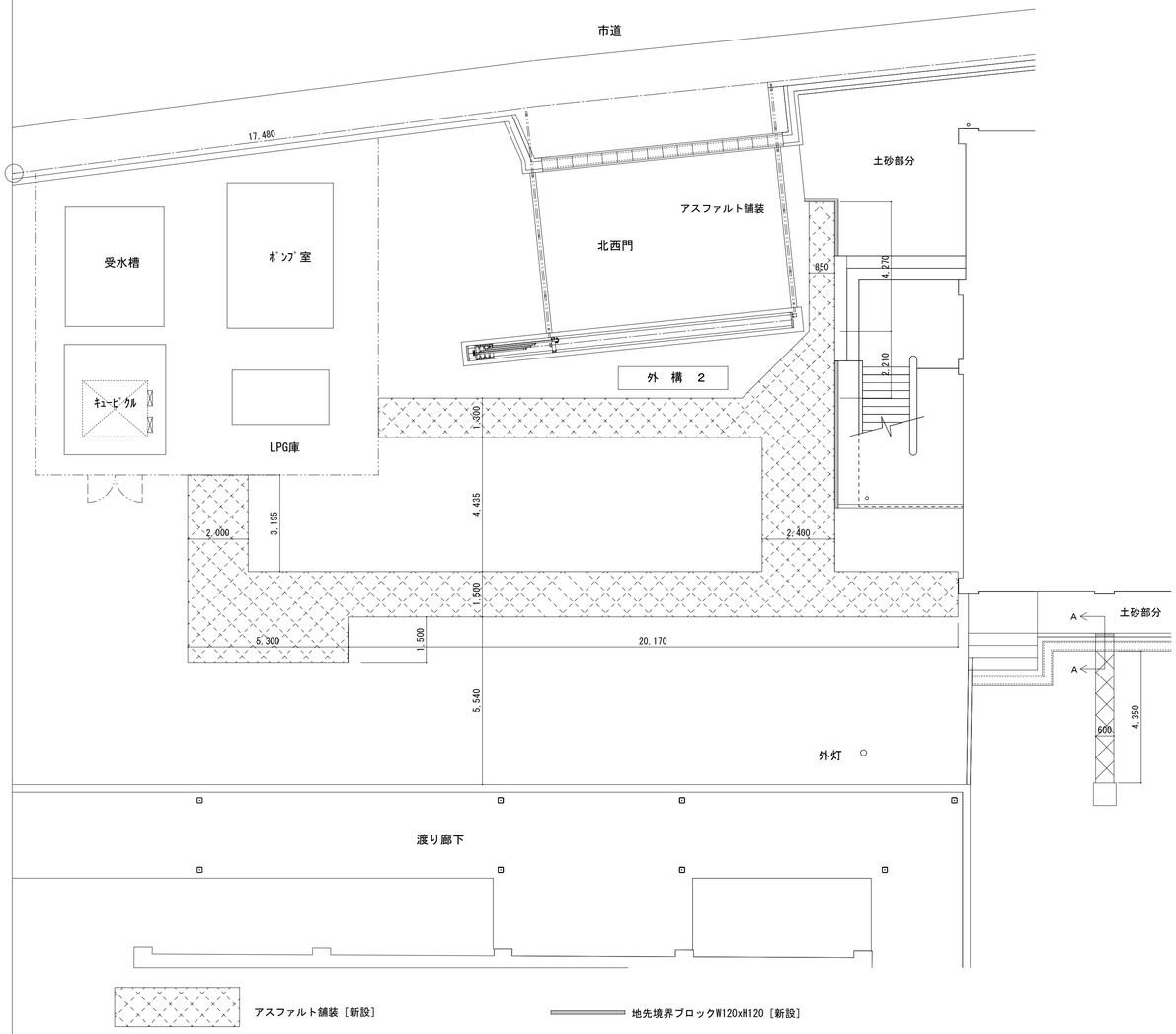


Ａ－Ａ　断面詳細図　S=1/10



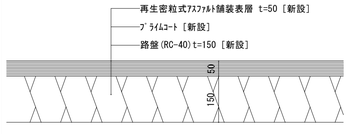


改修後外構図 （北西門　地中埋設配管部分舗装）

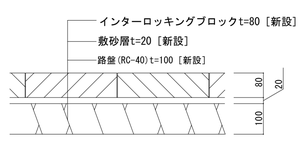


アスファルト舗装［新設］　　地先境界ブロックW120xH120［新設］

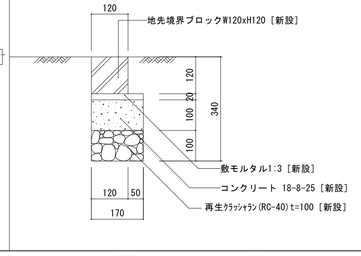
アスファルト舗装　詳細図　S=1/10



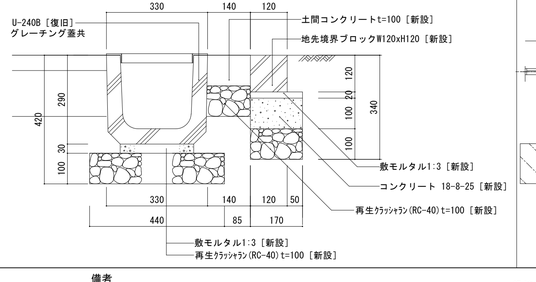
インターロッキングブロック舗装　新設詳細図　S=1/10

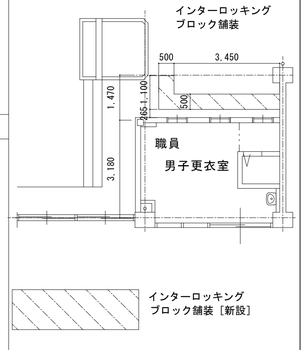


地先境界ブロック　詳細図　S=1/10



Ａ－Ａ　断面詳細図　S=1/10





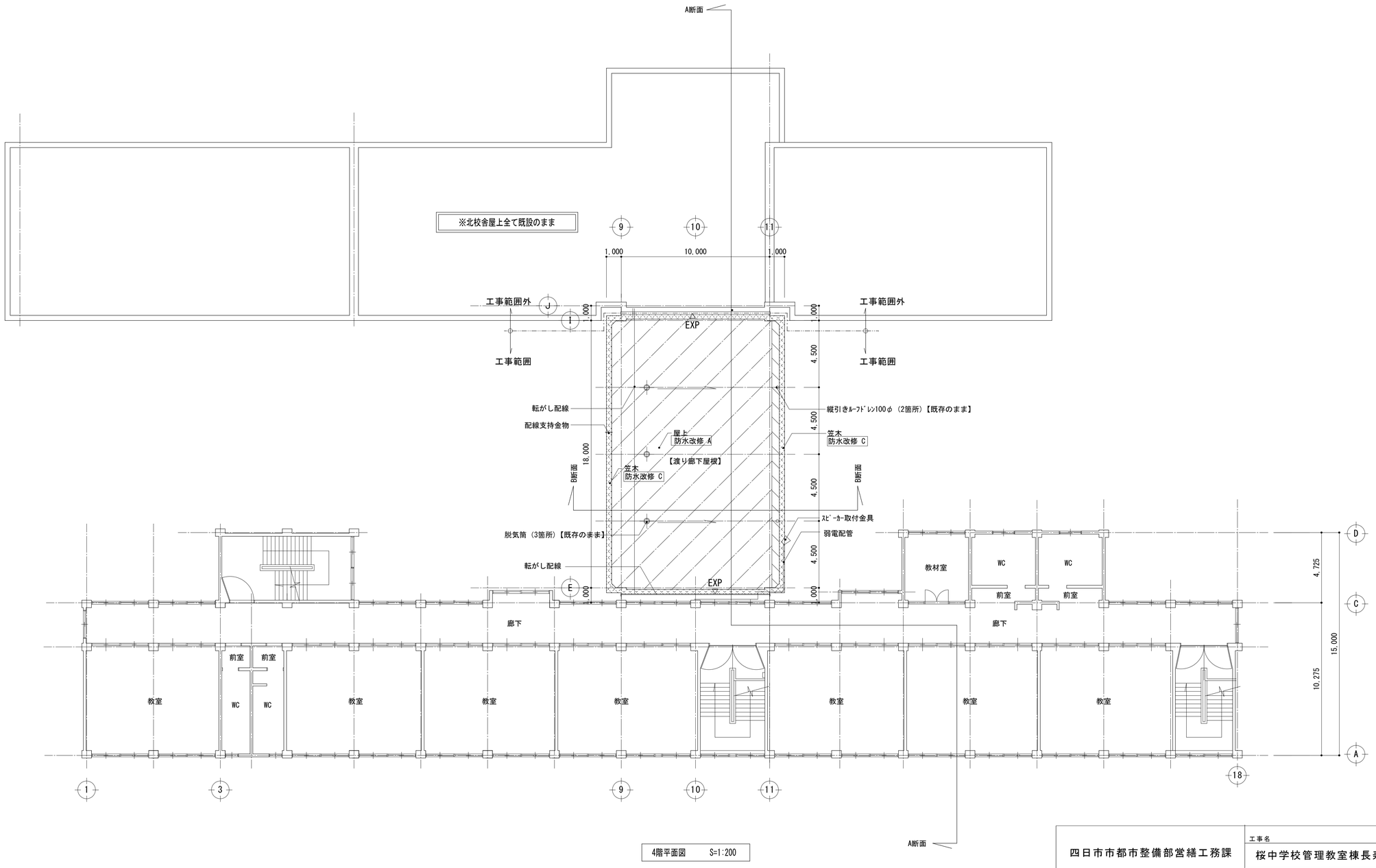
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）★	外構図 ★	A1: 1:200 A3: 1:400 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

A－８８

屋上防水改修仕様

防水仕様A 平部 溝 平部	改修前	改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水（平部ASI-T1、溝・立上部：AS-T1） 端末押え金物【既存のまま】+取り合いｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2 W10）【撤去】 鋼製改修用縦引きﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ100φ用　ｱﾙﾐﾄﾞﾚﾝｷｬｯﾌﾟ付き （2箇所）【既存のまま】 脱気筒　ＳＵＳ製（3箇所）【既存のまま】	防水仕様C	改修前	ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水(X-2)	特記事項 防水改修該当箇所は、施工前に水洗い清掃を行うこと。 立上り側面取付配管･配線支持金物･ｽﾋﾟｰｶｰ支持金物：取り外し復旧 設備機器等　周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ処理はMS-2 W10とする。 ※既存防水層に損傷を与える恐れがあるものは取り外ししないものとする。 防水改修範囲内にある配管･配線は、特記なき限り全てｼﾞｬｯｷｱｯﾌﾟ等 養生を行うこと（架台・基礎ﾌﾞﾛｯｸ共） 特記なき限り、基礎下等の防振ｺﾞﾑｼｰﾄについては、一時取り外し復旧とする。 屋上防水改修を行う際に、外部足場が設置されない面については、 親綱スタンションにて落下防止を行うこと。
	改修後	平部・溝平部・立上部・ﾄﾞﾚﾝ廻り：水洗い+トップコートのみ塗替 （トップコート：遮熱仕様） 端末押え金物【既存のまま】+取り合いｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2 W10）【新設】		改修後	水洗い+トップコートのみ塗替 （トップコート：遮熱仕様）	



4階平面図　S=1:200

四日市市都市整備部営繕工務課 一級建築士　登録　第　　号 四日市市諏訪町１番５号	工事名 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）		
日付	図面名	縮尺	図面番号
年　月	防水4階平面図	—	A-89 ／

屋上防水改修仕様

防水仕様A 平部 溝 平部	改修前	改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水（平部AS1-T1、溝・立上部：AS-T1） 端末押え金物【既存のまま】+取り合いｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2 W10）【撤去】 銅製改修用縦引きﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ100φ用　ｱﾙﾐﾄﾞﾚﾝｷｬｯﾌﾟ付き（8箇所）【既存のまま】 脱気筒　ＳＵＳ製（14箇所）【既存のまま】
	改修後	平部・溝平部・立上部・ﾄﾞﾚﾝ廻り：水洗い+トップコートのみ塗替（トップコート：遮熱仕様） 端末押え金物【既存のまま】+取り合いｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2 W10）【新設】

防水仕様C	改修前	ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水(X-2)
	改修後	水洗い+トップコートのみ塗替（トップコート：遮熱仕様）

屋上点検口	改修前	屋上点検口　ｽﾁｰﾙ製　【既存のまま】 PS立上り蓋　ｽﾁｰﾙ製　【既存のまま】
PS立上り蓋	改修後	屋上点検口　ｽﾁｰﾙ製　【既存のまま】 PS立上り蓋　ｽﾁｰﾙ製　【既存のまま】

建物識別番号表示要領　塗装仕様

○塗　　装　・塗装規格　路面表示用塗料常温型　ＪＩＳ－Ｋ5665　1種とする。
・ガラスビーズ　ガラスビーズ（ＪＩＳ－Ｒ3301）を文字の塗装表面に ムラのないよう散布し、付着させるものとする。
・色　　彩　原則白色又はオレンジ色とする。

○そ の 他　塗装時に特に指定する箇所以外は焼き付けを行わないこととし、適切な養生を施すこととする。

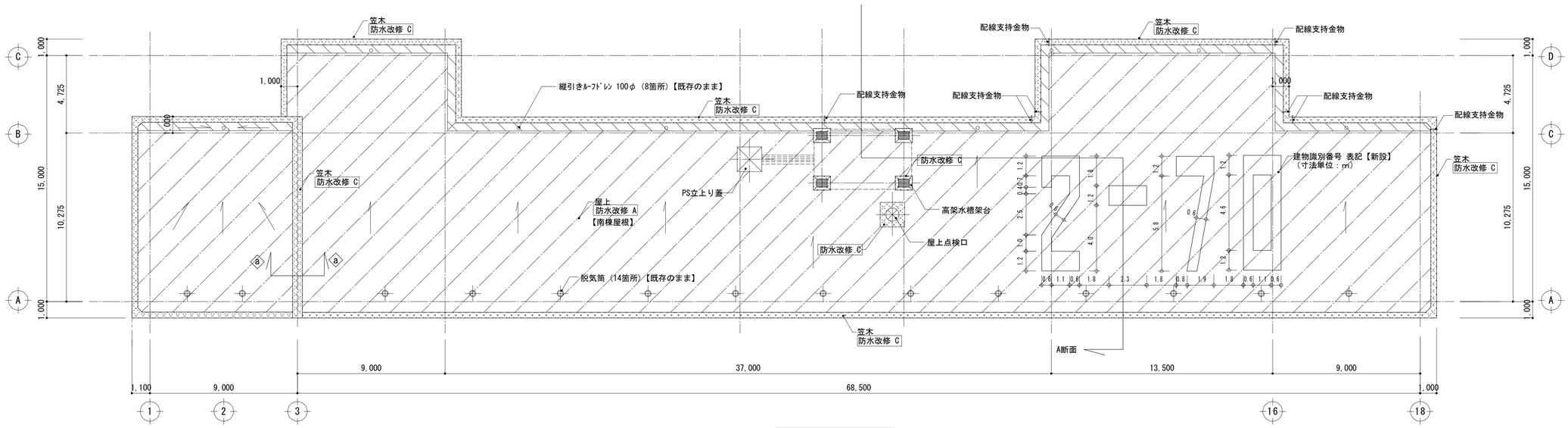
特記事項

防水改修該当箇所は、施工前に水洗い清掃を行うこと。

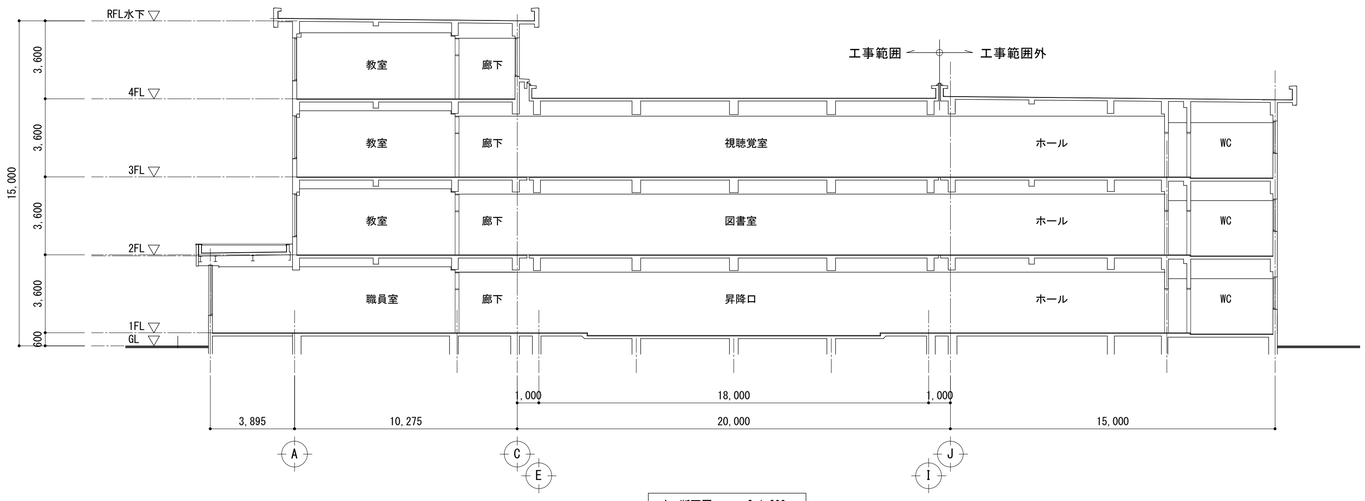
立上り側面取付配管・配線支持金物・ｽﾋﾟｰｶｰ支持金物：取り外し復旧
設備機器等　周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ処理はMS-2 W10とする。
※既存防水層に損傷を与える恐れがあるものは取り外ししないものとする。

防水改修範囲内にある配管・配線は、特記なき限り全てｼﾞｬｯｷｱｯﾌﾟ等養生を行うこと（架台・基礎ﾌﾞﾛｯｸ共）

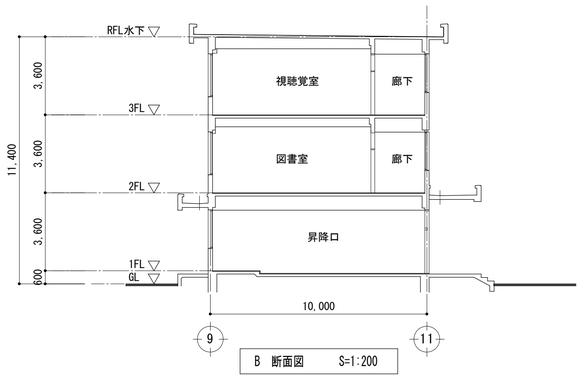
特記なき限り、基礎下等の防振ｺﾞﾑｼｰﾄについては、一時取り外し復旧とする。
屋上防水改修を行う際に、外部足場が設置されない面については、親綱スタンションにて落下防止を行うこと。



屋上平面図　S=1:200



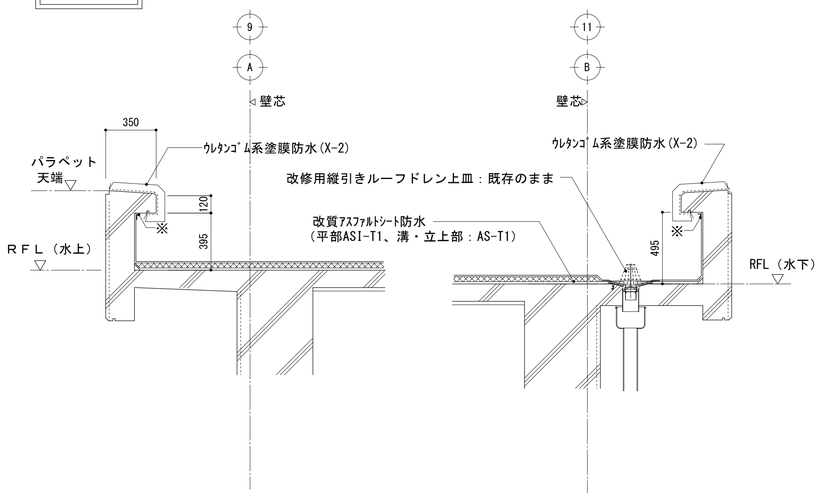
A　断面図　S=1:200



B　断面図　S=1:200

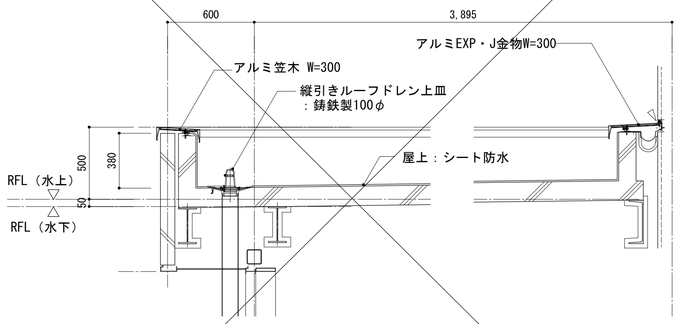
四日市市都市整備部営繕工務課 一級建築士　登録　第　　号 四日市市諏訪町１番５号	工事名	桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）	
	日付	図面名	縮尺	図面番号
	年　月	防水Ｒ階平面図	—	A-90

現　況

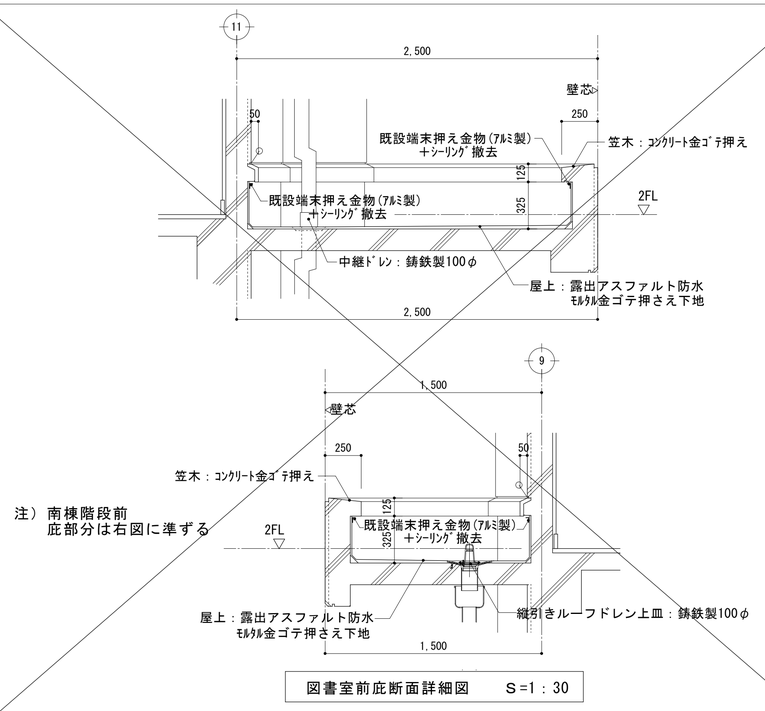


南棟屋根断面詳細図　　S=1：30

渡り廊下屋根部分は上図に準ずる



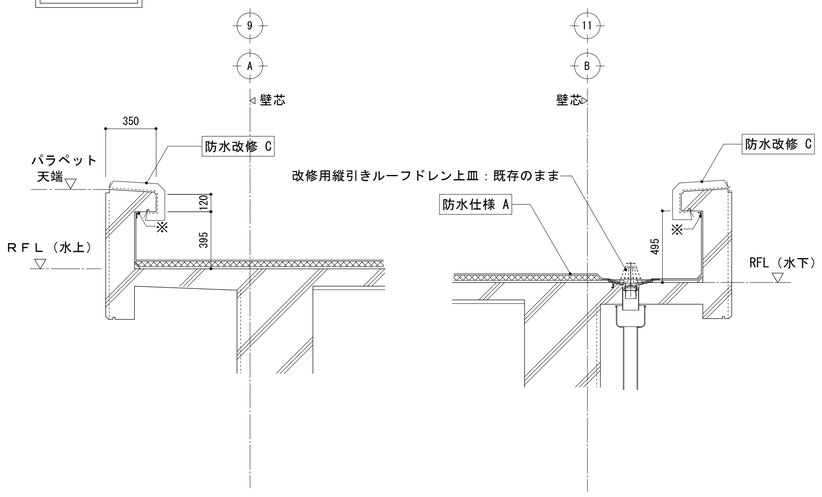
職員室屋根断面詳細図　　S=1：30



注）南棟階段前
庇部分は右図に準ずる

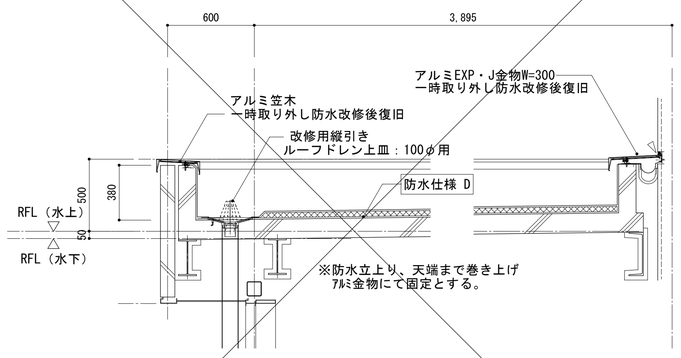
図書室前庇断面詳細図　　S=1：30

改修後

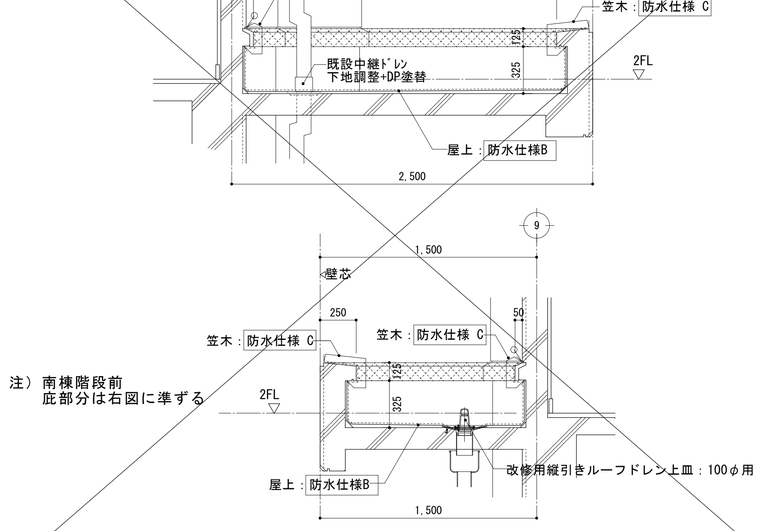


南棟屋根断面詳細図　　S=1：30

渡り廊下屋根部分は上図に準ずる



職員室屋根断面詳細図　　S=1：30



注）南棟階段前
庇部分は右図に準ずる

図書室前庇断面詳細図　　S=1：30

各部防水改修仕様は平面図リスト参照

特記事項
※部分・・端末押え金物：既存のまま
取り合いｼｰﾘﾝｸﾞ打ち換え(MS-2 W10)を示す
― 取り合いｼｰﾘﾝｸﾞ打ち換え(MS-2 W10)を示す
― 取り合いｼｰﾘﾝｸﾞ打ち換え(MS-2 W10)を示す

四日市市都市整備部営繕工務課

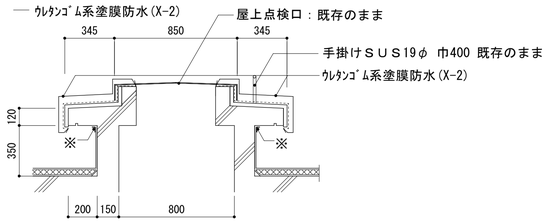
一級建築士　登録　第　　号

四日市市諏訪町１番５号

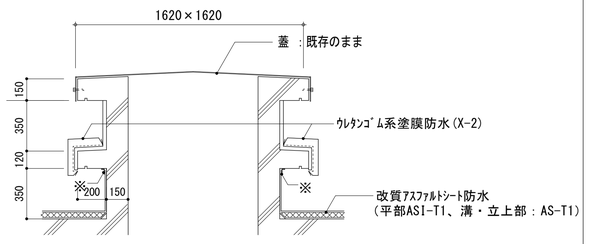
工事名
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）

日付	図面名	縮尺	図面番号
年　月	防水詳細図（１）	—	A-91 /

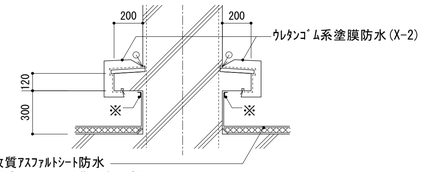
現　況



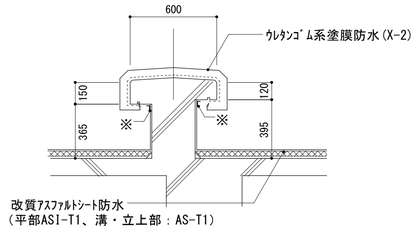
屋上点検口部分　　S=1：30



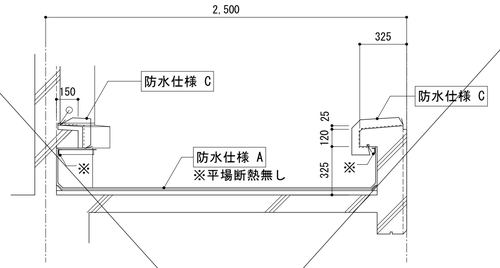
屋上ＰＳ部分　　S=1：30



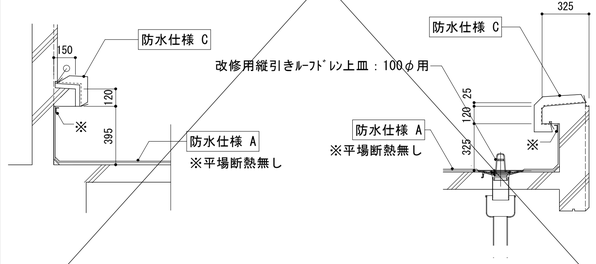
高架水槽架台柱型立上り部分　　S=1：30



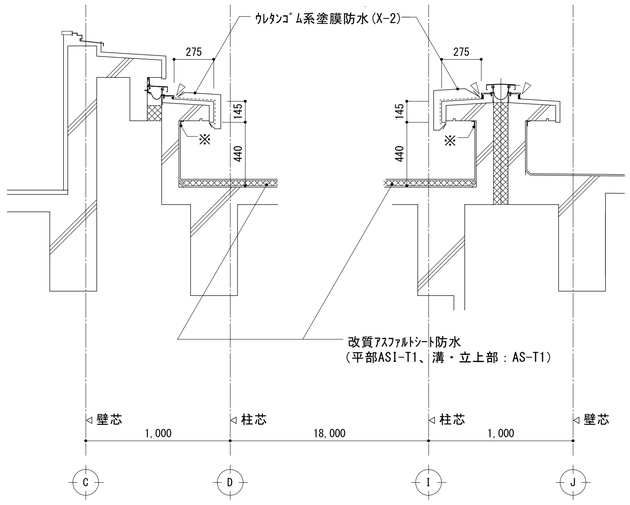
屋上 ◇a－a◇ 部分　　S=1：30



職員玄関屋根断面詳細図　　S=1：30

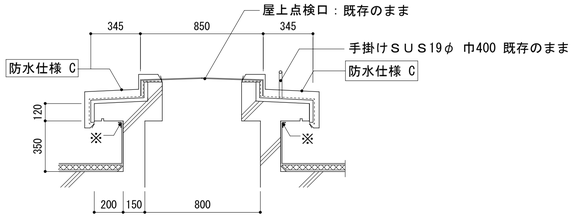


職員玄関屋根断面詳細図　　S=1：30

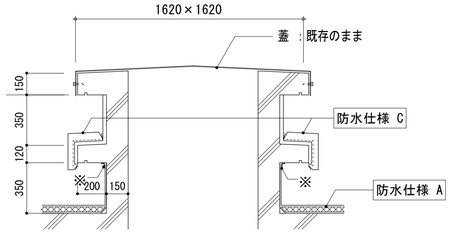


渡り廊下屋根断面詳細図　　S=1：30

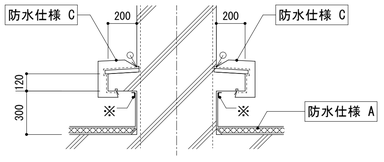
改修後



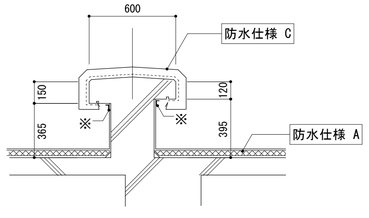
屋上点検口部分　　S=1：30



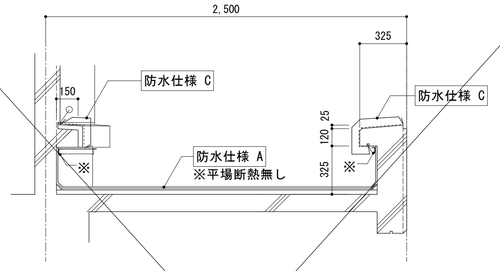
屋上ＰＳ部分　　S=1：30



高架水槽架台柱型立上り部分　　S=1：30

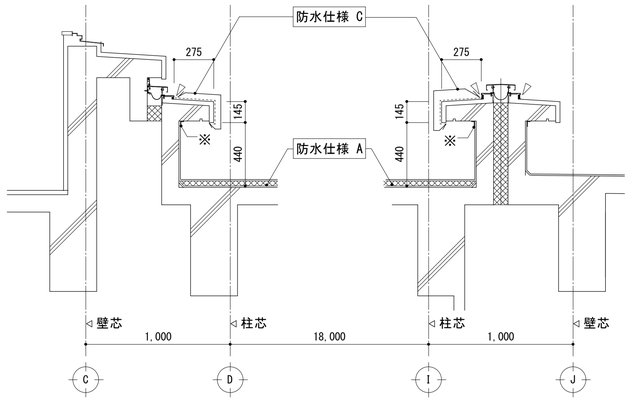


屋上 ◇a－a◇ 部分　　S=1：30



職員玄関屋根断面詳細図　　S=1：30

職員玄関屋根断面詳細図　　S=1：30



渡り廊下屋根断面詳細図　　S=1：30

※各部防水改修仕様は平面図リスト参照

特記事項
※部分・・端末押え金物：既存のまま
　取り合いｼｰﾘﾝｸﾞ打ち換え(MS-2 W10)を示す
― 取り合いｼｰﾘﾝｸﾞ打ち換え(MS-2 W10)を示す
― 取り合いｼｰﾘﾝｸﾞ打ち換え(MS-2 W10)を示す

四日市市都市整備部営繕工務課

一級建築士　登録　第　　号

四日市市諏訪町１番５号

工事名
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（１期工事）

日付	図面名	縮尺	図面番号
年　月	防水詳細図（２）	—	A-92 /

桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） 設計図

仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事場所　　四日市市　桜町　地内

2．建物概要

建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積（㎡）	消防法施行令別表第一	備考
桜中学校	RC造	地上４階建一部Ｓ造	4,329.00	7項	

3．工事種目（○印の付いたものを適用する）

建物別及び屋外 / 工事種目	工事種別					
	桜中学校					
⊙ 電灯設備	改修 一式					
⊙ 動力設備	改修 一式					
・ 電気自動車用充電設備						
・ 電熱設備						
・ 雷保護設備						
・ 受変電設備						
・ 発電設備						
⊙ 構内情報通信網設備	改修 一式					
・ 構内交換設備						
⊙ 情報表示設備	改修 一式					
・ 映像・音響設備						
⊙ 拡声設備	改修 一式					
⊙ 誘導支援設備	改修 一式					
⊙ テレビ共同受信設備	改修 一式					
⊙ 防犯カメラ設備	改修 一式					
・ 駐車場管制設備						
・ 防犯・入退室管理設備						
⊙ 火災報知設備	改修 一式					
・ 中央監視制御設備						
・ 構内配電線路						
・ 構内通信線路						
・ テレビ電波障害除去工事						
⊙ 撤去工事	改修 一式					

4．指定部分　⊙無　・有（　部位：　　）
指定部分工期　令和　　年　　月　　日

Ⅱ．工事仕様

1．共通仕様
（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○印の付いたものによる。
⊙ 公共建築工事標準仕様書　（電気設備工事編）（令和４年版）（以下、「標準仕様書」という。）
⊙ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和４年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）
⊙ 公共建築設備工事標準図　（電気設備工事編）（令和４年版）（以下、「標準図」という。）

2．特記仕様
項目及び特記事項は○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項
1 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・ 風圧力 風速　(V0＝34m/s) 地表面粗度区分（　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ　） ・ 積雪荷重 垂直積雪量（ 0.3m ）
② 環境への配慮	（1）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 （2）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは、次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ① 建築基準法施行令第20条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第20条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③ 建築基準法施行令第20条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④ 建築基準法施行令第20条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 （3）「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」に基づく特定調達物品等に関する判断の基準は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成27年2月閣議決定）」による。

項目	特記事項
③ 材料・機材の品質等	（1）本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有するべき品質及び性能を有するものとする。 （2）下表に示す材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

機材名称	
ＬＥＤ照明器具	高圧進相コンデンサ
照明制御装置	高圧限流ヒューズ
可変速電動機用インバータ装置	高圧負荷開閉器
分電盤	高圧変圧器（特定機器）
制御盤	交流無停電電源装置
キュービクル式配電盤	太陽光発電装置
	（ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅ及び系統連係保護装置）
高圧スイッチギア（ＣＷ形、ＰＷ形）	防犯カメラ装置
高圧交流遮断器	中央監視制御装置（監視制御装置）

④ 電源周波数	・ ５０Ｈｚ ⊙ ６０Ｈｚ
⑤ 電気工作物の種類	⊙ 事業用電気工作物 ・ 一般用電気工作物 電気保安技術者 ・ 要　⊙ 不要
⑥ 電気工事士	契約電力５００ｋＷ以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。
7 工事用仮設物	すべて受注者の負担とする。 構内につくことが　・ できる　・ できない
8 足場その他	・ 別契約の関係受注者が定置したものは、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置とする。（改修標準仕様書 第１編 2.2.2によるほか下記による。） 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の（２）手すり据え置き方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行う。 ・ 内部足場の種別（　・　　） ・ 外部足場の種別（　・くさび緊結式（手すり先行工法）　・　　）
9 仮設備工事	仮設備期間（　・ 図示　　・　　） 仮電源等　（　・ 受変電設備　・ 発電設備　・ 電灯設備　・ 図示　　）
10 養生	養生範囲　（　・ 図示　　・　　） 養生方法　（　・　　・　　）
⑪ 施工調査	⊙ はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行うこと。 ・ 石綿含有分析調査（定性分析により石綿が含有されている場合は、定量分析を実施する。） ・ 既設埋設配管等を切断または接続する箇所は、事前に試掘調査を行うこと。
12 非破壊検査等	構造部等の機械はつり箇所は、非破壊検査等による埋設物の調査を行い、監督職員に報告書を提出する。 なお、放射線透過検査による場合は特記とし、撮影枚数は、１枚以上／部位とする。
13 穿孔作業	既存躯体に穿孔する場合は金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を使用する。
⑭ 耐震安全性の分類と耐震施工	（1）設備機器、電気配線の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。（100kg以上の機器を対象とする。） 1)設計用水平地震力 機器の重量[ｋＮ]に、設計用水平震度を乗じたものとする。 なお特記なき場合、設計用水平震度は次による。

設計用水平震度

設置場所	機器種別	⊙ 特定の施設		・ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階・屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・１階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

※水槽類には、オイルタンク等を含むものとする。

上層階とは、２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３階、１３階建以上の場合は上層４層とする。
中間階とは、地階、１階を除く各階で上層階に該当しないものとする。

重要機器
⊙ 配電盤　・ 発電装置　・ 直流電源装置　・ 交流無停電電源装置
・ 交換機　・ 火災報知受信機　・ 中央監視制御装置
・ キュービクル　・ その他（　　）

2)設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。

15 交通安全管理	交通誘導員　・ 配置する　名以上（大型車の出入は必ず）　・配置しない ・ 交通誘導警備員Ａ　・ 交通誘導警備員Ｂ

項目	特記事項
⑮ 建設発生土の処理	・ 埋戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。 ⊙ 構外搬出適切処理とする。 ※建設発生土を搬出する場合は、事前に書面にて処分地の報告(位置図等)を行い、処分地での処理状況が分かる写真を提出すること。また、処分地が民有地の場合、土地所有者からの建設発生土受入承諾書の写しを提出すること。
⑯ 電線本数、管路等	分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配管・配線は、経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員の承諾を受けて変更しても差し支えない。 また、機械室等の床埋設配管は図面上 PF管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。
⑰ 金属製電線管の塗装・仕上げ	下記の金属製電線管の露出配管は塗装、めっき等の仕上げを行う。 ⊙ 屋外（内外面溶融亜鉛メッキ仕上げ箇所：全て（塗装箇所除く） ・ 屋内（　内外面溶融亜鉛メッキ仕上げ箇所　地階、ピット階　） ⊙ 塗装（ ⊙ 屋内　・ 屋外　・ 全て　・ 図示　）
⑱ フラッシュプレート	図面に特記なき場合は、⊙ 金属製（ステンレス、新金属も含む）　・ 樹脂製　とする。
19 電線類	EM-UTPケーブルは、用途に応じ色分けすること。
20 二重床内器具	二重床内に設置する器具の位置表示として、マーキングを直上の天井面に付けること。 また、用途に応じ色分けすること。
21 インバータ装置の規約効率	三相可変速電動機用インバータ装置の規約効率は次の数値以上とする。

電動機出力（kW）	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45
規約効率　（%）	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5

備考（１）規約効率は、JET-TR245「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。
（２）規約効率は、JIS Ｃ 4212「高効率低圧三相かご形誘導電動機」の定格電圧200V、IP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

22 高効率誘導電動機の配線用遮断器等の選定	高効率誘導電動機回路保護用の配線用遮断器等の選定は下記による。

200V三相誘導電動機回路の器具容量等

電動機		器具容量、コンデンサ回路の配線							
定格出力[kW]	定格電流（参考値）[A]	配線用遮断器等 [A] 直入始動 MCCB	Y-Δ始動 MCCB	インバータ入力側 [A]	電流計 [A]	コンデンサ回路 接続する電線[SW-Cの最小太さ[mm²]] 長さ8m以下	長さ3m以下	コンデンサ［μF］ 50Hz	60Hz
0.2	1.8	15	—	15	3	2.0	2.0	15	10
0.4	3.2	15	—	15	5	2.0	2.0	20	15
0.75	4.8	15	—	15	5	2.0	2.0	30	20
1.5	8	30	—	15	10	2.0	2.0	40	30
2.2	11.1	40	—	20	10	2.0	2.0	50	40
3.7	17.4	75	—	30	20	2.0	2.0	75	50
5.5	26	100	60	50	30	3.5	2.0	100	75
7.5	34	125	75	60	50	3.5	2.0	150	100
11	48	125	125	75	60	8.0	2.0	200	150
15	65	125	150	125	60	8.0	2.0	250	200
18.5	79	150	175	125	100	14	3.5	300	250
22	93	175	200	150	100	14	3.5	400	300
30	124	250	300	200	150	14	5.5	500	400
37	152	300	350	225	200	14	8.0	600	500
45	190	400	450		200				
55	228	450	500		250				

400V三相誘導電動機回路の器具容量等

電動機		器具容量、コンデンサ回路の配線							
定格出力[kW]	定格電流（参考値）[A]	配線用遮断器等 [A] 直入始動 MCCB	Y-Δ始動 MCCB	インバータ入力側 [A]	電流計 [A]	コンデンサ回路 接続する電線[SW-Cの最小太さ[mm²]] 長さ8m以下	長さ3m以下	コンデンサ［μF］ 50Hz	60Hz
0.2	0.9	15	—	—	3	2.0	2.0	5	5
0.4	1.6	15	—	15	3	2.0	2.0	5	5
0.75	2.4	15	—	15	5	2.0	2.0	7.5	5
1.5	4	15	—	15	5	2.0	2.0	10	7.5
2.2	5.5	20	—	15	10	2.0	2.0	15	10
3.7	8.7	30	—	15	10	2.0	2.0	20	15
5.5	13	40	30	30	15	2.0	2.0	25	20
7.5	17	75	40	30	20	2.0	2.0	40	25
11	24	100	60	50	30	3.5	2.0	50	40
15	32	125	75	60	30	3.5	2.0	75	50
18.5	39	125	100	75	60	3.5	2.0	75	75
22	46	125	100	100	60	8.0	2.0	100	75
30	62	125	150	125	60	8.0	2.0	125	100
37	76	150	175	125	100	8.0	3.5	150	125
45	95	200	225	150	100	8.0	3.5	200	150
55	115	225	300	175	150	14	5.5	250	200
75	155	300	350	225	150	14	8.0	300	250
90	180	350	400	300	200	22	8.0	300	250
110	220	450	500	350	250	22	8.0	397	300

項目	特記事項
㉓ 接地極	接地極の材料は下記による。なお接地棒ＥＢ(14φ)の長さは 1,500mm 以上とし、10φは Ｗ＝30 Ｌ＝900mm 以上、14φは、Ｗ＝40 Ｌ＝1,200mm 以上としても差し支えない。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極（参考）
・ 共同接地	$E_{A,B,C}$	Ω以下	ＥＢ(14φ)×3連一 組
・ 共同接地	$E_{A,B,C}$	10Ω以下	ＥＢ(14φ)×3連－3組
・ Ａ種	E_A	10Ω以下	ＥＢ(14φ)×3連－2組
・ Ｂ種	E_B	Ω以下	ＥＢ(14φ)×3連－2組
⊙ Ｄ種	E_D	100Ω以下	ＥＢ(10φ)×1 （Ｌ＝1,000mm）
・ Ｃ種	E_C	10Ω以下	ＥＢ(14φ)×3連－2組
・ 高圧避雷器用	E_{LH}	10Ω以下	ＥＢ(14φ)×3連－3組
・ 低圧避雷器用	E_{LL}	10Ω以下	ＥＢ(14φ)×3連－2組
・ 構造体接地			
・ 交換機用	E_T	10Ω以下	ＥＢ(14φ)×3連－3組
・ 通信用	E_{KI}	10Ω以下	ＥＢ(14φ)×3連－3組
・ 通信用	E_{DI}	100Ω以下	ＥＢ(10φ)×1 （Ｌ＝1,000mm）
・ 電話引込口の保安器用	E_{LL}	100Ω以下	ＥＢ(10φ)×1 （Ｌ＝1,000mm）
・ 測定用	E_S		ＥＢ(10φ)×1 （Ｌ＝1,000mm）

24 天井仕上げ表示	図面において、室名に（ ）を付したものは直天井を示し、それ以外は二重天井の部屋を示す。
㉕ 取付高さ	壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名称	測点	取付高さ [mm]
プラケット（一般）	床上 ～ 中心	2,100
〃 （踊場）	〃	2,500
〃 （鏡上）	鏡上端 ～ 中心	150
スイッチ （一般）	床上 ～ 中心	1,200
〃 （多機能便所用）	〃	1,200
自動スイッチ （照明、換気扇用等）	〃	1,800
ｺﾝｾﾝﾄ，電話用ｱｳﾄﾚｯﾄ，ﾃﾚﾋﾞ端子（一般）	〃	300
〃 （和室）	〃	150
〃 （台上）	台上 ～ 中心	150
コンセント（土間）	床上 ～ 中心	800 ～ 1,300
コンセント（電動車いす充電用）	〃	900
引込開閉器箱（低圧）	床上 ～ 上端	1,500
分電盤，制御盤，実験盤	床上 ～ 中心	1,500（上端1,900以下）
開閉器箱	〃	1,500
電磁開閉器用押しボタン	〃	1,200
接地用端子箱	地上，床上 ～ 中心	500
試験用接続端子箱	床上 ～ 下端	800
接地極埋設標	地上 ～ 中心	600
給油ボックス	地上 ～ 給油口	1,000
室内端子盤（廊下・室内）	床上 ～ 下端	300
中間端子盤（ＥＰＳ・電気室）	床上 ～ 中心	1,500
壁付電話機	〃	1,300
親時計	〃	1,500（上端1,900以下）
子時計，スピーカ	〃	（天井高）×0.9
アッテネータ	〃	1,200
表示盤	〃	（天井高）×0.9
発信器（出退表示用）	〃	1,200
外部受付用インターホン（子機）	〃	標準図による
壁付インターホン （上記以外）	〃	1,100
呼出ボタン（多機能便所用）	〃	900
復帰ボタン（　〃　）	〃	1,300
廊下表示灯（　〃　）	〃	2,000
テレビ機器収容箱	天井下 ～ 上端	200
火報受信機（複合盤）	床上 ～ 操作部	800 ～ 1,500
副受信機	床上 ～ 中心	1,500
機器収容箱（火災報知設備）	〃	800 ～ 1,500
発信機	〃	800 ～ 1,500
警報ベル	〃	（天井高）×0.9
表示灯（火災報知設備）	〃	（天井高）×0.8
連動制御器（自動閉鎖）	〃	1,500
ガス漏れ検知器（重ガス）	〃	300
ガス漏れ検知器（軽ガス）	天井面 ～ 中心	（天井高）－200

（参考）天井面を基準とする取付高は、天井高さが 2,500mm から 3,000mm の場合に適用する。
天井高さが 3,000mm 以上の場合及び機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。

26 他工事又は他工種との取り合い	工事区分表による。　ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議する。
27 資源有効利用促進	※本工事が資源の有効な利用の促進に関する法律（平成三年法律第四十八号）の規定により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合（下記内容該当工事）は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。 ・ 建設副産物を搬出する際の計画 1. 土砂500m3以上 2. コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材の合計が200t以上 ・ 再生資材を利用する際の計画 1. 土砂500m3以上 2. 砕石500t以上 3. 加熱アスファルト200t以上

図面名	特記仕様書 建築電気設備１	縮尺	1:NO (A1)	設計番号	作図 令和６年１１月	工事名	桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）　設計図	図面番号	E-01
									/

四日市市都市整備部営繕工務課

１級建築士　登録第　　号
四日市市諏訪町１番５号

令和6年11月版

項　目	特　記　事　項
28　工事用電力、水等	・　本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は、受注者の負担とする。 ・　市支給とする。ただし、構内既存施設より利用可能な範囲に限る。
29　産業廃棄物税	本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が本工事により生じた産業廃棄物が課税対象となった場合には、翌年度に産業廃棄物税納税証明書等を添付して、本工事により生じた産業廃棄物税相当分を請求する事ができる。
30　工事の保険	・　建設工事保険　（管理財物担保特約に加入）（保険証券の写しを提出） ・　請負業者賠償責任保険（保険証券の写しを提出） 加入期間は工事期間を原則とする。（必要に応じて延長するものとする。）
31　建設共済等	下記の制度について加入すること。 ・　法定外労災補償制度　（加入証明書を提出） 建設業退職金共済制度に加入し、掛金収納書を提出する。 共済証紙購入額 請負額(消費税含む)の0.5/1000 以上 ただし、建設業退職金共済については請負額が500万円以上の場合とする。 ※1 他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする。 ※2 契約変更により工事価格が上昇した場合は不足分を追加購入すること。
32　工事実績情報の登録	工事請負代金額500万円以上の工事は、工事実績情報（CORINS）の登録手続きを行うこと。
33　施工体制台帳の提出	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律により、施工体制台帳の写しを提出のこと。 下請契約締結後、速やかに提出すること。変更時も同様とする。 なお、警備業者についても記載すべき下請負人の範囲に含むものとする。
㉞　資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	資材購入及び工事の一部を下請業者にて施工する場合、業者の選定に際しては、できる限り市内業者を優先させること。
35　監督職員事務所	・　設ける　　・　設けない
㊱　完成時の提出図書	監督職員の指示により下記のものを提出する。 ⊙　工事完成図（竣工図（修正済みの設計図）＋施工図） ⊙　完成図　ＣＡＤデータ　ＰＤＦデータ（ＣＤ－Ｒ）（１）枚 ・　完成図　（Ａ４版に製本したもの） ⊙　完成図　（原図サイズで機械設備図と併せて二つ折り製本したもの）（１）部 ⊙　保全に関する資料等　（１）部 ⊙　工事写真（紙、ＣＤ－Ｒ）
㊲　発生材の処理	・　引渡しを要するもの　⊙　引渡しを要するもの以外 構外搬出適切処理とする。 廃棄物管理票（マニュフェスト）確認表を作成し、監督員にＡ票及びＤ票もしくはＥ票の確認を受けるものとする。 ・　特別管理産業廃棄物 ＰＣＢ使用機器は、関係法令に従い適切に処理する。 （ＰＣＢ使用機器　　）
㊳　工事記録	工事記録は以下のように行うこと。 ○　工事写真 工程写真　埋設部、いんぺい部、施工工程、材料等 完成写真 ※撮影用具にデジタルカメラを用い、サービスサイズ程度の大きさでA4用紙に印刷し、提出する。 ※次の図書を参考とする。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方　建築設備編」 ○　工事日報、納品伝票 工事日報、納品伝票等の写しは監督員が提出を求めた場合に提出すること。
㊴　鋼製電線管	特記なき鋼製電線管(19,25,･･･75)の表示は全て薄鋼電線管とする。 但し、屋内箇所においては、表示されているものと同一外形のねじなし電線管(E19,E25,･･･E75)を使用してもよい。
㊵　呼び線	長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
㊶　再使用機器	取り外し再使用機器は、清掃及び絶縁測定のうえ、取り付ける。 ただし、絶縁劣化等使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。
㊷　タンブラスイッチ	タンブラスイッチは、図面に特記なき場合、ネーム付とする。
㊸　配線器具等	配線器具(ｽｲｯﾁ,ｺﾝｾﾝﾄ他)の現場納り等による仕様、数量については監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。
㊹　機器仕様	使用機器の製造者選定による若干の仕様の相違は、監督職員の承諾を得れば、可とする。
㊺　合成樹脂管配線	合成樹脂製可とう電線管及び付属品は、ＰＦ管（単層管）の波付管以上を使用する。

項　目	特　記　事　項
㊻　位置ボックス	位置ボックスで金属製を使用する場合、電力用には接地を施す。
47　最上階の埋込配管	最上階の天井スラブへの埋込配管は、原則として避けるものとする。
㊽　既設との取合い	本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。
㊾　自家発電設備の配管工事等	原動機、発電機と付属各機器間の燃料油、冷却水などの配管、制御用配線等は、監督職員の承諾を受けて図面と多少相違してもさしつかえない。
㊿　地中配線の埋設深さ等	埋設深さは原則0.6m以上とし、それにより難い場合は監督員と協議し決定すること。 地中配管に埋設標識シート（2個）を　⊙　設ける　　・　設けない
51　週休2日制工事	「四日市市週休2日制工事実施要領（営繕工事）」（令和６年７月１９日改正適用）に基づく適用は下記による。 ・　週休2日制工事対象 ・　週休2日制工事（受注者希望型）対象 ・　週休2日制対象外工事 （　・　工事の実働日数が30日未満の工事　・　現場閉所困難な工事） 完全週休2日制工事（受注者希望型含む）の現場閉所日については下記による。 ・土日閉所（ただし、　/　～　/　については土日作業とすること。） ・土日以外閉所 土日以外閉所における現場閉所日は、着手前に監督職員と協議の上設定すること。 なお、現場閉所日については、原則として毎週連続する同一の曜日とすること。
52　施工条件	電気設備の改修等のため、在来設備を一時停止させる必要のある場合は、予めその時期、停止の範囲及び工法等を施設管理者などの関係者と打ち合わせ、場合によっては停電計画書等を提出し、承諾を得たうえで作業を行うものとし、施設の運営に支障を来たさないよう特に注意する。 ⊙　施工可能日　⊙土、日曜日、祝日施工有り　・指定なし ・　その他　（　　） ・　施工可能時間帯　・指定有り（　時～　時）　・指定なし ・土日閉所の現場にて土日に作業を行う場合、又は、祝日に作業を行う場合は、事前に「休日及び夜間工事承諾願」を提出し、監督職員の承諾を得ること。 ⊙　高さ5mを超える箇所での作業を有する場合の墜落制止用器具はﾌﾙﾊｰﾈｽ型を使用すること。
53　地中配線の埋設標	構内線路における埋設標の材質及びその個数は、図面に記載のない場合は次による。 ・　鉄製（　箇所）　・ｺﾝｸﾘｰﾄ製（　箇所）
54　照明設備の照度測定	一般照明及び非常照明の照度測定を行う。照度測定箇所は、監督職員の指示による。
55　施工図等の取扱い	施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

アスベスト含有物の取扱い

① 一般事項

労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の指針（建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する記述上の指針）を遵守すること。
⊙アスベスト除去に伴う官公署等への届出申請を行うこと。
石綿障害予防規則及び大気汚染防止法の各規定に基づく官公署等への届出等を行うこと。
⊙石綿含有事前調査結果の都道府県知事及び労働基準監督署への報告を行うこと。
⊙アスベスト除去に伴う作業計画の作成を行うこと。
⊙アスベスト除去完了に伴う発注者への報告を書面にて行うこと。

② アスベスト含有建材の処理工事

アスベスト含有吹付け材の封じ込め処理　・行う　⊙行わない　[9.1.1]
アスベスト含有吹付け材の囲い込み処理　・行う　⊙行わない
アスベスト含有建材除去後の仕上げ　・行う　⊙行わない
施工箇所及び工法　※図示

③ アスベストの含有調査

事前調査（有資格者）　⊙行う　・行わない　[1.5.1]
調査結果報告書等の貸与　⊙有　・無
分析調査　・行う（対象箇所：　　）　⊙行わない
・定性分析　・定量分析
※分析調査は「建材中の石綿含有率の分析方法について（令和3年12月22日改正）」に基づき行う。
※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。
調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。

④ アスベスト含有吹付け材の除去

アスベスト含有吹付け材の有無　・有　⊙無　[9.1.3]
除去吹付材（　　）含有場所（　　）
吹付けアスベストの施工数量調査　※行う
アスベスト粉じん濃度測定　※行う
表9.1.1　アスベスト粉じん濃度測定

測定時期	測定名称	測　定　場　所	測　定　点　（各施工箇所ごと）	備考
処理作業前	測定１	処理作業室内	各２点又は３点	（注）１
	測定２	施行区画周辺 又は、敷地境界	計２点	大気
処理作業中	測定３	処理作業室内	各２点又は３点	（注）１
	測定４	ｾｷｭﾘﾃｨｿﾞｰﾝ入口	1点	陰気の流れを確認
	測定５	集じん・排気装置の排出口 （処理作業室外の場合）	1点	（注）２
	測定６	施行区画周辺 又は、敷地境界	４方向各１点	－
処理作業後（隔離ｼｰﾄ撤去前）	測定７	処理作業室内	各２点又は３点	（注）１
	測定８	施行区画周辺 又は、敷地境界	４方向各１点	大気

（注）１．各施工箇所ごとの室面積が50㎡以下までは２点、300㎡以下までは３点とする。
300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。
（注）２．集じん・排気装置の性能確認
表9.1.2　アスベスト粉じん濃度測定方法

	測　定　3	測定1，2，4，6，7，8	測　定　5
計数機器	位相差顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	25mm		47mm
試料の吸引流量	1l/min	5l/min	10l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	210 min
試料の透明化	アセトントリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数　200本又は視野数50視野		
計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比３：１以上		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

作業場の隔離　※行う
除去工法
※除去工法については、工法に関する資料を監督職員に提出し、承諾を得ること。
処分方法
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。

⑤ アスベスト含有仕上塗材の除去

アスベスト含有仕上塗材の除去(除去工法、養生、粉じん飛散防止措置、呼吸用保護具・保護衣等)ついては、「建築物の改修、解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による。
アスベスト含有仕上塗材の有無　⊙有　・無
除去仕上塗材（　建築図による　）含有場所（　建築図による　）
撤去の範囲　・全面撤去　⊙図示による
除去工法（原則湿潤化し、下記工法とする）
⊙水洗い工法　・手工具ケレン工法
・集じん装置付高圧水洗工法　・集じん装置付超高圧水洗工法　・超音波ケレン工法
・剥離材併用高圧水洗工法　・剥離材併用超高圧水洗工法　・剥離材併用手工具ケレン工法
・剥離材併用超音波ケレン工法　・集塵装置付ディスクグラインダーケレン工法
上記工法によらない場合は監督職員と協議の上、承諾を得ること。
除去工法の試験施工　・行う　※行わない
「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」による。
作業場の隔離及び養生
・隔離養生不要　・隔離養生必要(負圧不要)・その他（　　）
処分方法
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う

⑥ アスベスト含有保温材等の除去

アスベスト含有保温材の有無　⊙有　・無　[9.1.4]
除去保温材（　給水管エルボ部　）含有場所（　廊下手洗い　）
作業場の隔離　・行う　⊙行わない
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う

⑦ アスベスト含有成形板の除去

アスベスト含有成形板の有無　⊙有　・無　[9.1.5]
除去成形板（　建築図による　）含有場所（　建築図による　）
作業場の区画　・行う　⊙行わない
処分方法
石綿含有石膏ボード
※管理型最終処分場で埋立処分する。
石綿含有石膏ボード以外
・埋立処分の場合は、石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。

8　アスベスト含有配管接続部シール材の除去

アスベスト含有シール材の有無　・有　・無
除去シール材（　　）含有場所（　　）
作業場の隔離　・行う　・行わない
除去工法
湿潤にて撤去を行い、適法に処分する事。
処分方法　・埋立処分
・アスベストの中間処理に適する溶融施設
・認定を受けた無害化処理施設

⑨ 特記事項

※本工事に配置管理させる者（有資格者）
※特定化学物質等作業主任者（H18.3.31以前の講習修了者）
又は石綿作業主任者（H18.4.1以降の講習修了者）

暴力団等不当介入に関する事項
１．契約の解除
四日市市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱（平成20年四日市告示第28号）第３条又は第４条の規定により、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止措置を受けたときは、契約を解除することがある。

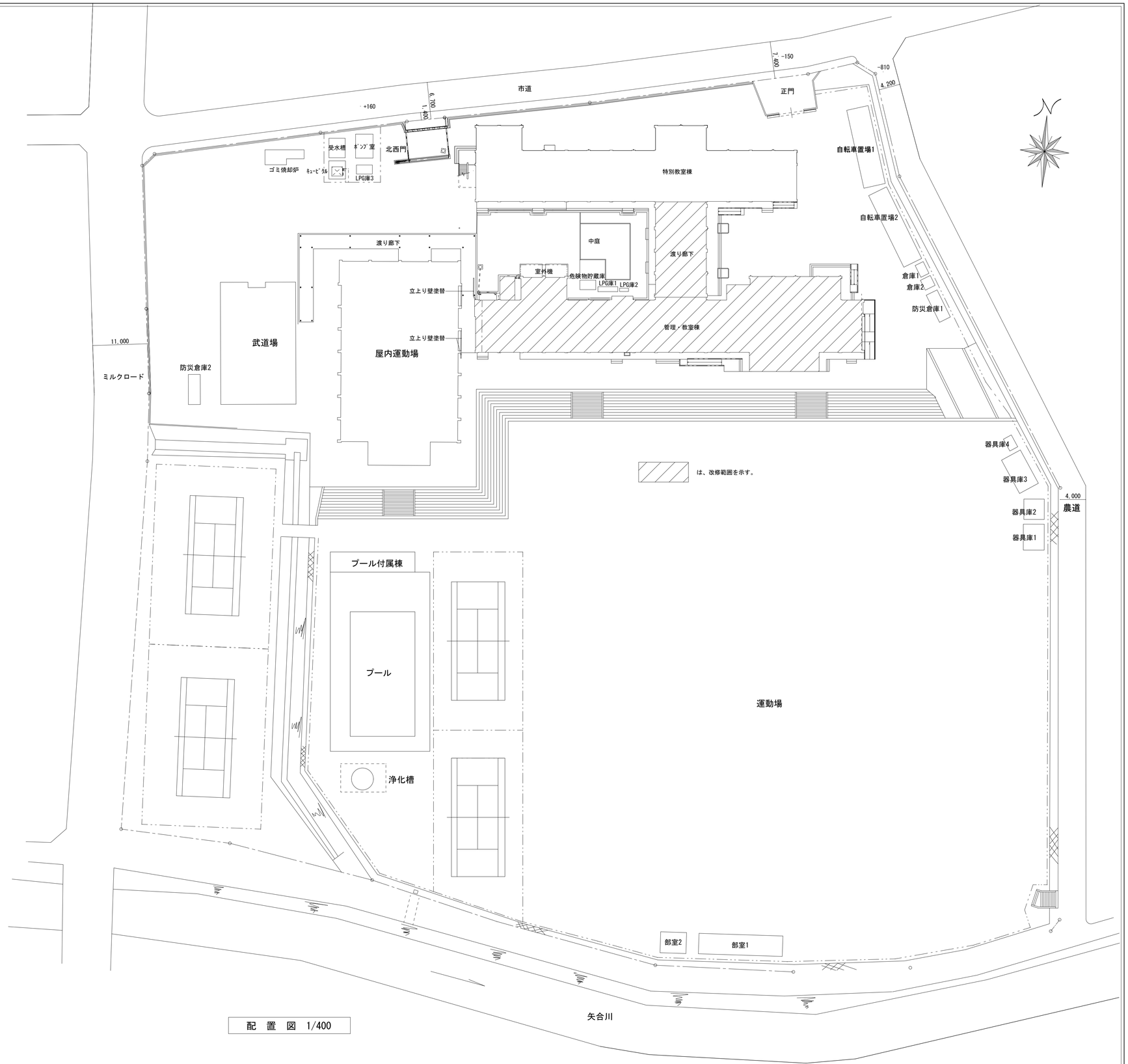
２．暴力団等による不当介入を受けたときの義務
(1)　不当介入には、断固拒否するとともに、速やかに警察へ通報並びに業務発注所属へ報告し、警察への捜査協力を行うこと。
(2)　契約の履行において、不当介入を受けたことにより、業務遂行に支障が生じたり、納期等に遅れが生じるおそれがあるときには、業務発注所属と協議を行うこと。
(3)　(1)(2)の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止等の措置を講ずる。

＜喫煙に関する事項＞
学校敷地内はすべて禁煙とし、敷地周辺の路上等においても禁煙に努めること。
＜現場代理人に関する事項＞
工場製作期間中等に現場代理人の常駐を解除する場合は、その期間に応じた経費の減額変更を行う。
＜随時検査＞
設計金額3000万円以上の工事は、四日市市検査規程第８条第６項の規程により発注者が随時検査を求めた場合、監督員の指示に従い受験すること。

個人情報の取り扱いに関する事項
（基本事項）
第１　この契約による工事の施工者（以下「乙」という。）は、この契約による工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱う際には、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。
（施工者の義務）
第２　乙及びこの契約による工事に従事している者又は従事していた者（以下「乙の従事者」という。）は、当該工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱うときは、個人情報の保護に関する法律（平成１５年法律第５７号。以下「法」という。）第６７条に規定する義務を負う。
２　乙は、この契約による工事において個人情報が適正に取り扱われるよう乙の従事者を指揮監督しなければならない。
（秘密の保持）
第３　乙及びこの従事者は、この契約による工事を施工するに当たって知り得た個人情報を当該工事を施工するために必要な範囲を超えて使用し、又は他人に知らせてはならない。
２　乙は、この従事者が在職中及び退職後においても、前項の規定を遵守するように必要な措置を講じなければならない。
３　前２項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。
（適正な管理）
第４　乙は、この契約による工事に係る個人情報の漏えい、滅失又は改ざんの防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。
２　乙は、個人情報の適正な管理のため、管理責任者を置くものとする。
３　管理責任者は、個人情報を取り扱う工事の従事者を必要な者に限定し、これらの従事者に対して、個人情報の管理方法等について適正な指導管理を行わなければならない。
４　四日市市（以下「甲」という。）は、必要があると認めたときは、個人情報の管理状況等に関し、乙に対して報告を求め、又はその作業場所を実地に調査することができるものとする。この場合において、甲は乙に必要な改善を指示することができるものとし、乙は、その指示に従わなければならない。
（収集の制限）
第５　乙及びこの従事者は、この契約による工事を施工するために、個人情報を収集するときは、当該工事を施工するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。
（再提供の禁止）
第６　乙は、あらかじめ甲の承諾があった場合を除き、この契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供してはならない。
２　乙は、前項の承諾により再提供する場合は、再提供先における個人情報の適正な取り扱いのために必要な措置を講じなければならない。
３　前項の場合において、乙は、再提供先と本注意事項に準じた個人情報の取り扱いに関する契約を交わすものとする。
（複写、複製の禁止）
第７　乙及びこの従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等（以下「資料等」という。）を複写し、又は複製してはならない。
（持ち出しの禁止）
第８　乙及びこの従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、資料等（複写又は複製したものを含む。第9において同じ。）を契約書に指定された作業場所から持ち出してはならない。
２　甲及びこは、乙が前項の指示又は承諾により資料等を持ち出す場合、その内容、期間、持ち出し先、輸送方法等を書面により確認するものとする。
３　前項の場合において、乙は、資料等に施錠又は暗号化等を施して関係者以外の者がアクセスできないようにするとともに、資料等を善良なる管理者の注意をもって保管又は管理し、漏えい、滅失及びき損の防止その他適切な管理を行わなければならない。
（資料等の返還）
第９　乙は、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等を、当該工事の終了後速やかに甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により廃棄し、又は消去する場合を除く。
２　前項の廃棄又は消去は、次の各号に定めるほか、他に漏えいしないよう適切な方法により行うものとする。
(1)　紙媒体　　シュレッダーによる裁断
(2)　電子媒体　データ完全消去ツールによる無意味なデータの上書き、もしくは媒体の破砕
３　乙は、第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供したときは、当該工事の終了後速やかに当該第三者から資料等を回収のうえ甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により、乙又は第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合を除く。
４　前項ただし書の規定により、第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合においては、乙は、当該資料等が廃棄、又は消去されたことを直接確認しなければならない。
（研修・教育の実施）
第10　乙は、この従事者に対し、個人情報の重要性についての認識を深めるとともに、この契約による工事における個人情報の適正な取り扱いに資するための研修・教育を行うものとする。
（苦情の処理）
第11　乙は、この契約による工事の施工に当たって、個人情報の取り扱いに関して苦情があったときは、適切かつ迅速な処理に努めるものとする。
（定期報告及び事故発生時における報告）
第12　乙は、甲から個人情報の取扱いの状況について報告を求められた場合は、直ちに報告しなければならない。
２　乙は、この個人情報取扱注意事項に違反する事故が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。
（監査及び検査）
第13　甲は、この契約による工事に係る個人情報の取扱いについて、この契約の規定に基づき必要な措置が講じられていることを検証及び確認するため、乙及び第６の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事を受託し、又は請け負った第三者に対して、監査又は検査を行うことができる。
２　甲は、前項の目的を達するため、乙に対して必要な情報を求め、又はこの契約による工事の処理に関して必要な指示をすることができる。
（契約解除及び損害賠償）
第14　甲は、乙又は乙の従事者がこの個人情報取扱注意事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。

障害者差別解消に関する事項
１．対応要領に沿った対応
（１）この契約による事務・事業の実施（以下「本業務」という。）の請負（委託）を受けた者（以下「受注者（受託者）」という。）は、本業務を履行するに当たり、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成２５年法律第６５号。以下「法」という。）に定めるもののほか、障害を理由とする差別の解消の推進に関する四日市市職員対応要領（平成２９年２月２８日策定。以下「対応要領」という。）に準じて、「障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止」及び「社会的障壁の除去のための合理的な配慮の提供」等、障害者に対する適切な対応を行うものとする。
（２）（１）に規定する適切な対応を行うに当たっては、対応要領に示されている障害種別の特性について十分に留意するものとする。
２．対応指針に沿った対応
上記１に定めるもののほか、受注者（受託者）は、本業務を履行するに当たり、本業務に係る対応指針（法第１１条の規定により主務大臣が定める指針をいう。）に則り、障害者に対して適切な対応を行うよう努めなければならない。

	図面名	特記仕様書 建築電気設備２	1:NO 縮　(A1) 尺	設計番号 作図 令和６年１１月	工事名 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）　設計図	図面番号 E-02
		四日市市都市整備部営繕工務課			１級建築士　登録第　　号 四日市市諏訪町１番５号 令和6年11月版	/

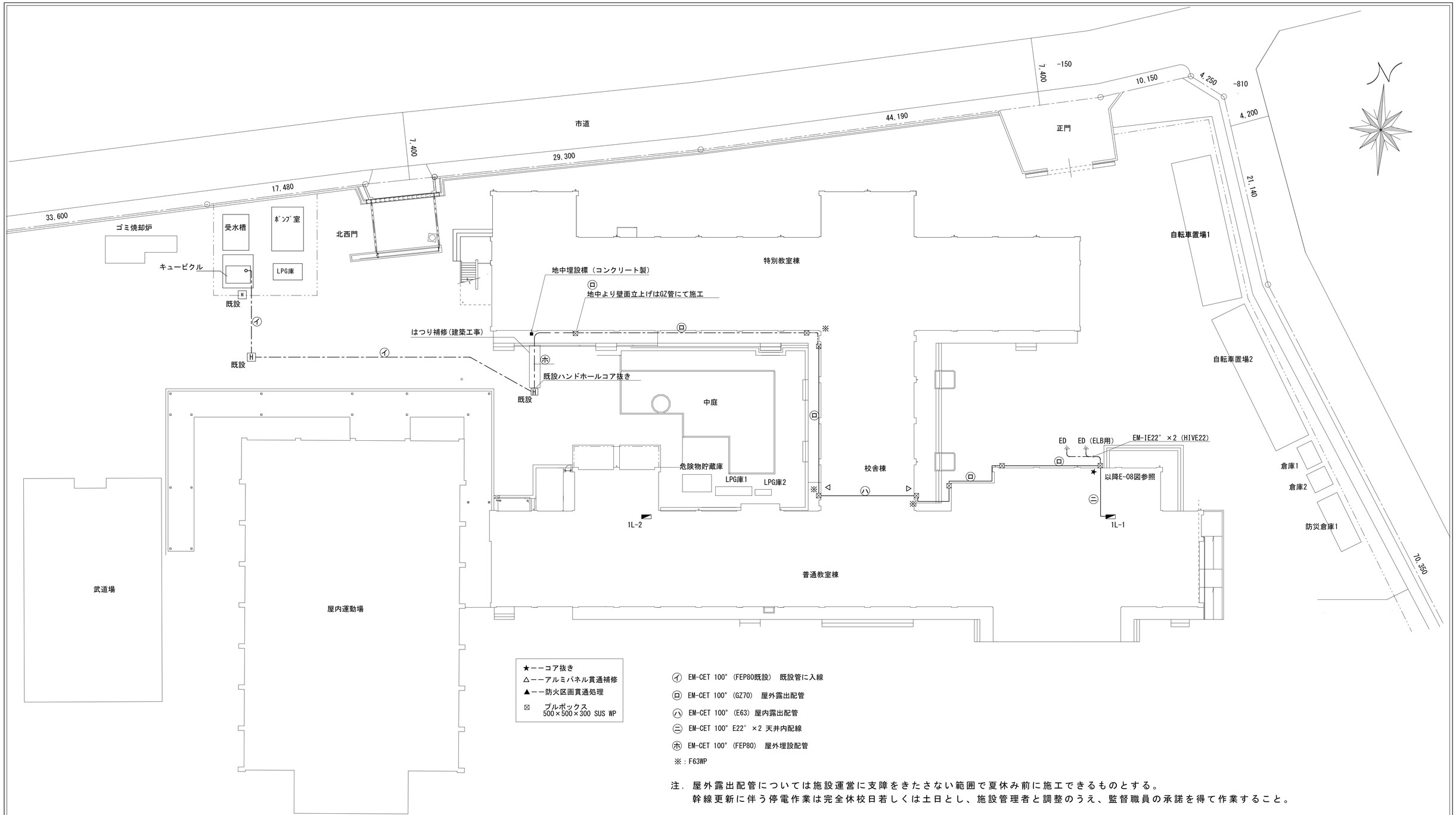


配　置　図　1/400

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	配置図 ★	A1: 1:400 A3: 1:800 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

E-03



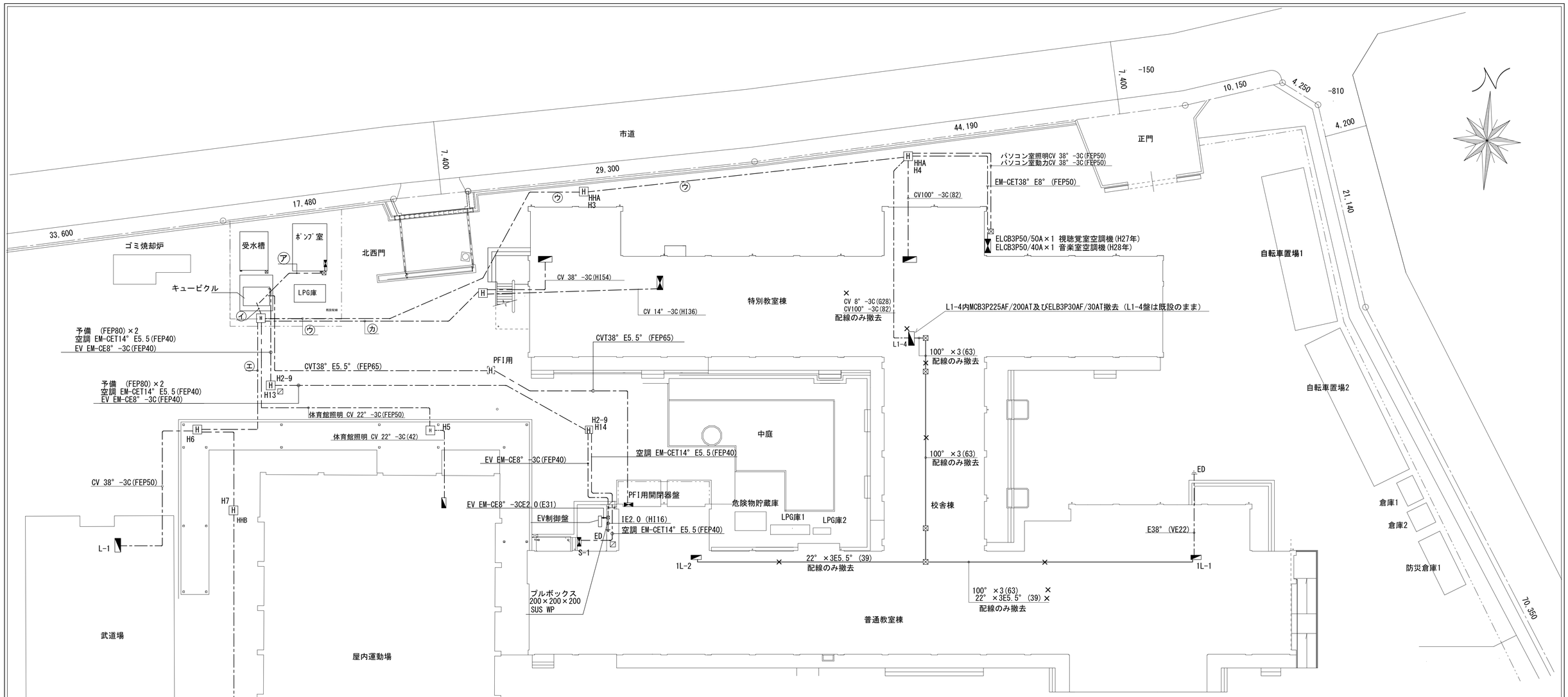
★ーーコア抜き
△ーーアルミパネル貫通補修
▲ーー防火区画貫通処理
⊠ プルボックス 500×500×300 SUS WP

㋑ EM-CET 100°（FEP80既設） 既設管に入線
㋺ EM-CET 100°（GZ70） 屋外露出配管
㋩ EM-CET 100°（E63） 屋内露出配管
㋥ EM-CET 100° E22° ×2 天井内配線
㋭ EM-CET 100°（FEP80） 屋外埋設配管
※：F63WP

注. 屋外露出配管については施設運営に支障をきたさない範囲で夏休み前に施工できるものとする。
幹線更新に伴う停電作業は完全休校日若しくは土日とし、施設管理者と調整のうえ、監督職員の承諾を得て作業すること。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	★ 幹線設備図（改修後）	★ A1: 1:200 A3: 1:400	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	E-04

一級建築士登録 222551
田中 富士夫



(ア)

ポンプ室 電灯	CV 3.5° -2C(22)
ポンプ室 動力	CV 5.5° -3C(28)
消火栓ポンプ	FP 14° -3C(36)

(イ)

× 管理棟 照明	CV 100° -3C(G82)
特別棟 照明	CV 100° -3C(G82)
武道場 照明	CV 38° -3C(G54)
体育館 照明	CV 22° -3C(G54)
プール 照明	CV 8° -2C(G28)
技術室・家庭科室照明	CV 38° -3C(G54)
パソコン室照明	CV 38° -3C(G54)
テニスコート電灯	CV 38° -3C(G54)
合併処理 動力	CV 60° -3C(G54)
プール 動力	CV 14° -3C(G28)
× 管理棟 動力	CV 8° -3C(G28)
技術室 動力	CV 14° -3C(G28)
パソコン室 動力	CV 38° -3C(G54)
視聴覚室 エアコン	CET 38° -3C(G54)

(ウ)

× 管理棟 照明	CV 100° -3C(FEP80)
特別棟 照明	CV 100° -3C(FEP80)
パソコン室照明	CV 38° -3C(FEP50)
× 管理棟 動力	CV 8° -3C(FEP30)
パソコン室 動力	CV 38° -3C(FEP50)
視聴覚室 エアコン	CET 38° -3C(FEP50)

(エ)

武道場 照明	CV 38° -3C(FEP50)
プール 照明	CV 8° -2C(FEP30)
テニスコート電灯	CV 38° -3C(FEP50)
体育館 照明	CV 22° -3C(FEP50)
合併処理 動力	CV 60° -3C(FEP80)
プール 動力	CV 14° -3C(FEP50)

(カ)

技術室・家庭科室照明	CV 38° -3C(FEP50)
技術室 動力	CV 14° -3C(FEP50)

× 印は撤去を示す。
配線のみ撤去
イ及びウの撤去配線については撤去後の配管に導入線を入れること。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	★ 幹線設備図（改修前）	★ A1: 1:200 1:400 A3: 1:400 1:800	★	★	★	★	★

藤 川 設 計 株 式 会 社　一級建築士登録 222551 田中 富士夫

E-05

撤去
電灯盤　1L-1

1φ3W210/105V

負荷容量(VA)						負荷容量(VA)	
*B		火災報知器受信機	A — B		防火戸電源(中東)		*B
*B		防災アンプ電源	C — D		L-A		MCB3P 50/30
MCB3P 50/50		2L-1	E — F		1L-2		MCB3P 100/75
MCB3P 100/75		3L-1	G — H		4L-1		MCB3P 50/50

X ELCB3P 50/50A

負荷容量(VA)						負荷容量(VA)	
*A		職員室照明	1 — 2		職員便所玄関校長室 湯沸室照明		*A
*A		更衣室放送室印刷室照明	3 — 4		廊下便所階段(西東) 倉庫照明		*A
*A		印刷室コンセント	5 — 6		スタジオ放送室コンセント		*A
*A		スタジオコンセント	7 — 8		職員室コンセント		*A
*A		校長室コンセント	9 — 10		更衣室湯沸室コンセント		*A
*A		体育庫	11 — 12		第１相談室コンセント		*A

*A---MCCB1P50/20A
*B---MCCB2P50/20A

撤去
電灯盤　H3-L-1

1φ3W210/105V

X MCCB3P 50/50A

負荷容量(VA)						負荷容量(VA)	
*A		増設部職員室照明	1 — 2		増設部職員室照明		*A
*A		増設部職員室フロアーコンセント 東面コンセント	3 — 4		増設部職員室 換気扇用コンセント		*A
*A		増設職員室西面コンセント	5 — 6		男子更衣室電灯		*A
*A		女子更衣室コンセント	7 — 8		男子更衣室コンセント		*A
*B		トイレコンセント	9 — 10		校長室エアコン		*B

*A---MCCB1P50/20A
*B---MCCB2P50/20A

撤去
電灯盤 A

1φ2W210V

X MCCB2P 50/20A

GHP手元開閉器盤

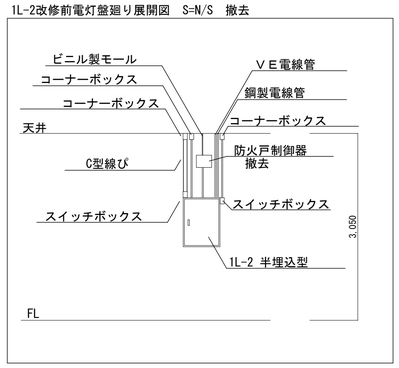
撤去
電灯盤 B

1φ2W105V

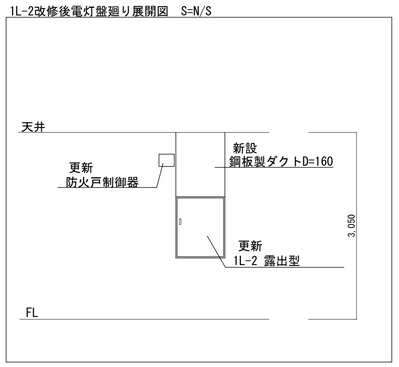
X MCCB2P 50/30A

職員室コンセント

1L-2改修前電灯盤廻り展開図　S=N/S　撤去



1L-2改修後電灯盤廻り展開図　S=N/S



更新
電灯盤　1L-1 埋込型 鋼板製

1φ3W210/105V

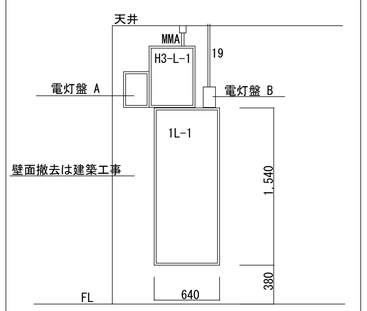
負荷容量(VA)						負荷容量(VA)	
ロック付 *B		火災報知器受信機	A — B		防火戸電源(中東)		*B ロック付
ロック付 *B		防災アンプ電源	C — D		防火ｼｬｯﾀｰ電源(将来用)		*A ロック付
MCB3P 60/60		2L-1	E — F		1L-2		MCB3P 225/150
MCB3P 100/75		3L-1	G — H		4L-1		MCB3P 60/60
MCB3P 50/30		L-A	I				

X MCCB3P 100/100A

負荷容量(VA)						負荷容量(VA)	
*A		職員室照明	1 — 2		職員便所玄関校長室 湯沸室照明		*A
*A		更衣室放送室印刷室照明	3 — 4		廊下便所階段(西東) 倉庫照明		*A
*A		印刷室コンセント	5 — 6		職員室東面コンセント		*C
*A		スタジオコンセント	7 — 8		職員室北コンセント		*A
*A		校長室コンセント	9 — 10		女子更衣室湯沸室コンセント		*C
*A		体育庫	11 — 12		職員室コンセント		*A
*C		給湯室	13 — 14		予　備		*C
*A		増設部職員室フロアコンセント 東面コンセント	15 — 16		増設部職員室 換気扇用コンセント		*A
*C		職員室西面コンセント 中央部柱コンセント	17 — 18		男子更衣室電灯		*A
*C		女子更衣室コンセント 給湯室コンセント	19 — 20		男子更衣室コンセント		*C
*C		男子職員トイレコンセント	21 — 22		予　備		*C
*F		予　備	23 — 24 (200V)		器具庫電源		*B
*C		女子職員トイレコンセント	25 — 26		職員室東面コンセント		*A
*C		ウォータークーラー用	27 — 28		廊下コンセント		*A
*C		予　備	29 — 30		予　備		*C

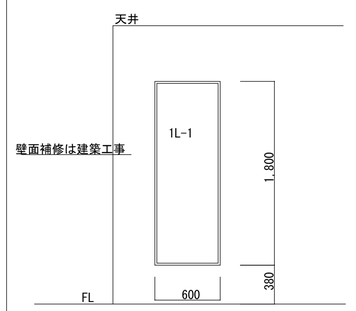
*A---MCCB2P50/20A
*B---MCCB2P50/30A
*C---ELCB2P50/20A
*D---ELCB2P50/15A
*E---ELCB2P50/30A
*F---MCCB2P50/20A(200V)

職員室前廊下　展開図　改修前　撤去



1L-1　埋込型　　W:640 H:1540
H3-L-1 露出型　　W:450 H:600 D:130
電灯盤 A　露出型　　W:250 H:350 D:120
電灯盤 B　露出型　　W:120 H:200 D:100

職員室前廊下　展開図　改修後　（参考）



1L-1　埋込型　　W:600 H:1800

撤去
電灯盤　1L-2

1φ3W210/105V

負荷容量(VA)						負荷容量(VA)	
*B		防火戸電源（東西）	A				

X ELCB3P 100/75A

負荷容量(VA)						負荷容量(VA)	
*A		会議、保健室、 教育相談室、購買室照明	1 — 2		昇降口照明		*A
*A		会議室、教育相談室 コンセント	3 — 4		保健室コンセント		*A
*A		保健室、購買室 コンセント	5 — 6		配膳室照明		*A
*C		配膳室コンセント	7 — 8		校舎南屋外水銀投光器		*A
*A		多目的便所電灯	9 — 10		配膳室冷蔵庫コンセント		*C
*A		多目的便所コンセント	11 — 12		保健室空調機電源		*D
*C		EV内コンセント	13 — 14		第1相談室空調コンセント		*E
*B		EV照明	15 — 16		特別支援教室空調機電源		*E
*B		1～4階 EVホール照明	17 — 18		配膳室温水器		*C

*A---MCCB1P50/20A
*B---MCCB2P50/20A
*C---ELCB2P50/20A
*D---ELCB2P50/15A
*E---ELCB2P50/30A

更新
電灯盤　1L-2 露出型 上部ダクト　鋼板製

1φ3W210/105V

負荷容量(VA)						負荷容量(VA)	
ロック付 *A		防火戸制御機	A				
MCB3P 50/30		L-1T （将来トイレコンセント用）	B — C		L-2T （将来トイレコンセント用）		MCB3P 50/30
MCB3P 50/30		L-3T （将来トイレコンセント用）	D — E		L-4T （将来トイレコンセント用）		MCB3P 50/30

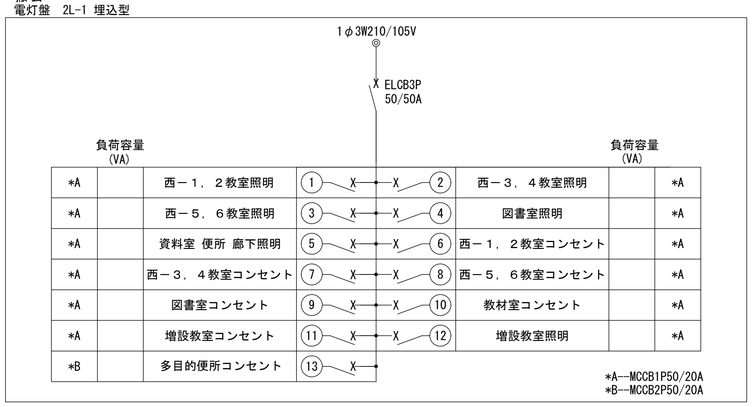
X MCCB3P 100/75A

負荷容量(VA)						負荷容量(VA)	
*A		かがやき、保健室、 第3相談室、第2相談室照明	1 — 2		昇降口照明		*A
*A		かがやきコンセント	3 — 4		保健室コンセント		*A
*A		保健室、第2相談室 コンセント	5 — 6		配膳室照明		*A
*B		配膳室コンセント	7 — 8		校舎南屋外水銀投光器		*A
*A		多目的便所電灯	9 — 10		配膳室冷蔵庫コンセント		*B
*B		多目的便所コンセント	11 — 12		予　備		*B
*B		EV内コンセント	13 — 14		予　備		*C
*A		EV照明	15 — 16		予　備		*C
*A		1～4階 EVホール照明	17 — 18		予　備		*B
*B		保健室コンセント	19 — 20		配膳室温水器		*B
*B		予　備	21				

*A---MCCB2P50/20A
*B---ELCB2P50/20A
*C---ELCB2P50/30A

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	★ 電灯盤結線図１（改修前・改修後）	★ A1: N:S A3: N:S	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	E-06

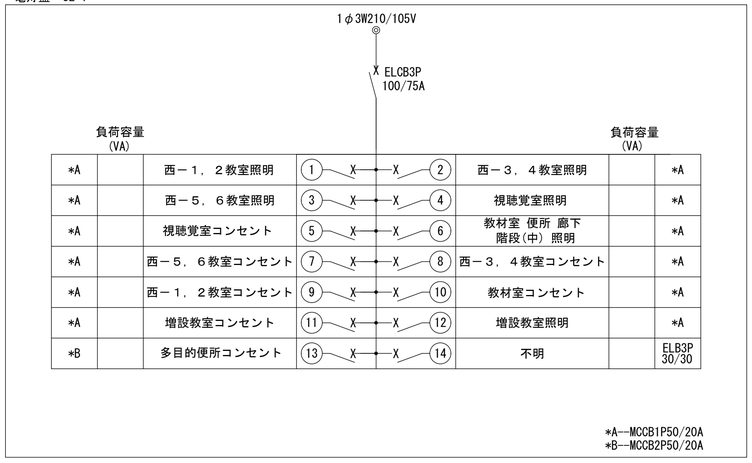
撤去
電灯盤　2L-1 埋込型



負荷容量(VA)						負荷容量(VA)	
*A		西－１，２教室照明	1	2	西－３，４教室照明		*A
*A		西－５，６教室照明	3	4	図書室照明		*A
*A		資料室 便所 廊下照明	5	6	西－１，２教室コンセント		*A
*A		西－３，４教室コンセント	7	8	西－５，６教室コンセント		*A
*A		図書室コンセント	9	10	教材室コンセント		*A
*A		増設教室コンセント	11	12	増設教室照明		*A
*B		多目的便所コンセント	13				

*A---MCCB1P50/20A
*B---MCCB2P50/20A

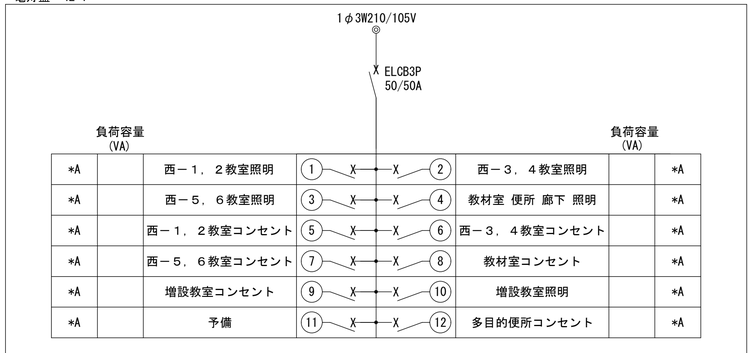
撤去
電灯盤　3L-1



負荷容量(VA)						負荷容量(VA)	
*A		西－１，２教室照明	1	2	西－３，４教室照明		*A
*A		西－５，６教室照明	3	4	視聴覚室照明		*A
*A		視聴覚室コンセント	5	6	教材室 便所 廊下 階段(中) 照明		*A
*A		西－５，６教室コンセント	7	8	西－３，４教室コンセント		*A
*A		西－１，２教室コンセント	9	10	教材室コンセント		*A
*A		増設教室コンセント	11	12	増設教室照明		*A
*B		多目的便所コンセント	13	14	不明		ELB3P 30/30

*A---MCCB1P50/20A
*B---MCCB2P50/20A

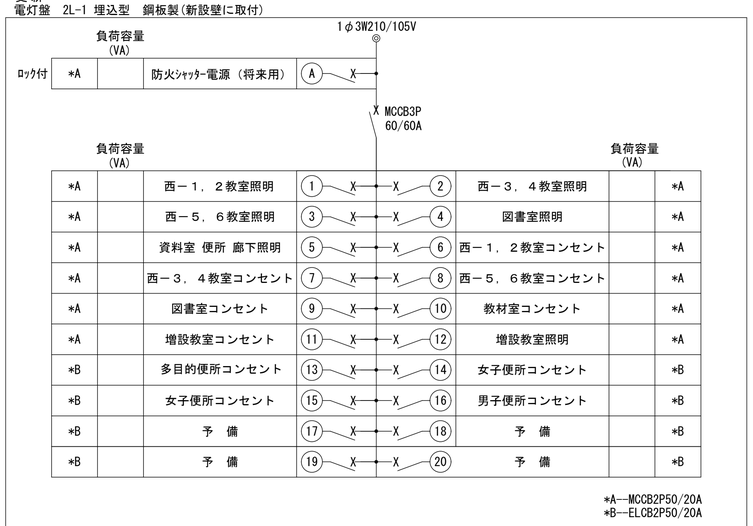
撤去
電灯盤　4L-1



負荷容量(VA)						負荷容量(VA)	
*A		西－１，２教室照明	1	2	西－３，４教室照明		*A
*A		西－５，６教室照明	3	4	教材室 便所 廊下 照明		*A
*A		西－１，２教室コンセント	5	6	西－３，４教室コンセント		*A
*A		西－５，６教室コンセント	7	8	教材室コンセント		*A
*A		増設教室コンセント	9	10	増設教室照明		*A
*A		予備	11	12	多目的便所コンセント		*A

*A---MCCB1P50/20A
*B---MCCB2P50/20A

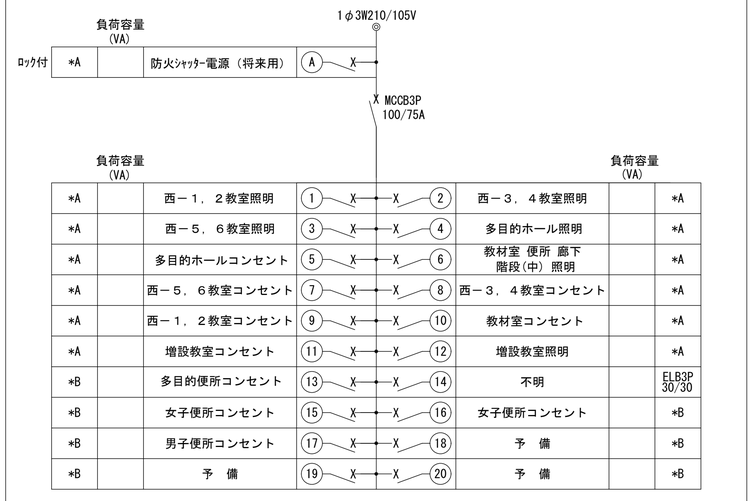
更新
電灯盤　2L-1 埋込型　鋼板製(新設壁に取付)



負荷容量(VA)						負荷容量(VA)	
ﾛｯｸ付	*A		防火ｼｬｯﾀｰ電源（将来用）	A			
*A		西－１，２教室照明	1	2	西－３，４教室照明		*A
*A		西－５，６教室照明	3	4	図書室照明		*A
*A		資料室 便所 廊下照明	5	6	西－１，２教室コンセント		*A
*A		西－３，４教室コンセント	7	8	西－５，６教室コンセント		*A
*A		図書室コンセント	9	10	教材室コンセント		*A
*A		増設教室コンセント	11	12	増設教室照明		*A
*B		多目的便所コンセント	13	14	女子便所コンセント		*B
*B		女子便所コンセント	15	16	男子便所コンセント		*B
*B		予　備	17	18	予　備		*B
*B		予　備	19	20	予　備		*B

*A---MCCB2P50/20A
*B---ELCB2P50/20A

更新
電灯盤　3L-1 埋込型鋼板製(新設壁に取付)



負荷容量(VA)						負荷容量(VA)	
ﾛｯｸ付	*A		防火ｼｬｯﾀｰ電源（将来用）	A			
*A		西－１，２教室照明	1	2	西－３，４教室照明		*A
*A		西－５，６教室照明	3	4	多目的ホール照明		*A
*A		多目的ホールコンセント	5	6	教材室 便所 廊下 階段(中) 照明		*A
*A		西－５，６教室コンセント	7	8	西－３，４教室コンセント		*A
*A		西－１，２教室コンセント	9	10	教材室コンセント		*A
*A		増設教室コンセント	11	12	増設教室照明		*A
*B		多目的便所コンセント	13	14	不明		ELB3P 30/30
*B		女子便所コンセント	15	16	女子便所コンセント		*B
*B		男子便所コンセント	17	18	予　備		*B
*B		予　備	19	20	予　備		*B

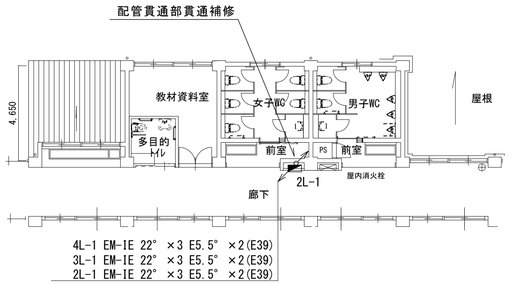
*A---MCCB2P50/20A
*B---ELCB2P50/20A

更新
電灯盤　4L-1 埋込型　鋼板製(新設壁に取付)

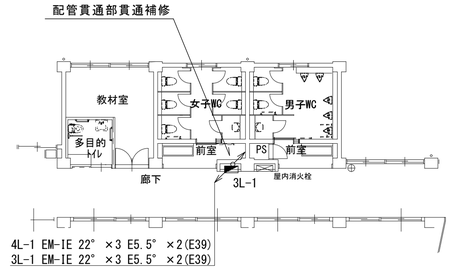
負荷容量(VA)						負荷容量(VA)	
ﾛｯｸ付	*A		防火ｼｬｯﾀｰ電源（将来用）	A			
*A		西－１，２教室照明	1	2	西－３，４教室照明		*A
*A		西－５，６教室照明	3	4	教材室 便所 廊下 照明		*A
*A		西－１，２教室コンセント	5	6	西－３，４教室コンセント		*A
*A		西－５，６教室コンセント	7	8	教材室コンセント		*A
*A		増設教室コンセント	9	10	増設教室照明		*A
*A		予備	11	12	多目的便所コンセント		*B
*B		女子便所コンセント	13	14	女子便所コンセント		*B
*B		男子便所コンセント	15	16	予　備		*B
*B		予　備	17	18	予　備		*B
*B		予　備	19	20	予　備		*B

*A---MCCB2P50/20A
*B---ELCB2P50/20A

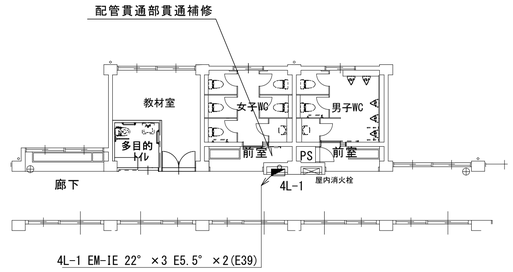
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考			
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	電灯盤結線図２(改修前・改修後) ★	A1: N:S A3: N:S ★	★	★	★	★	★	藤 川 設 計 株 式 会 社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	E-07



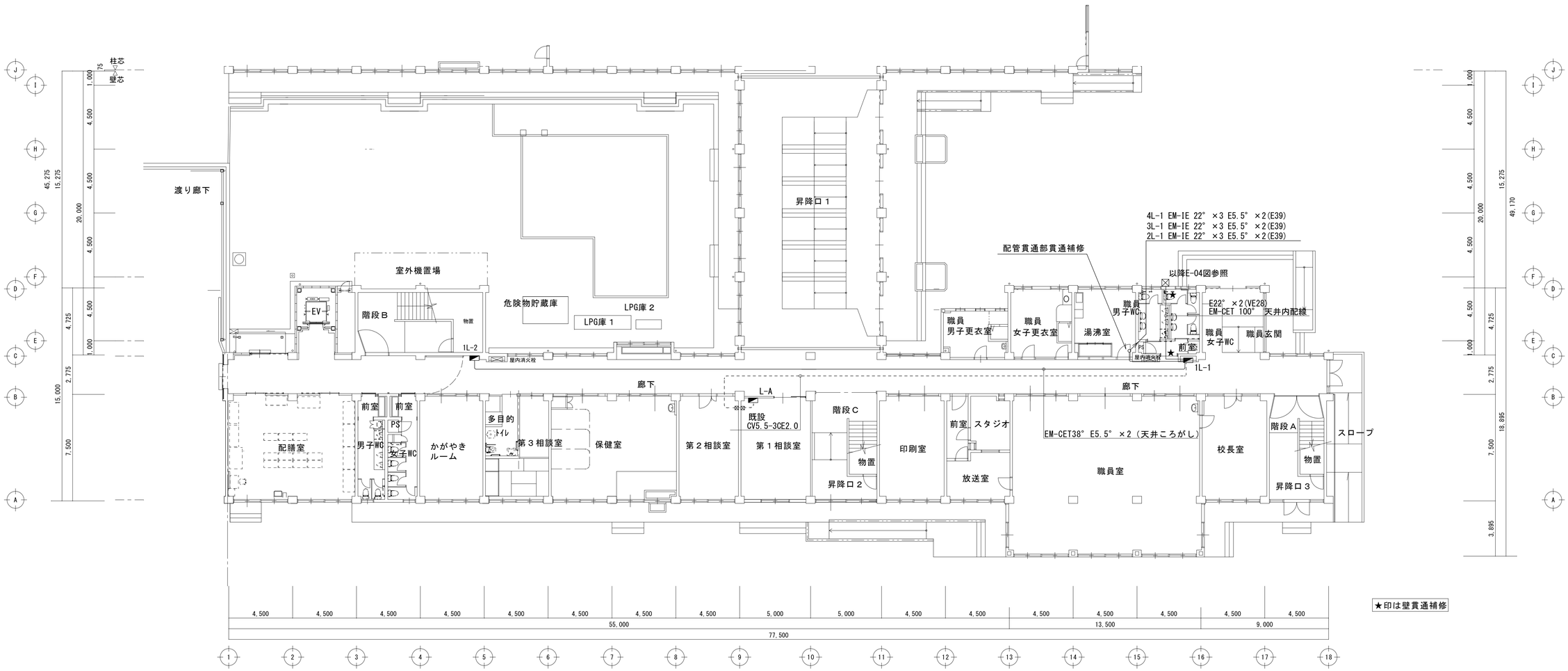
２階平面図（改修後）　1/150



３階平面図（改修後）　1/150

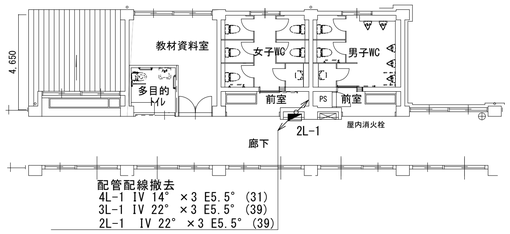


４階平面図（改修後）　1/150

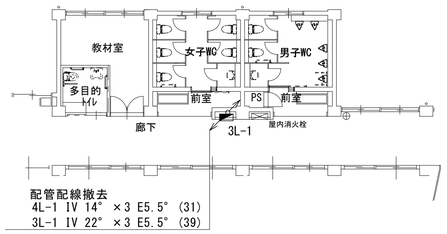


１階平面図（改修後）　1/150

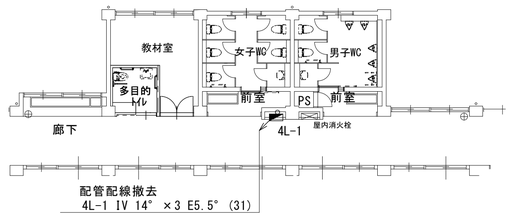
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）★	１階～４階　幹線設備平面図（改修後）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	E-08



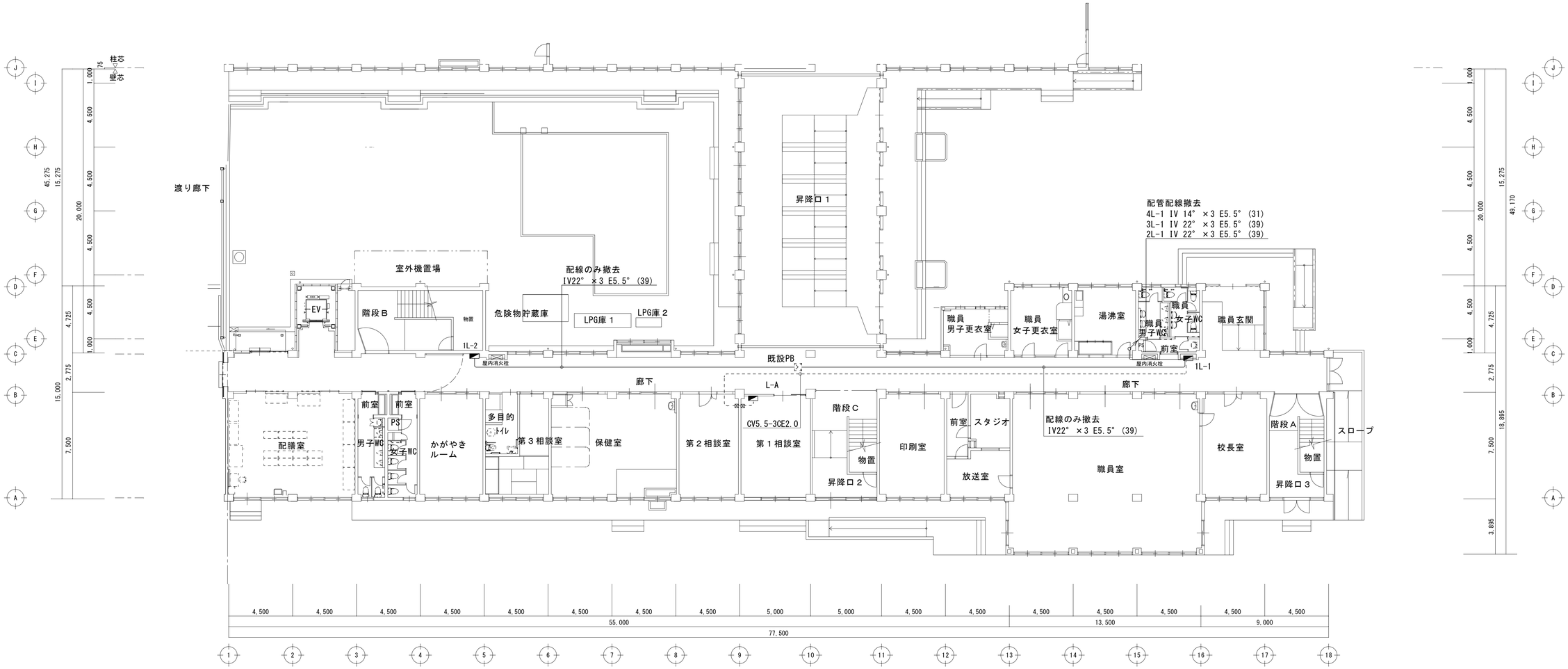
２階平面図（改修前）　1/150



３階平面図（改修前）　1/150



４階平面図（改修前）　1/150


渡り廊下
室外機置場
EV
階段Ｂ
物置
危険物貯蔵庫
LPG庫１
LPG庫２
配線のみ撤去
IV22° ×3 E5.5° (39)
1L-2
屋内消火栓
既設PB
廊下
L-A
CV5.5-3CE2.0
昇降口１
配管配線撤去
4L-1 IV 14° ×3 E5.5° (31)
3L-1 IV 22° ×3 E5.5° (39)
2L-1 IV 22° ×3 E5.5° (39)
職員男子更衣室
職員女子更衣室
湯沸室
職員男子WC
職員女子WC
職員玄関
1L-1
配膳室
前室
前室
男子WC
女子WC
PS
かがやきルーム
多目的トイレ
第３相談室
保健室
第２相談室
第１相談室
階段Ｃ
物置
昇降口２
印刷室
前室
スタジオ
放送室
配線のみ撤去
IV22° ×3 E5.5° (39)
職員室
校長室
階段Ａ
物置
昇降口３
スロープ
柱芯
壁芯
15
1,000
4,500
4,500
4,500
4,500
4,725
1,000
2,775
7,500
45,275
15,275
20,000
15,000
4,500
4,500
4,500
4,500

凡例

記号	名　称	備　考
	LEDベースライト	
	天井埋込換気扇	
●	タンプラスイッチ	1P15A×1
●	タンプラスイッチ	1P15A×2
●	タンプラスイッチ	1P15A×3
●L	タンプラスイッチ	1P15A×1+L×1
●3	タンプラスイッチ	3W15A×1
	壁付けコンセント	2P15A×1
	電灯分電盤	

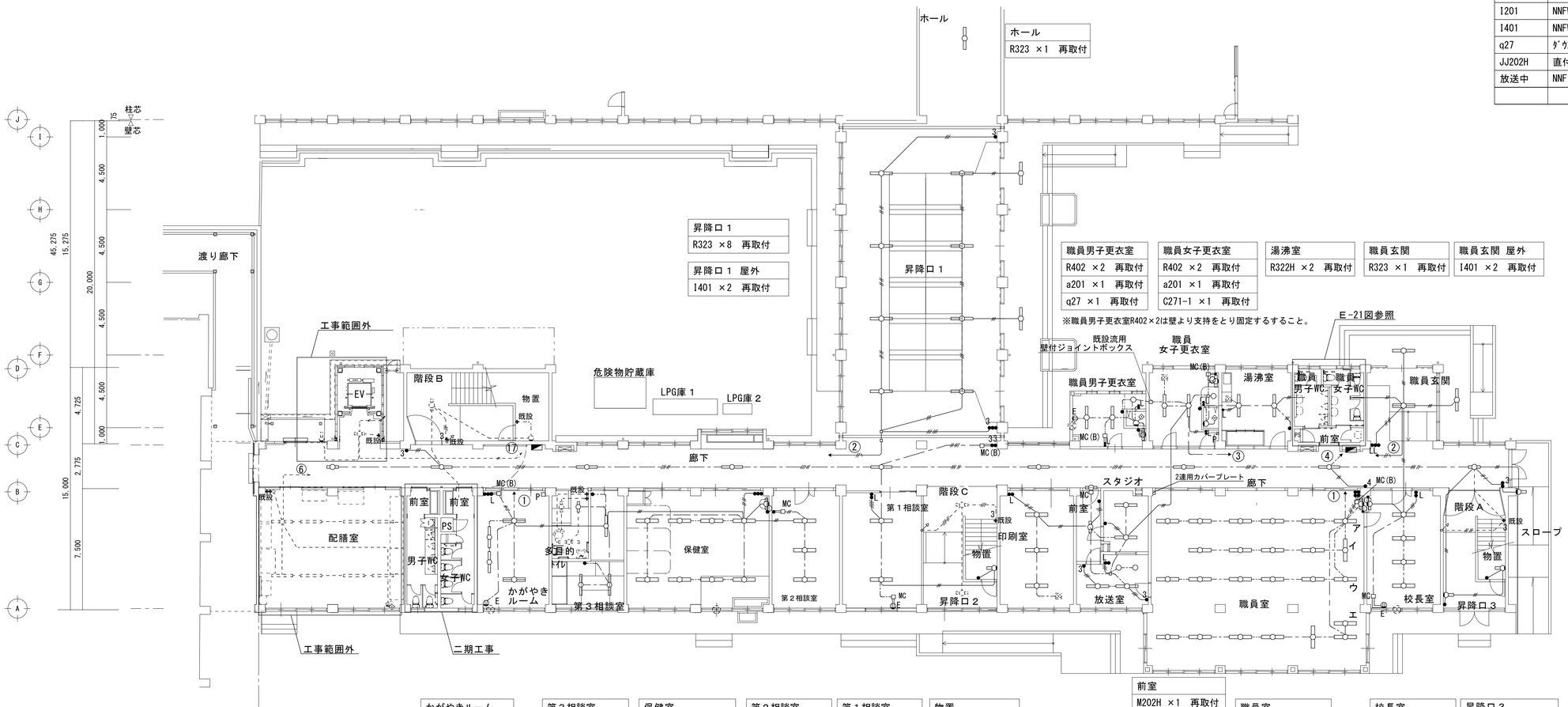
記入なき配線は下記による。

——//——	EM-IE 2.0×2 (既設管19)
————	EM-IE 1.6×2 (既設管19)
——///——	EM-IE 1.6×3 (既設管19)
——////——	EM-IE 1.6×4 (既設管25)
——/F\——	EM-EEF 2.0-3C 天井内コロガシ
—— - ——	EM-EEF 1.6-3C 天井内コロガシ
——//F//——	EM-EEF 1.6-2C×2 天井内コロガシ
——//F//——	EM-EEF 1.6-3C+2C 天井内コロガシ

破線は既設を示す。
天井内配線はコロガシとする。
壁内配線は既設配管を流用とする。
一点鎖線は天井内コロガシ。
実線は既設配管流用とする。

照明器具表

記号	品番	光束(lm)	消費電力(W)
R322H	直付XLX460AENP LE9	6,900	43.1
R323	直付XLX409DENJ LE9	10,000	56.0
R402	直付XLX449DEN LE9	4,000	25.0
R322N	直付XLX459DEN LE9	5,200	31.9
C322H	直付XLX460DSNT LE9	4,600	43.1
D322N	直付XLX450SENT LE9	5,070	31.9
JJ202N	直付XLX210NENC LE9	1,600	11.6
M202H	直付XLX230AENC LE9	3,200	21.8
a201	LGB85037 LE1	1,100	12.0
c271-1	ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄXND1069WN	1,045	7.0
I201	NNFW21800K LE9	990	10.0
I401	NNFW41800C	2,210	19.9
q27	ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄLRD3204L	600	7.4
JJ202H	直付XLX230NENC LE9	3,200	21.8
放送中	NNF11930 LE1		



露出立下り部はメタルモールにて保護とする。
□MC--メタルモールA型＋コーナーボックス使用。
□MJ--メタルモールA型＋ジャンクションボックス使用。
□P：カバープレート

1階平面図（改修後） 1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	1階　電灯設備図（改修後） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　222551　田中　富士夫

E-10

凡例

記号	名　称	備　考
	LEDベースライト	
	天井埋込換気扇	
●	タンプラスイッチ	1P15A×1
●	タンプラスイッチ	1P15A×2
●	タンプラスイッチ	1P15A×3
●	タンプラスイッチ	1P15A×1+PL×1
●3	タンプラスイッチ	3W15A×1
●L	パイロットスイッチ	
⏚	壁付けコンセント	2P15A×1
	電灯分電盤	

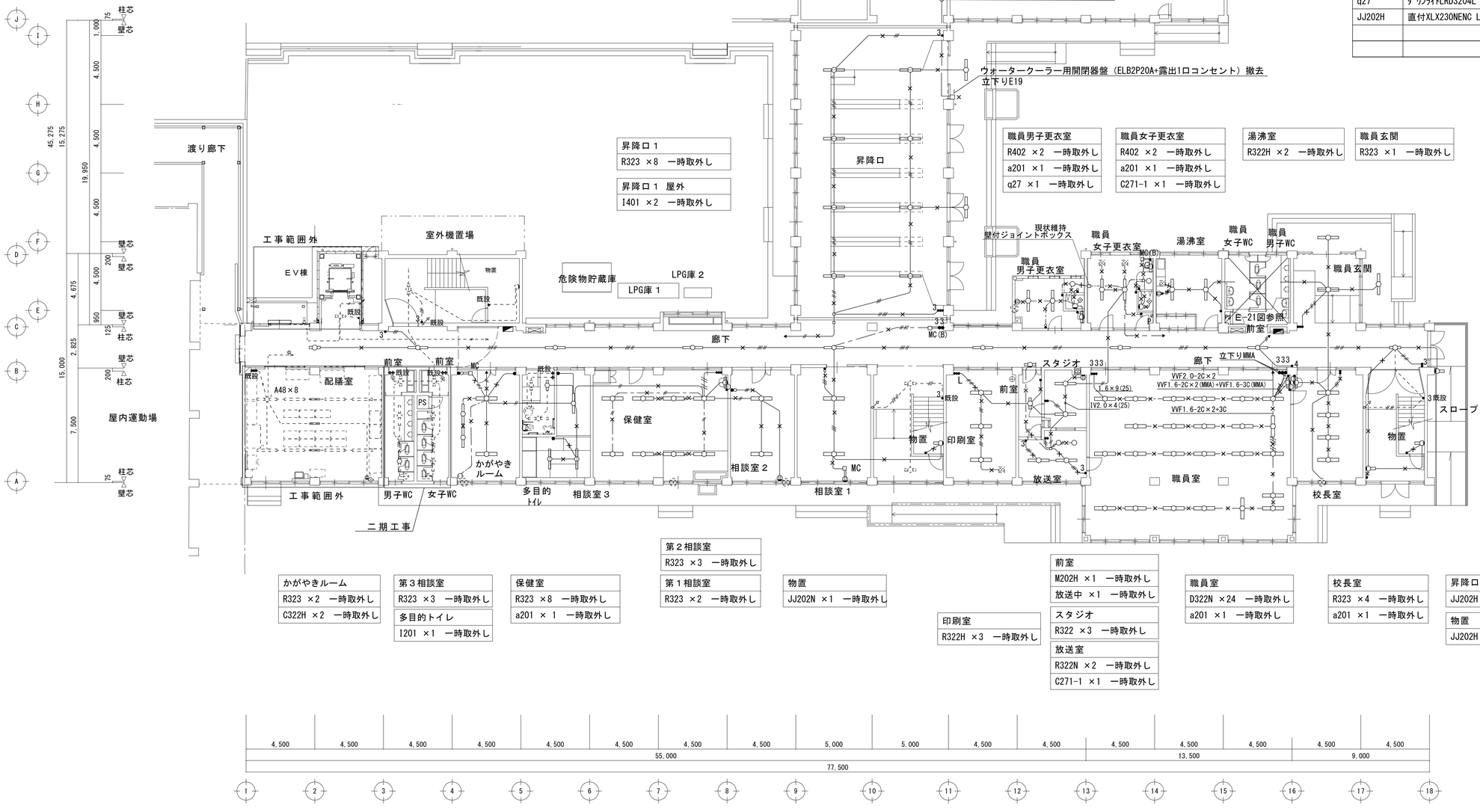
記入なき配線は下記による。

―//―	IV 2.0×2 (19)
―――	IV 1.6×2 (19)
―///	IV 1.6×3 (19)
―////	IV 1.6×4 (25)
― － ―	VVF 1.6-3C（天井ころがし）
―/ ―	VVF 1.6-2C（天井ころがし）
―///	VVF 1.6-2C+3C（天井ころがし）

×印は撤去を示す。
タンプラスイッチは更新とする。

照明器具表

記号	品番	光束(lm)	消費電力(W)
R322H	直付XLX460AENP LE9	6,900	43.1
R323	直付XLX409DENJ LE9	10,000	56.0
R402	直付XLX449DEN LE9	4,000	25.0
R322N	直付XLX459DEN LE9	5,200	31.9
C322H	直付XLX460BSNT LE9	4,600	43.1
D322N	直付XLX450SENT LE9	5,070	31.9
JJ202N	直付XLX210NENC LE9	1,600	11.6
M202H	直付XLX230AENC LE9	3,200	21.8
a201	LGB85037 LE1	1,100	12.0
c271-1	ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄXND1069WN	1,045	7.0
I201	NNFW21800K LE9	990	10.0
I401	NNFW41800C	2,210	19.9
q27	ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄLRD3204L	600	7.4
JJ202H	直付XLX230NENC LE9	3,200	21.8

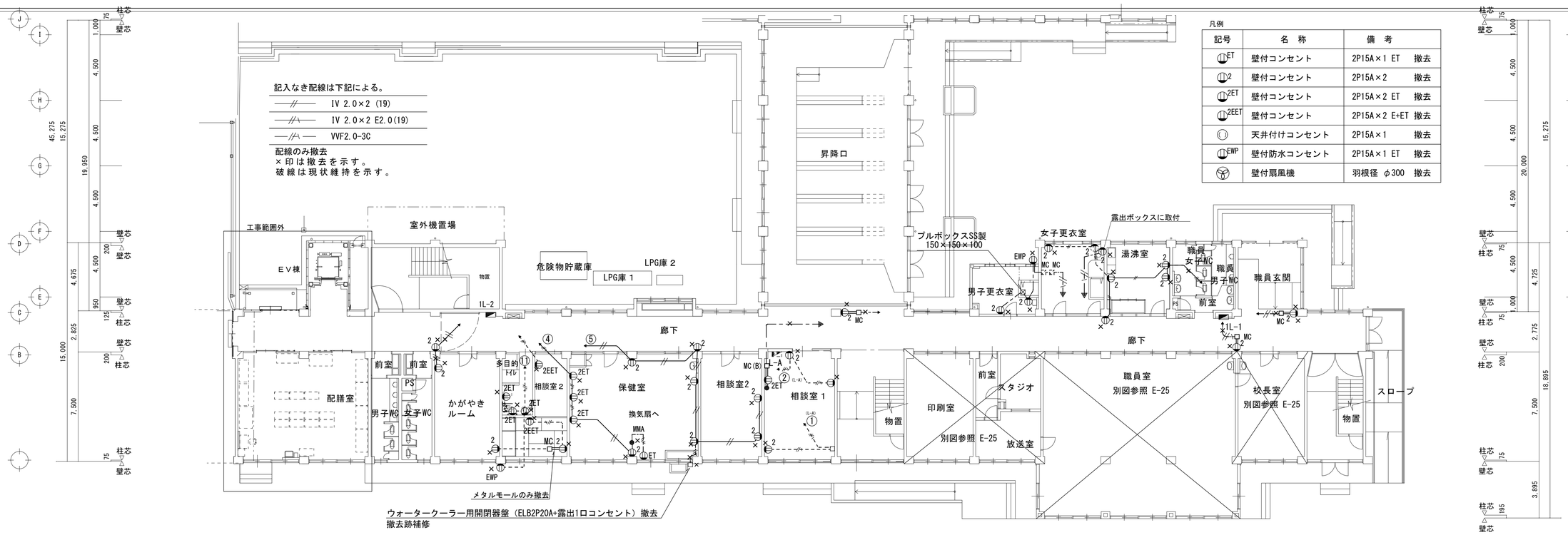


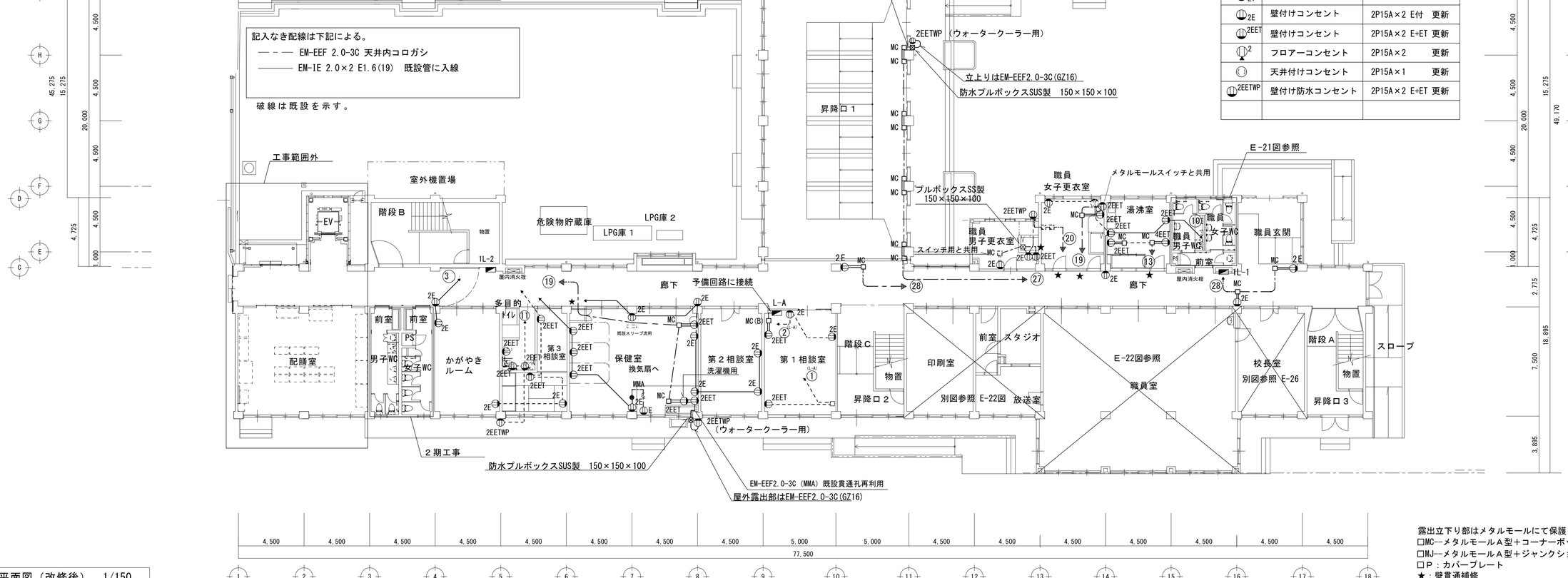
1階平面図（改修前） 1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	1階　電灯設備図（改修前） ★	★ A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　222551　田中　富士夫

E-11





１階平面図（改修後） 1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	１階 コンセント設備図（改修前・改修後） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

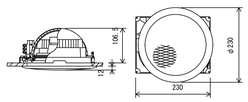
藤川設計株式会社 一級建築士登録 222551 田中 富士夫

E-12

拡声機器姿図（参考）

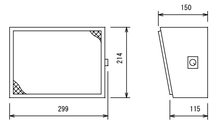
SP-1	天井埋込型スピーカー	SC6-Hi-1VO-M	SP-2	木製壁掛型スピーカー	SW2Hi-1VO
SP-1A	天井埋込型スピーカー　ＡＴＴ付	SC6-Hi-1V3-M	SP-2A	木製壁掛型スピーカー　ＡＴＴ付	SW2Hi-1V3

Ｌ級



定格入力	３Ｗ（３．３ｋΩ）
出力音圧レベル	９２ｄＢ（１Ｗ，１ｍ）
周波数特性	１００Ｈｚ～１２ｋＨｚ
スピーカー	１６ｃｍコーン型
仕上	枠：アルミ　オフホワイト
その他	ネット：アルミ　オフホワイト
	スピーカーカバー一体型

Ｌ級



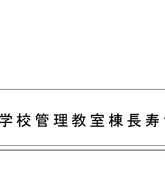
定格入力	３Ｗ
出力音圧レベル	９２ｄＢ（１Ｗ，１ｍ）
周波数特性	１５０Ｈｚ～１３ｋＨｚ
スピーカ等級	Ｌ級
音量調節	４段切換
仕上	ケース：木製　ライトグレー
	前面：ジャージネット　ライトグレー

SP-3	両面型スピーカー	SP-4	ホーンスピーカ　３０Ｗ　SH-30
		SP-6	ホーンスピーカ　１５Ｗ　SH-15

定格入力	１Ｗ、３Ｗ、６Ｗ
出力音圧レベル	９２ｄＢ（１Ｗ，１ｍ）
周波数特性	120 Hz～13 kHz
入力インピーダンス	10 kΩ(1W)、3.3 kΩ(3W)、1.7kΩ(6W)
仕上	枠：アルミ　オフホワイト
スピーカーユニット	16 ㎝コーン型×2

定格入力	３０Ｗ	１５Ｗ
出力音圧レベル	９８ｄＢ（１Ｗ，１ｍ）	
周波数特性	１２０Ｈｚ～１５ｋＨｚ	
スピーカ	定指向性ホーン＋１２ｃｍコーン型	
水平指向性	定指向性ホーン　９０°	
スピーカ等級	Ｌ級	
仕上	ホーン、カバー：樹脂　オフホワイト	

	音量調節器	V-1S	SP-5　天井露出型スピーカー　ＡＴＴ付

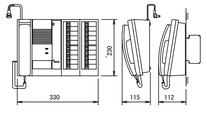


入力容量	0.5～3W
音量切換	５段階切換
仕上	プレート：新金属

Ｌ級

定格入力	３Ｗ
出力音圧レベル	９２ｄＢ（１Ｗ，１ｍ）
周波数特性	100 Hz～18 kHz
スピーカ	12cmコーン型
音量調節	４段切換
仕上	パネル：樹脂　オフホワイト

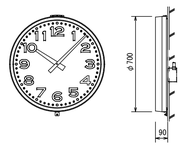
Ⓣ	同時通話インターホン親機（２０局用）	TC-20M



電源電圧	AC100V
形　状	卓上・壁取付（ＪＩＳ２個用スイッチボックス）両用
材　質	樹脂
局　数	２０局用

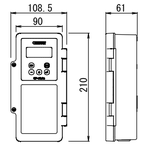
電気時計機器姿図（参考）

🕒	φ700壁掛型子時計（屋外防雨型）



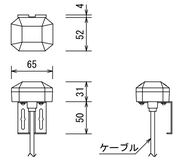
ケース	ステンレス　クリーム色
文字板	アルミニウム 白色
文　字	黒色
指　針	アルミニウム 黒色
風　防	強化ガラス　透明　t4
機　体	DC24V 有極30秒運針

	パルス発信器



ケース	ABS樹脂製 ライトグレー
基準周波数	32.768kHz
精　度	週差±1.2秒以内（アンテナ接続時積算誤差０秒）
入力電源	AC100V±10% 約4W 50/60Hz
出力信号	DC24V 30秒有極信号 2回路で最大60mA
停電時動作時間	60時間以上（1台、12mAの場合）
サマータイム	サマータイム期間の設定により自動修正
電波修正装置	専用アンテナ（GPS/長波）を接続することで
	時刻修正が可能

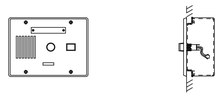
	ＧＰＳアンテナ



アンテナ部	
ケース	ポリカーボネート樹脂製 グレー色
受信周波数	1575.42MHz
受信感度	-145dBm（コールドスタート時）
取付金具	ステンレス

トイレ呼出表示器姿図（参考）

Ⓝ	トイレ呼出表示器 1窓　CN-1A34/A



電源電圧	DC12V(電源アダプターから供給)
形状	壁埋込型
材質	ステンレス t0.8
窓数	1窓
表示方式	断続ブザー音と表示窓点灯

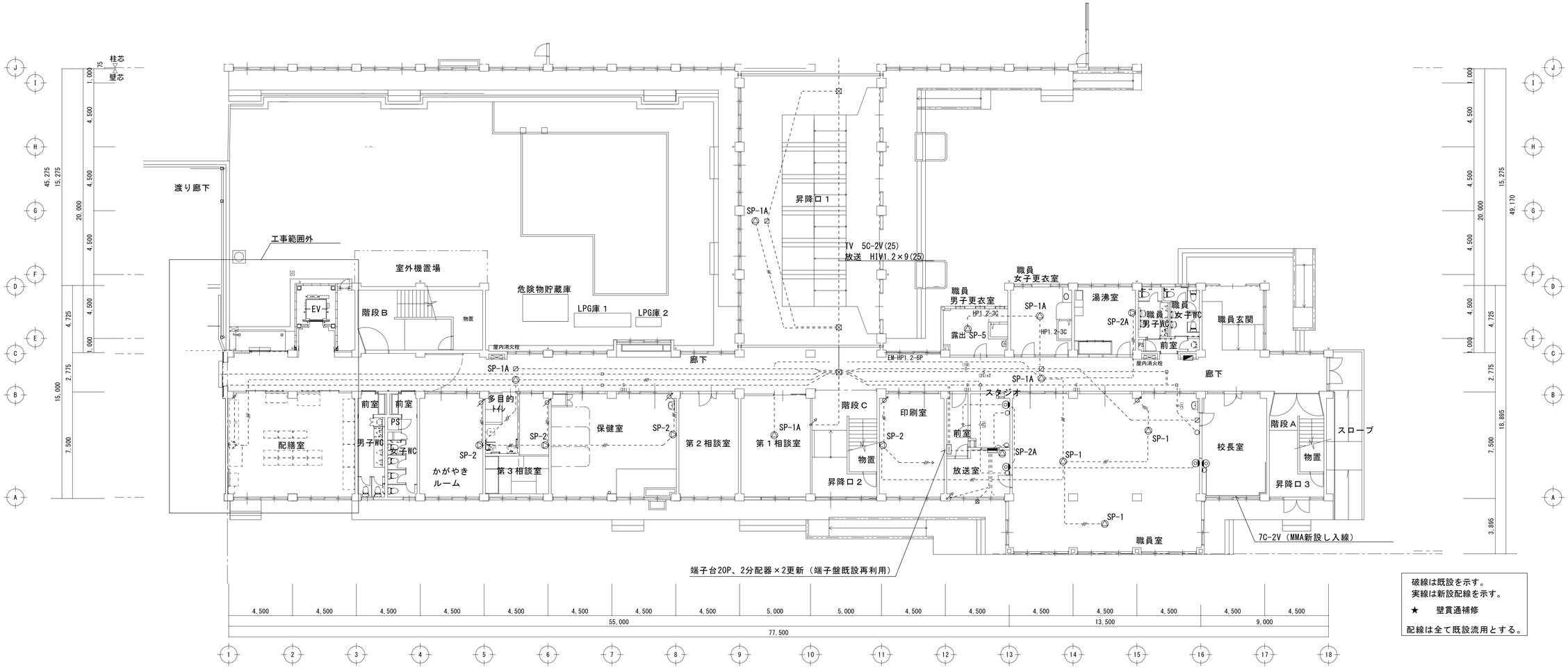
※電源アダプターは既設再利用とする

凡例表

記　号	名　　称	備　　考
△	天井埋込スピーカ	更新
▽	壁掛型スピーカ	更新
⌀	アッテネータ	更新
◷	電気時計用カバープレート	現状維持
◎	直列ユニット用カバープレート	現状維持
◒	カバープレート	現状維持

記入なき配線は下記による。

- HIV 1.2×3(19)
- C-19
- C-25
- C-31



破線は既設を示す。
実線は新設配線を示す。

★　　壁貫通補修

配線は全て既設流用とする。

１階平面図（改修後）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	１階　弱電設備図１（改修後） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	E-14

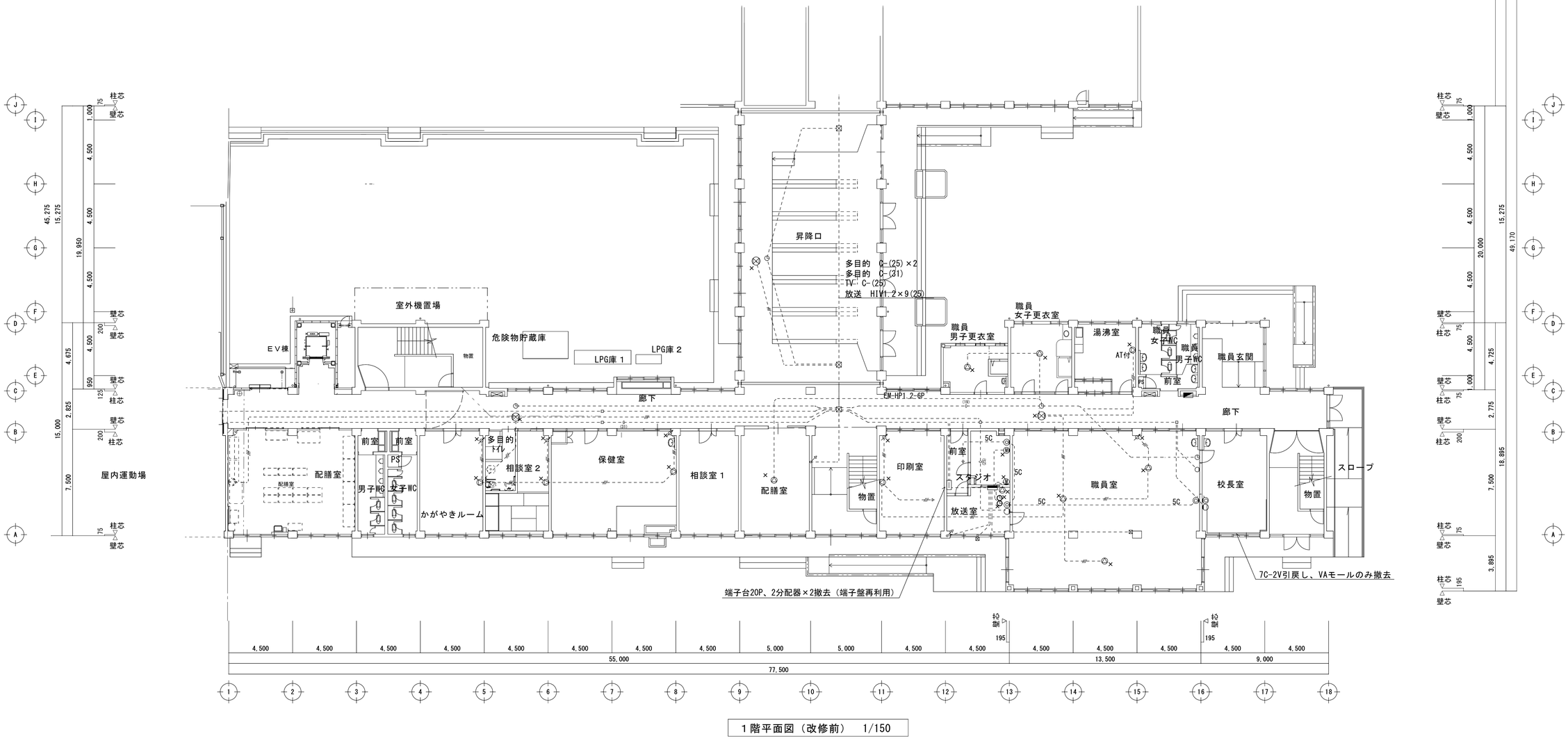
凡例表

記　号	名　　称	備　　考
	天井埋込スピーカ	撤去
	壁掛型スピーカ	撤去
	両面スピーカ天井取付	撤去
	アッテネータ	撤去
	電気時計用カバープレート	現状維持
	直列ユニット用カバープレート	現状維持
	カバープレート	現状維持

配管、配線は現状維持とする。
×印は撤去を示す。

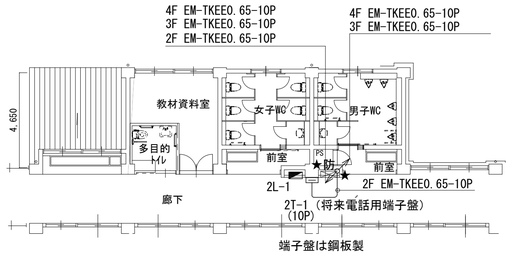
5C　5C-2V(19)

HIV1.2×3(19)

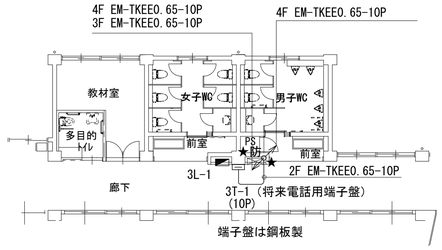


１階平面図（改修前）　1/150

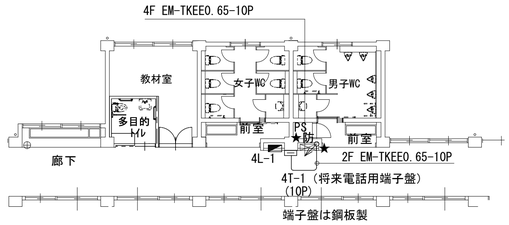
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	１階　弱電設備図１（改修前） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	E-15



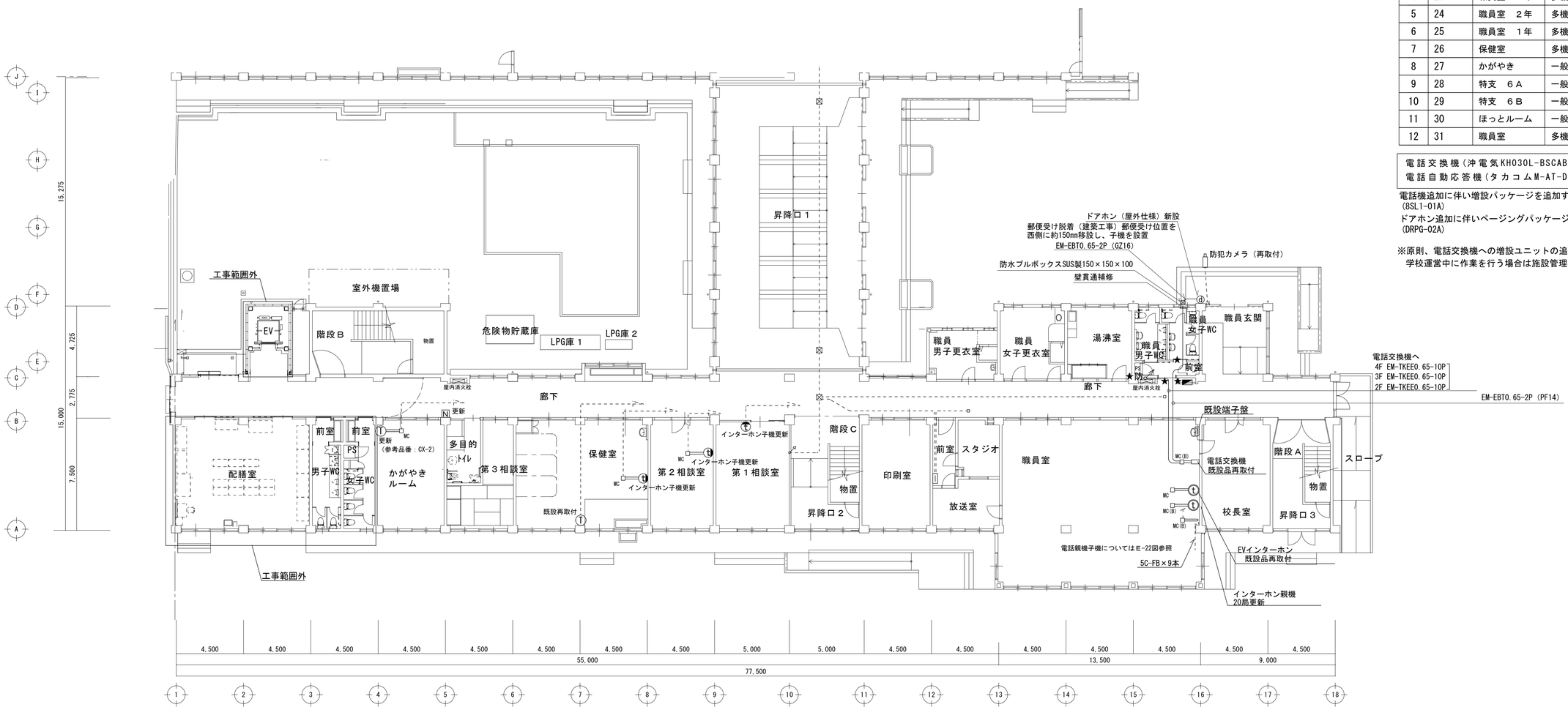
２階平面図（改修後）　1/150



３階平面図（改修後）　1/150



４階平面図（改修後）　1/150



１階平面図（改修後）　1/150

電話機一覧表

員数	内線番号	部屋名	機種
1	20	校長室	停電対応型多機能電話機
2	21	職員室　教頭	多機能電話機
3	22	職員室　事務	多機能電話機
4	23	職員室　３年	多機能電話機
5	24	職員室　２年	多機能電話機
6	25	職員室　１年	多機能電話機
7	26	保健室	多機能電話機（取外再取付）
8	27	かがやき	一般電話機（更新）
9	28	特支　６Ａ	一般電話機
10	29	特支　６Ｂ	一般電話機
11	30	ほっとルーム	一般電話機
12	31	職員室	多機能電話機

電話交換機（沖電気KH030L-BSCAB）
電話自動応答機（タカコムM-AT-D）

電話機追加に伴い増設パッケージを追加する。
(8SL1-01A)
ドアホン追加に伴いページングパッケージを追加する。
(DRPG-02A)

※原則、電話交換機への増設ユニットの追加は9月以降に行うこと。
学校運営中に作業を行う場合は施設管理者と協議のうえ、監督職員の承諾を得ること。

破線は既設を示す。
実線は新設配線を示す。
★　壁貫通補修
★防　防火区画貫通処理

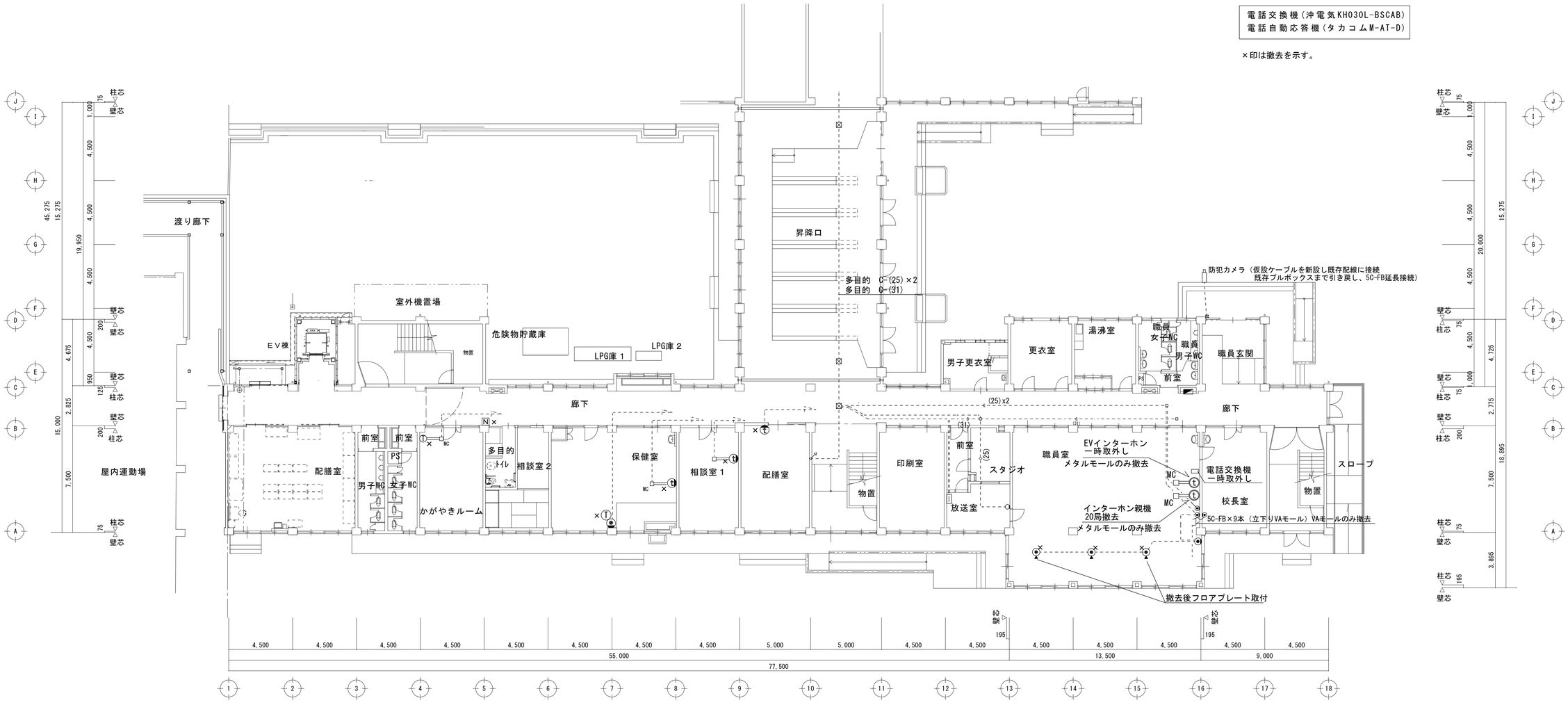
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	１階　弱電設備図２（改修後） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	E-16

電話機一覧表

員数	内線番号	部屋名	機種
1	20	校長室	停電対応型多機能電話機
2	21	職員室　教頭	多機能電話機
3	22	職員室　事務	多機能電話機
4	23	職員室　３年	多機能電話機
5	24	職員室　２年	多機能電話機
6	25	職員室　１年	多機能電話機
7	26	保健室	多機能電話機（取外再取付）
8	27	かがやき	一般電話機（撤去）
9	28	特支　６Ａ	一般電話機
10	29	特支　６Ｂ	一般電話機
11	30	ほっとルーム	一般電話機
12	31	職員室	多機能電話機

電話交換機（沖電気KH030L-BSCAB）
電話自動応答機（タカコムM-AT-D）

×印は撤去を示す。



１階平面図（改修前）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	１階　弱電設備図２（改修前） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	E-17

改修前

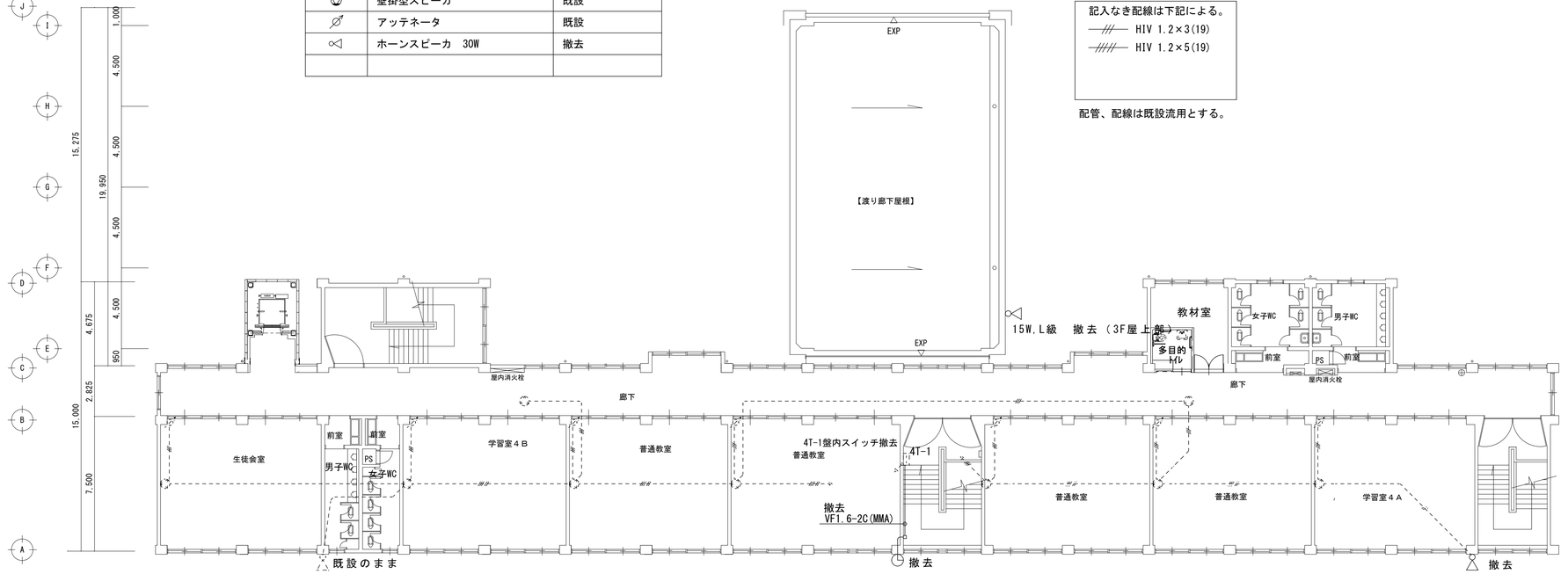
4T-1
CATV増幅器　×1
BS増幅器　×1
10P端子台　×4
入切スイッチ×4

凡例表

記　号	名　　称	備　　考
△	天井埋込スピーカ	既設
▽	壁掛型スピーカ	既設
⌀	アッテネータ	既設
⋈	ホーンスピーカ　30W	撤去

記入なき配線は下記による。
HIV 1.2×3(19)
HIV 1.2×5(19)

配管、配線は既設流用とする。



４階平面図（改修前）　1/150

改修後

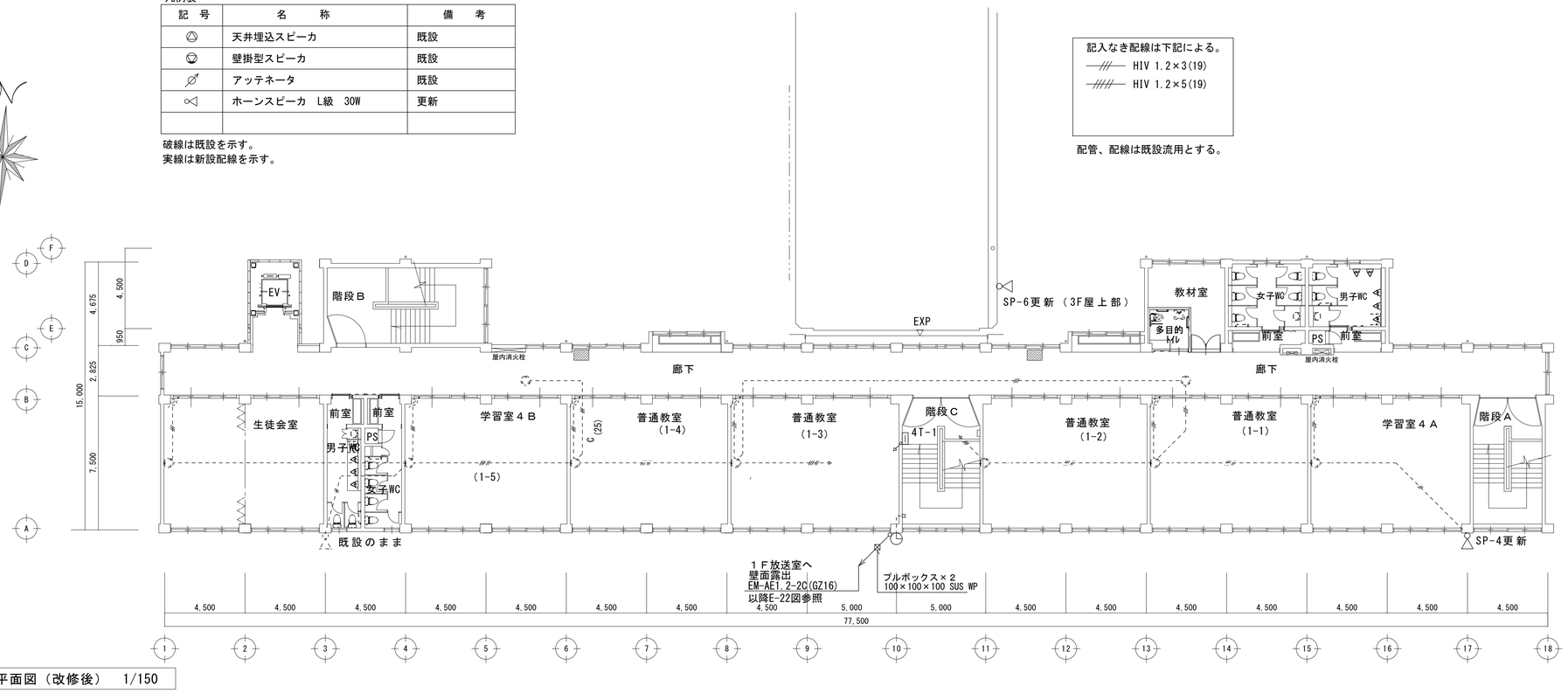
凡例表

記　号	名　　称	備　　考
△	天井埋込スピーカ	既設
▽	壁掛型スピーカ	既設
⌀	アッテネータ	既設
⋈	ホーンスピーカ　L級　30W	更新

破線は既設を示す。
実線は新設配線を示す。

記入なき配線は下記による。
HIV 1.2×3(19)
HIV 1.2×5(19)

配管、配線は既設流用とする。

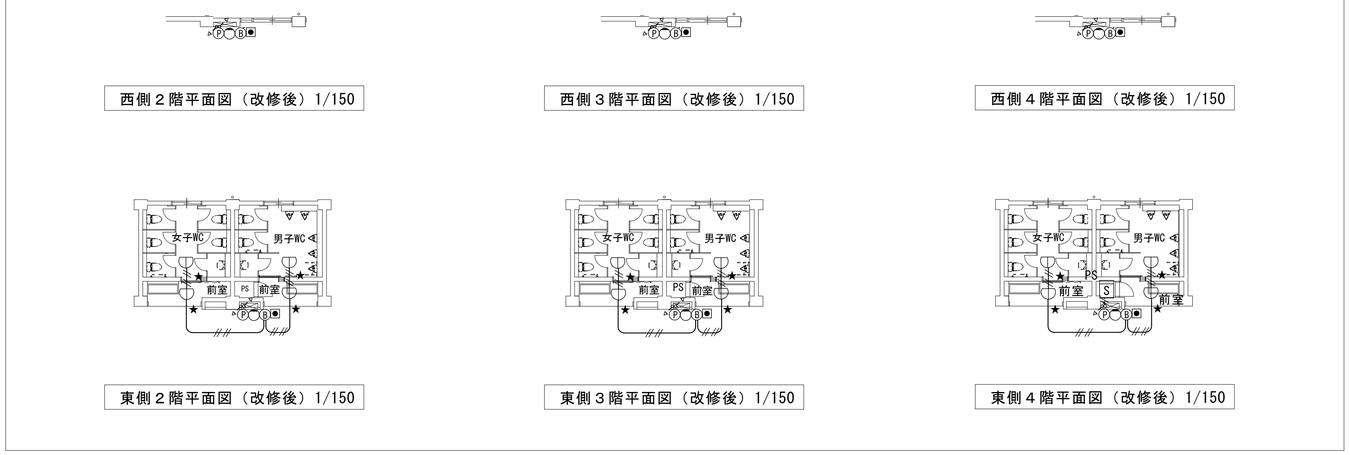


４階平面図（改修後）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	４階　拡声・電気時計設備図（改修前・改修後） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

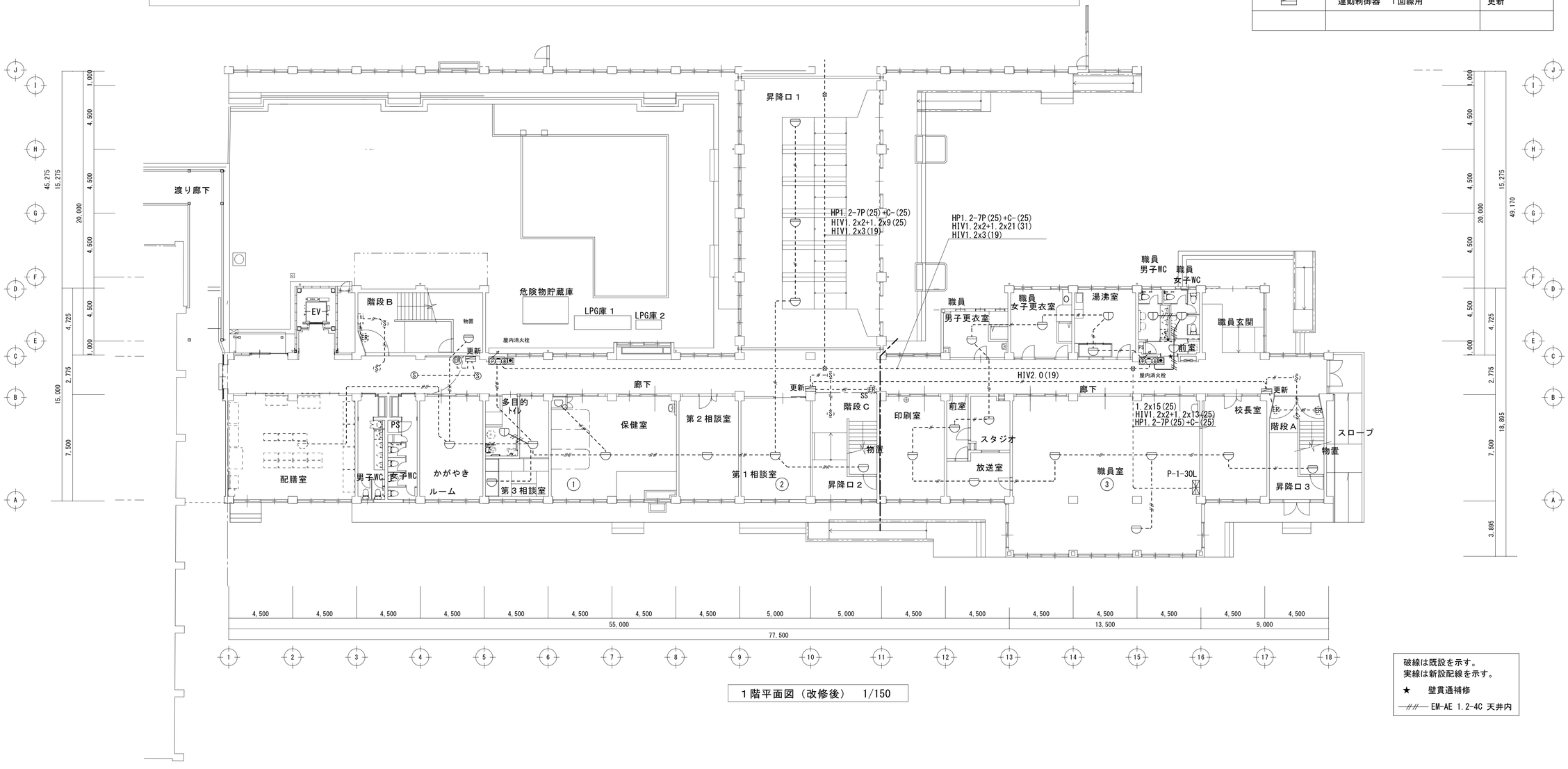
藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

E-18



凡例表

記号	名称	備考
	P型1級受信機	更新
	消火栓組込	
Ⓟ	P型1級発信機	更新
	表示灯	更新
Ⓑ	ベル	更新
	消火栓起動押ボタン	更新
S	煙感知器　２種	更新
	差動式スポット型感知器　２種	更新
	定温式スポット型感知器　１種防水	更新
	定温式スポット型感知器　特種	更新
	中継ボックス	更新
	立ち上がり、立ち下がり	更新
NO	警戒区域番号	更新
ER	電磁レリーズ　扉用	更新
ERSS	電磁レリーズ　シャッター用	建築工事
Ⓢ	煙感知器　３種	更新
	連動制御器　１回線用	更新

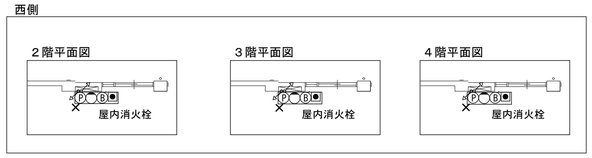


１階平面図（改修後）　1/150

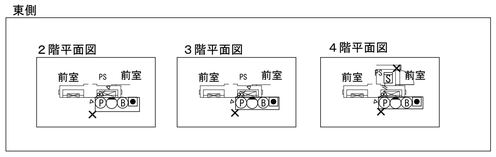
破線は既設を示す。
実線は新設配線を示す。
★　壁貫通補修
EM-AE 1.2-4C 天井内

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	１階　自動火災報知設備図（改修後）	A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	E-19

西側

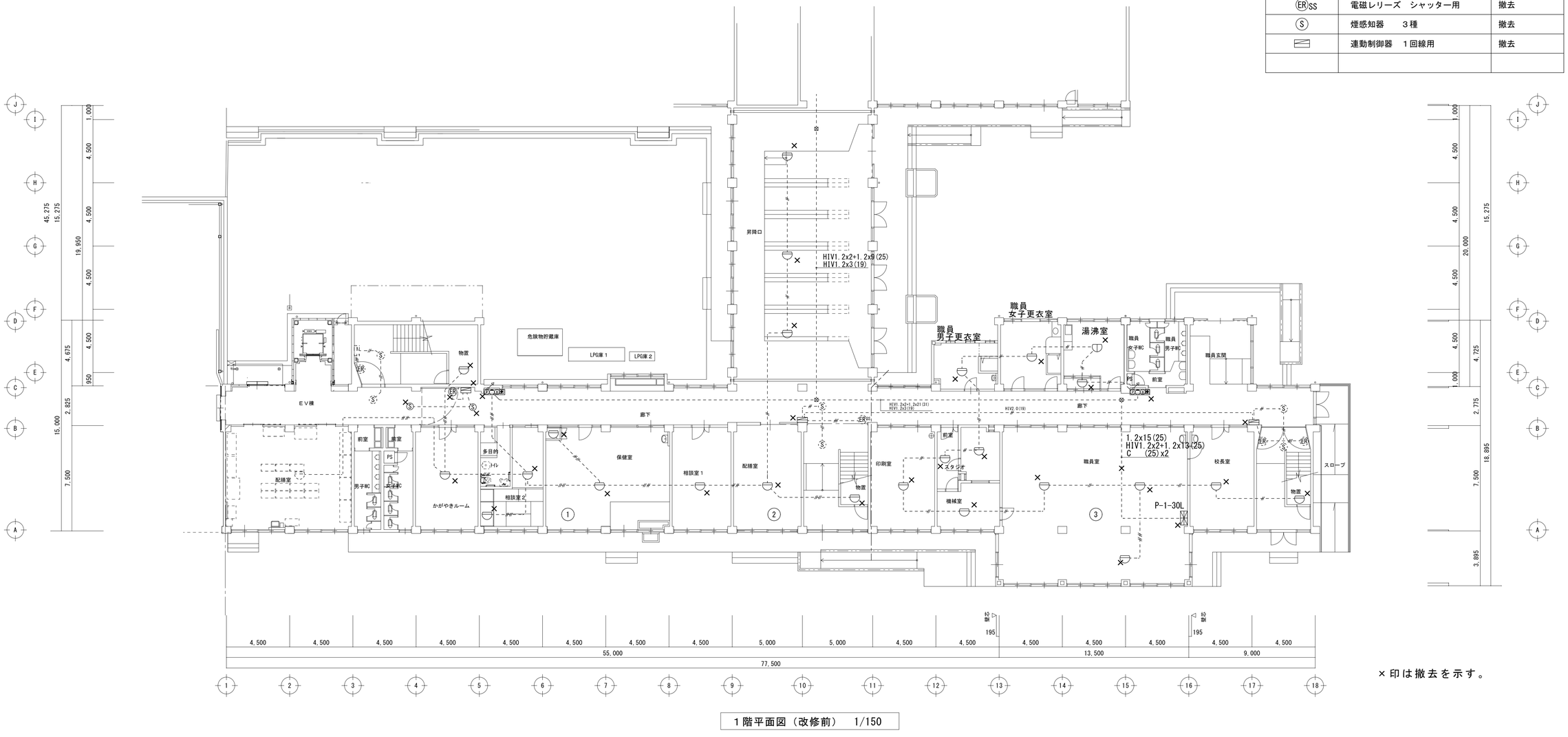


東側



凡例表

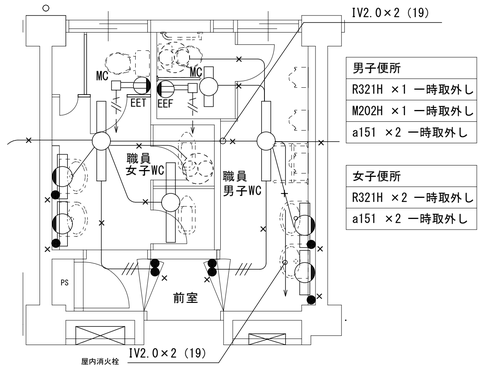
記号	名称	備考
	P型1級受信機	撤去
	消火栓組込	
Ⓟ	P型1級発信機	撤去
	表示灯	撤去
Ⓑ	ベル	撤去
	消火栓起動押ボタン	撤去
S	煙感知器　２種	撤去
	差動式スポット型感知器　２種	撤去
	定温式スポット型感知器　１種防水	撤去
	定温式スポット型感知器　特種	撤去
	中継ボックス	
	立ち上がり、立ち下がり	
NO	警戒区域番号	
ER	電磁レリーズ　扉用	撤去
ERSS	電磁レリーズ　シャッター用	撤去
Ⓢ	煙感知器　３種	撤去
	連動制御器　１回線用	撤去



×印は撤去を示す。

１階平面図（改修前）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	１階　自動火災報知設備図（改修前） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	E-20



男子便所
R321H ×1 一時取外し
M202H ×1 一時取外し
a151 ×2 一時取外し

女子便所
R321H ×2 一時取外し
a151 ×2 一時取外し

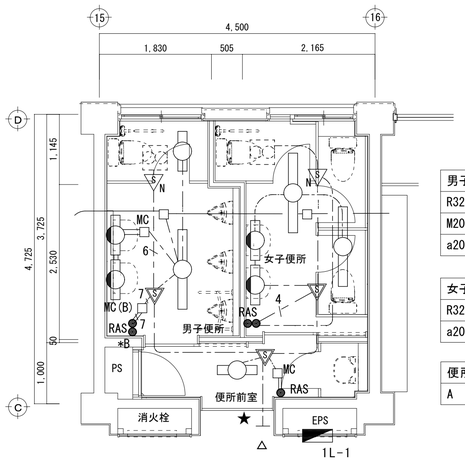
職員便所　平面詳細図（改修前）１／50

凡例表

記号	名　称	備　考
	LED直付照明器具	
	LED壁付照明器具	
S	人感センサー親機　広角検知	8Aタイプ
S	人感センサー子機　広角検知	
SN	人感センサー子機	換気扇連動用
RAS	操作ユニット	1回路用
RAS	操作ユニット	2回路用
EET	壁付コンセント	2P15A×1,E+ET
2EET	壁付コンセント	2P15A×2,E+ET
	天井付抜け止めコンセント	2P15A
MC	コーナーボックス	
	小便器用アウトレットボックス	
★	壁貫通補修	

記入なき配線は下記による。

EM-EEF 2.0-3C(1C接地)天井内	
EM-EEF 2.0-3C(1C接地)(PF22)	(PF)
EM-EEF 2.0-3C(1C接地)(MMA)	(MMA)
IV1.6×2 (19)	
IV1.6×3 (19)	



男子便所
R321H ×1 再取付
M202H ×1 再取付
a201×2 再取付

女子便所
R321H ×2 再取付
a201 ×2 再取付

便所前室
A ×1 新設

職員便所　平面詳細図（改修後）１／50

照明器具表

記号	品番	光束(lm)	消費電力(W)
M202H	直付XLX230AENC LE9	3,200	21.8
R321H	直付XLX439DEN LE9	3,200	20.6
R402	直付XLX449DEN LE9	4,000	25.0
a201	LGB85037 LE1	1,100	12.0

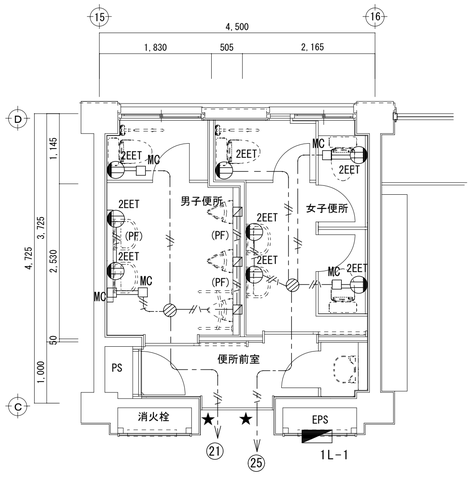
A	一体型ＬＥＤベースライト　直付型　　消費電力２１．８Ｗ　ＦＨＦ１６Ｗ×２　高出力相当

ＬＳＳ９－２－３０

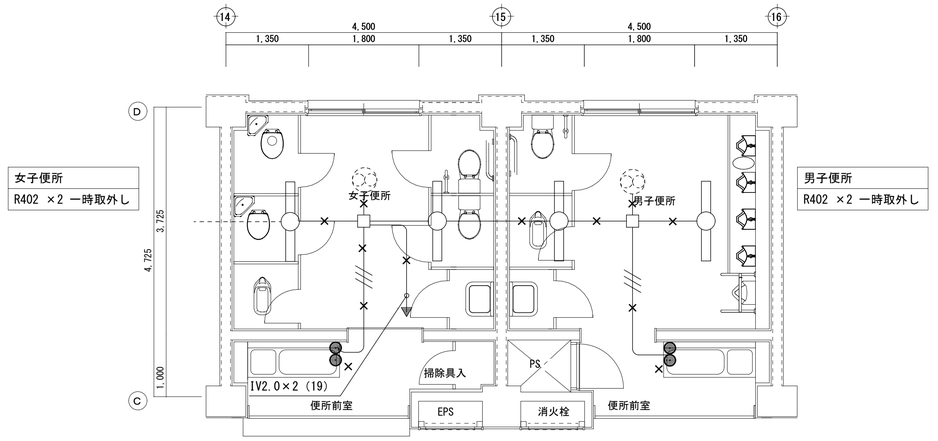
記入なき配線は下記による。

EM-EEF 2.0-3C	
EM-EEF 1.6-2C	
EM-EEF 1.6-3C	
EM-EEF 1.6-2C×2	4
EM-EEF 1.6-2C+1.6-3C	5
EM-EEF 1.6-3C×2	6
EM-EEF 1.6-2C×2+1.6-3C	7
EM-IE1.6×3 (既設管19)	

△ 既設配線と接続
露出立下り部はメタルモールにて保護とする。
□MC…メタルモールＡ型＋コーナーボックス使用。
□MJ…メタルモールＡ型＋ジャンクションボックス使用。
新設軽量壁内はPF管を使用。



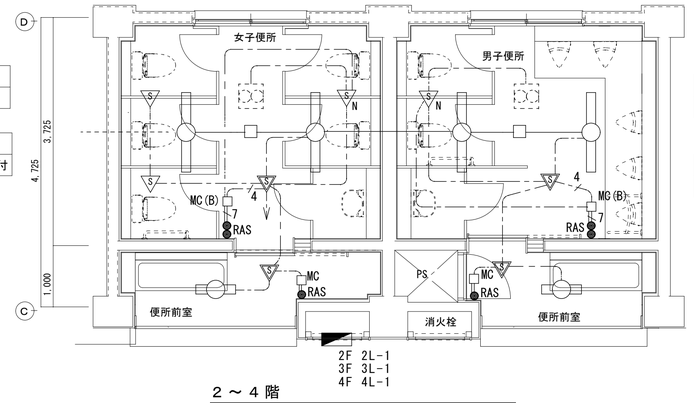
職員便所　平面詳細図（改修後）１／50



女子便所
R402 ×2 一時取外し

男子便所
R402 ×2 一時取外し

２～４階
生徒用便所、前室２　平面詳細図（改修前）１／50



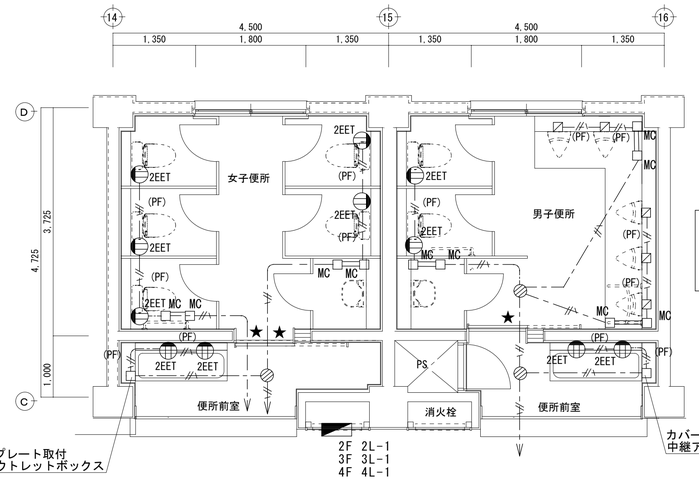
便所前室
A ×1 新設

女子便所
R402 ×2 再取付

男子便所
R402 ×2 再取付

便所前室
A ×1 新設

２～４階
生徒用便所、前室２　平面詳細図（改修後）１／50



電灯盤回路

	女子便所	男子便所
2L-1	⑭⑮	⑯
3L-1	⑮⑯	⑰
4L-1	⑬⑭	⑮

生徒用便所、前室２　平面詳細図（改修後）１／50

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	東側便所 ★　電灯コンセント設備平面図（改修前・改修後） ★	A1: 1:50 A3: 1:71	★	★	★	★	★

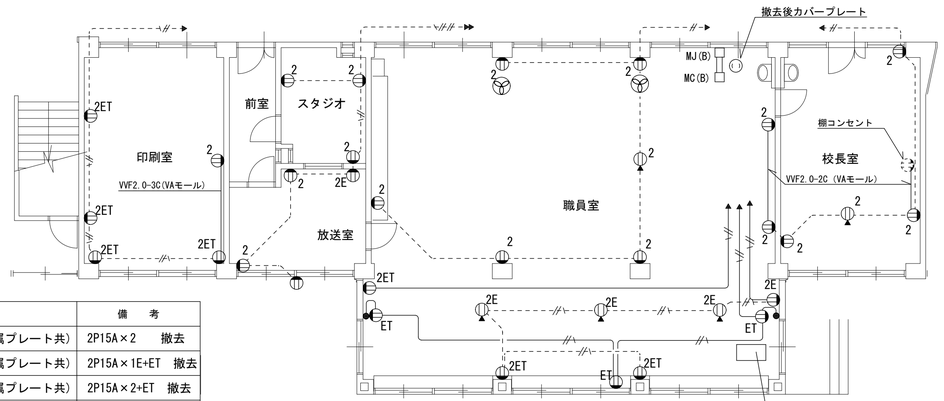
藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

E-21

職員室・校長室平面図1/100

記入なき配線は下記による。

———	VVF 2.0-2C 天井内コロガシ	既設配線撤去
- - - -	IV 2.0×2(19) 床埋設	既設配線のみ撤去
———	IV 2.0×2(19) 天井内配管	既設配線のみ撤去

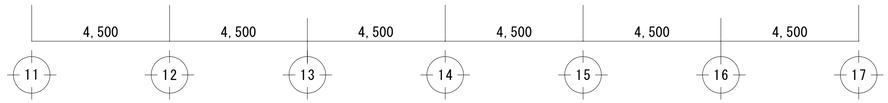


フロアコンセントは撤去後カバープレート取付

凡例表

記号	名称	備考
⑪2	壁付コンセント(新金属プレート共)	2P15A×2 撤去
⑪EET	壁付コンセント(新金属プレート共)	2P15A×1E+ET 撤去
⑪2ET	壁付コンセント(新金属プレート共)	2P15A×2+ET 撤去
ⓘ2	フロアコンセント	2P15A×2 撤去
ⓘ2E	フロアコンセント	2P15A×2 撤去
Ⓨ	壁付扇風機	撤去

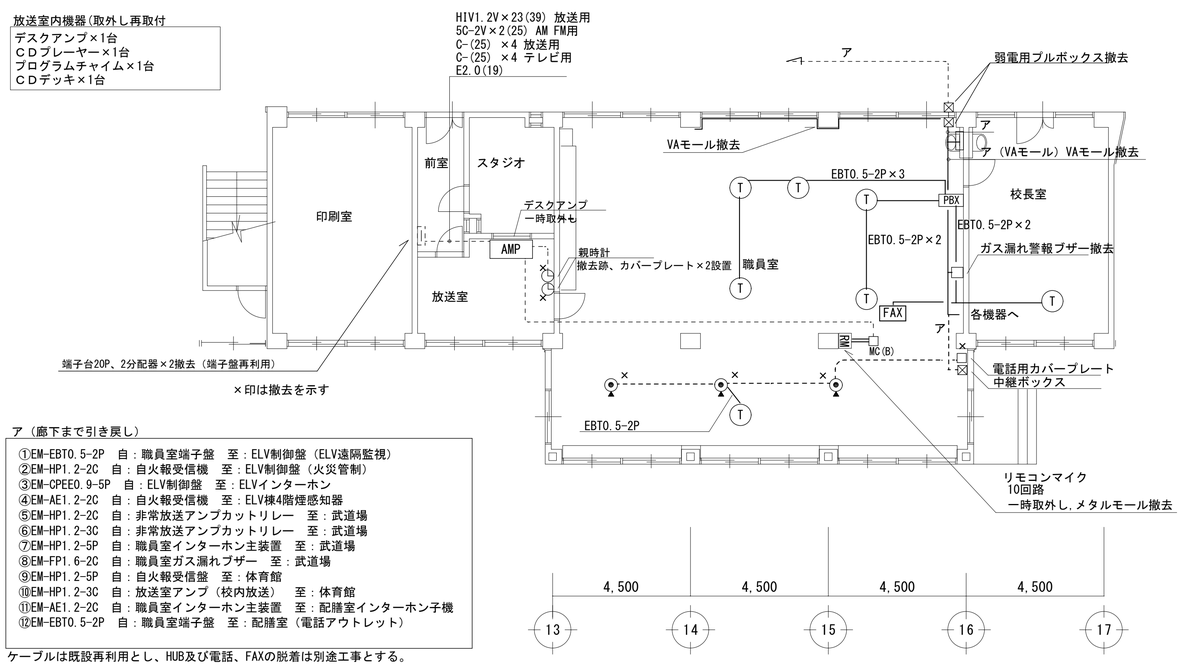
配線は撤去とする。
コンセントは撤去とする。
メタルモール、ＶＡモールは撤去とする。



改修前
コンセント設備図 S=1/100

職員室・校長室平面図1/100

放送室内機器(取外し再取付
デスクアンプ×1台
ＣＤプレーヤー×1台
プログラムチャイム×1台
ＣＤデッキ×1台



×印は撤去を示す

ア（廊下まで引き戻し）

①EM-EBT0.5-2P 自：職員室端子盤 至：ELV制御盤（ELV遠隔監視）
②EM-HP1.2-2C 自：自火報受信機 至：ELV制御盤（火災管制）
③EM-CPEE0.9-5P 自：ELV制御盤 至：ELVインターホン
④EM-AE1.2-2C 自：自火報受信機 至：ELV棟4階煙感知器
⑤EM-HP1.2-2C 自：非常放送アンプカットリレー 至：武道場
⑥EM-HP1.2-3C 自：非常放送アンプカットリレー 至：武道場
⑦EM-HP1.2-5P 自：職員室インターホン主装置 至：武道場
⑧EM-FP1.6-2C 自：職員室ガス漏れブザー 至：武道場
⑨EM-HP1.2-5P 自：自火報受信盤 至：体育館
⑩EM-HP1.2-3C 自：放送室アンプ（校内放送） 至：体育館
⑪EM-AE1.2-2C 自：職員室インターホン主装置 至：配膳室インターホン子機
⑫EM-EBT0.5-2P 自：職員室端子盤 至：配膳室（電話アウトレット）

ケーブルは既設再利用とし、HUB及び電話、FAXの脱着は別途工事とする。

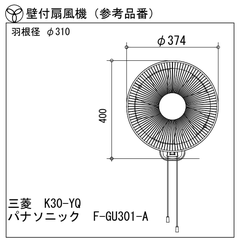
改修前
弱電設備図 S=1/100

職員室・校長室平面図1/00

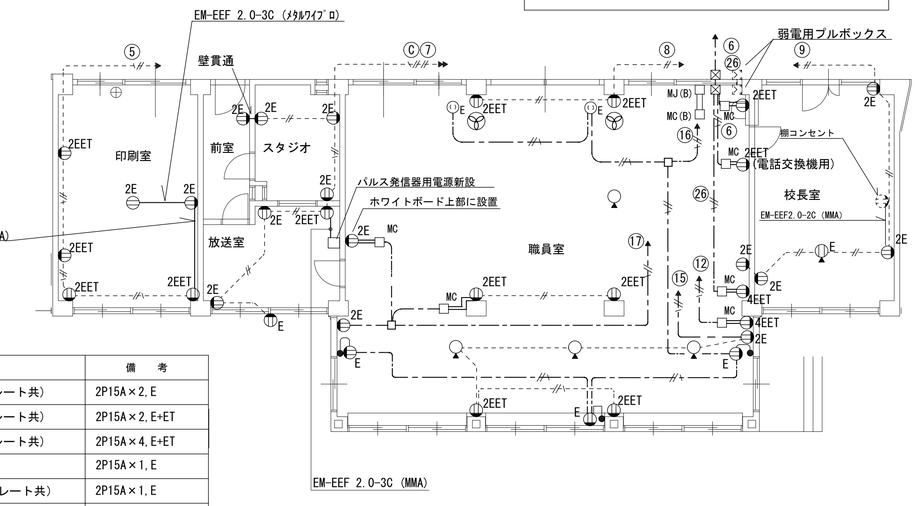
記入なき配線は下記による。

— - —	EM-EEF 2.0-3C 天井内コロガシ	
- - - -	EM-IE 2.0×2 E1.6(19) 床埋設	既設管に入線
———	EM-IE 2.0×2 E1.6(19) 天井内配管	既設管に入線

Ⓨ壁付扇風機（参考品番）

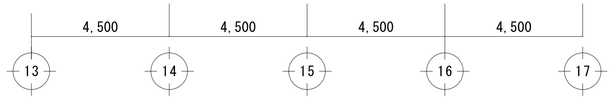


三菱 K30-YQ
パナソニック F-GU301-A



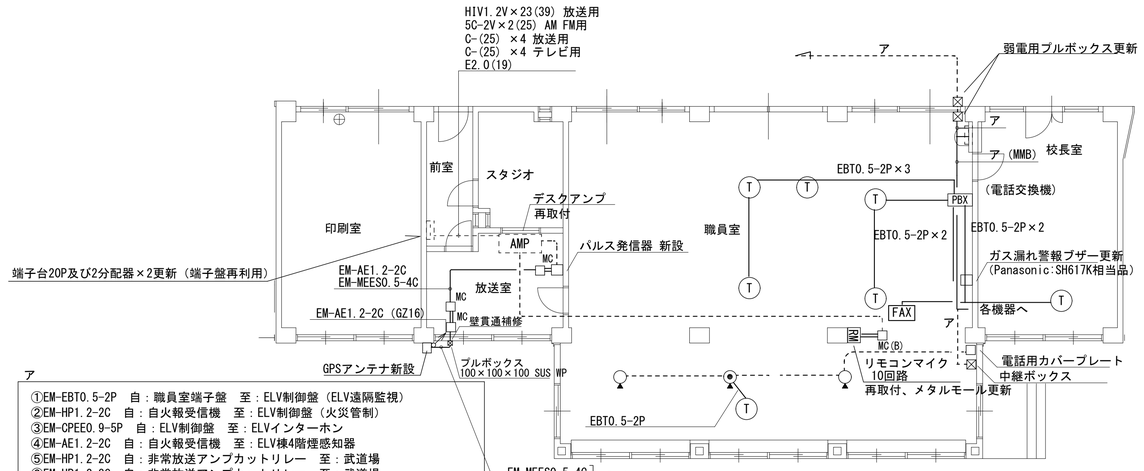
凡例表

記号	名称	備考
⑪2E	壁付コンセント(新金属プレート共)	2P15A×2,E
⑪2EET	壁付コンセント(新金属プレート共)	2P15A×2,E+ET
⑪4EET	壁付コンセント(新金属プレート共)	2P15A×4,E+ET
ⓘE	フロアコンセント	2P15A×1,E
ⓘE	抜止コンセント（新金属プレート共）	2P15A×1,E
○	カバープレート	
□MC	メタルモールA型コーナーボックス	
□MJ	メタルモールA型ジャンクションボックス	
⊠	プルボックス	200×200×200



改修後
コンセント設備図 S=1/100

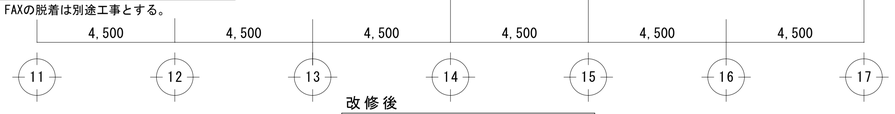
職員室・校長室平面図1/00



ア

①EM-EBT0.5-2P 自：職員室端子盤 至：ELV制御盤（ELV遠隔監視）
②EM-HP1.2-2C 自：自火報受信機 至：ELV制御盤（火災管制）
③EM-CPEE0.9-5P 自：ELV制御盤 至：ELVインターホン
④EM-AE1.2-2C 自：自火報受信機 至：ELV棟4階煙感知器
⑤EM-HP1.2-2C 自：非常放送アンプカットリレー 至：武道場
⑥EM-HP1.2-3C 自：非常放送アンプカットリレー 至：武道場
⑦EM-HP1.2-5P 自：職員室インターホン主装置 至：武道場
⑧EM-FP1.6-2C 自：職員室ガス漏れブザー 至：武道場
⑨EM-HP1.2-5P 自：自火報受信盤 至：体育館
⑩EM-HP1.2-3C 自：放送室アンプ（校内放送） 至：体育館
⑪EM-AE1.2-2C 自：職員室インターホン主装置 至：配膳室インターホン子機
⑫EM-EBT0.5-2P 自：職員室端子盤 至：配膳室（電話アウトレット）

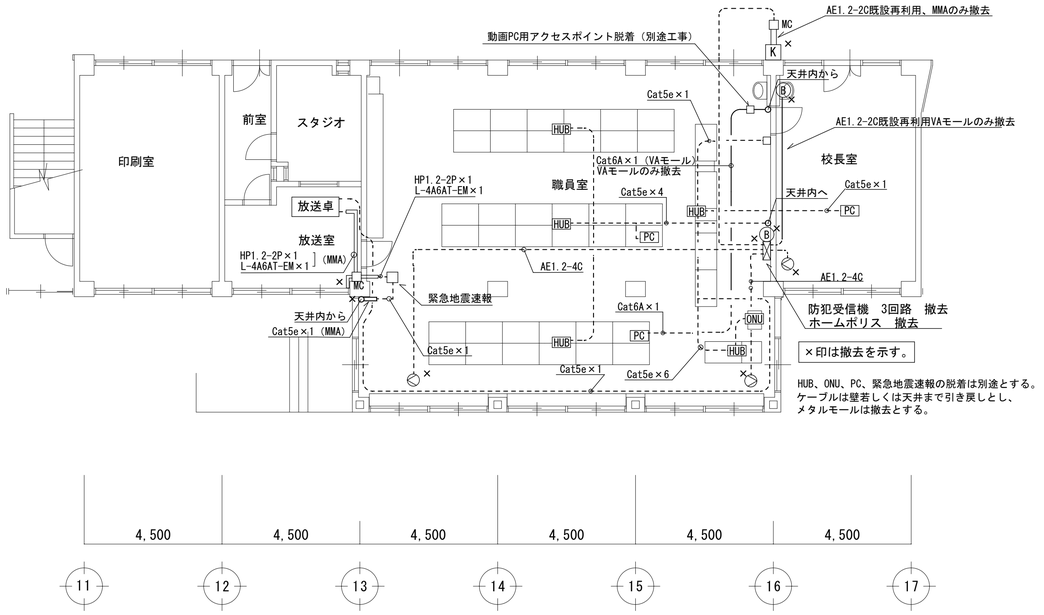
ケーブルは既設再利用とし、HUB及び電話、FAXの脱着は別途工事とする。



改修後
弱電設備図 S=1/100

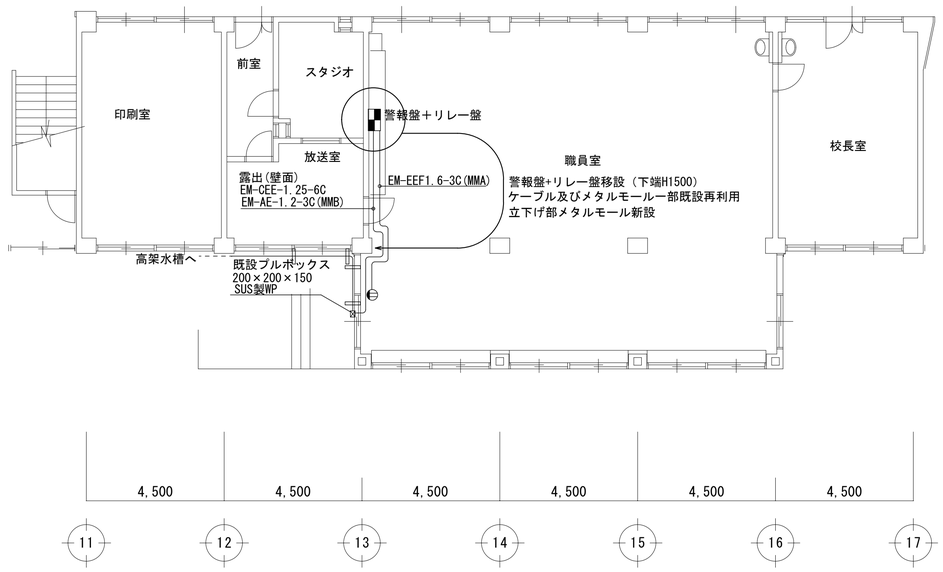
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	職員室・校長室・放送室 ★ コンセント設備・弱電設備平面図（改修前・改修後） ★	A1: 1:100 A3: 1:200	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録 222551 田中 富士夫	E-22

職員室・校長室平面詳細図１／100



改修前

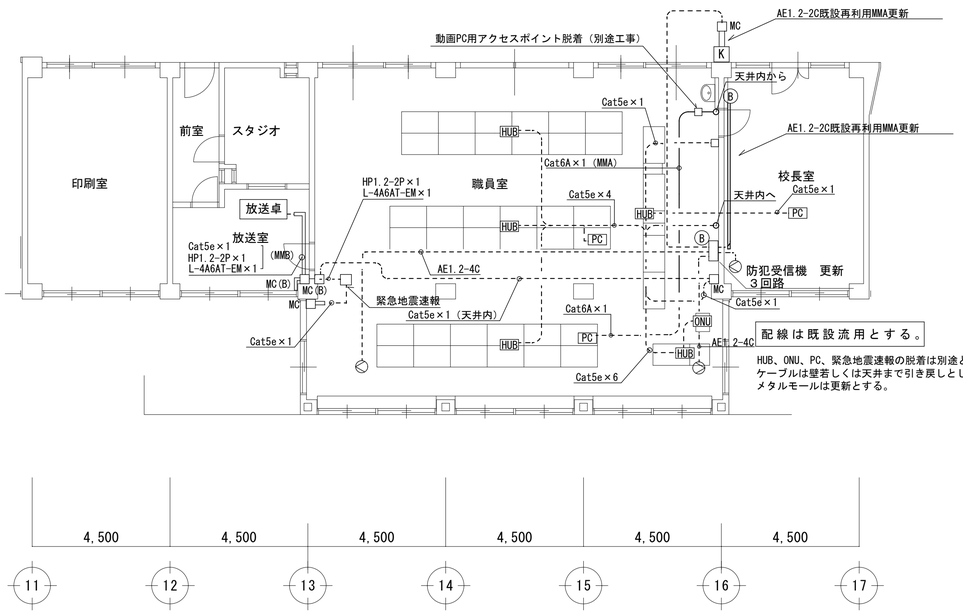
防犯受信機、LAN設備図　S=1/100



改修前・改修後

警報設備図　S=1/100

職員室・校長室平面詳細図１／100

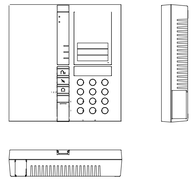


改修後

防犯受信機、LAN設備図　S=1/100

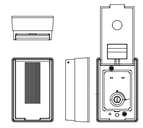
防犯受信機姿図

防犯受信機　３回路



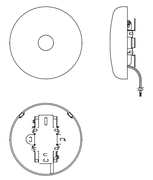
電源電圧	AC100V 50/60Hz
予備電源	Ni-MH 13.2V 1300mAh
電源出力	DC13.5V
警報電源出力	DC13.5V
入力数	センサ×3、リモコンキー×1
出力数	無電圧出力×5
形式	壁掛型
材質	ABS樹脂

K　操作部(キー式)



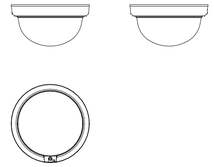
電源電圧	DC9～18V(有極)
入力	ループ入力：a接点/b接点切替可能
	制御入力：a接点入力
出力	セット出力：無電圧接点1c
	異常出力：無電圧接点1b
保護等級	IP54
形式	直付型(屋内/屋外)
その他	警戒セット失敗時ブザー鳴動

Ⓑ　ベル



電源電圧	DC9～28V
音量	90dB

赤外線式検知器



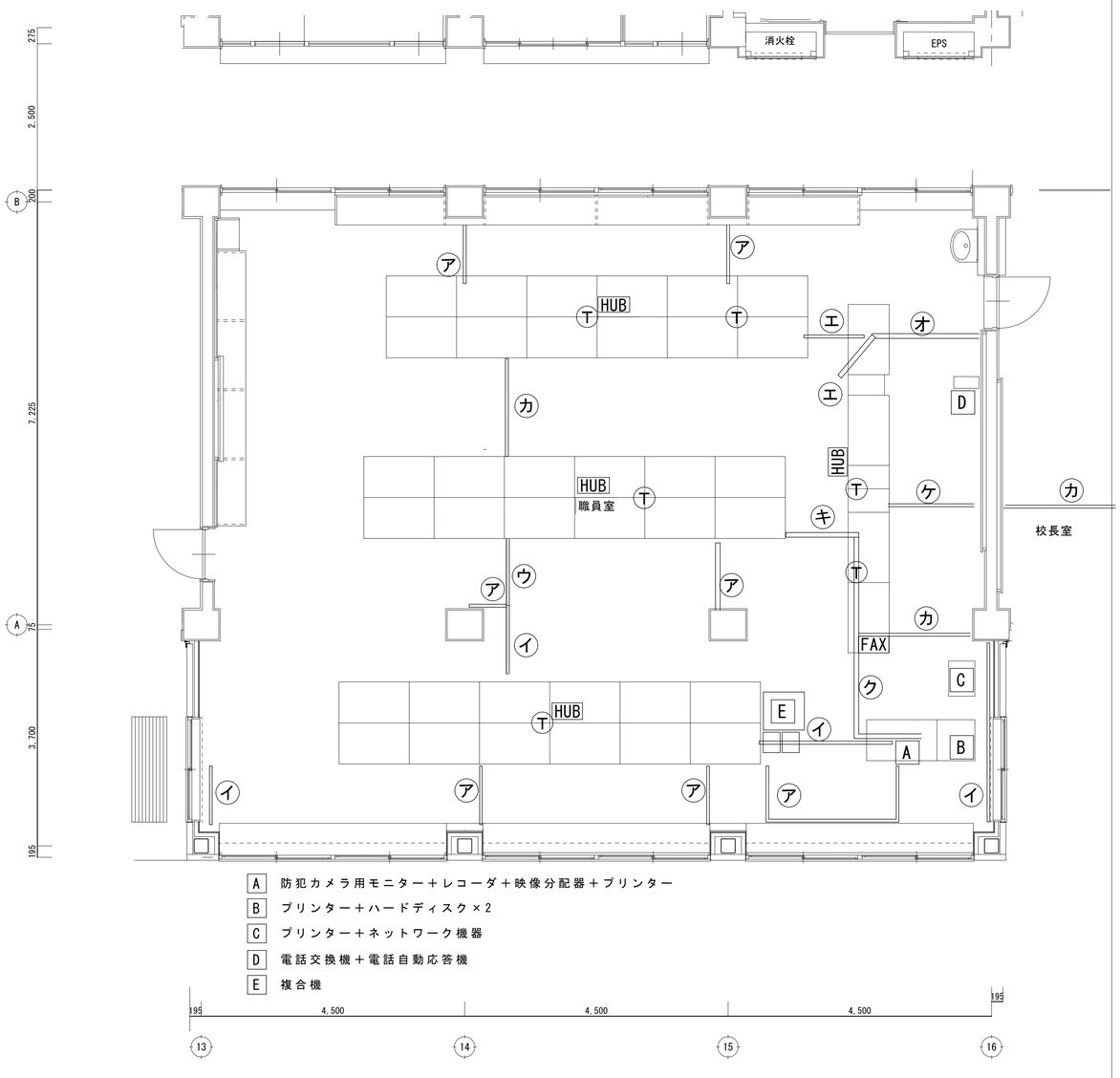
電源電圧	DC9～DC13.8V
検知方式	パッシブインフラレッド式
検知エリア	12m/85°
検知出力	無電圧接点 1a/1b切替可能
検知速度	0.3～2m/秒
形式	天井直付型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	職員室・校長室 防犯受信機設備、LAN・警報設備図（改修前・改修後） ★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

E-23

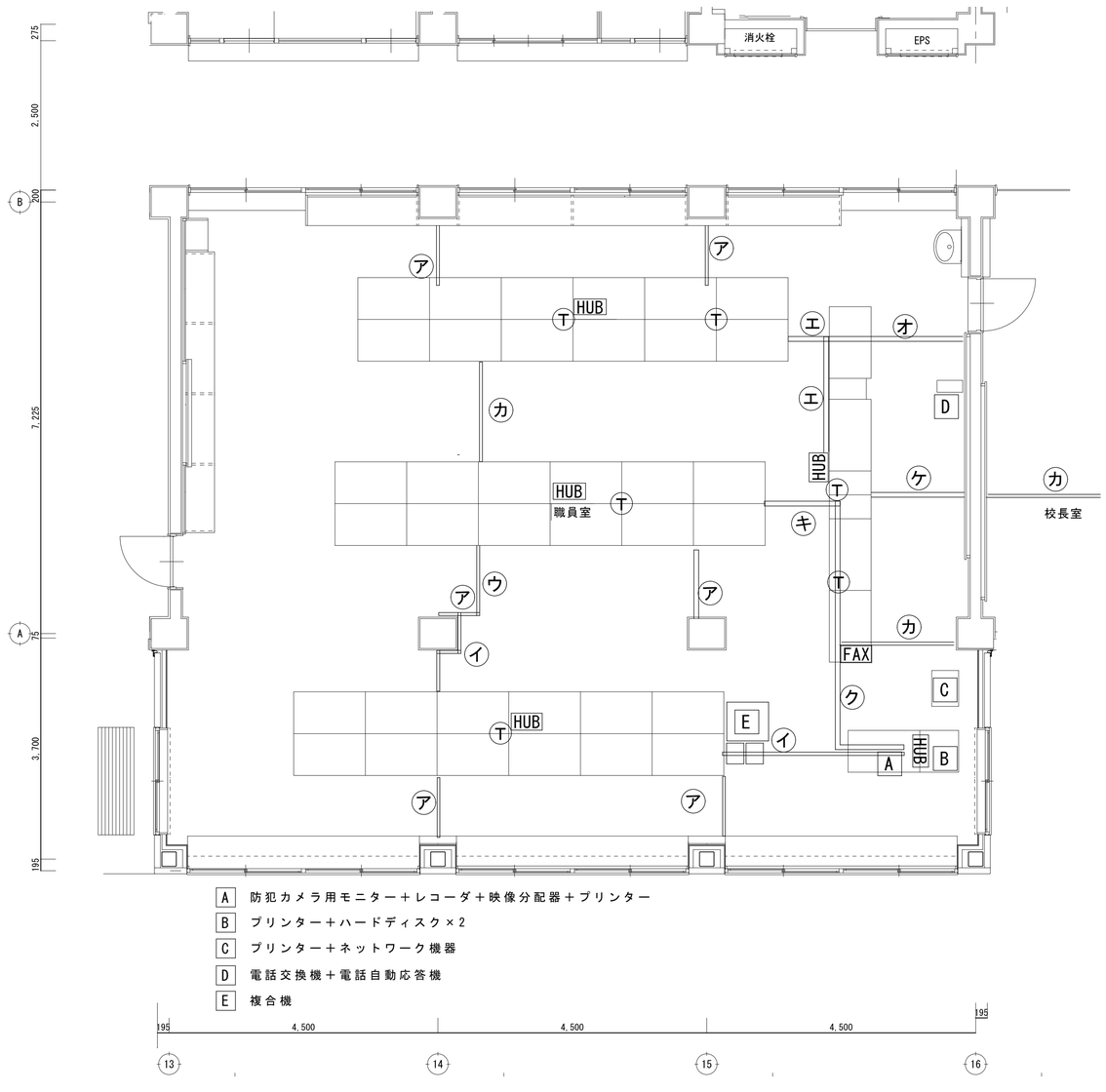
記号	配線	保護管	備考
㋐	OAタップ	ワイプロ	モール撤去、コード撤去
㋑	Cat5e	ワイプロ	モール撤去、配線一時取外し
㋒	OAタップ+Cat5e×6	ワイプロ	モール撤去、配線一時取外し
㋓	EBT0.5-2P×2	ワイプロ	モール撤去、配線一時取外し
㋔	OAタップ+EBT0.5-2P×5	ワイプロ	モール撤去、コード撤去
㋕	Cat5e+EBT0.5-2P	ワイプロ	モール撤去、配線一時取外し
㋖	Cat5e×4	ワイプロ	モール撤去、コード撤去
㋗	Cat5e ×6	ワイプロ	モール撤去、配線一時取外し
㋘	OAタップ+Cat5e	ワイプロ	モール撤去、配線一時取外し



職員室平面詳細図（改修前） 1／50

記号	配線	保護管	備考
㋐	OAタップ	メタルワイプロ（2way）	OAタップ新設
㋑	Cat5e	メタルワイプロ（2way）	配線再取付
㋒	OAタップ+Cat5e×6	メタルワイプロ（2way）	OAタップ新設、配線再取付
㋓	EBT0.5-2P×2	メタルワイプロ（2way）	配線再取付
㋔	OAタップ+EBT0.5-2P×5	メタルワイプロ（2way）	OAタップ新設、配線再取付
㋕	Cat5e+EBT0.5-2P	メタルワイプロ（2way）	配線再取付
㋖	Cat5e×4	メタルワイプロ（2way）	配線再取付
㋗	Cat5e ×6	メタルワイプロ（2way）	配線再取付
㋘	OAタップ+Cat5e	メタルワイプロ（2way）	OAタップ新設、配線再取付

OAタップ：T-T06-3450LG/RS（エレコム株式会社）相当品
（本体差込口形状：3ﾋﾟﾝ、本体差込口個数：4個口、プラグ形状：スイングプラグ、コード長：5m）
メタルワイプロの配置は参考とし、現場状況を確認のうえ、監督職員の承諾を得る事



職員室室平面詳細図（改修後） 1／50

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	職員室・床モール詳細図（改修前・改修後） ★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録 222551
田中 富士夫

E-24

桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）　設計図

仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事場所　　四日市市　桜町　地内

2．建物概要

建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積（㎡）	消防法施行令別表第一	備考
管理教室棟	RC造	地上４階建一部Ｓ造	4329.00	7項	

3．工事種目（○印の付いたものを適用する）

建物別及び屋外 ＼ 工事種別 ／ 工事種目	管理教室棟					
⊙ 空気調和設備	改修　一式					
⊙ 換気設備	改修　一式					
・ 排煙設備						
・ 自動制御設備						
⊙ 衛生器具設備	改修　一式					
⊙ 給水設備	改修　一式					
⊙ 排水設備	改修　一式					
⊙ 給湯設備	改修　一式					
⊙ 消火設備	改修　一式					
・ 厨房設備						
⊙ ガス設備	改修　一式					
・ 雨水利用設備						
・ 排水処理設備						
・ し尿浄化槽設備						
⊙ 撤去工事	改修　一式					

4．指定部分　⊙ 無　・有（　部位：　　）

指定部分工期　令和　年　月　日

Ⅱ．工事仕様

1．共通仕様　　○印の付いたものを適用する。

（1）図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、

⊙ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（　令和４年版　）（以下「標準仕様書」という。）
⊙ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（　令和４年版　）（以下「改修標準仕様書」という。）
⊙ 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（　令和４年版　）（以下「標準図」という。）

2．特記仕様

章、項目及び特記事項は、○印の付いたものを適用する。

章	項目	特記事項
一般共通事項（1）	① 環境への配慮	（1）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-ｎ-ブチル及びフタル酸ジ-２-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 （2）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第２０条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	② 材料・機材の品質等	（1）本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （2）別表－１に機材等名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定めて許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 （3）「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目は判断の基準等を満足させるものとする。
	3 工事用仮設物	構内につくることが　・　できる　・できない
	4 足場その他	・ 別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ・ 内部足場等　（・　　） ・ 外部足場等　（・くさび緊結式（手すり先行工法）　・　　）

	⑤ 建設発生土の処理	・ 埋戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。 ⊙ 構外搬出適切処理とする。 ※建設発生土を搬出する場合は、事前に書面にて処分地の報告（位置図等）を行い、処分地での処理状況が分かる写真を提出すること。また、処分地が民有地の場合、土地所有者からの建設発生土受入承諾書の写しを提出すること。
	⑥ 埋戻し土・盛土	地中埋設管まわりは山砂の類とし、図面に記載のない部分は掘削土の良質土で埋戻す。
	7 運転操作説明板	系統図、機器等の取り扱い方及び重要な定期点検項目を記載したアクリル樹脂製の板を機械室に設ける。説明板の大きさは、約　　m2とする。
	⑧ 機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式集（平成25年版）によるほか、監督職員の指示による。
	9 総合調整	・ 本工事　・　別途 調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。） ・ 風量調整　・　水量調整　・　室内外空気の温湿度の測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定　・　騒音の測定 ・ 飲料水の水質の測定（水道法第４条の水質基準の規定に基づくこと） ・ 検査項目は下記による 一般細菌、大腸菌、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物（全有機炭素（TOC）の量）、PH値、味、臭気、色度、濁度、遊離残留塩素 ・ その他（・　項目　・　遊離残留塩素　・　図示　）
	10 電動機	換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としよい。
	⑪ 電源周波数	・ ５０Ｈｚ　⊙ ６０Ｈｚ
	⑫ 容量等の表示	（1）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。
	⑬ 耐震措置	（2）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。 設備機器の固定は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版（独立行政法人建築研究所監修）による。（100kg以上の機器を対象とする。） （1）設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	⊙ 特定の施設		・ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階・屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・１階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの
重要機器は次による。
・ 消火ポンプ　・ 充水槽　・ 受水槽　・高架水槽
・ 揚水ポンプ　・ その他（　　）
水槽類にはオイルタンクを含む。
（2）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の１／２とする。

	⑭ 地中埋設標等	（1）地中埋設標　⊙ 要（図示による。）　・ 不要 （2）埋設表示用テープ（２倍）　⊙ 要（排水管を除く。）　・ 不要
	15 絶縁継手	取り付け箇所及び仕様は図示による。
	⑯ 塗装	露出機材の塗装仕上げは下記による。 ・ 屋外：　・ ドレン管　（　・　指定色塗装　・　　） ・ 金属電線管　（　・　内外面溶融亜鉛メッキ仕上げ　・　指定色塗装） ⊙ 屋内：　・ EPS、ピット階を除く露出配管、電線管類（　⊙　指定色塗装　・　　） 下記の保温を施さない亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。 ・ 機械室　・　倉庫　・　電気室 電線及びケーブルの規格は標準仕様書第４編１．５．１表４．１．１１による。
	⑰ 電線類	（　）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
	18 天井仕上区分	（1）（　・　槽内　⊙　土間）の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製（SUS304）とする。
	⑲ 吊り及び支持	⊙ はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行うこと。
	⑳ 施工調査	・ 石綿含有分析調査（定性分析により石綿が含有されている場合は、定量分析を実施する。） ⊙ 既設埋設配管等を切断または接続する箇所は、事前に試掘調査を行うこと。
	21 非破壊検査等	構造部等の機械はつり箇所は、非破壊検査等による埋設物の調査を行い、監督職員に報告書を提出する。 なお、放射線透過検査による場合は特記とし、撮影枚数は、１枚以上／部位とする。
	22 既存躯体への穿孔	穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。
	㉓ 試験	（1）各種配管の試験は、新設配管に適用する。 （2）新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。 給水管の水道用硬質塩化ビニル管HIVPは0.75MPaでの耐圧試験とする。 給水、給湯用架橋ポリエチレン管はメーカー推奨圧力で行う。 上記（2）により難く、既設配管との接続の場合は、監督職員の承諾を得れば、漏れ、詰まりがない事を目視での確認で良いこととする。 既設配管は保温、埋設直前に、 給水給湯系：24時間常圧耐圧確認 給水給湯系：24時間常圧耐圧確認 排水系：通水確認
	24 他工事又は他工種との取合い	工事区分表による。ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。
	25 資源有効利用促進	※本工事が資源の有効な利用の促進に関する法律（平成三年法律第四十八号）の規定により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合（下記内容該当工事）は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。 ・ 建設副産物を搬出する際の計画 1．土砂500m3以上 2．コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材の合計が200t以上 ・ 再生資材を利用する際の計画 1．土砂500m3以上 2．砕石500t以上 3．加熱アスファルト200t以上
	26 交通安全管理	交通誘導員　・ 配置する　名以上（大型車の出入は必ず）　・配置しない ・ 交通誘導警備員Ａ　・ 交通誘導警備員Ｂ

⊙空気調和設備（1）	1 設計用温湿度	

	外気（地区名：津）		屋内					
			一般系統		0A系統		一般系統(ACP系統)	
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏期	34.7℃	57.7%	28℃	50%	24℃	45%	28℃(参考)	50%(参考)
冬期	1.2℃	51.8%	19℃	40%	24℃	45%	19℃(参考)	40%(参考)

	2 鋼板製煙道	伸縮継手、掃除口及びばいじん量測定口の位置は図示による。
	3 ダクト	・ 低圧ダクト（　・　コーナーボルト工法（長辺の長さが１５００mm以下の部分） ・ アングルフランジ工法）とする。 ・ 高圧１ダクトの適用範囲は図示による。 ・ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。
	4 風量測定口	取り付け箇所は図示による。
	5 チャンバー等	（1）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 （2）空気調和機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及び風道系で消音内貼りしたチャンバーには点検口を設け、大きさは図示による。 （3）外壁ガラリに直接取り付けるチャンバー類は雨水の滞留のないように施工する。 （4）空気調和機の吸い込み側及び吐出側に接続するチャンバーの板厚は、1.2mm 以上とする。 図示されたチャンバーには点検口を設ける。 寸法は図示されていない場合は（　・　400x500H　・　500x600H）とする。 （5）内張りを施すチャンバー等の表示寸法は、外形寸法とする。 （6）アネモ形吹出口接続用ボックスは、吹出口のネック径200mm以下は、400×400×250H、200mmを越えるものは、500×500×300Hとする。
	6 ダンパー	（1）防煙ダンパー　復帰方式（　・　遠隔　・　　） （2）ビストンダンパー　復帰方式（　・　遠隔　・　　）
	7 配管材料	（1）冷温水管　・　配管用炭素鋼鋼管（白）　・　塩ビライニング鋼管（HVA） （2）冷却水管　・　配管用炭素鋼鋼管（白）　・　塩ビライニング鋼管（VA） （3）油管　・　配管用炭素鋼鋼管（黒） （4）蒸気管　給気管　・　配管用炭素鋼鋼管（黒） ・　圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）（　・　Sch40） 還　管　・　圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（　・　Sch80） （5）高温水管　・　ステンレス鋼管　・　配管用炭素鋼鋼管（白） （6）膨張管　空気抜き管　・　配管用炭素鋼鋼管（白） 膨張タンクよりボイラー等への補給水管 （7）冷媒管　・　断熱材被覆銅管 （8）ドレン管　・　配管用炭素鋼鋼管（白）　・　ビニル管（VP） （屋外：VP　ｶﾗｰVP　屋内：保温付VP）
	8 弁類	ＪＩＳ又はＪＶ（　・　５Ｋ　・　１０Ｋ（図示部分）） ６５Ａ以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕切弁はバタフライ弁とする。
	9 油面制御装置	・ 鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。 ・ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。 油面制御盤には（　・　遠隔警報　・　電磁弁制御　・　　）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。
	10 保温及び消音内貼り	・ 還りダクト（ＲＡダクト）（保温範囲は、　・　図示による　・　　） ・ 外気取入れダクト（ＯＡダクト）（保温範囲は、・　図示による　・　　） ・ 膨張タンクよりボイラ等への補給水管の保温は、標準仕様書第２編３．１．４の温水管の項による。 ・ 建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第２編３．１．４の温水管の項による。 ・ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第２編３．１．５の排水管の項による。 ・ 冷媒管の外装の種別は（・ 図示による　・　　）
	⑪ パッケージ型空気調和機	・ 冷媒管は、製造者の標準仕様による。ただし、断熱材被覆銅管の断熱材厚さは、液管を10mm以上、ガス管を20mm以上とする。 屋外露出部分は（ ⊙ ステンレス鋼板　・　着色亜鉛鉄板　・　合成樹脂製カバー ・　保温化粧ケース）によるラッキングを行う。 屋内露出部分は（　・　ステンレス鋼板　・　着色亜鉛鉄板　⊙　合成樹脂製カバー ・　保温化粧ケース）によるラッキングを行う。 保温化粧ケースを除き、保温材にて整形を行う。 冷媒管の耐圧試験は２４時間メーカー推奨圧力で行う 冷媒管の立て管は、垂直方向に5m以上ある場合、鋼管から直接1箇所以上固定すること。
	12 ばい煙濃度計	・ 設ける　・　設けない
	13 ばいじん量測定口	・ 設ける（口径８０φ以上）　・　設けない
	14 吹出口・吸込口	・ 本体は（　・　アスファルト　・　モルタル　・　エポキシ樹脂）により保護を行う。 ・ 鋼製　・　アルミニウム製　・　木製
	15 保温・塗装	・ 外気取り入れダクトのうち暖房室、浴室及び厨房内を通るダクトは保温を行う ・ 隠ぺいダクトのフランジ部（補強を含む）は厚さ 25 ㎜の保温材を重ね巻きを行うか、隠ぺい部の保温厚さをフランジ高さ+10 ㎜以上とする。
	16 瞬間流量計	・ 設ける（検出部と指示部一体形）　・　設けない 取付箇所は、（　・　ユニット形空気調和機　・　冷温水ポンプ ・　ヘッダーの各送り管　・　ヘッダーの各返り管）とする。 ・ 瞬間流量計を設けない場合は、ピトー管式流量計用タッピングのみを設ける。 取付箇所は前記による。

		計器取付箇所（○印の箇所）				
		機器入口側		機器出口側		温度計の種類
機器名		圧力計	温度計	圧力計	温度計	
冷凍機	冷却水	○	○	○	○	ガード付
	冷水	○	○	○	○	Ｌ形又は円形
直たき吸収式冷温水機	冷却水	○	○	○	○	ガード付
	冷温水	○	○	○	○	Ｌ形又は円形
パッケージ形空気調和機	冷却水	○	○	○	○	ガード付
	温水	○	○	○	○	Ｌ形又は円形
	チャンバ		○		○	ブルドン管式
空気調和機	冷温水	○	○	○	○	Ｌ形又は円形
	チャンバ		○		○	ブルドン管式
温風暖房機	チャンバ		○		○	ブルドン管式
温水ボイラ	温水		○			Ｌ形又は円形
管寄せ			○			Ｌ形又は円形

	18 機器基礎	ポンプ　基礎施工要領（四）　・　標準基礎　・　防振基礎 遠心冷凍機　基礎施工要領（二）　・　標準基礎 往復動冷凍機　基礎施工要領（二）　・　標準基礎 パッケージ形 空気調和機　基礎施工要領（三）　・　標準基礎　・　防振基礎　・　既製品基礎 ユニット形 空気調和機　基礎施工要領（三）　・　標準基礎　・　防振基礎 遠心送風機　基礎施工要領（四）　・　標準基礎　・　防振基礎
	19 形鋼振れ止め	・ 防振基礎は市販の防振装置を使用してよい。 ダクトに形鋼振れ止め支持を行う。図面に特記なき場合、支持部材選定表による。
	20 吊機器の振れ止め	室内機器等の吊り用ボルトには、ダブルナットで固定し、ボルト長さが1000mm以上の場合には、振れ止めを施す。

⊙換気設備	① 風道種別	・ 長方形風道　⊙ スパイラルダクト　⊙ アルミフレキシブルダクト（接続部） ・ ビニル管
	2 ダクト	・ 低圧ダクト（・ コーナーボルト工法（長辺の長さが１５００mm以下の部分） ・ アングルフランジ工法）とする。 ・ 高圧１ダクトの適用範囲は図示による。 ⊙ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 ・ 厨房系統の長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書より１ランク厚いものを使用する。
	3 風量測定口	取り付け箇所は図示による。
	4 ダンパー	空気調和設備の当該項目による。
	5 排気ダクトのシール	・ 浴室（シャワー室、脱衣室を含む。）系統　・　（排気ガス）系統
	6 チャンバー	空気調和設備の当該項目による。
	⑦ 保温	・ 外気取入れダクト 保温は標準仕様書第2編3.1.4の一般ダクトの項による。範囲は（・すべて　・　　）とする。 ⊙ 排気用ダクト 保温は標準仕様書第2編3.1.4の一般ダクトの項による。範囲は ⊙外壁から１ｍ　・　　）とする。 ・ （　・　厨房　・　湯沸室　）用の隠ぺい部ダクト（仕様はｈ　・（イ）　・　(ロ）とし範囲は図示による。
・排煙設備	① ダクト	・ 亜鉛鋼板
	2 排煙口の形式	・ 図示による。
	3 排煙口手動開放装置（開放及び復帰方式）	・ ワイヤー式　・電気式（遠隔操作　・ 不要　・ 要）
	4 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書平成２０年版（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。
・自動制御設備	1 システム構成その他	別図による。
	2 電気計装用機材	使用する電線及びケーブルは、原則としてＥＭ電線又はＥＭケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。
⊙衛生器具設備	① 衛生器具付属水栓	水抜栓を使用する場合、水栓は固定こまとする。
	② 洗面器	手洗器は止水栓付とする。
⊙給水設備	① 配管材料	（1）給水引込管（直結部分）は水道事業者の指定による（　・　ポリエチレン管） （2）屋内地中埋設配管及びｺﾝｸﾘｰﾄ埋設⊙ 塩ビライニング鋼管（VD）　・　ビニル管（HIVP） （3）屋外地中埋設配管　・　塩ビライニング鋼管（VD）　・　ビニル管（HIVP） ⊙ 水道配水用ポリエチレン管（HPPE） （4）その他の一般配管（上水・加湿）　・　ステンレス鋼管（SUS304）　・　ビニル管（HIVP） ・　給水用架橋ポリエチレン管 ・　塩ビライニング鋼管（VA）（図示の箇所） （雑用水）　・　塩ビライニング鋼管（VA）
	② 水栓	⊙ 台所流し用の水栓は泡沫式とする。 ・ 水抜栓を使用する場合、水栓は固定こまとする。
	3 量水器	・ 親メーター（貸与品）（　・　直読式　・　パルス式　） ・ 子メーター（買い取り）（　・　直読式　・　パルス式　）遠隔表示器付
	4 量水器桝	・ 水道事業者指定品　（　・　貸与品　・　買い取り（材質：　）　・　標準図ＭＣ形
	⑤ 弁類	ＪＩＳ又はＪＶ　⊙ 水道直結部分 ⊙ １０Ｋ　・　　） ⊙その他の部分 ⊙ ５Ｋ　・　１０Ｋ　） 逆止弁の衝撃吸収式はライニング不要とする。
	⑥ 管の地中埋設深さ	ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。 管の上端より原則として、一般敷地は（３０ｃｍ）構内道路は（６０ｃｍ）以上とする。
	7 水栓柱	・ 合成樹脂製　・ 人造石とぎ出し製　・ 不凍水栓　・ ステンレス製
	8 建物導入部配管	・ 標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領）の　・（ａ）　・（ｂ）　・（ｃ）による。
	9 引込納付金等	・ ポリエチレン配管の施工要領は図示による。 ・ 要（別途）
	10 保温	次のタンクの保温を行う。　・　鋼板製タンク　・　ステンレス製タンク 保温付架橋ポリエチレン管の保温厚は10mm以上とする。
⊙排水設備	① 配管材料	（1）屋内　汚水管　・　排水用塩ビライニング鋼管　⊙　ビニル管（VP）　⊙　耐火二層管 雑排水管　・　排水用塩ビライニング鋼管　⊙　ビニル管（VP）　⊙　耐火二層管 通気管　・　排水用炭素鋼鋼管（白）　⊙　ビニル管（VP）　⊙　耐火二層管 ポンプアップ排水管　・　排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管 （2）屋外　第一桝まで　・ 排水用塩ビライニング鋼管 ⊙ ビニル管（VP） 桝間　⊙ ビニル管（VP） ・ リサイクルビニル管（RS－VU）
	② 洗面器等の排水管	ビニル管の125A以上はVUを使用してよい。 屋内露出配管はカラーVPとする。 洗面器に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップとする。 台所流し等の床上露出部分の配管は、ビニル管（VP）でもよい。 大便器、小便器、洗面器及び掃除　流しとの接続管は、ビニル管（VP）とする。
	③ 満水試験継手	取り付け箇所は図示による。
	4 放流納付金等	・ 要　・　不要
⊙給湯設備	① 配管材料	・ ステンレス鋼管　⊙ 塩ビライニング鋼管（HVA）　・給湯用架橋ポリエチレン管
	② 弁類	・ ステンレス配管を使用する場合の材質は、ステンレス製とする。 ＪＩＳ又はＪＶ（ ⊙ ５Ｋ　・　１０Ｋ（図示部分））
	3 保温	保温付架橋ポリエチレン管の保温厚は10mm以上とする。
⊙消火設備	① 配管材料	（1）屋内消火栓　一般　・ ステンレス鋼管（SUS304）　⊙ 配管用炭素鋼鋼管（白） 屋内地中　・ ステンレス鋼管（SUS316）　⊙ 外面被覆鋼管（VS） 屋外地中　・ ステンレス鋼管（SUS316）　⊙ 外面被覆鋼管（VS） ・ 水道配水用ポリエチレン管（HPPE） （2）連結送水管　一般　・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（　・　Sch40） 屋内地中　・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（　・　Sch40） 屋外地中　・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（　・　Sch40） ・ 水道配水用ポリエチレン管（HPPE）
	2 建物導入部配管	・ 標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領）の　・（ａ）　・（ｂ）　・（ｃ）による。
	3 不活性ガス消火設備	別図による。
	4 泡消火設備	別図による。
	⑤ 保温	屋外露出配管の保温は、標準仕様書第２編3.1.5の給水管の項による。
	⑥ 試験	施工前に既設屋内消火栓の放水試験を行うこと。
・厨房設備	1 システム	・ ドライシステム
	2 機器の機能等	図示による。

図面名	特記仕様書 建築機械設備１	縮尺	1:NO (A1)	設計番号 作図　令和６年１１月

工事名	図面番号
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）　設計図	M-01
	/

四日市市都市整備部営繕工務課

１級建築士　登録第　　号
四日市市諏訪町１番５号

令和6年11月版

章	項　目	特　記　事　項
・ガス設備	①ガス種別	・都市ガス（供給者名：　　発熱量　　ＭＪ/ｍ３（Ｎ）） ・⊙液化石油ガス
	②配管材料	・都市ガス　ガス事業者の供給規定による。 ・⊙液化石油ガス　（１）一般：・配管用炭素鋼鋼管（白） （２）地中：　・　ポリエチレン管　・外面被覆鋼管（ＶＬ）
	３　充てん容器	別途（　・　５０ｋｇ　・　　）×　４本
	４　集合装置	標準図（液化石油ガス容器廻り配管要領）による　４本組。
	５　転倒防止等	標準図（液化石油ガス容器転倒防止施工要領）の（　・　（ａ）　・　（ｂ））による。
	６　メーター	・親メーター（貸与品）　（・直読式　・パルス式（パルス発信器は　・　買い取り）） ・子メーター（買い取り）（・直読式　・パルス式）
	⑦ガス漏れ警報器	・⊙本工事（図示による）　・　別途工事
	８　漏洩検知装置	・要　・　不要
	９　電気防食	・要　・　不要
	10　引込負担金等	・要　・　不要
・雨水利用設備	１　仕様等	別図による。
・排水処理設備	１　仕様等	別図による。
	２　設備方式	・排水再利用　・厨房除害
・し尿浄化槽設備	１　処理種別及び構造	・合併処理（・　接触ばっ気方式　・　長時間ばっ気方式 ・　回転板接触方式　・　　）
	２　処理能力	処理対象人員　　人　容量　　㎥／日
	３　本体構造	・コンクリート製（・　現場施工形　・　ユニット形）　・　ＦＲＰ製
	４　放流水質	ＢＯＤ　　ｍｇ／Ｌ以下
	５　マンホールふた	・製造者標準品　・　ＭＨＡ　・　ＭＨＢ
	６　スラブ負荷重	・土圧のみ　・　２００ｋｇｆ／ｍ²　・　３５０ｋｇｆ／ｍ²　・　８００ｋｇｆ／ｍ²
	７　排水方式	・自然流下 ・ポンプ排水 （　ポンプ槽内径　　ｍｍ、ＧＬよりの深さ　　ｍ以上 ただし深さが　１．２ｍ以上の場合はタラップ付とする。）
	８　送風機室	・不要　・　要（・　別途工事　・　本工事）
		・独立設置形（・　地上式　・　地下式）　・　槽と一体形
	９　槽内にある鋼管類の防食	・タールエポキシ樹脂塗料３回塗りを行う。 ・土中埋設の鋼管類に準じた防錆処理を行う。
・撤去工事	①撤去内容	・⊙図示による ダクト及び配管等の支持金物・吊りボルト等は本工事にて撤去する。 冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は改修標準仕様書による。
	②支持金物等	
	３　冷媒の回収（フロン類）	（１）冷媒の回収にあたっては、監督職員に次の書類を提出する。 （ア）第一種フロン類回収業者登録通知書の写し （イ）フロン類回収証明書
	④発生材の処理	・引き渡しを要するものは、金属類（・機器　・ダクト　・配管　・その他の金物） （・　ルームエアコン　・　　・　　・　　）とする。 ・⊙引渡しを要するもの以外 構外搬出適切処理とする。 廃棄物管理票（マニュフェスト）確認表を作成し、監督員にＡ票及びＤ票 もしくはＥ票の確認を受けるものとする。 ・特別管理産業廃棄物 （ＰＣＢ使用機器　　） ＰＣＢ使用機器は、関係法令に従い適切に処置する。 ・再使用又は再資源化を図るもの
・保温工事	①保温材	下表による。

保温材の種類	区　分
グラスウール保温材	⊙給水管　⊙排水管(ﾄﾞﾚﾝ管)　⊙給湯管 ・温水管　・冷水管　・冷温水管　・蒸気管 ・長方形ﾀﾞｸﾄ　⊙ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ　・ヘッダー　・タンク ⊙冷媒管（成形用）
ロックウール保温材	・給水管　・排水管(ﾄﾞﾚﾝ管)　⊙給湯管 ・温水管　・冷水管　・冷温水管　・蒸気管 ・長方形ﾀﾞｸﾄ　・ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ　・ヘッダー　・タンク
ポリスチレンフォーム保温材	⊙給水管　・排水管　・冷水管 ・冷温水管　・ヘッダー（※）　・タンク（※） ・冷媒管（成形用） （※）冷水、冷温水のみ適用可

保温外装材　⊙SUS製ﾗｯｷﾝｸﾞ　⊙樹脂製ﾗｯｷﾝｸﾞ　・　ｶﾗｰ亜鉛鉄板
・その他（　）

原則として、蒸気管及び温水管等はフランジ等も保温を行うこと。
保温付架橋ポリエチレン管（保温厚10㎜以上）を使用する場合は上記保温は不要。
サヤ管工法：架橋ポリエチレン・ポリブデン管を使用する場合は上記保温は不要。

項　目	特　記　事　項
	一　般　共　通　事　項　(2)
１　工事の保険	・建設工事保険（管理財物担保特約に加入）（保険証の写しを提出） ・請負業者賠償責任保険　（保険証の写しを提出） 保険期間は工事期間を原則とする。（必要に応じて延長するものとする。）
２　建設共済等	下記の制度について加入すること。 ・法定外労災補償制度　（加入証明書の写しを提出） ・建設業退職金共済制度　（掛金収納書を提出） 共済証紙購入額　請負額の0.5／1000以上 ただし、建設業退職金共済については請負額が500万円以上の場合とする。 ※1 他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする。 ※2 契約変更により工事価格が上昇した場合は、不足分を追加購入すること。
３　工事実績情報の登録	工事請負金額500万円以上の工事は、工事実績情報サービス（CORINS）に登録すること。
４　施工体制台帳の提出	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律により、施工体制台帳の写しを提出すること。なお、下請契約締結後、速やかに提出すること。変更時も同様とする。
⑤資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	資材購入及び工事の一部を下請業者にて施工する場合、業者の選定に際しては、できる限り市内業者を優先させること。
６　監督員事務所	・設ける　・　設けない
７　工事用電力	・工事用電力、水及び諸手続きなどの費用は、すべて受注者の負担とする。
・水・その他	・市支給。ただし現場において既設設備より供給可能な範囲に限る。
８　産業廃棄物税	本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が本工事により生じた産業廃棄物税が課税対象となった場合には、翌年度に産業廃棄物税納税証明書等と添付して、本工事により生じた産業廃棄物税相当分を請求する事ができる。
９　電気保安技術者の適用	・設ける　・　設けない
⑩工事記録	工事記録は以下のように行うこと。 ○工事写真 工程写真　埋設部、いんぺい部、施工工程、材料等 完成写真 ※撮影用具にデジタルカメラを用い、サービスサイズ程度の大きさでＡ４用紙に印刷し、提出する。 ※次の図書を参考とする。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方　建築設備編」 ○工事日報、納品伝票 工事日報、納品伝票等の写しは監督員が提出を求めた場合に提出すること。
⑪完成時の提出図書	監督員の指示により下記のものを提出する。 ⊙工事完成図（竣工図（修正済みの設計図）＋施工図） ⊙完成図　ＣＡＤデータ　ＰＤＦデータ　（ＣＤ－Ｒ）（１）枚 ・　完成図　（Ａ４版に製本したもの） ⊙完成図　（原図サイズで電気設備図と併せて二つ折り製本したもの）（１）部 ⊙工事写真（紙、ＣＤ－Ｒ） ⊙保全に関する資料等　（１）部 次の配管には、防振吊り金物（・　シングル　・　ダブル）又は、防振支持金物を設ける。ただし、屋外及び地下ピットを除く。 ・口径50Ａ以上の配管（・　冷温水　・　冷却水　・　揚水） ・次に示す配管 標準仕様書第２編 2.5.16.12　の溶接部の非破壊検査の適用 ・不要　・　要 ライニング弁類の使用範囲 ・標準仕様書による　・　使用しない ・合成ゴム製　・ベローズ形 ・合成ゴム製　⊙ベローズ形 保温を施さない鋼管類で、コンクリート埋込み部及びコンクリート壁等の貫通部は、プラスチックテープ巻き 1/2 重ね１回巻きとする。 ただし、外面被覆ライニング鋼管及び排水管は除く。 施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。 本工事に伴う既存の天井及び壁等の軽微な加工改造は本工事とする。 ・亜鉛鉄板　・紙チューブ　・つば付鋼管　・塩化ビニル管 屋内埋設配管についても、通常の配管支持方法に準じて行う。 「四日市市週休2日制工事実施要領（営繕工事）」（令和６年７月１９日改正適用）に基づく適用は下記による。 ・週休2日制工事対象 ・週休2日制工事（受注者希望型）対象 ・週休2日制対象外工事（・工事の実働日数が30日未満の工事　・現場閉所困難な工事） 完全週休2日制工事（受注者希望型含む）の現場閉所日については下記による。 ・土日閉所（ただし、　/　～　/　については土日作業とすること。） ・土日以外閉所 土日以外閉所における現場閉所日は、着手前に監督職員と協議の上設定すること。 なお、現場閉所日については、原則として毎週連続する同一の曜日とすること。 機械設備の改修等のため、在来設備を一時停止させる必要のある場合は、予めその時期、停止の範囲及び工法等を施設管理者などの関係者と打ち合わせ、場合によっては停電、断水計画書等を提出し、承諾を得たうえで作業を行うものとし、施設の運営に支障を来たさないよう特に注意する。 ⊙施工可能日　⊙土、日曜日、祝日施工有り　・　指定なし　・　その他（　） ・施工可能時間帯　・　指定有り（　時～　時）　・　指定なし ・土日閉所の現場にて土日に作業を行う場合、又は、祝日に作業を行う場合は、事前に「休日及び夜間工事承諾願」を提出し、監督職員の承諾を得ること。 ⊙高さ５ｍを超える箇所での作業を有する場合の墜落制止用器具はﾌﾙﾊｰﾈｽ型を使用する。
12　防振吊り金物及び防振支持金物	
13　管溶接部の検査	
14　鋳鉄製弁類	
15　防振継手	
⑯可撓継手	
⑰管の防食	
⑱施工図等の取扱い	
⑲既設との取合い	
20　スリーブ	
21　管の支持	
22　週休2日制工事	
23　施工条件	

アスベスト含有物の取扱い

①一般事項	労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の指針（建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する記述上の指針）を遵守すること。 ⊙アスベスト除去に伴う官公署等への届出申請を行うこと。 石綿障害予防規則及び大気汚染防止法の各規定に基づく官公署等への届出等を行うこと。 ⊙石綿含有事前調査結果の都道府県知事及び労働基準監督署への報告を行うこと。 ⊙アスベスト除去に伴う作業計画の作成を行うこと。 ⊙アスベスト除去完了に伴う発注者への報告を書面にて行うこと。
②アスベスト含有建材の処理工事	アスベスト含有吹付け材の封じ込め処理　・行う　⊙行わない　[9.1.1] アスベスト含有吹付け材の囲い込み処理　・行う　⊙行わない アスベスト含有建材除去後の仕上げ　・行う　⊙行わない
③アスベストの含有調査	施工箇所及び工法　※図示 事前調査（有資格者）　⊙行う　・行わない　[1.5.1] 調査結果報告書等の貸与　⊙有　・無 分析調査　・行う（対象箇所　　）　⊙行わない ・定性分析　・定量分析 ※分析調査は「建材中の石綿含有率の分析方法について（令和3年12月22日改正）」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。
④アスベスト含有吹付け材の除去	アスベスト含有吹付材の有無　・有　⊙無　[9.1.3] 除去吹付材（　　）含有場所（　　） 吹付けアスベストの施工数量調査　※行う アスベスト粉じん濃度測定　※行う 表9.1.1　アスベスト粉じん濃度測定

測定時期	測定名称	測　定　場　所	測　定　点　（各施工箇所ごと）	備考
処理作業前	測定１	処理作業室内	各２点又は３点	（注）1
	測定２	施行区画周辺 又は、敷地境界	計２点	大気
処理作業中	測定３	処理作業室内	各２点又は３点	（注）1
	測定４	ｾｷｭﾘﾃｨｰｿﾞｰﾝ入口	1点	空気の流れを確認
	測定５	集じん・排気装置の排出口 （処理作業室外の場合）	1点	（注）2
	測定６	施行区画周辺 又は、敷地境界	４方向各１点	―
処理作業後（隔離シート撤去前）	測定７	処理作業室内	各２点又は３点	（注）1
	測定８	施行区画周辺 又は、敷地境界	４方向各１点	大気

（注）1．各施工箇所ごとの室面積が50㎡以下までは２点、300㎡以下までは３点とする。
300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。
（注）2．集じん・排気装置の性能確認
表9.1.2　アスベスト粉じん濃度測定方法

	測　定　3	測定1，2，4，6，7，8	測　定　5
計数機器	位相差顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	25㎜		47㎜
試料の吸引流量	1l/min	5l/min	10l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	210 min
試料の透明化	アセトンートリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数　200本又は視野数50視野		
計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比３：１以上		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

作業場の隔離　※行う
除去工法
※除去工法については、工法に関する資料を監督職員に提出し、承諾を得ること。
処分方法
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。

⑤アスベスト含有仕上塗材の除去	アスベスト含有仕上塗材の有無　⊙有　・無 除去仕上塗材（　建築図による　）含有場所（　建築図による　） 除去の範囲　・全面撤去　・図示による 除去工法（原則湿潤化し、下記工法とする） ⊙水洗い工法・手工具ケレン工法 ・集じん装置付高圧水洗工法　・集じん装置付超高圧水洗工法　・超音波ケレン工法 ・剥離材併用高圧水洗工法　・剥離材併用超高圧水洗工法　・剥離材併用手工具ケレン工法 ・剥離材併用超音波ケレン工法　・集塵装置付ディスクグラインダーケレン工法 上記工法によらない場合は監督職員と協議の上、承諾を得ること。 除去工法の試験施工　・行う　※行わない 作業場の隔離及び養生 「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」による。 ・隔離養生不要　・隔離養生必要（負圧不要）・その他（　　） 処分方法 ・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。 ・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う
⑥アスベスト含有保温材等の除去	アスベスト含有保温材の有無　⊙有　・無　[9.1.4] 除去保温材（　エルボ部保温材　）含有場所（　廻下手洗い　） 作業場の隔離　・行う　⊙行わない ・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。 ・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う
⑦アスベスト含有成形板の除去	アスベスト含有成形板の有無　⊙有　・無　[9.1.5] 除去成形板（　建築図による　）含有場所（　建築図による　） 作業場の区画　・行う　⊙行わない 処分方法 石綿含有石膏ボード ※管理型最終処分場で埋立処分する。 石綿含有石膏ボード以外 ・埋立処分の場合は、石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。 ・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。
8　アスベスト含有配管接続部シール材の除去	アスベスト含有シール材の有無　・有　・無 除去シール材（　　）含有場所（　　） 作業場の隔離　・行う　・行わない 除去工法 湿潤にて撤去を行い、適法に処分する事。 処分方法　・埋立処分 ・アスベストの中間処理に適する溶融施設 ・認定を受けた無害化処理施設
⑨特記事項	※本工事に配置管理させる者（有資格者） ※特定化学物質等作業主任者（H18.3.31以前の講習修了者） 又は石綿作業主任者（H18.4.1以降の講習修了者）

暴力団等不当介入に関する事項

１．契約の解除
四日市市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱（平成20年四日市市告示第28号）第３条又は第４条の規定により、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止措置を受けたときは、契約を解除することがある。

２．暴力団等による不当介入を受けたときの義務
(1)　不当介入には、断固拒否するとともに、速やかに警察へ通報並びに業務発注所属へ報告し、警察への捜査協力を行うこと。
(2)　契約の履行において、不当介入を受けたことにより、業務遂行に支障が生じた、納期等に遅れが生じるおそれがあるときには、業務発注所属と協議を行うこと。
(3)　(1)(2)の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止等の措置を講ずる。

＜喫煙に関する事項＞
学校敷地内はすべて禁煙とし、敷地周辺の路上等においても禁煙に努めること。
＜現場代理人に関する事項＞
工場製作期間中等に現場代理人の常駐を解除する場合は、その期間に応じた経費の減額変更を行う。
＜随時検査＞
設計金額3000万円以上の工事は、四日市市検査規程第８条第６項の規程により発注者が随時検査を求めた場合、監督員の指示に従い受験すること。

個人情報の取り扱いに関する事項

（基本事項）
第１　この契約による工事の施工者（以下「乙」という。）は、この契約による工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱う際には、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。
（施工者の義務）
第２　乙及びこの契約による工事に従事している者又は従事していた者（以下「乙の従事者」という。）は、当該工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱うときは、個人情報の保護に関する法律（平成１５年法律第５７号。以下「法」という。）第６７条に規定する義務を負う。
２　乙は、この契約による工事において個人情報が適正に取り扱われるようこの従事者を指揮監督しなければならない。
（秘密の保持）
第３　乙及びこの従事者は、この契約による工事を施工するに当たって知り得た個人情報を当該工事を施工するために必要な範囲を超えて使用し、又は他人に知らせてはならない。
２　乙は、この従事者が在職中及び退職後においても、前項の規定を遵守するように必要な措置を講じなければならない。
３　前２項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。
（適正な管理）
第４　乙は、この契約による工事に係る個人情報の漏えい、滅失又は改ざんの防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。
２　乙は、個人情報の適正な管理のため、管理責任者を置くものとする。
３　管理責任者は、個人情報を取り扱う工事の従事者を必要な者に限定し、これらの従事者に対して、個人情報の管理方法等について適正な指導管理を行わなければならない。
４　四日市市（以下「甲」という。）は、必要があると認めたときは、個人情報の管理状況等に関し、乙に対して報告を求め、又は乙の作業場所を実地に調査することができるものとする。この場合において、甲は乙に必要な改善を指示することができるものとし、乙は、その指示に従わなければならない。
（収集の制限）
第５　乙及びこの従事者は、この契約による工事を施工するために、個人情報を収集するときは、当該工事を施工するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。
（再提供の禁止）
第６　乙は、あらかじめ甲の承諾があった場合を除き、この契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供してはならない。
２　乙は、前項の承諾により再提供する場合は、再提供先における個人情報の適正な取り扱いのために必要な措置を講じなければならない。
３　前項の場合において、乙は、再提供先と本注意事項に準じた個人情報の取り扱いに関する契約を交わすものとする。
（複写、複製の禁止）
第７　乙及びこの従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等（以下「資料等」という。）を複写し、又は複製してはならない。
（持ち出しの禁止）
第８　乙及びこの従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、資料等（複写又は複製したものを含む。第9において同じ。）を契約書に指定された作業場所から持ち出してはならない。
２　甲及び乙は、乙が前項の指示又は承諾により資料等を持ち出す場合、その内容、期間、持ち出し先、輸送方法等を書面により確認するものとする。
３　前項の場合において、乙は、資料等に施錠又は暗号化等を施して関係者以外の者がアクセスできないようにするとともに、資料等を善良なる管理者の注意をもって保管又は管理し、漏えい、滅失及び毀損の防止その他適切な管理を行わなければならない。
（資料等の返還）
第９　乙は、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等を、当該工事の終了後速やかに甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により廃棄し、又は消去する場合を除く。
２　前項の廃棄又は消去は、次の各号に定めるほか、他に漏えいしないよう適切な方法により行うものとする。
(1)　紙媒体　　シュレッダーによる裁断
(2)　電子媒体　データ完全消去ツールによる無意味なデータの上書き、もしくは媒体の破砕
３　乙は、第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供したときは、当該工事の終了後速やかに当該第三者から資料等を回収のうえ甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により、乙は第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合を除く。
４　前項ただし書の規定により、第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合においては、乙は、当該資料等が廃棄、又は消去されたことを直接確認しなければならない。
（研修・教育の実施）
第10　乙は、この従事者に対し、個人情報の重要性についての認識を深めるとともに、この契約による工事における個人情報の適正な取り扱いに資するための研修・教育を行うものとする。
（苦情の処理）
第11　乙は、この契約による工事の施工に当たって、個人情報の取り扱いに関して苦情があったときは、適切かつ迅速な処理に努めるものとする。
（定期報告及び事故発生時における報告）
第12　乙は、甲から個人情報の取扱いの状況について報告を求められた場合は、直ちに報告しなければならない。
２　乙は、この個人情報取扱注意事項に違反する事故が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。
（監査及び検査）
第13　甲は、この契約による工事に係る個人情報の取扱いについて、この契約の規定に基づき必要な措置が講じられていることを検証及び確認するため、乙及び第６の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事を受託し、又は請け負った第三者に対して、監査又は検査を行うことができる。
２　甲は、前項の目的を達するため、乙に対して必要な情報を求め、又はこの契約による工事の処理に関して必要な指示をすることができる。
（契約解除及び損害賠償）
第14　甲は、乙又は乙の従事者がこの個人情報取扱注意事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。

障害者差別解消に関する事項

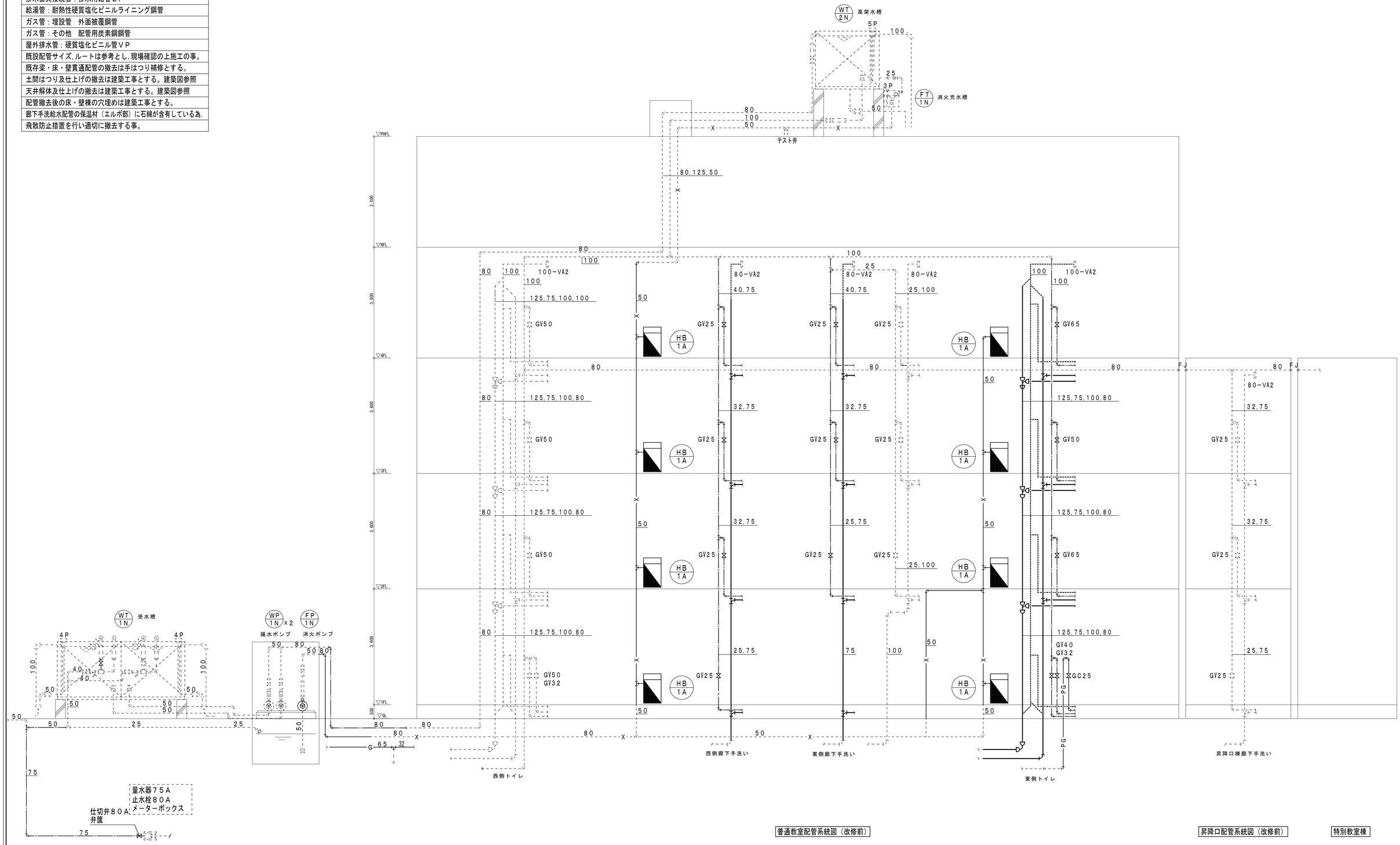
１．対応要領に沿った対応
（１）この契約による事務・事業の実施（以下「本業務」という。）の請負（委託）を受けた者（以下「受注者（受託者）」という。）は、本業務を履行するに当たり、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成２５年法律第６５号。以下「法」という。）に定めるもののほか、障害を理由とする差別の解消の推進に関する四日市市職員対応要領（平成２９年２月２８日策定。以下「対応要領」という。）に準じて、「障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止」及び「社会的障壁の除去のための合理的な配慮の提供」等、障害者に対する適切な対応を行うものとする。
（２）（１）に規定する適切な対応を行うに当たっては、対応要領に示されている障害種別の特性について十分に留意するものとする。
２．対応指針に沿った対応
上記１に定めるもののほか、受注者（受託者）は、本業務を履行するに当たり、本業務に係る対応指針（法第１１条の規定により主務大臣が定める指針をいう。）に則り、障害者に対して適切な対応を行うよう努めなければならない。

図面名	特記仕様書 建築機械設備２	縮尺	1:NO (A2)	設計番号 作図 令和６年　１１月	工事名 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）　設計図
					図面番号 M-02
四日市市都市整備部営繕工務課				１級建築士　登録第　　号 四日市市諏訪町１番５号	/ 令和6年11月版

撤去工事凡例

―――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。

撤去配管リスト
給水管：埋設管　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
給水管：その他　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
通気管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
排水器具接続管：排水用鉛管ＬＰ
給湯管：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
ガス管：埋設管　外面被覆鋼管
ガス管：その他　配管用炭素鋼鋼管
屋外排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
配管撤去後の床・壁棟の穴埋めは建築工事とする。
廊下手洗給水配管の保温材（エルボ部）に石綿が含有している為，
飛散防止措置を行い適切に撤去する事。

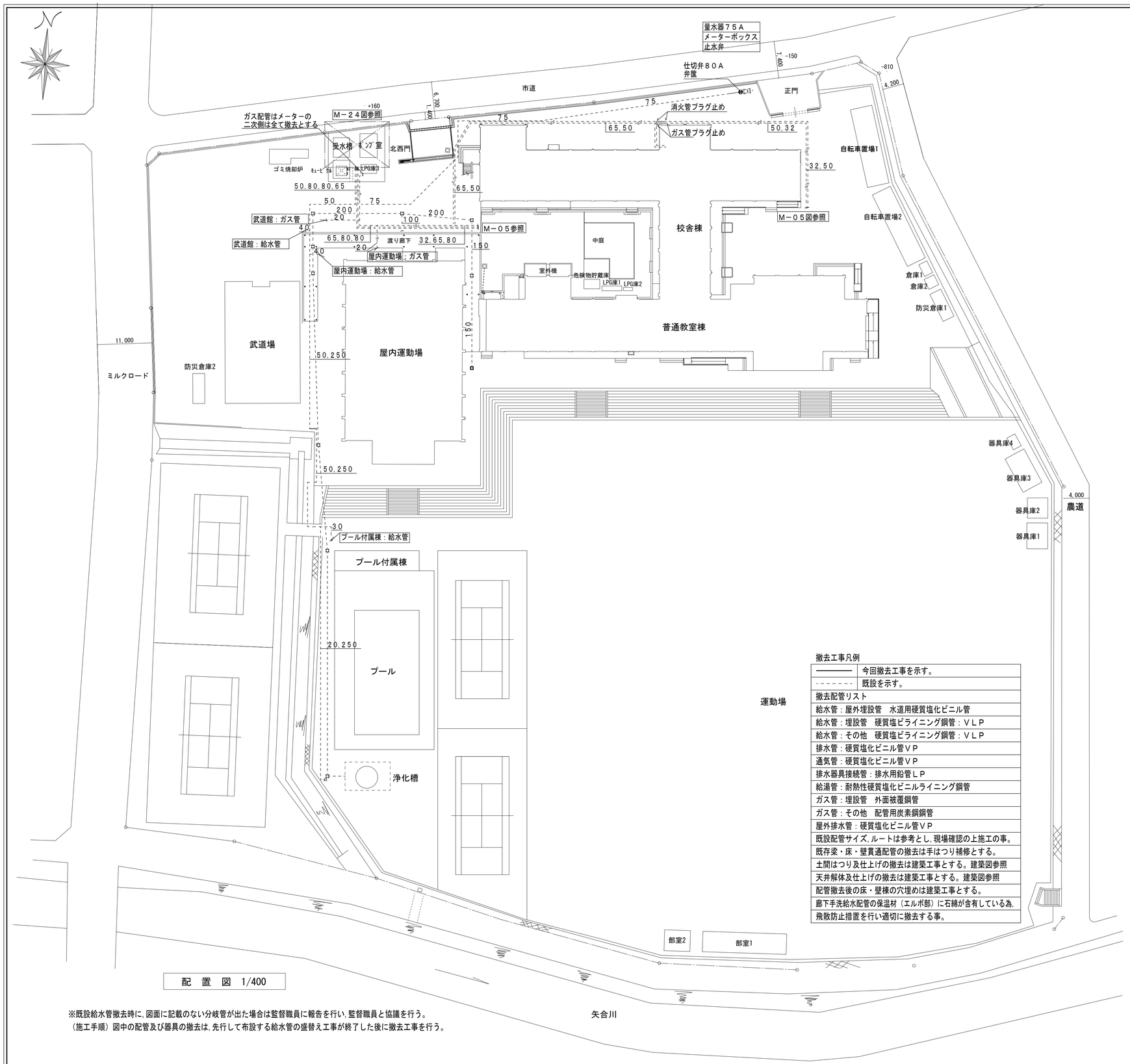


普通教室配管系統図（改修前）

昇降口配管系統図（改修前）

特別教室棟

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	機械設備　給排水衛生設備 系統図（改修前） ★	A1：N:S A3：N:S ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	M－０３



配　置　図　1/400

撤去工事凡例

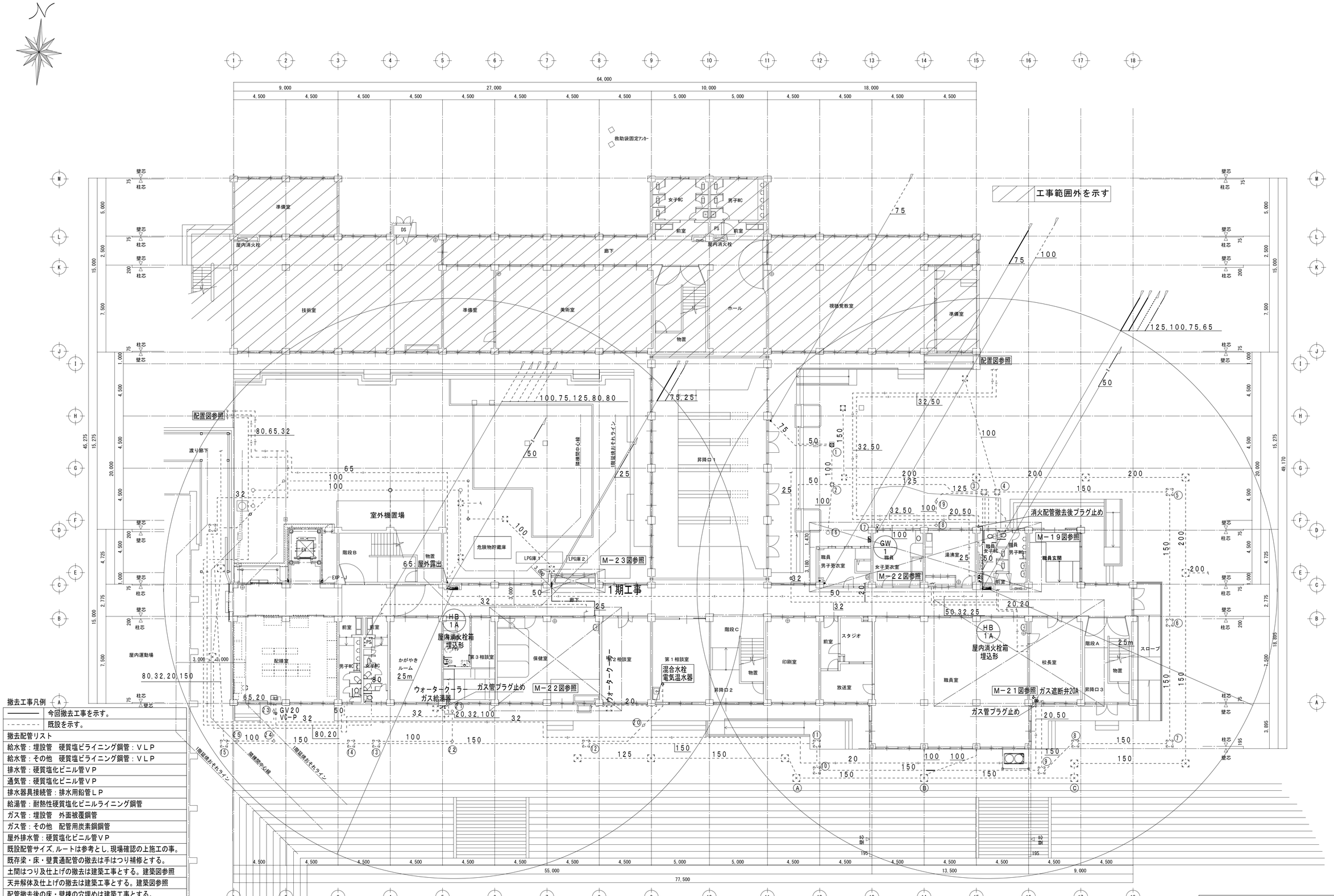
――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。
撤去配管リスト	
給水管：屋外埋設管　水道用硬質塩化ビニル管	
給水管：埋設管　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ	
給水管：その他　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ	
排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
通気管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
排水器具接続管：排水用鉛管ＬＰ	
給湯管：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	
ガス管：埋設管　外面被覆鋼管	
ガス管：その他　配管用炭素鋼鋼管	
屋外排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
土間はつり及び仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
天井解体及び仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
配管撤去後の床・壁孔の穴埋めは建築工事とする。	
廊下手洗給水配管の保温材（エルボ部）に石綿が含有している為，	
飛散防止措置を行い適切に撤去する事。	

※既設給水管撤去時に，図面に記載のない分岐管が出た場合は監督職員に報告を行い，監督職員と協議を行う。
（施工手順）図中の配管及び器具の撤去は，先行して布設する給水管の盛替え工事が終了した後に撤去工事を行う。

参考：桝リスト（既設）

記号	名称	種別	現状地盤管底	備考
1	雑排水桝	ＲＣ桝３００×３００	－５３０	ＭＨＡ３００蓋
2	汚水インバート桝	ＳＣ桝３００×３００	－５９０	ＭＨＡ３００蓋
3	汚水インバート桝	ＳＣ桝４５０×４５０	－７３０	ＭＨＡ４５０蓋
4	汚水インバート桝	ＳＣ桝４５０×４５０	－７５０	ＭＨＡ４５０蓋
5	汚水インバート桝	ＳＣ桝６００×６００	－８７０	ＭＨＡ６００蓋
6	汚水インバート桝	ＳＣ桝６００×６００	－９５０	ＭＨＡ６００蓋
7	汚水インバート桝	ＳＣ桝６００×６００	－１０２０	ＭＨＡ６００蓋
8	汚水インバート桝	ＳＣ桝６００×６００	－１１００	ＭＨＡ６００蓋
9	汚水インバート桝	ＳＣ桝６００×６００	－１１５０	ＭＨＡ６００蓋
１０	汚水インバート桝	ＳＣ桝６００×６００	－１３００	ＭＨＡ６００蓋
１１	汚水インバート桝	ＳＣ桝６００×６００	－１３５０	ＭＨＡ６００蓋
１２	汚水インバート桝	ＳＣ桝６００×６００	－１５３０	ＭＨＡ６００蓋
１３	汚水インバート桝	ＳＣ桝６００×６００	－１７１０	ＭＨＡ６００蓋
１４	汚水インバート桝	ＳＣ桝６００×６００	－１７４０	ＭＨＡ６００蓋
１５	汚水インバート桝	ＳＣ桝７５０×７５０	－１９４０	ＭＨＡ６００蓋
１６	汚水小口径桝	塩ビ製桝　１００－３００	－５６０	塩ビ製蓋
１７	汚水小口径桝	塩ビ製桝９０Ｌ　１００－２００	－３００	塩ビ製蓋
１８	汚水小口径桝	塩ビ製桝９０Ｙ　１００－２００	－５２０	塩ビ製蓋
１９	汚水小口径桝	塩ビ製桝　ＤＲ　１００－２００	－５１０	塩ビ製蓋
２０	汚水小口径桝	塩ビ製桝　ＳＴ　１００－２００	－５００	塩ビ製蓋
２１	汚水小口径桝	塩ビ製桝　ＳＴ　１００－２００	－５３０	塩ビ製蓋
２２	汚水小口径桝	塩ビ製桝９０Ｌ　１００－２００	－５６０	塩ビ製蓋
２３	汚水小口径桝	塩ビ製桝　ＳＴ　１００－２００	－３００	塩ビ製蓋
２４	汚水小口径桝	塩ビ製桝９０Ｌ　１００－２００	－３３０	塩ビ製蓋
２５	汚水小口径桝	塩ビ製桝　ＳＴ　１００－２００	－３７０	塩ビ製蓋
Ａ	雨水桝	ＲＣ桝４５０×４５０	－７３０	ＭＨＡ４５０蓋
Ｂ	雨水桝	ＲＣ桝６００×６００	－９７０	ＭＨＡ４５０蓋
Ｃ	雨水桝	ＲＣ桝６００×６００	－１１００	ＭＨＡ４５０蓋

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟　配置図（改修前） ★	A1：1:400 A3：1:800 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	M－０４



撤去工事凡例

———	今回撤去工事を示す。
- - - - -	既設を示す。

撤去配管リスト
給水管：埋設管　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
給水管：その他　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
通気管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
排水器具接続管：排水用鉛管ＬＰ
給湯管：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
ガス管：埋設管　外面被覆鋼管
ガス管：その他　配管用炭素鋼鋼管
屋外排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
配管撤去後の床・壁棟の穴埋めは建築工事とする。
廊下手洗給水配管の保温材（エルボ部）に石綿が含有している為，
飛散防止措置を行い適切に撤去する事。

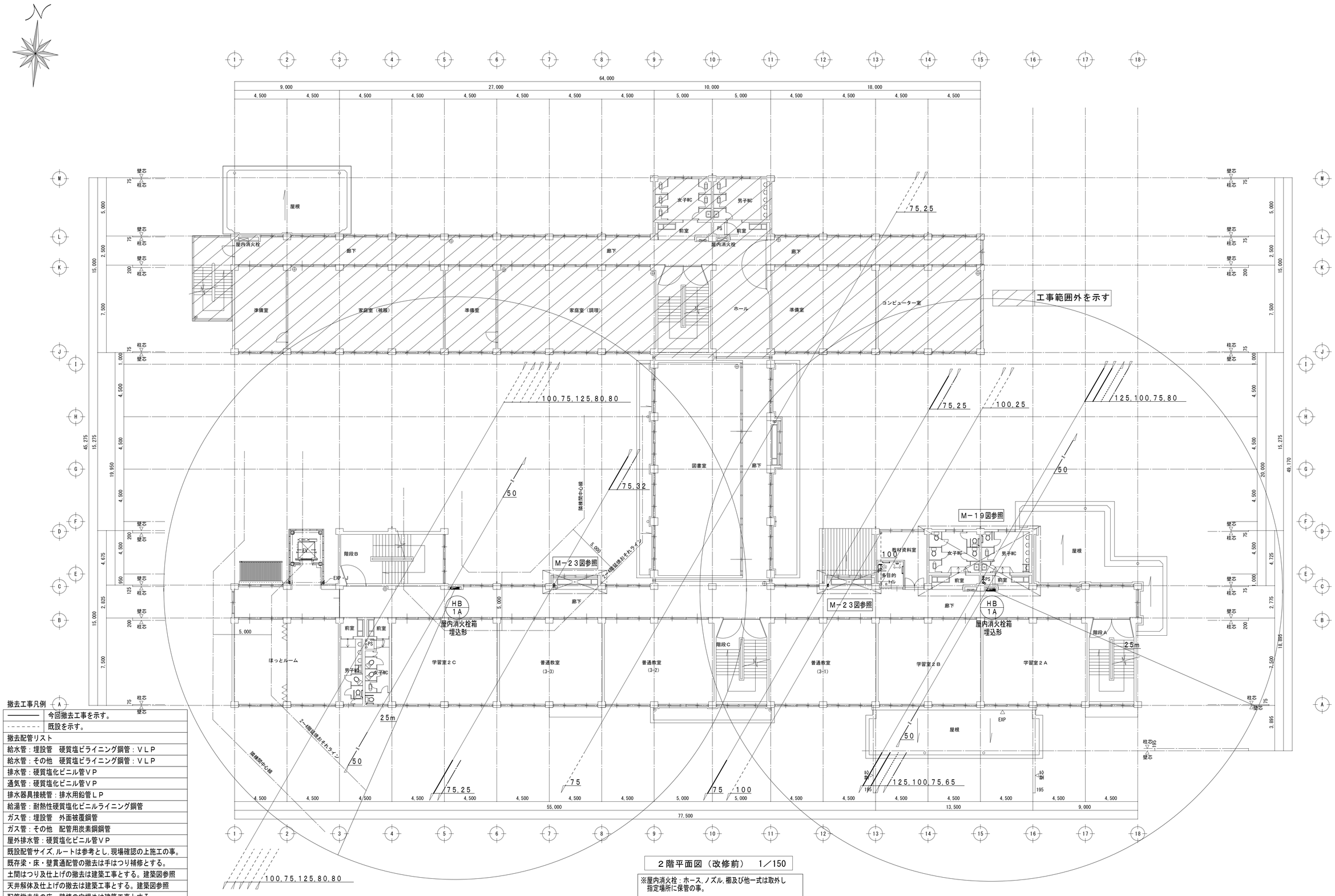
※屋内消火栓：ホース，ノズル，槌及び他一式は取外し指定場所に保管の事。

１階平面図（改修前）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟：１階平面図（改修前） ★	A1：1:150 A3：1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

M－０５



２階平面図（改修前）　1／150

※屋内消火栓：ホース，ノズル，撤及び他一式は取外し
指定場所に保管の事。

撤去工事凡例

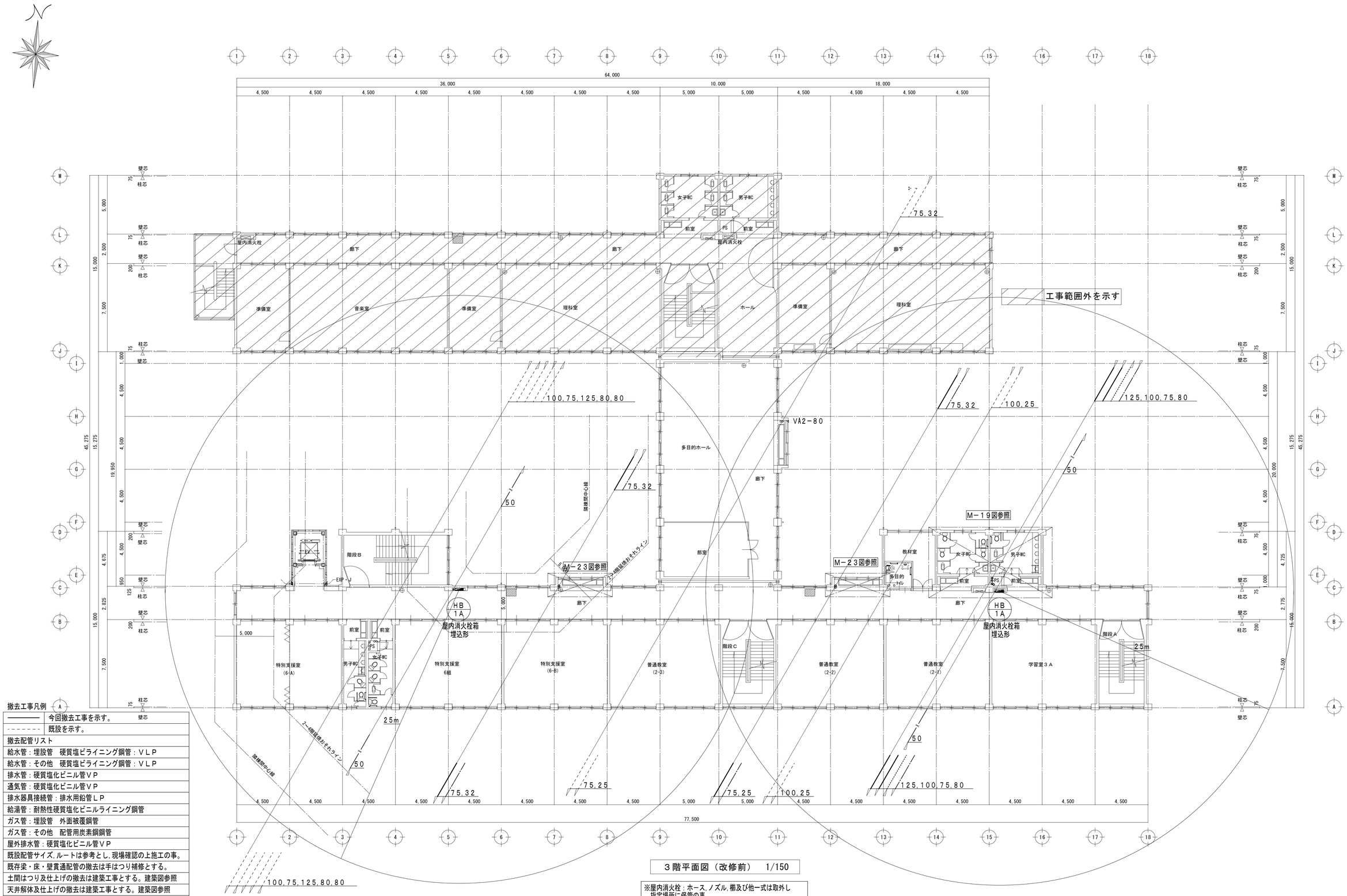
――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。

撤去配管リスト
給水管：埋設管　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
給水管：その他　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
通気管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
排水器具接続管：排水用鉛管ＬＰ
給湯管：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
ガス管：埋設管　外面被覆鋼管
ガス管：その他　配管用炭素鋼鋼管
屋外排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
配管撤去後の床・壁棟の穴埋めは建築工事とする。
廊下手洗給水配管の保温材（エルボ部）に石綿が含有している為，
飛散防止措置を行い適切に撤去する事。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟：２階平面図（改修前） ★	A1：1:150 A3：1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

M－０６



撤去工事凡例

――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - - -	既設を示す。

撤去配管リスト
給水管：埋設管　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
給水管：その他　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
通気管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
排水器具接続管：排水用鉛管ＬＰ
給湯管：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
ガス管：埋設管　外面被覆鋼管
ガス管：その他　配管用炭素鋼鋼管
屋外排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
配管撤去後の床・壁棟の穴埋めは建築工事とする。
廊下手洗給水配管の保温材（エルボ部）に石綿が含有している為，
飛散防止措置を行い適切に撤去する事。

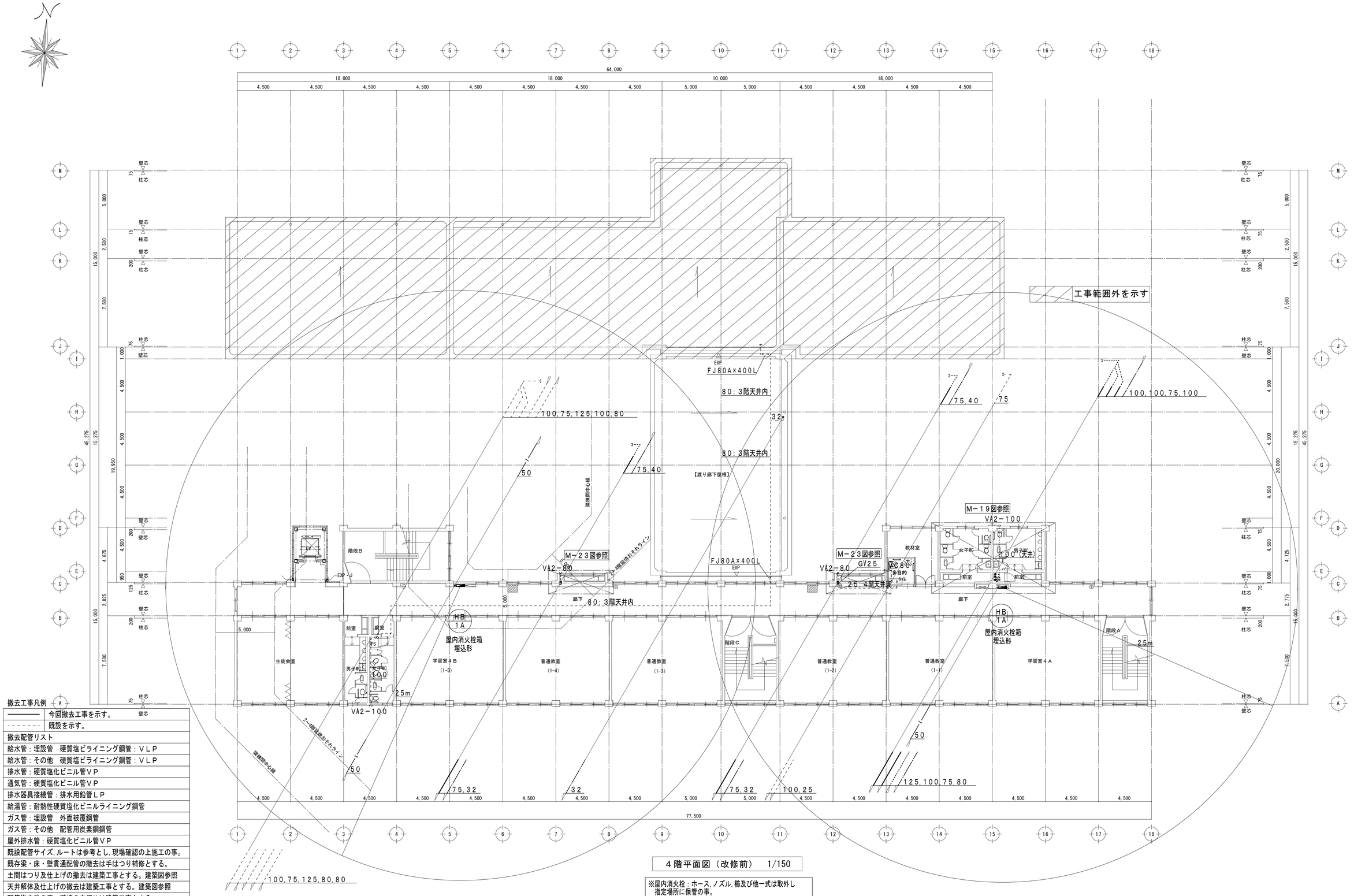
３階平面図（改修前）　1/150

※屋内消火栓：ホース，ノズル，楯及び他一式は取外し
指定場所に保管の事。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟：３階平面図（改修前）	A1：1:150 A3：1:300	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

M−07



4階平面図（改修前） 1/150

※屋内消火栓：ホース，ノズル，襷及び他一式は取外し指定場所に保管の事。

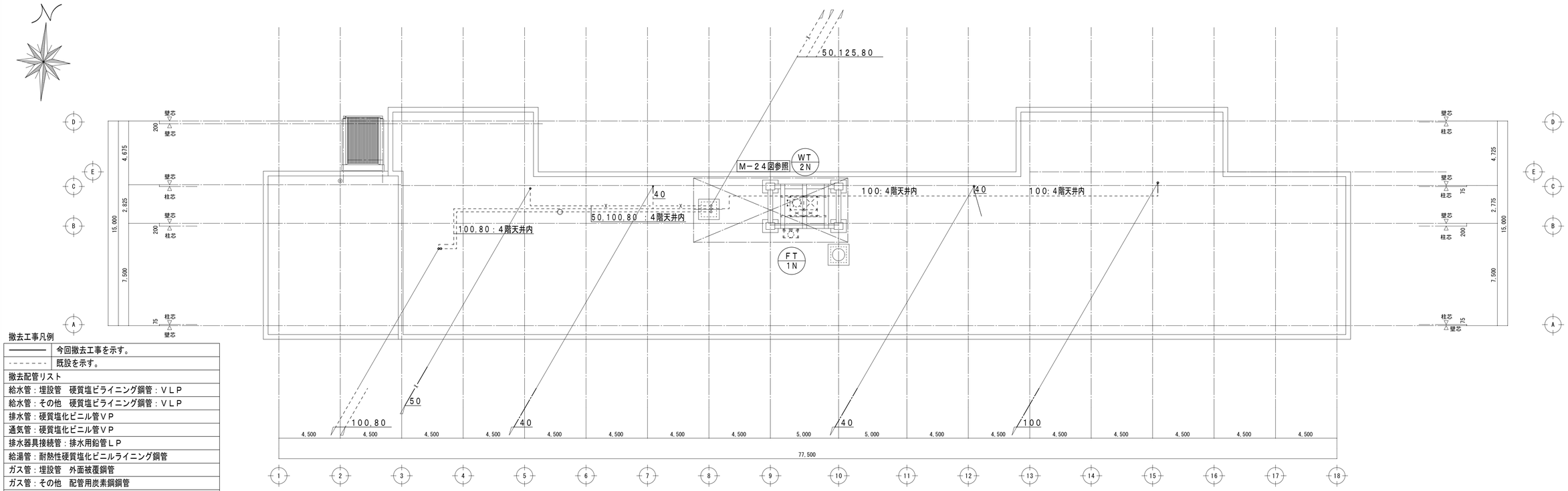
撤去工事凡例

———	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。
撤去配管リスト	
給水管：埋設管　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ	
給水管：その他　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ	
排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
通気管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
排水器具接続管：排水用鉛管ＬＰ	
給湯管：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	
ガス管：埋設管　外面被覆鋼管	
ガス管：その他　配管用炭素鋼鋼管	
屋外排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
配管撤去後の床・壁棟の穴埋めは建築工事とする。	
廊下手洗給水配管の保温材（エルボ部）に石綿が含有している為，	
飛散防止措置を行い適切に撤去する事。	

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟：４階平面図（改修前） ★	A1：1:150 A3：1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

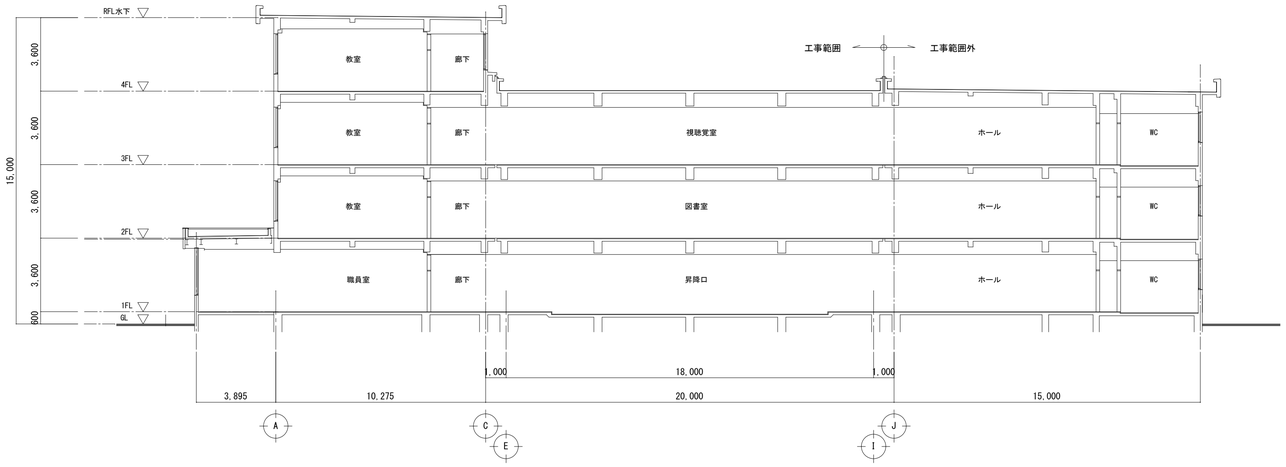
M－０８



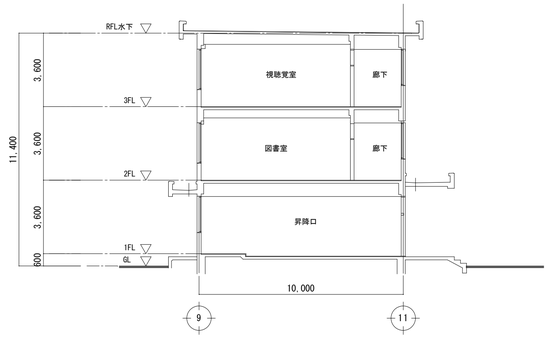
R階平面図（改修前前） 1/150

撤去工事凡例

――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。
撤去配管リスト	
給水管：埋設管　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ	
給水管：その他　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ	
排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
通気管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
排水器具接続管：排水用鉛管ＬＰ	
給湯管：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	
ガス管：埋設管　外面被覆鋼管	
ガス管：その他　配管用炭素鋼鋼管	
屋外排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
配管撤去後の床・壁棟の穴埋めは建築工事とする。	
廊下手洗給水配管の保温材（エルボ部）に石綿が含有している為，	
飛散防止措置を行い適切に撤去する事。	



A断面図（改修前後） 1/150



B断面図（改修前） 1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟：Ｒ階平面図（改修前） ★	★ A1：1:150 A3：1:300	★	★	★	★	★

藤 川 設 計 株 式 会 社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

M−０９

衛 生 凡 例

記 号	名 称	記 号	名 称	記 号	名 称
——— - ———	給 水 管	⊠	給 水 栓	——⊏⊐——	フレキシブル継手
———————	汚 水 管	⊠	給 水 栓	ⓓ ⓓ	床 上 掃 除 口
———————	雑 排 水 管	⊠	混 合 水 栓	⊘ ⊘	排 水 金 物
----------	通 気 管	——⋈GV——	仕切弁		
- - - - - - - - - -	既 設 配 管				

衛 生 器 具 表

註：1）衛生器具製造者の違いにより発生する工事は，本工事の範囲内とし，選定した衛生器具に適した施工を行う。
2）床上掃除口（COA）は化粧型でも可とする。

器具名称	参考（TOTO）	参考（LIXIL）		合計	1階									2階					3階					4階						
					職員男子便所	職員女子便所	前室	職員室	校長室	湯沸室	職員女子更衣室	職員男子更衣室	保健室	廊下手洗・西側	東側男子便所・前室	東側女子便所・前室	廊下手洗・東側	廊下手洗・西側	東側男子便所・前室	東側女子便所・前室	廊下手洗・東側	廊下手洗・西側		東側男子便所・前室	東側女子便所・前室	廊下手洗・東側	廊下手洗・西側			
腰掛便器	CS597BMS	BC−P20HU	陶器製密結タンク（内部金具同梱：蓋固定，手洗無し），普通便座（ソフト閉止），床給水，セット金具一式	23		2									2	5			2	5				2	5					
腰掛便器	CS597BMS	BC−P20HU	陶器製密結タンク（内部金具同梱：蓋固定，手洗無し），温水洗浄便座（AC100V・PS形＋壁付タッチスイッチ（エコリモコン）），床給水，セット金具一式（手摺設置箇所）	2	1	1																							
ワンタッチ紙巻器	YH117	CF−32H	本体（SUS製）	25	1	3									2	5			2	5				2	5					
手すり（樹脂被覆タイプ）L型	T112CL10	KF−920AE70D12J	寸法：700×700×120D，取付金具共	6											1	1			1	1				1	1					
手すり（樹脂被覆タイプ）はねあげ・ロック型	T112HK7R	KF−471EH70JU	寸法：700×700，取付金具共	2	1	1																							
自動洗浄小便器：低リップ	UFS900R	U−A51AP	AC100V・節水タイプ，バックハンガー	18	3										5				5					5						
小便器手すり（樹脂被覆タイプ）	T112CU22	KF−701AEJ	取付金具共	4	1										1				1					1						
マルチシンク	SK500	S−17	横水栓（レバー式），固定金具，壁排水金具（Pトラップ）	7			1								1	1			1	1				1	1					
洗面化粧台：スタンダード	LDSAS050AAGYC1	FTV1N−500（AM）	自動水栓（AC100V・単水栓），床給水，床水金具（Sトラップ），取付金具	3				1				1	1																
壁掛洗面器	L210C	L−132G	台付自動水栓（AC100V・単水栓），取付金具，壁排水金具（Pトラップ）	4	2	2																							
化粧棚	YAK600CR	H−402	陶器製	2		2																							
化粧鏡	YM3545FE	KF−3545A	寸法：350W×450H（相当），盗難防止形（耐食鏡）	26	2	2		1	1			1	1		3	3			3	3				3	3					
化粧鏡	YM4560FE	KF−4560A	寸法：450W×600H（相当），盗難防止形（耐食鏡）	1							1																		
洗濯機パン	PWP640N2W	PF−6464AC	横引きトラップ，セット金具一式（トラップ廻りは箱抜きとし、モルタルにて固めない）	1									1																
自動単水栓	TLE26SP1A	AM−230CV1	（AC100V）	18											3	3			3	3				3	3					
自動単水栓	TLE26SS1A	AM−320CV1	（AC100V）	1							1																		
横水栓（泡沫・レバー式）	T123BQ13C	LF−7KRZF−13−U	ステンレスパイプ13A共	7										1			1	1			1	1			1	1			
胴長横水栓（泡沫）	T23B13V109	LF−7RF−13	給水用	35										5			5	5			5	5			5	5			
横水栓（スパウト回転式・泡沫式）	T130AUN13C	LF−12F−13−U	給水用	1							1																		
立水栓（スパウト回転式・泡沫式）	T136SUNR13C	LF−14NF−13	給水用	1									1																
横水栓（スパウト回転式・泡沫式）	T130AUN13C	LF−12F−13−U（H）	給湯用	1							1																		
立水栓（スパウト回転式・泡沫式）	T136LUNS13H	LF−L14NF−13	給湯用	1									1																
洗濯機用横水栓	TW11R	LF−WJ50KQA	緊急止水弁付	1									1																
横水栓（吐水口回転式）	T200SNR13C	LF−7R−13−U	給水用	2									2																
ガスコック			単口ガスコック（ヒューズ付）・アングルタイプ	4					1	2			1																
	参考（矢崎エナジーシステム）																												
遮断弁コントローラー	YCB−12E		LPG用	2						1			1																
ガス遮断弁用警報器	YF−433F		LPG用（有電圧出力AC100V）	2						1			1																
ガス遮断弁	MV−20L		20A	2						1			1																

衛 生 機 器 表

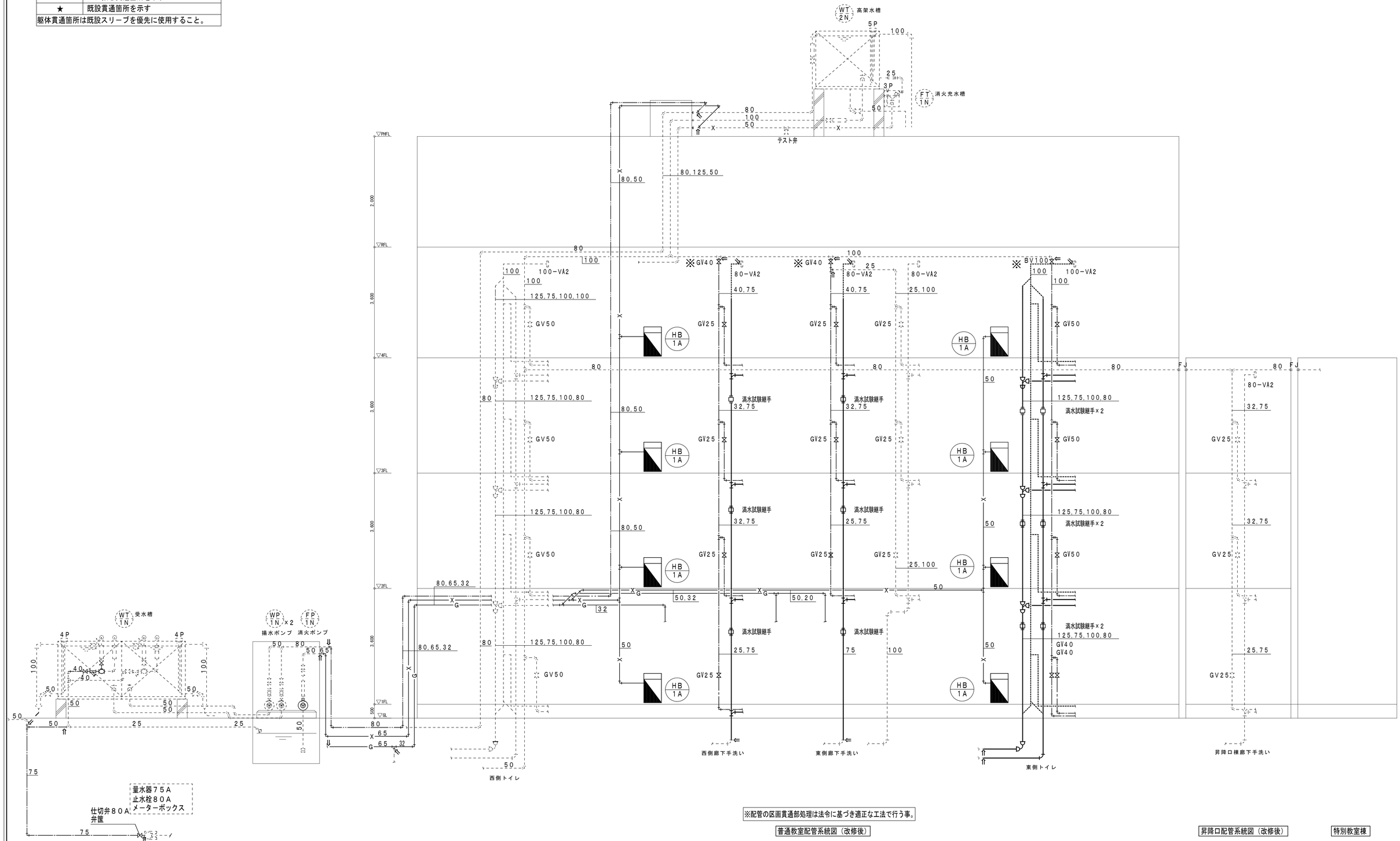
記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電源 φ−V	電源 kW	設置場所	台数	備 考
HB−1A	屋内消火栓格納箱	型式： 1号 総合型 埋込型（消防認定品） 指定色焼付塗装			1～4階各廊下	8	東側4台、西側4台
		付属品：消火栓弁40A，噴霧切替ノズル，ホース掛け，（ホースは既設再利用） 他付属品共					
		※表示灯・発信機は電気工事					
GW−1	ガス給湯器	型式： 屋外壁掛形20号：LPG用 （潜熱回収型）	1φ−100V	146．0	1階更衣室屋外	1	アース線共
		ガス消費量：36．7kW					
		付属品：給湯器用メインリモコン，リモコンコード，配管カバー，他標準付属品共					
		止水栓（チャッキ付）、可とう管コック、金属可とう管、SUS製フレキチューブ×2共					
GW−2	ガス瞬間湯沸器	型式： 5号先止め式：LPG用，乾電池式			1階湯沸室，保健室	2	
		ガス消費量：10．5kW					
		付属品：標準付属品共					
		止水栓（チャッキ付）、可とう管コック、金属可とう管、SUS製フレキチューブ×2共					
電気容量は参考数値とする。							

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	★ 機械設備 給排水衛生設備 凡例・器具機器表（改修後）	★ A1：N:S A3：N:S	★	★	★	★	★	藤 川 設 計 株 式 会 社	一級建築士登録 222551 田中 富士夫	M−10

改修工事凡例

————	今回施工工事を示す
- - - - -	既設のままを示す
⌑	給水栓
—⓪	掃除口
—⊘	排水金物
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	

※バルブの設置は原則として土日に行うものとし、施設運営中は
北校舎で給水を使用出来るようにすること。



※配管の区画貫通部処理は法令に基づき適正な工法で行う事。

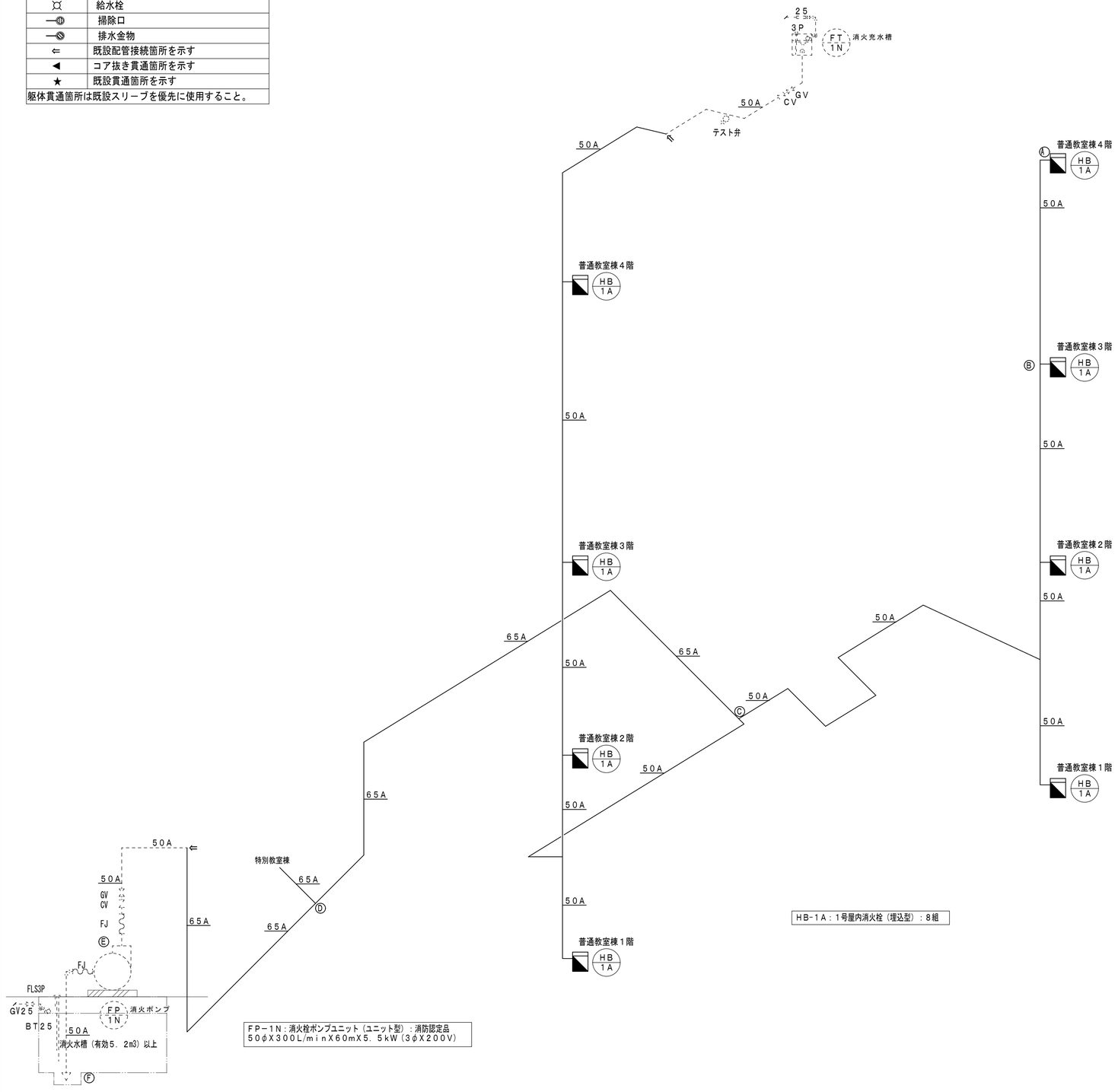
普通教室配管系統図（改修後）　昇降口配管系統図（改修後）　特別教室棟

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	★ 機械設備　給排水衛生設備 系統図（改修後）	★ A1: N:S A3: N:S	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	M－11

改修工事凡例

――――	今回施工工事を示す
- - - - - - -	既設のままを示す
⌑	給水栓
—◍	掃除口
—⊘	排水金物
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。



ＦＰ－１Ｎ：消火栓ポンプユニット（ユニット型）：消防認定品
５０φＸ３００Ｌ/ｍｉｎＸ６０ｍＸ５．５ｋＷ（３φＸ２００Ｖ）

ＨＢ-１Ａ：１号屋内消火栓（埋込型）：８組

消　火　栓　系　統　図

消火栓計算書　屋内消火栓１号　（配管材料→配管用炭素鋼鋼管：ＳＧＰ-白　ＪＩＳ　Ｇ３４５２）

区間	器具単位数	流量	管径	局部抵抗の種類	局部抵抗の相当長Ｌ（ｍ'）又はＫ 1個当りの相当長	数量 ケ	計又はK ｍ	実長 L ｍ	換算長 ｍ	単位抵抗 R mh2o／m	区間距離 R（L+L'） mh2o	
～A	1	130	40	直管			0．5	0．5				
				90°エルボ	1．3	1	1．3	1．3				
				放水弁	7．0	1	7．0	7．0	8．8	0．0944	0．83072	
A～B	1	130	50	直管			3．6	3．6				
				90°エルボ	1．6	1	1．6	1．6				
				チーズ	3．2	1	3．2	3．2	8．4	0．0293	0．24612	
B～C	1	130	50	直管			56．5	56．5				
				90°エルボ	1．6	14	22．4	22．4				
				チーズ	3．2	2	6．4	6．4	85．3	0．0293	2．49929	
C～D	2	260	65	直管			85．5	85．5				
				90°エルボ	2．0	12	24．0	24．0				
				チーズ	4．1	2	8．2	8．2				
				フレキ	2．0	1	2．0	2．0	119．7	0．0313	3．74661	
D～E	2	260	65	直管			38．5	38．5				
				90°エルボ	2．0	10	20．0	20．0	58．5	0．0313	1．83105	
			50	直管			6．5	6．5				
				90°エルボ	1．6	4	6．4	6．4				
				仕切弁	0．3	1	0．3	0．3				
				逆止弁	4．4	1	4．4	4．4				
				フレキ	2．0	1	2．0	2．0	19．6	0．1056	2．06976	
E～F	2	260	50	直管			5．5	5．5				
				90°エルボ	1．6	1	1．6	1．6				
				フレキ	2．0	1	2．0	2．0				
				フート弁	4．4	1	4．4	4．4	13．5	0．1056	1．4256	
								合　計			12．64915	≦13．0

	計　算　式	計　算	備　考
ポンプの定格吐出量	屋内消火栓　Ｑ１＝１５０ＸＮ Ｎ：同時開口数	Ｑ１＝１５０Ｘ２＝３００	Ｎ=1
ポンプの定格全揚程	Ｈ=ｈ１＋ｈ２＋ｈ３＋ｈ４　ｍＨ２Ｏ ｈ１：配管摩擦損失水頭　ｍＨ２Ｏ $h1=\sum_{n=1}^{N} h1n$ ｈ１ｎ：呼び径dnの配管の摩擦損失水頭　ｍＨ２Ｏ Ｎ：配管の摩擦損失計算に必要なｈ１ｎの数 $h1n=\frac{\alpha n\cdot(ln+1n)''}{100}$ ｌｎ'：呼び径dnの配管の直管部の長さの合計　ｍ ｌｎ''：呼び径ｄｎの配管の継手、バルブ類の直管相当長の合計　ｍ αｎ：（昭和５１年４月５日、消防庁告示第３号）による ｈ２：実揚程（吸込実揚程+吐出実揚程）　ｍ ｈ３：ノズルの放水圧力水頭 屋内消火栓　１７ｍＨ２Ｏ ｈ４：消防ホースの摩擦損失水頭 屋内消火栓（ゴム引きホース長さ30m）　３．６ｍＨ２Ｏ	Ｈ=１３．０+１６．５+１７．０+３．６ =５０．１≦５１．０	ｈ1=12．5 ｈ2=16．5 ｈ3=17．0 ｈ4=3．6
電動機の出力	$kW=\frac{0.163XQXH}{K}XK'$ ｋＷ：必要な電動機容量　Ｑ：吐出量　ｈ２：実揚程 Ｋ：ポンプの効率 Ｋ'：電動係数（１．１とする）実揚程	$kW=\frac{0.163X0.3X51.0}{0.60}X1.1$ =４．５７≦５．５	
ポンプ仕様 既設流用	口径・吐出量・揚程・電動機出力・電極・台数 ｍｍ　Ｌ/ｍｉｎ　ｍＨ２Ｏ　ｋＷ ５０　３００　６０　５．５　２　１		ＦＰ－１Ｎ　：既設流用
消火用水槽	屋内消火栓　ＱＯ１=２．６×Ｎ ＱＯ１：水源の有効容量 Ｎ：同時開口数	ＱＯ１=２．６Ｘ２ =５．２（m^3）	地下式水槽　：既設流用
消火用充水槽	Ｑｆｈ＝２００Ｌｉｔ		ＰＦ－２　：既設流用

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考			
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	機械設備　消火設備 系統図（改修後）	A1：N:S A3：N:S	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	M－１２

量水器７５Ａ
メーターボックス
止水弁

仕切弁８０Ａ
弁置ＶＣ−３

市道

正門

Ｍ−２５図参照

ガス管はメーターの
二次側で接続とする。

受水槽

ポンプ室

北西門

ゴミ焼却炉

キュービクル

LPG庫3

武道館：ガス管

武道館：給水管

渡り廊下

屋内運動場：ガス管

屋内運動場：給水管

Ｍ−１４図参照

校舎棟

中庭

室外機

危険物貯蔵庫

LPG庫1 LPG庫2

普通教室棟

自転車置場1

自転車置場2

倉庫1

倉庫2

防災倉庫1

武道場

屋内運動場

防災倉庫2

ミルクロード

器具庫4

器具庫3

器具庫2

器具庫1

農道

プール付属棟：給水管

プール付属棟

プール

浄化槽

部室2

部室1

矢合川

運動場

配　置　図　1/400

改修工事凡例

———	今回施工工事を示す
- - - -	既設のままを示す
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
▪	埋設標示（鉄製）を示す
•	埋設標示（コンクリート製）を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	

※既設配管の撤去は新設給水管の切替後に各場所において通水確認後に行う。
　原則として断水は完全休校日及び土日とし，施設管理者と協議の上，監督職員の承諾を得て行う。
※露出配管及び施設運営に支障のない配管については夏休み前に施工できるものとする。
　施設運営に支障のある範囲については原則土日若しくは夏休み期間に行うものとし、掘削した穴は当日中に埋め戻すか、
　安全対策を講じること。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	機械設備　給排水衛生設備 配置図（改修後） ★	A1：1:400 A3：1:800 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

M−１３

改修工事凡例

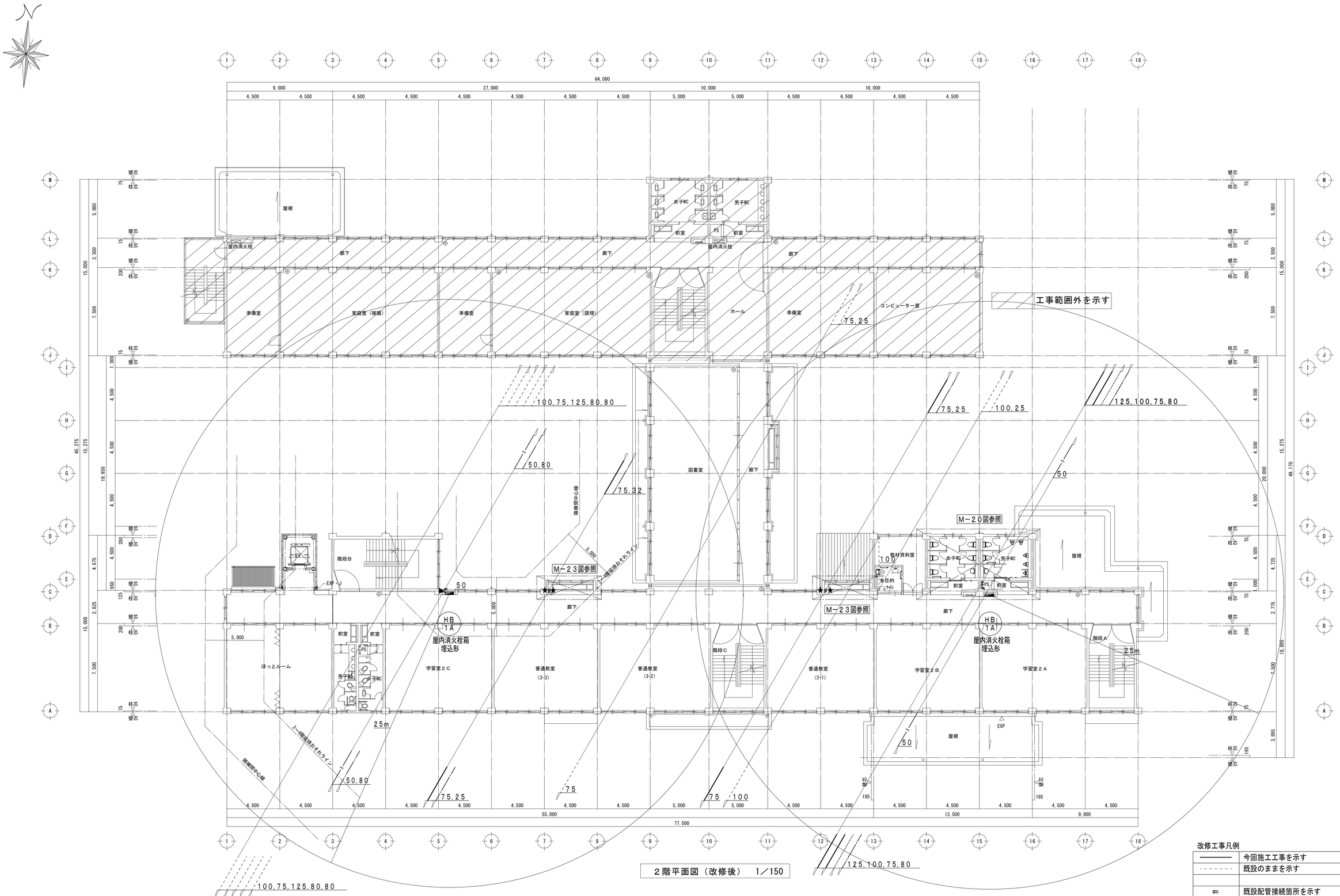
――――	今回施工工事を示す
- - - -	既設のままを示す
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
▪	埋設標示を示す

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。

工事範囲外を示す

1階平面図（改修後）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟：1階平面図（改修後）	A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	M－14

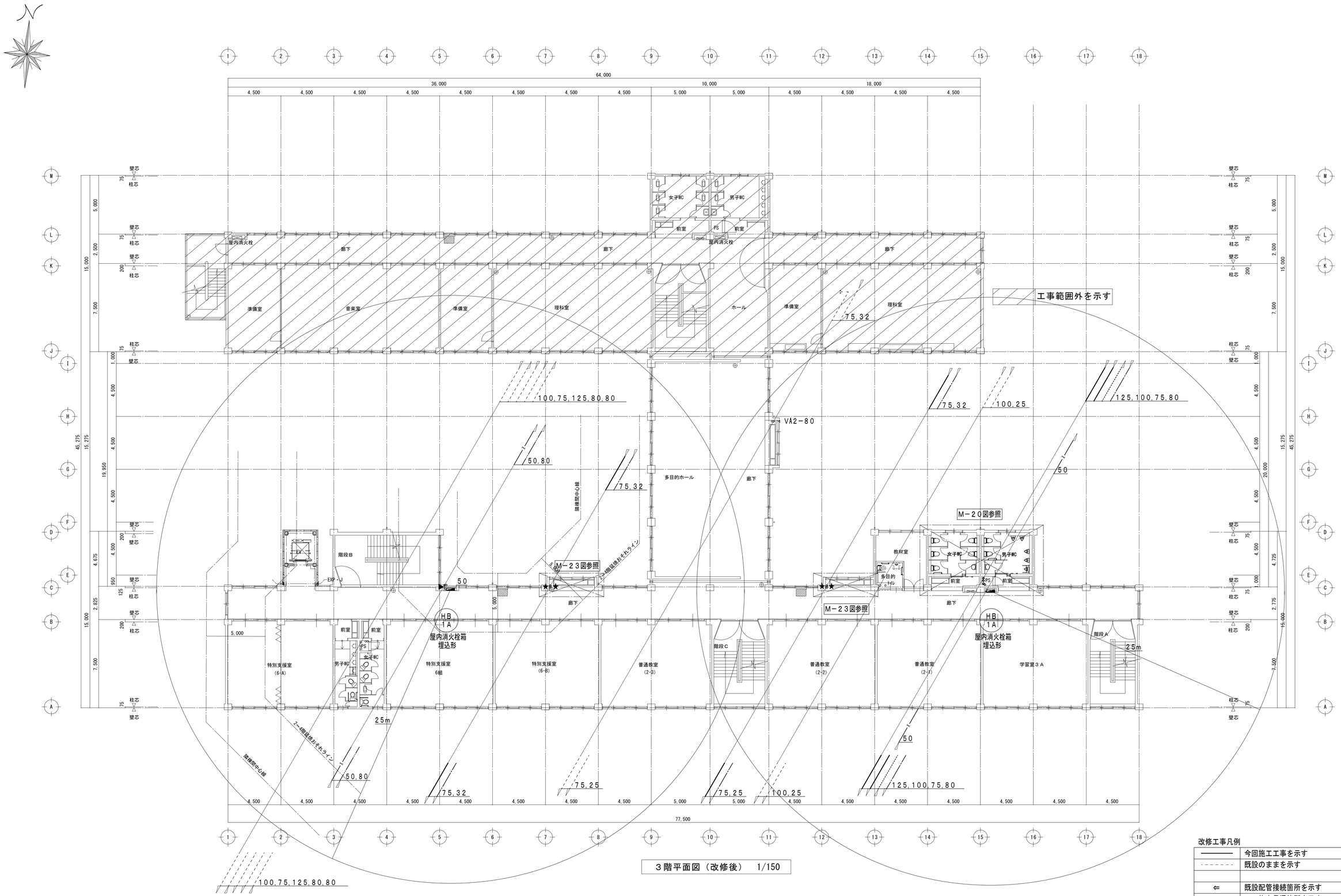


改修工事凡例

———	今回施工工事を示す
- - - - - -	既設のままを示す
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟：２階平面図（改修後） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	M－15



３階平面図（改修後）　1/150

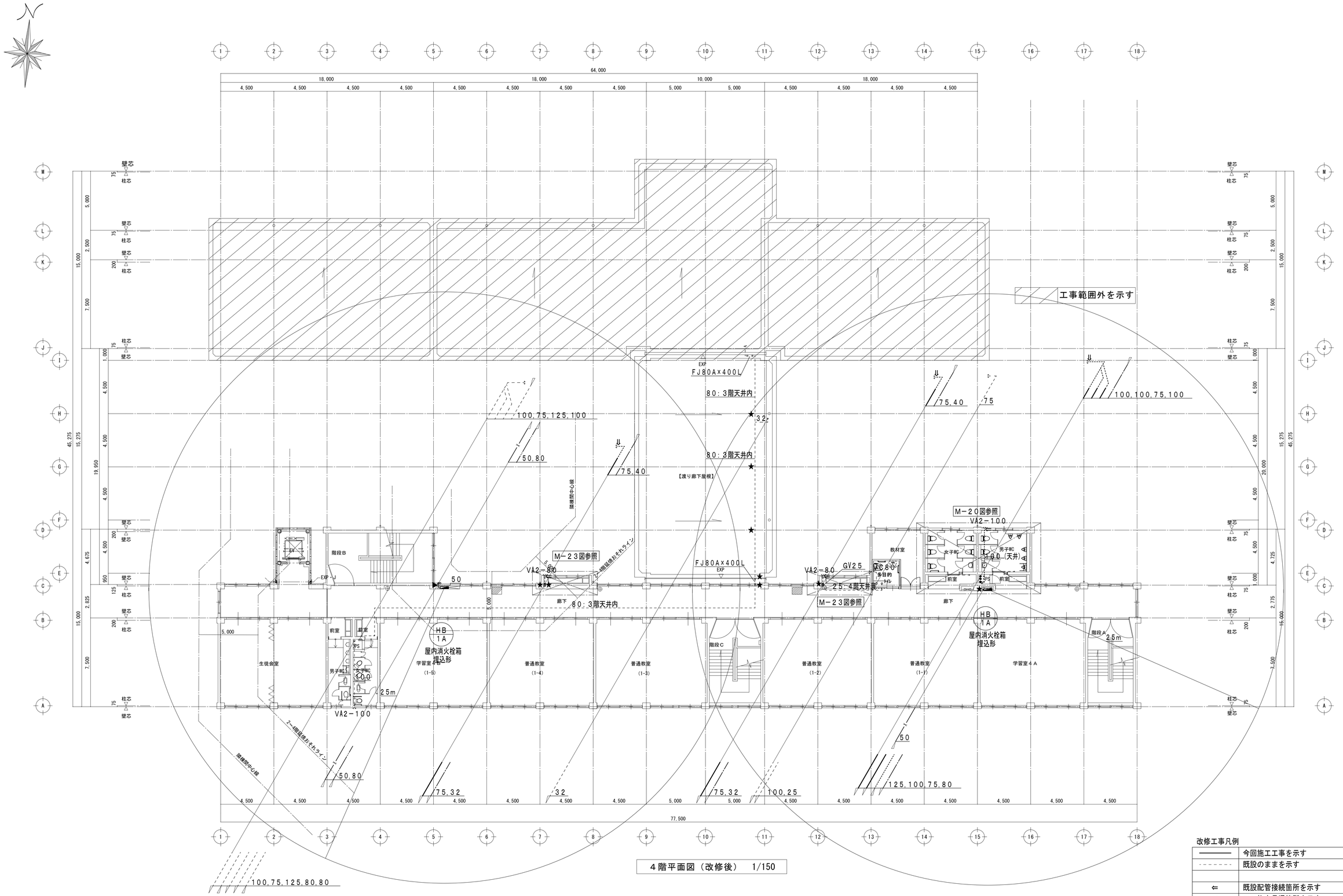
改修工事凡例

――――	今回施工工事を示す
- - - - - -	既設のままを示す
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	★ 機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟：３階平面図（改修後）	★ A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

M−１６



4階平面図（改修後）　1/150

改修工事凡例

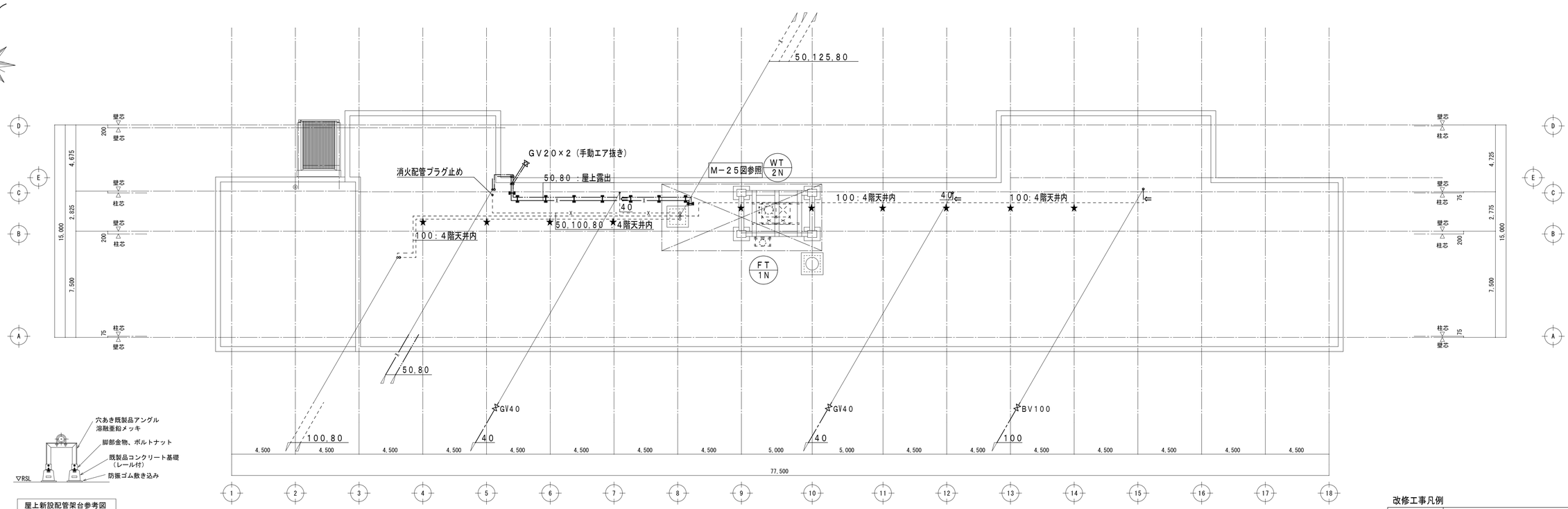
———	今回施工工事を示す
- - - - -	既設のままを示す
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	★ 機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟：4階平面図（改修後）	★ A1：1:150 A3：1:300	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　222551　田中　富士夫

M－17



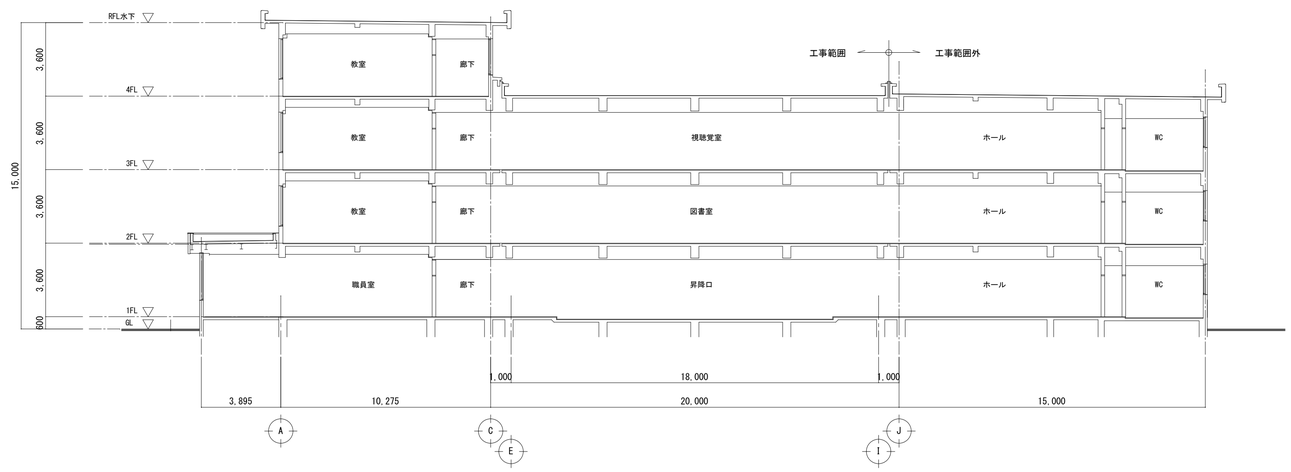
R階平面図（改修前後） 1/150

屋上新設配管架台参考図
（屋上防水箇所）

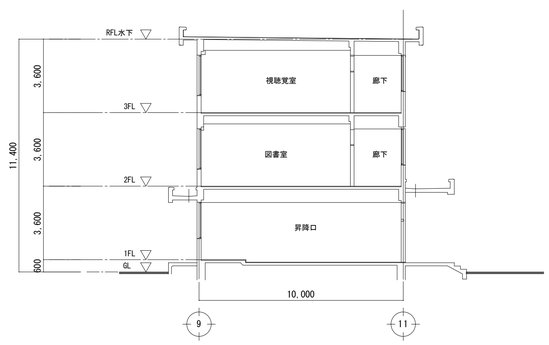
改修工事凡例

———	今回施工工事を示す
- - - - - - -	既設のままを示す
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。



A断面図（改修前後） 1/150

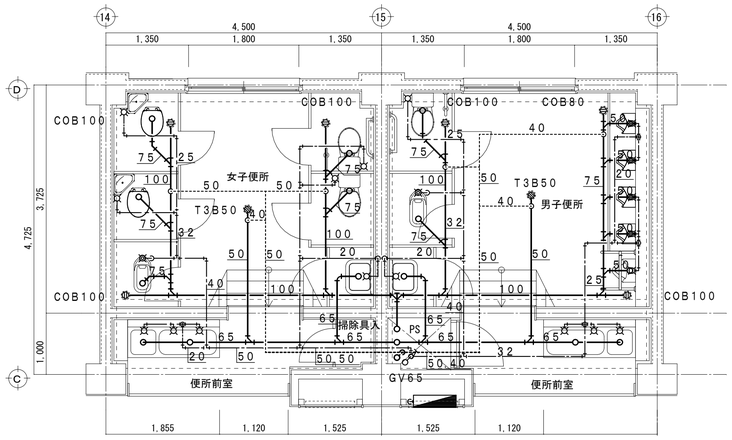


B断面図（改修前） 1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	★ 機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟：R階平面図（改修後）	★ A1：1:150 A3：1:300	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　222551　田中　富士夫

M－18

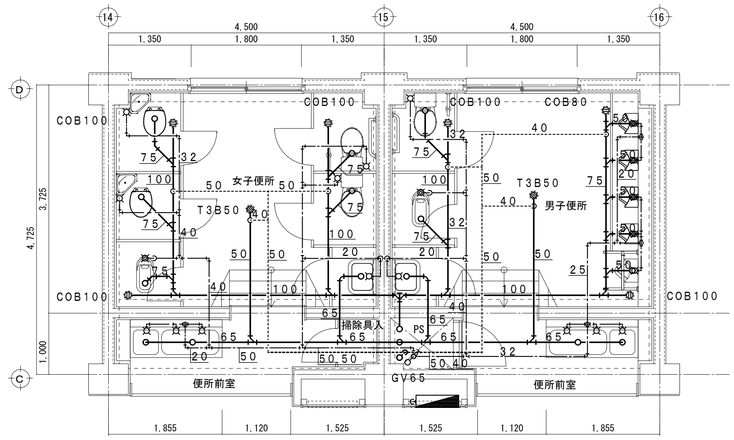


生徒用便所、3階前室２・平面詳細図（改修前）１／50

HB
1A
屋内消火栓箱
埋込形：撤去

衛生器具類撤去一覧表

衛生器具及び付属品		男子便所・前室	女子便所・前室
和風大便器	ＦＶ式, 紙巻器, 他付属品共	1	1
洋風便器	タンク式, 紙巻器, 他付属品共	1	4
ストール小便器	他付属品共	5	
掃除流し	他付属品共	1	1
水石鹸入れ	他付属品共	1	1
化粧鏡	３６３×４５５×５ｔ	2	2
胴長横水栓		3	3

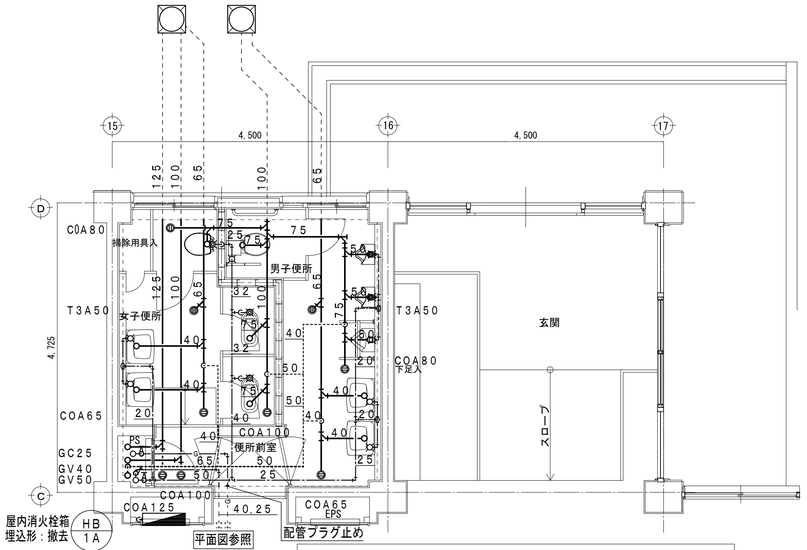


生徒用便所、4階前室２・平面詳細図（改修前）１／50

HB
1A
屋内消火栓箱
埋込形：撤去

衛生器具類撤去一覧表

衛生器具及び付属品		男子便所・前室	女子便所・前室
和風大便器	ＦＶ式, 紙巻器, 他付属品共	1	1
洋風便器	タンク式, 紙巻器, 他付属品共	1	4
ストール小便器	他付属品共	5	
掃除流し	他付属品共	1	1
水石鹸入れ	他付属品共	1	1
化粧鏡	３６３×４５５×５ｔ	2	2
胴長横水栓		3	3



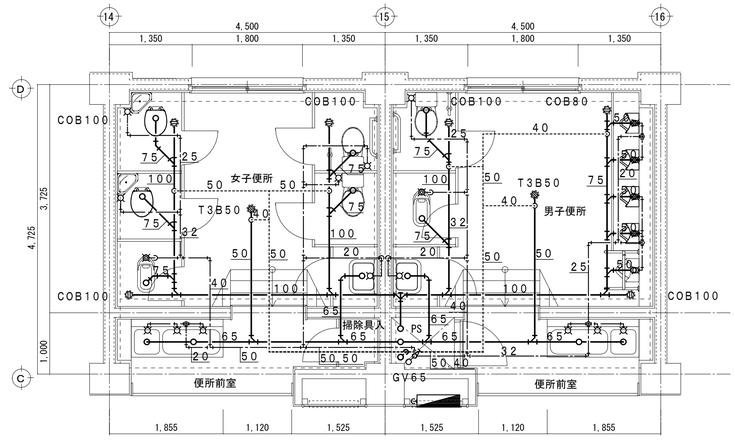
職員玄関、便所　平面詳細図（改修前）１／50

衛生器具類撤去一覧表

衛生器具及び付属品		男子便所・前室	女子便所・前室
和風大便器	ＦＶ式, 紙巻器, 他付属品共	2	
洋風便器	タンク式, 温水洗浄便座, 紙巻器, 他付属品共	1	
洋風便器	ＦＶ式, 温水洗浄便座, 紙巻器, 他付属品共		1
ストール小便器	他付属品共	3	
洗面器	水石鹸入れ, 他付属品共	2	2
化粧鏡	３６３×４５５×５ｔ	2	2

撤去工事凡例

―――	今回撤去工事を示す。
- - - - - -	既設を示す。
撤去配管リスト	
給水管：埋設管　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ	
給水管：その他　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ	
排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
通気管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
排水器具接続管：排水用鉛管ＬＰ	
給湯管：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	
ガス管：埋設管　外面被覆鋼管	
ガス管：その他　配管用炭素鋼鋼管	
屋外排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
既設配管サイズ, ルートは参考とし, 現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
配管撤去後の床・壁棟の穴埋めは建築工事とする。	
廊下手洗給水配管の保温材（エルボ部）に石綿が含有している為,	
飛散防止措置を行い適切に撤去する事。	



生徒用便所、2階前室２・平面詳細図（改修前）１／50

HB
1A
屋内消火栓箱
埋込形：撤去

衛生器具類撤去一覧表

衛生器具及び付属品		男子便所・前室	女子便所・前室
和風大便器	ＦＶ式, 紙巻器, 他付属品共	1	1
洋風便器	タンク式, 紙巻器, 他付属品共	1	4
ストール小便器	他付属品共	5	
掃除流し	他付属品共	1	1
水石鹸入れ	他付属品共	1	1
化粧鏡	３６３×４５５×５ｔ	2	2
胴長横水栓		3	3

工事名称
★
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）

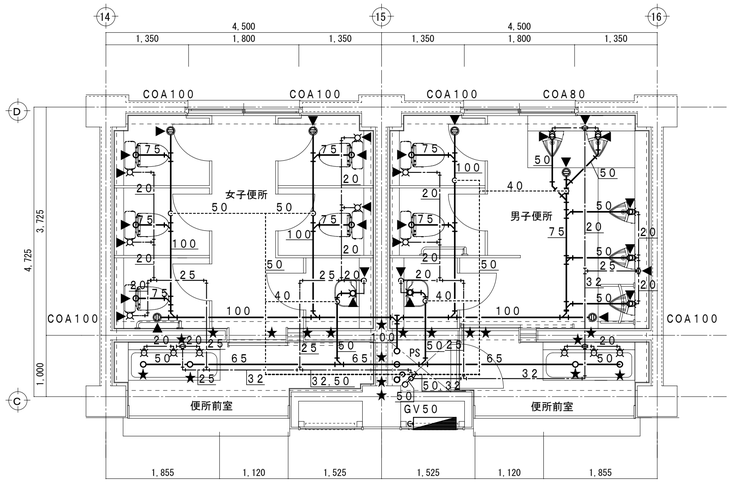
図面名称
★
機械設備　給排水衛生設備
普通教室棟　職員、生徒用便所：前室・平面詳細図（改修前）

縮尺
★
A1：1:50
A3：1:100

日付 ★　訂正 ★　担当 ★　承認 ★　備考 ★

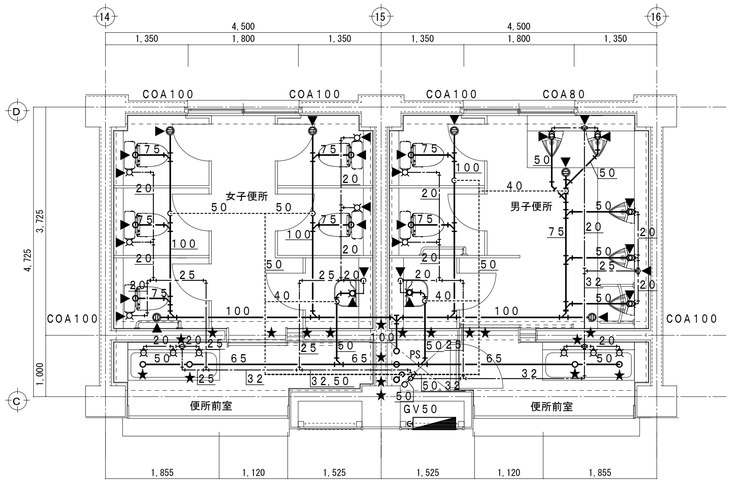
藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

M－１９



生徒用便所、3階前室２・平面詳細図（改修後） １／50

HB
1A
屋内消火栓箱
埋込形：新設



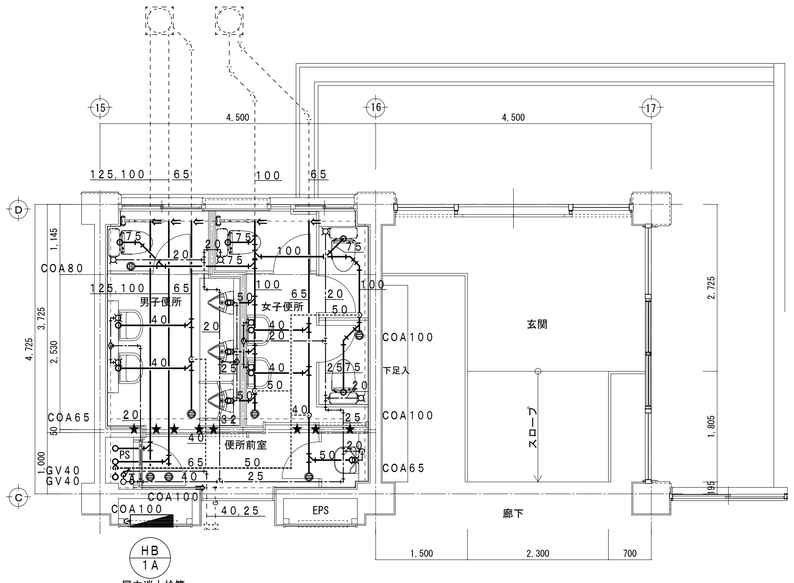
生徒用便所、4階前室２・平面詳細図（改修後） １／50

HB
1A
屋内消火栓箱
埋込形：新設

改修工事凡例

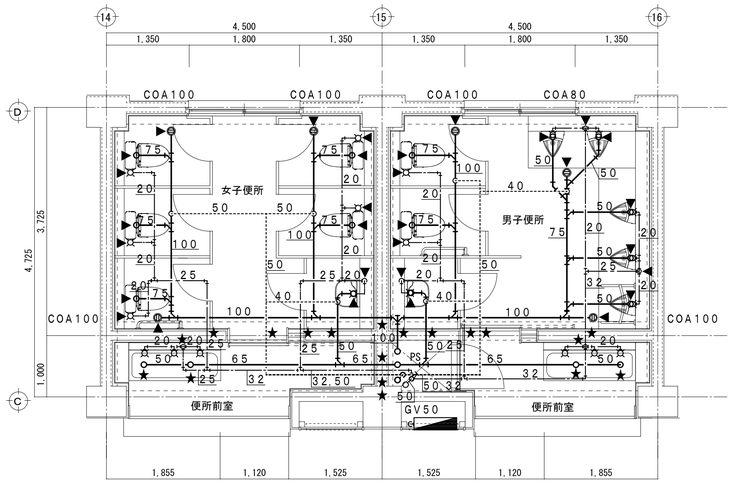
———	今回施工工事を示す
- - - - -	既設のままを示す
⌑	給水栓
—Ⓗ	掃除口
—Ⓢ	排水金物
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。



HB
1A
屋内消火栓箱
埋込形：新設

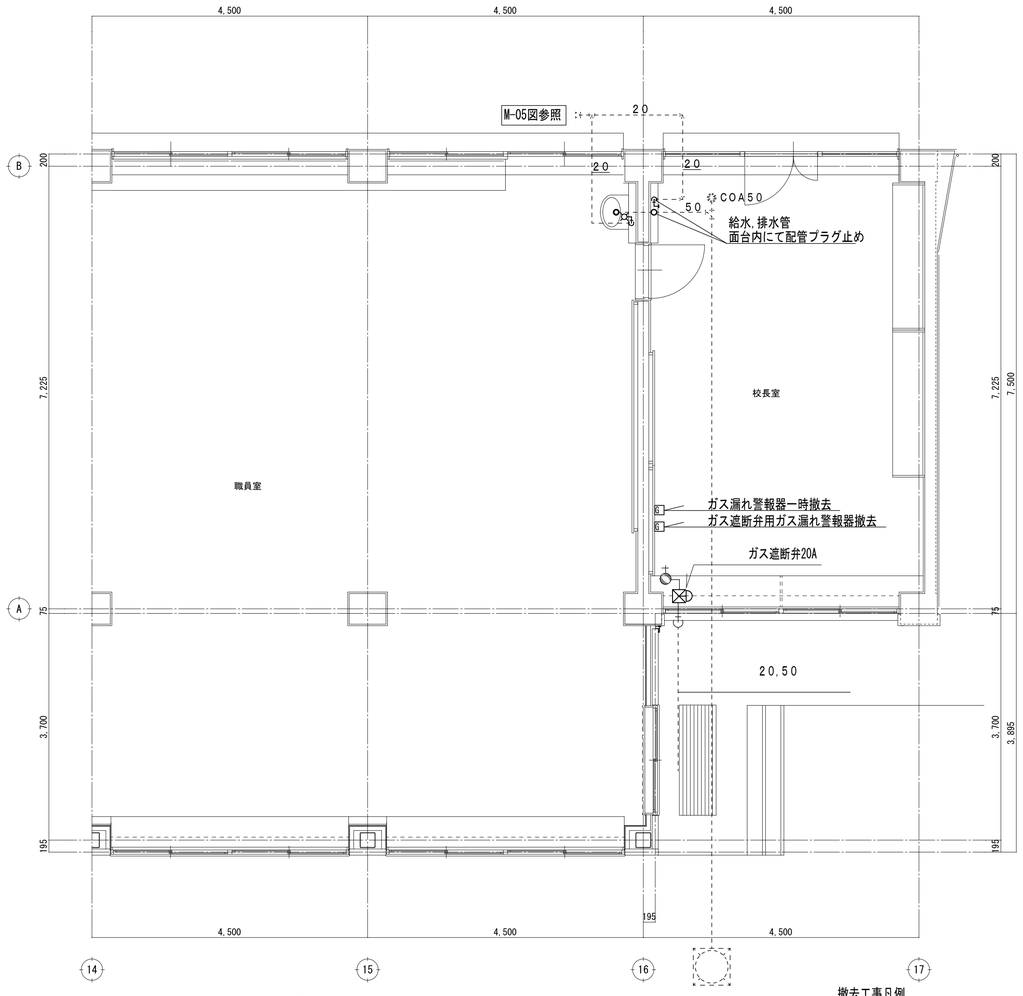
職員玄関、便所　平面詳細図（改修後） １／50



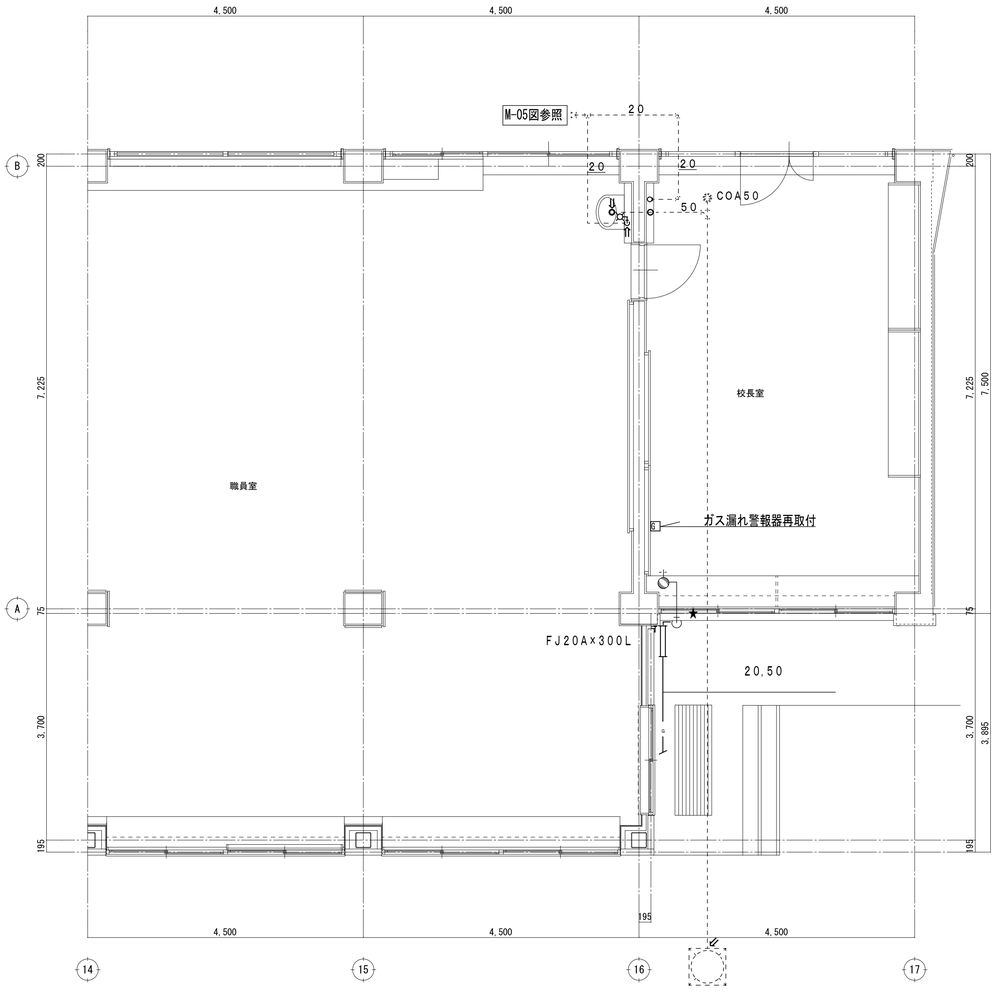
生徒用便所、2階前室２・平面詳細図（改修後） １／50

HB
1A
屋内消火栓箱
埋込形：新設

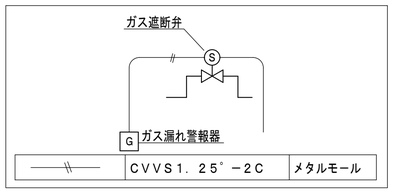
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟　職員、生徒用便所：前室・平面詳細図（改修後） ★	A1：1:50 A3：1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	M－２０



職員室・校長室平面詳細図（改修前） 1／50



職員室・校長室平面詳細図（改修後） 1／50



衛生器具類撤去一覧表

衛生器具表	品番及び付属品	職員室	校長室
洗面化粧台	６００タイプ,他付属品共	1	
化粧鏡	３６３×４５５×５ｔ	1	1
ガス遮断弁	２０Ａ（ガス遮断弁は平面図参照）		1
ガス漏れ警報器	ＬＰＧ用		1
ガス漏れ警報器	ＬＰＧ用（ガス遮断弁用）		1

撤去工事凡例

―――	今回撤去工事を示す。
- - - - -	既設を示す。

撤去配管リスト

給水管：埋設管　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
給水管：その他　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
通気管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
排水器具接続管：排水用鉛管ＬＰ
給湯管：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
ガス管：埋設管　外面被覆鋼管
ガス管：その他　配管用炭素鋼鋼管
屋外排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
既設配管サイズ,ルートは参考とし,現場確認の上施工の事。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
配管撤去後の床・壁棟の穴埋めは建築工事とする。
廊下手洗給水配管の保温材（エルボ部）に石綿が含有している為,
飛散防止措置を行い適切に撤去する事。

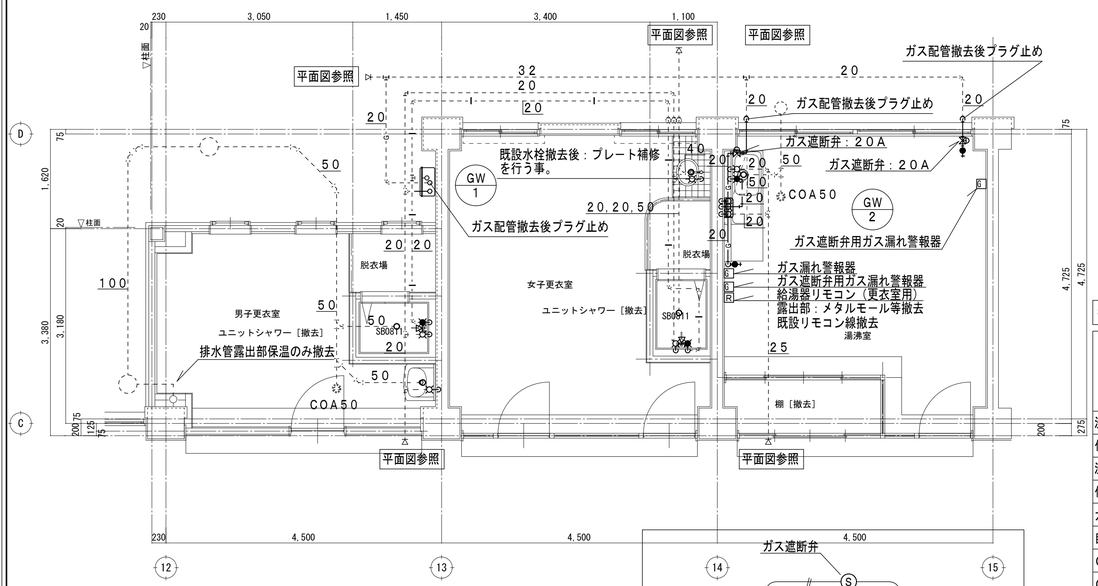
改修工事凡例

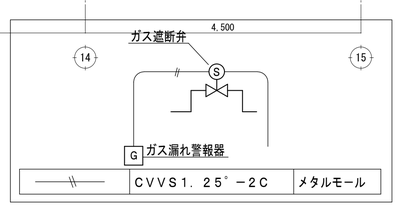
―――	今回施工工事を示す
- - - - -	既設のままを示す
⌑	給水栓
—◍	掃除口
—◎	排水金物
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	★ 機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟　職員室・校長室平面詳細図（改修前・改修後）	★ A1: 1:50 A3: 1:100	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

M－２１





男子更衣室、女子更衣室、湯沸室　平面詳細図（改修前）１／50

撤去工事凡例

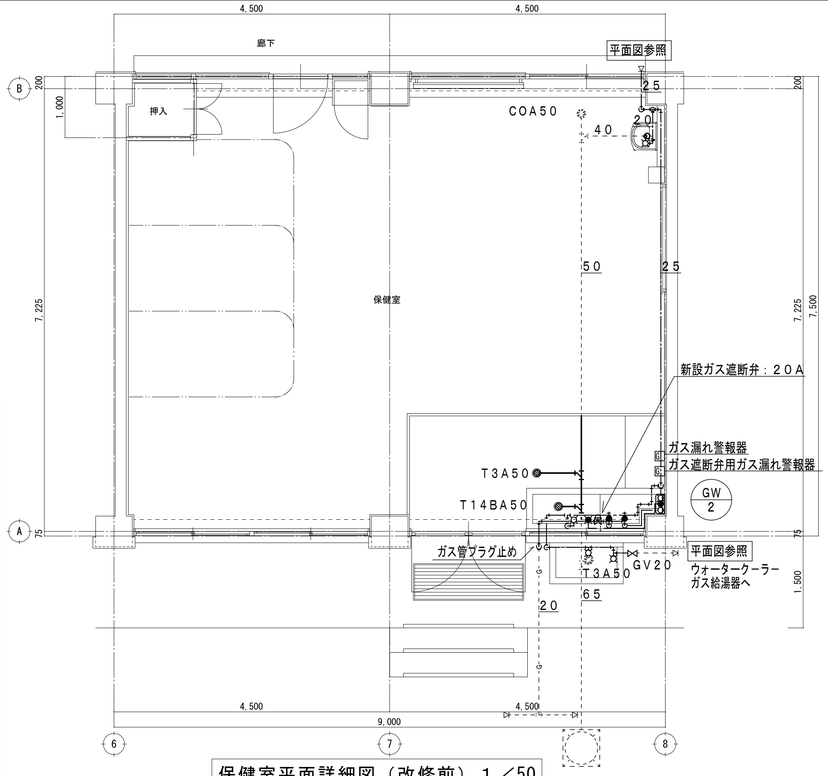
――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - -	既設を示す。

撤去配管リスト

給水管：埋設管　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
給水管：その他　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
通気管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
排水器具接続管：排水用鉛管ＬＰ
給湯管：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
ガス管：埋設管　外面被覆鋼管
ガス管：その他　配管用炭素鋼鋼管
屋外排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
配管撤去後の床・壁棟の穴埋めは建築工事とする。

衛生器具類撤去一覧表

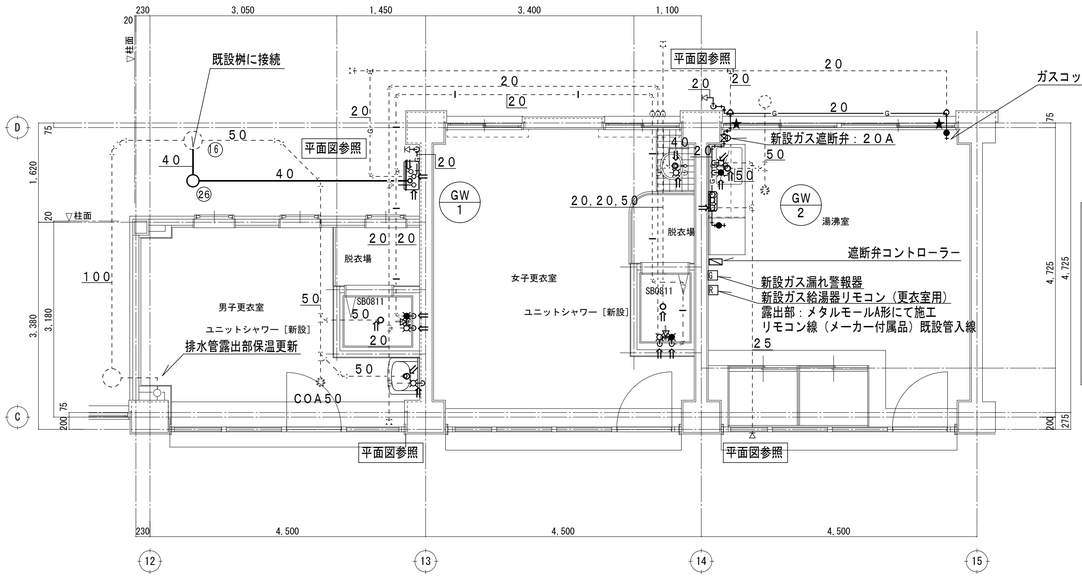
衛生器具表	品番及び付属品	男子更衣室	女子更衣室	湯沸室	保健室	屋外
洗面化粧台	６００タイプ，他付属品共	1				
化粧鏡	３６３×４５５×５ｔ	1			1	
洗面器	水栓，他付属品共				1	
化粧鏡	４５０×８００×５ｔ		1			
ガス給湯器	屋外壁掛形２０号，コック他付属品共	1				
自在水栓	横形			2		
GW―１給湯器	屋外壁掛形２０号，他付属品共					1
GW―２湯沸器	５号先止め式，コック他付属品共			1	1	
ガスコック	単口ガスコック：ヒューズ付			2	2	
洗面化粧台	４５０タイプ，他付属品共				1	
自在水栓	立形				2	
横水栓	外流し用				2	
ガス遮断弁	２０Ａ			2	1	
ガス漏れ警報器	ＬＰＧ用			1	1	
ガス漏れ警報器	ＬＰＧ用（ガス遮断弁用）			2	1	

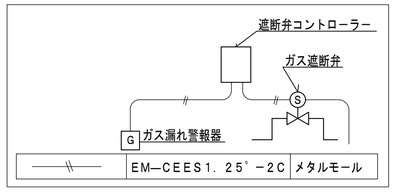


保健室平面詳細図（改修前）１／50

新設：桝リスト

記号	名称	種別	現状地盤管底	備考
２６	汚水小口径桝 ：トラップ桝	塩ビ製桝 ９０Ｌ １００−２００	−５４０	塩ビ製蓋





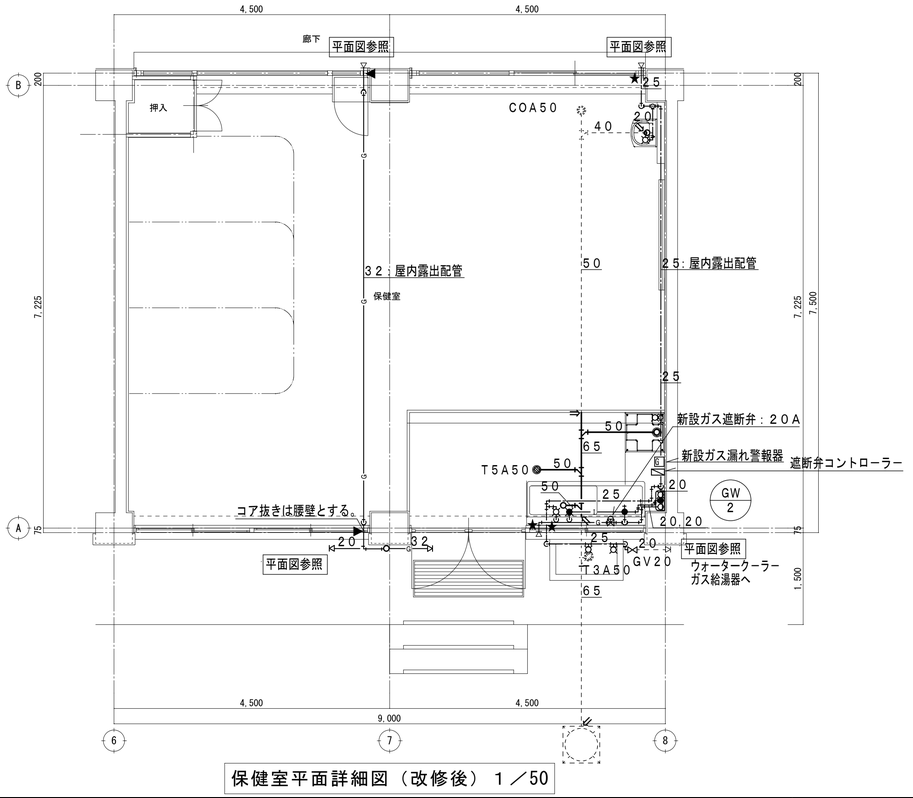
GW−１	ガス給湯器接続箇所は給水２０Ａ，給湯２０Ａ，ガス２０Ａ
リモコン配線（メーカー付属品）とする。	
R	給湯器リモコン

男子更衣室、女子更衣室、湯沸室　平面詳細図（改修後）１／50

改修工事凡例

――――	今回施工工事を示す
- - - - - -	既設のままを示す
⌑	給水栓
―◍	掃除口
―◎	排水金物
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。

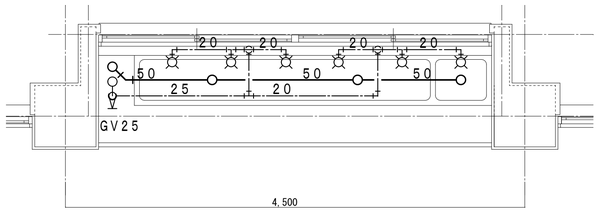


保健室平面詳細図（改修後）１／50

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟　湯沸室・男女更衣室・保健室平面詳細図（改修前・改修後） ★	A1：1:50 A3：1:100 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

M−２２

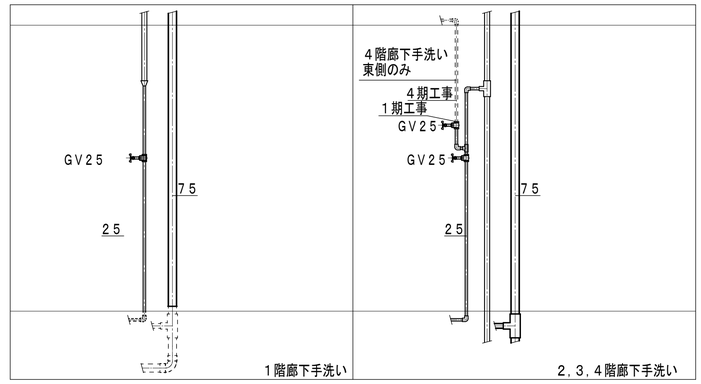


衛生器具類撤去一覧表

衛生器具及び付属品	廊下手洗い
吐水口回転形胴長横水栓　　１３－Ｆ６	6

※普通教室棟（廊下手洗い１～４階）：計７ヶ所

廊下手洗い　平面詳細図（改修前）１／30

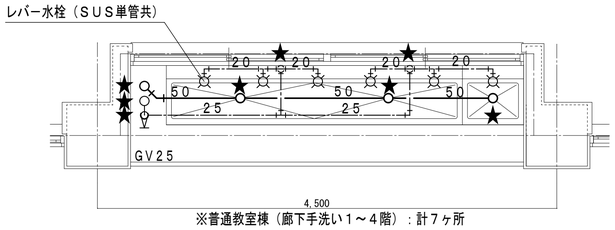


撤去工事凡例

―――	今回撤去工事を示す。
- - - - - -	既設を示す。

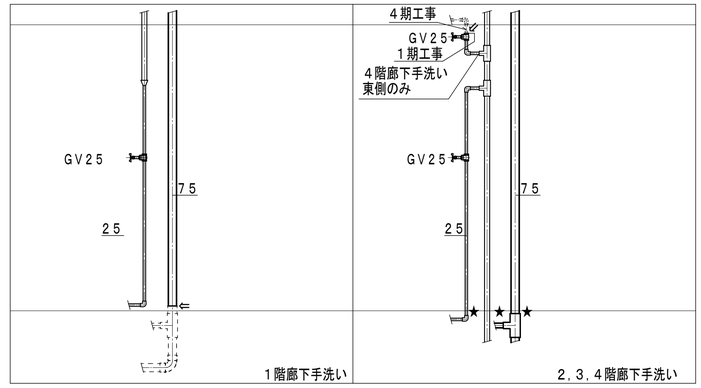
撤去配管リスト

排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
通気管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
排水器具接続管：排水用鉛管ＬＰ
給湯管：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
ガス管：埋設管　外面被覆鋼管
ガス管：その他　配管用炭素鋼鋼管
屋外排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
配管撤去後の床・壁躯の穴埋めは建築工事とする。
廊下手洗給水配管の保温材（エルボ部）に石綿が含有している為，
飛散防止措置を行い適切に撤去する事。



※普通教室棟（廊下手洗い１～４階）：計７ヶ所
※流し排水金物は建築工事

廊下手洗い　平面詳細図（改修後）１／30



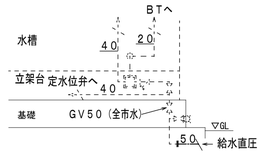
改修工事凡例

―――	今回施工工事を示す
- - - - - - -	既設のままを示す
⌑	給水栓
—◍	掃除口
—⊘	排水金物
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	

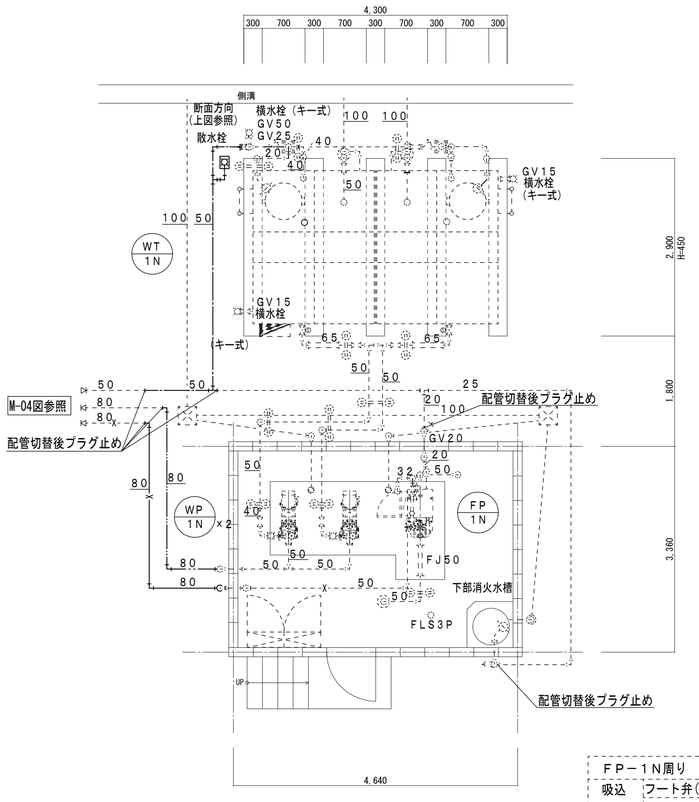
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	★ 機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟　廊下手洗い・昇降口平面詳細図（改修前・改修後）	★ A1：1:30 A3：1:60	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

M－２３



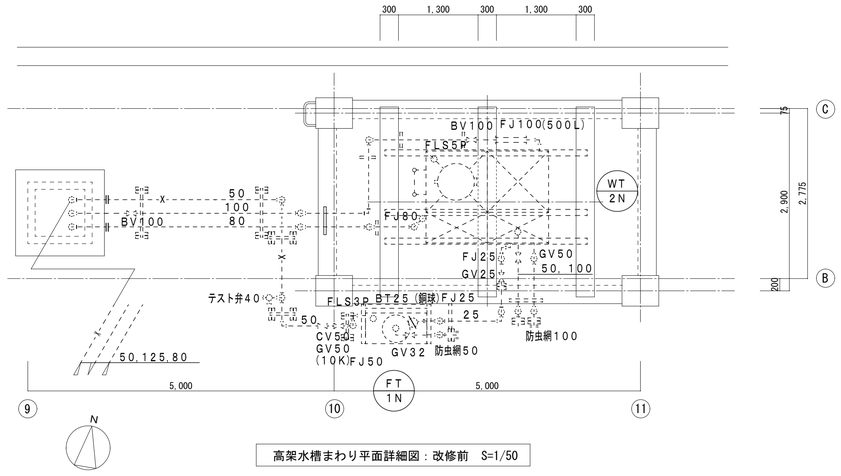
WT－1Nまわり	
水入口	GV40×2,Yスト40×2,FJ（500L）40×2
	定水位弁40×2,BT（銅球）20×2
	GV20×2,FJ（300L）20×2
	GV50（全止水）GV25（泥抜）
水出口	緊急遮断弁65×2（水槽付属品）
	BV65×2,FJ（500L）65×2
ドレン	GV50×2
オーバー	防虫網80×2 ホッパー（DV－IN）×2
電極	FLS4P×2
非常時	GV15×2,キー式横水栓×2
その他	緊急遮断弁用制御盤（SUS）（水槽付属品）



WP－1N周り	
吸込	GV40×2，FJ（玉形ゴム）40×2
吐出	GV40（付属品）×2,CV40（付属品）×2
	FJ（玉形ゴム）40×2

FP－1N周り	
吸込	フート弁（SUS）50（付属品）
	FJ（500L）50
吐出	GV40（付属品），CV40（付属品）
	FJ（500L）40（付属品）
試験	GV32（付属品）
補給水	GV20（10K），FJ（300L）20
ドレン	GV20（5K）
ｵｰﾊﾞｰ	防虫網50
消火水槽	FLS3P

受水槽・ポンプ室平面詳細図：改修前　S=1/50



高架水槽まわり平面詳細図：改修前　S=1/50

WT－2Nまわり	
揚水	FJ（750L）80
給水	FJ(500L)100 BV100
	FJ(300L)25 GV25
ドレン	GV50
オーバー	防虫網100
電極	FLS5P

FJはSUS製とする

FT－1Nまわり	
補給水	FJ（300L）25
	BT25（銅球）
消火	FJ（500L）50
	GV50 CV50
ドレン	GV32
オーバー	防虫網50
電極	FLS3P

FJはSUS製とする

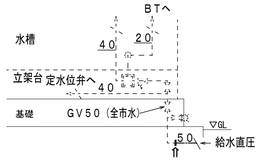
撤去工事凡例

――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。

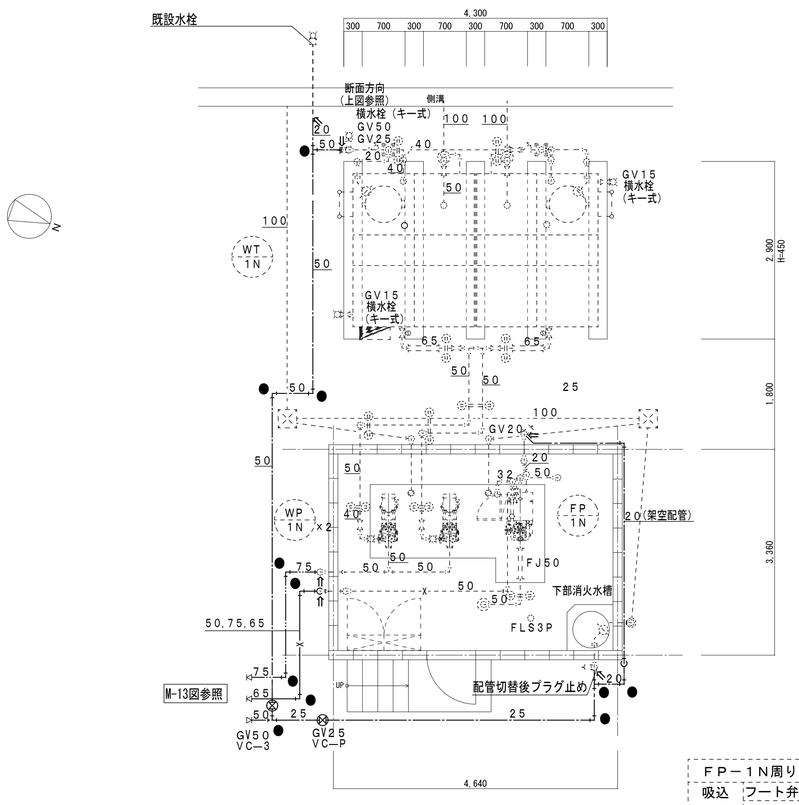
撤去配管リスト
給水管：埋設管　硬質塩ビライニング鋼管：VLP
給水管：その他　硬質塩ビライニング鋼管：VLP
排水管：硬質塩化ビニル管VP
通気管：硬質塩化ビニル管VP
排水器具接続管：排水用鉛管LP
給湯管：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
ガス管：埋設管　外面被覆鋼管
ガス管：その他　配管用炭素鋼鋼管
換気ダクト：スパイラルダクトSD
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	機械設備　給排水衛生設備 受水槽・高架水槽：平面詳細図（改修前）	A1：1:50 A3：1:100	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫

M－24



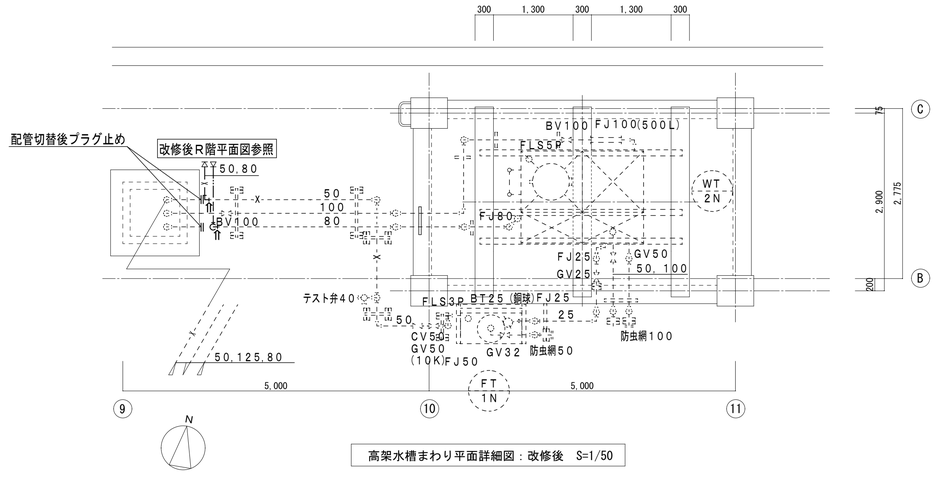
WT-1Nまわり	
水入口	GV40×2，Yスト40×2，FJ(500L)40×2
	定水位弁40×2，BT(銅球)20×2
	GV20×2，FJ(300L)20×2
	GV50(全止水)　GV25(泥抜)
水出口	緊急遮断弁65×2(水槽付属品)
	BV65×2，FJ(500L)65×2
ドレン	GV50×2
ｵｰﾊﾞｰ	防虫網80×2　ホッパー(DV-IN)×2
電極	FLS4P×2
非常時	GV15×2，キー式横水栓×2
その他	緊急遮断弁用制御盤(SUS)（水槽付属品）



WP－１N周り	
吸込	GV40×2，FJ（玉形ゴム）40×2
吐出	GV40（付属品）×2，CV40（付属品）×2
	FJ（玉形ゴム）40×2

FP－１N周り	
吸込	フート弁（SUS）50(付属品)
	FJ（500L）50
吐出	GV40（付属品），CV40（付属品）
	FJ（500L）40（付属品）
試験	GV32（付属品）
補給水	GV20（10K），FJ（300L）20
ドレン	GV20（5K）
ｵｰﾊﾞｰ	防虫網50
消火水槽	FLS3P

受水槽・ポンプ室平面詳細図：改修後　S=1/50



高架水槽まわり平面詳細図：改修後　S=1/50

WT-2Nまわり		
揚水	FJ(750L)80	
給水	FJ(500L)100	BV100
	FJ(300L)25	GV25
ドレン	GV50	
ｵｰﾊﾞｰ	防虫網100	
電極	FLS5P	

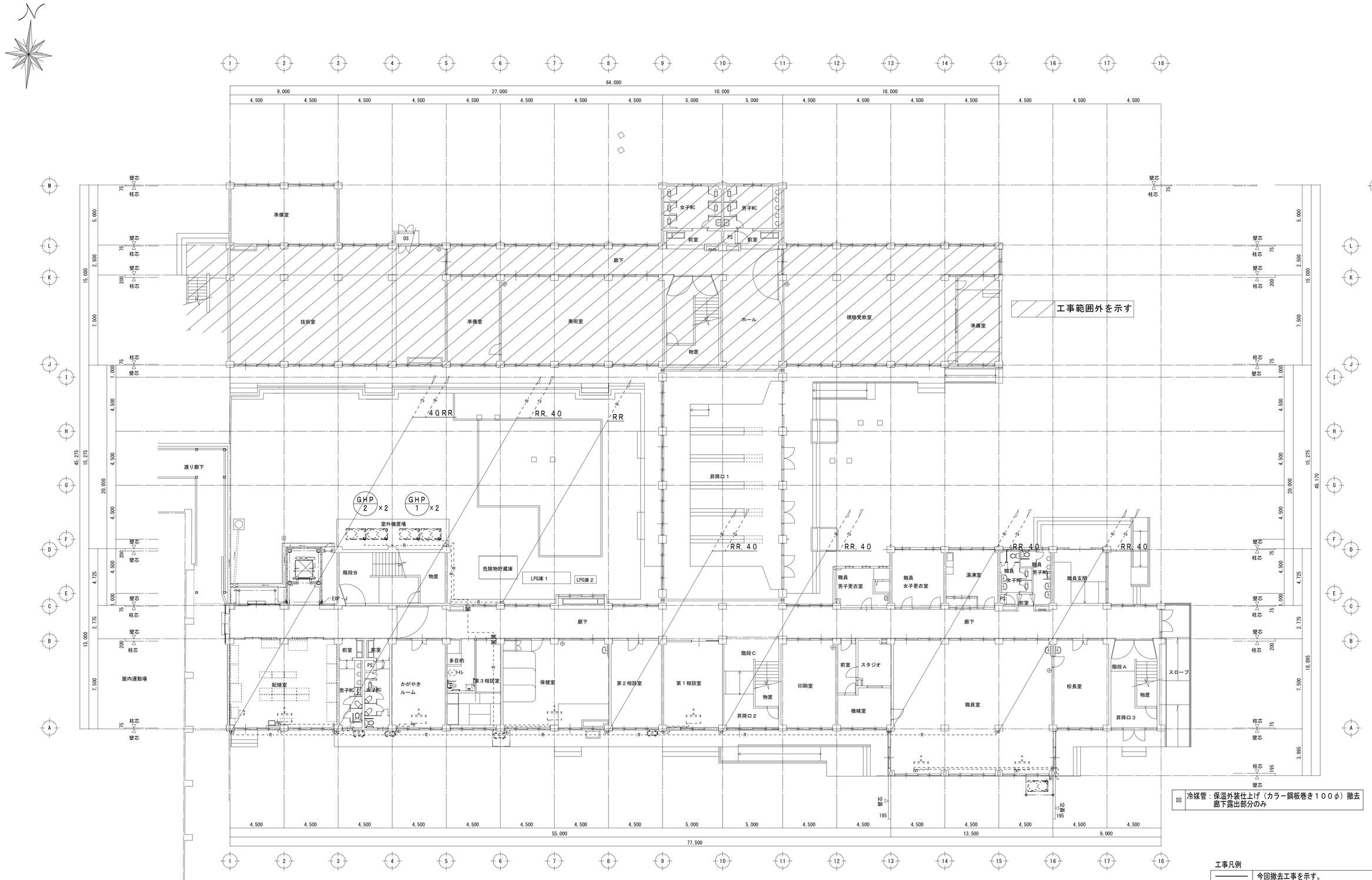
FT-1Nまわり	
補給水	FJ(300L)25
	BT25(銅球)
消火	FJ(500L)50
	GV50　CV50
ドレン	GV32
ｵｰﾊﾞｰ	防虫網50
電極	FLS3P

改修工事凡例

――――	今回施工工事を示す
- - - - - -	既設のままを示す
⌑	給水栓
—Ⓜ	掃除口
—⦸	排水金物
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
■	埋設標示（鉄製）を示す
●	埋設標示（コンクリート製）を示す

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	機械設備　給排水衛生設備 受水槽・高架水槽：平面詳細図（改修後）	A1：1:50 A3：1:100	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	M－25



１階平面図（改修前）　1/150

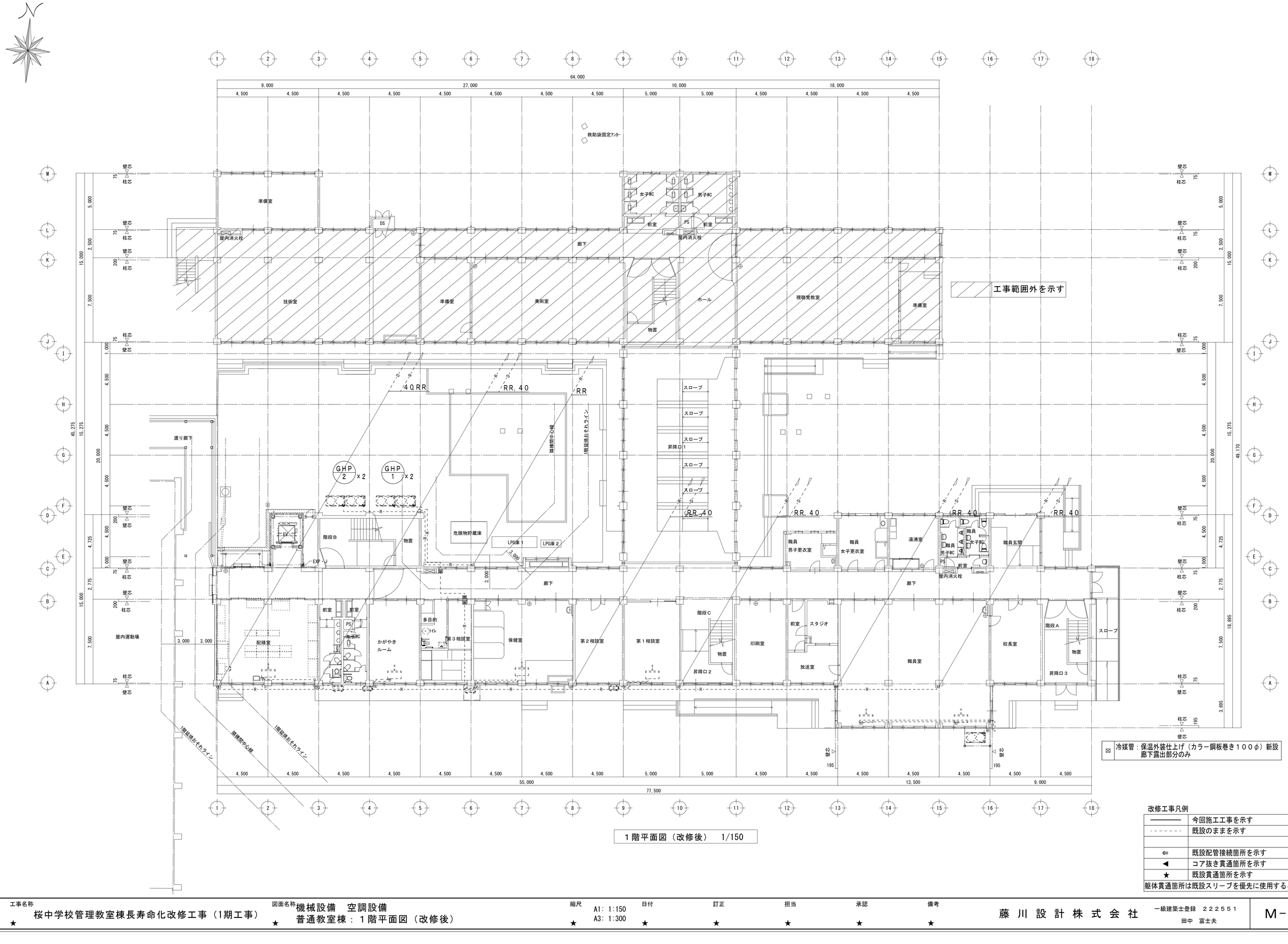
工事凡例

――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。
冷媒管：冷媒用保温付被覆銅管	
ドレン管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。	

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	機械設備　空調設備 普通教室棟：１階平面図（改修前） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

M－２６



１階平面図（改修後）　1/150

改修工事凡例

———	今回施工工事を示す
- - - -	既設のままを示す
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）★	機械設備　空調設備 普通教室棟：１階平面図（改修後）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	M－２７

凡　例

記　号	名　称	記　号	名　称	記　号	名　称
	ダクト（保温施工範囲を示す） スパイラルダクト		天井換気扇・排気ファン		パイプフード
	スパイラルダクト		吹出・吸込口		

換　気　機　器　表

記　号	機器名称	形　式　・　仕　様		電気容量 相（φ）	電気容量 電圧（V）	電気容量 消費電力（W）	台数	備　考
ＶＦ－１	排風機	形　式	天井換気扇・低騒音形：鋼板製ボディ	1	100	１５．５	1	設置場所：1階印刷室
		風　量	１００　m3/h					
		ダクト径	１００　φ					
		静　圧	３０　Pa					
		付　属　品	天吊防振金具,その他付属品共					
	パイプフード	形　式	SUS製深形パイプフード１００φ：ガラリ付				1	
ＶＦ－２	排風機	形　式	天井換気扇・低騒音形：鋼板製ボディ	1	100	２３．０	3	設置場所：1階職員男子・女子便所
		風　量	１８０　m3/h					1階職員女子更衣室
		ダクト径	１００　φ					
		静　圧	３０　Pa					
		付　属　品	天吊防振金具,その他付属品共					
	パイプフード	形　式	SUS製深形パイプフード１００φ：ガラリ付				3	
ＶＦ－３	排風機	形　式					（2）	設置場所：
		風　量						1階男子女子シャワーユニット
		ダクト径						（建築工事）
		静　圧						
		付　属　品						
	パイプフード	形　式	SUS製深形パイプフード１００φ：ガラリ付				2	（機械設備工事）
ＶＦ－４	排風機	形　式	天井換気扇・低騒音形：鋼板製ボディ	1	100	１０６．０	1	設置場所：1階湯沸室
		風　量	６３０　m3/h					
		ダクト径	１５０　φ					
		静　圧	５０　Pa					
		付　属　品	天吊防振金具,その他付属品共					
	パイプフード	形　式	SUS製深形パイプフード１５０φ：ガラリ付				1	
ＶＦ－５	排風機	形　式	天井換気扇・低騒音形：鋼板製ボディ	1	100	８２．０	6	設置場所：2．3．4階男子WC
		風　量	５３０　m3/h					2．3．4階女子WC
		ダクト径	１５０　φ					
		静　圧	３０　Pa					
		付　属　品	天吊防振金具,その他付属品共					
	パイプフード	形　式	SUS製深形パイプフード１５０φ				（6）	（既設）
ＶＦ－６	排風機	形　式	天井換気扇・低騒音形：鋼板製ボディ	1	100	２３．０	3	設置場所：2．3．4階多目的WC
		風　量	１７０　m3/h					
		ダクト径	１００　φ					
		静　圧	３０　Pa					
		付　属　品	天吊防振金具,その他付属品共					
	パイプフード	形　式	SUS製深形パイプフード１００φ：ガラリ付				3	
ＦＥ－１	排風機	形　式	壁付換気扇（窓枠据付格子タイプ）	1	100	２３．０	1	設置場所：1階保健室
			低騒音形（電気式シャッタータイプ,樹脂製羽根）					
		風　量	１１００　m3/h					
		羽　根　径	３００　φ					
		付　属　品	化粧枠,SUS製ウェザカバー：防鳥網付,その他付属品共					
ＦＥ－２	排風機	形　式	壁付換気扇（窓枠据付格子タイプ）	1	100	３８．０	4	設置場所：1階第1相談室,職員室
			低騒音形（電気式シャッタータイプ,樹脂製羽根）					
		風　量	８６０　m3/h					
		羽　根　径	２５０　φ					
		付　属　品	化粧枠,SUS製ウェザカバー：防鳥網付,その他付属品共					
ＦＥ－３	排風機	形　式	壁付換気扇（窓枠据付格子タイプ）	1	100	３８．０	4	設置場所：1階校長室
			低騒音形（電気式シャッタータイプ,樹脂製羽根）					1階かがやきルーム,職員男子更衣室
		風　量	５２０　m3/h					3階教材室
		羽　根　径	２００　φ					
		付　属　品	化粧枠,SUS製ウェザカバー：防鳥網付,その他付属品共					
電源容量は参考数値とする。								

換気計算書（火気使用計算書）

[建築基準法施工令第20条の3第2項]

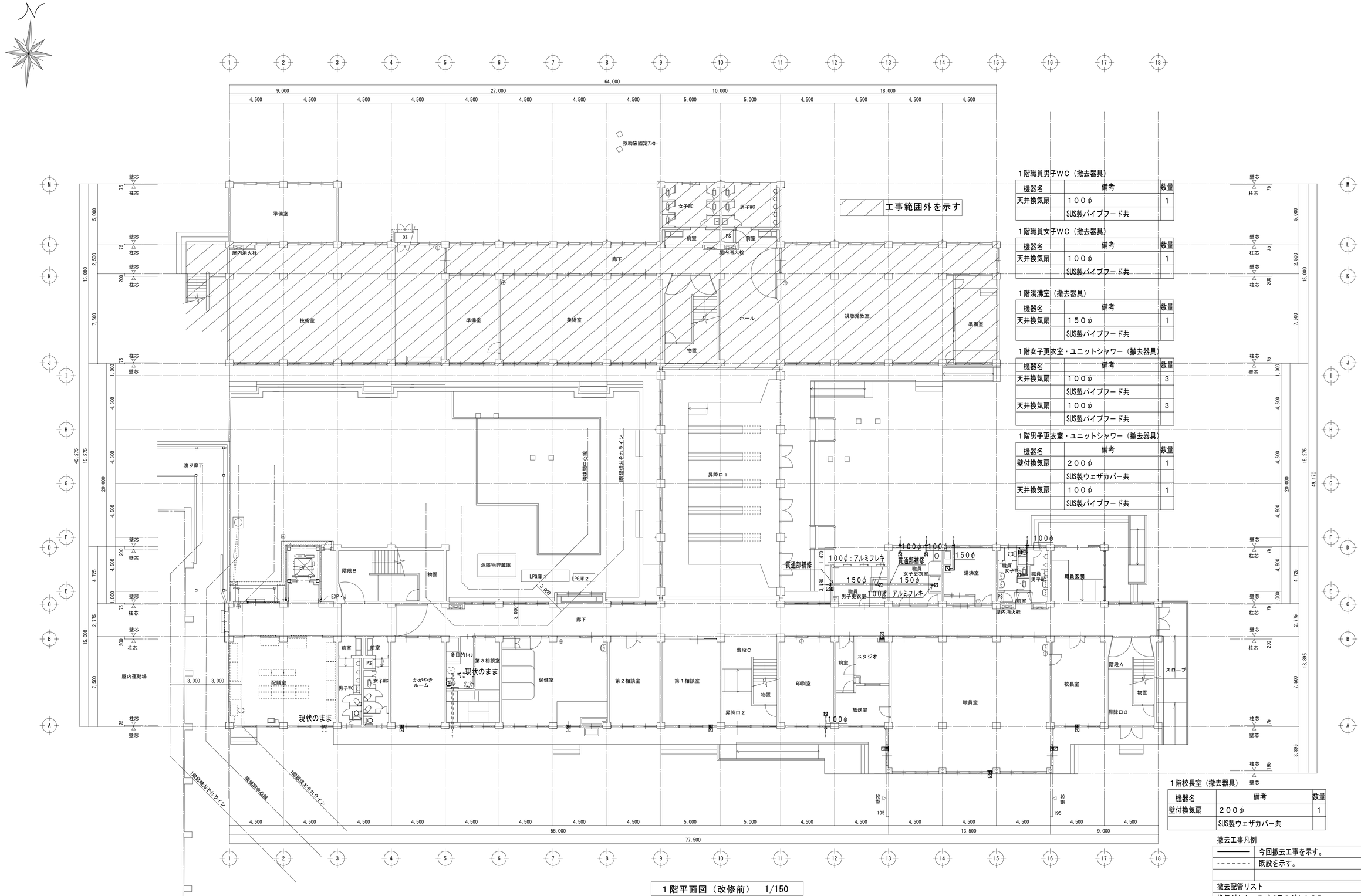
必要換気量（V）＝定数*理論廃ガス量（K）*燃料消費量（Q）

V　：　必要換気量（m3/h）

K　：　理論廃ガス量（MJ/m3）

Q　：　発熱量（kw）又は燃料消費量（kg/h）

階	室　名	機器名称	発熱量（kW）	定数（MJ/m3）	理論廃ガス量（m3/kWh）	必要換気量（m3/h）	機器記号	排気量（m3/H）	備　考
1	湯沸室	2口ガスコンロ	５．６						
		湯沸器5号	１０．５						
		計	１６．１	４０	０．９３	５９８．９２	ＶＦ－５　天井換気扇	６３０	５９８．９２≦６３０　よってOK
1	保健室	1口ガスコンロ	２．５						
		湯沸器5号	１０．５						
		計	１３．０	４０	０．９３	４８３．６	ＦＥ－１　壁付換気扇	１１００	４８３．６≦１１００　よってOK



1階職員男子WC（撤去器具）

機器名	備考	数量
天井換気扇	１００φ	1
	SUS製パイプフード共	

1階職員女子WC（撤去器具）

機器名	備考	数量
天井換気扇	１００φ	1
	SUS製パイプフード共	

1階湯沸室（撤去器具）

機器名	備考	数量
天井換気扇	１５０φ	1
	SUS製パイプフード共	

1階女子更衣室・ユニットシャワー（撤去器具）

機器名	備考	数量
天井換気扇	１００φ	3
	SUS製パイプフード共	
天井換気扇	１００φ	3
	SUS製パイプフード共	

1階男子更衣室・ユニットシャワー（撤去器具）

機器名	備考	数量
壁付換気扇	２００φ	1
	SUS製ウェザカバー共	
天井換気扇	１００φ	1
	SUS製パイプフード共	

1階校長室（撤去器具）

機器名	備考	数量
壁付換気扇	２００φ	1
	SUS製ウェザカバー共	

1階平面図（改修前） 1/150

1階かがやきルーム（撤去器具）

機器名	備考	数量
壁付換気扇	２００φ：電気式シャッター	1
	SUS製ウェザカバー共	

1階保健室（既設のまま）

機器名	備考	数量
壁付換気扇	２５０φ	1
	SUS製ウェザカバー共	

1階相談室（撤去器具）

機器名	備考	数量
壁付換気扇	２５０φ：電気式シャッター	1
	SUS製ウェザカバー共	

1階印刷室（撤去器具）

機器名	備考	数量
天井換気扇	１００φ	1
	SUS製パイプフード共	

1階スタジオ（撤去器具）

機器名	備考	数量
壁付換気扇	２５０φ	1
	SUS製ウェザカバー共	

1階職員室（撤去器具）

機器名	備考	数量
壁付換気扇	２５０φ	3
	SUS製ウェザカバー共	

撤去工事凡例

―――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。
撤去配管リスト	
換気ダクト：スパイラルダクトＳＤ	
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	

工事名称
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）

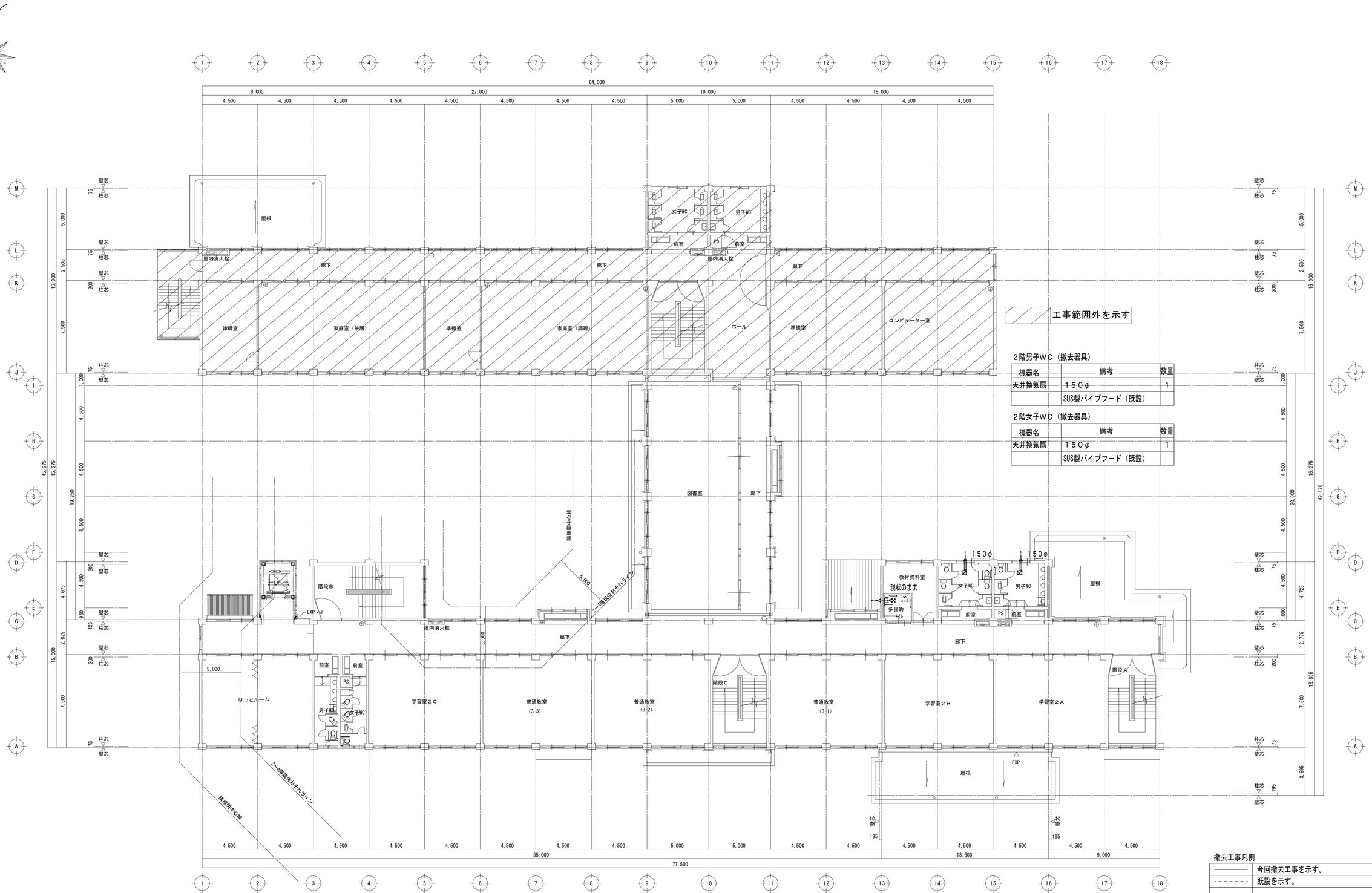
図面名称
★ 機械設備　換気設備
普通教室棟：１階平面図（改修前）

縮尺
★ A1：1:150
A3：1:300

日付	訂正	担当	承認	備考
★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録 222551
田中 富士夫

M－２９



２階平面図（改修前）　1／150

２階男子WC（撤去器具）

機器名	備考	数量
天井換気扇	１５０φ	1
	SUS製パイプフード（既設）	

２階女子WC（撤去器具）

機器名	備考	数量
天井換気扇	１５０φ	1
	SUS製パイプフード（既設）	

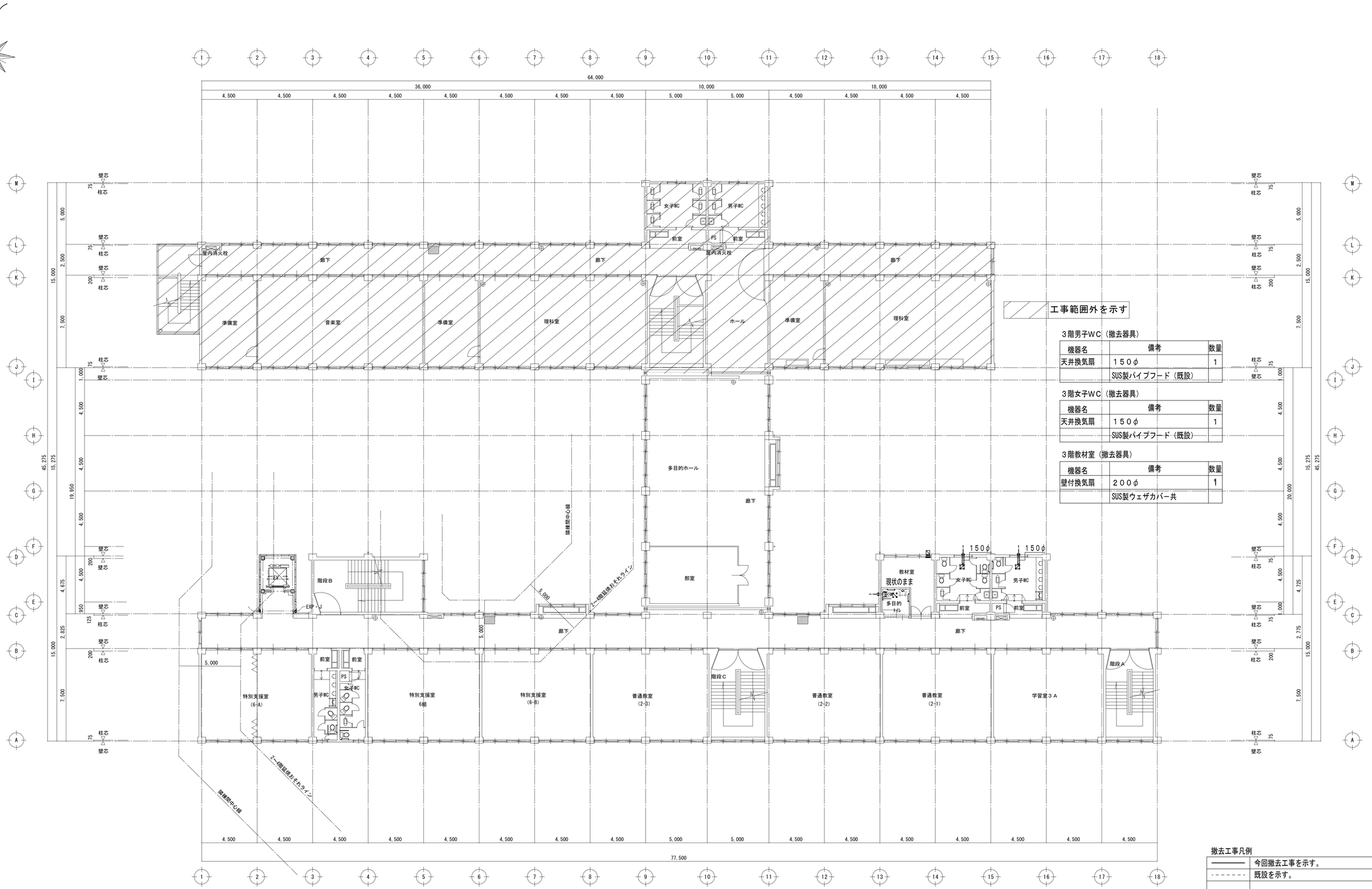
撤去工事凡例

――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。
撤去配管リスト	
換気ダクト：スパイラルダクトＳＤ	
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）★	機械設備　換気設備 普通教室棟：２階平面図（改修前）★	A1：1:150 A3：1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

M－３０



工事範囲外を示す

３階男子WC（撤去器具）

機器名	備考	数量
天井換気扇	１５０φ	1
	SUS製パイプフード（既設）	

３階女子WC（撤去器具）

機器名	備考	数量
天井換気扇	１５０φ	1
	SUS製パイプフード（既設）	

３階教材室（撤去器具）

機器名	備考	数量
壁付換気扇	２００φ	1
	SUS製ウェザカバー共	

撤去工事凡例

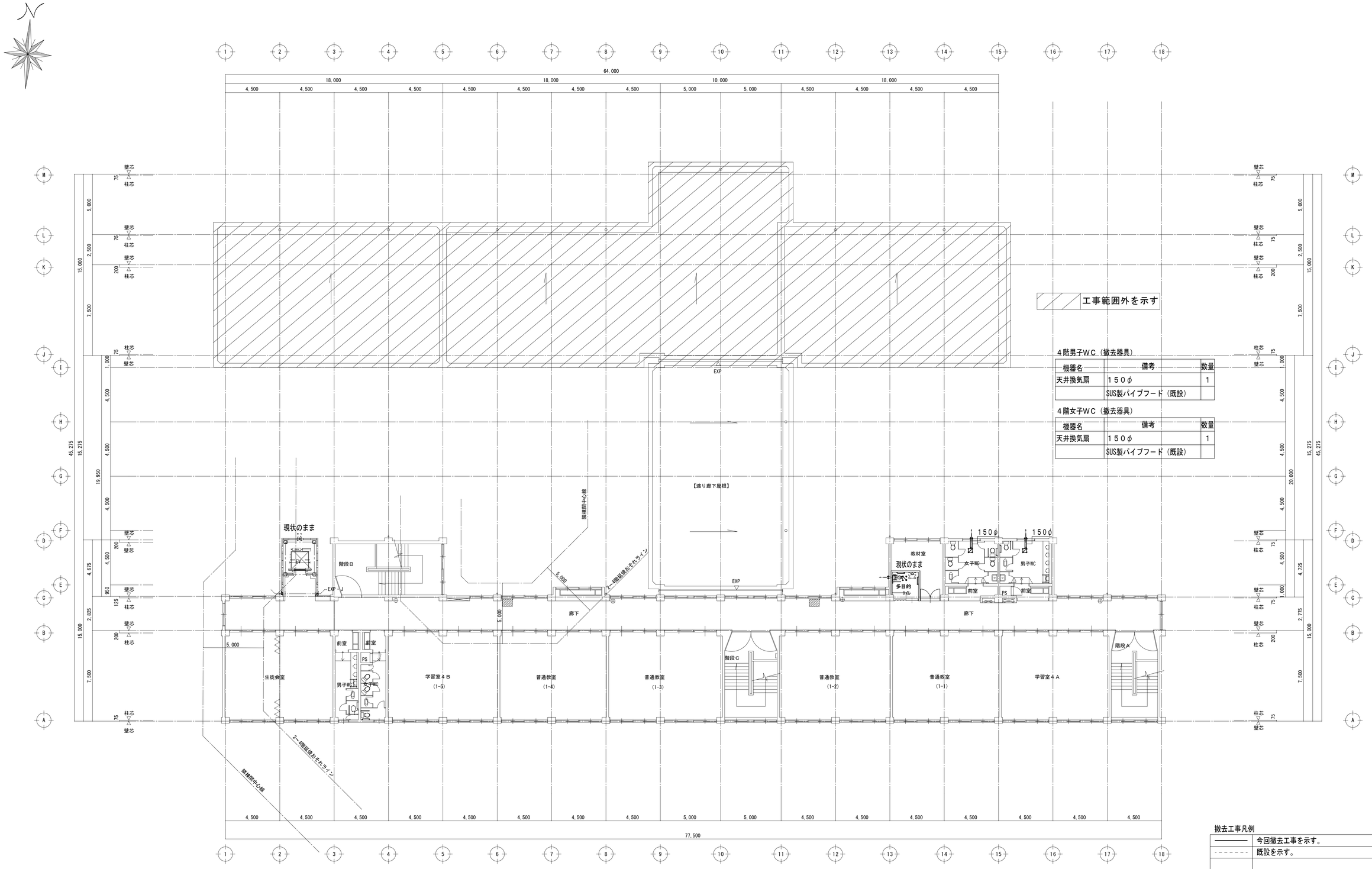
――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。
撤去配管リスト	
換気ダクト：スパイラルダクトＳＤ	
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	

３階平面図（改修前）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	★ 機械設備　換気設備 普通教室棟：３階平面図（改修前）	★ A1：1:150 A3：1:300	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

M－３１



工事範囲外を示す

４階男子ＷＣ（撤去器具）

機器名	備考	数量
天井換気扇	１５０φ	1
	SUS製パイプフード（既設）	

４階女子ＷＣ（撤去器具）

機器名	備考	数量
天井換気扇	１５０φ	1
	SUS製パイプフード（既設）	

４階平面図（改修前）　1/150

撤去工事凡例

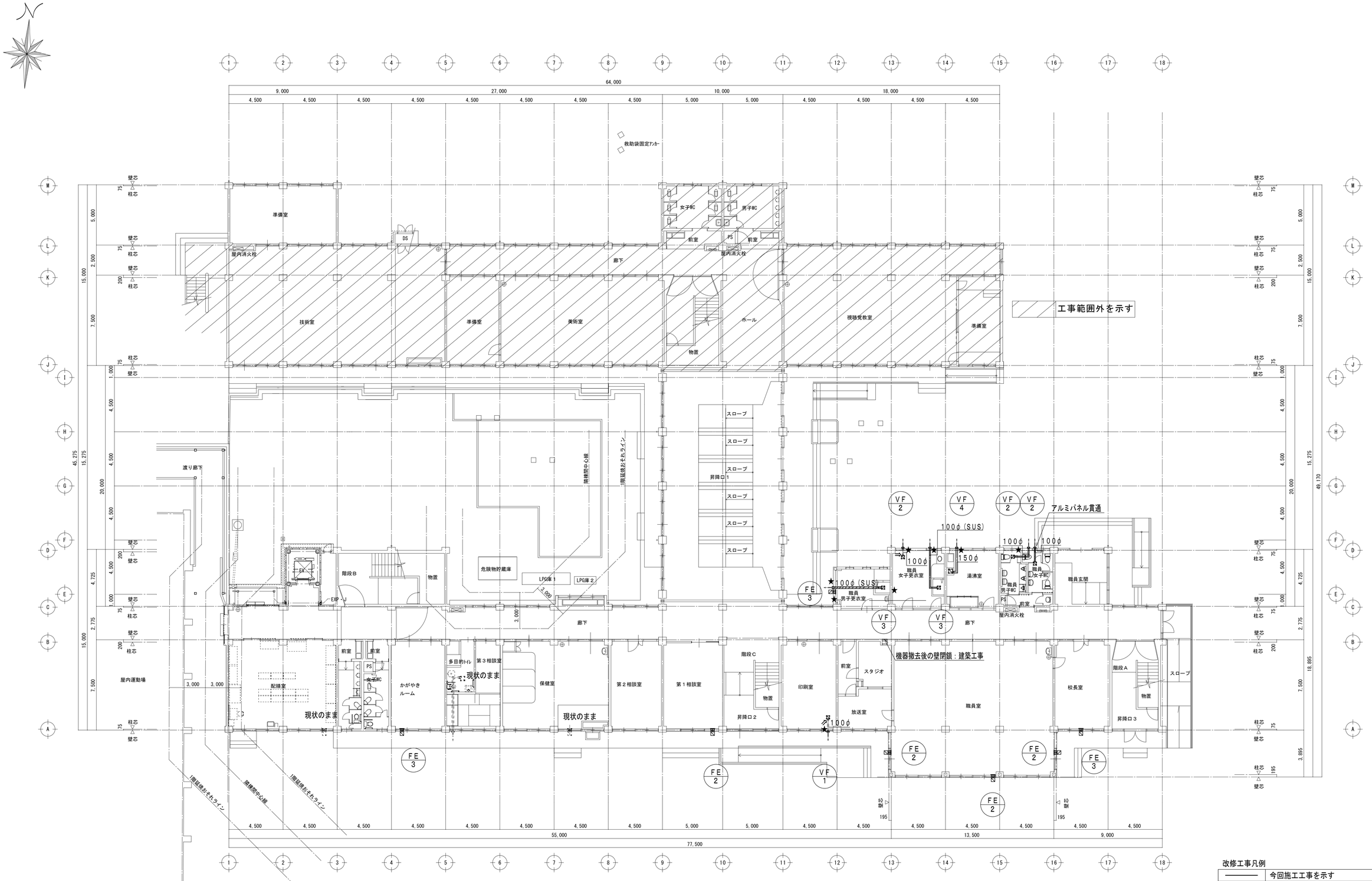
――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。

撤去配管リスト
換気ダクト：スパイラルダクトＳＤ
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	機械設備　換気設備 普通教室棟：４階平面図（改修前） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

M－３２



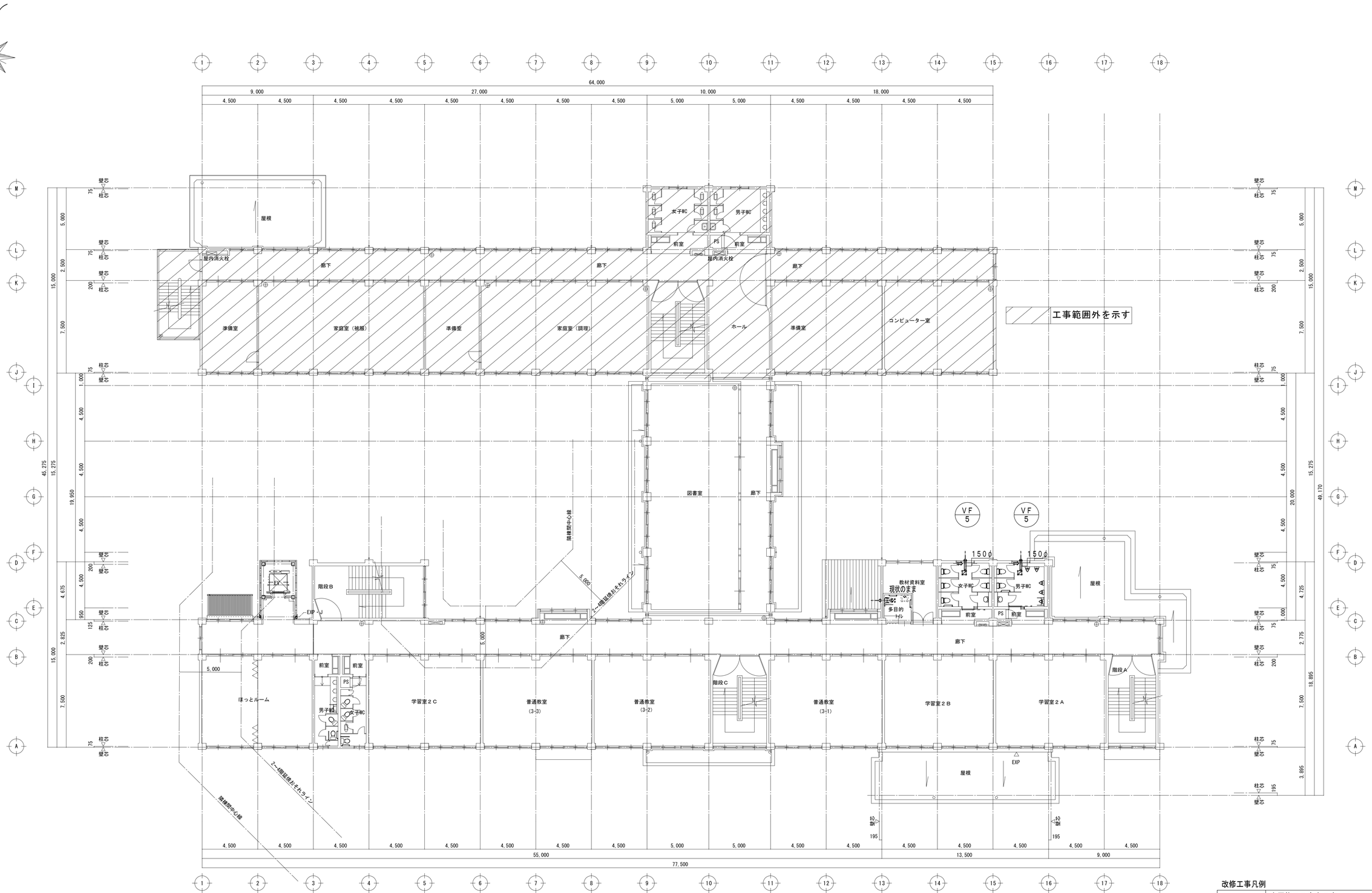
１階平面図（改修後）　1/150

改修工事凡例

――――	今回施工工事を示す
- - - - -	既設のままを示す
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事） ★	機械設備　換気設備 普通教室棟：１階平面図（改修後） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	M－３３



２階平面図（改修後）　1／150

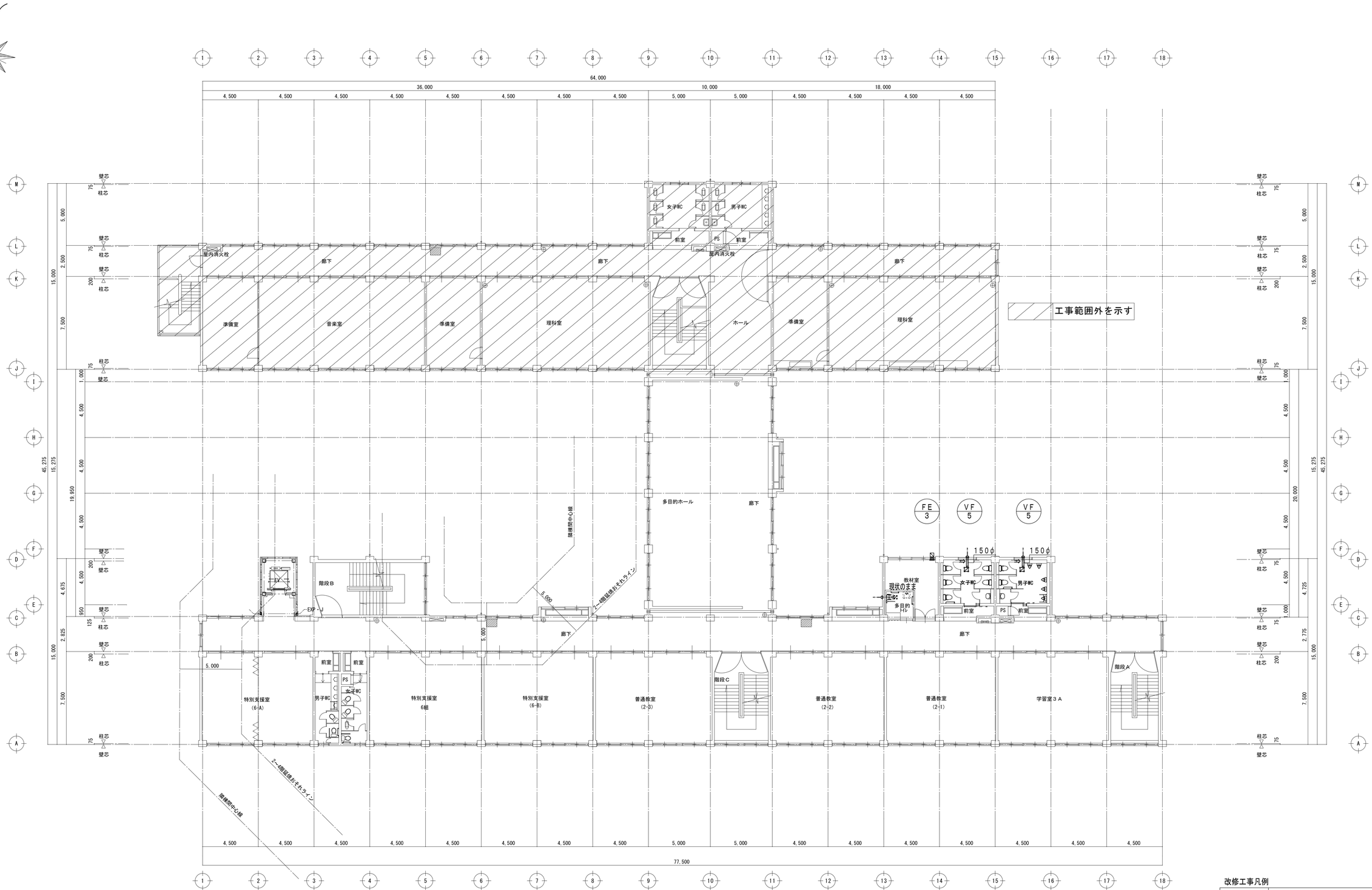
改修工事凡例

――――	今回施工工事を示す
- - - - - - -	既設のままを示す
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	★ 機械設備　換気設備 普通教室棟：２階平面図（改修後）	★ A1：1:150 A3：1:300	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

M－３４



３階平面図（改修後）　1/150

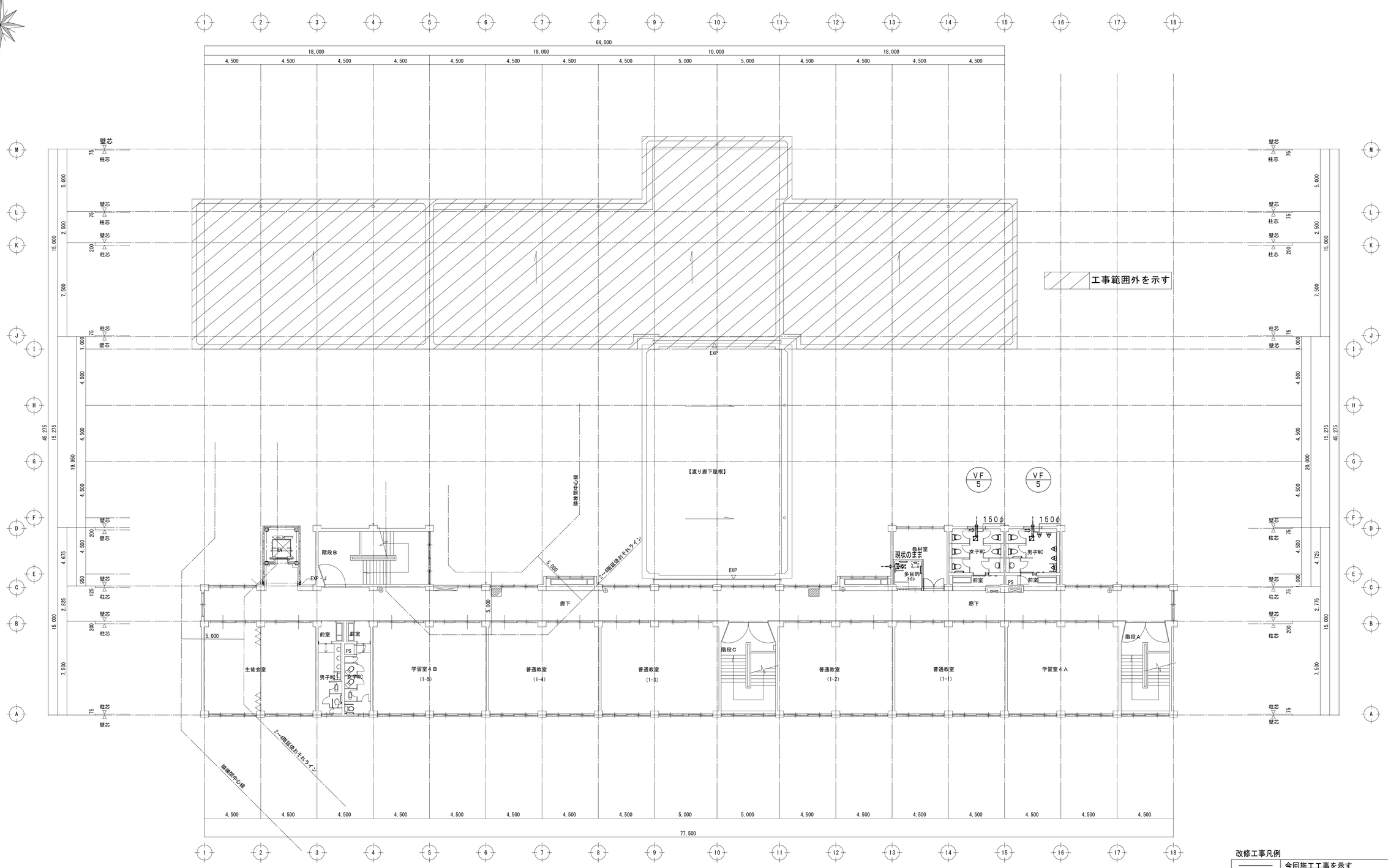
改修工事凡例

――――	今回施工工事を示す
- - - - - -	既設のままを示す
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	★ 機械設備　換気設備 普通教室棟：３階平面図（改修後）	★ A1：1:150 A3：1:300	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

M－３５



４階平面図（改修後）　1/150

改修工事凡例

――――	今回施工工事を示す
- - - - - - -	既設のままを示す
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（1期工事）	★ 機械設備　換気設備 普通教室棟：４階平面図（改修後）	★ A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★

藤 川 設 計 株 式 会 社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

M－３６